

ISBN978-4-902946-29-5
C0074 ¥3000E

定価 本体3000円＋税

STYLE



9784902948295

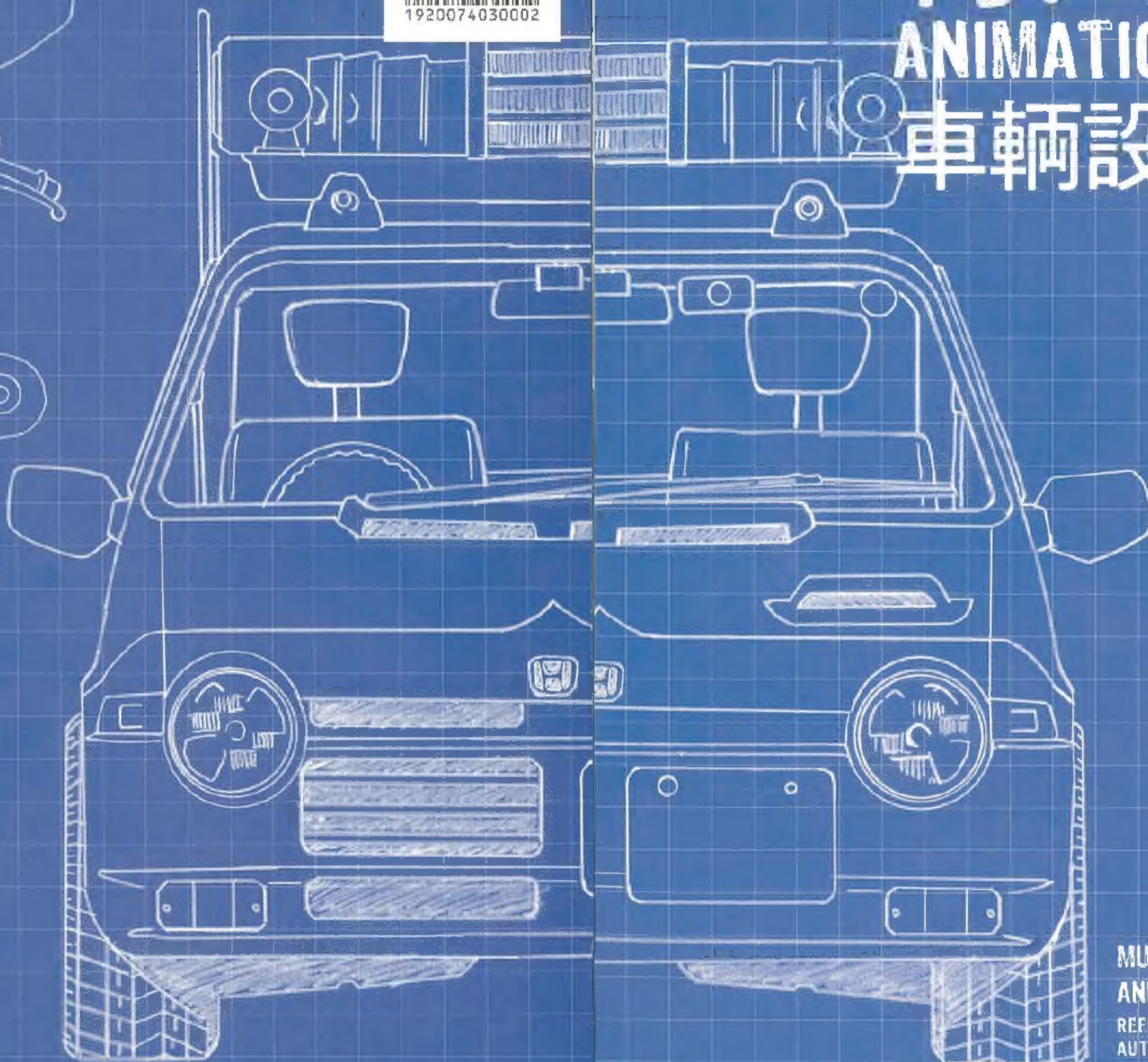
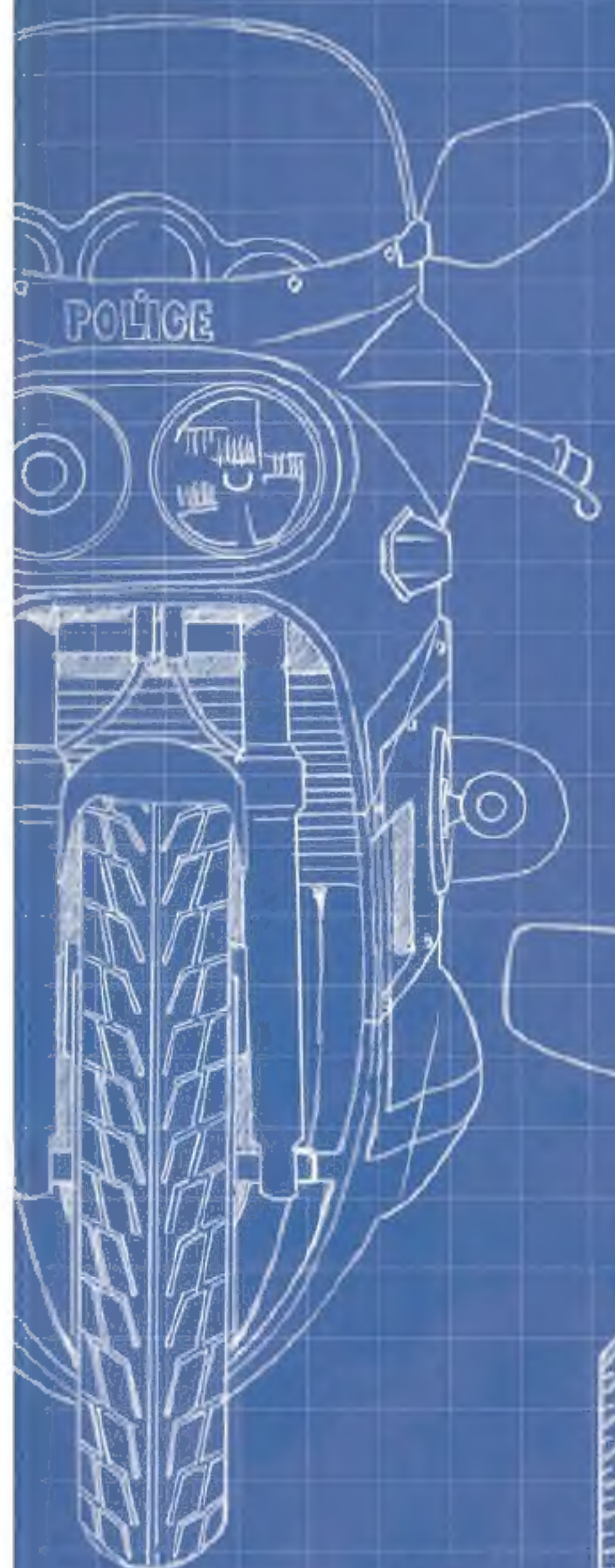


1920074030002

村田峻治

ANIMATION WORKS

車輛設定資料



MURATA TOSHIHARU
ANIMATION WORKS
REFERENCE FOR DRAWING
AUTOMOBILES

STYLE

村田峻治
ANIMATION WORKS
車輛設定資料

STYLE

MURATA TOSHIO HARU ANIMATION WORKS REFERENCE FOR DRAWING AUTOMOBILES

004	逮捕しちゃうぞ
098	エクストライバー
116	ああ女神さまっ
154	GetBackers -奪還屋-
142	索引
144	対談 村田峻治×藤島康介

本書について

「村田峻治 ANIMATION WORKS 車輛設定資料」は、アニメーター、デザイナーである村田峻治が、アニメーションの制作過程で描いた四輪車やバイク等の車輛に関する設定画を収録した書籍である。収録した設定画は「逮捕しちゃうぞ」「エクストライバー」「ああ女神さまっ」「GetBackers -奪還屋-」のために描かれたものだ。編集作業は村田峻治自身が所有していた設定画を用いて行った。また、より見やすくするために、設定画内の画の配置をオリジナルの資料から若干調整したものがあることをお断りしておく。

なお、図版のキャプションについては、車輛名が「BMW」のようにアルファベットで呼称されるものはアルファベットにて記載を行い、トゥデイ等のカタカナで呼称する慣例がある車輛名はカタカナにて記載している。

村田峻治プロフィール

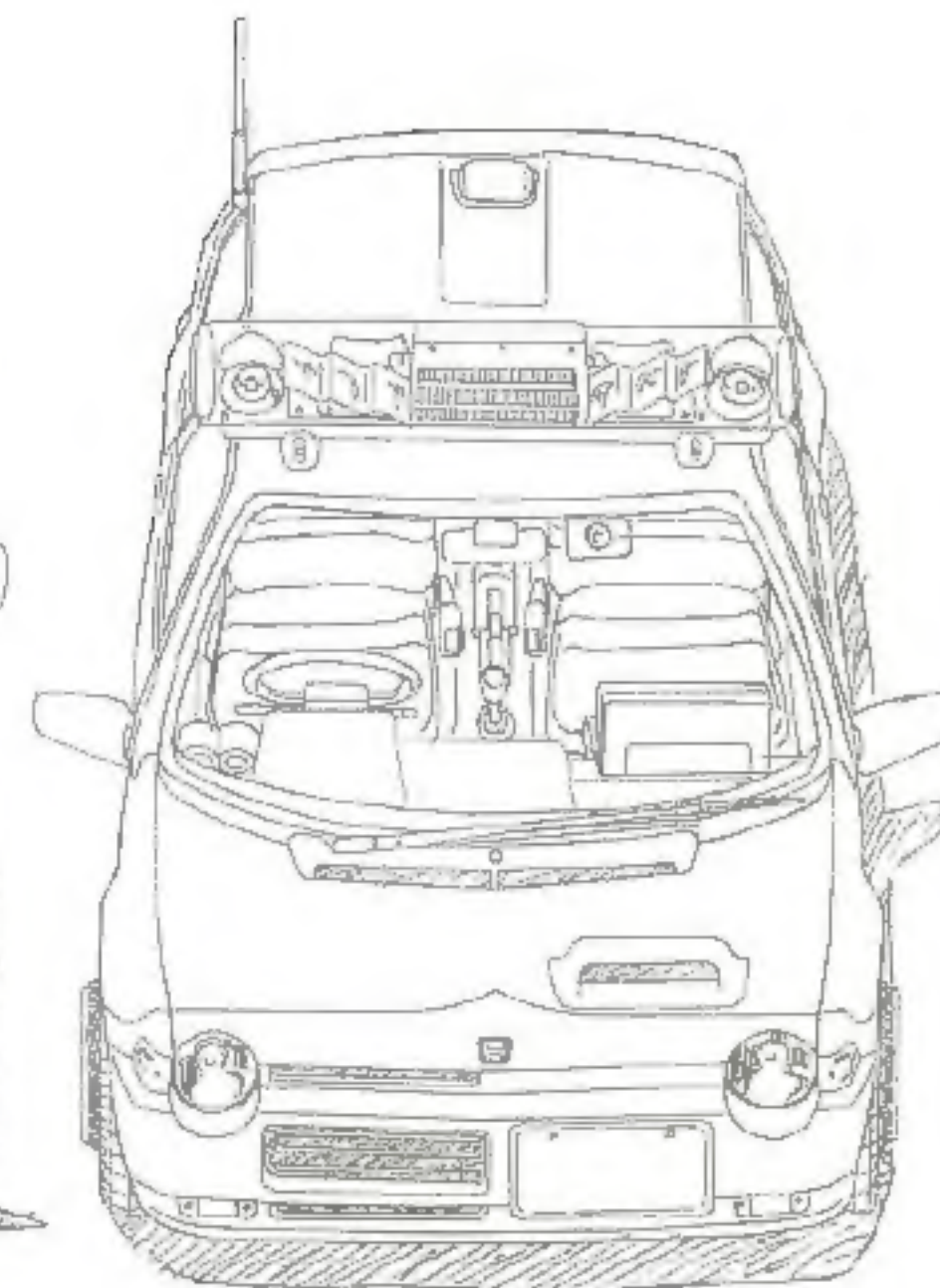
アニメーター、デザイナー。亜細亜堂、スタジオジブリ等を経てフリー。代表作に『逮捕しちゃうぞ』シリーズ（メカニックデザイン）、『EAT-MAN』（キャラクターデザイン・作画監督）、『機動警察パトレイバー 劇場版』（原画）、『GUIN SAGA』（キャラクターデザイン・総作画監督）、『BATMAN GOTHAM KNIGHT』（Field Test）（キャラクターデザイン）等。

美幸のTODAY (改)



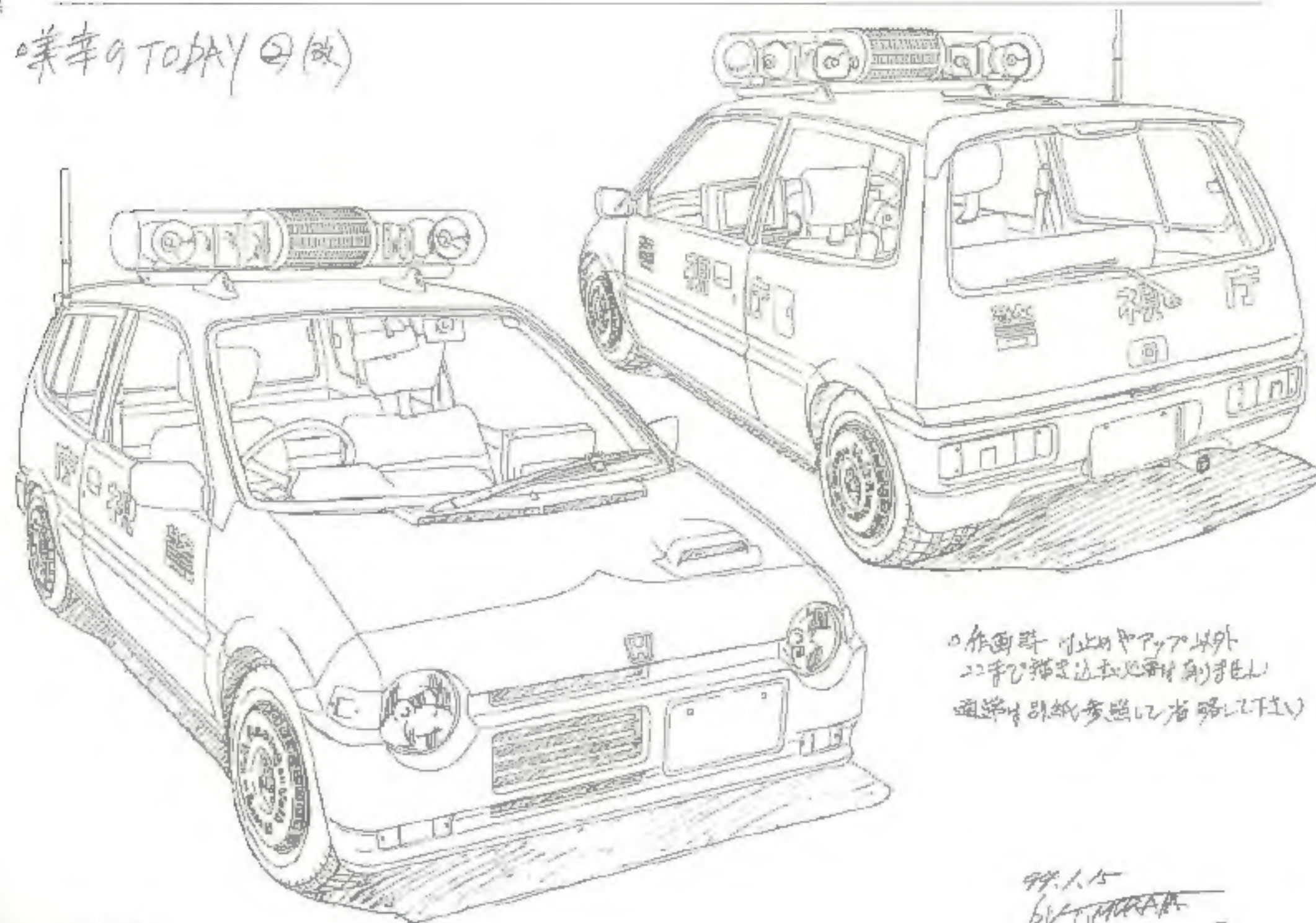
94.1.15
bittamura

美幸のTODAY (改)



94.1.15
bittamura

美幸のTODAY (改)

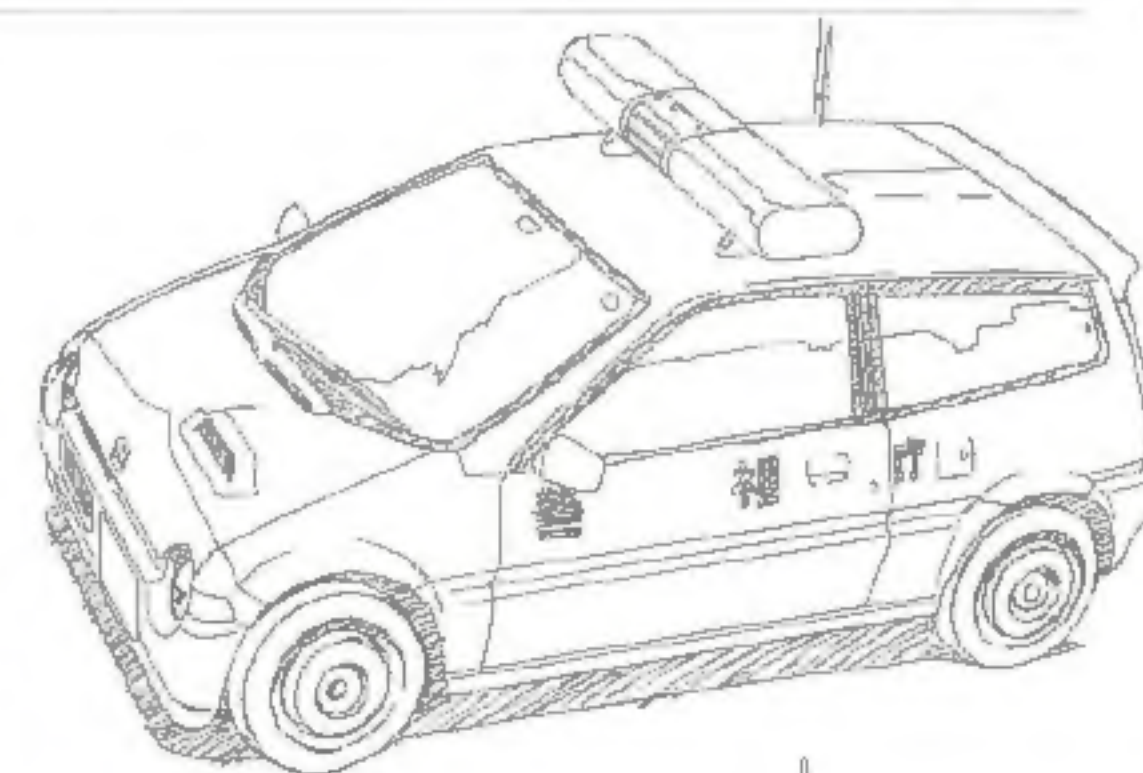


○作画時、可止めやアッ外
の字は描き込めず、身もい
通達は引紙多照に省略してよい

94.1.15
bittamura

ホンダ トゥデイ

美幸のTODAY (改)



94.1.15
bittamura

ホンダ トゥデイ

0 新 TODAY (4)



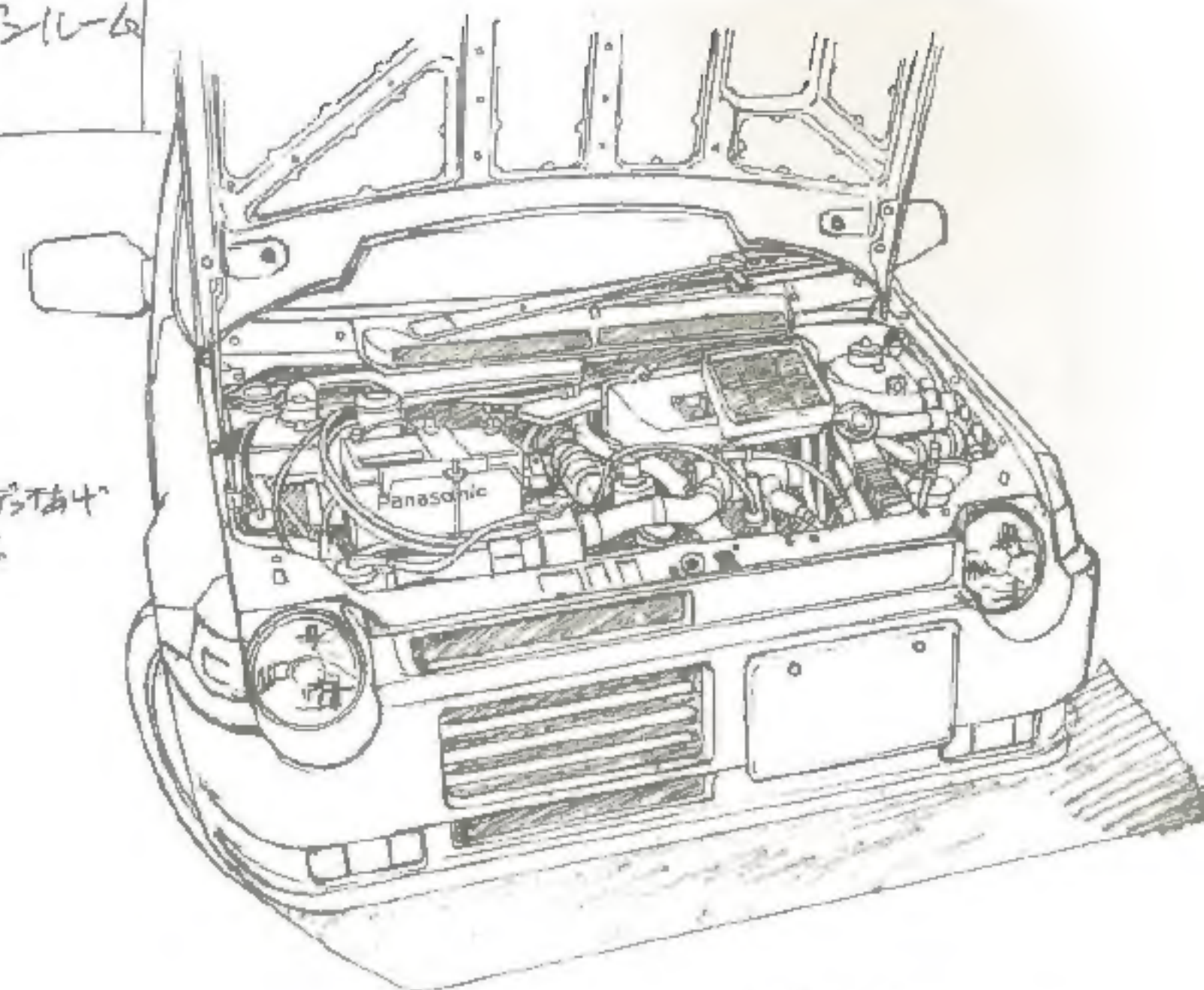
ホンダ トゥデイ

キャラクター表参照A2と。

24.1.22
by T. MURATA

TODAY エンジンルーム
全

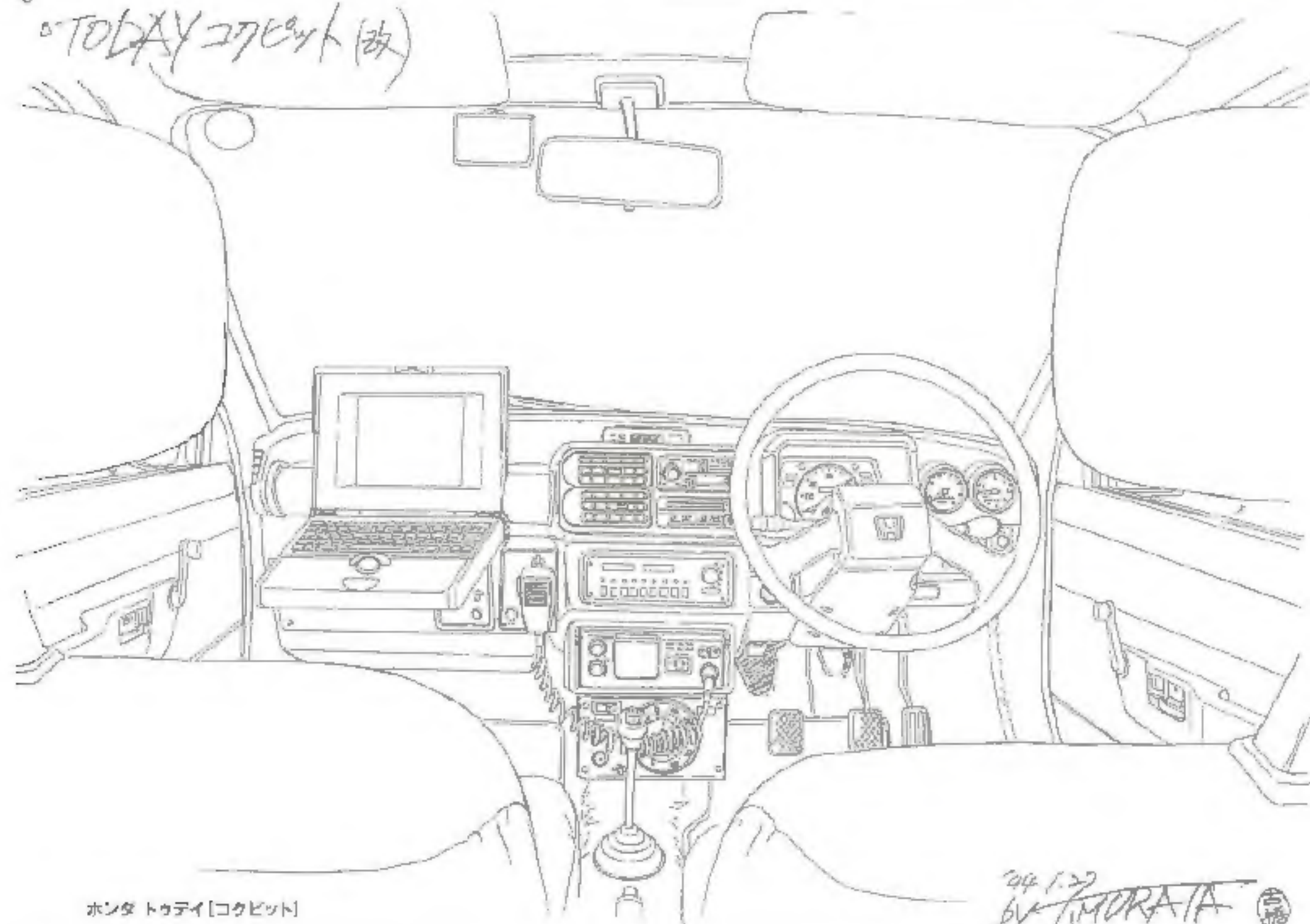
※細かく所は
せられしは「デスあや」
でやまひまし。



ホンダ トゥデイ [エンジンルーム]

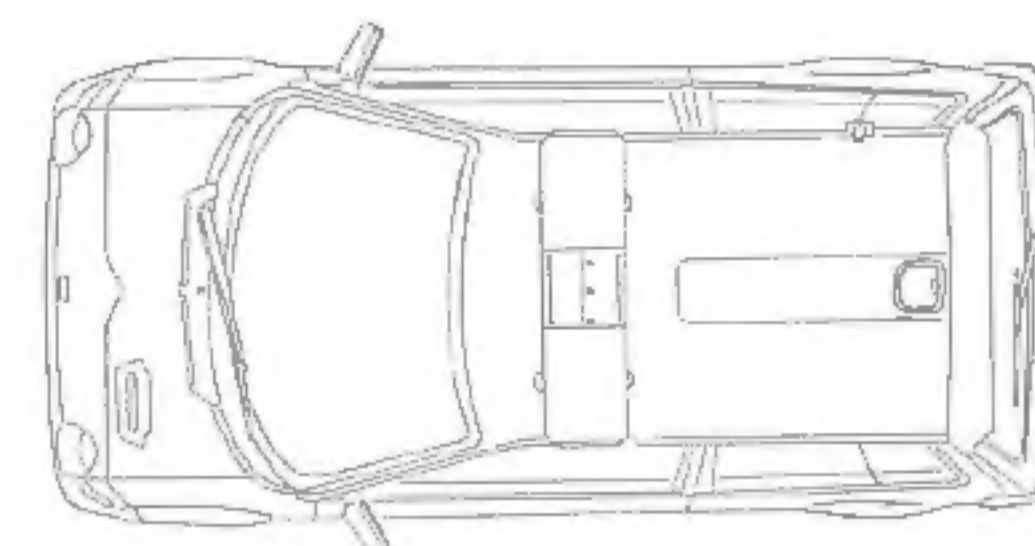
1996.9.18
by T. MURATA

6
TODAY コックピット (改)



ホンダ トゥデイ [コックピット]

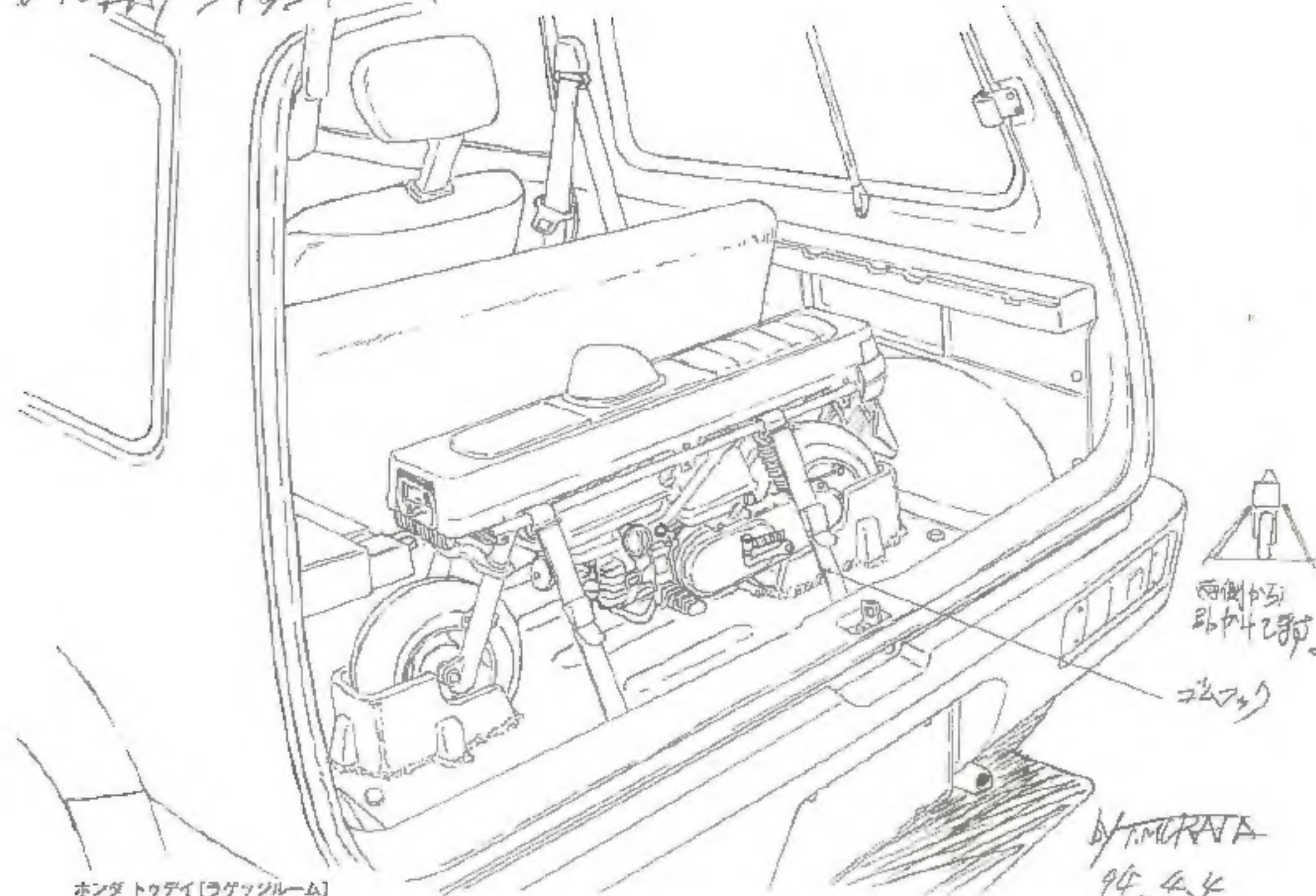
24.1.22
by T. MURATA



ホンダ トゥデイ [四面図]

1996.2.16
by T. MURATA

▷ TODAY ラグザリルーム



ホンダ トゥデイ [ラグザリルーム]

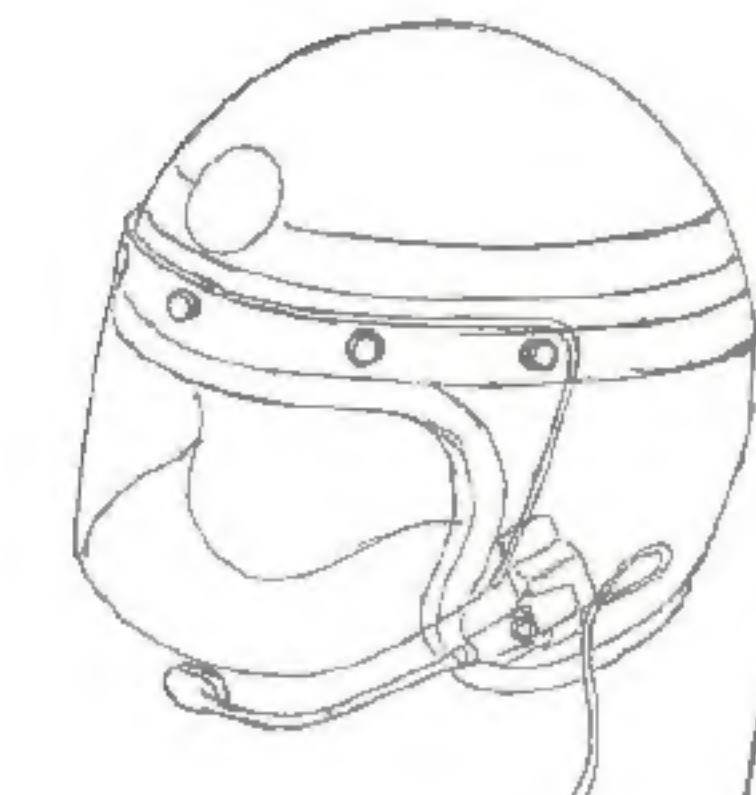
両側から
足かけ可能。

コムアツ

by T. MURATA
94.4.4

B

▷ TODAY 台風仕様



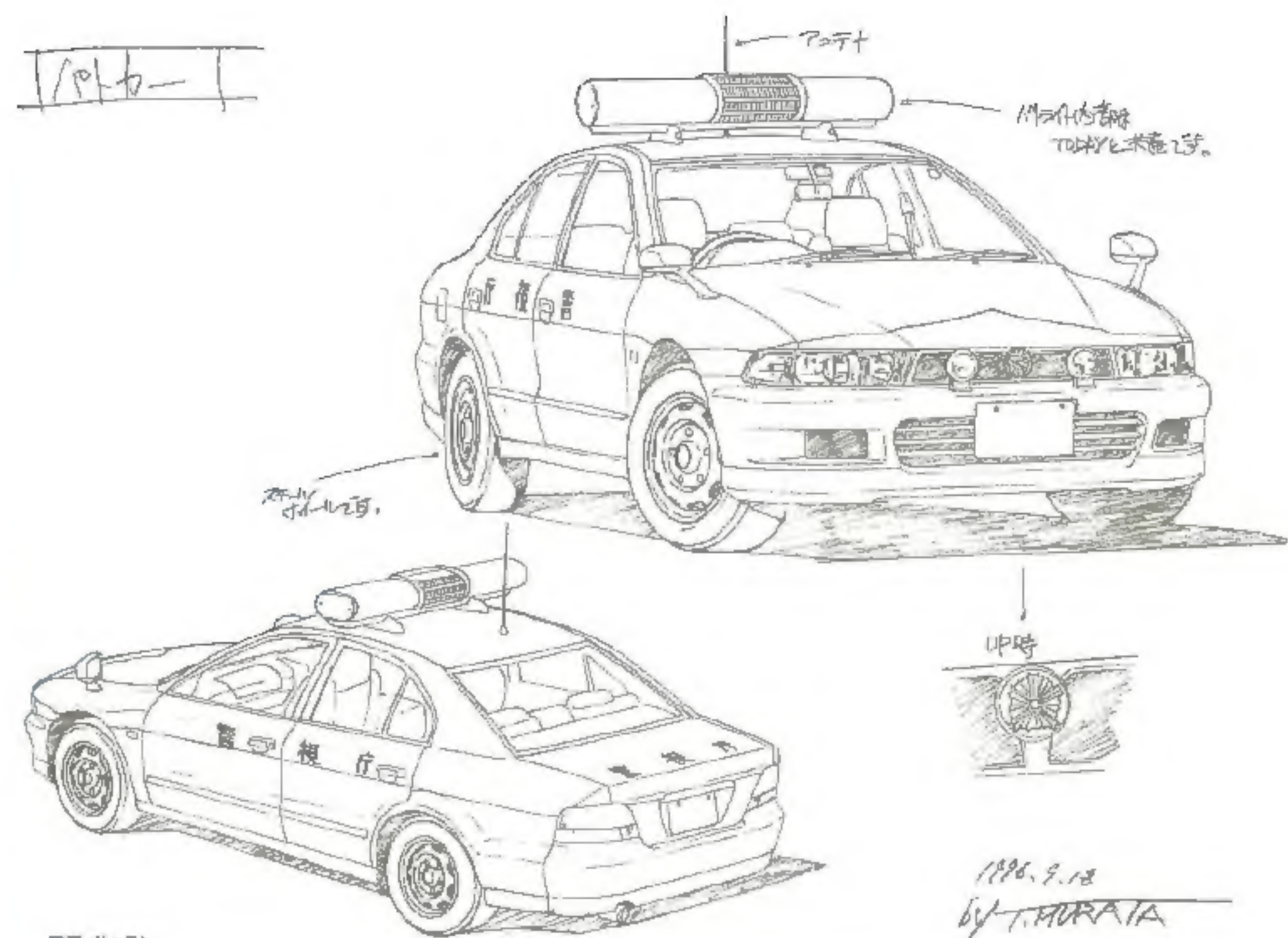
中嶋 剛 X-1 3-1160

中嶋剛のヘルメット / ホンダ トゥデイ [台風仕様]



マフラー延長可能。

パトカー



三菱 ギャラン

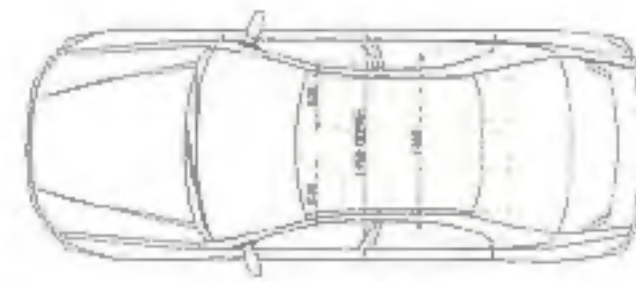
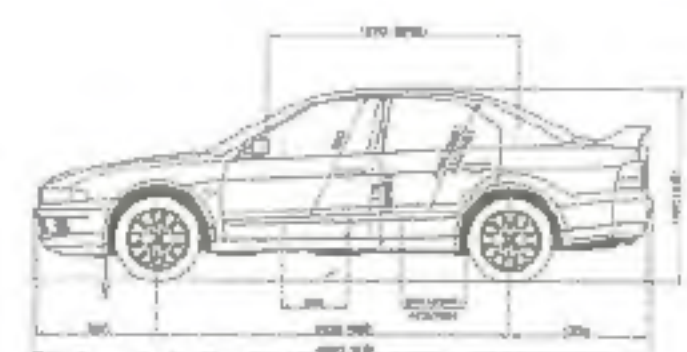
14インチ車輪
TOYOTA 仕様。

14インチ車輪

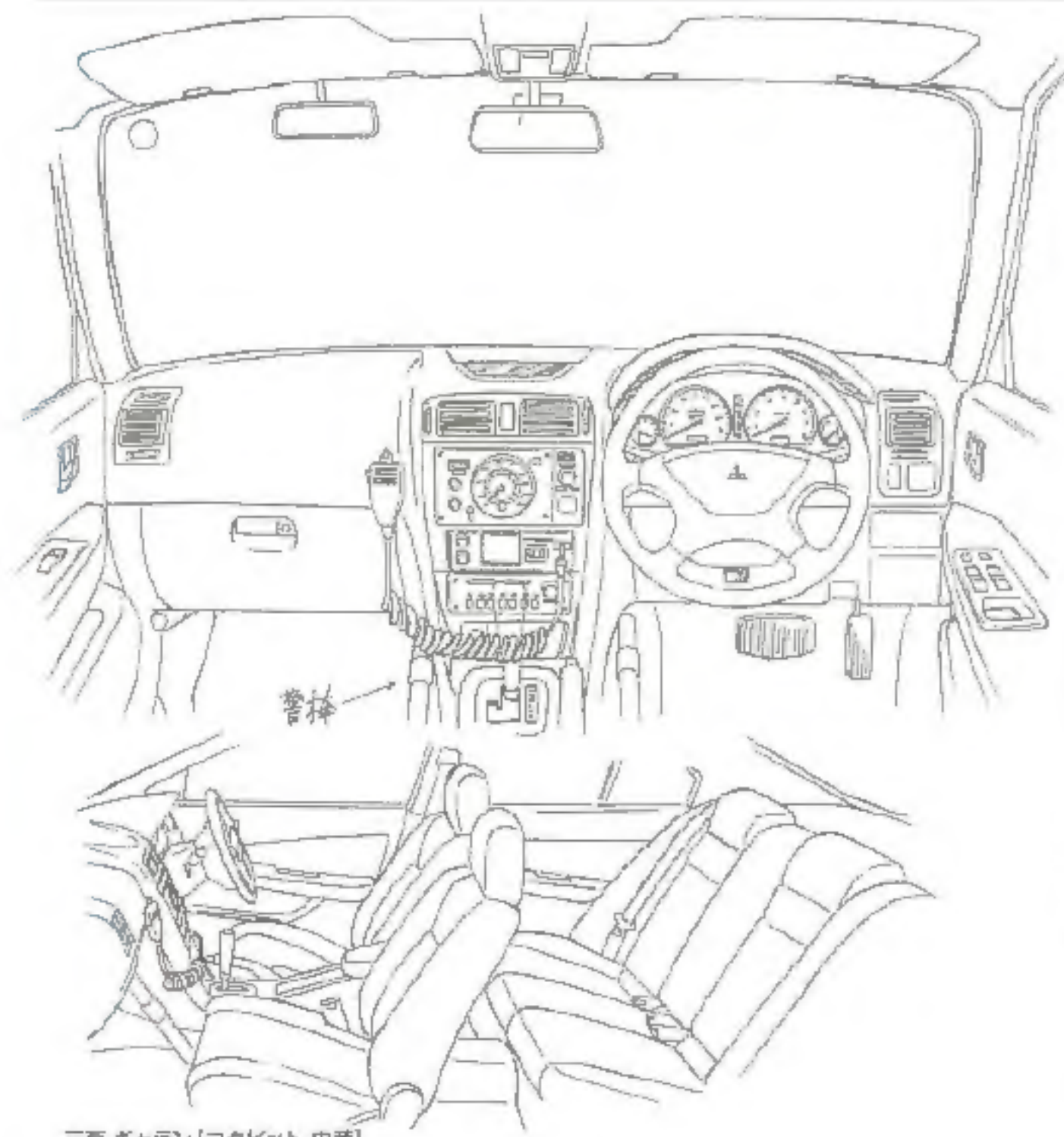
1996.9.18
by T. MURATA

パトカー コクピット

(参考図面)



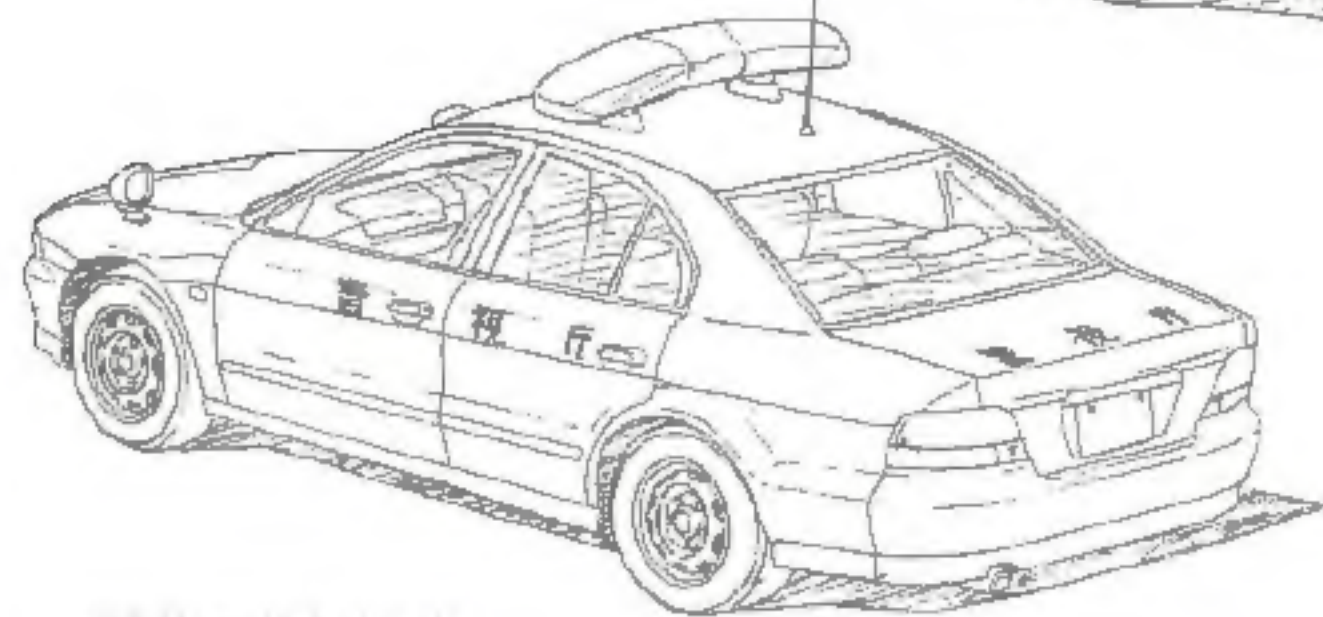
1996.10.13 by T. MURATA



三菱 ギャラン [コクピット、内装]



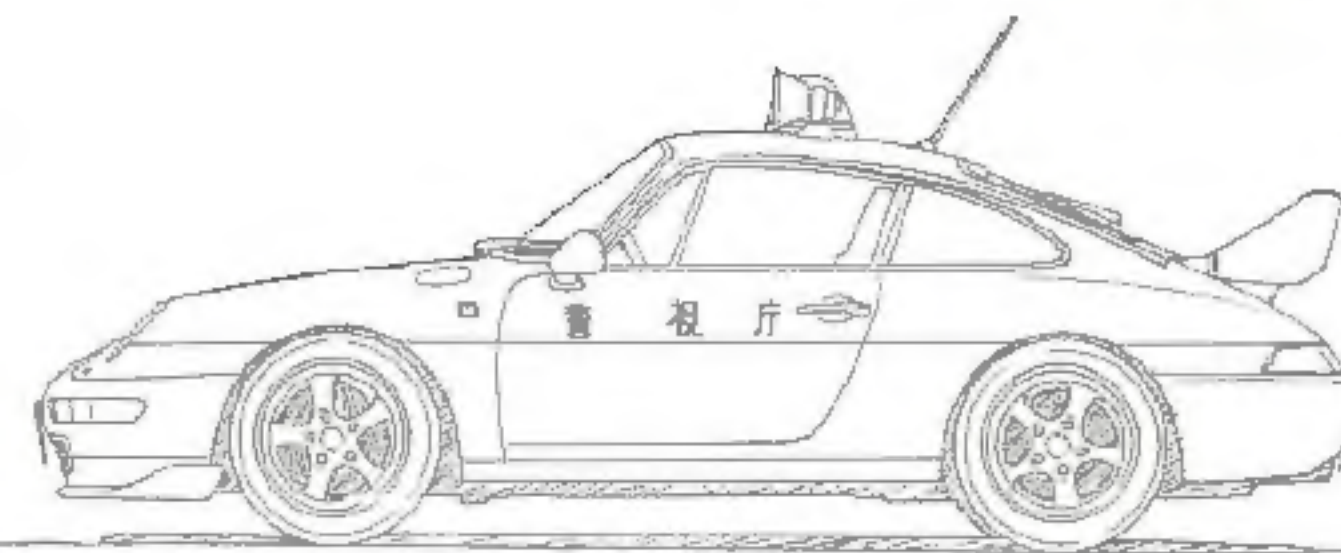
V字パトライト



1995.9.18
by T. MURATA

三菱 ギャラン (V字パトライト)

相模大野のパトカー



ホンダ Civic

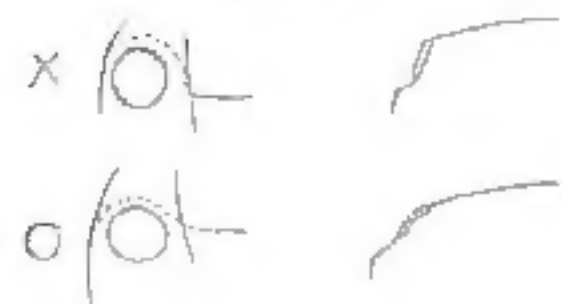
1996.10.13 by T. MURATA

相模大野のパトカー

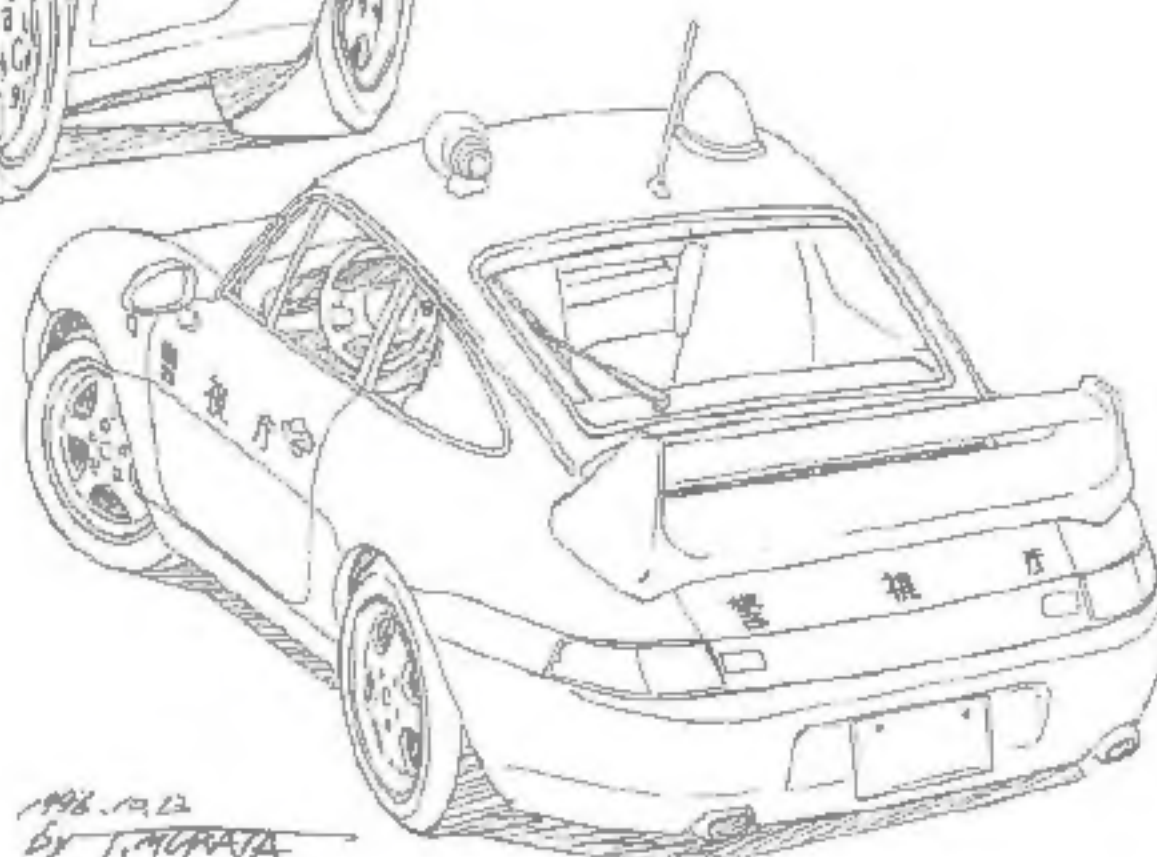
ホンダ Civic GT2 (白)



フロント2" A立保旧型 (964) 9 12
白四35mm 12.5mm



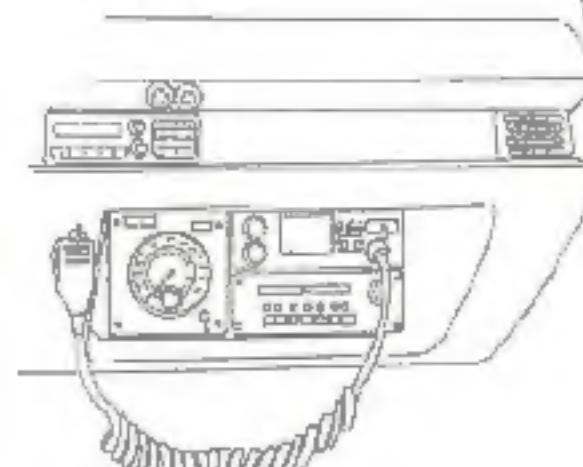
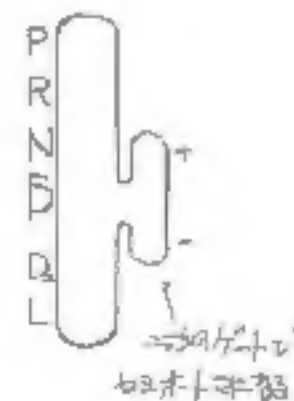
ホンダ Civic



1996.10.13
by T. MURATA

相模大野のパトカー

フロント



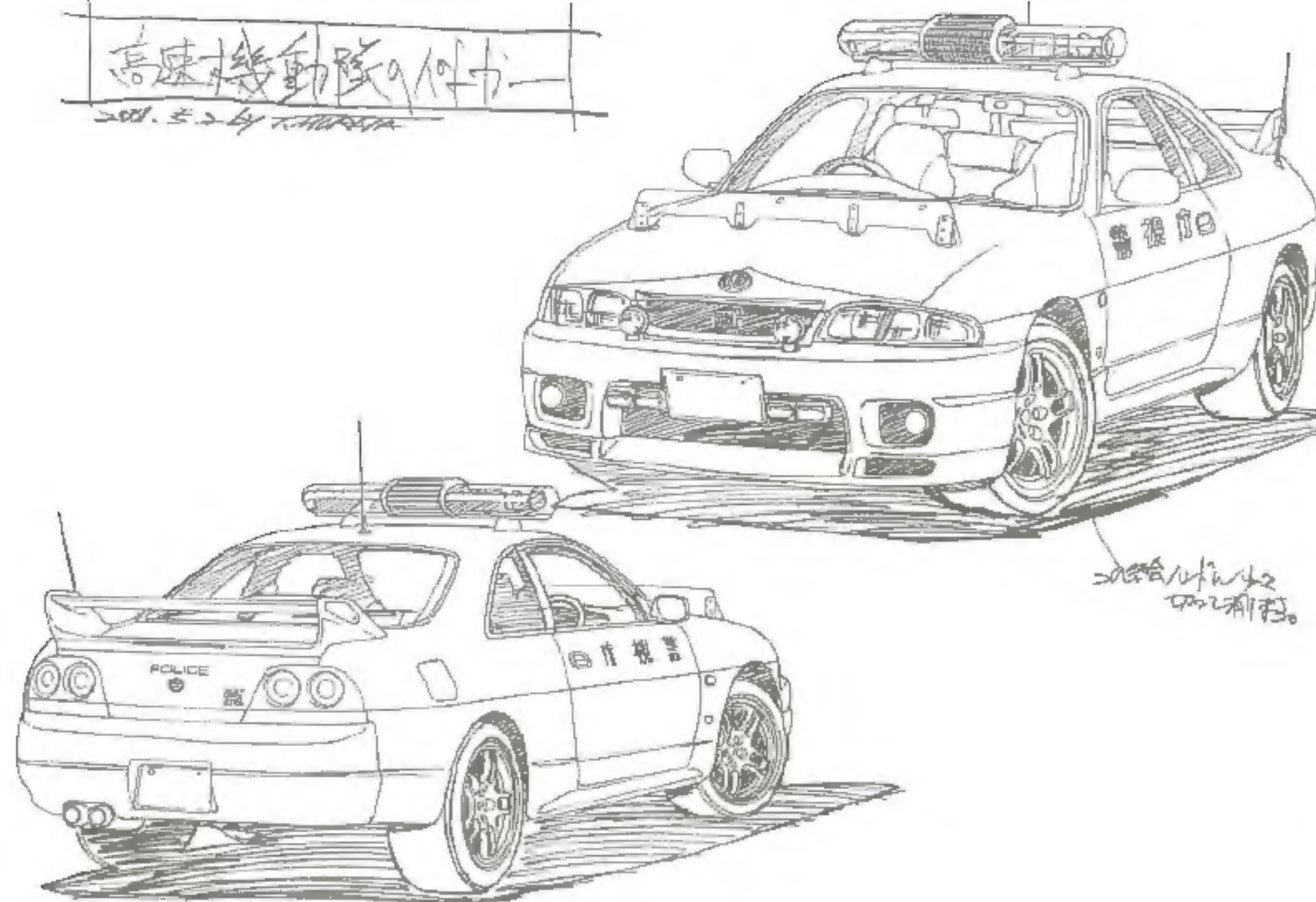
ホンダ Civic (コックピット)



相模大野

1996.10.13 by T. MURATA

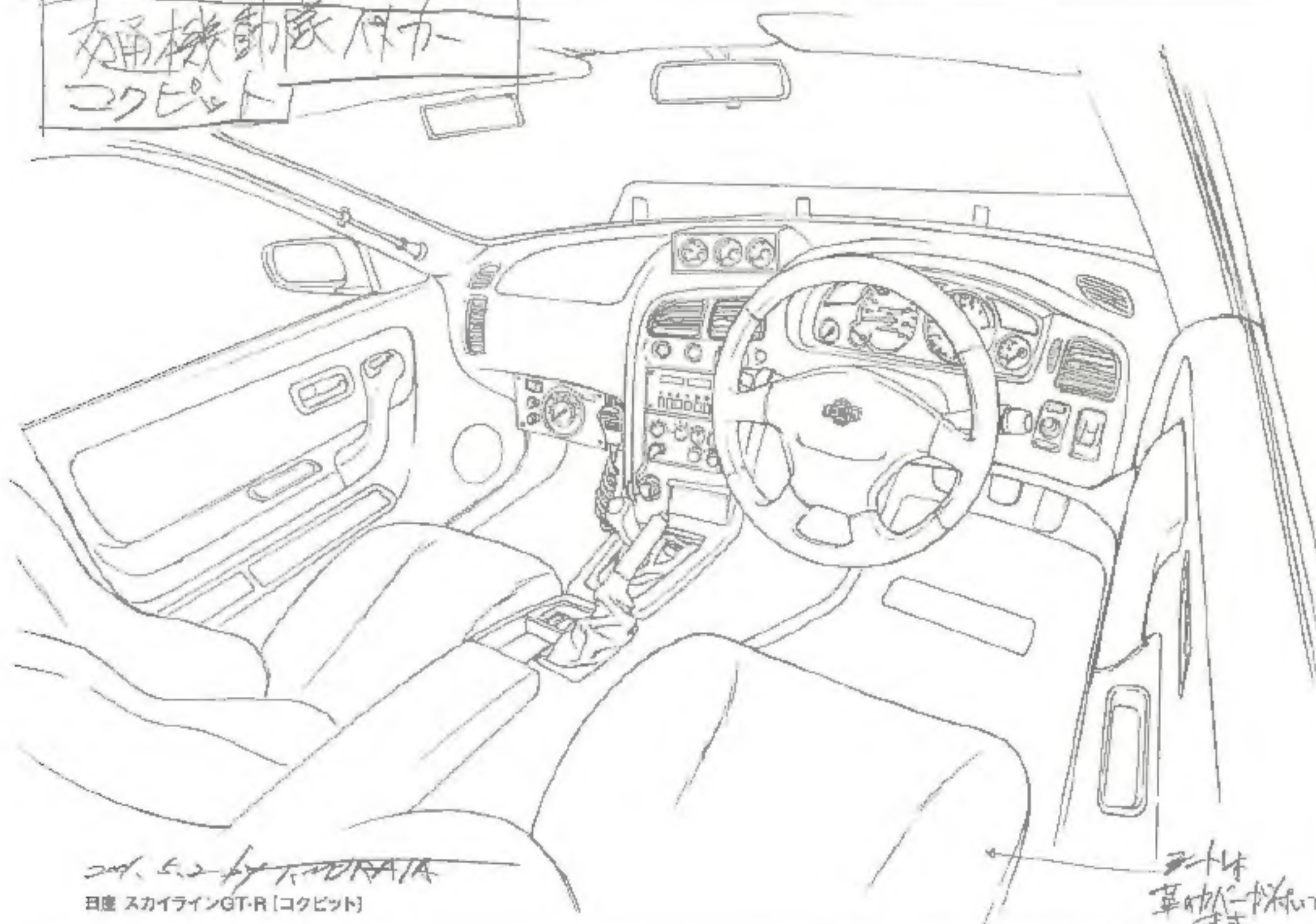
高速機動隊のバカー
2007.5.31 by T. MURATA



日産 スカイラインGT-R

12

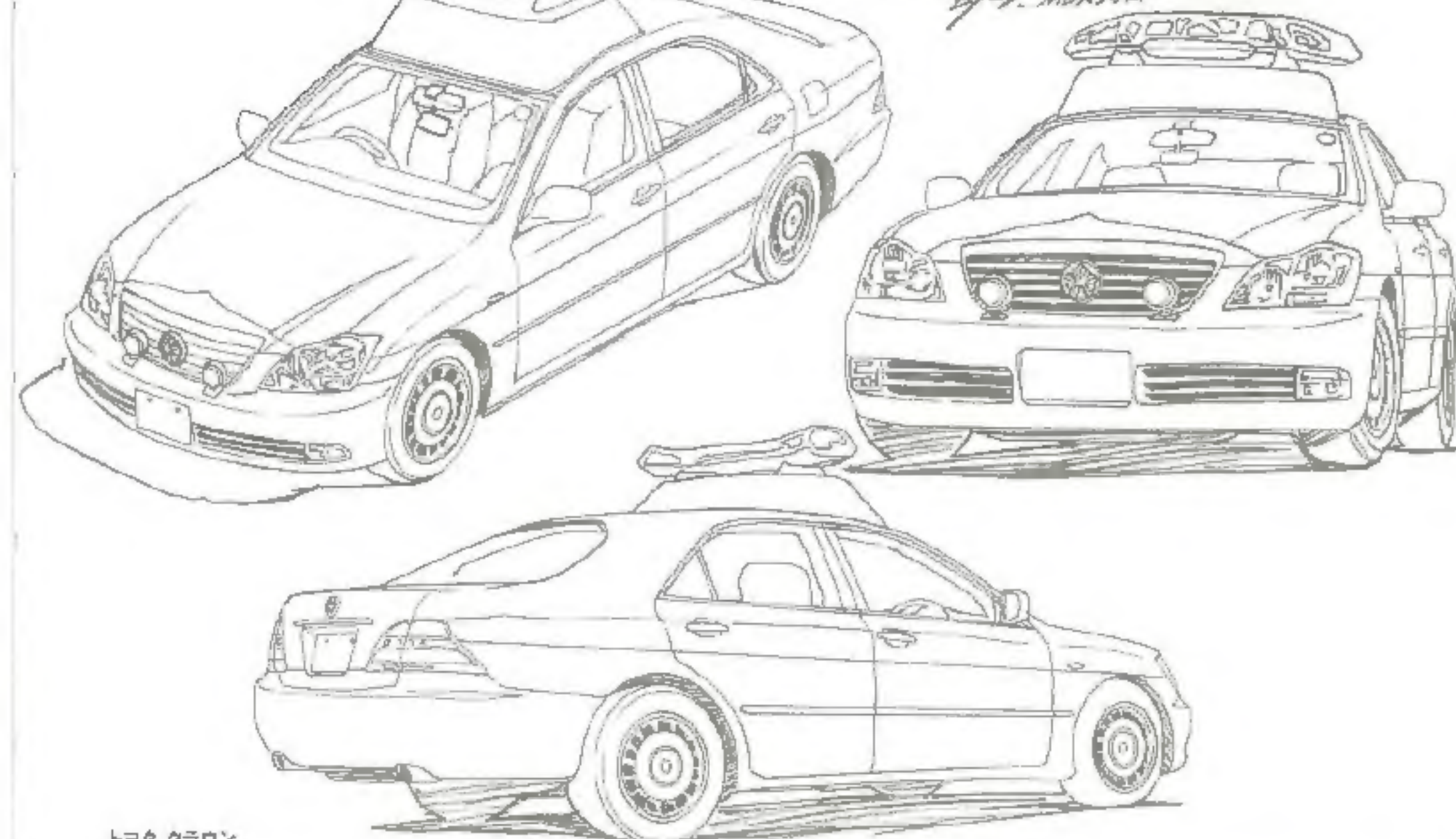
高速機動隊のバカー
コクピット



日産 スカイラインGT-R (コクピット)

2007.5.31 by T. MURATA

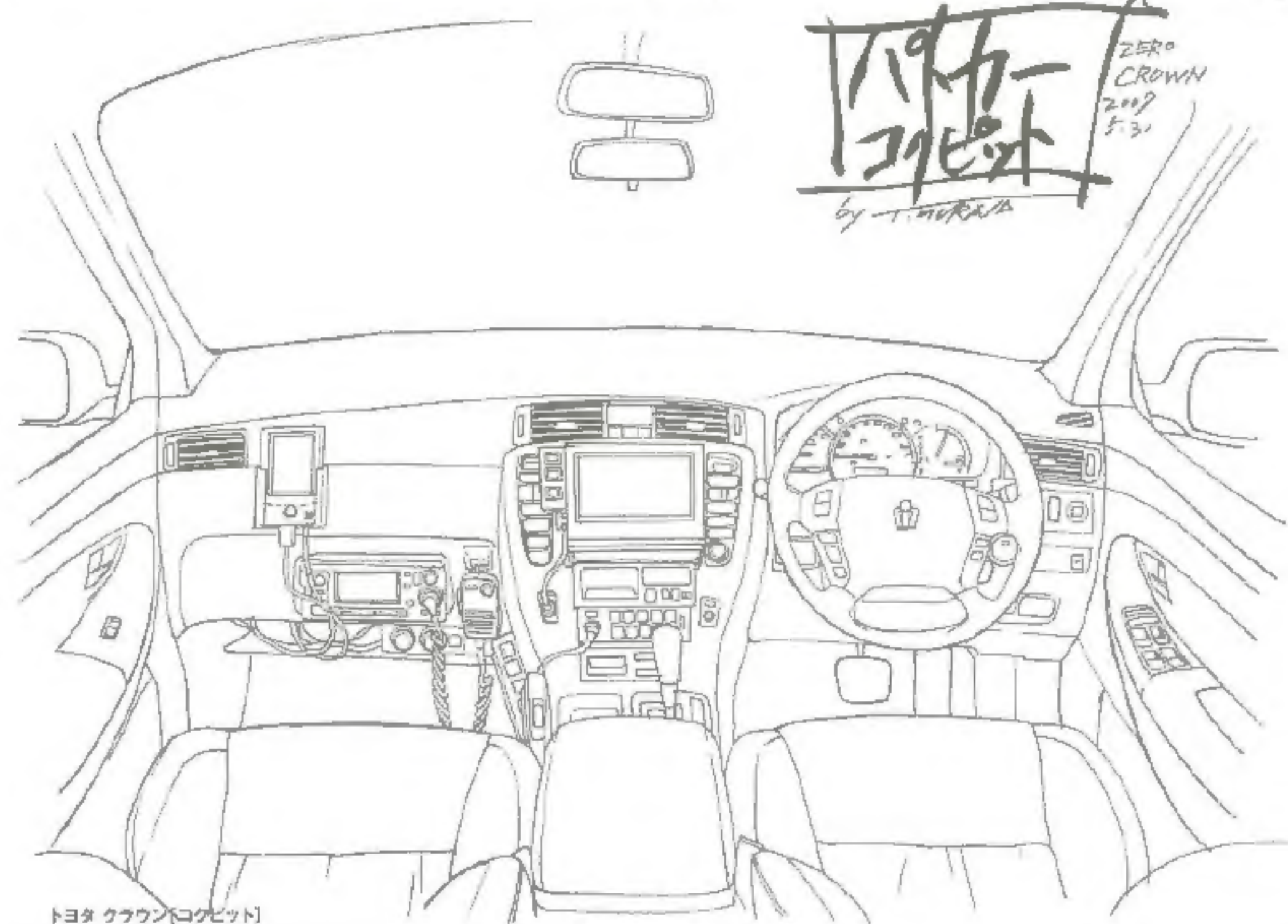
バカー ZERO CROWN
2007.5.31
by T. MURATA



トヨタ クラウン

13

バカー ZERO CROWN
2007.5.31
by T. MURATA



トヨタ クラウン (コクピット)

S=1Pト

・親子等通常23を使用しず。



最上型アセリアン市販車(全長1.9m)

(参考図)



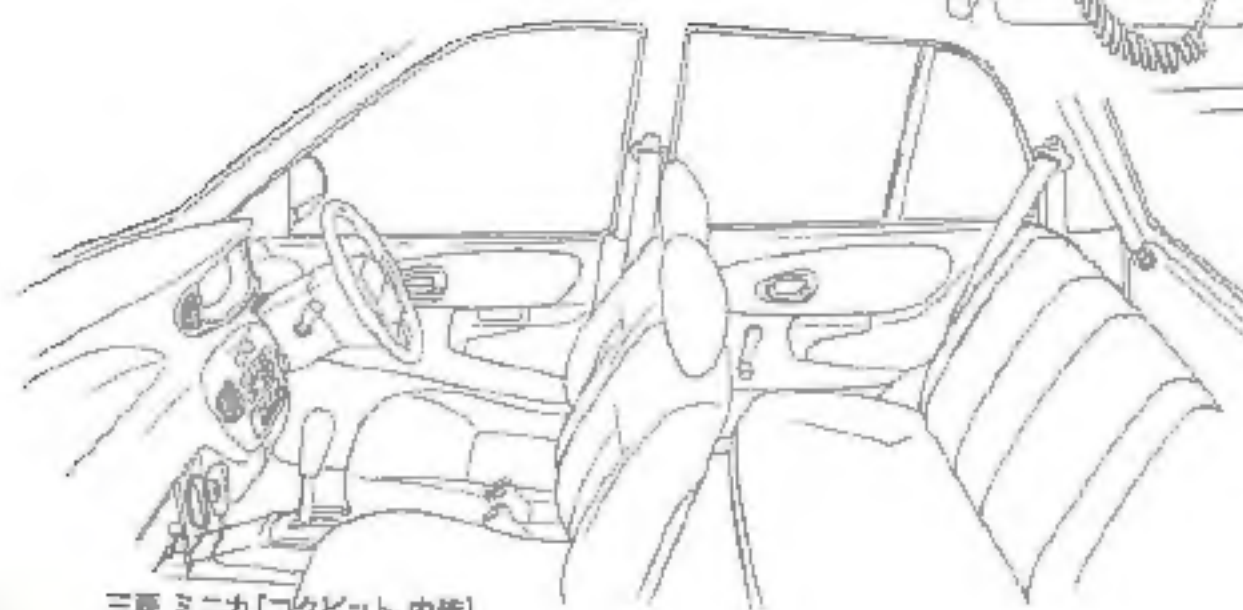
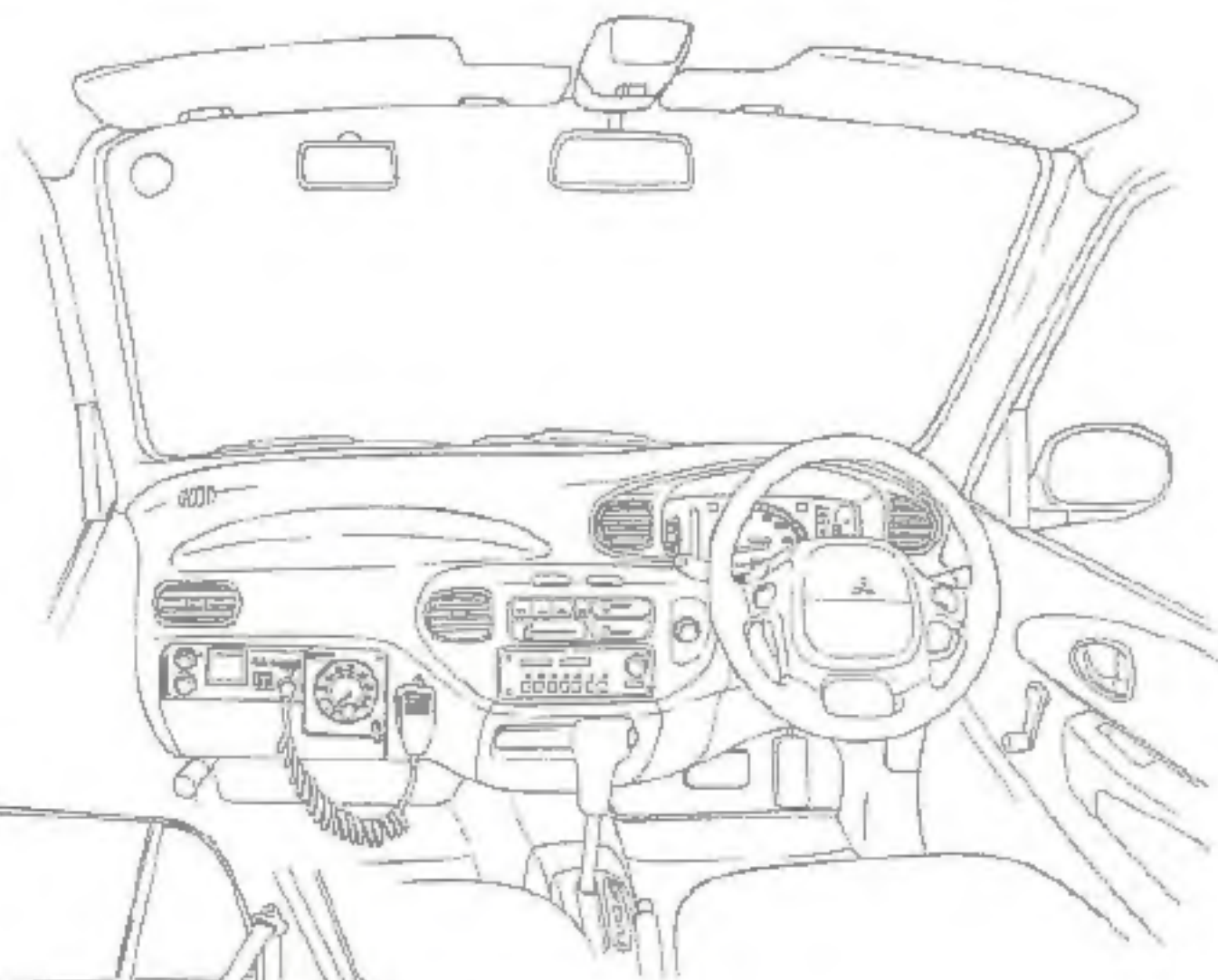
三菱 ミニカ

1998. 8. 19
by T. MURATA

14

ミニカコクピット

・無線機等は基本的に
TOYOTAと共通です。



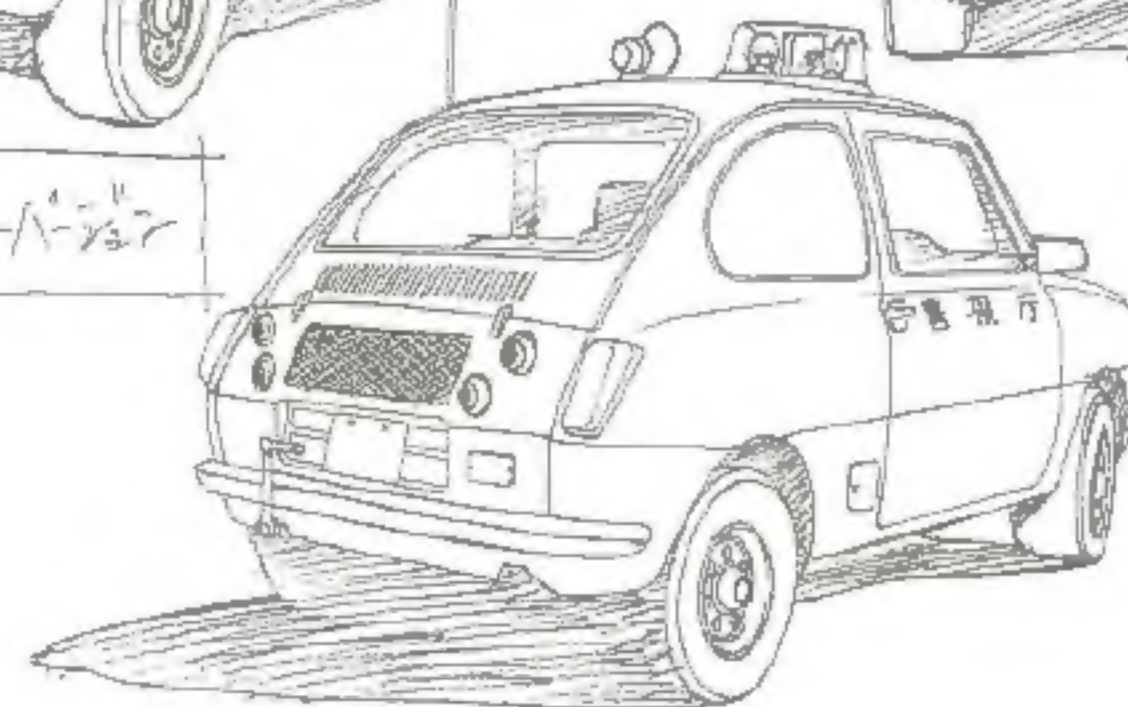
三菱 ミニカ [コクピット、内装]

1998. 10. 6 by T. MURATA



スバル R2 バイク-パトロール

1992. 4. 10 by T. MURATA

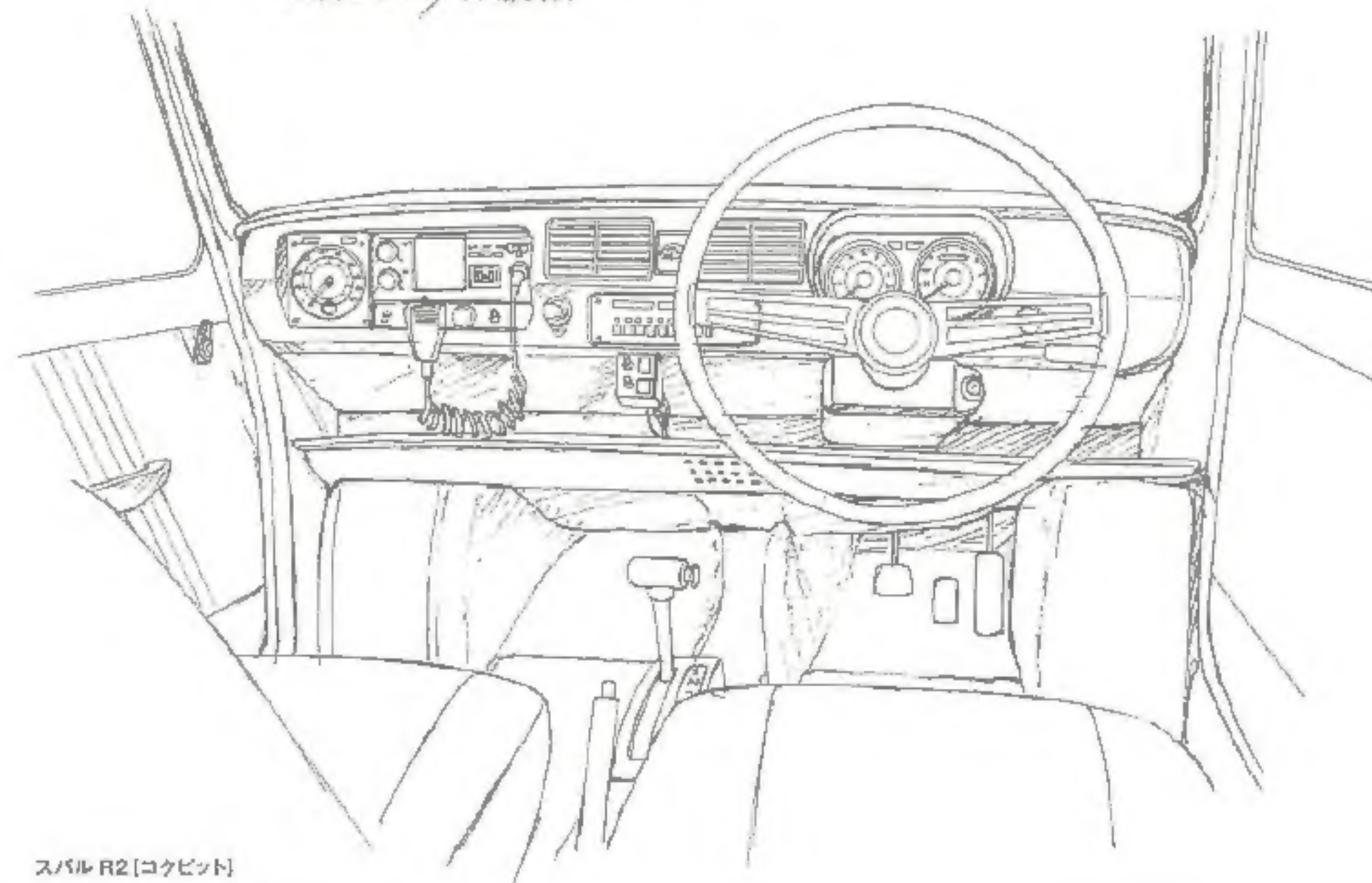


スバル R2

15

R2 バイク-コクピット

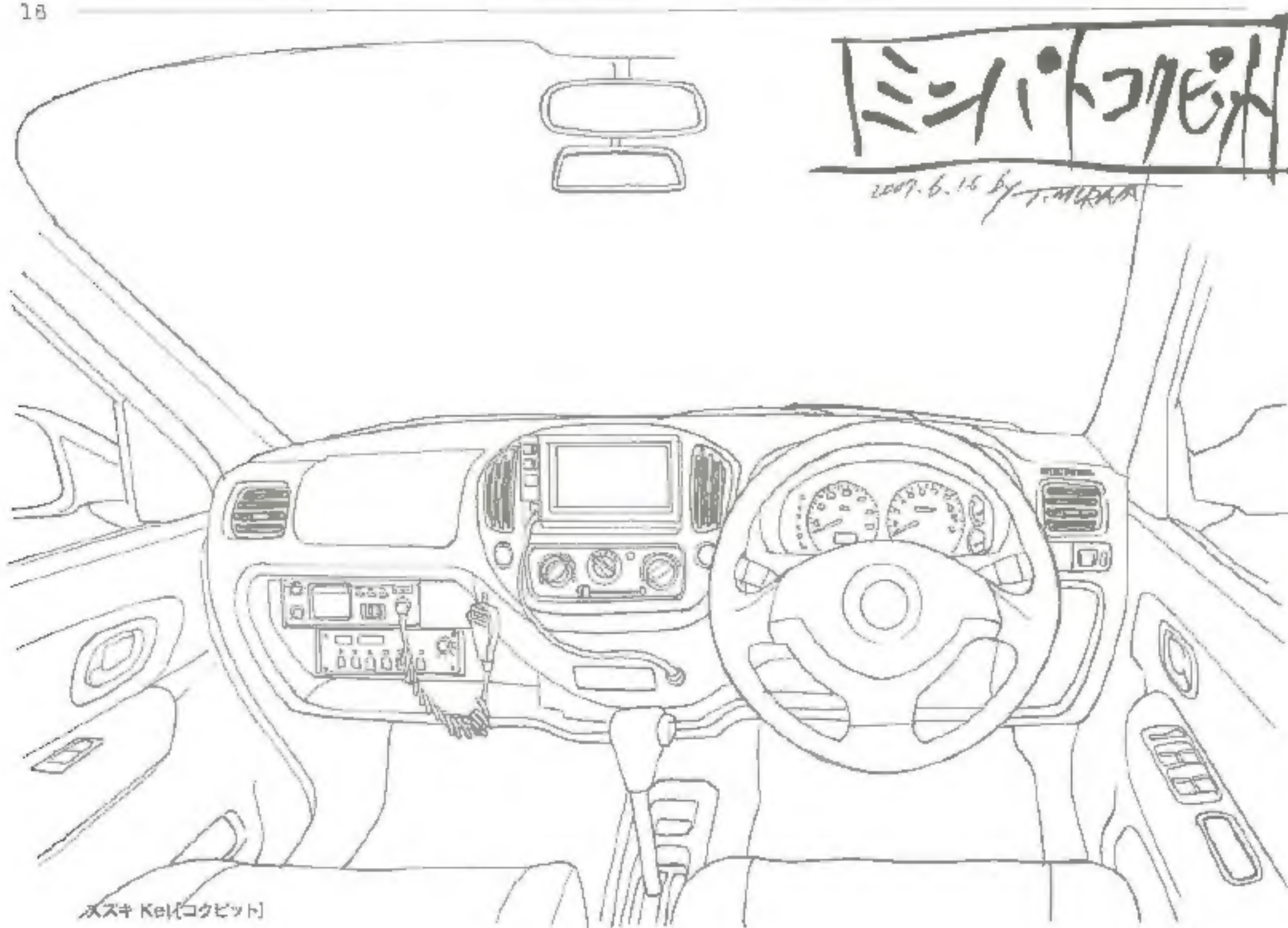
1997. 3. 10 by T. MURATA



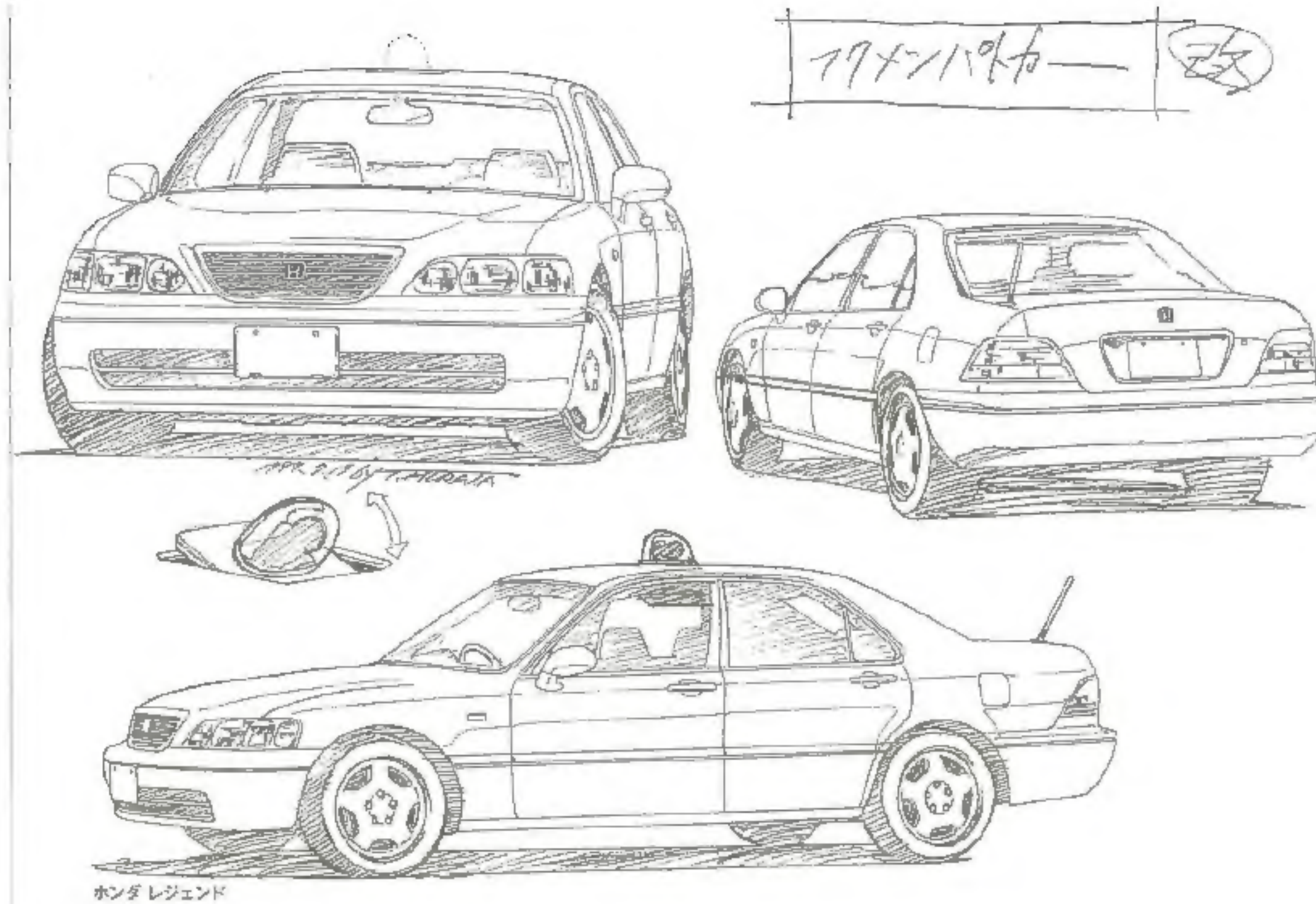
スバル R2 [コクピット]



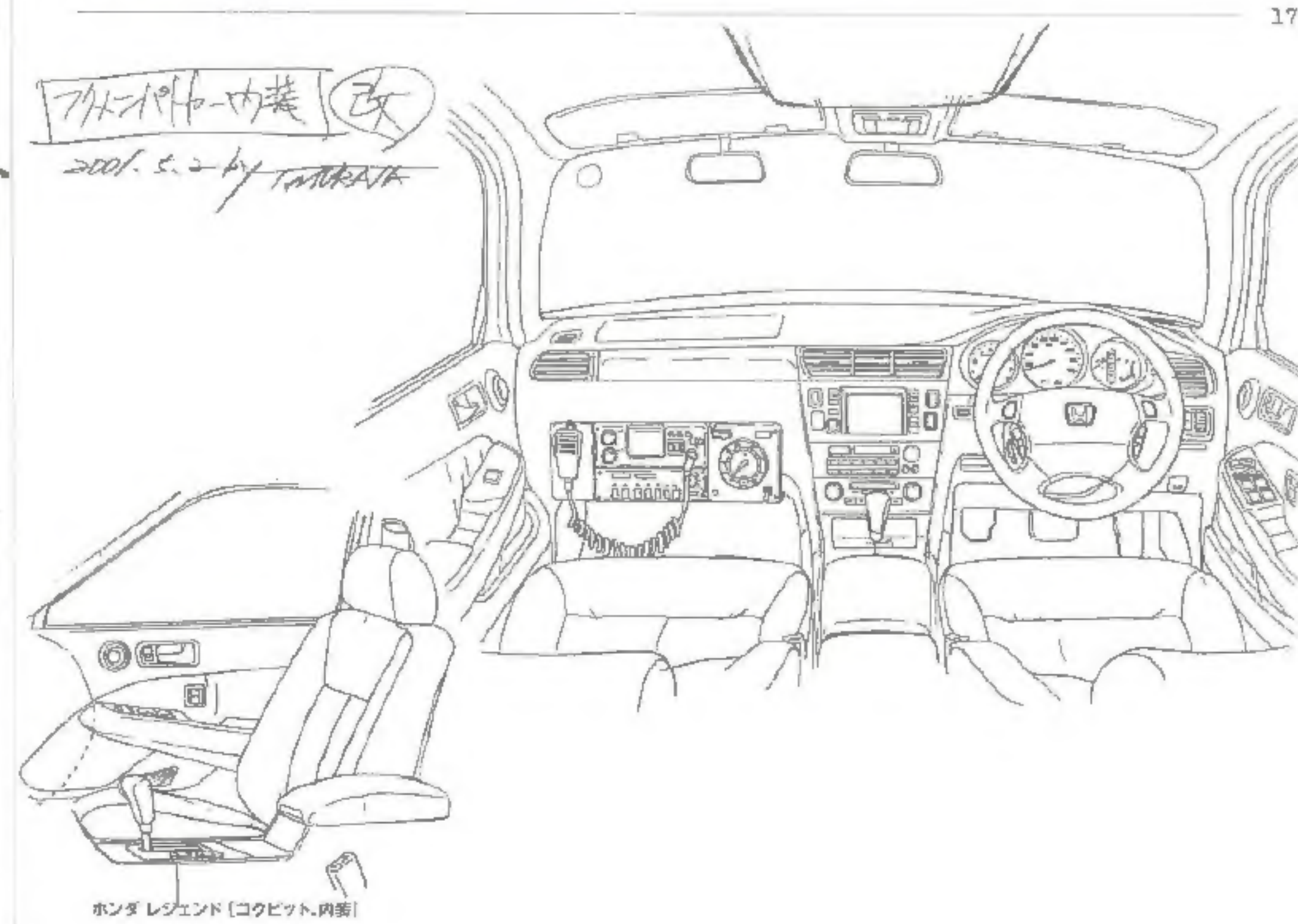
スズキ Kai



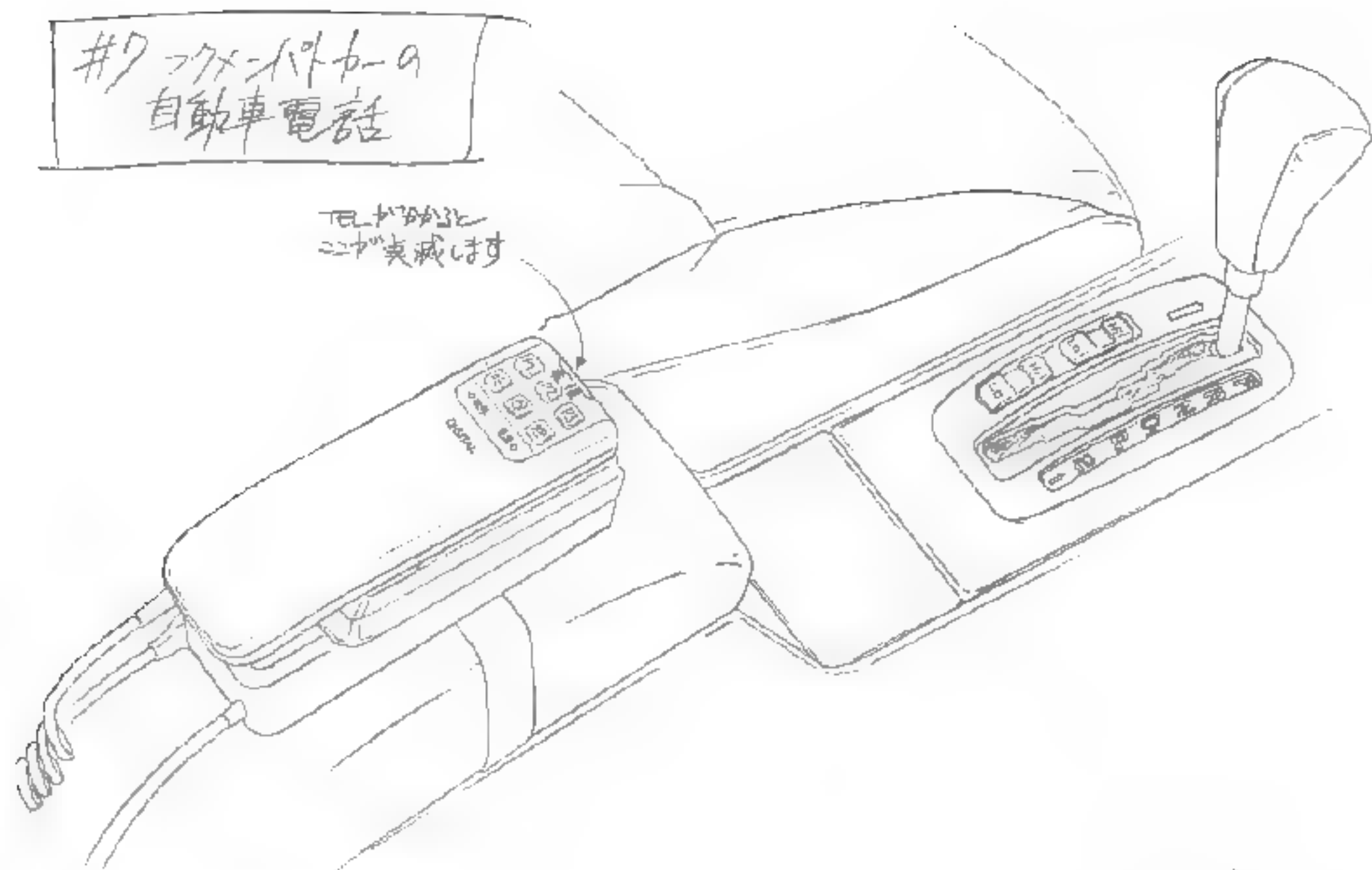
スズキ Kai [コクピット]



ホンダレジェンド



ホンダレジェンド [コクピット、内装]



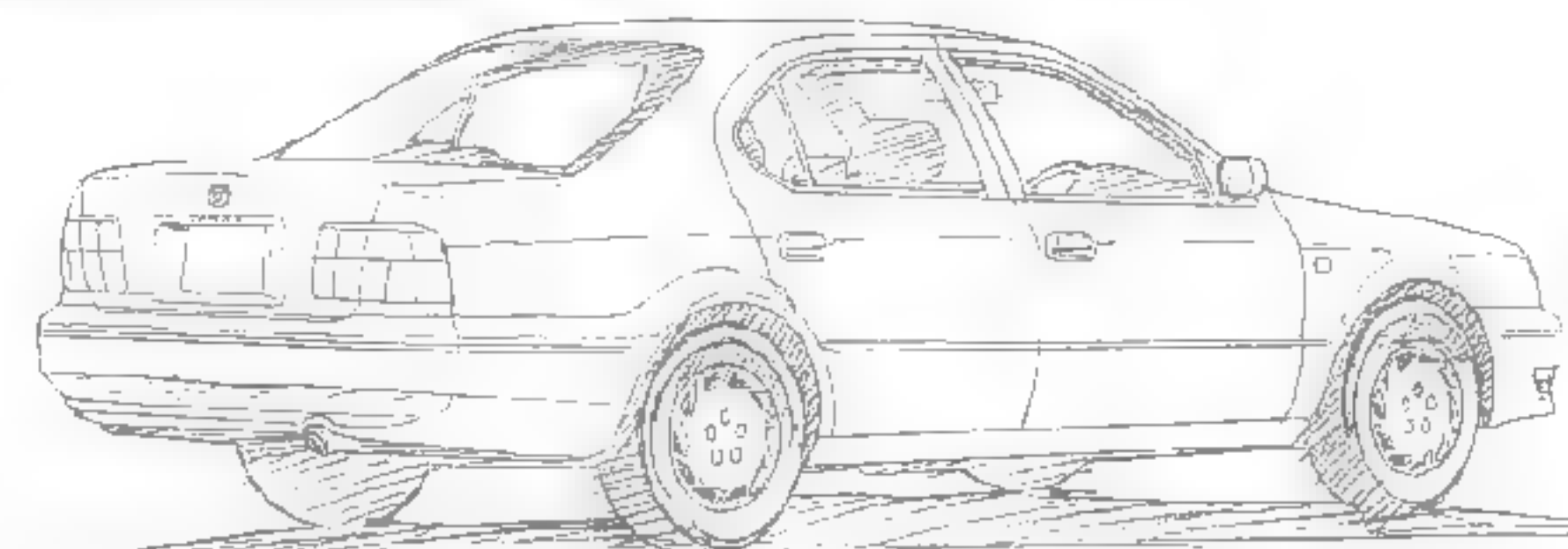
ホンダ レジェンド (自動車電話)

18

1996.9.18
by T. MORATA



トヨタ カムリ



19

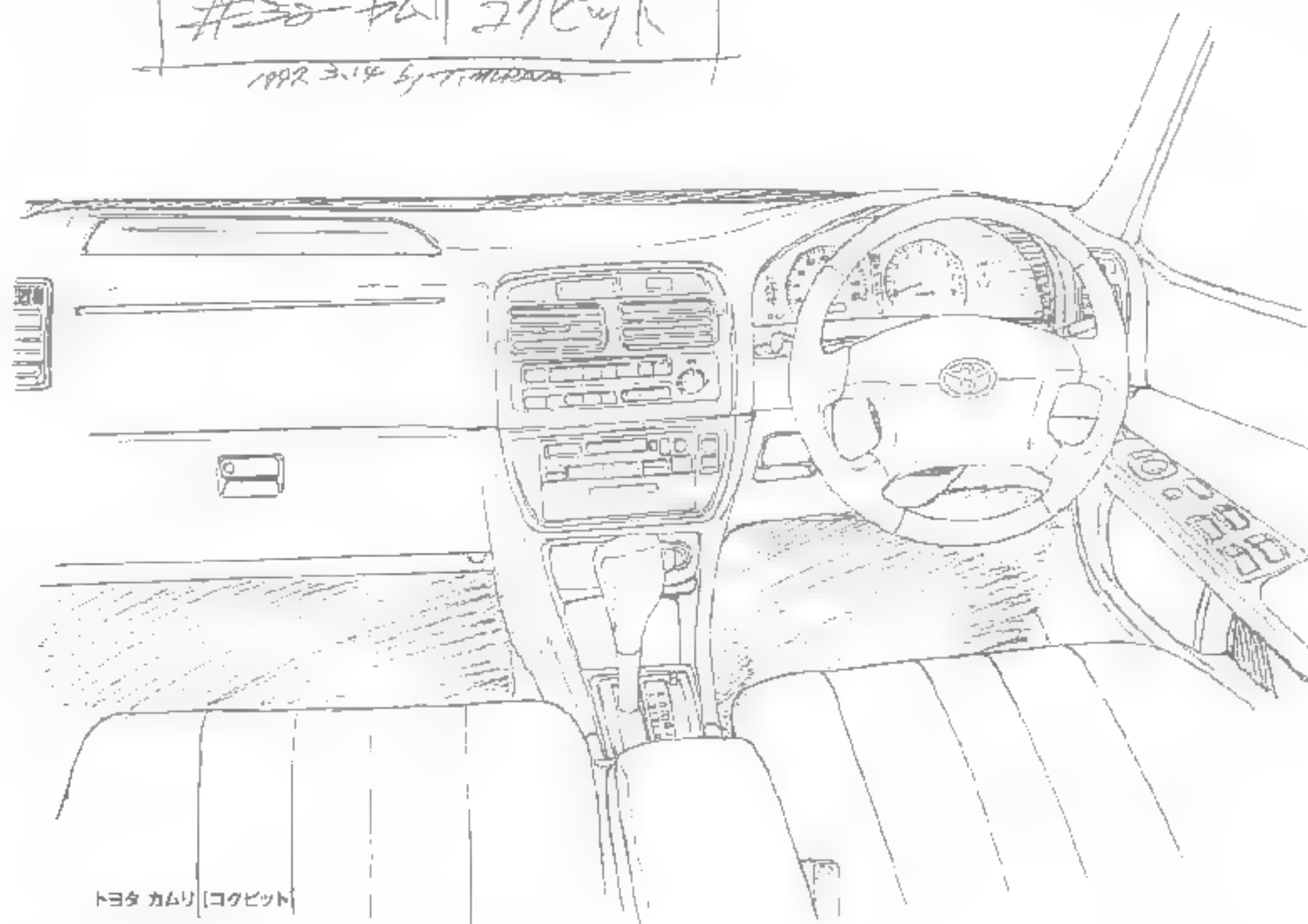


LAPD 04-1
2002.1.1 by T. MORATA



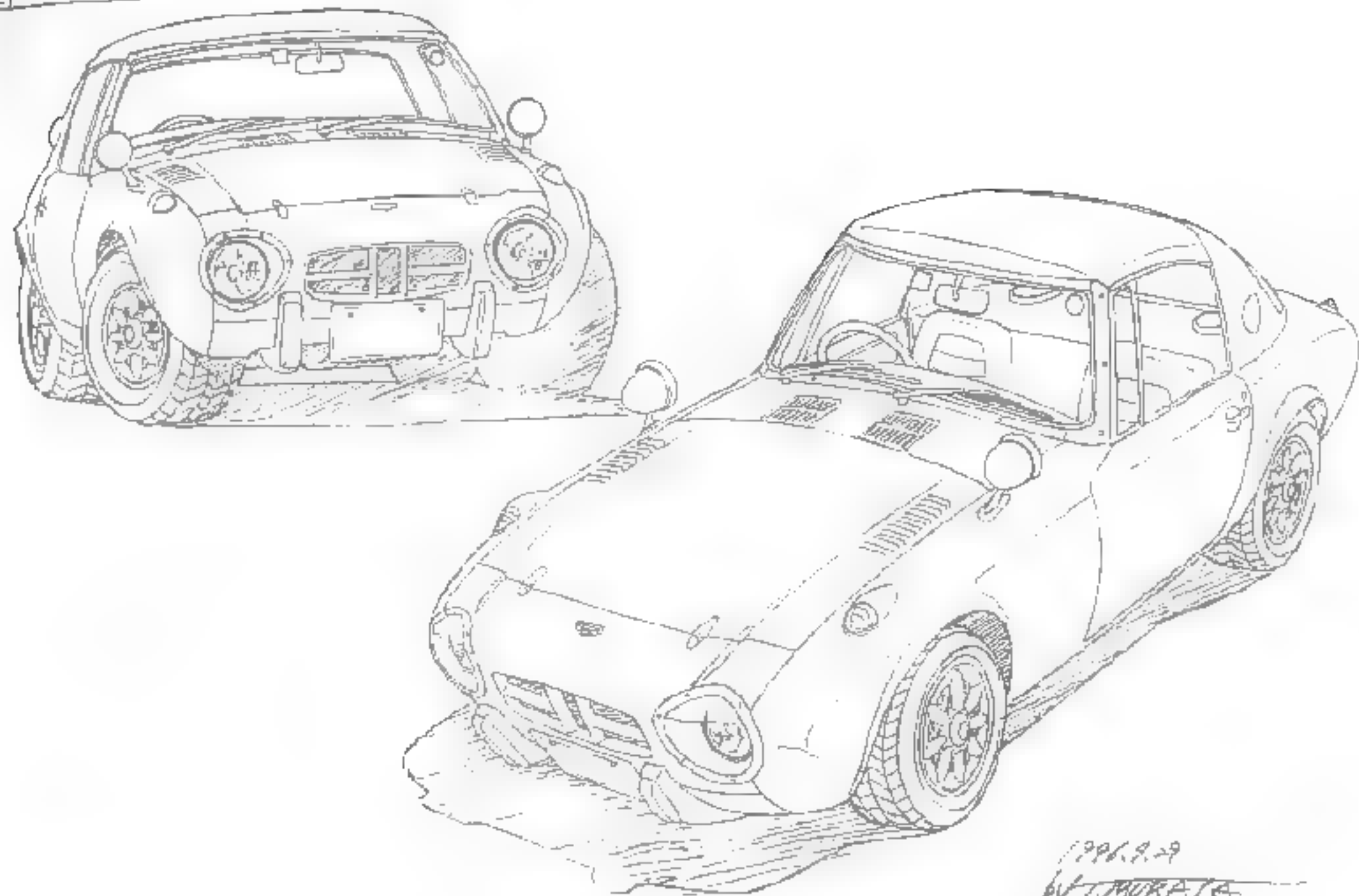
フォード クラウンビクトリア

#30-641 2700cc
1992.3.14 by T. MORATA



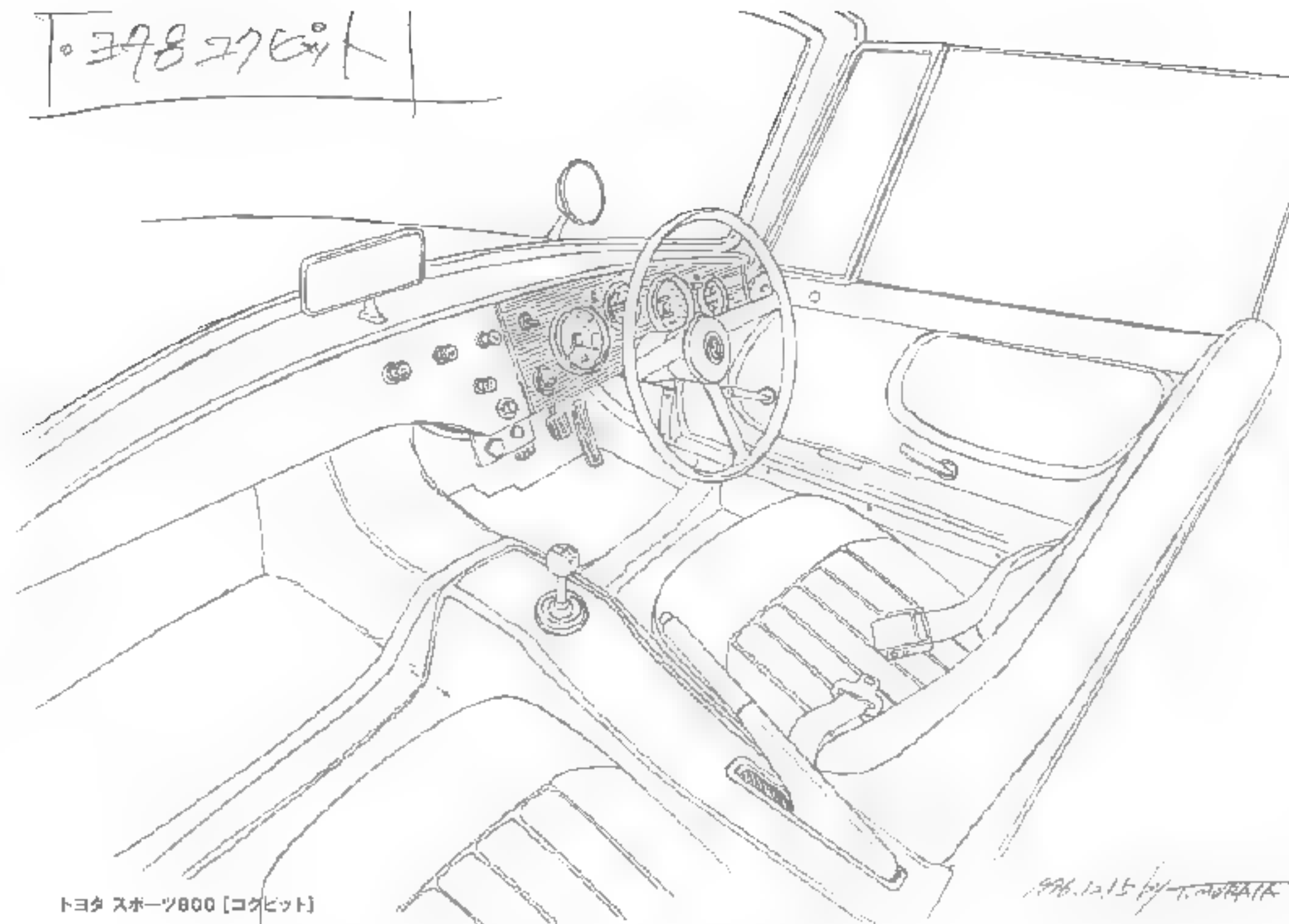
トヨタ カムリ (コクピット)

第9話 トヨタ スポーツ800



1996.9.29
by T. MURATA

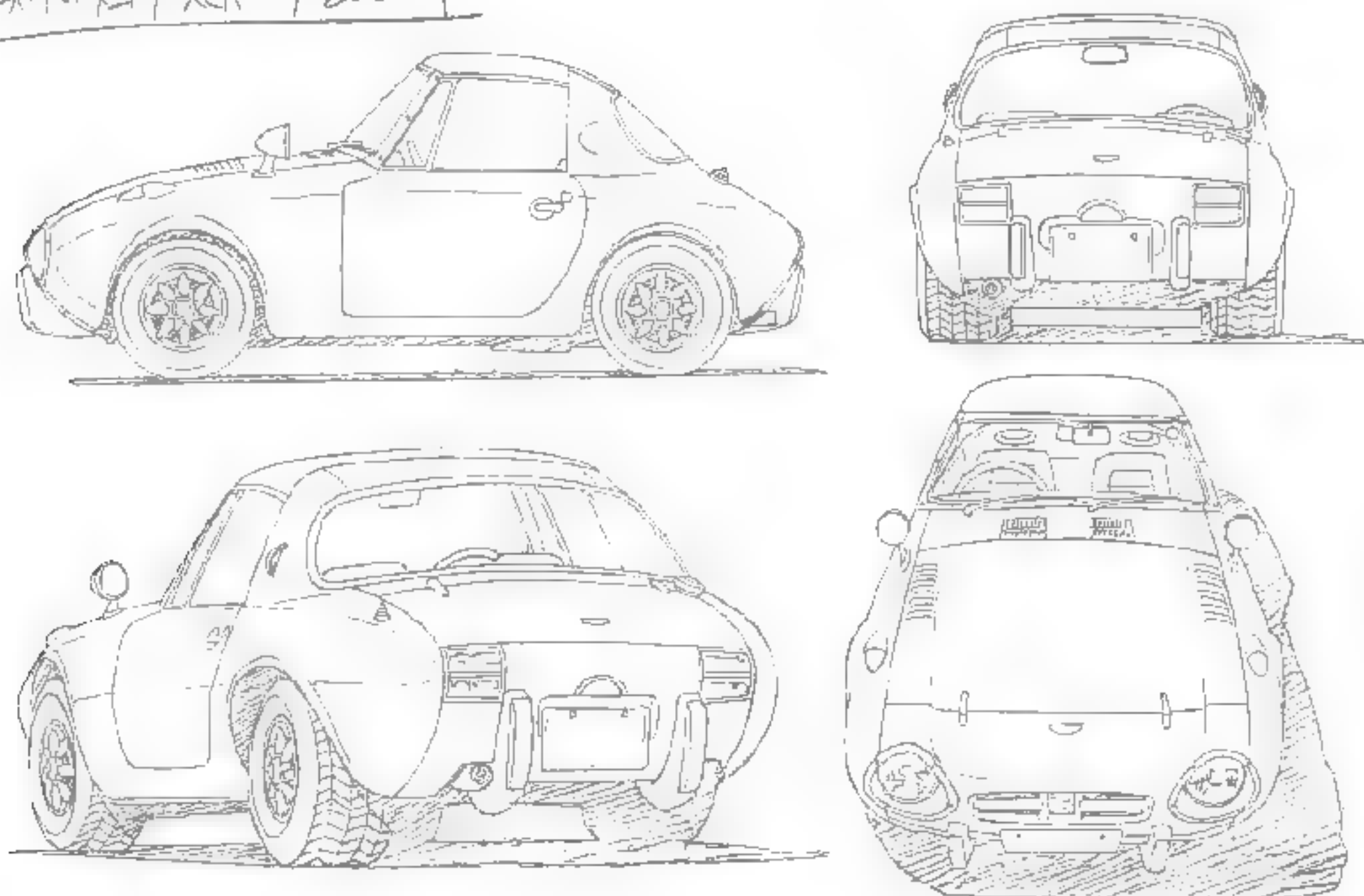
トヨタ スポーツ800



トヨタ スポーツ800 [コグピット]

1996.12.15 by T. MURATA

第9話 トヨタ スポーツ800



1996.9.29
by T. MURATA

トヨタ スポーツ800

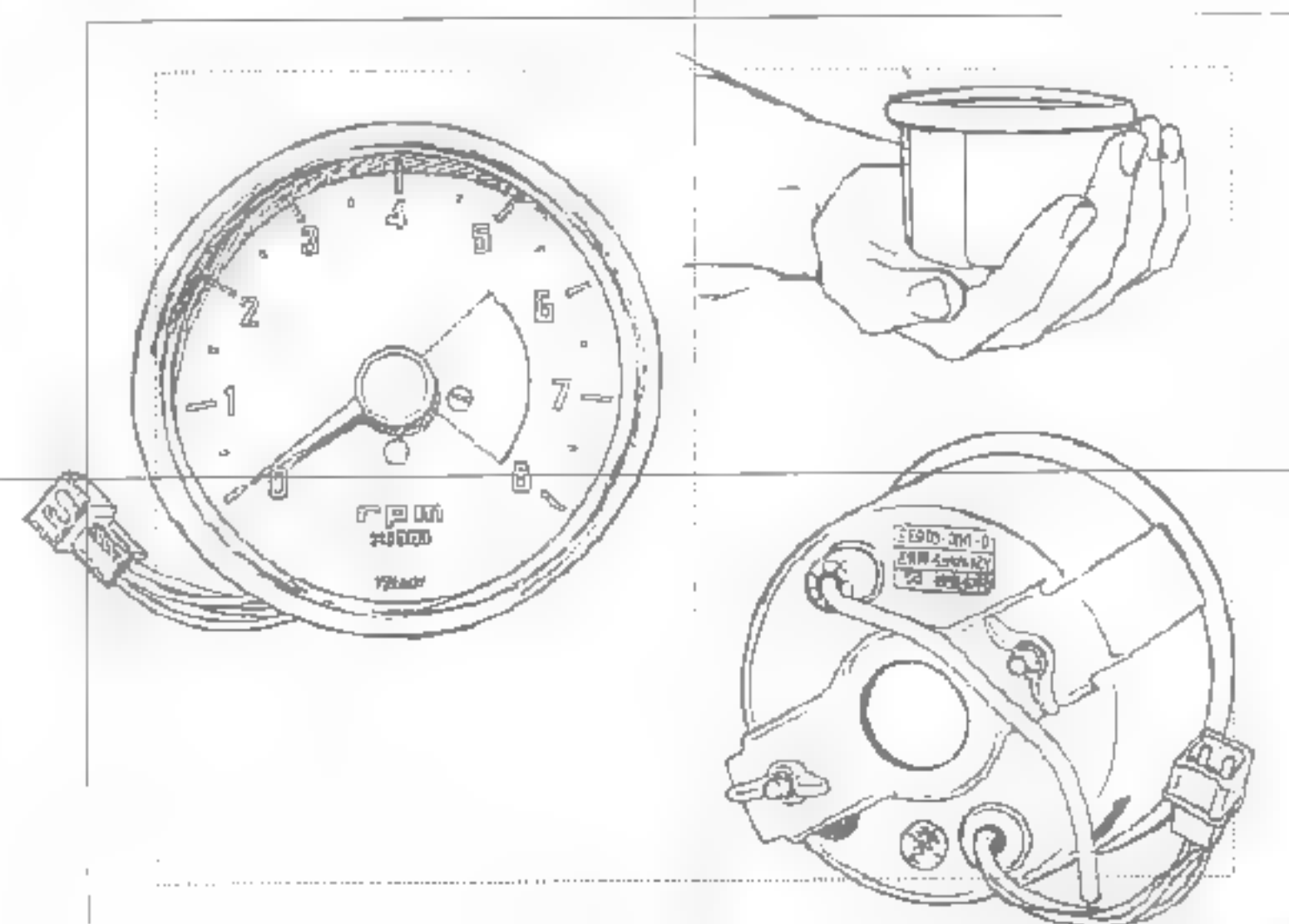
第

話

#9 トヨタ スポーツ800-9c

スタジオ デイーン

TIME (:)



1996.10.29 by T. MURATA

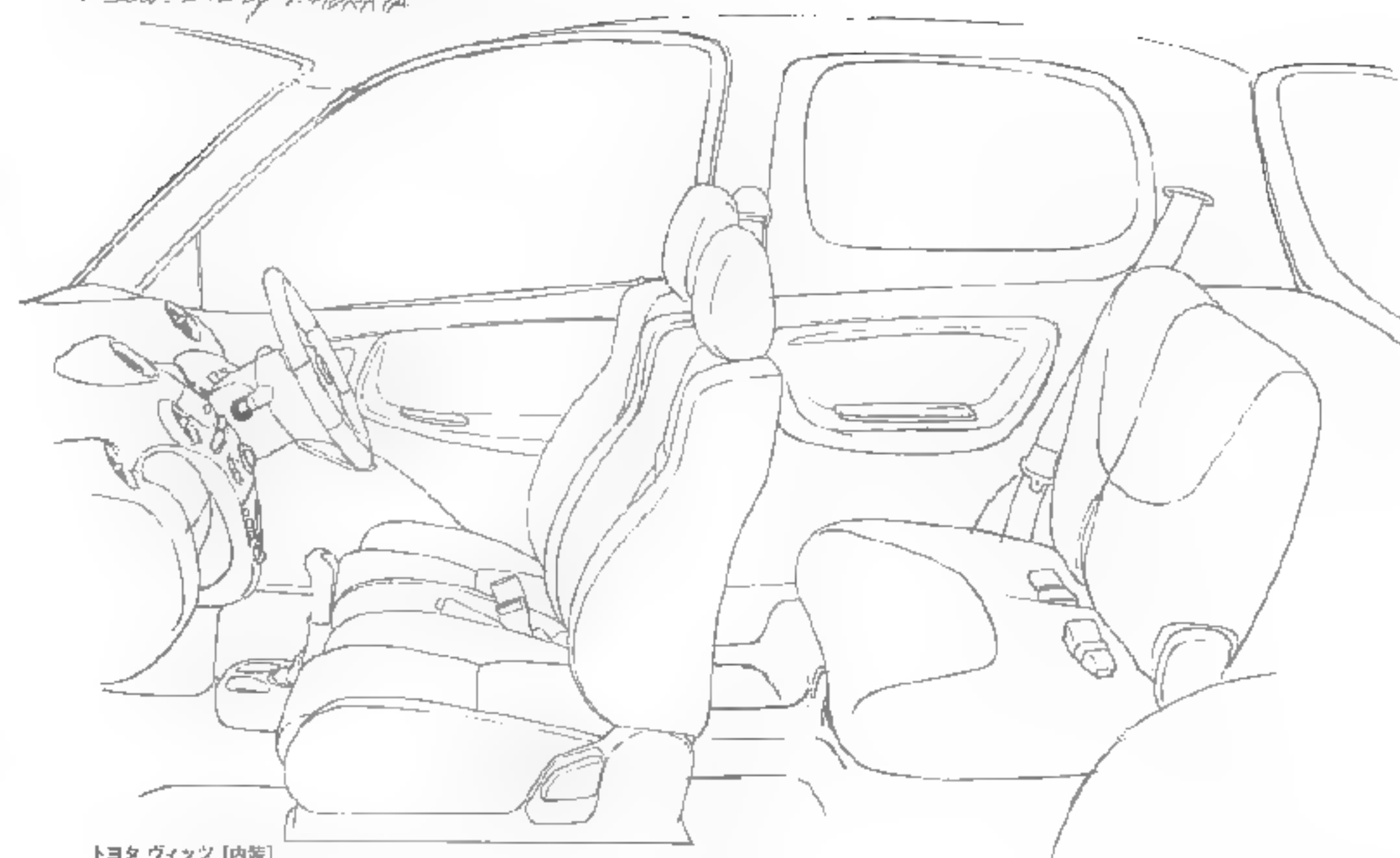
トヨタ スポーツ800 [タコメーター]

#6 小型車
2001.2.16 by T.MURATA

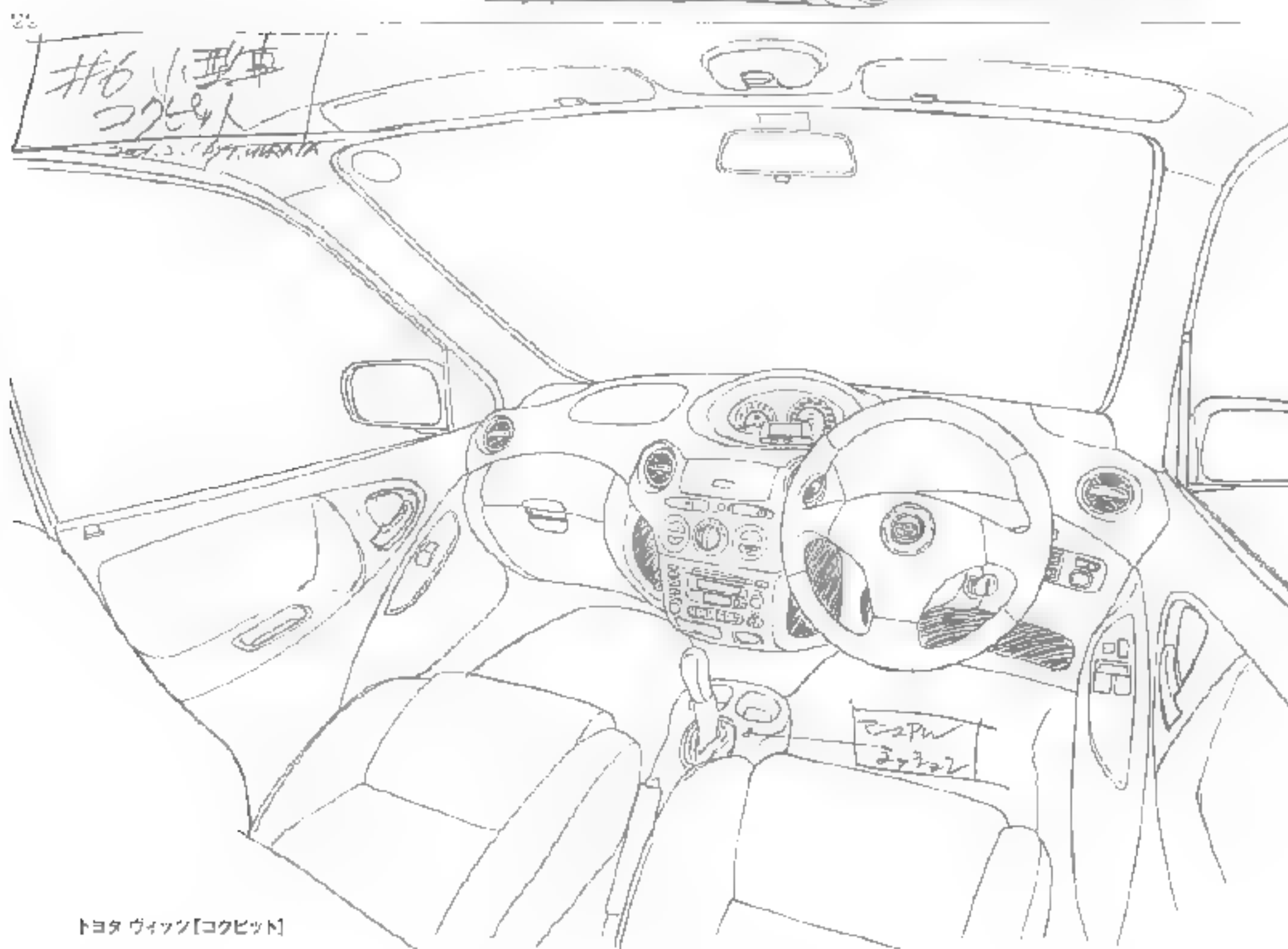


トヨタ ヴィッツ

#6 小型車
2001.2.16 by T.MURATA

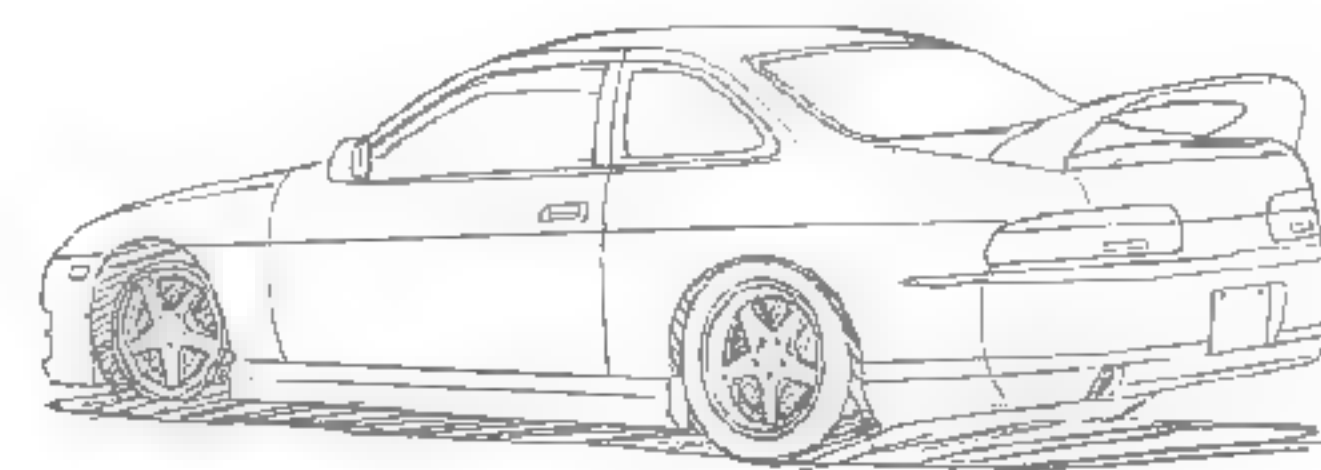
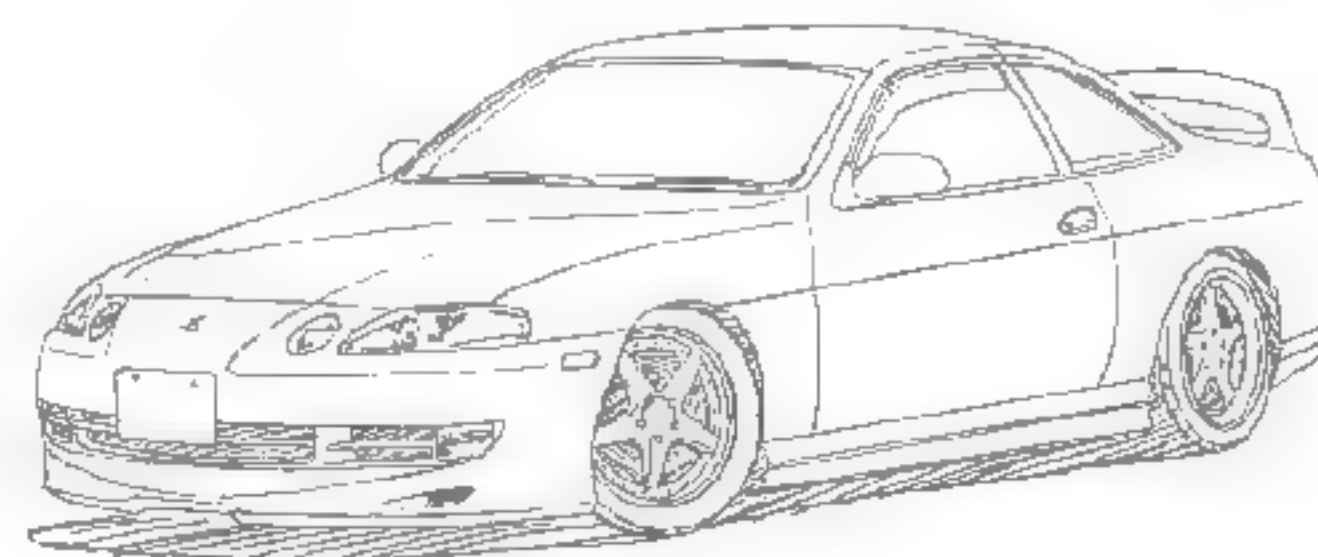


トヨタ ヴィッツ [内装]

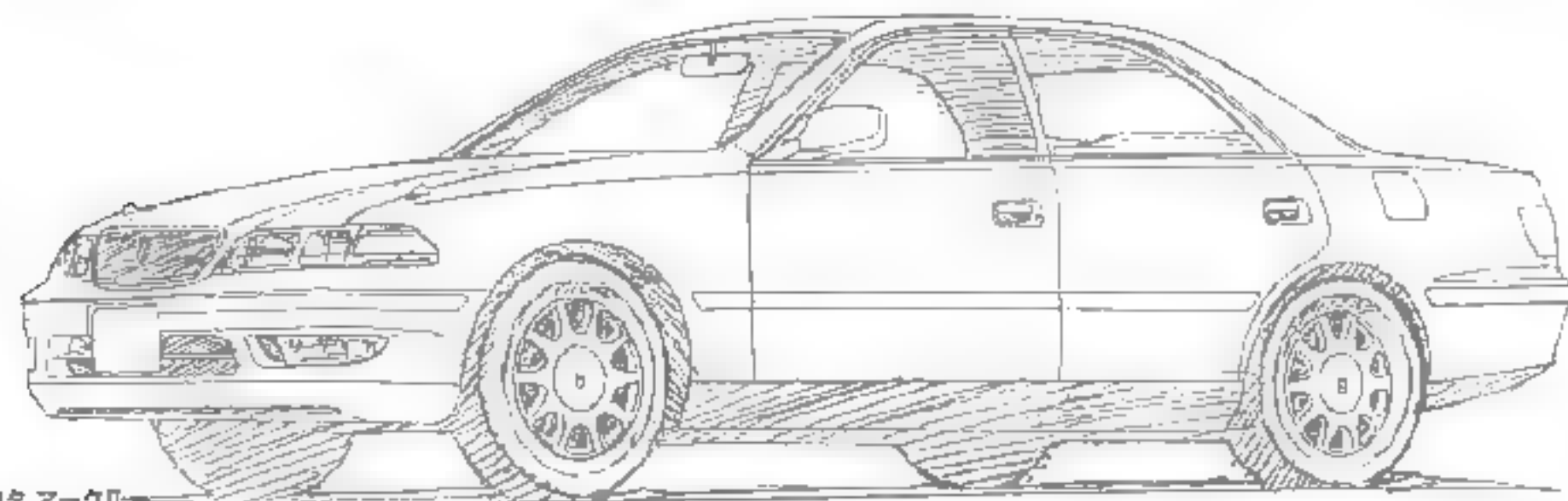
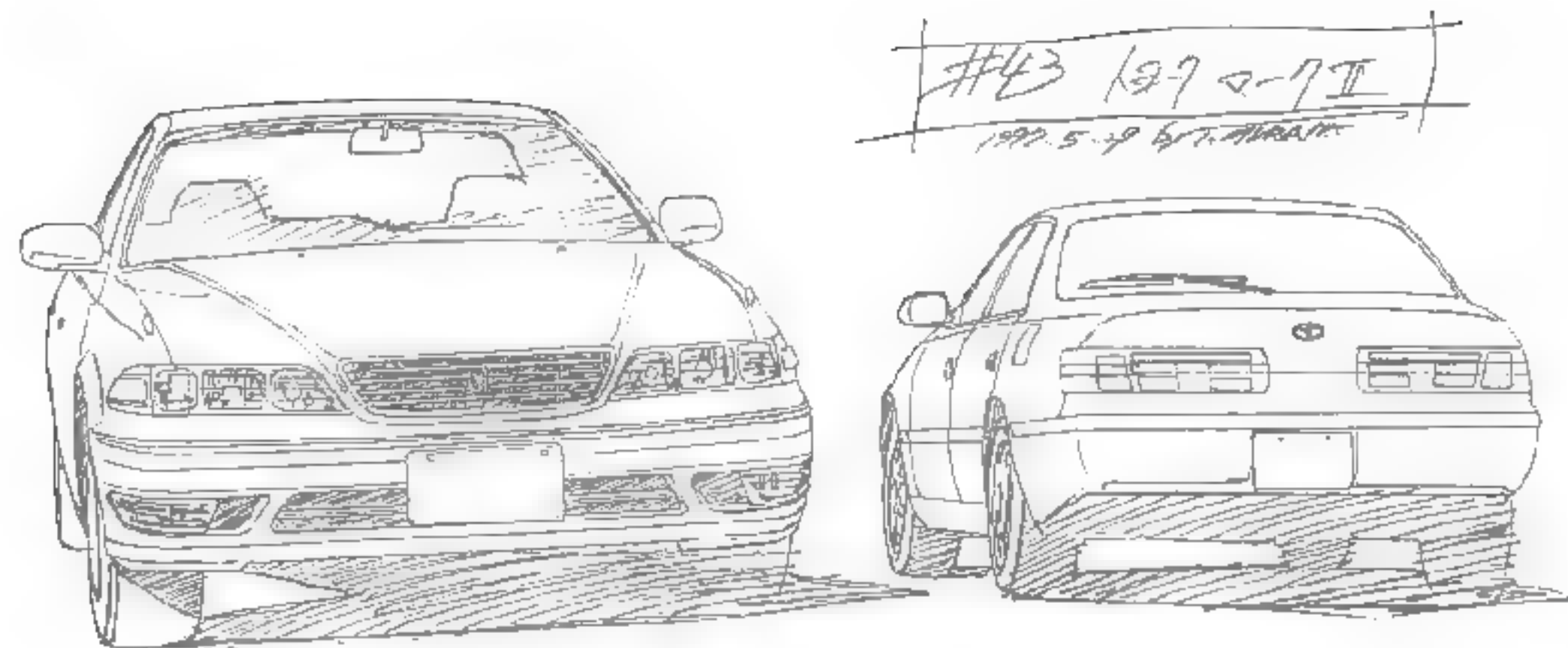


トヨタ ヴィッツ [コクピット]

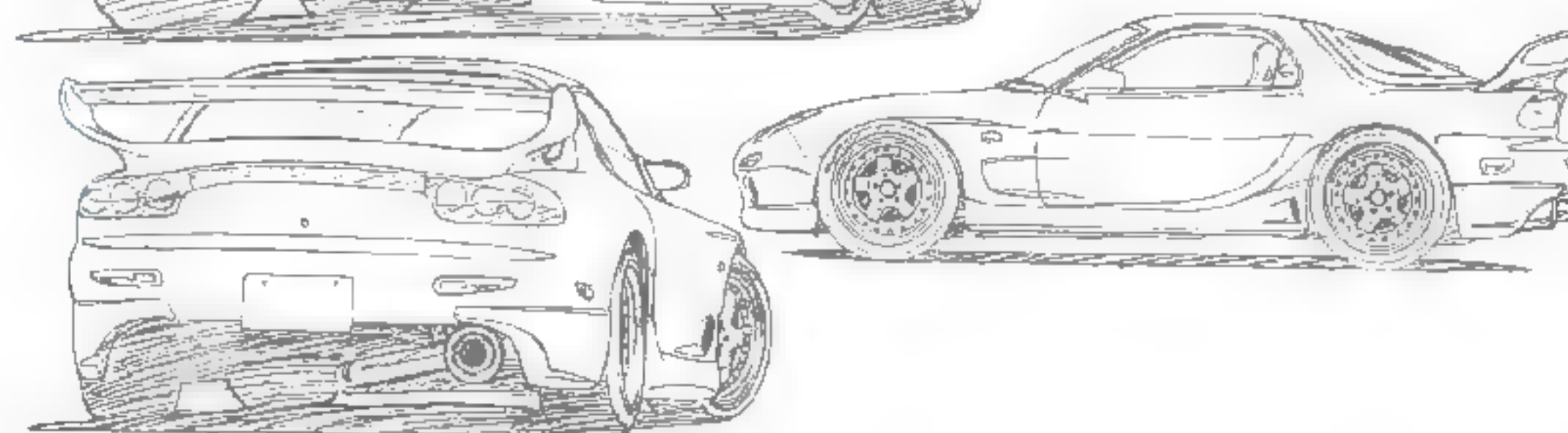
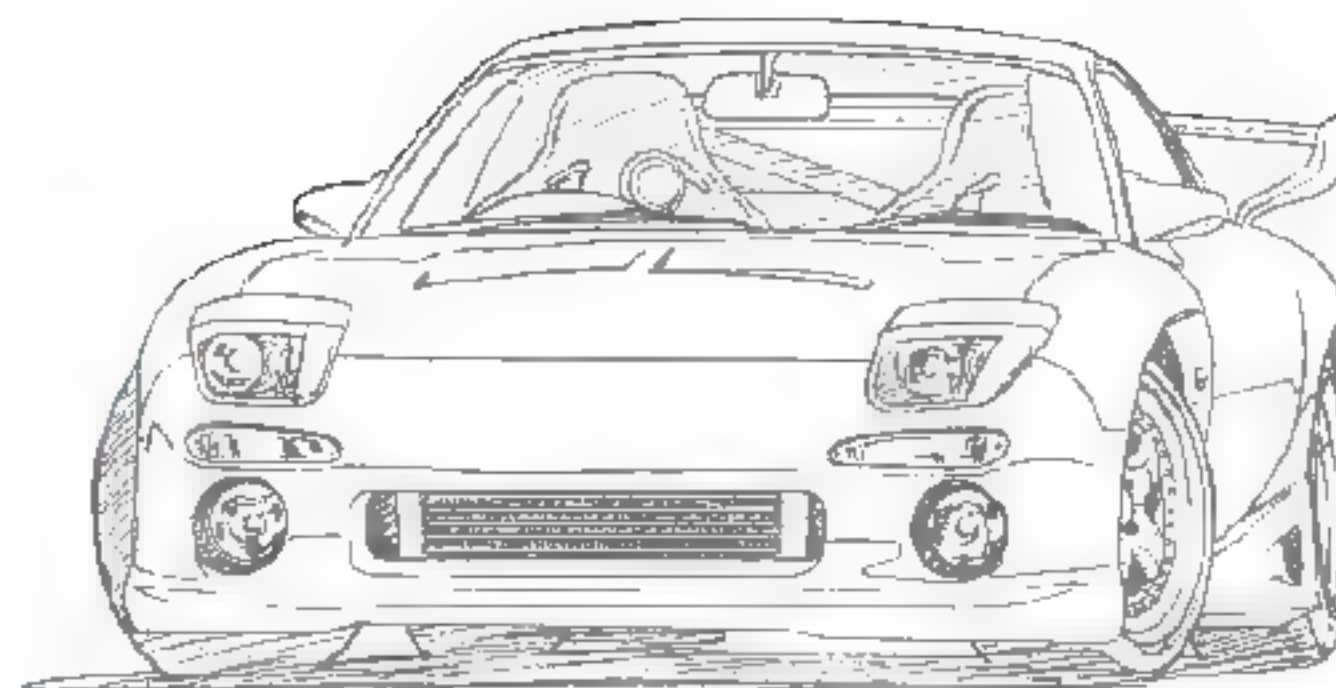
#41 改造車 A2
1999.4.23 by T.MURATA



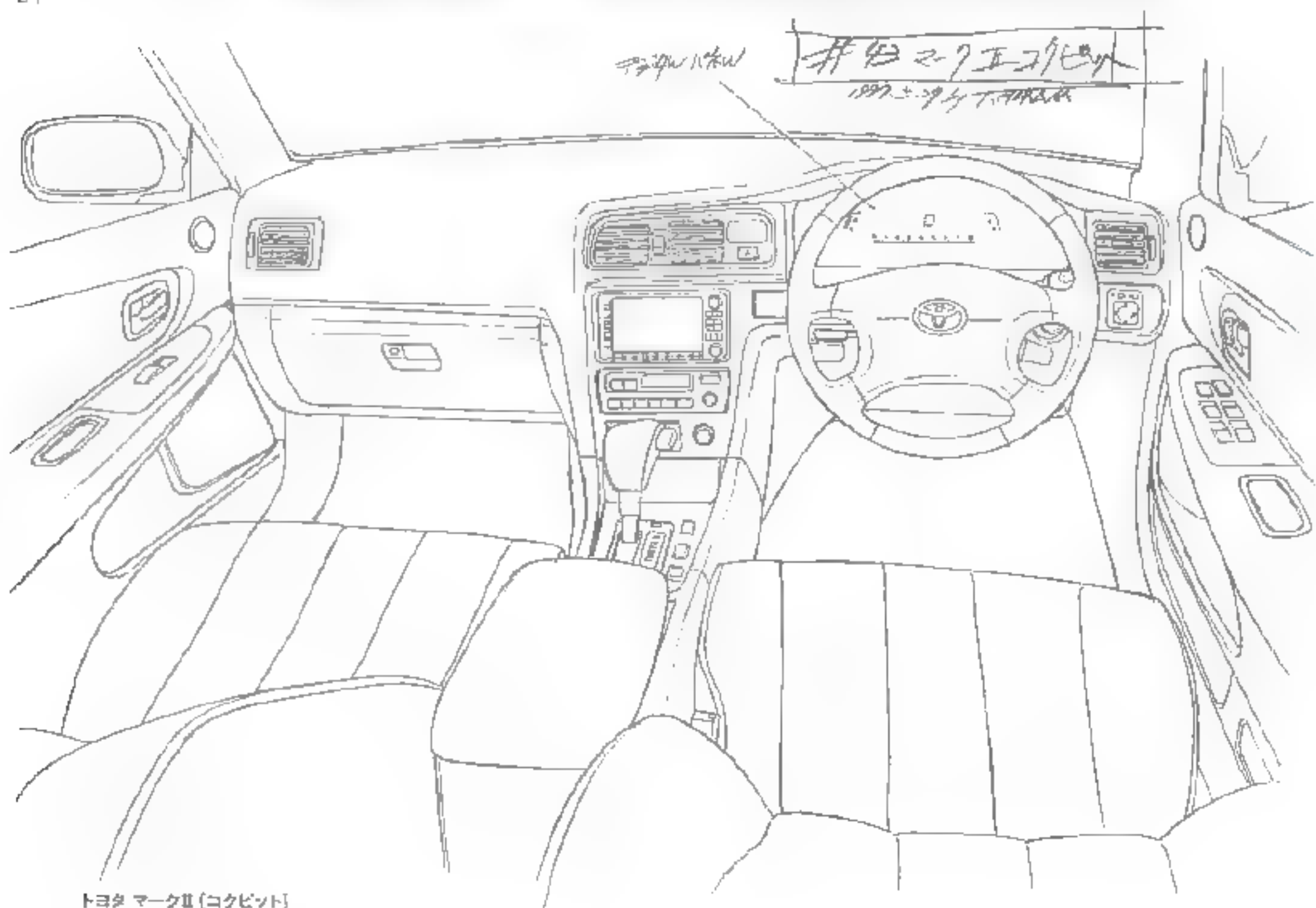
トヨタ ソアラ



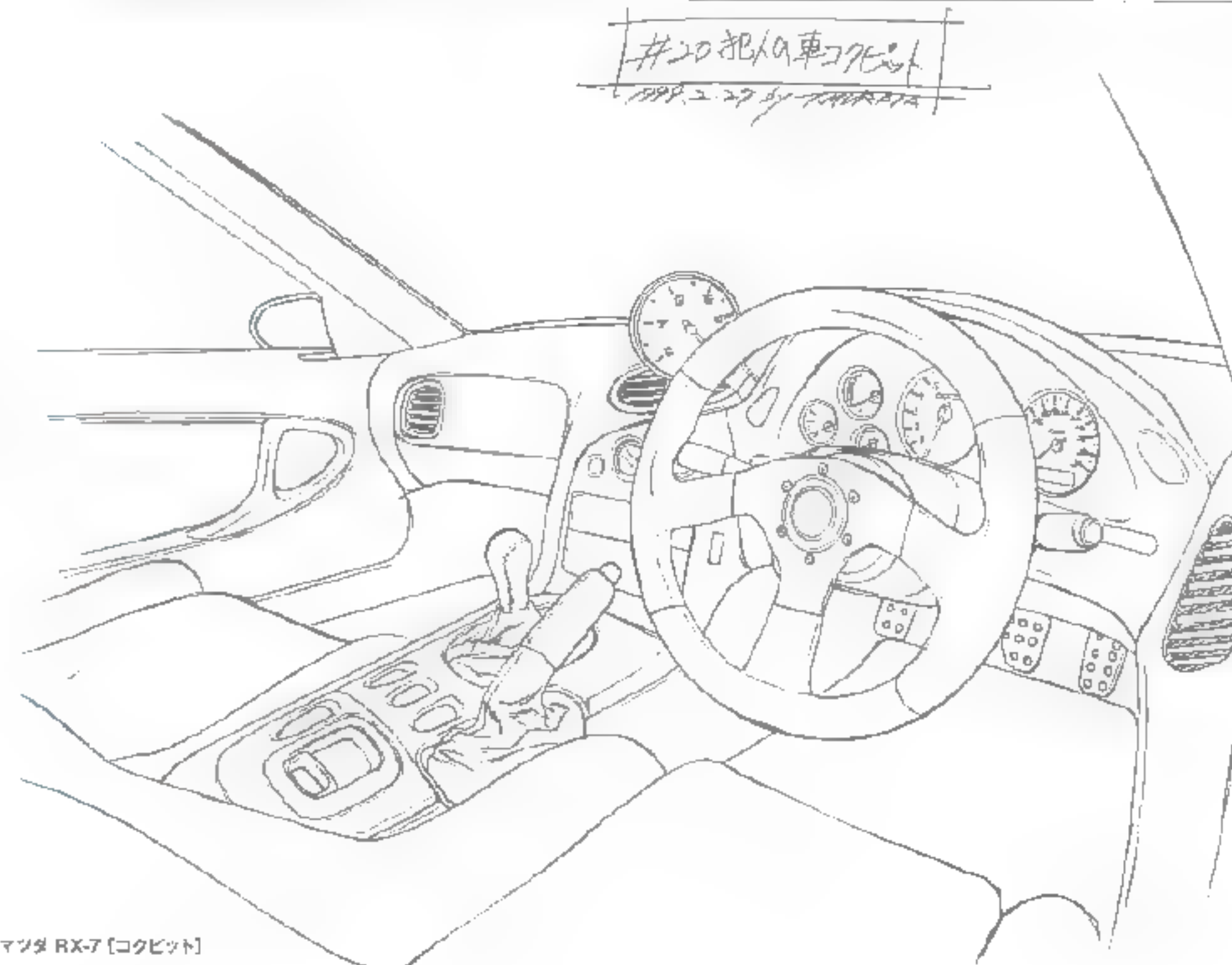
トヨタ マークII



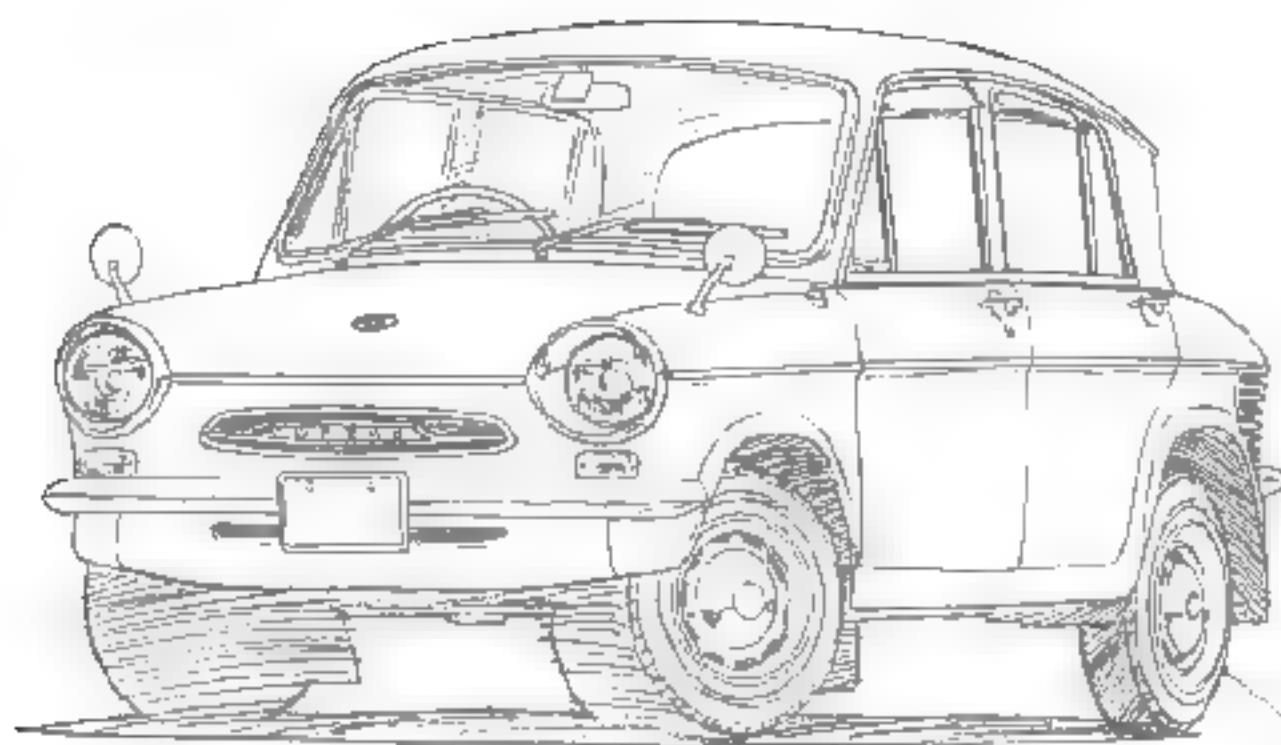
マツダ RX-7



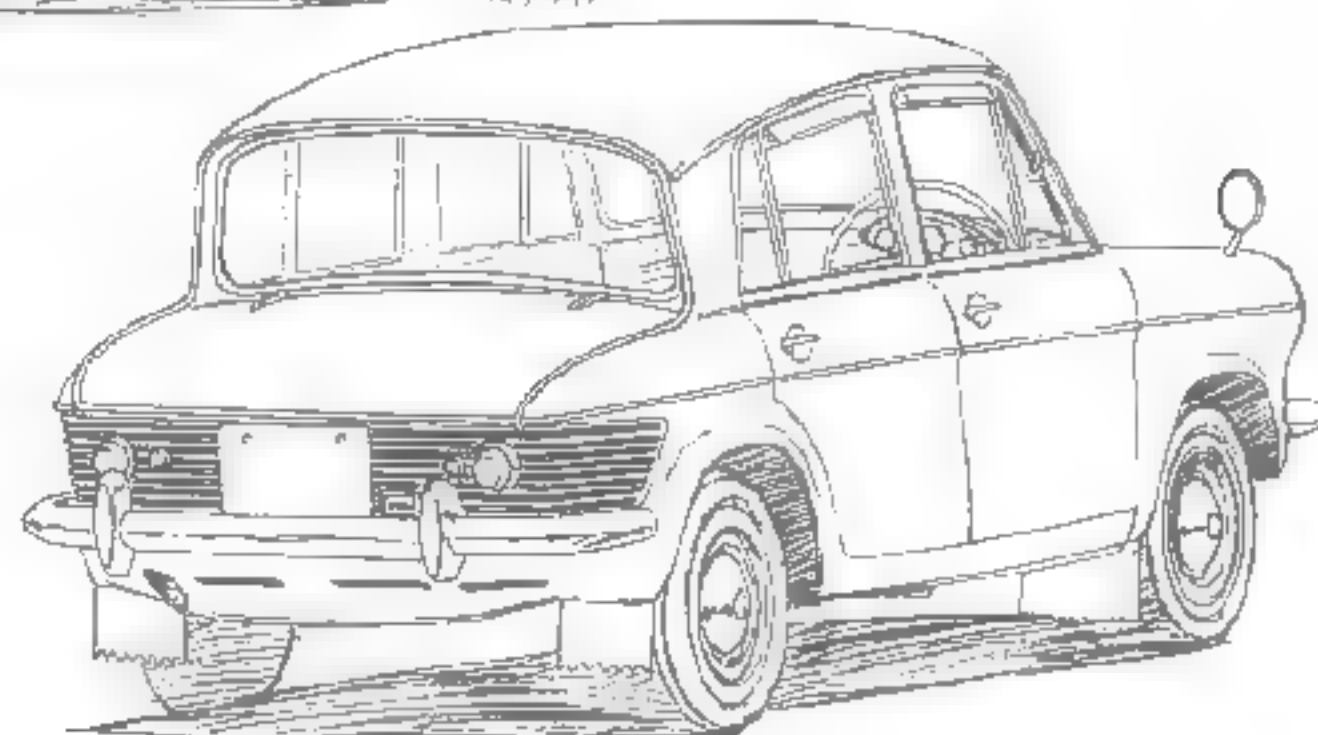
トヨタ マークII (コクピット)



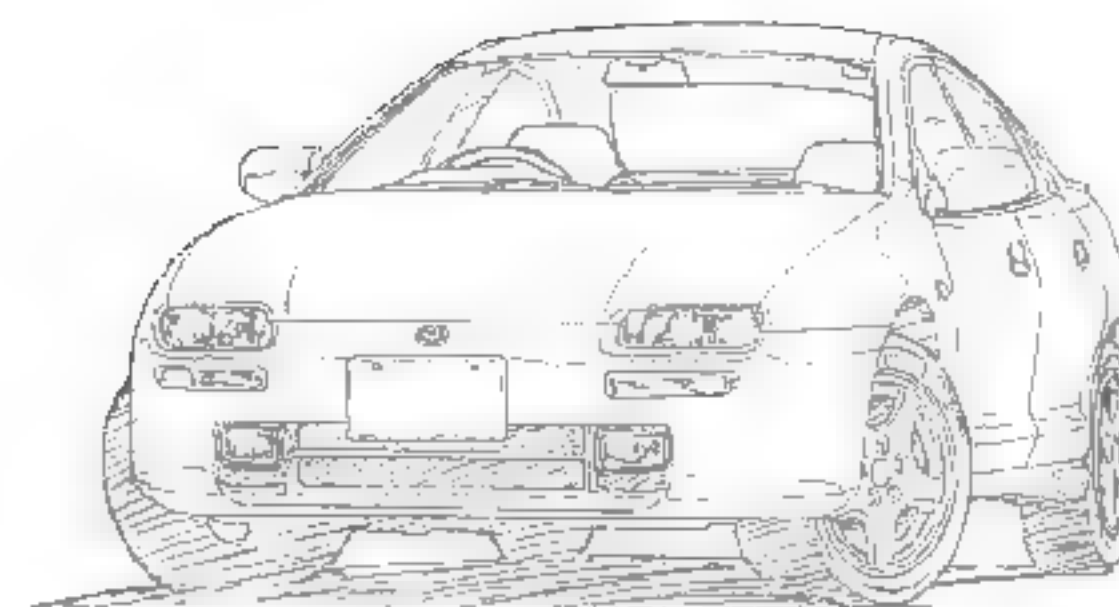
マツダ RX-7 (コクピット)



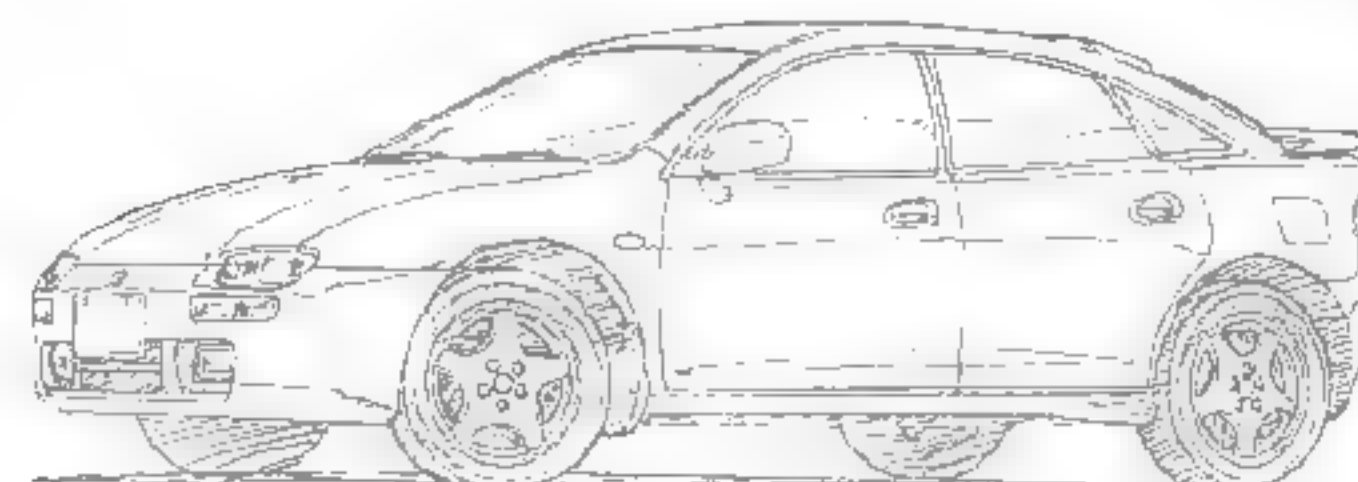
マツダキャロル
1999.2.26 by T. NAKATA



マツダ キャロル

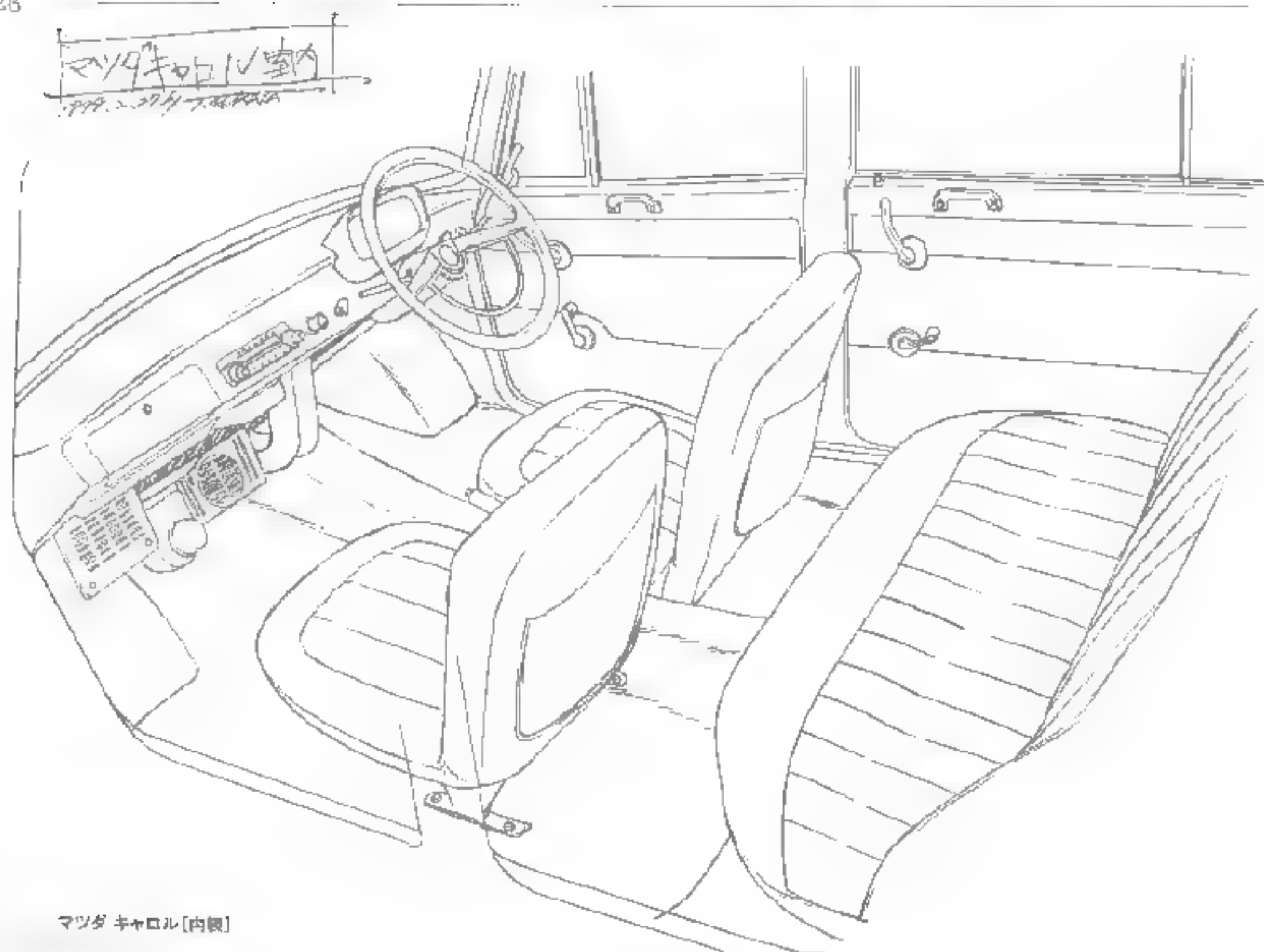


マツダランティス
1999.3.16 by T. NAKATA

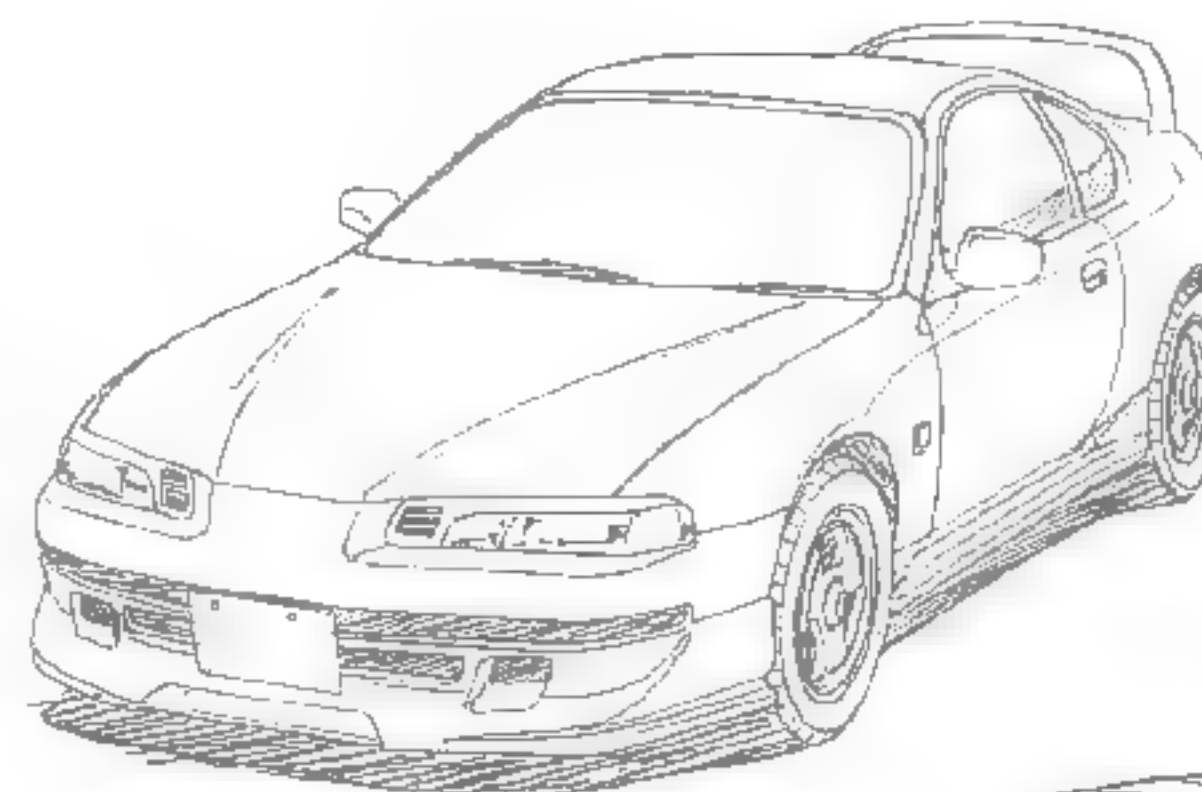


マツダランティス
全長 4245mm
全幅 1695mm
全高 1355mm

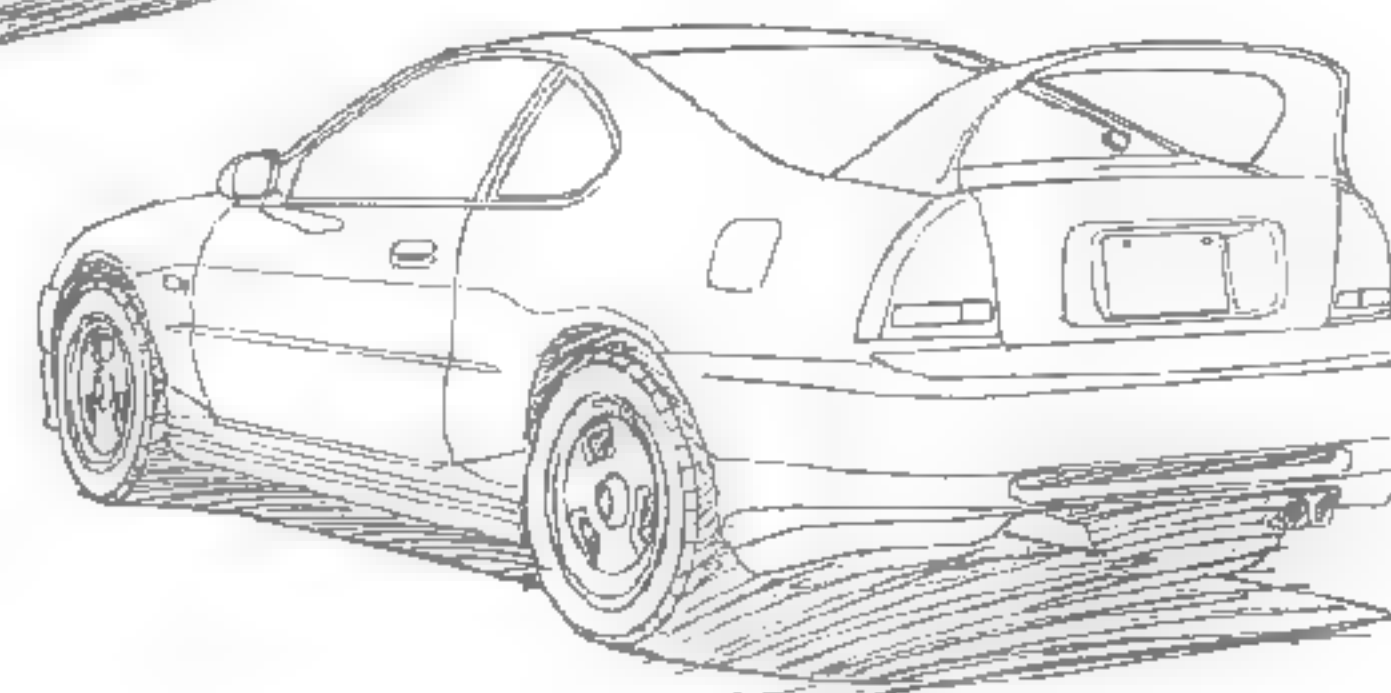
マツダ ランティス



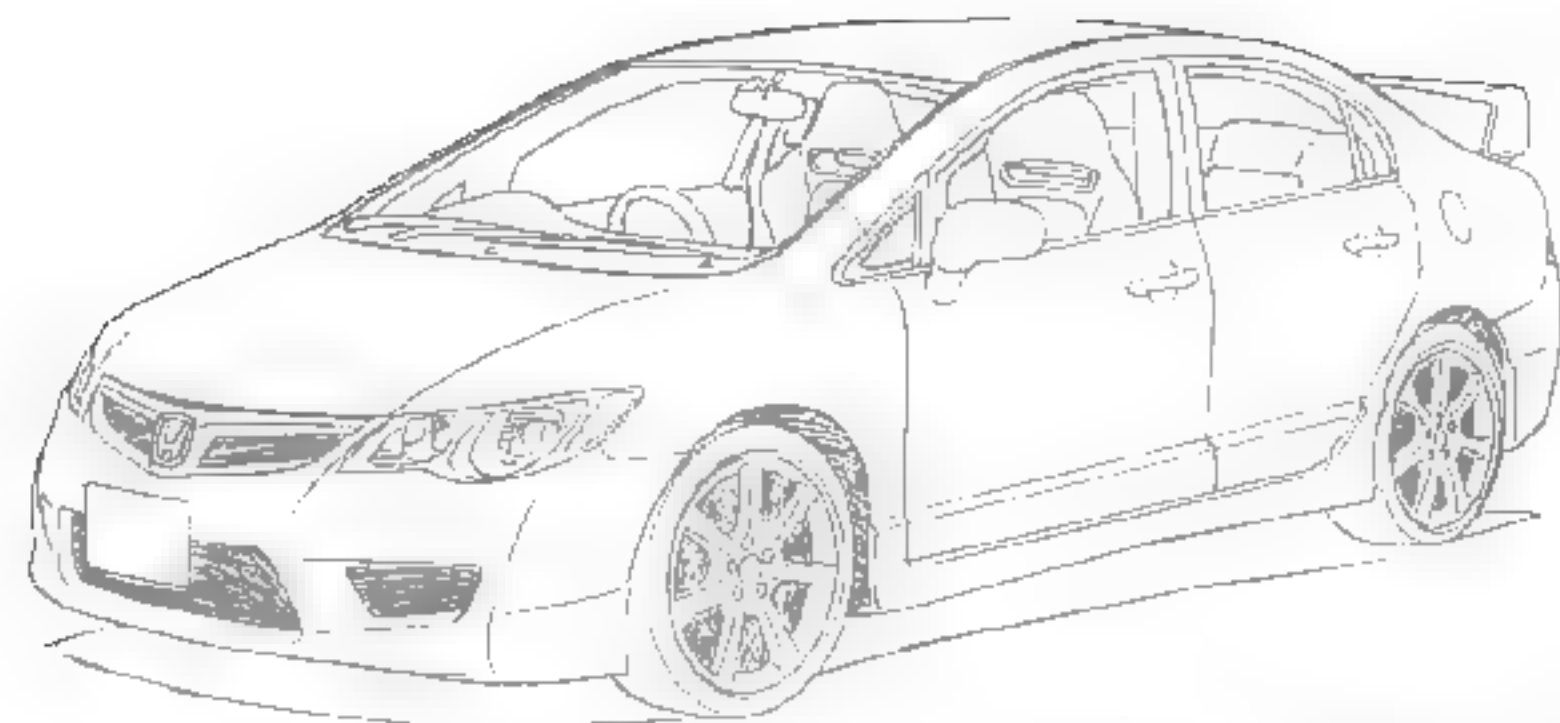
マツダ キャロル [内観]



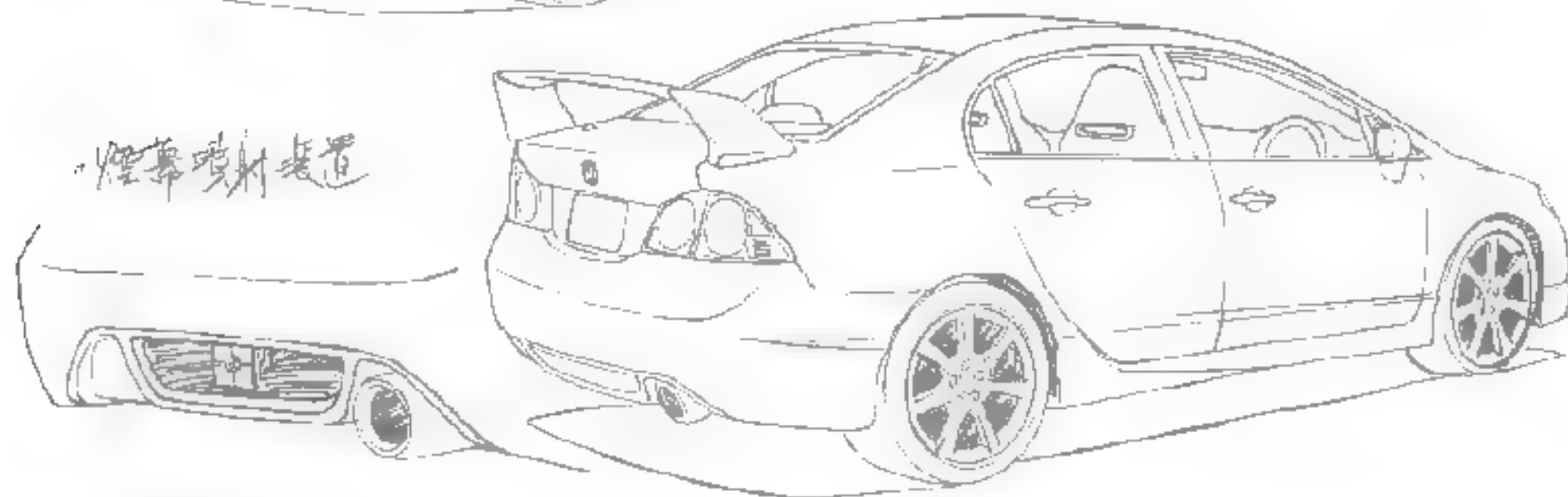
#44 改造車 #90
1999.4.23 by T. NAKATA



ホンダ プレリュード



シビック
TYPE-R
2007.12.13
by T. MORATA



ホンダ シビックTYPE-R

シビック
TYPE-R
2007.12.13
by T. MORATA

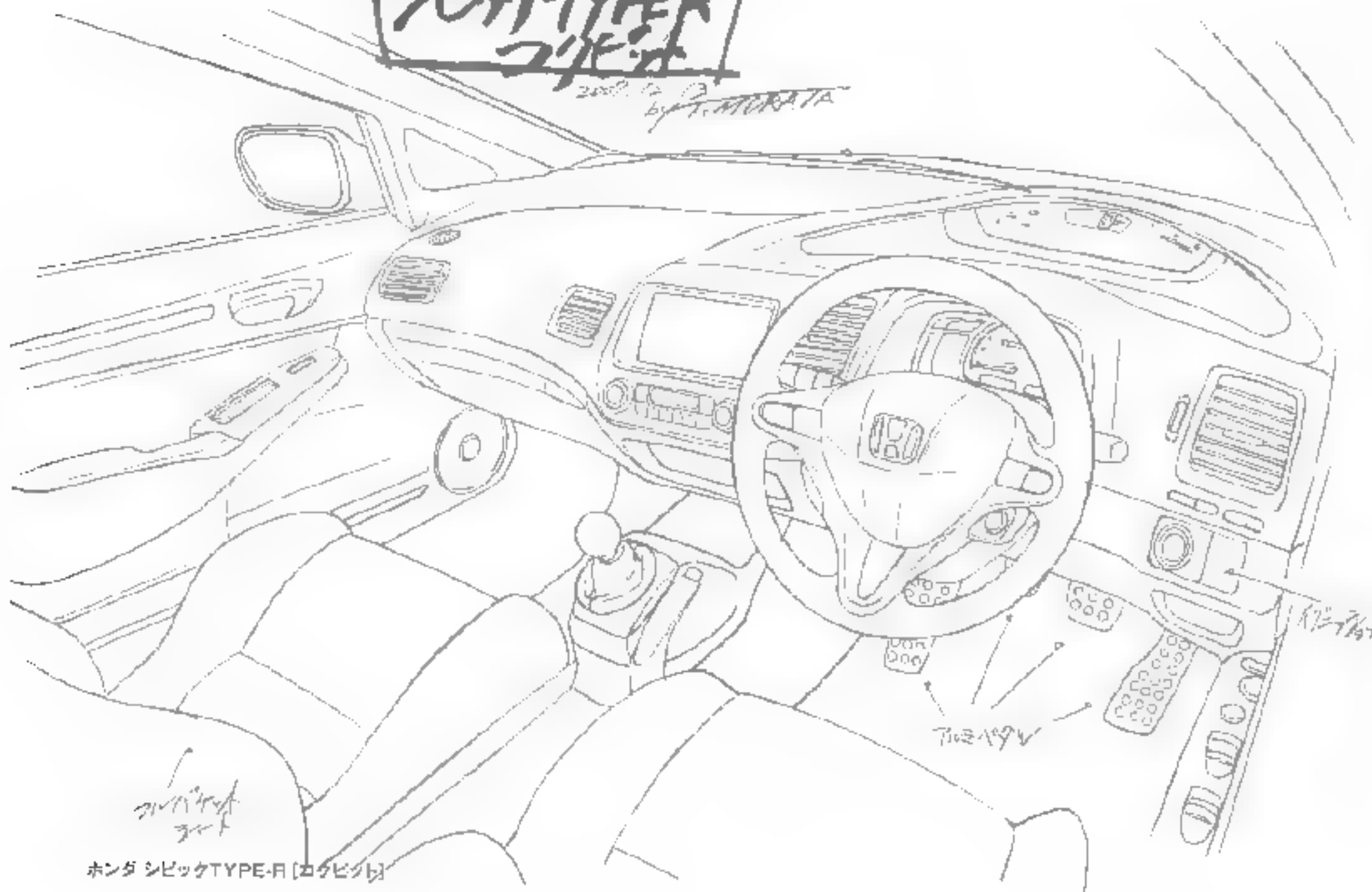


ホンダ シビックTYPE-R (コックピット)

28

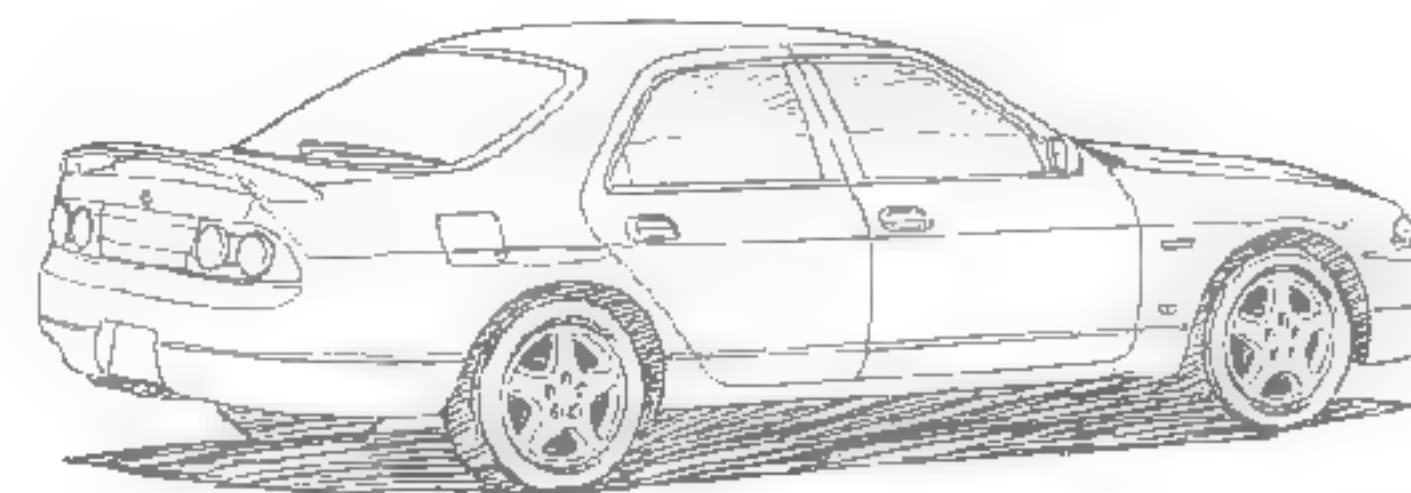
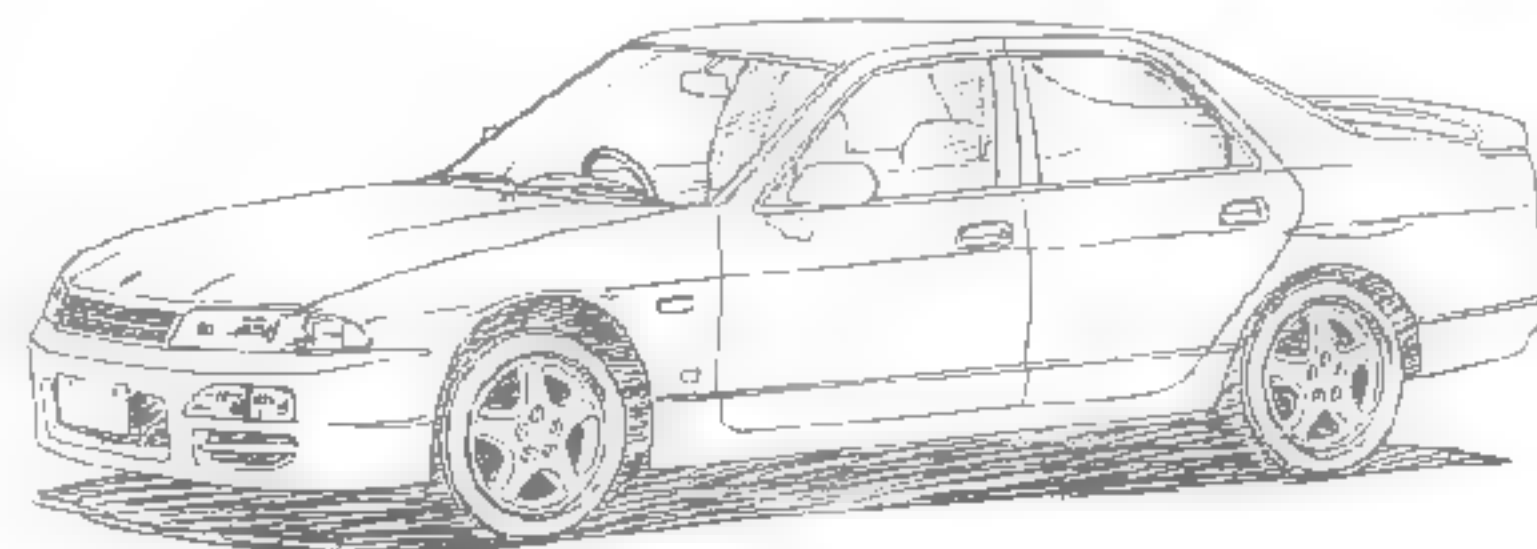
29

シビック
TYPE-R
2007.12.13
by T. MORATA

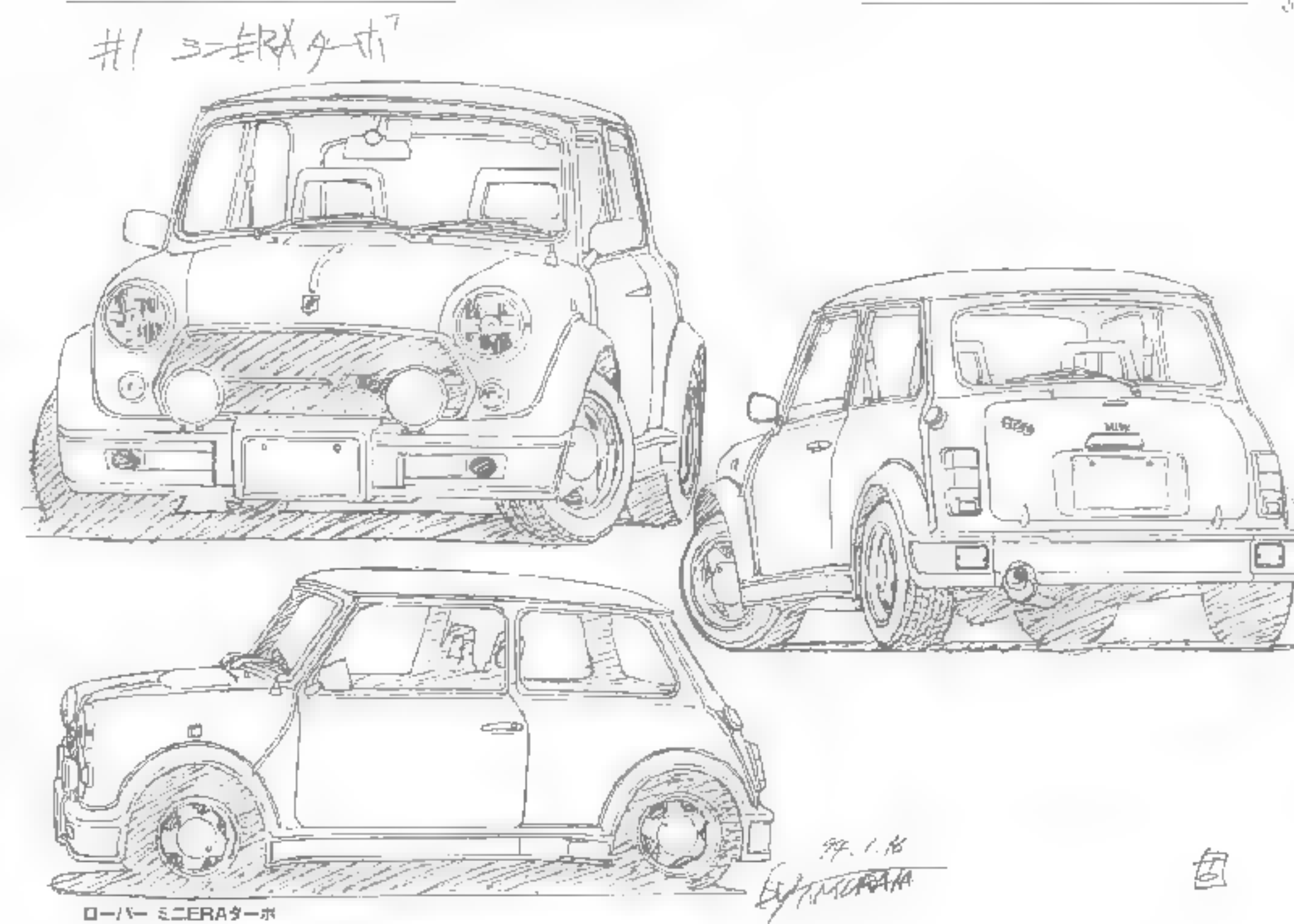
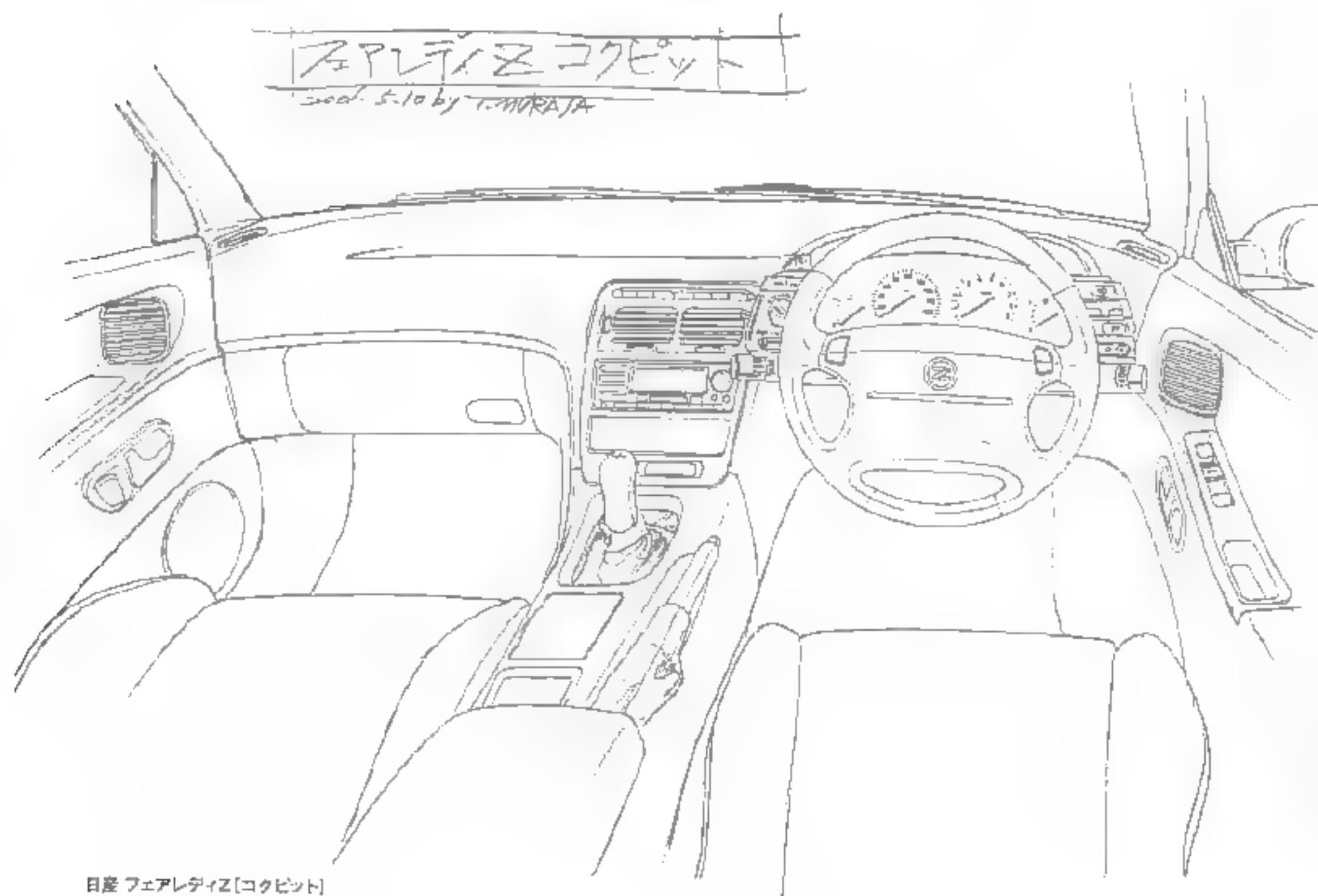
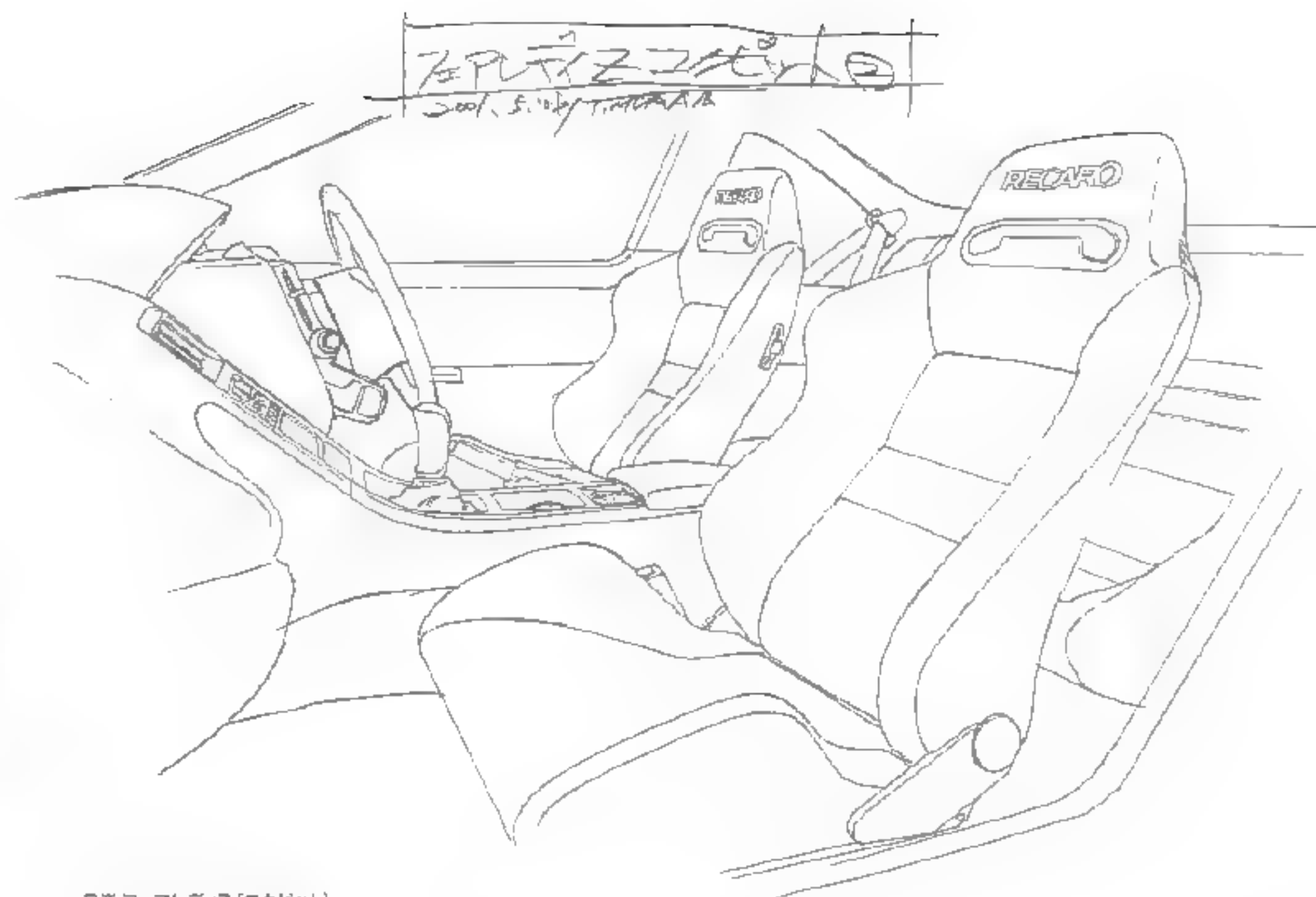
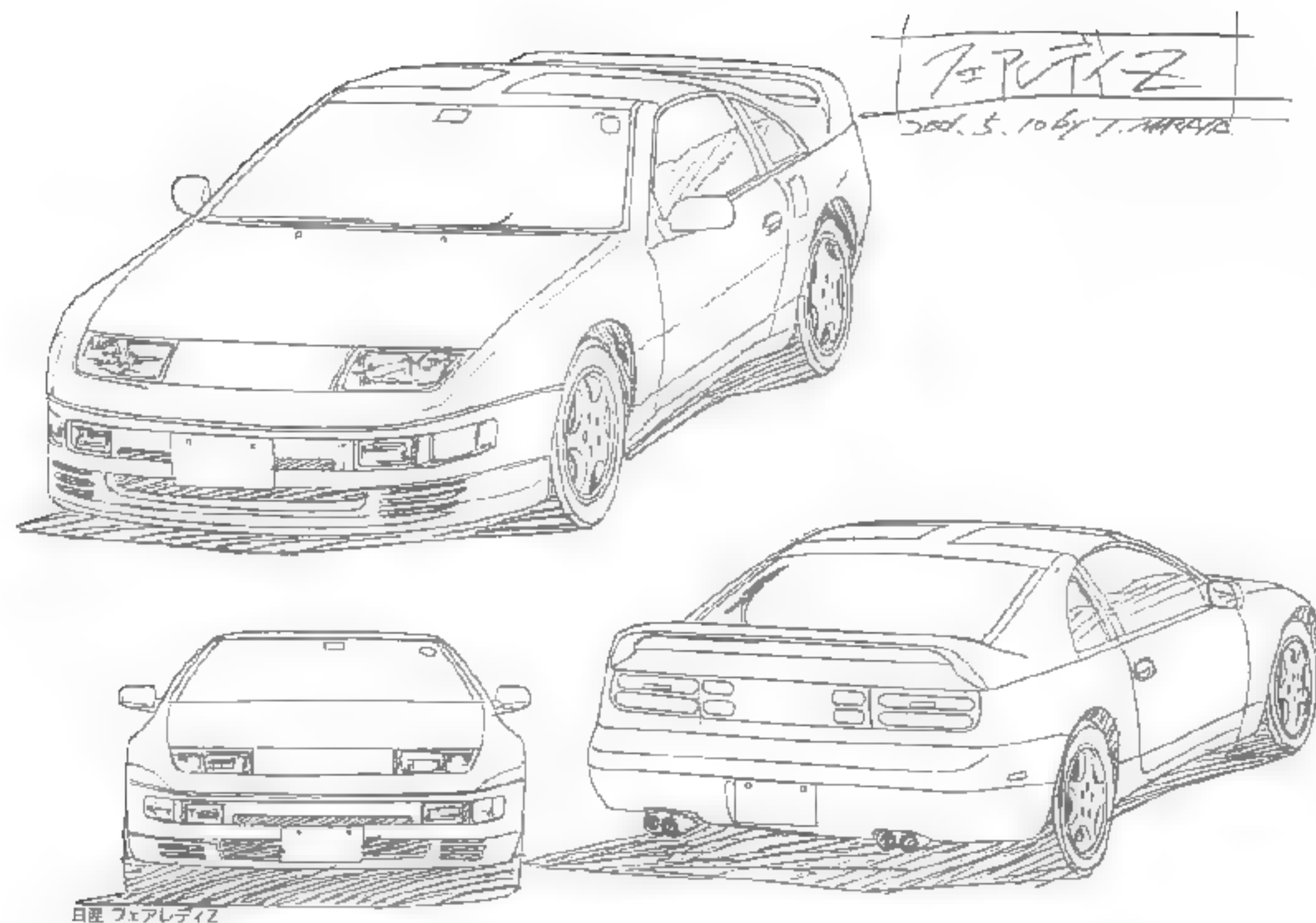


ホンダ シビックTYPE-R (コックピット)

日産スカイライン
1998.3/26 by T. MORATA

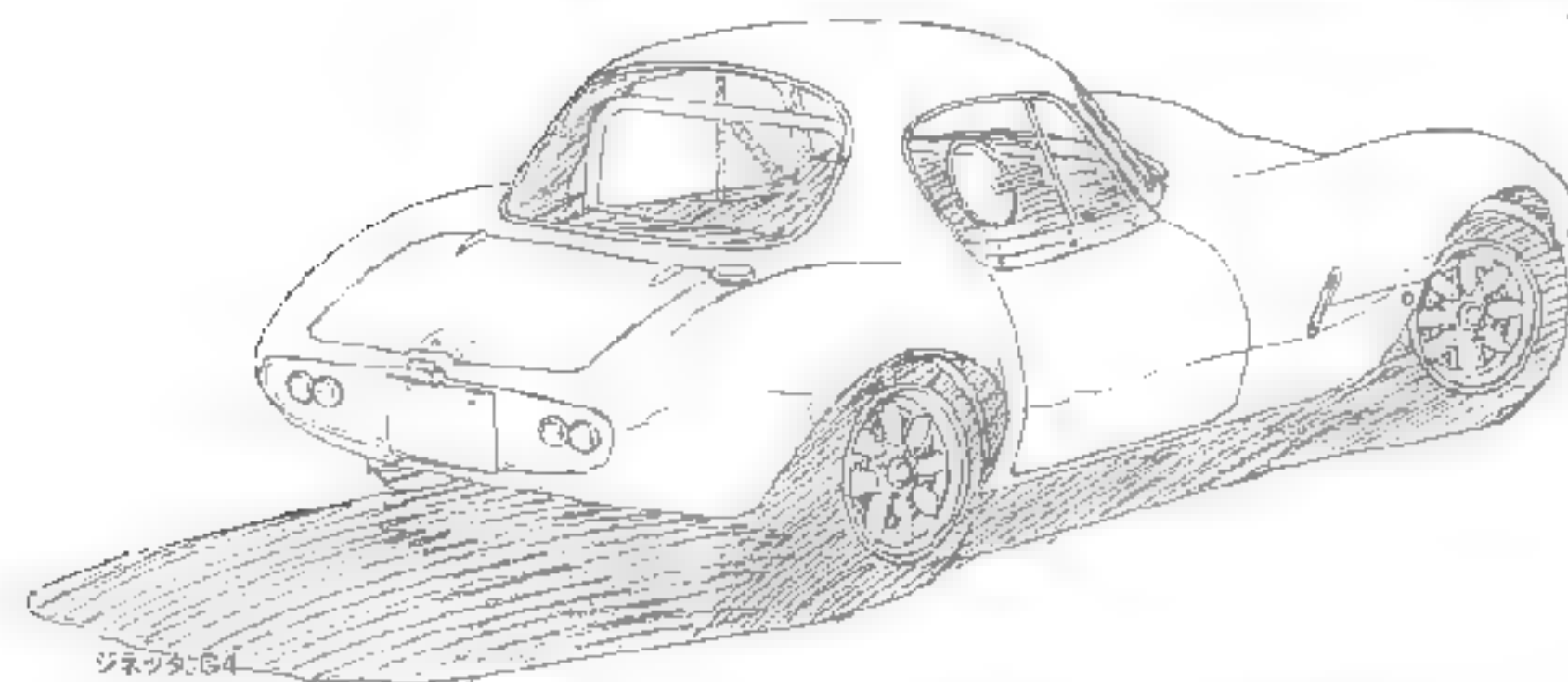
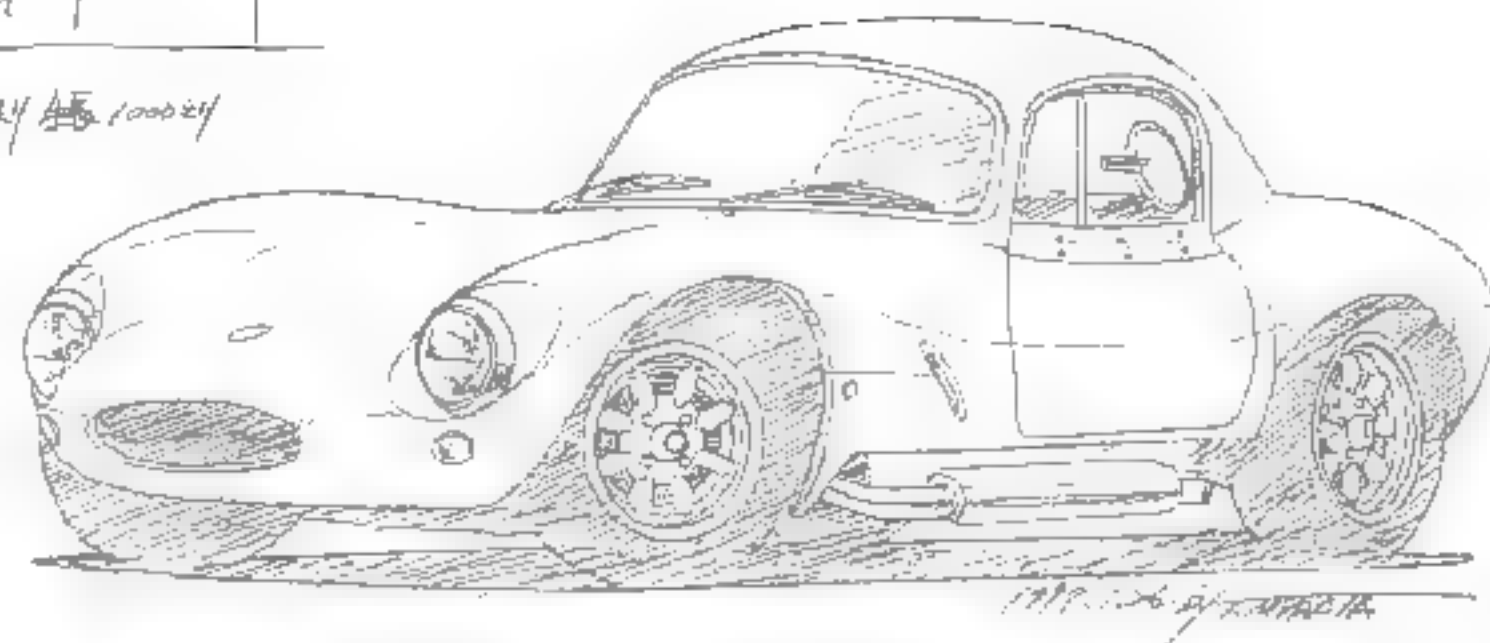


日産 スカイライン



シネツタ G4

・全長 3400mm 全幅 1450mm 全高 1000mm
・エンジン 1.6L 55kW

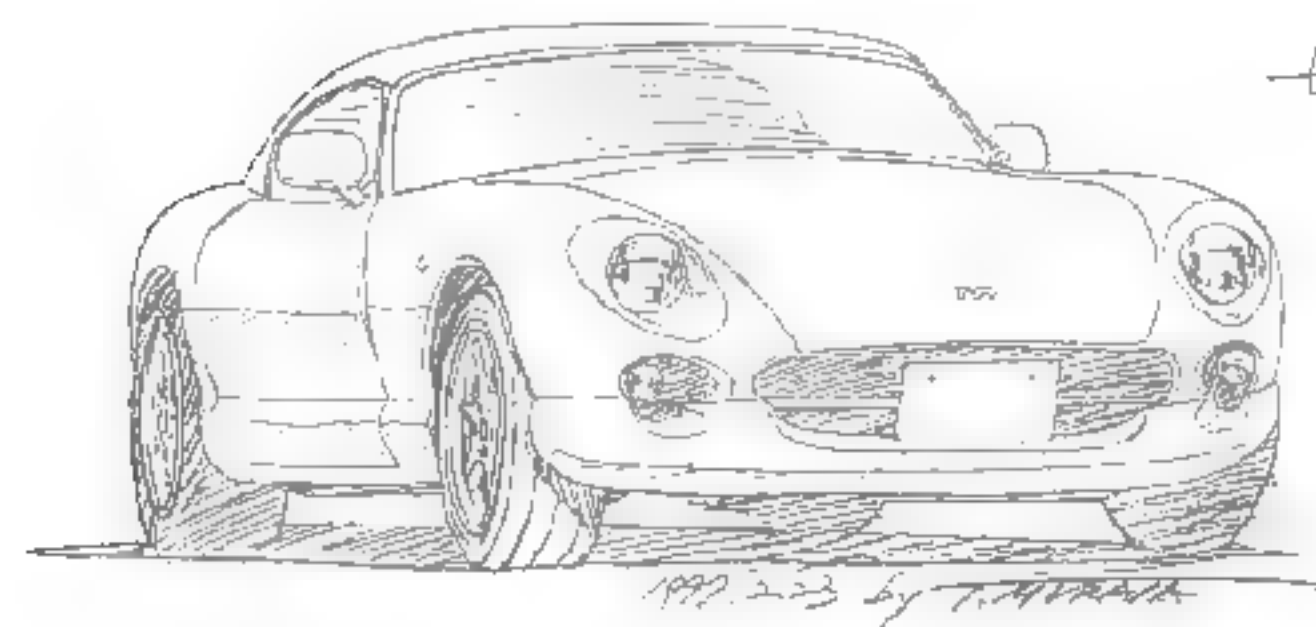


シネツタ G4

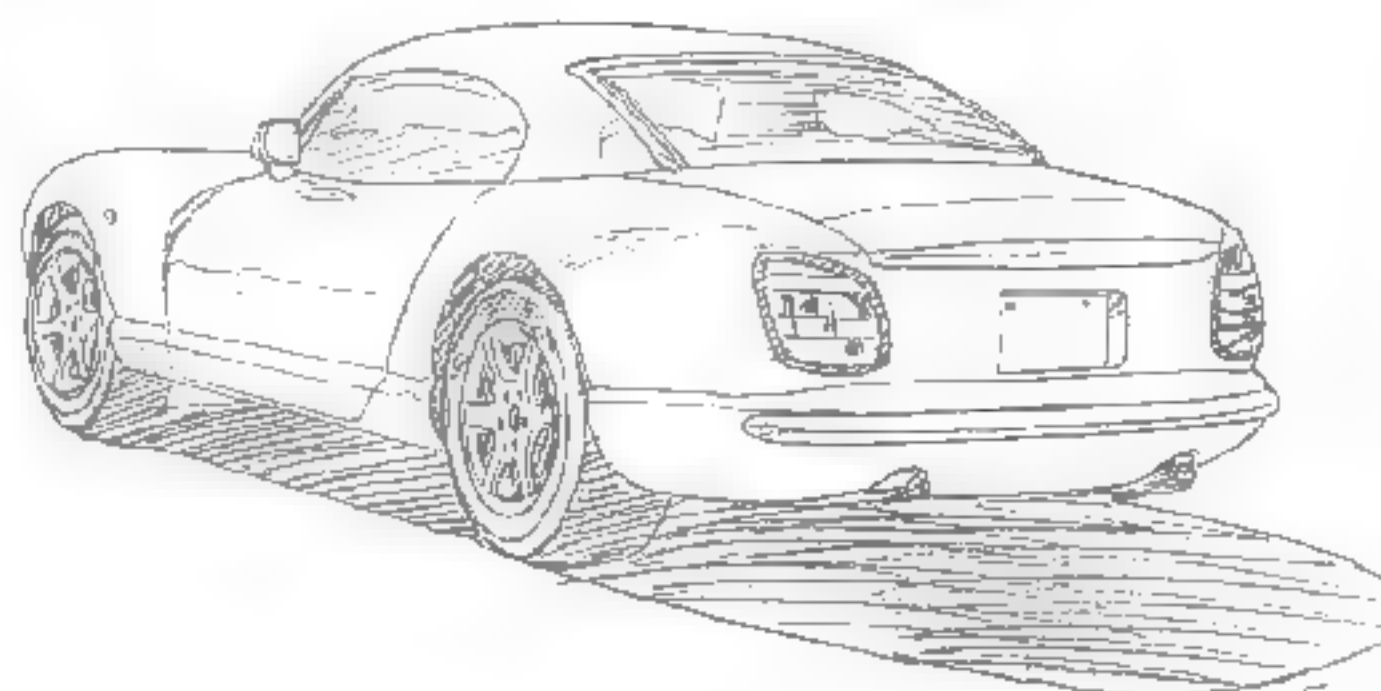
32

北小路のスポーツカー

・TVR サーブラウ

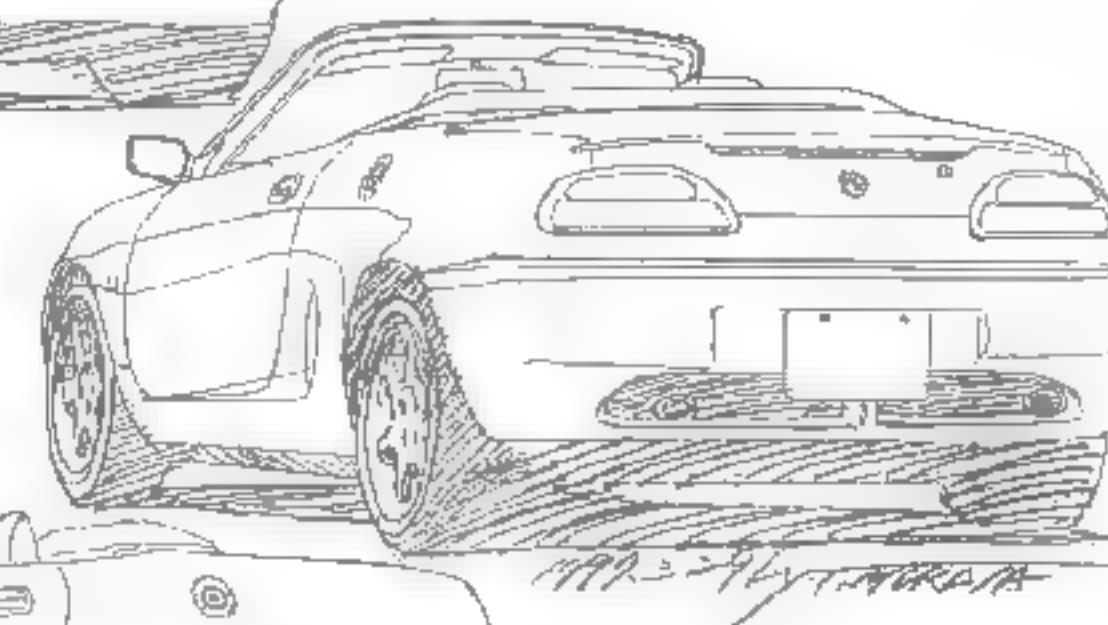
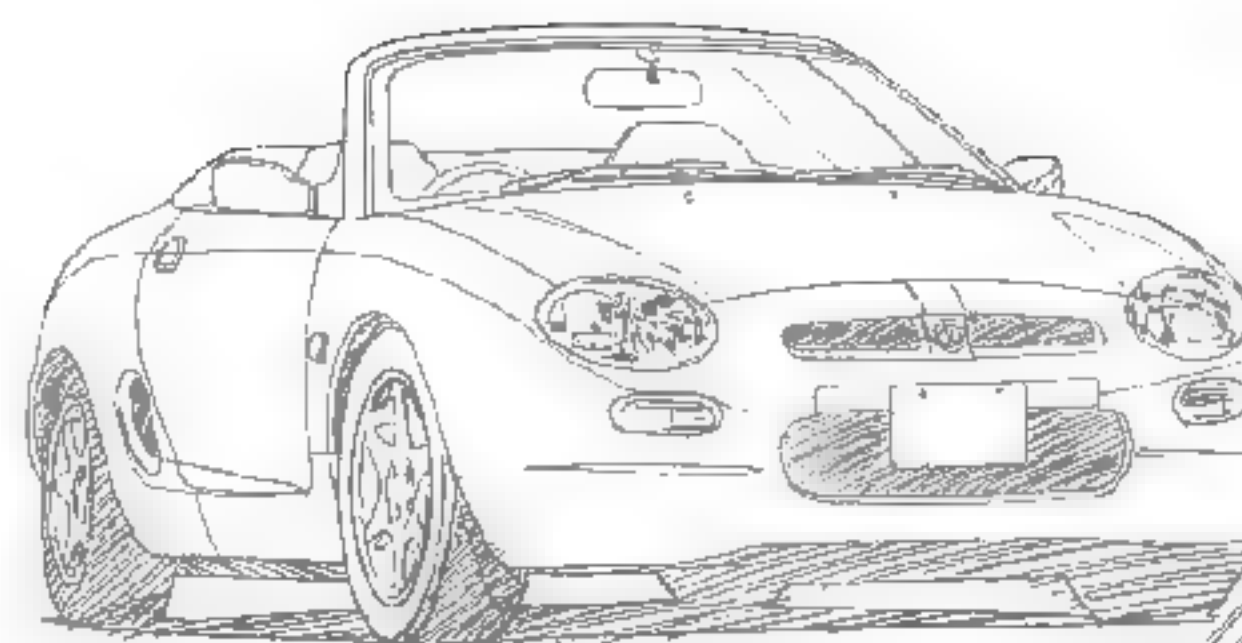


1992.2.23 by T. TAKAHASHI

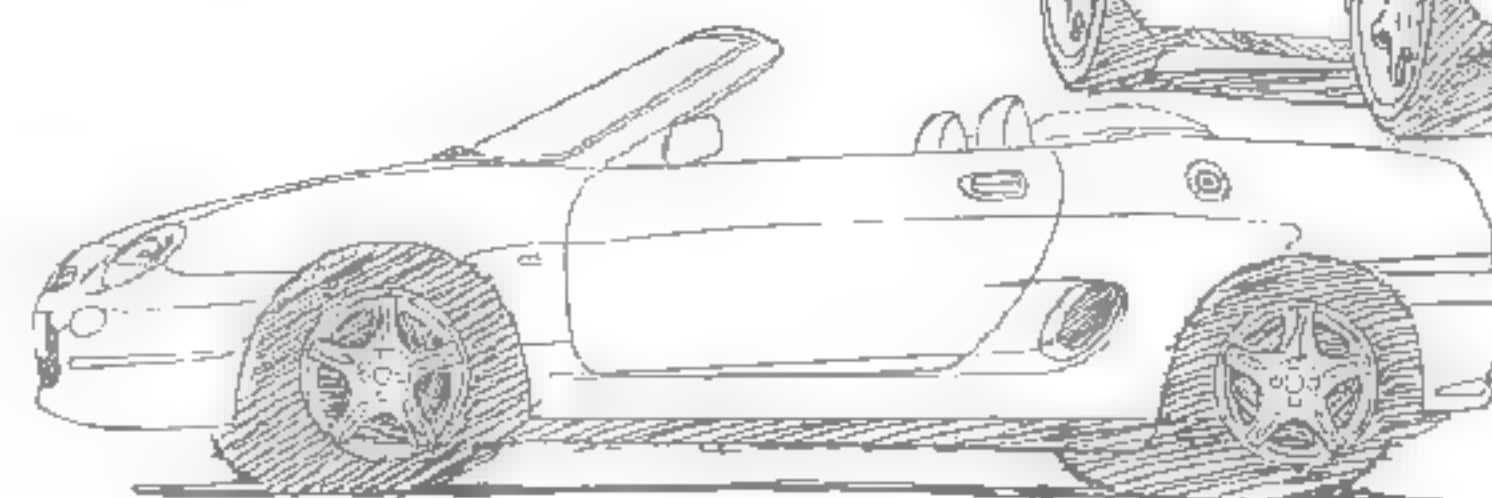


TVR サーブラウ

MGF



1992.2.23 by T. TAKAHASHI

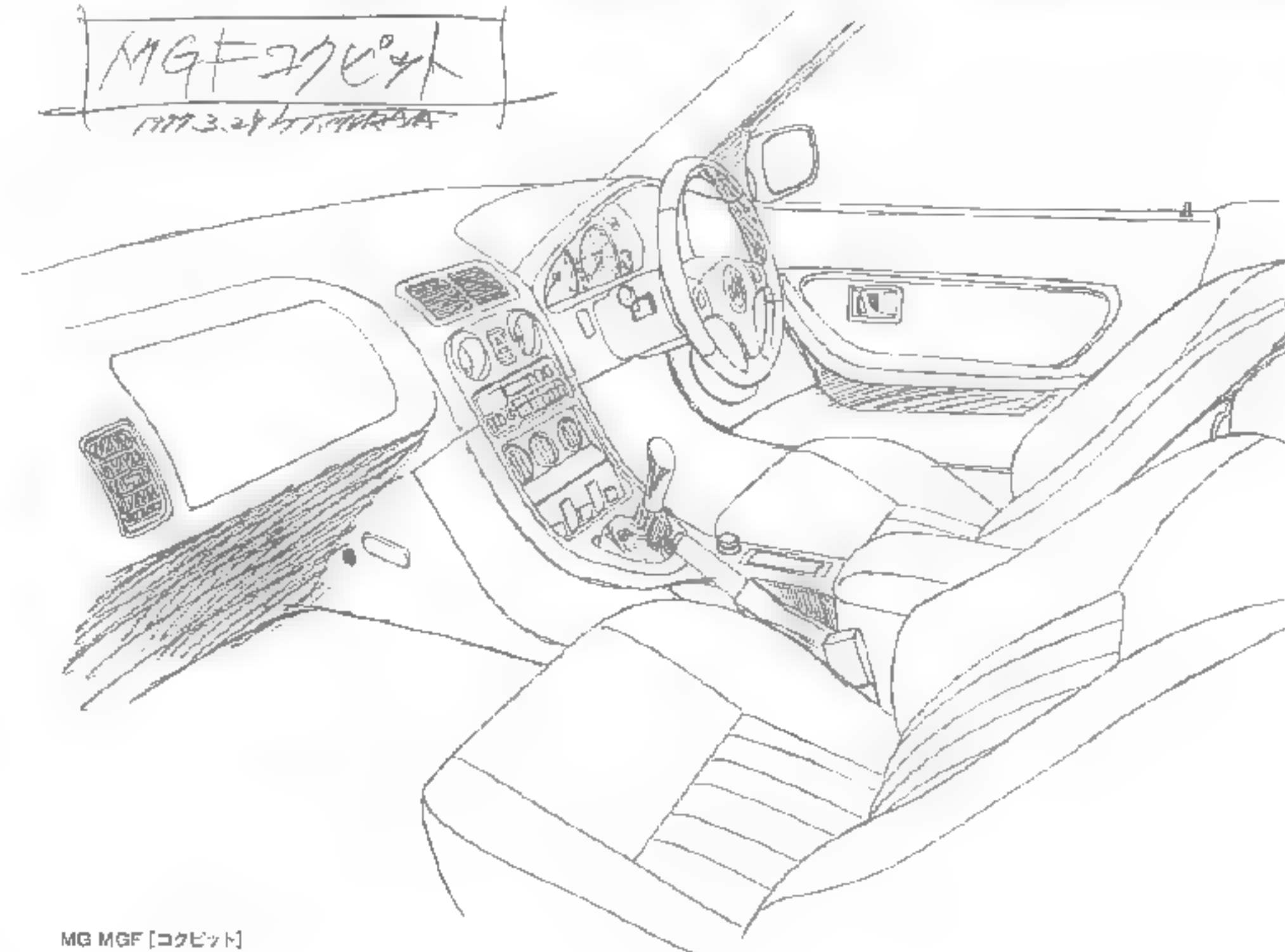


MG MGF

33

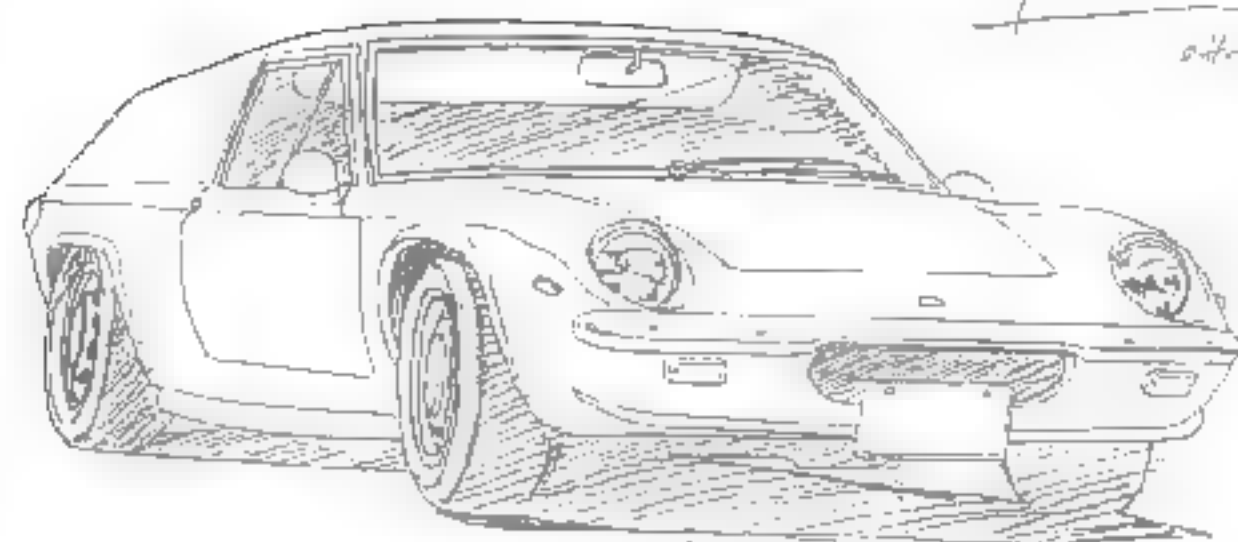
MGF コクピット

1992.2.23 by T. TAKAHASHI

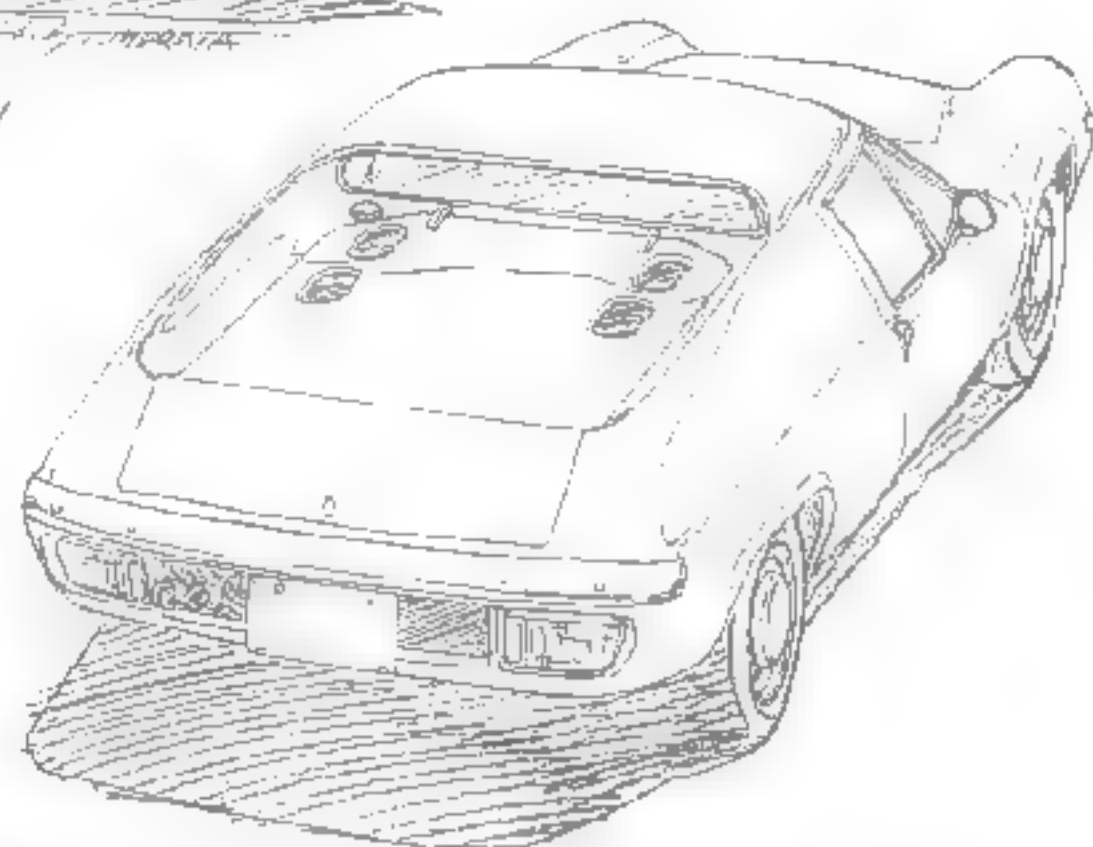


MG MGF [コクピット]

Lotus ヨーロッパ S2
 04年秋の車展に出品された時、
 (2004年)



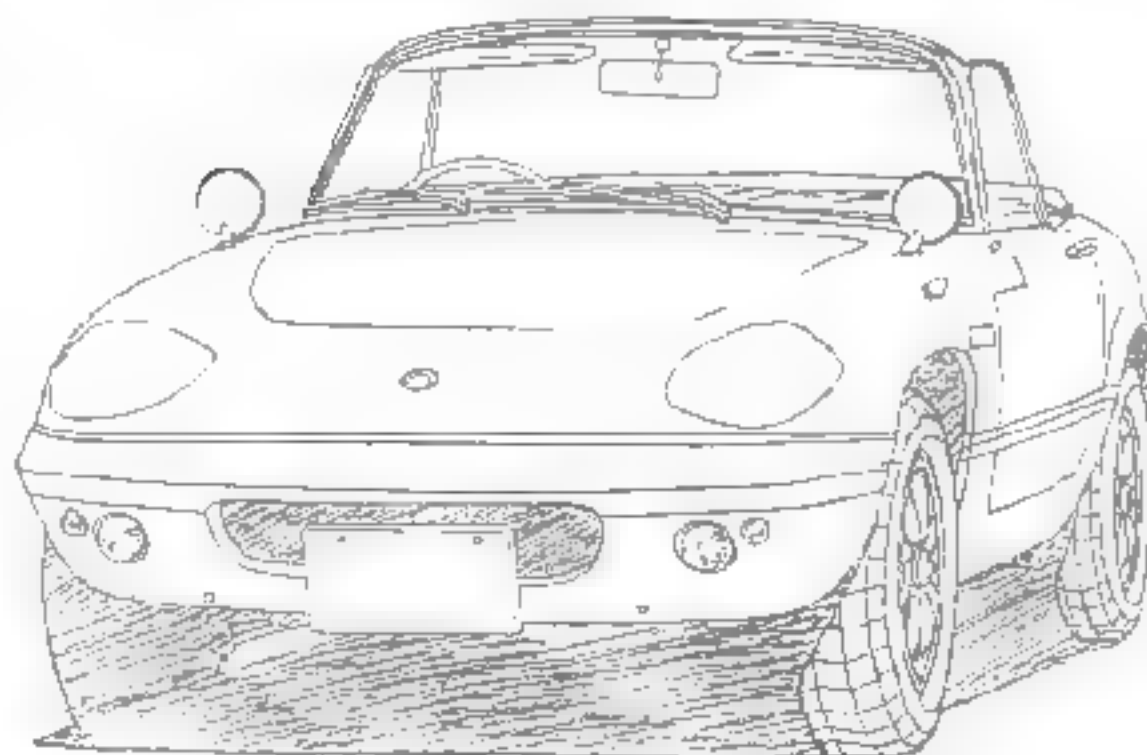
全長4000mm 全幅1632mm 全高1030mm



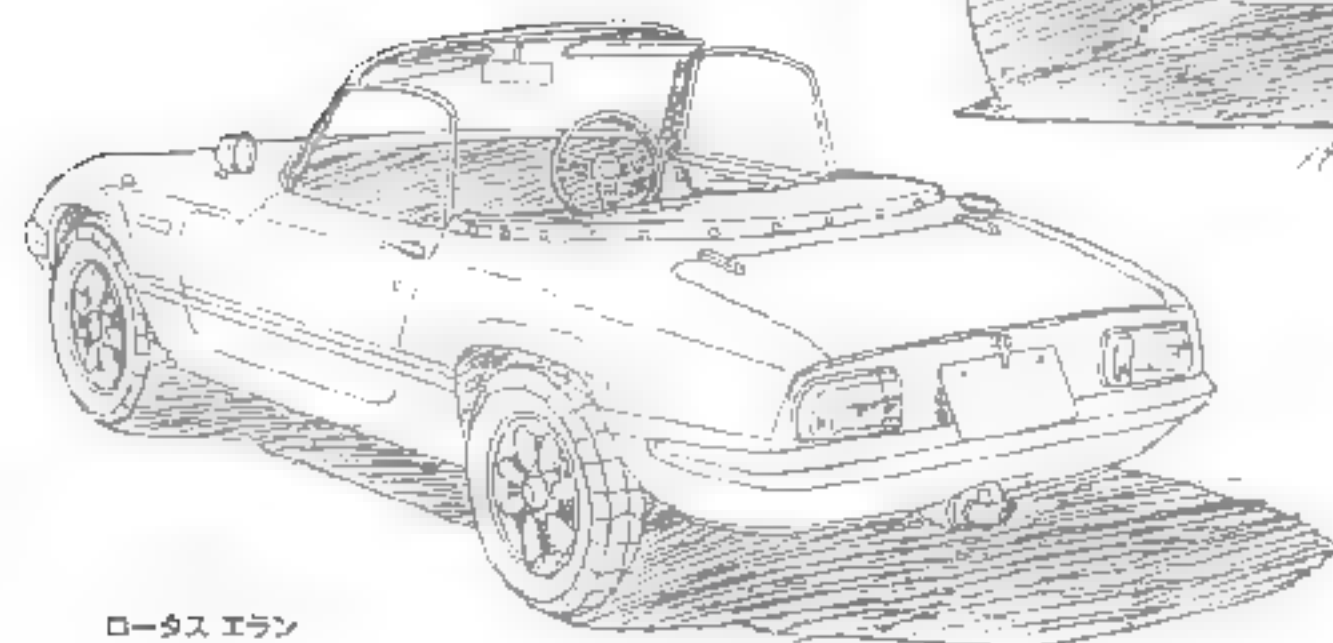
ロータス ヨーロッパ

Lotus エラン S4 スピリット
 04年秋の車展に出品された時、
 (2004年)

全長2683mm 全幅1422mm 全高1156mm
 全高1156mm 全幅1422mm 全高1156mm



1992.26 by T. TAKAKURA

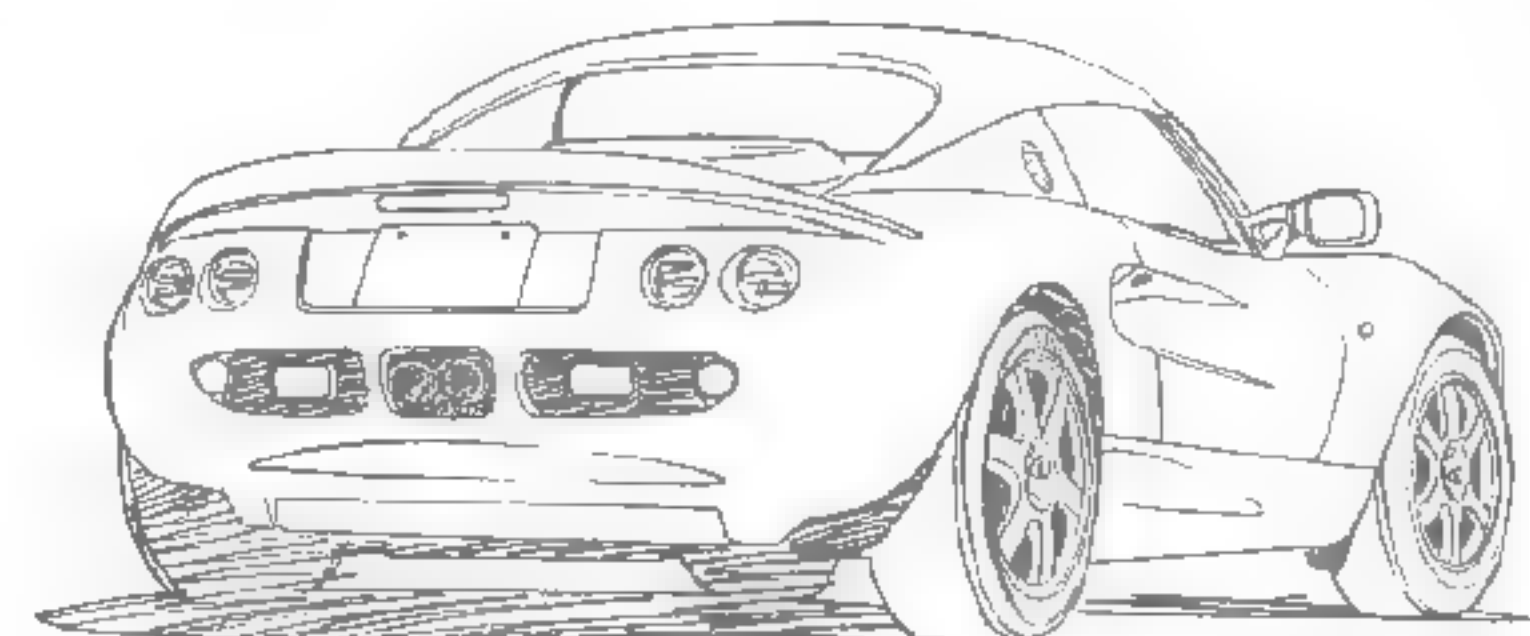


ロータス エラン

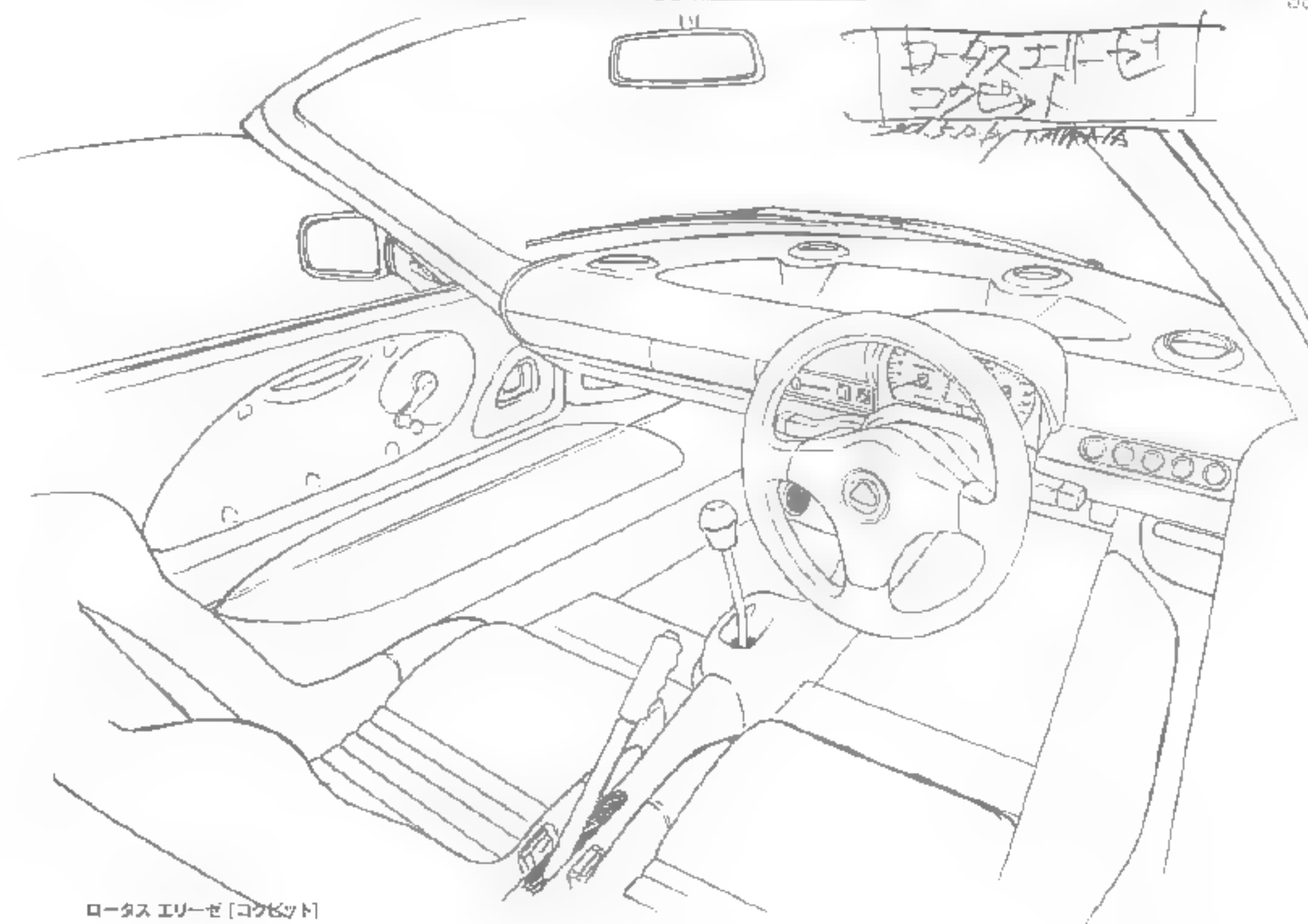
#15
 D-ARIEL-E
 2004.5.12 by T. TAKAKURA



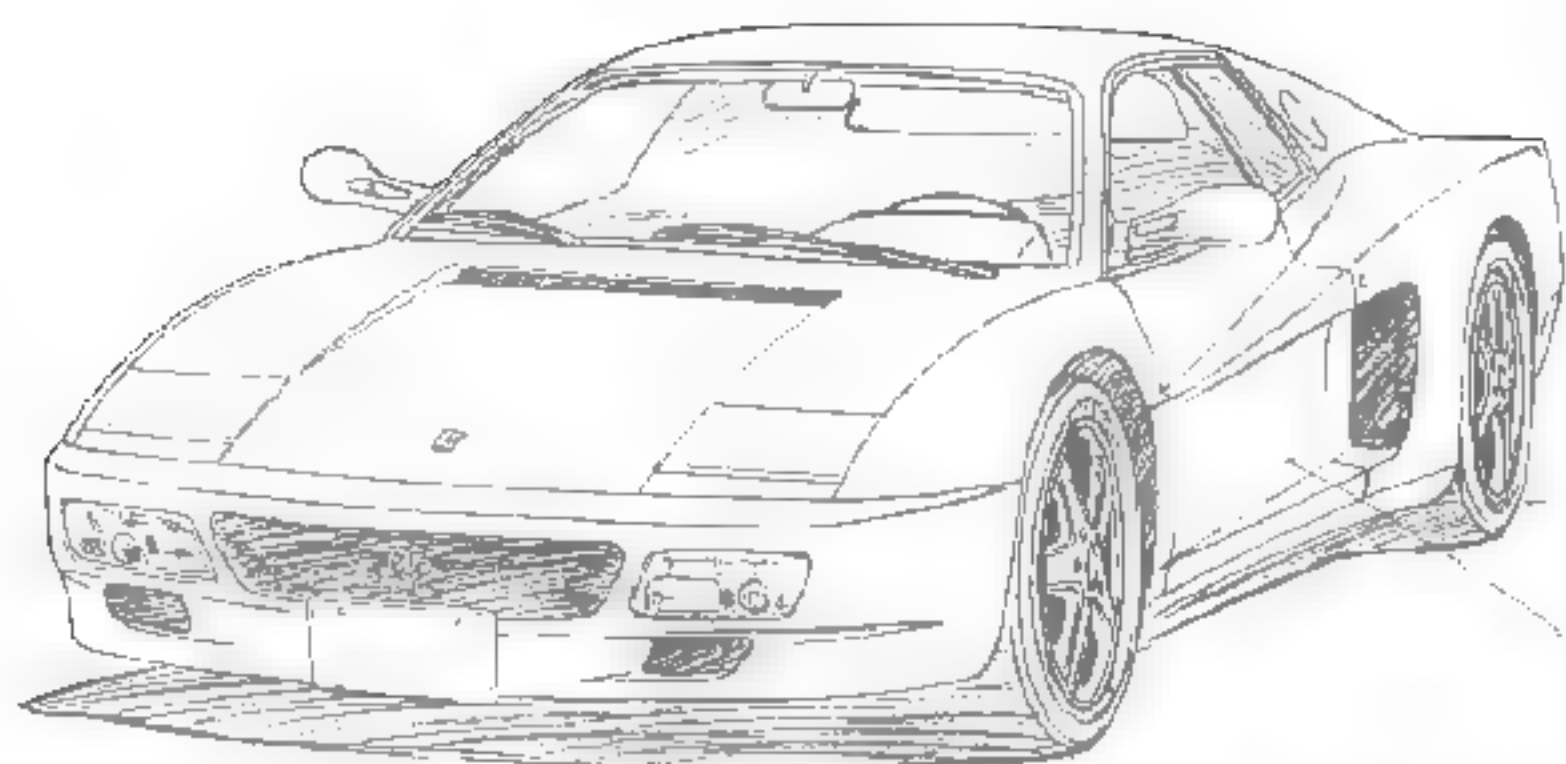
ロータス エリーゼ



D-ARIEL-E
 コクピット
 2004.5.12 by T. TAKAKURA

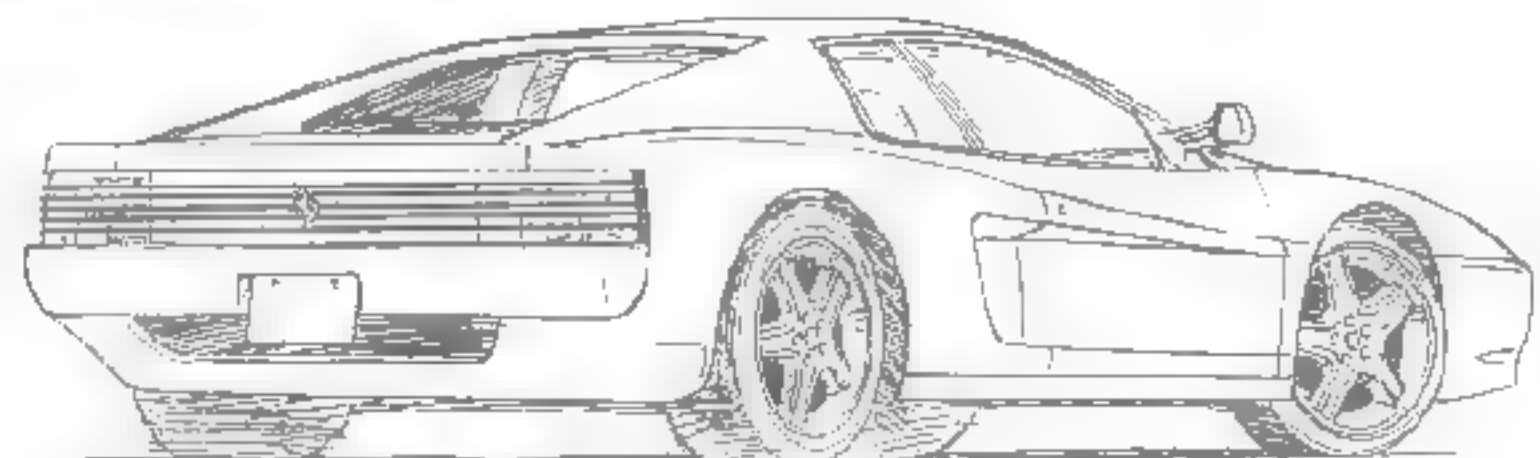


ロータス エリーゼ [コクピット]



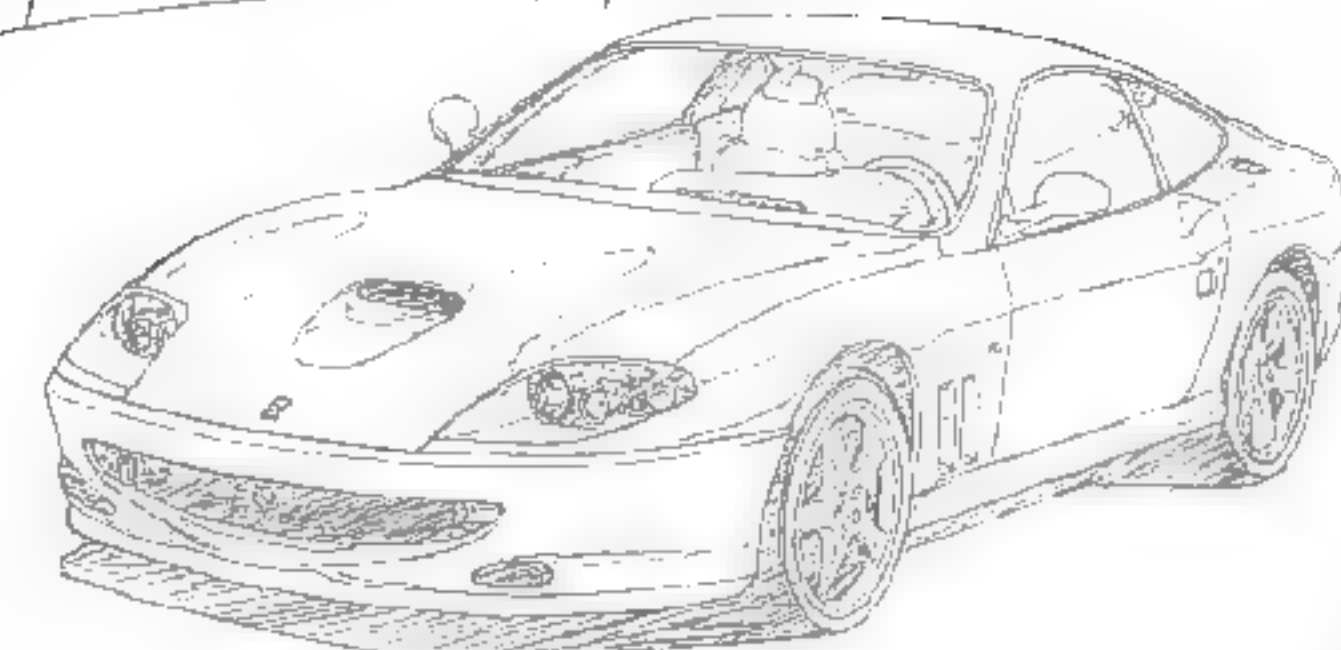
#18 フェラーリ
1977.2.20 by T. MURATA
027-11 512TR

4177mm

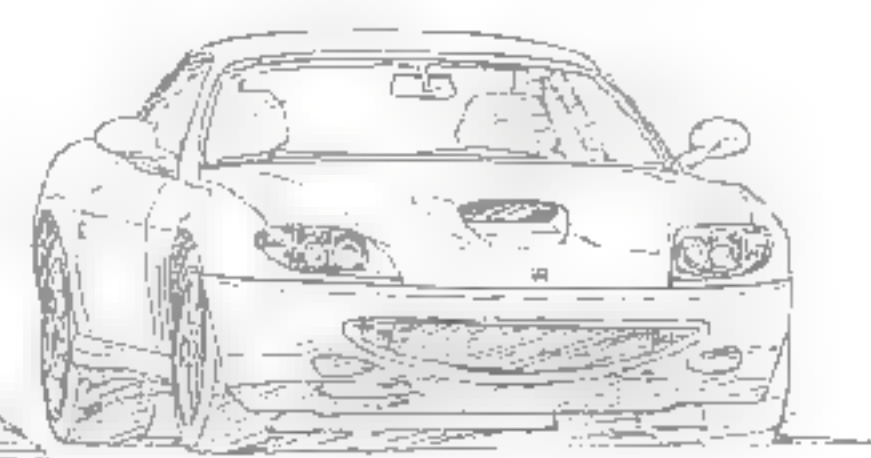
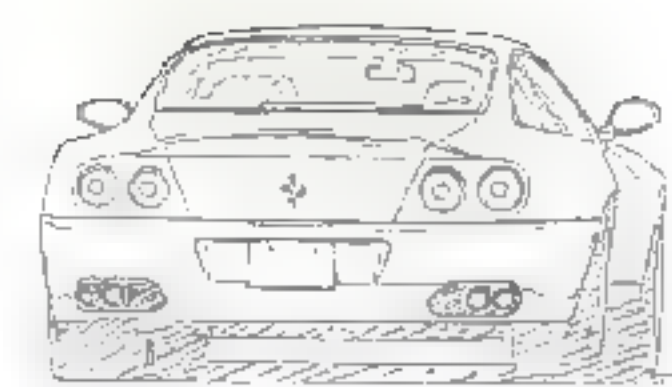


フェラーリ 512TR

信号無視 727-11



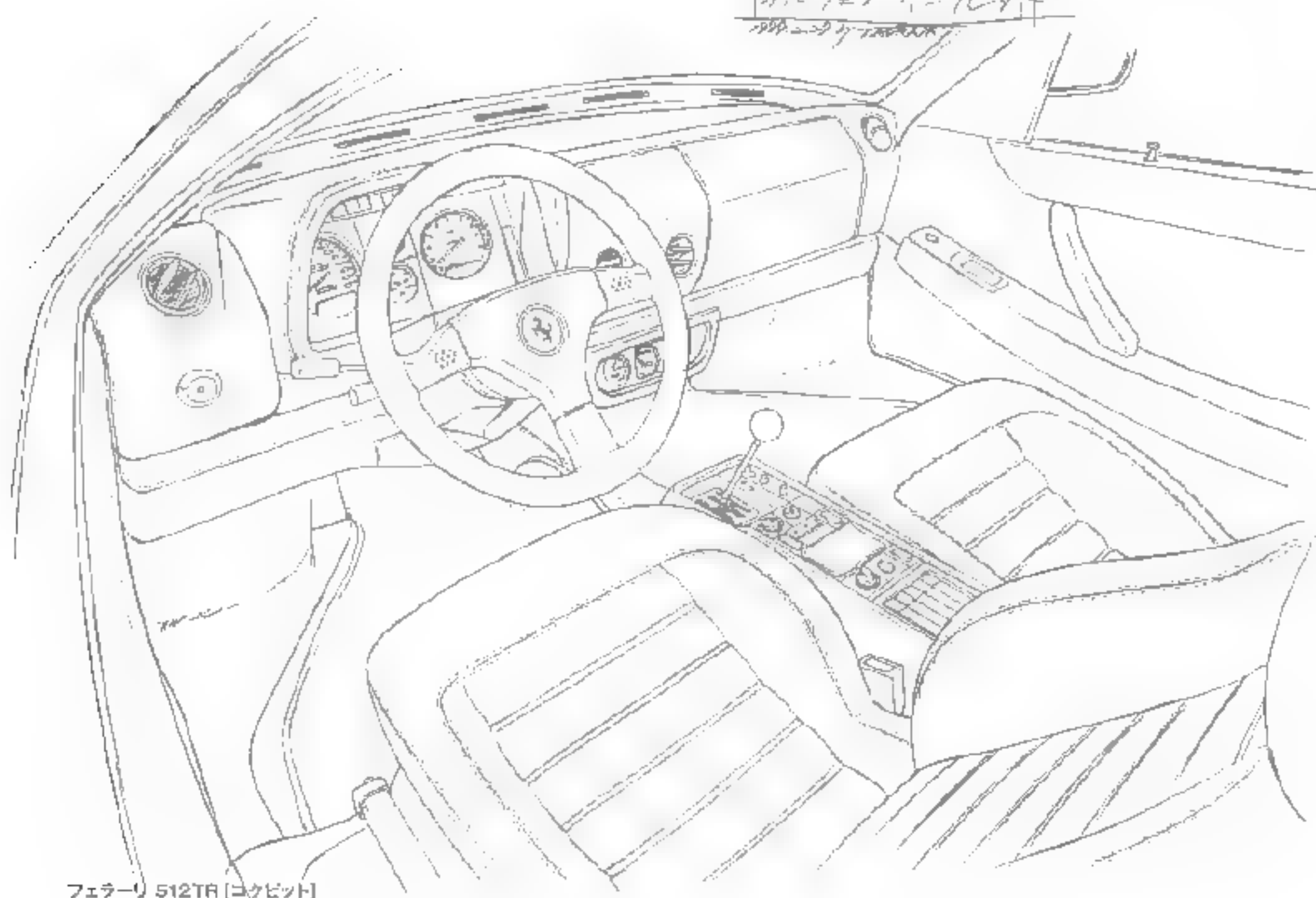
727-11 550 マラネロ



フェラーリ 550 マラネロ

1978.8.17 by T. MURATA

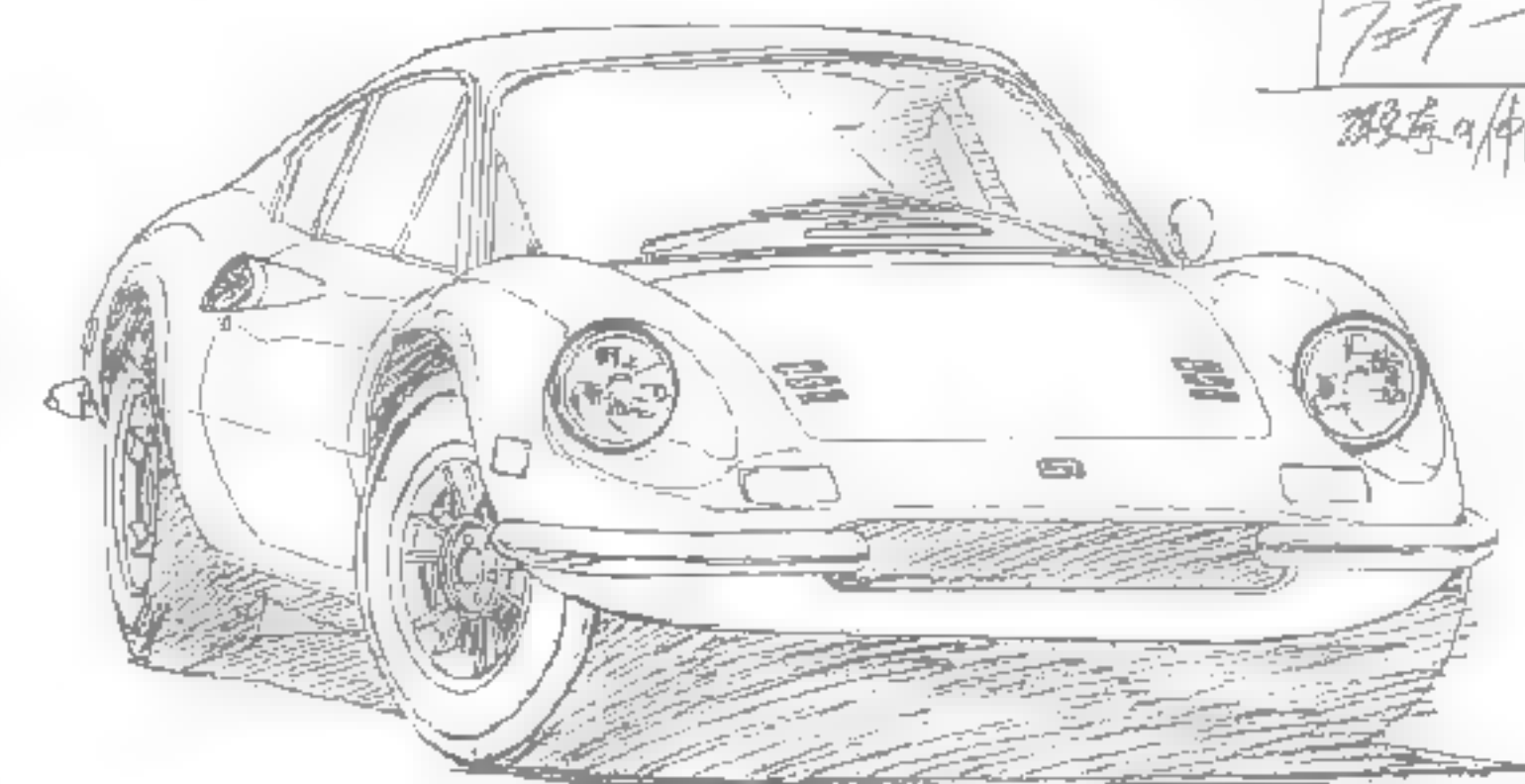
#18 フェラーリ (コクピット)
1977.2.20 by T. MURATA



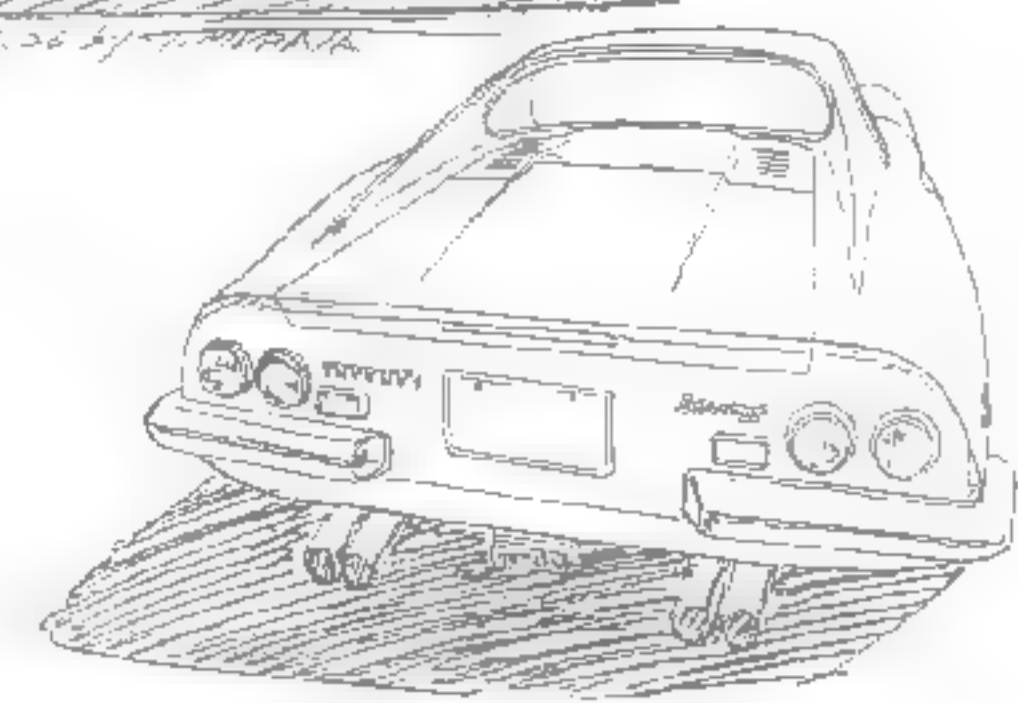
フェラーリ 512TR [コクピット]

727-11 ティノ 246GT

坂東 9/中村 車 ⑤



1977.1.26 by T. MURATA



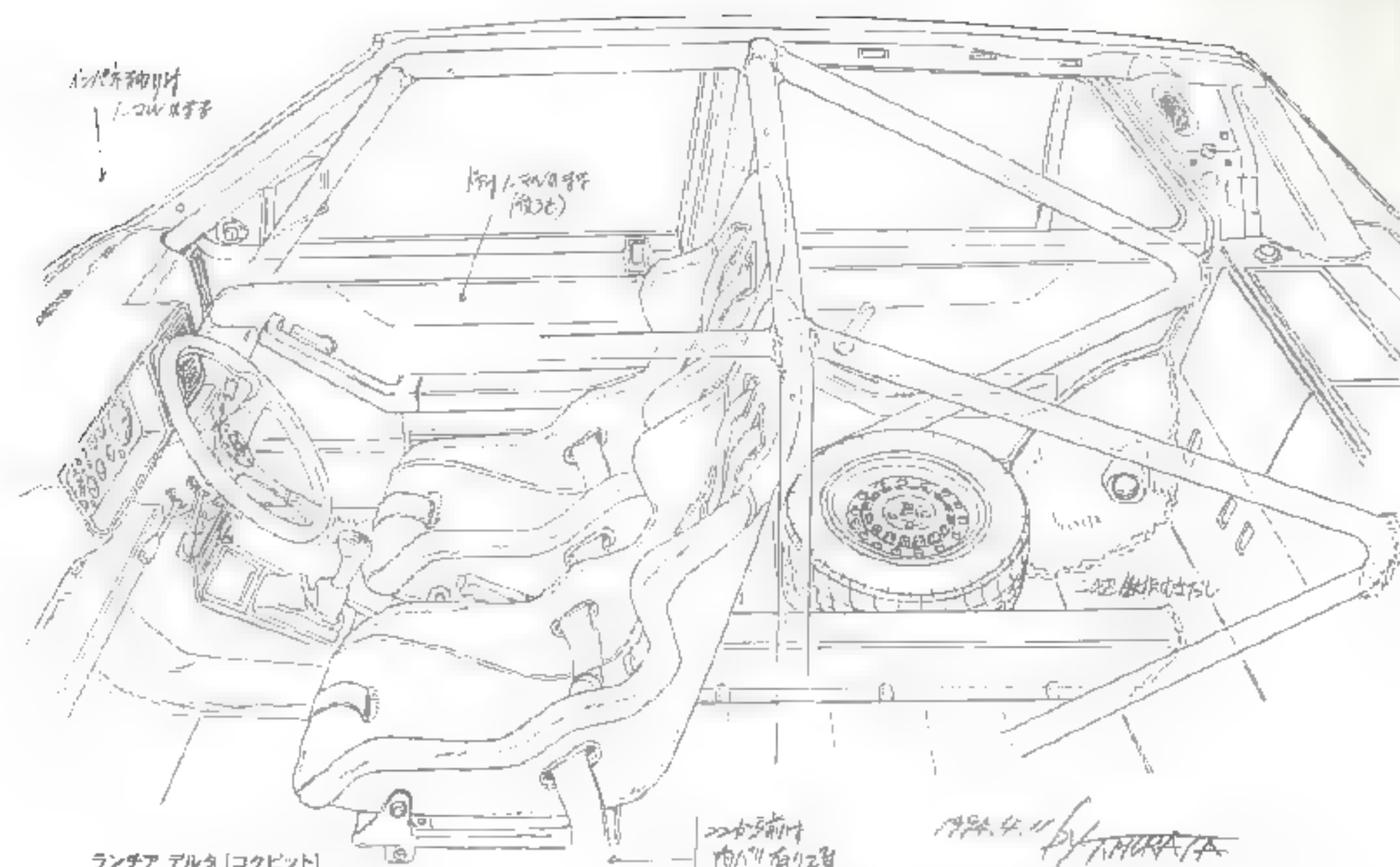
フェラーリ ティノ 246GT

0#2 ランチアデルタ



1994.8.9 by T. MURATA

0#2 ランチアデルタ スクビット

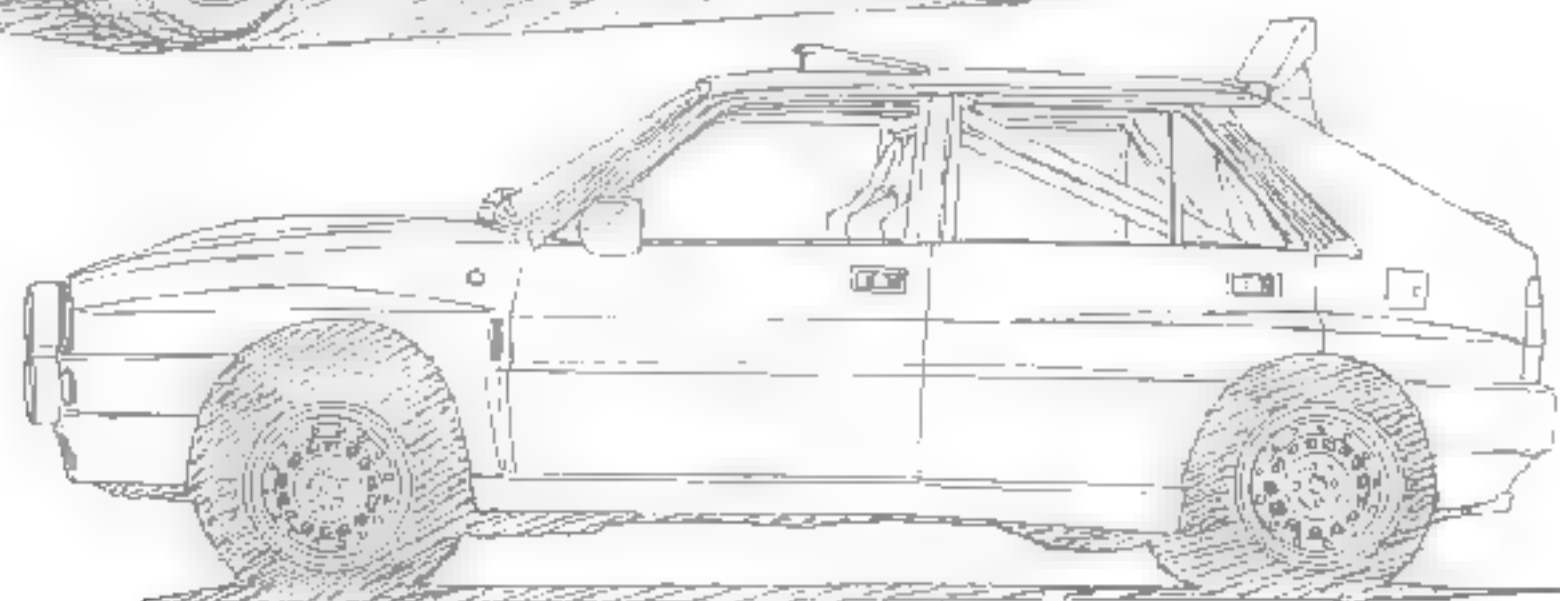


ランチア デルタ (スクビット)

1994.4.11 by T. MURATA

38

0#2 ランチアデルタ

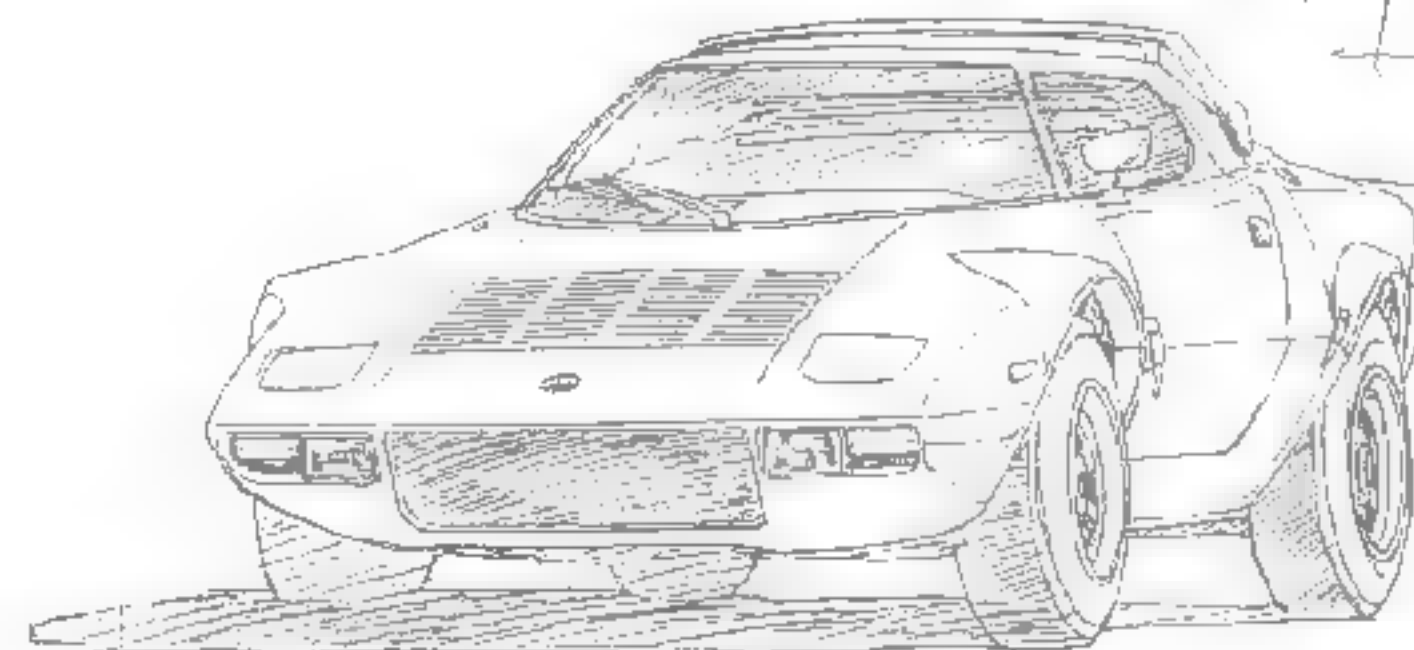


ランチア デルタ

1994.8.9 by T. MURATA

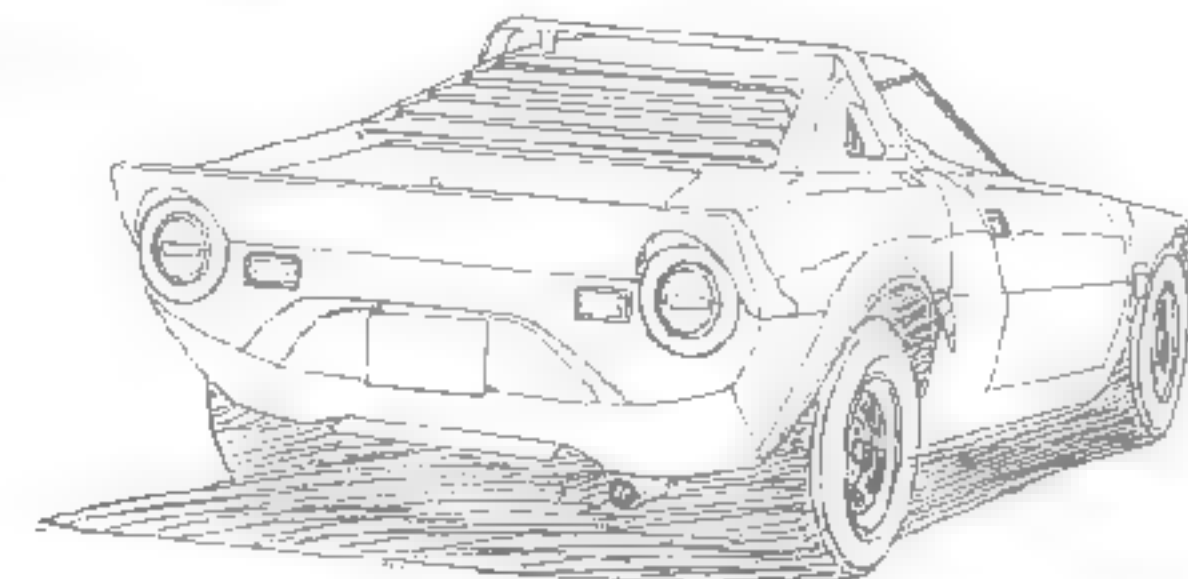
39

0#2 ランチア ストラトス HF



1994.8.9 by T. MURATA

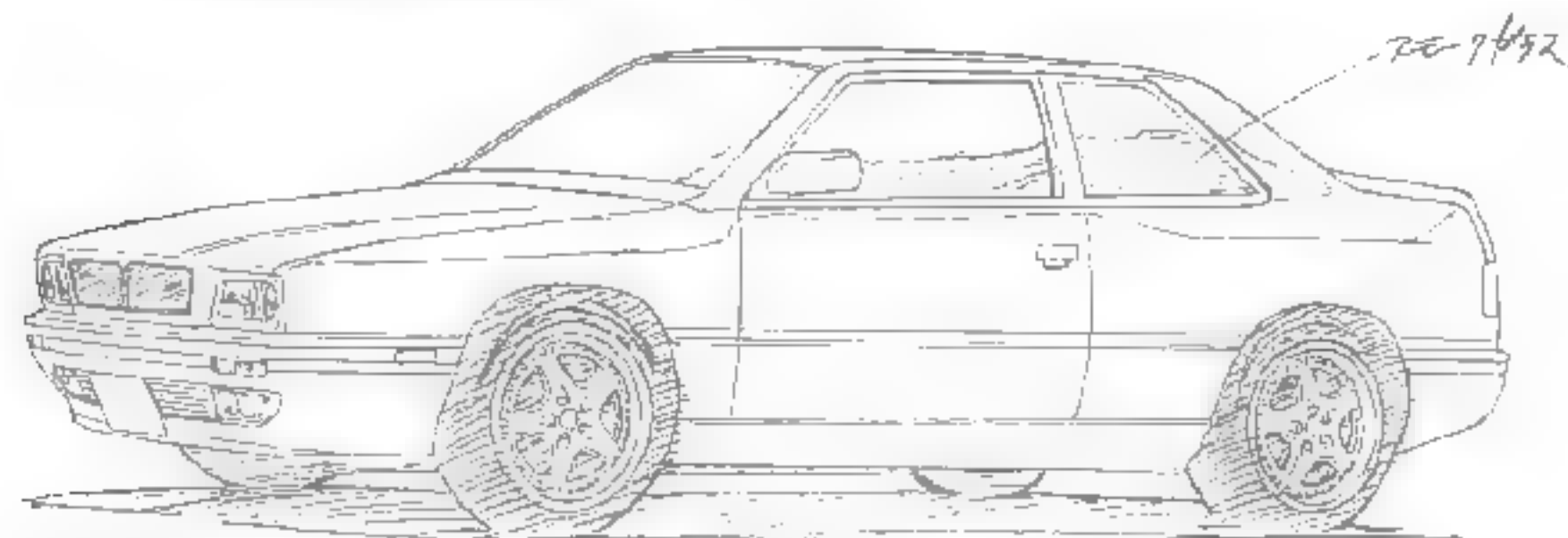
全長 2710mm 全幅 1750mm
全高 1114mm



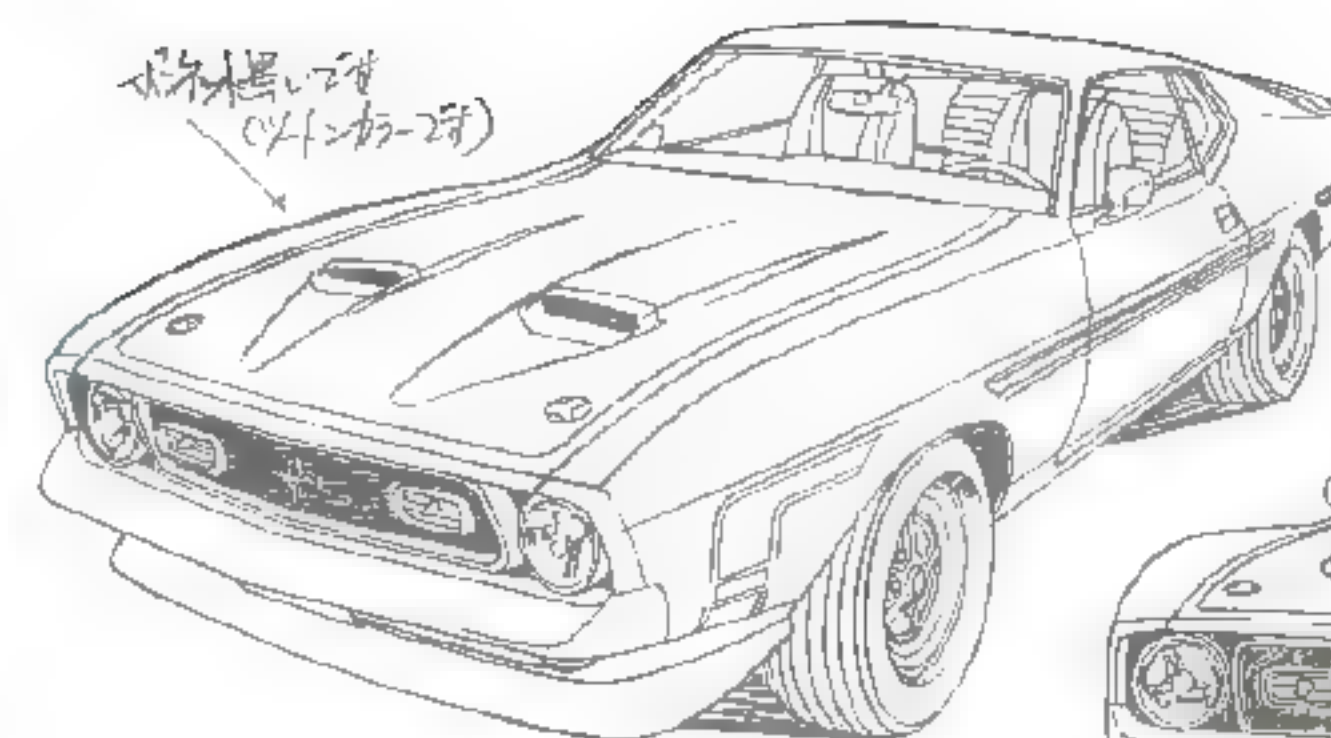
ランチア ストラトス



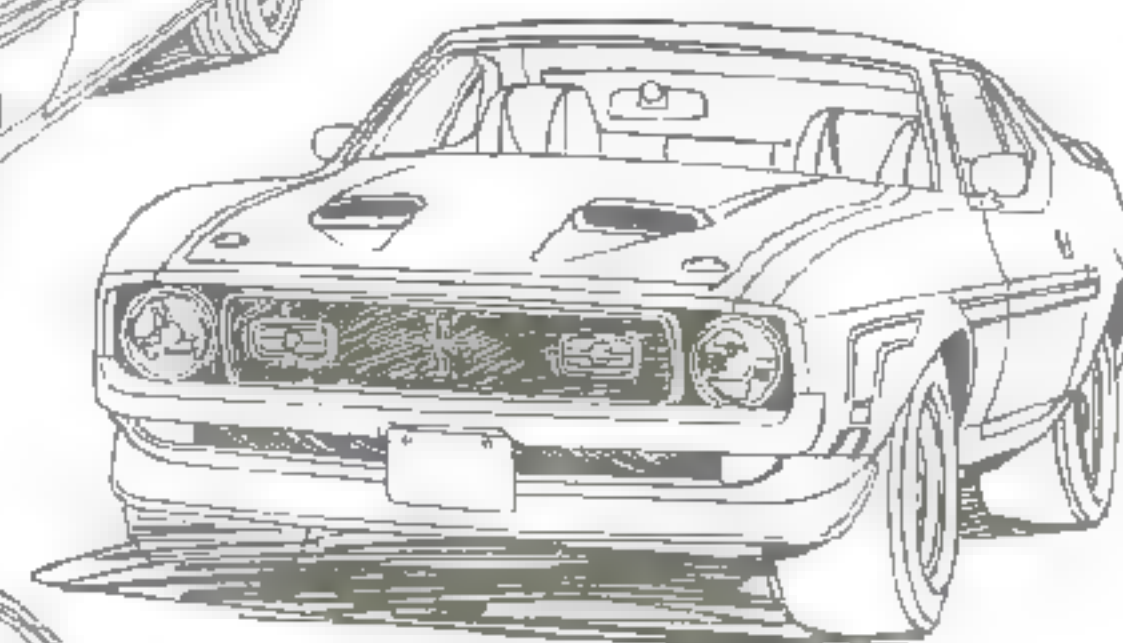
#51 外車集①
MASERATI GIBLI



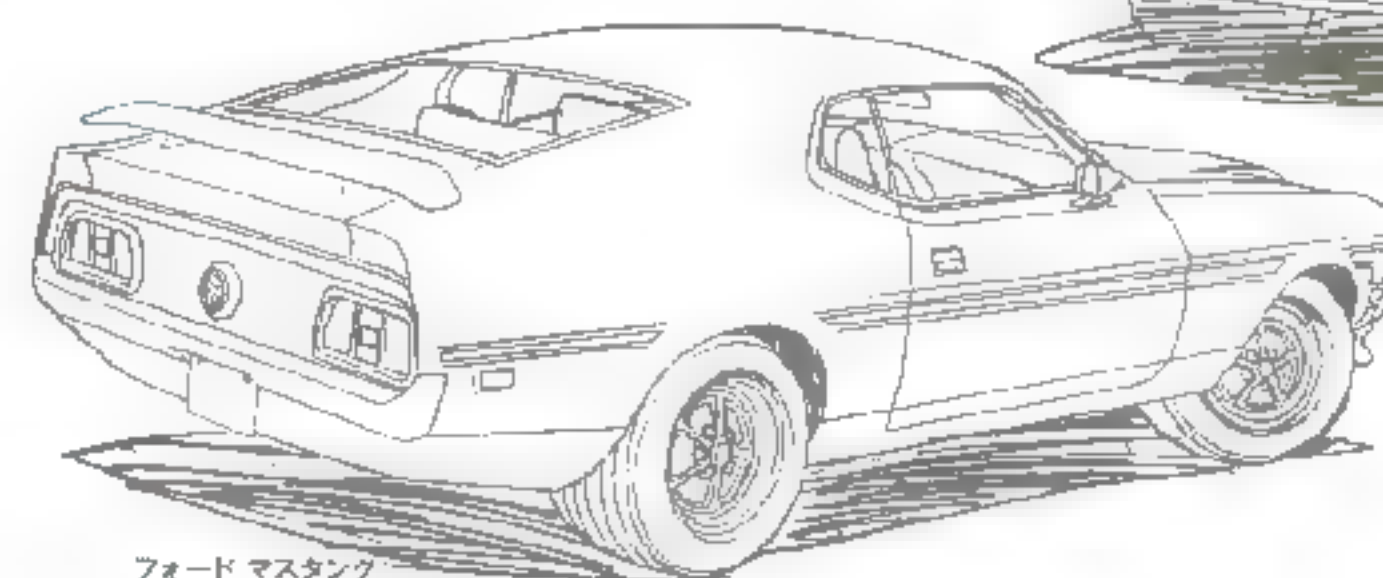
マセラティ ギブリ



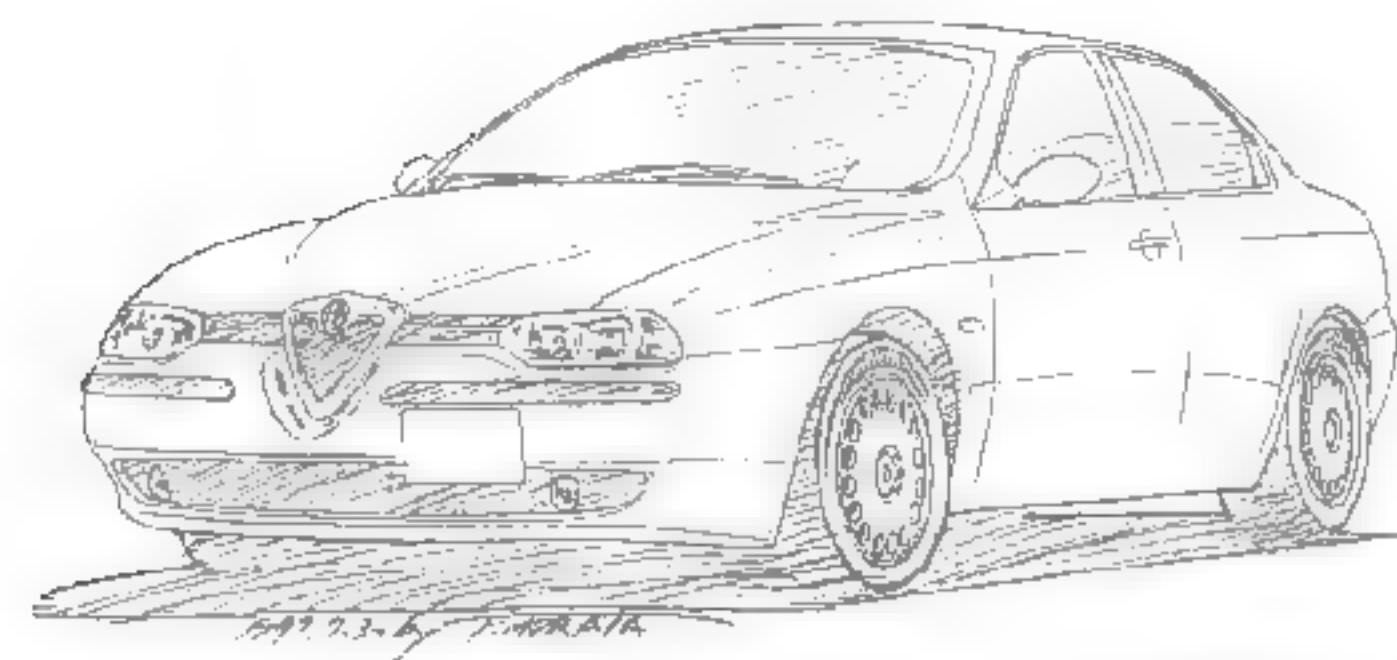
ボクは黒い車
(マシナリ)



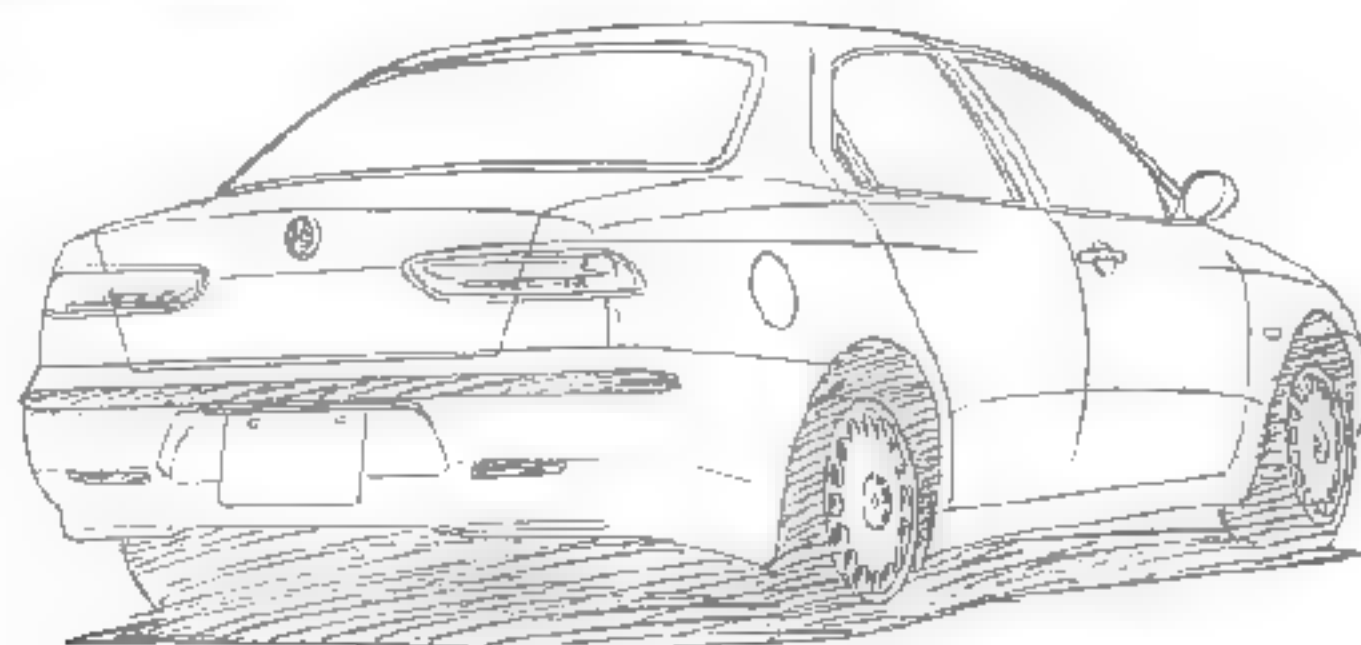
7/27/92
2002 by T. MURAKAMI
1981 THE BOSS 351



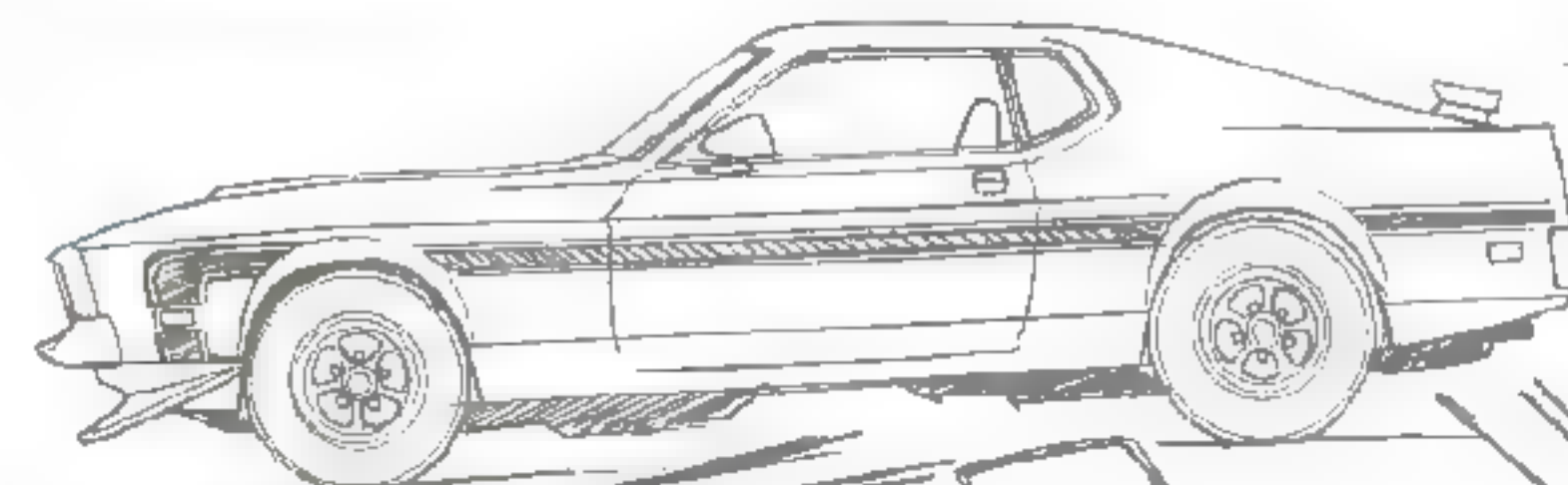
フォード マスタン



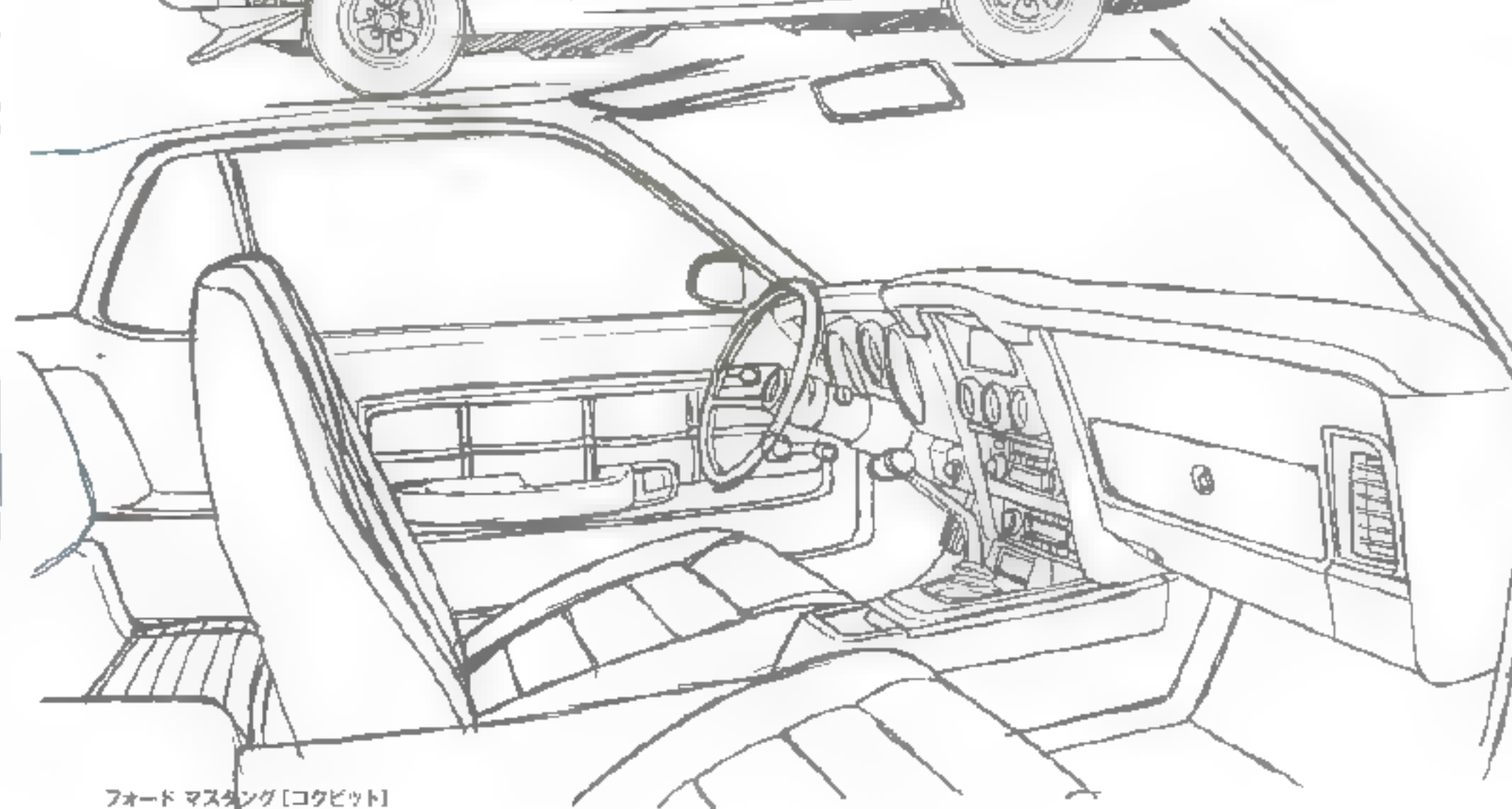
#51 外車集②
ALFA ROMEO 156



アルファロメオ 156

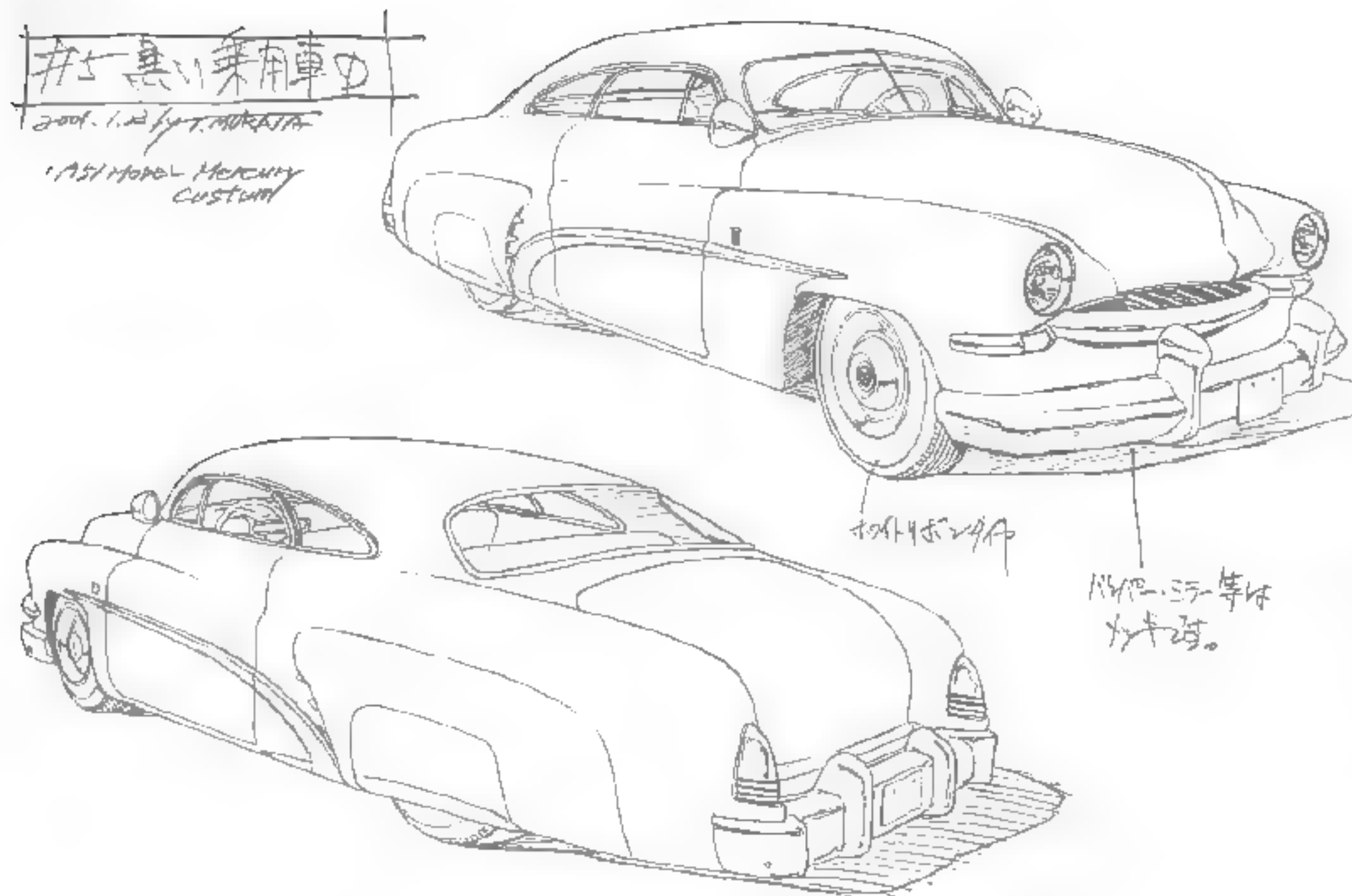


7/27/92
2002 by T. MURAKAMI

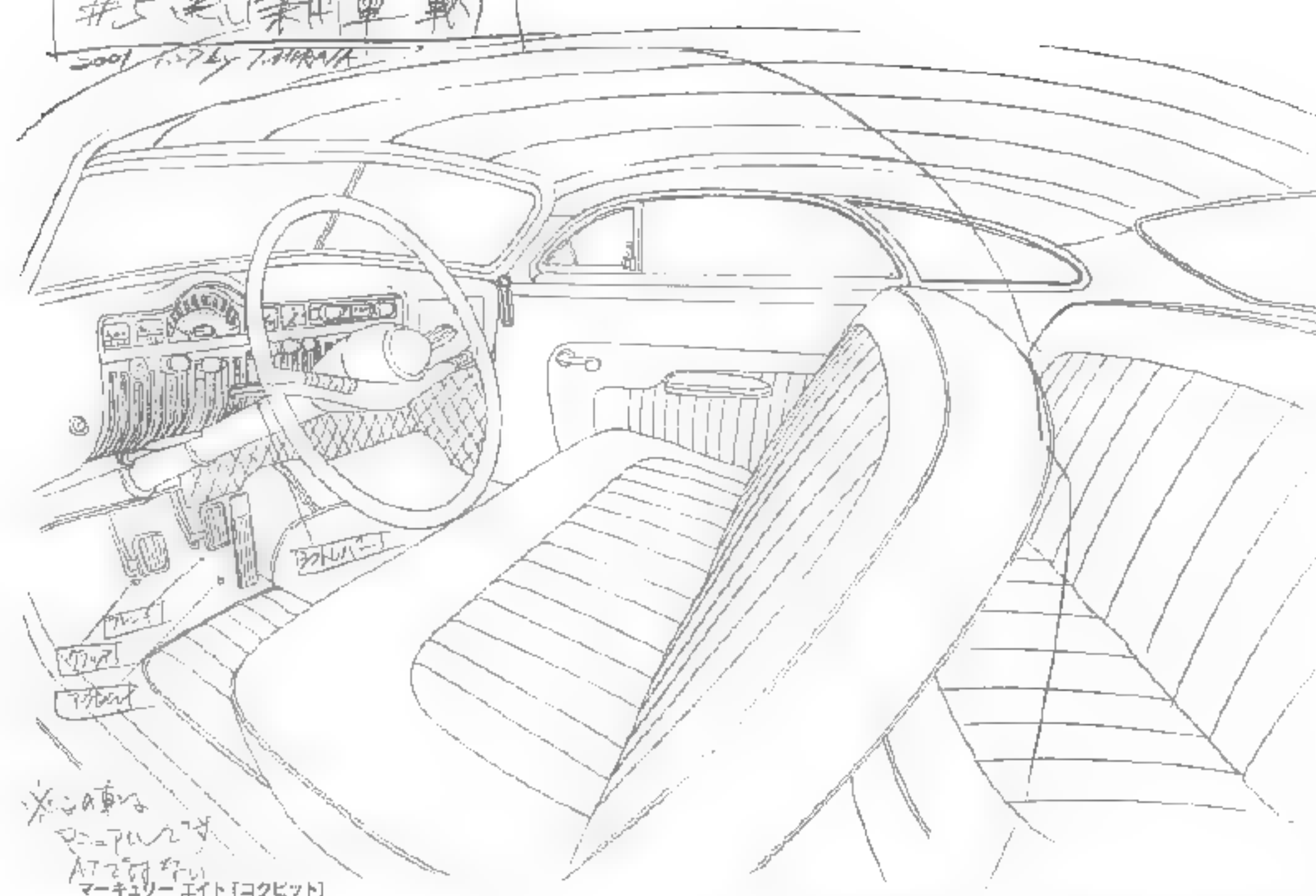


フォード マスタン [コクピット]

#5 黒い乗用車①
2001.1.12 by T. MURATA
1951 Model Mercury Custom

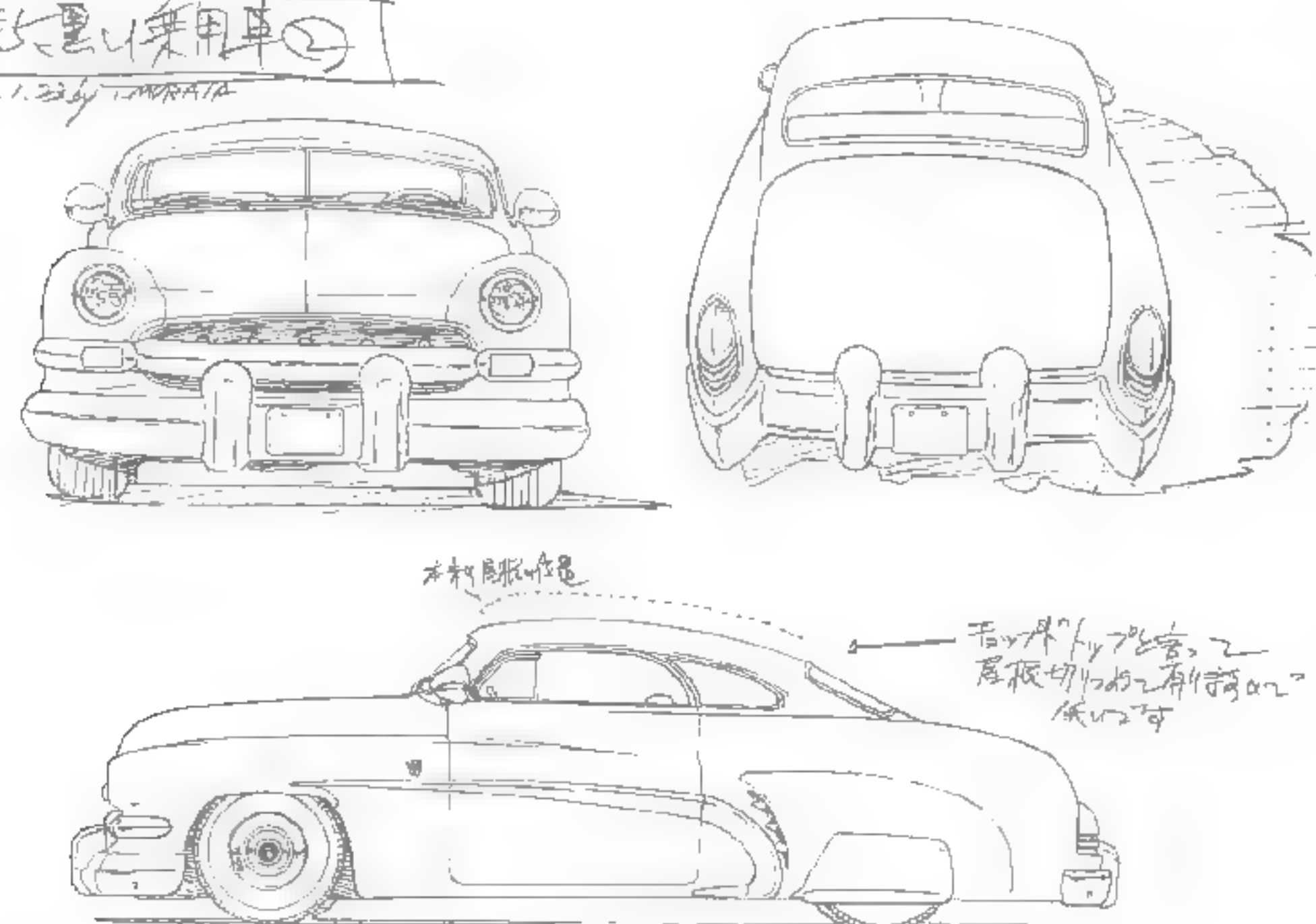


#5 黒い乗用車②
2001.1.27 by T. MURATA



42

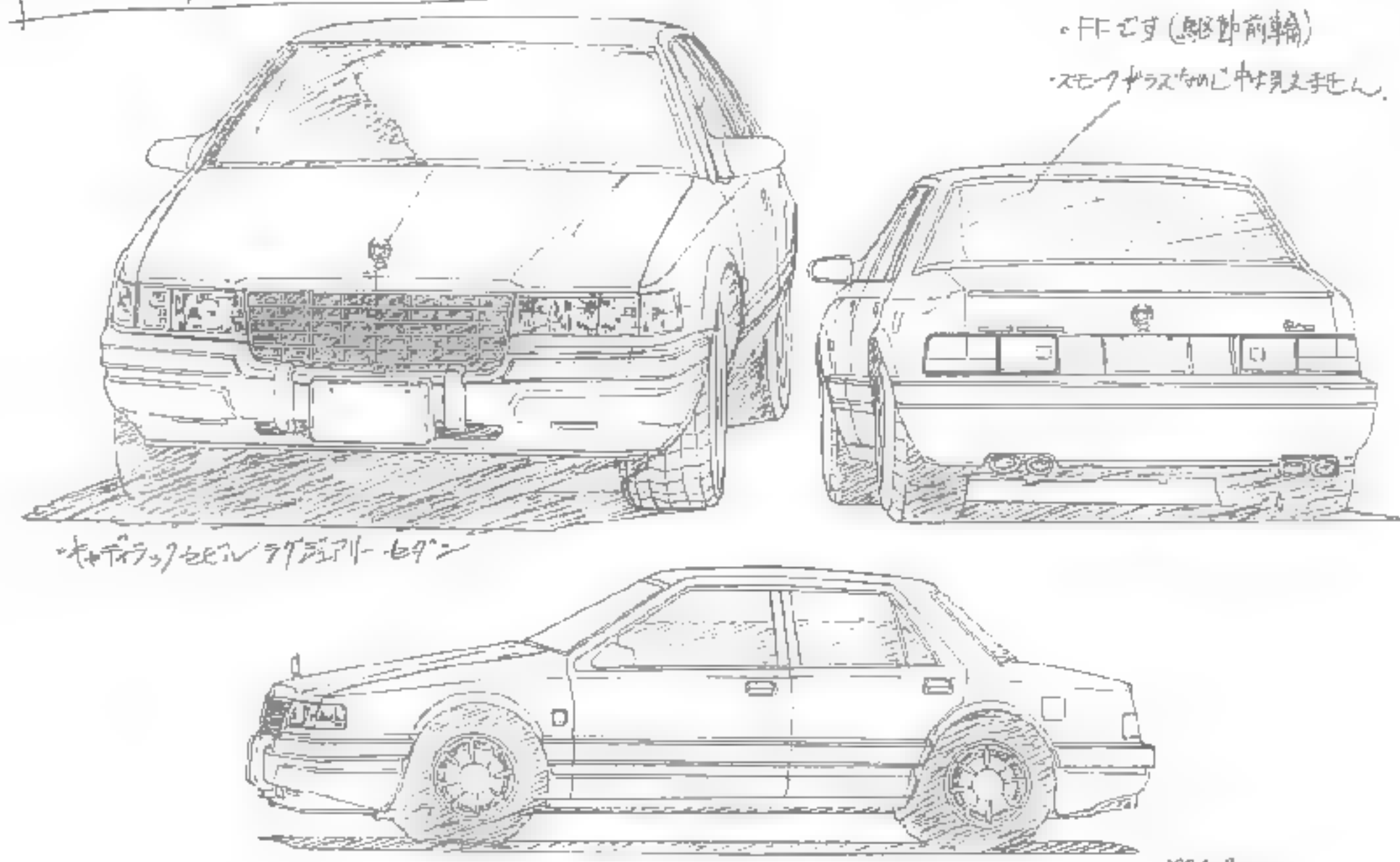
#5 黒い乗用車③
2001.1.23 by T. MURATA



マーキュリー エイト

43

#7 ストライク男にジキUP 3000 8車
1996.8.13 by T. MURATA



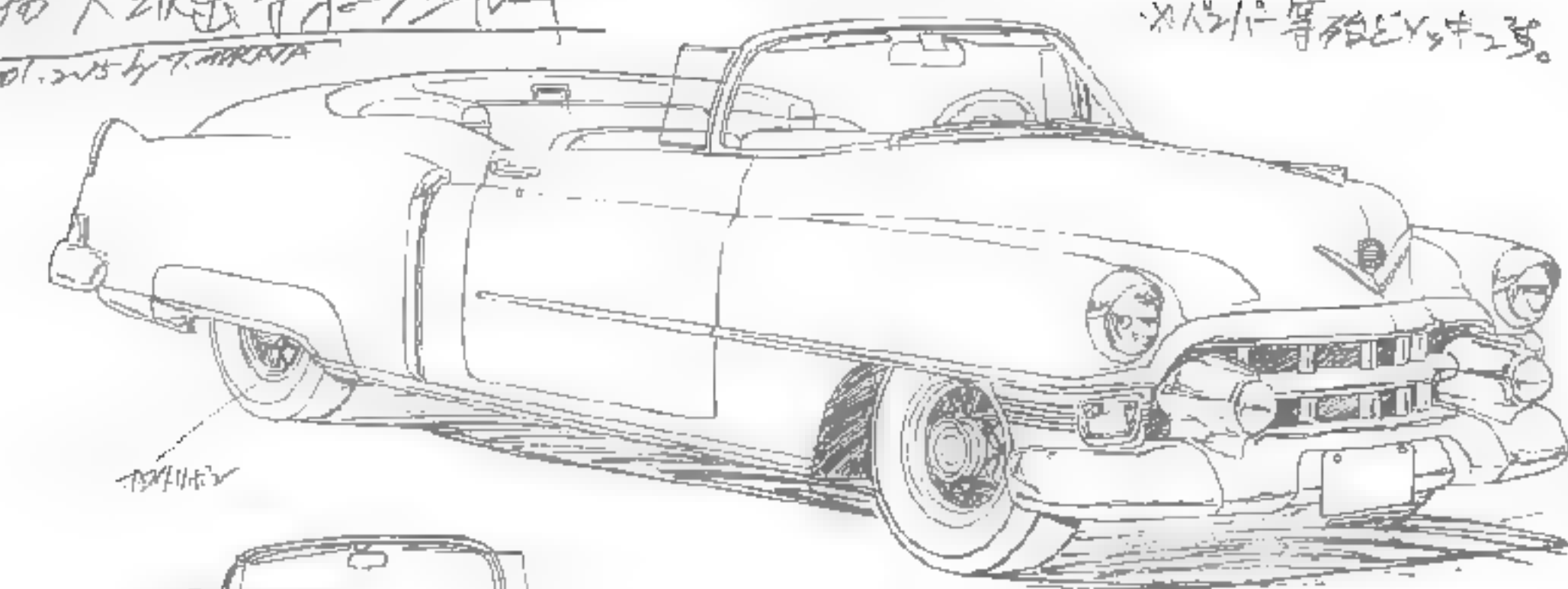
キャデラック セビル

1996.8.13
by T. MURATA

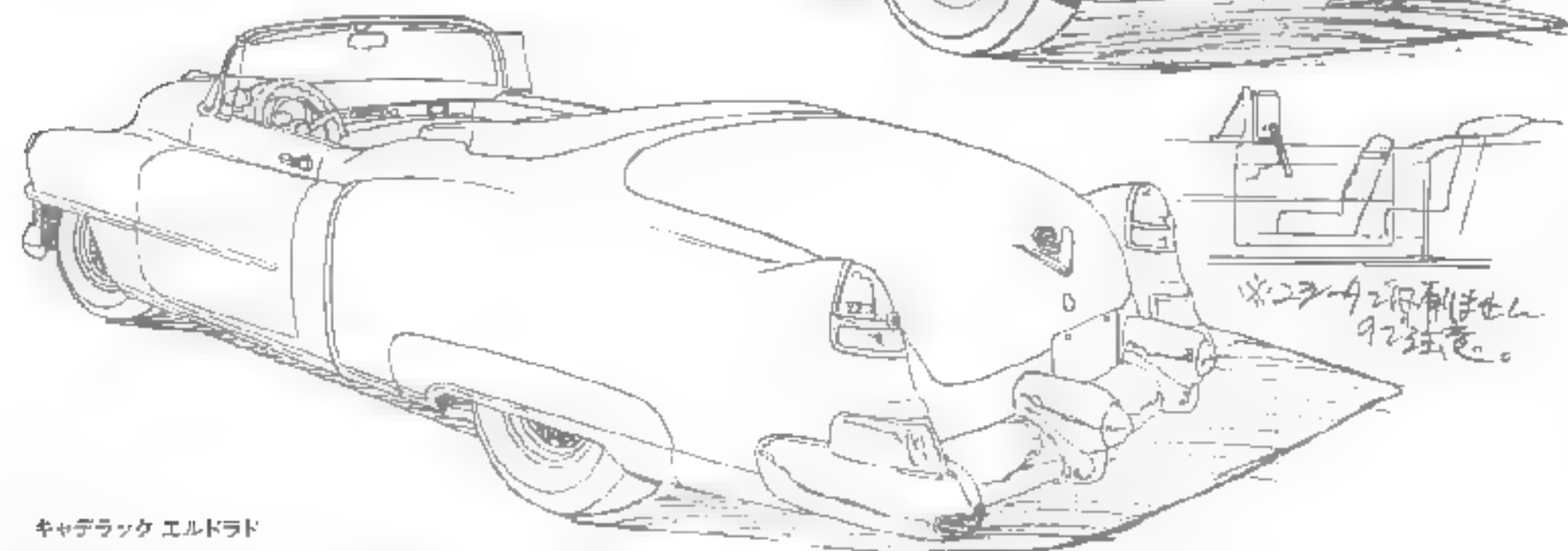
#6 大塚由希子
2001.2.25 by T. ARAKI

1953 CADILLAC ELDORADO

※ハッチ等殆どV8エンジン



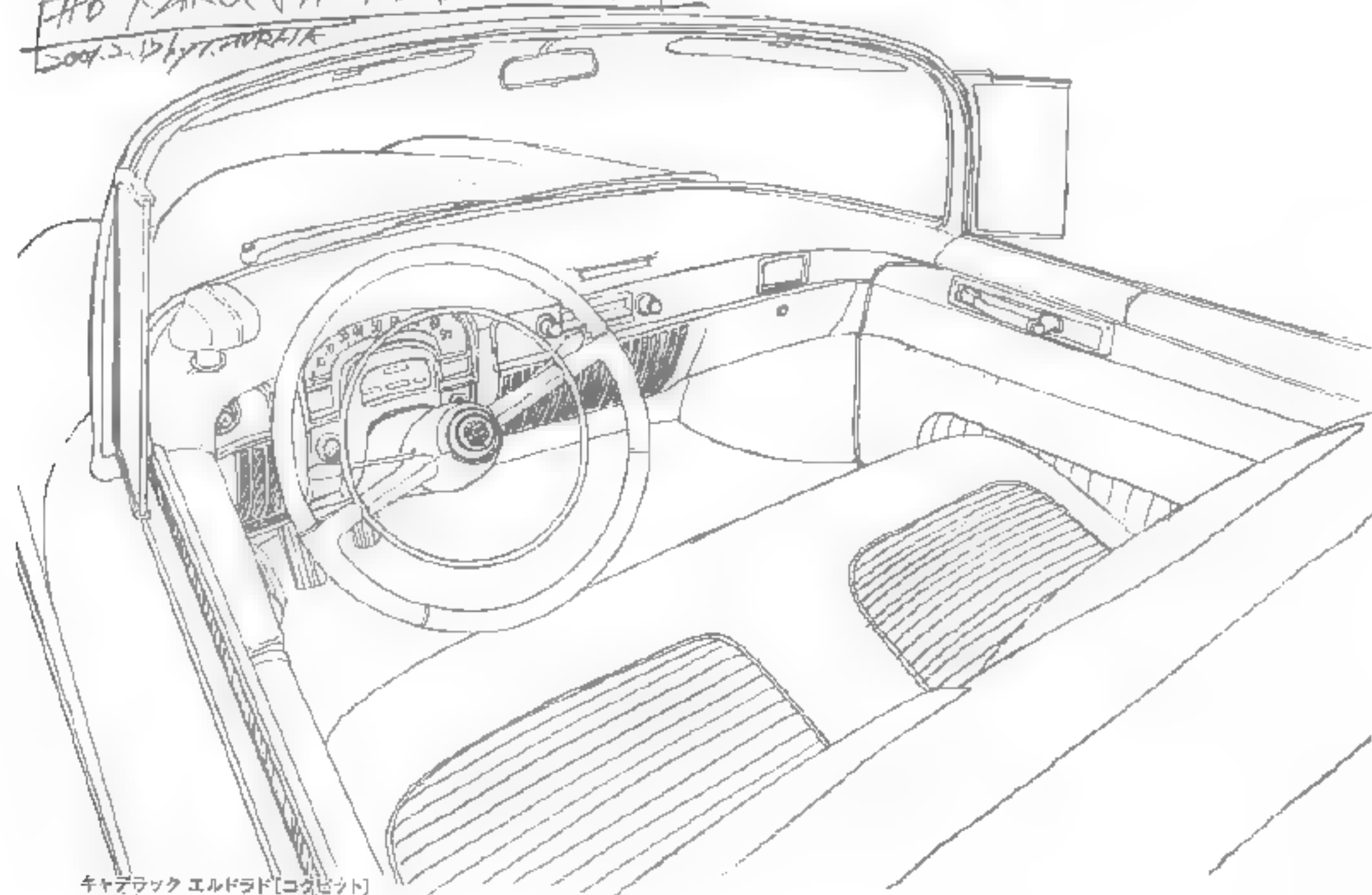
1953年



※エンジンがV8エンジン
92馬力

キャデラック エルドラド

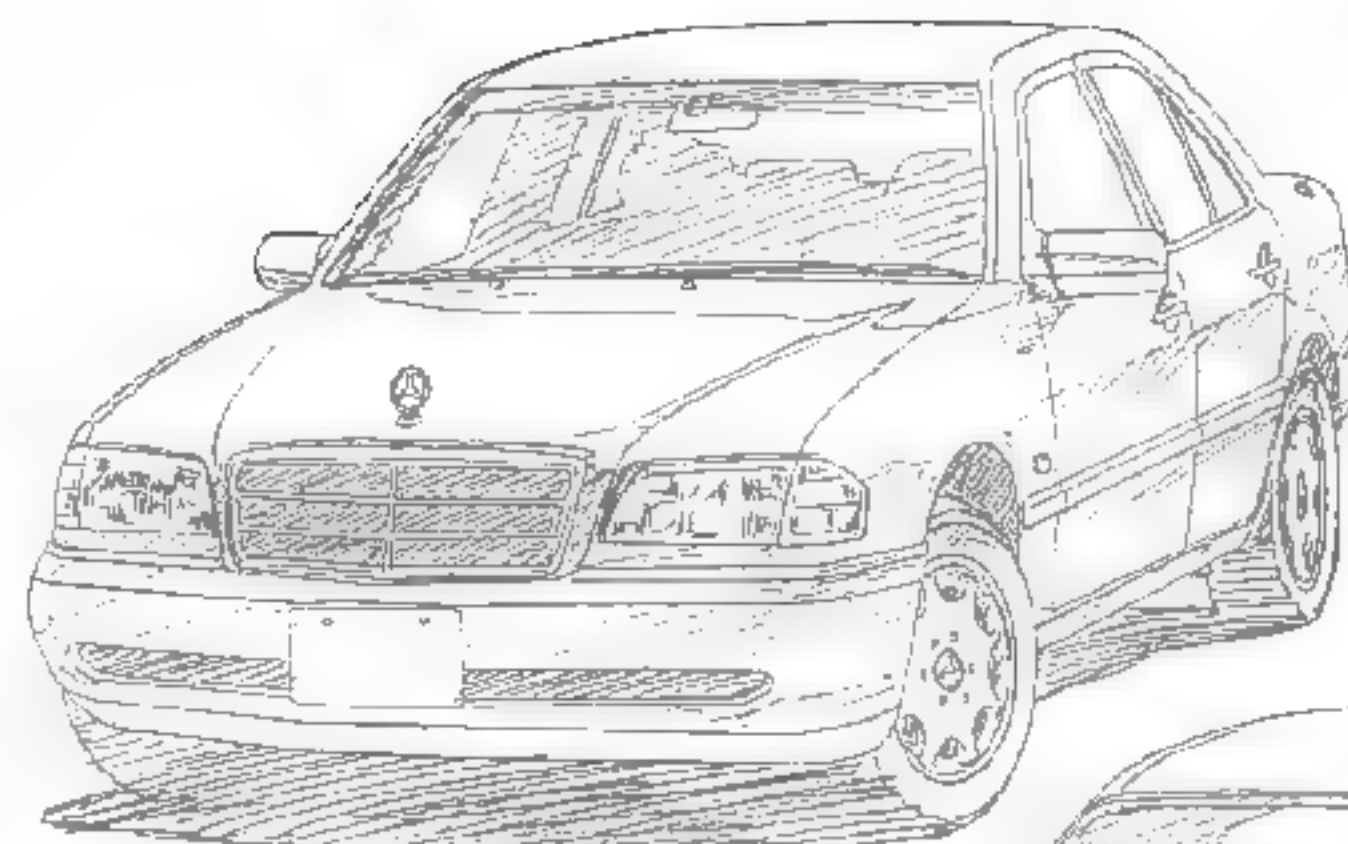
#6 大塚由希子
2001.2.25 by T. ARAKI



キャデラック エルドラド [コクピット]

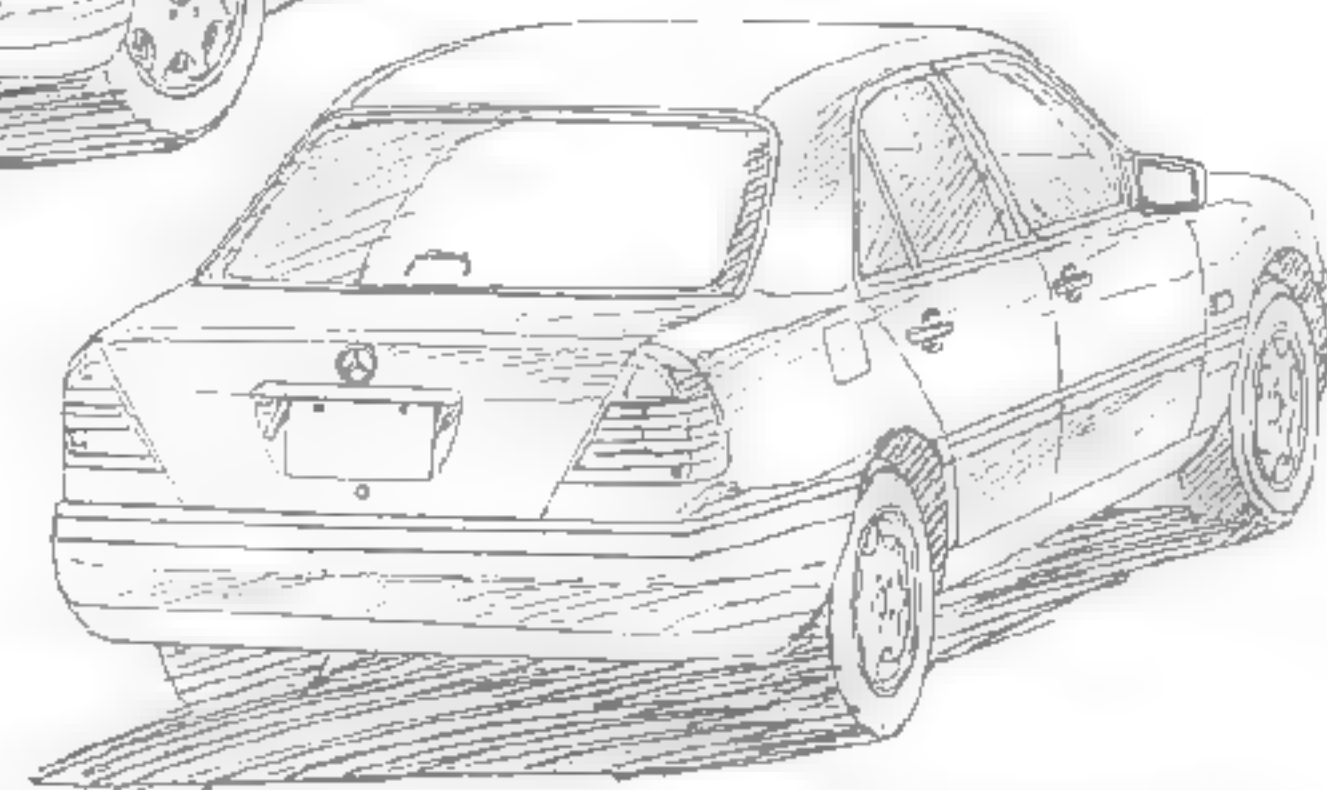
#25
大塚由希子 中年男の
外車

メルセデス・ベンツ C230
年 447524 全長 172024 全高 142024

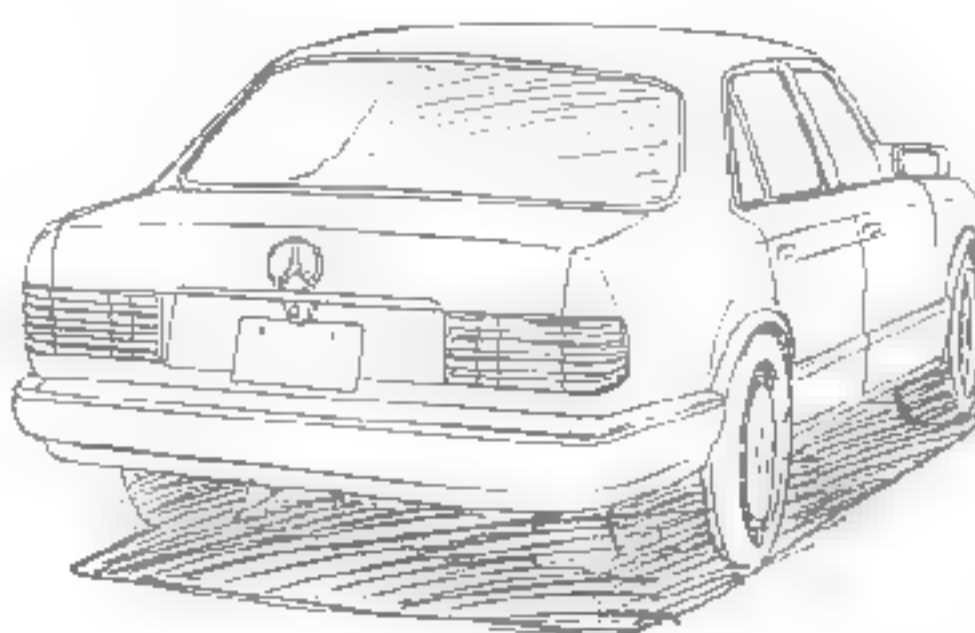


1999.2.25 by T. ARAKI

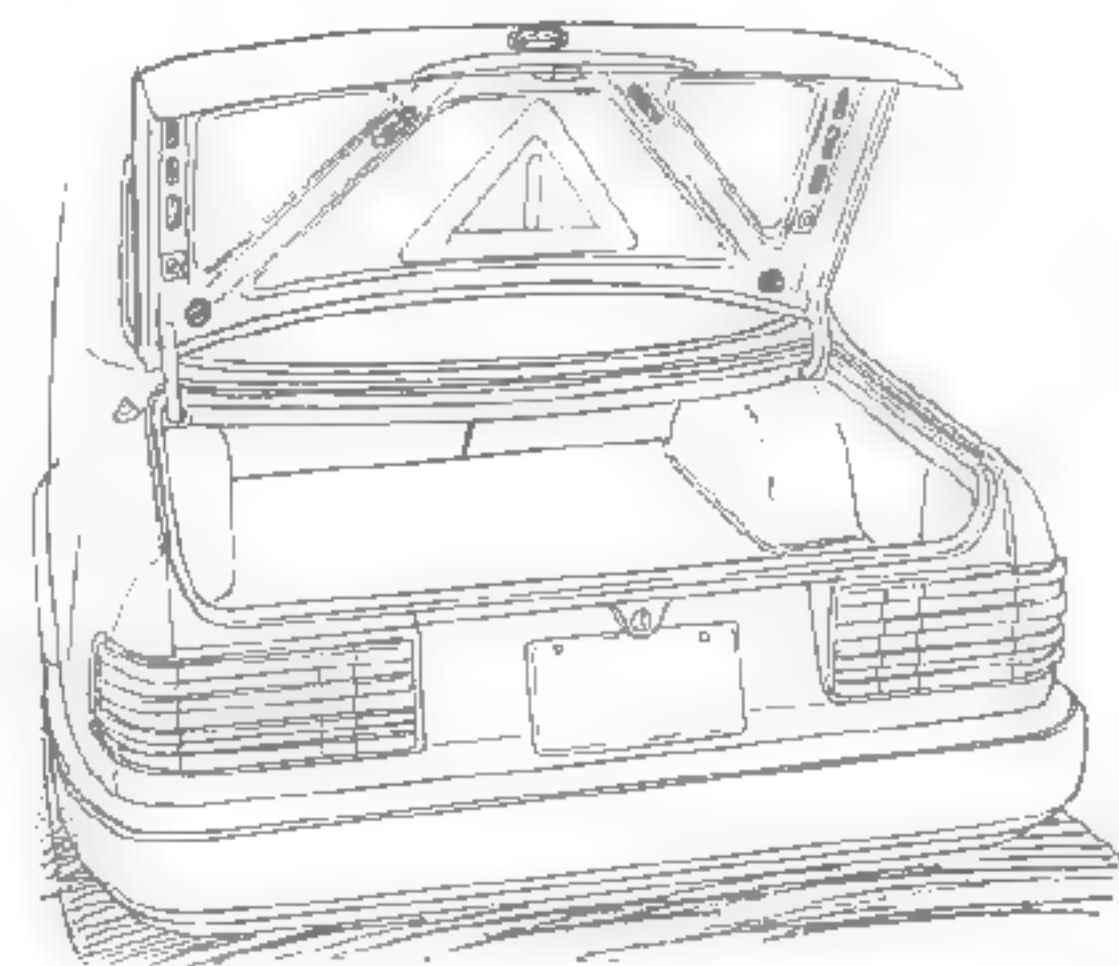
メルセデス・ベンツ Cクラス

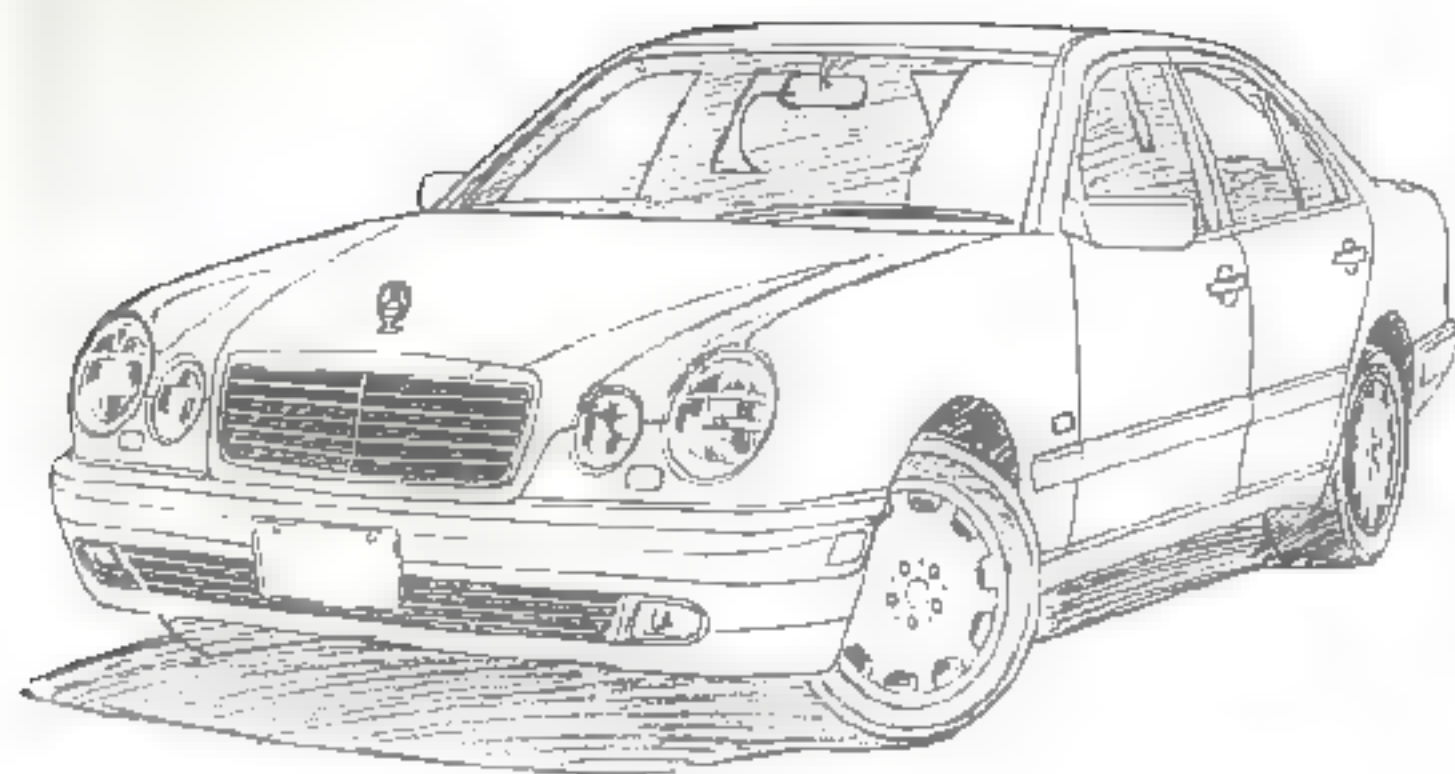


メルセデス・ベンツ
1998.2.25 by T. ARAKI

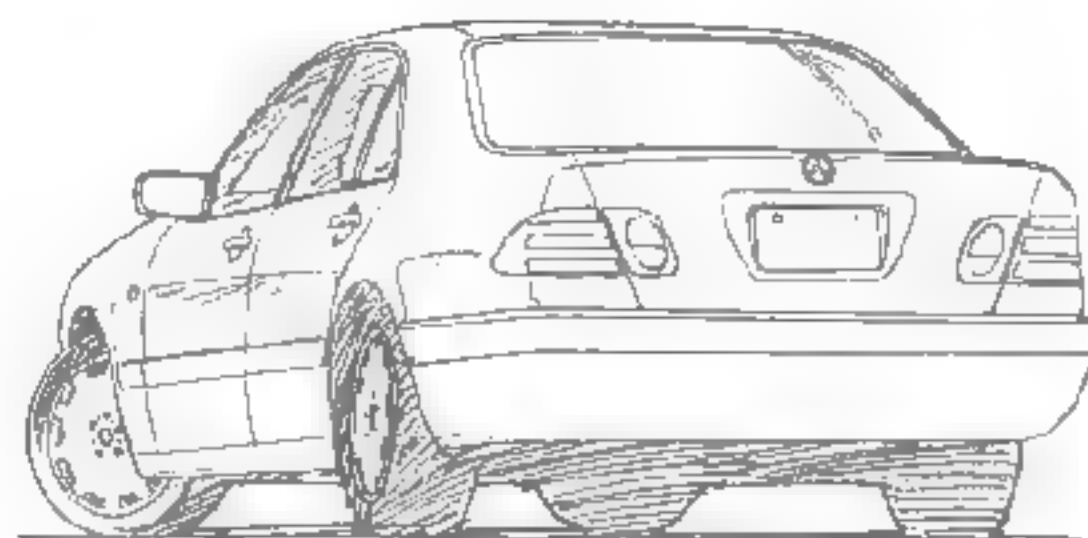


メルセデス・ベンツ Sクラス

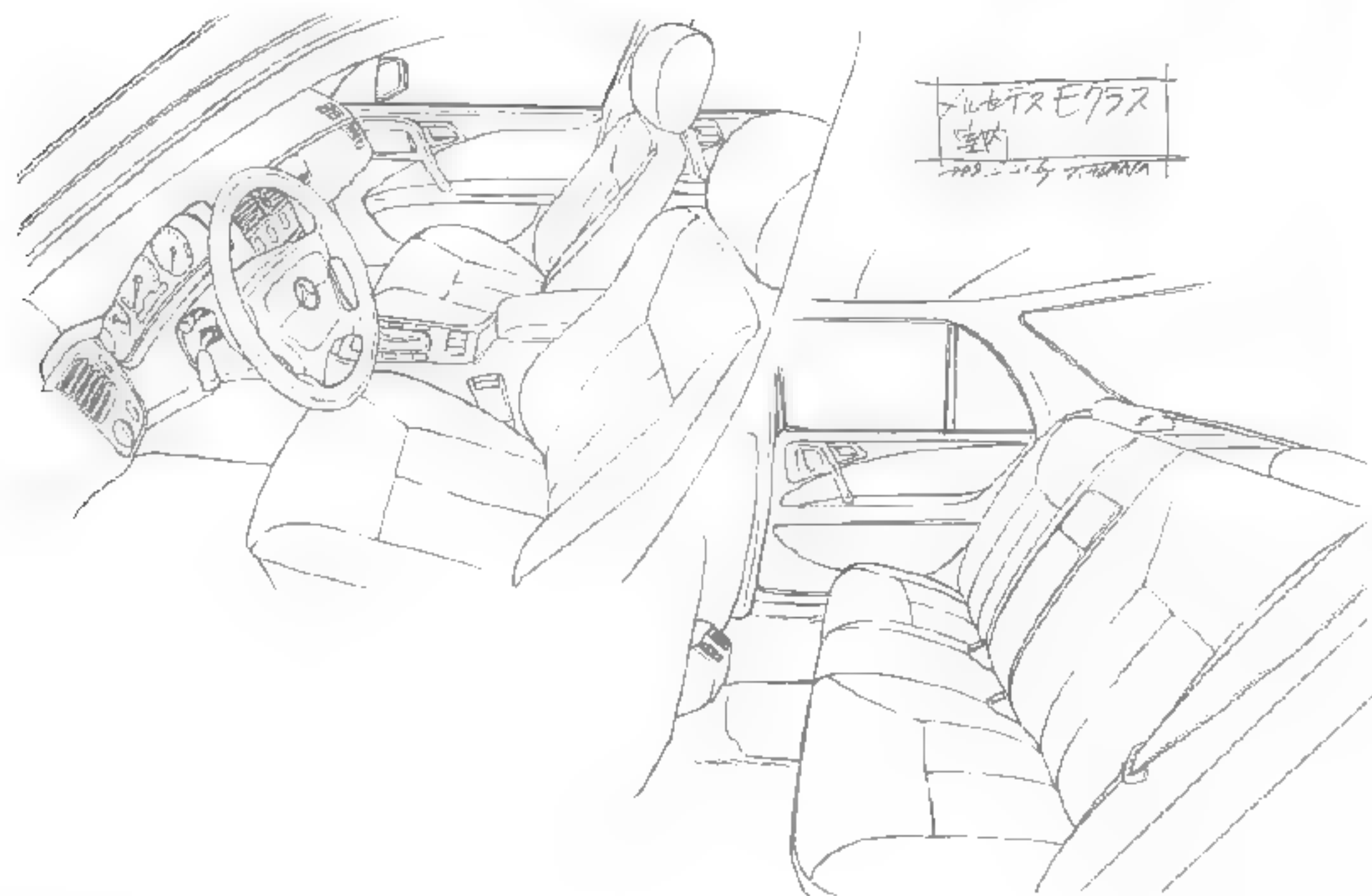




メルセデス Eクラス
1999.1.24 by T. KAWAKITA



メルセデス・ベンツ Eクラス

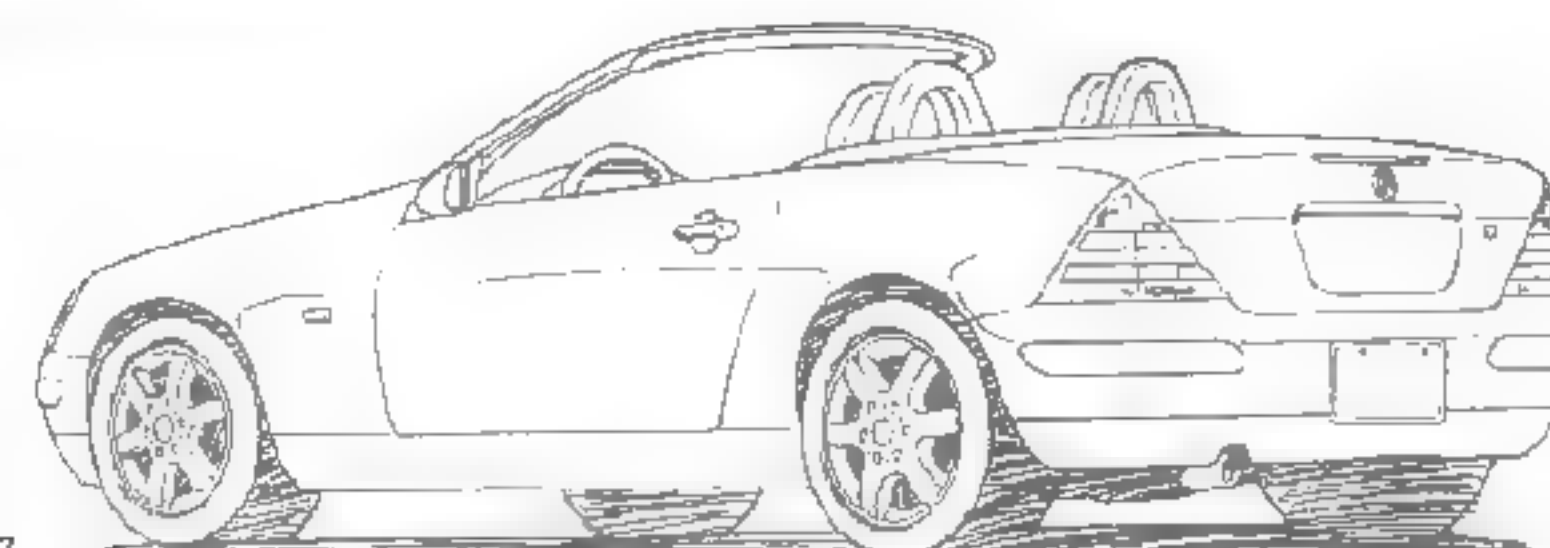


メルセデス Eクラス
室内
1999.1.24 by T. KAWAKITA

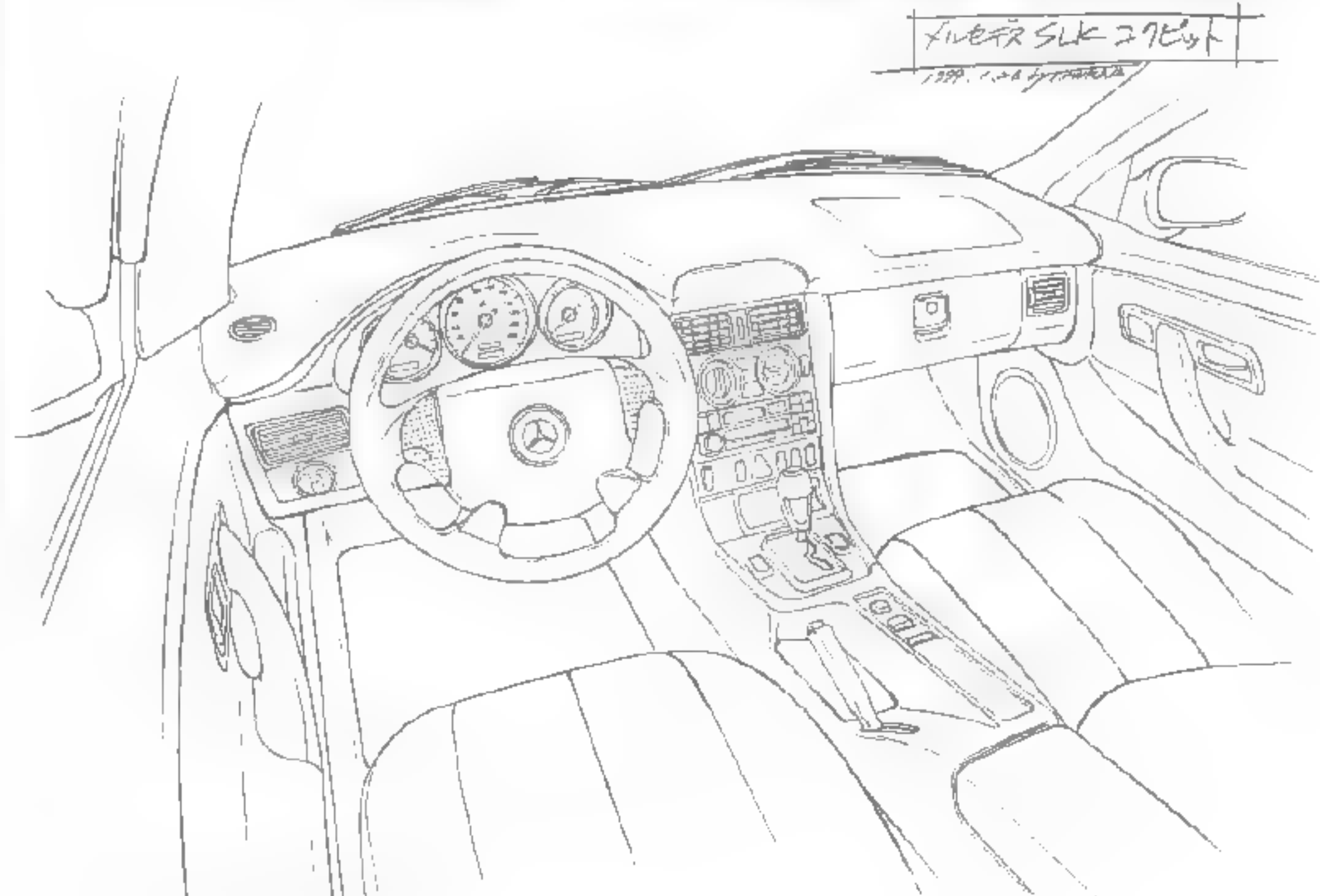
メルセデス・ベンツ Eクラス [コクピット、内装]



メルセデス SLK
1999.1.24 by T. KAWAKITA



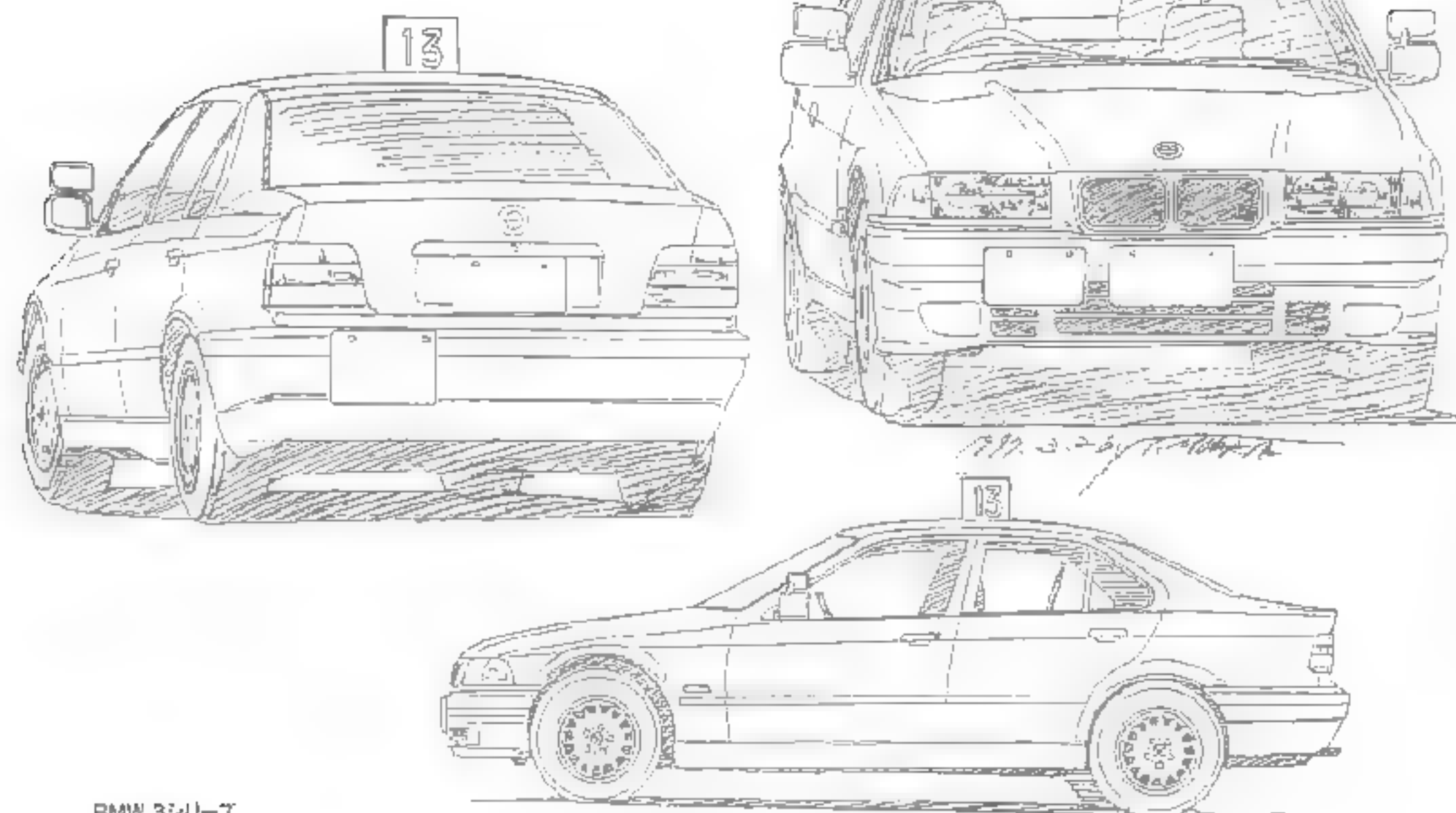
メルセデス・ベンツ SLKクラス



メルセデス SLK 270ピット
1999.1.24 by T. KAWAKITA

メルセデス・ベンツ SLKクラス [コクピット]

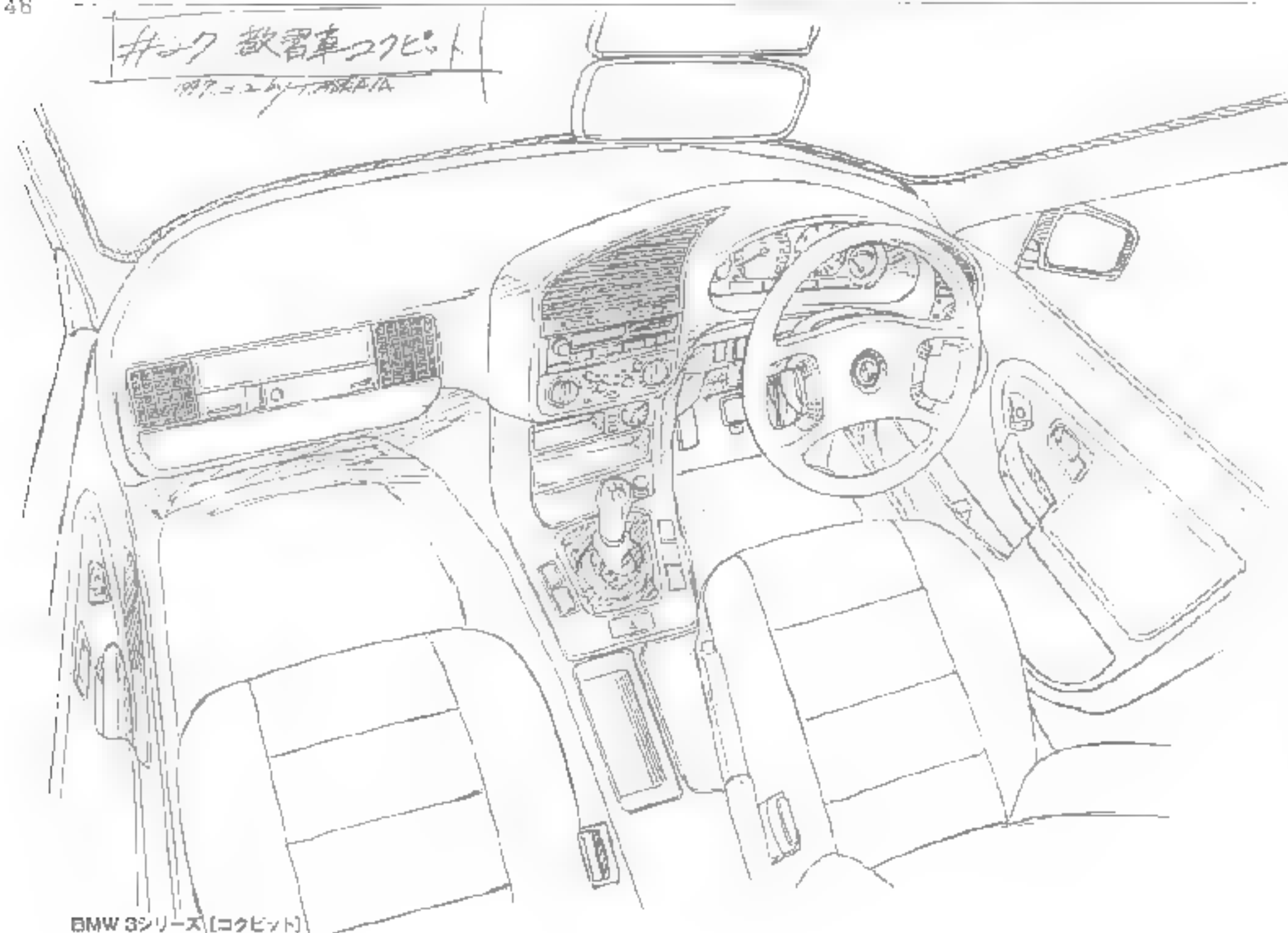
#27 教習車



BMW 3シリーズ

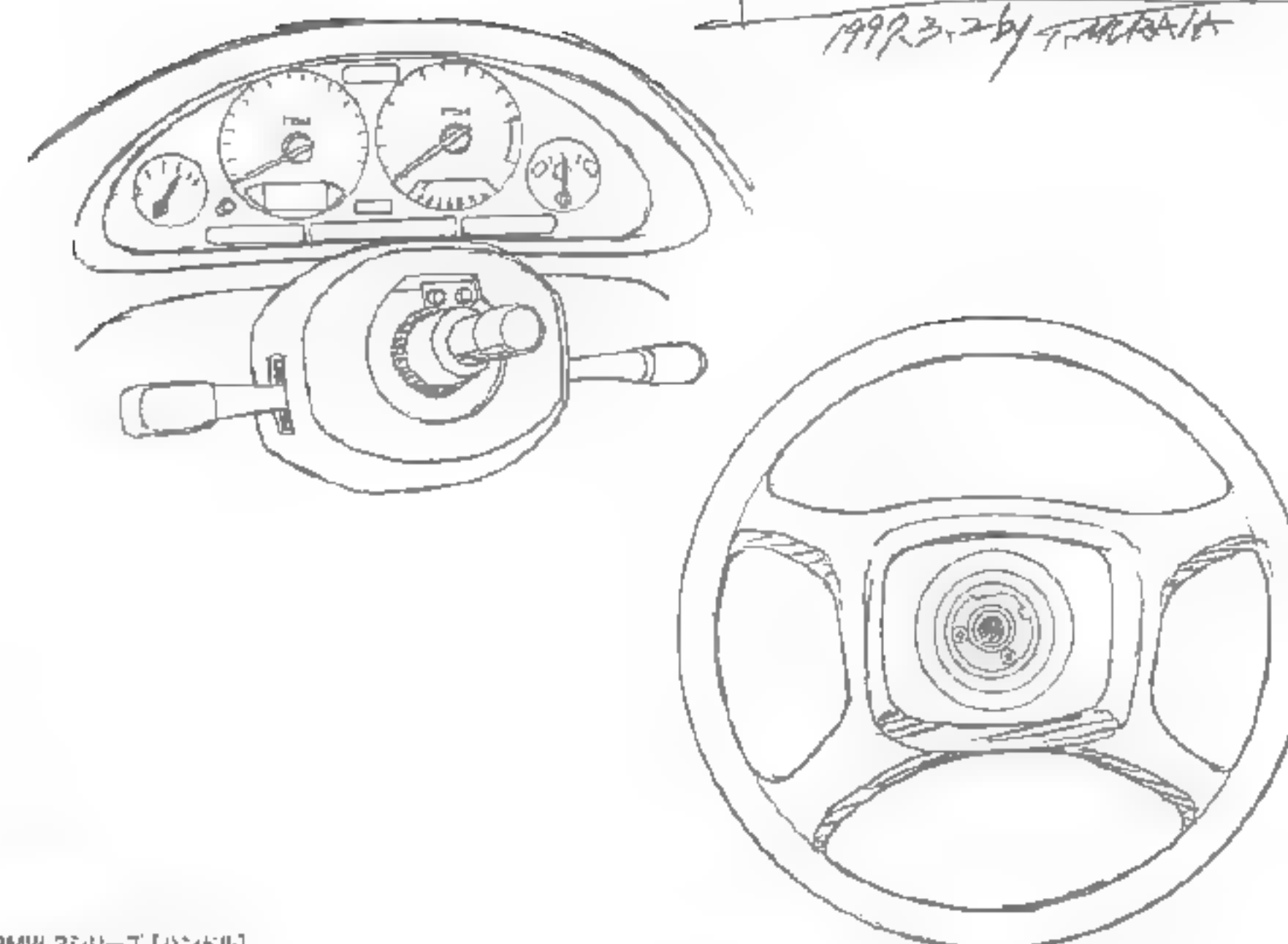
48

#27 教習車コクピット



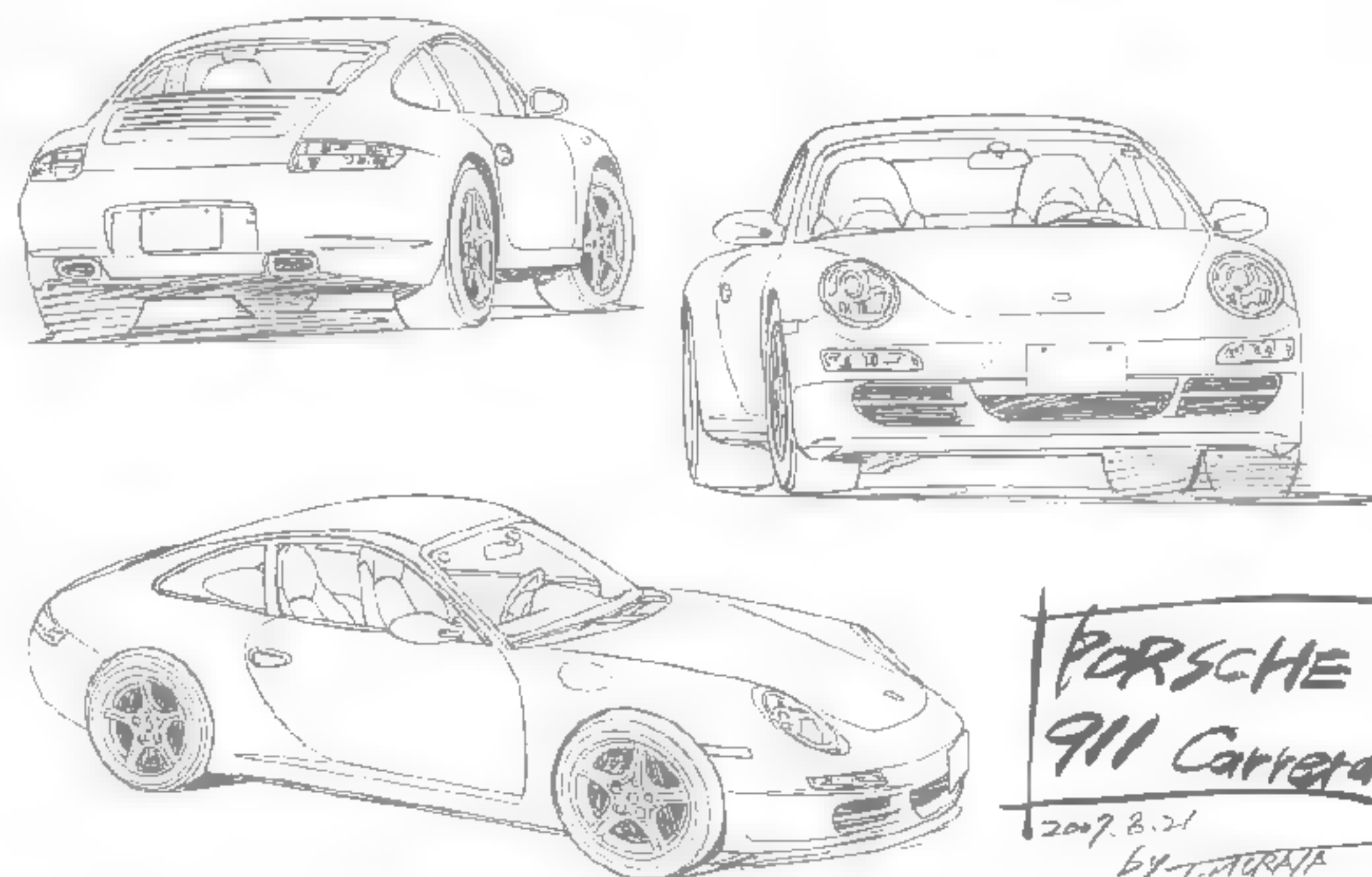
BMW 3シリーズ(コクピット)

#27 教習車ハンドル



BMW 3シリーズ(ハンドル)

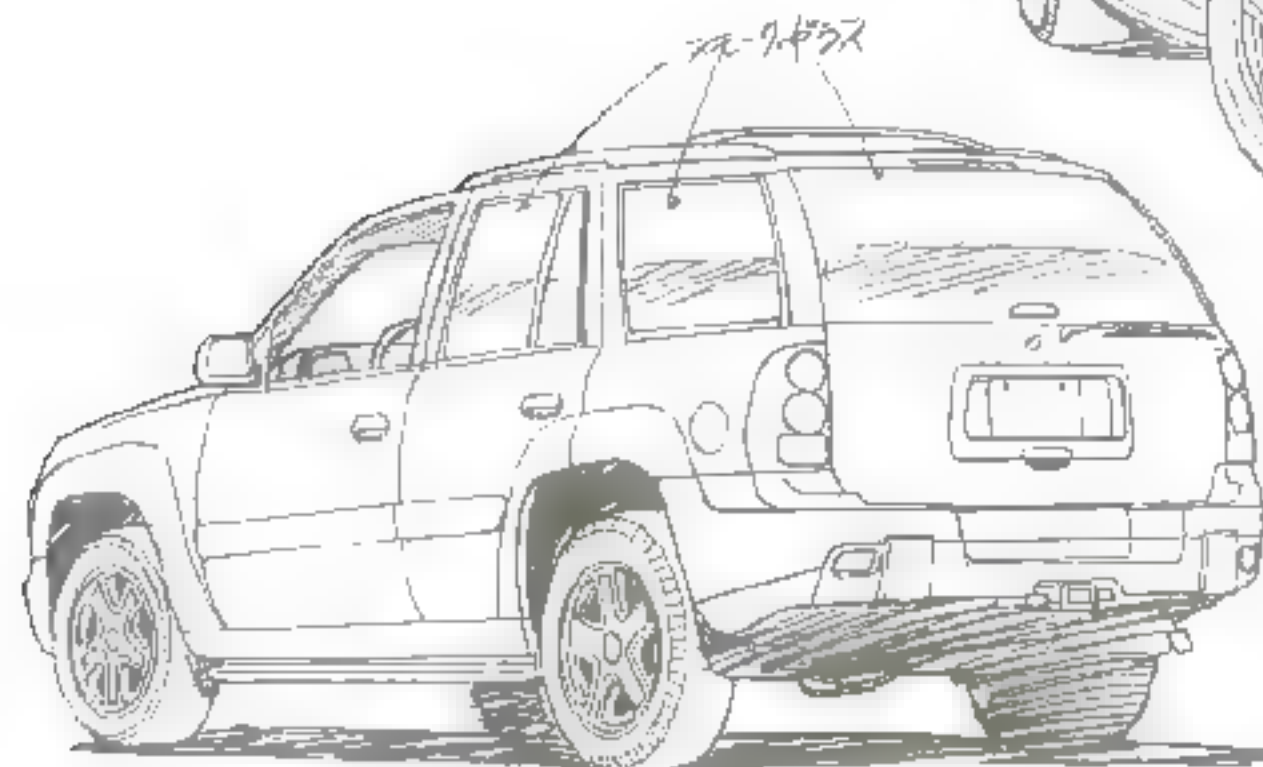
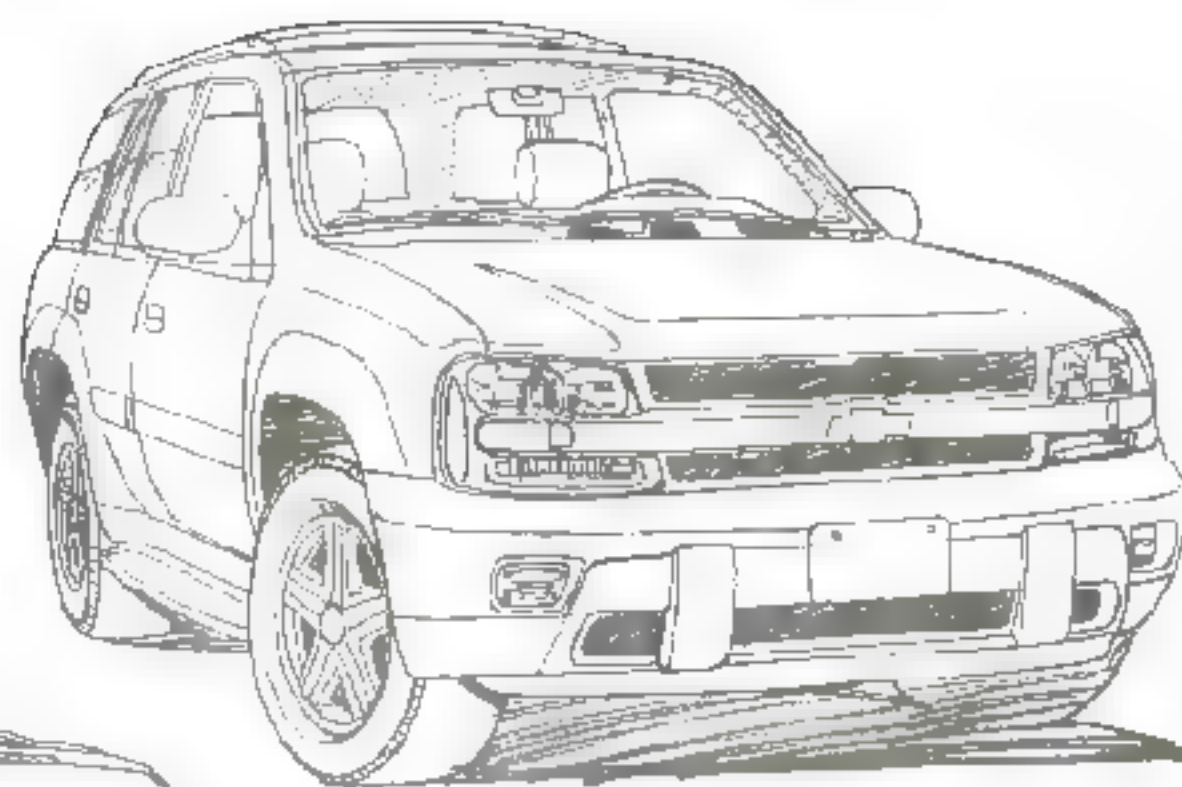
49



ポルシェ 911

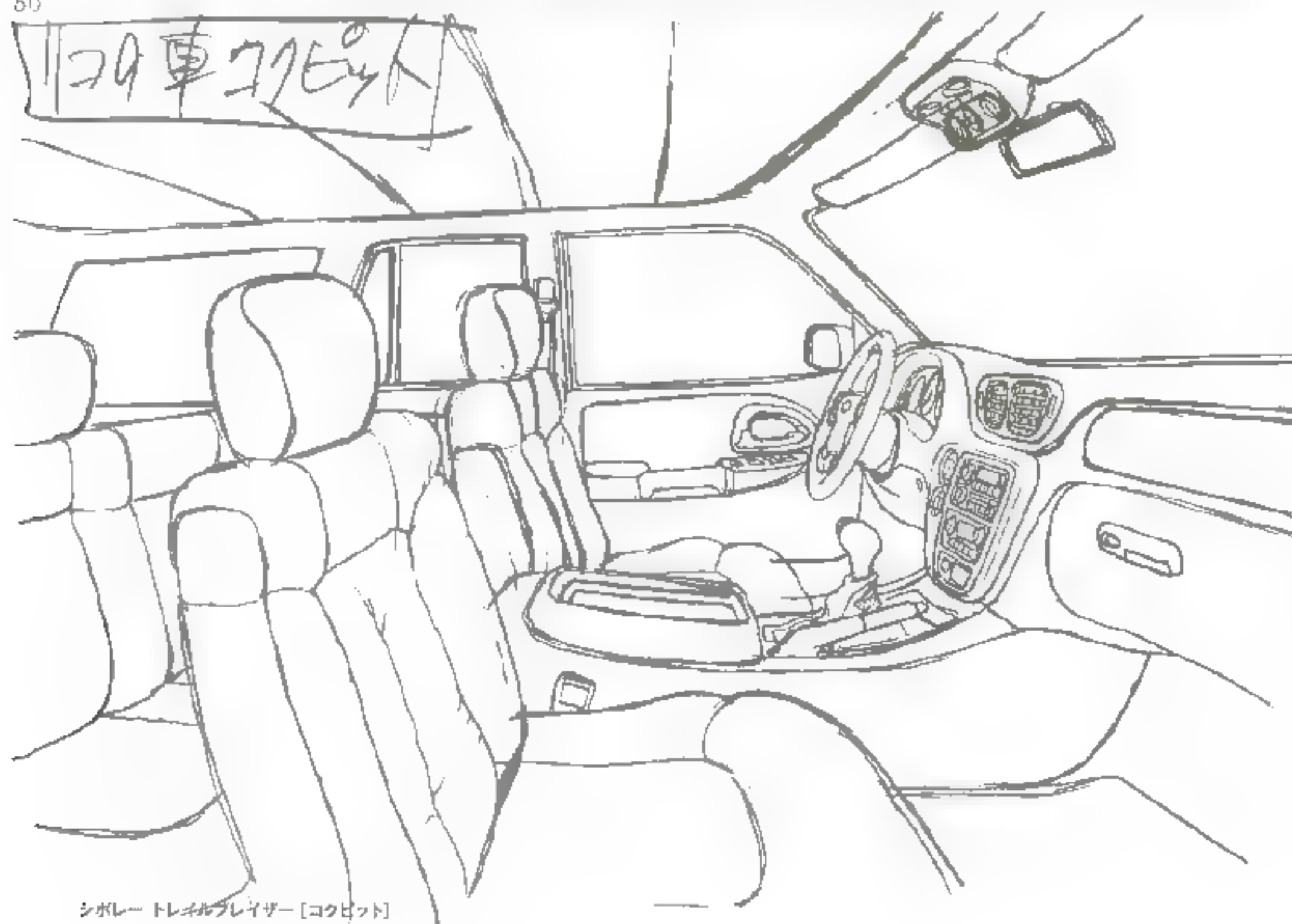
PORSCHE
911 Carrera
2007.8.24
by T. MORIYA

全長 4810mm 全幅 1900mm 全高 1850mm

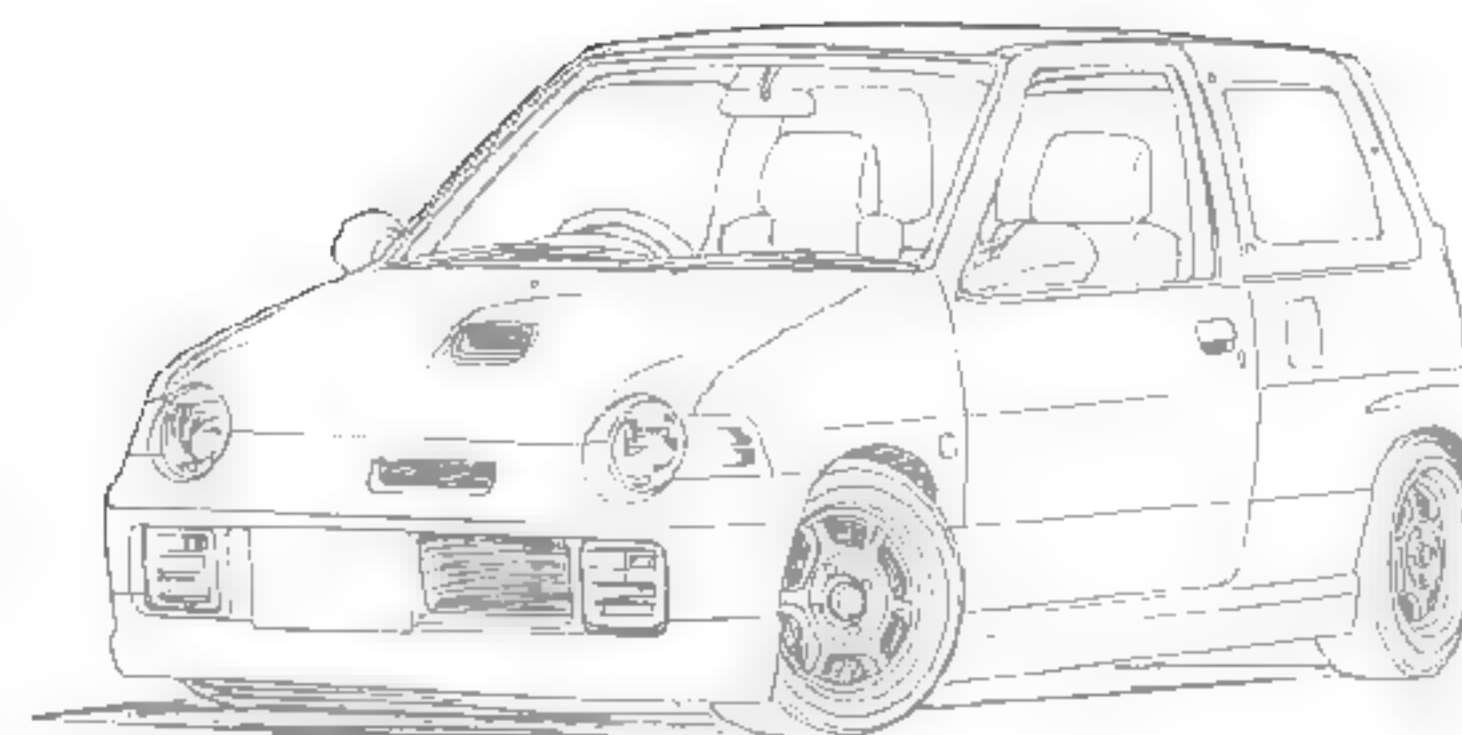


1129 SUV
2002. 1 by T. MORATA
• chevrolet TRAIL BLAZER

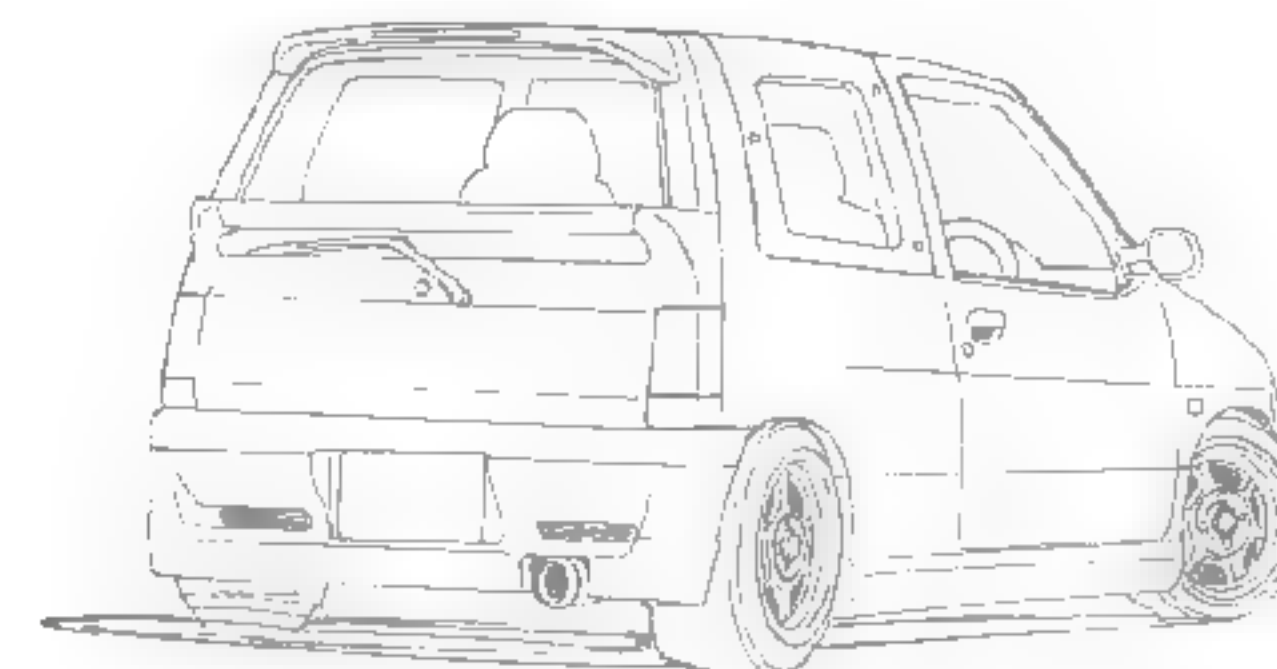
シボレー トレイルブレイザー



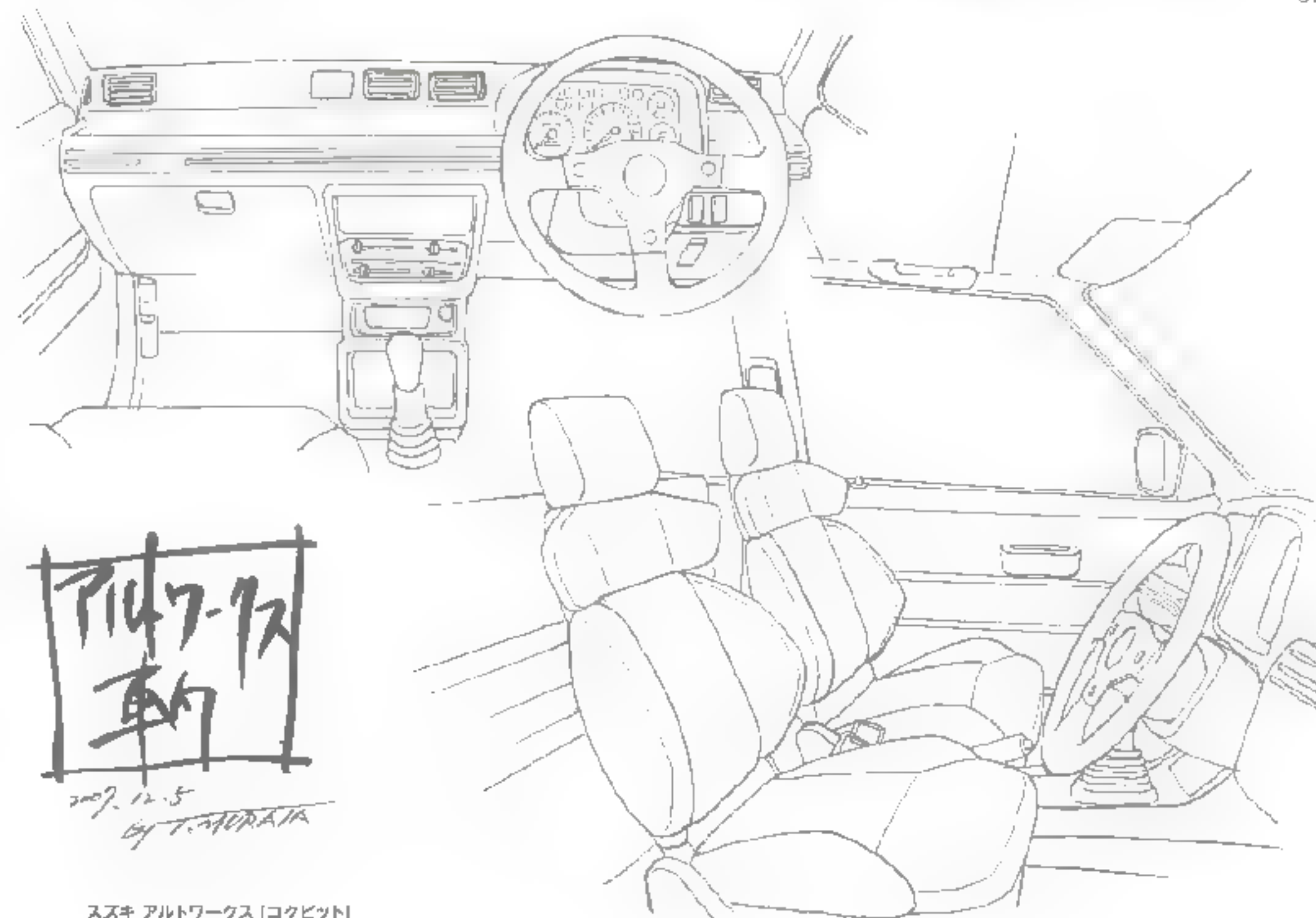
シボレー トレイルブレイザー [コクピット]



1147-72
2007. 1. 5 by T. MORATA

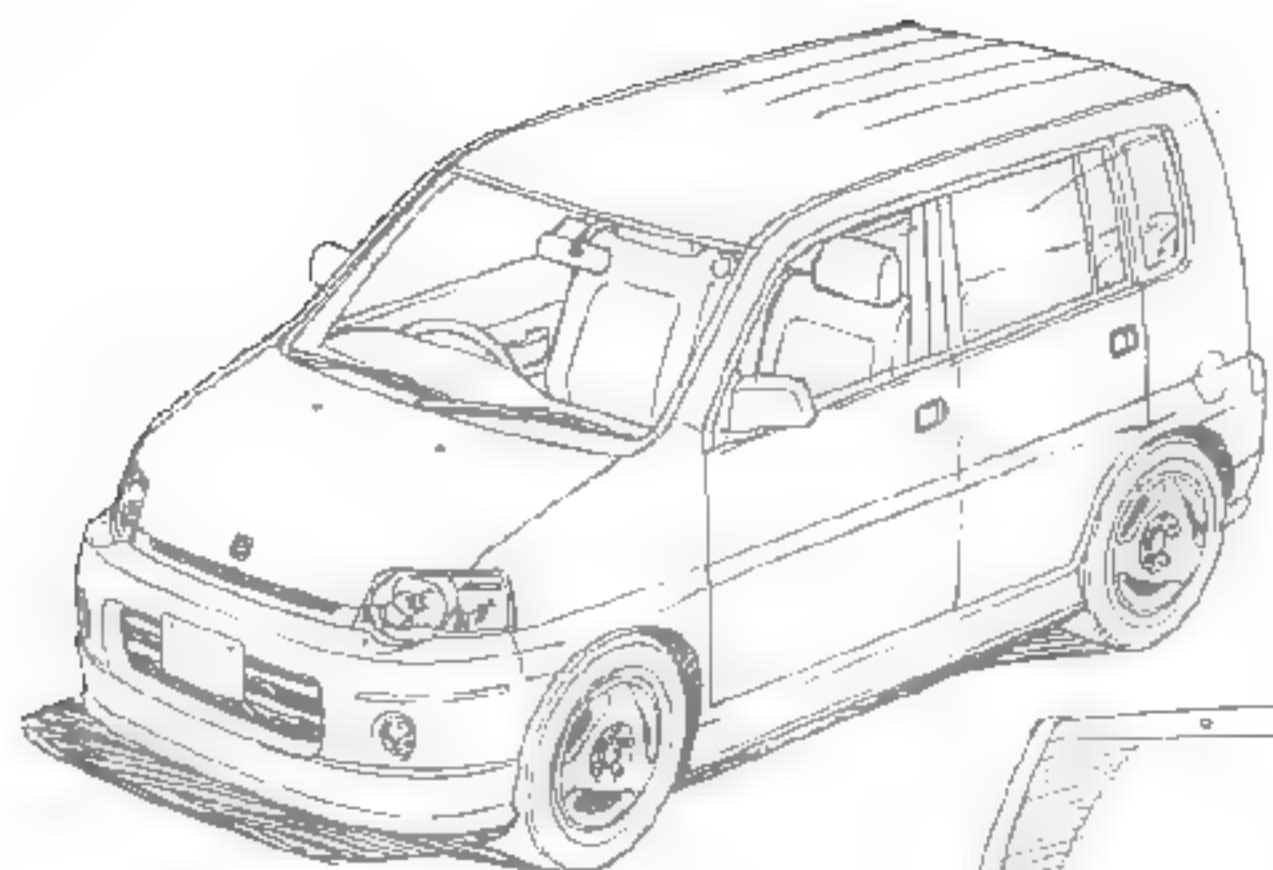


スズキ アルトワークス

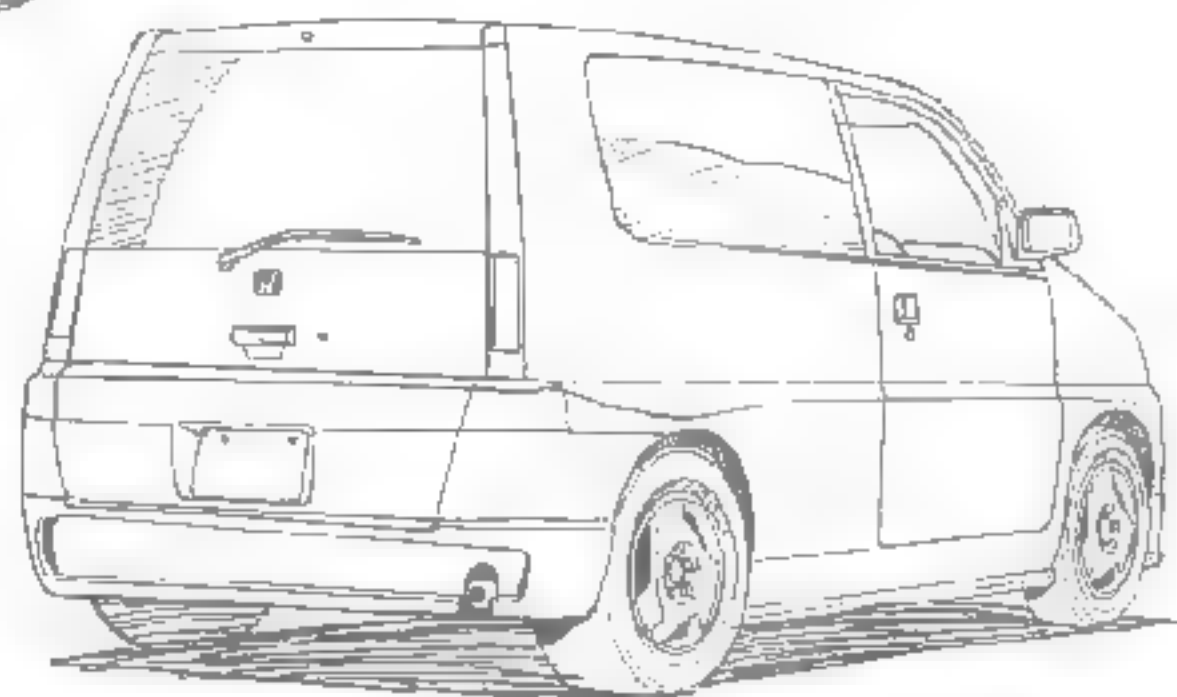


1147-72
車
2007. 12. 5
by T. MORATA

スズキ アルトワークス [コクピット]



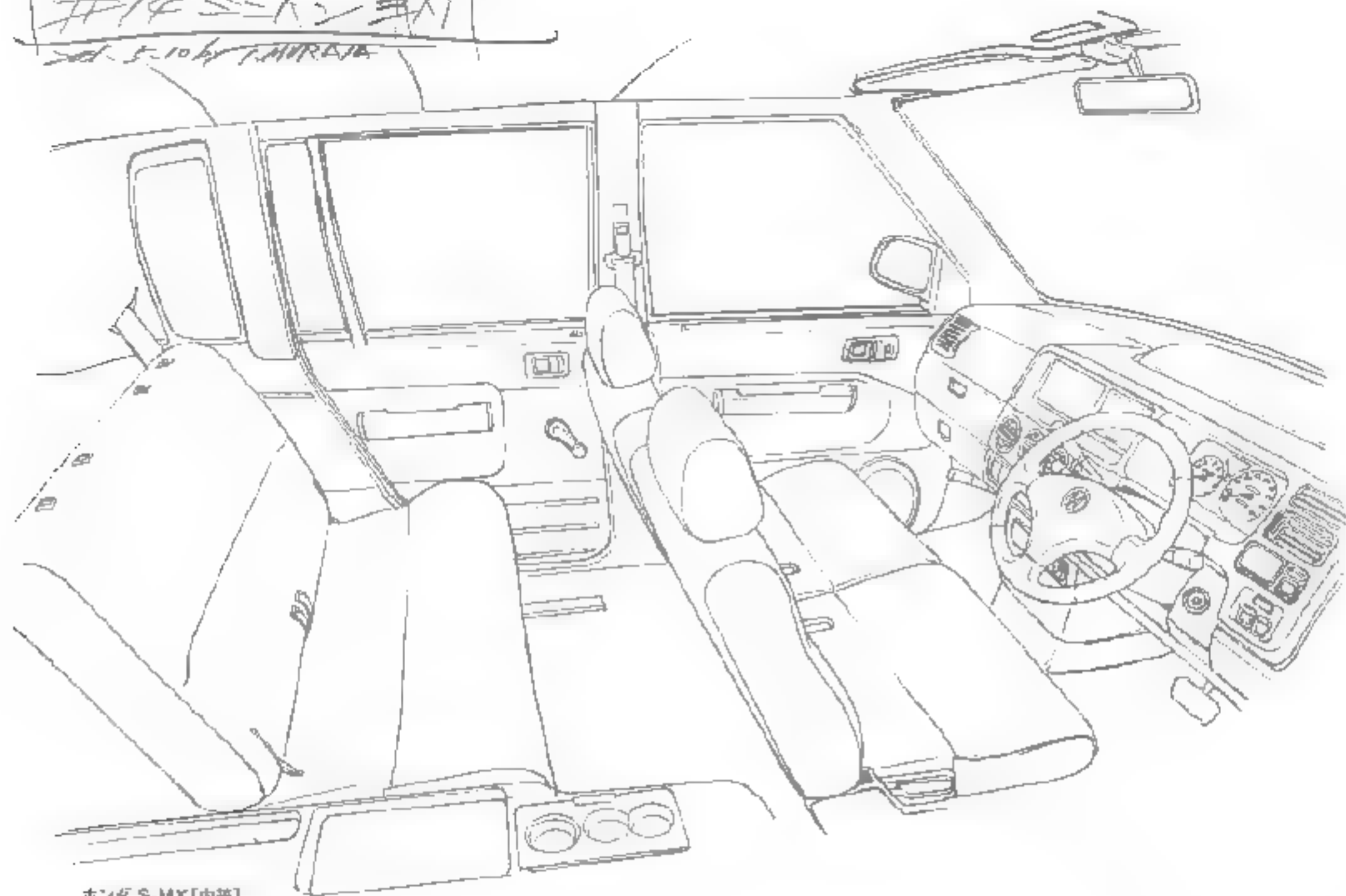
#14
S-MX
2001. 5. 10 by T. MORIYA



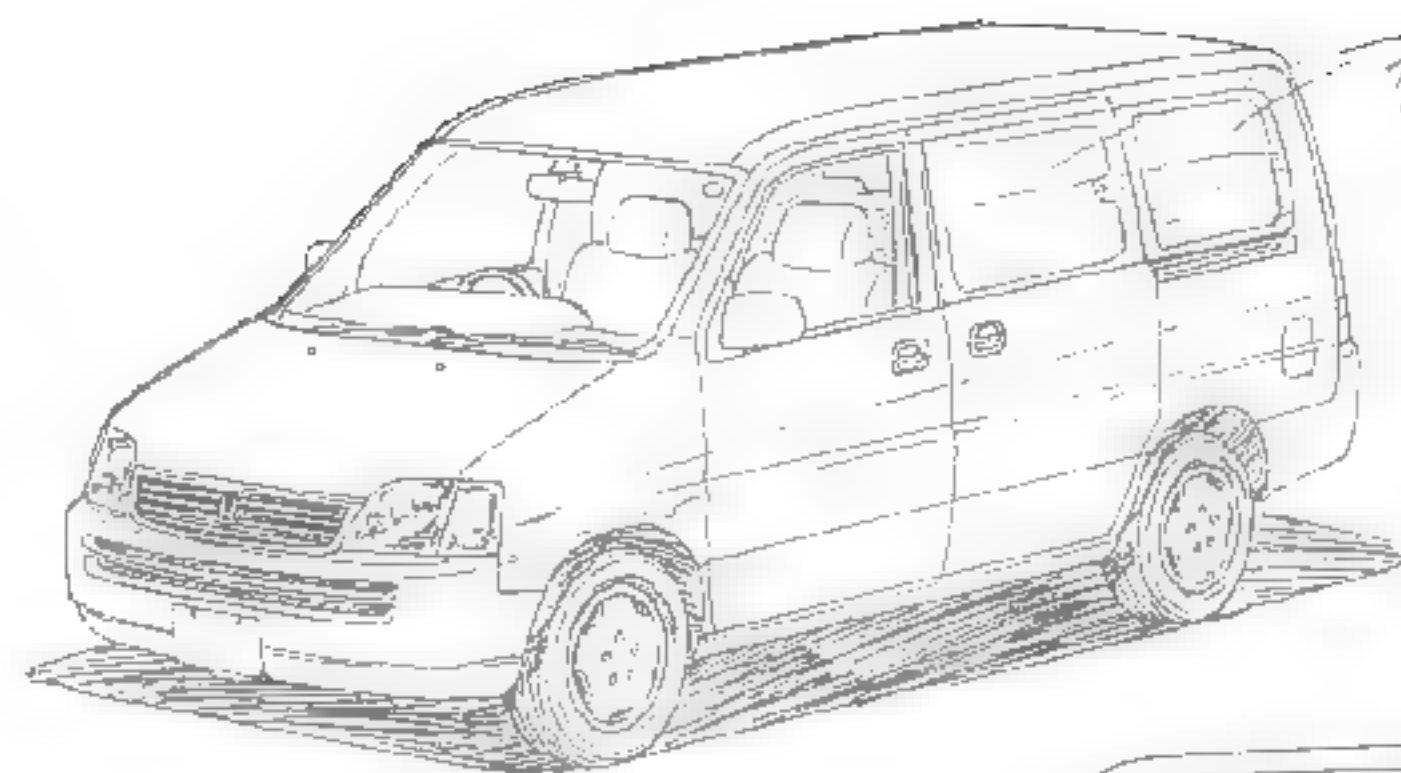
ホンダ S-MX

52

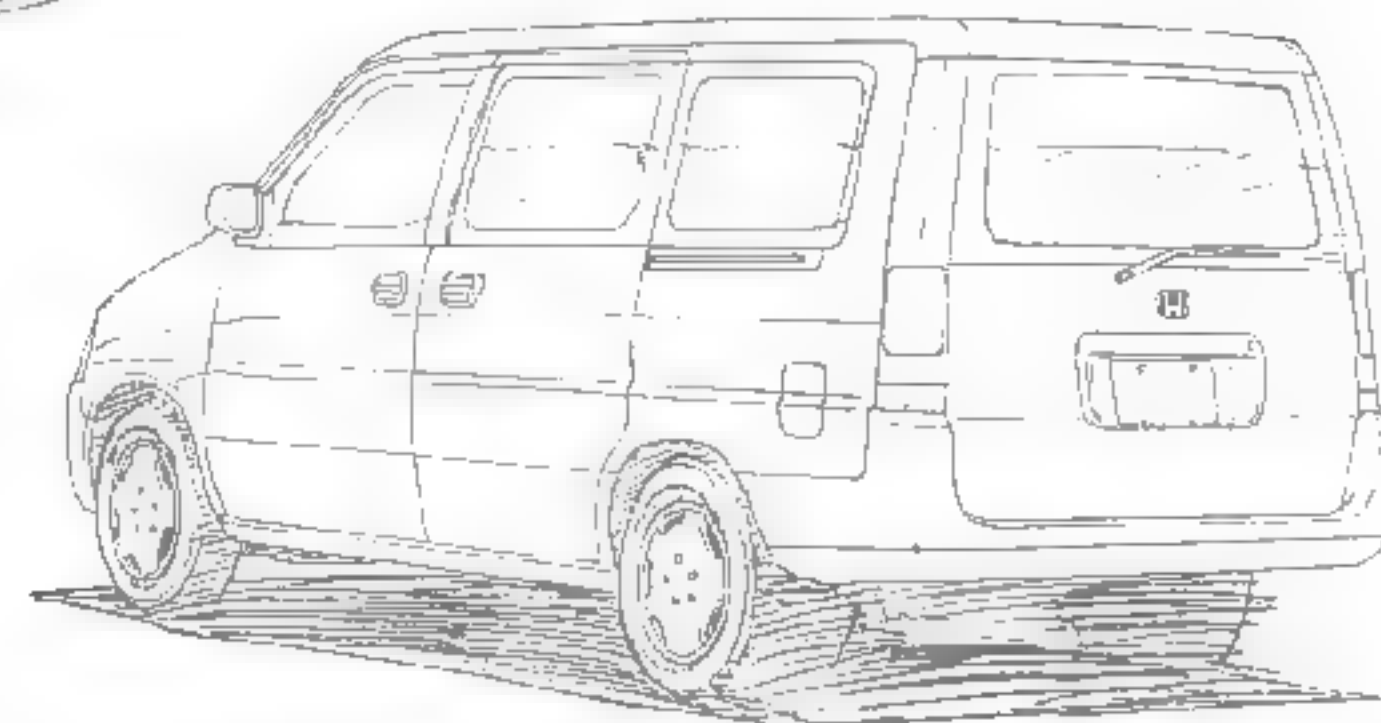
#14 ミニバン 車内
2001. 5. 10 by T. MORIYA



ホンダ S-MX[内装]

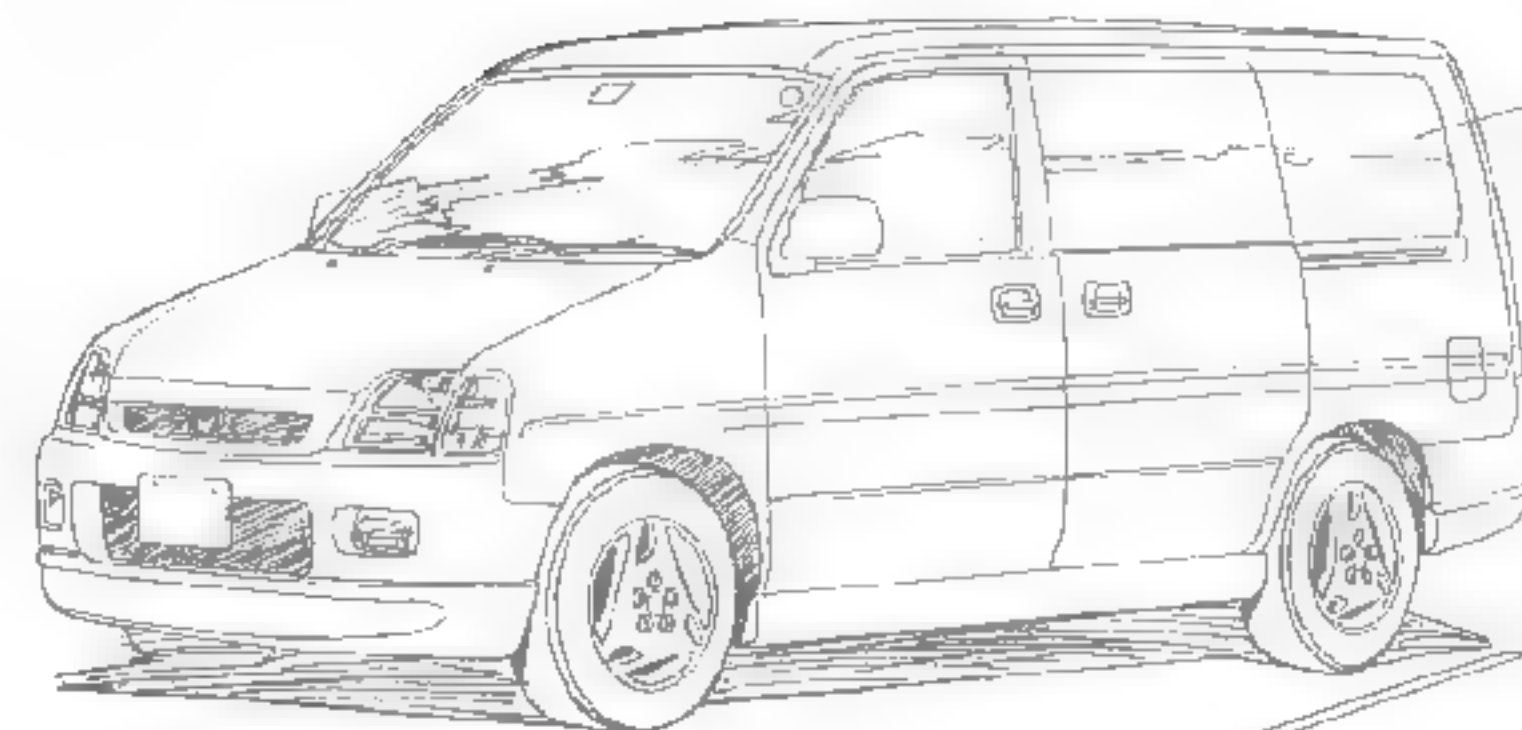


#15
ステップワゴン
1998. 3. 20 by T. MORIYA
ホンダ ステップワゴン

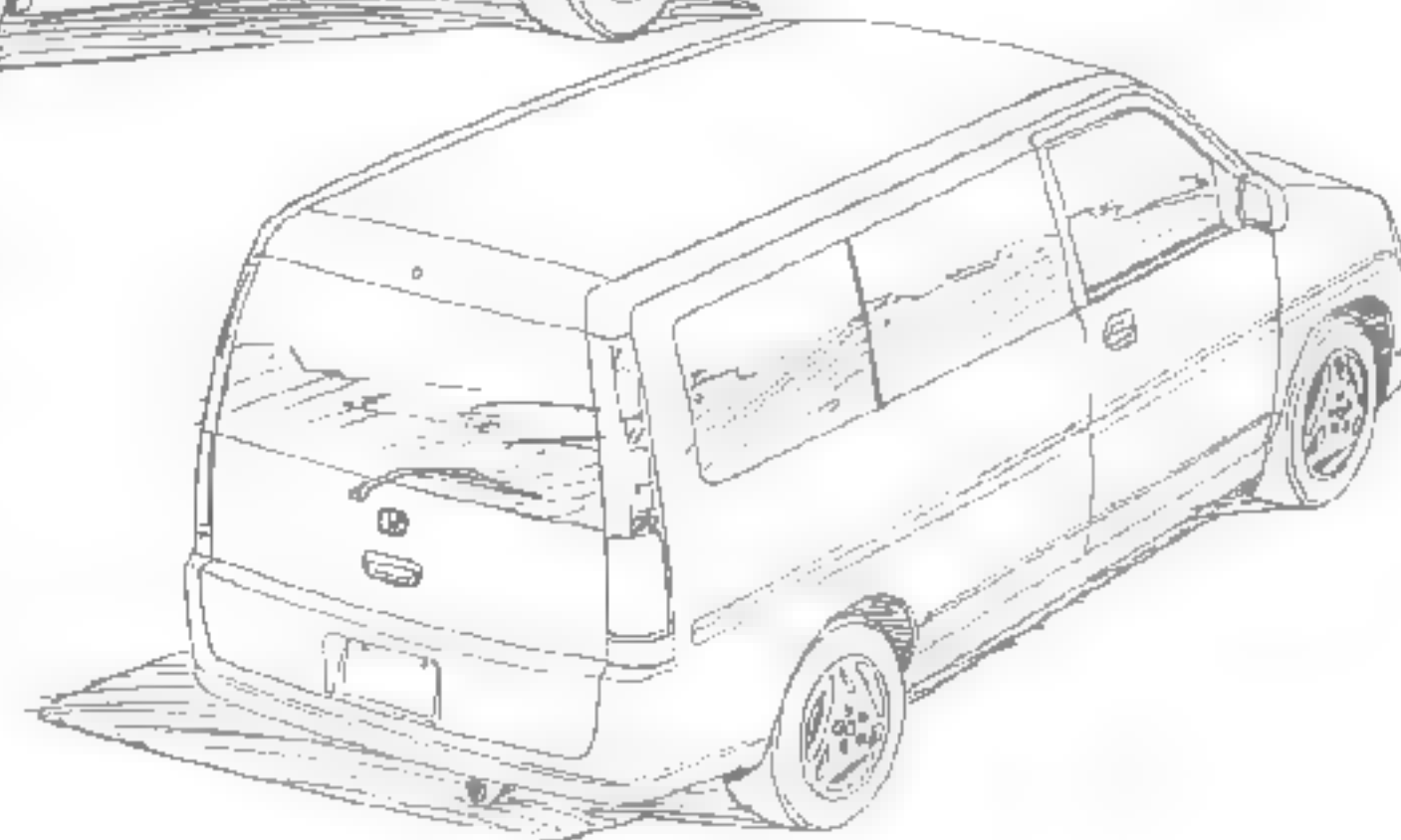


53

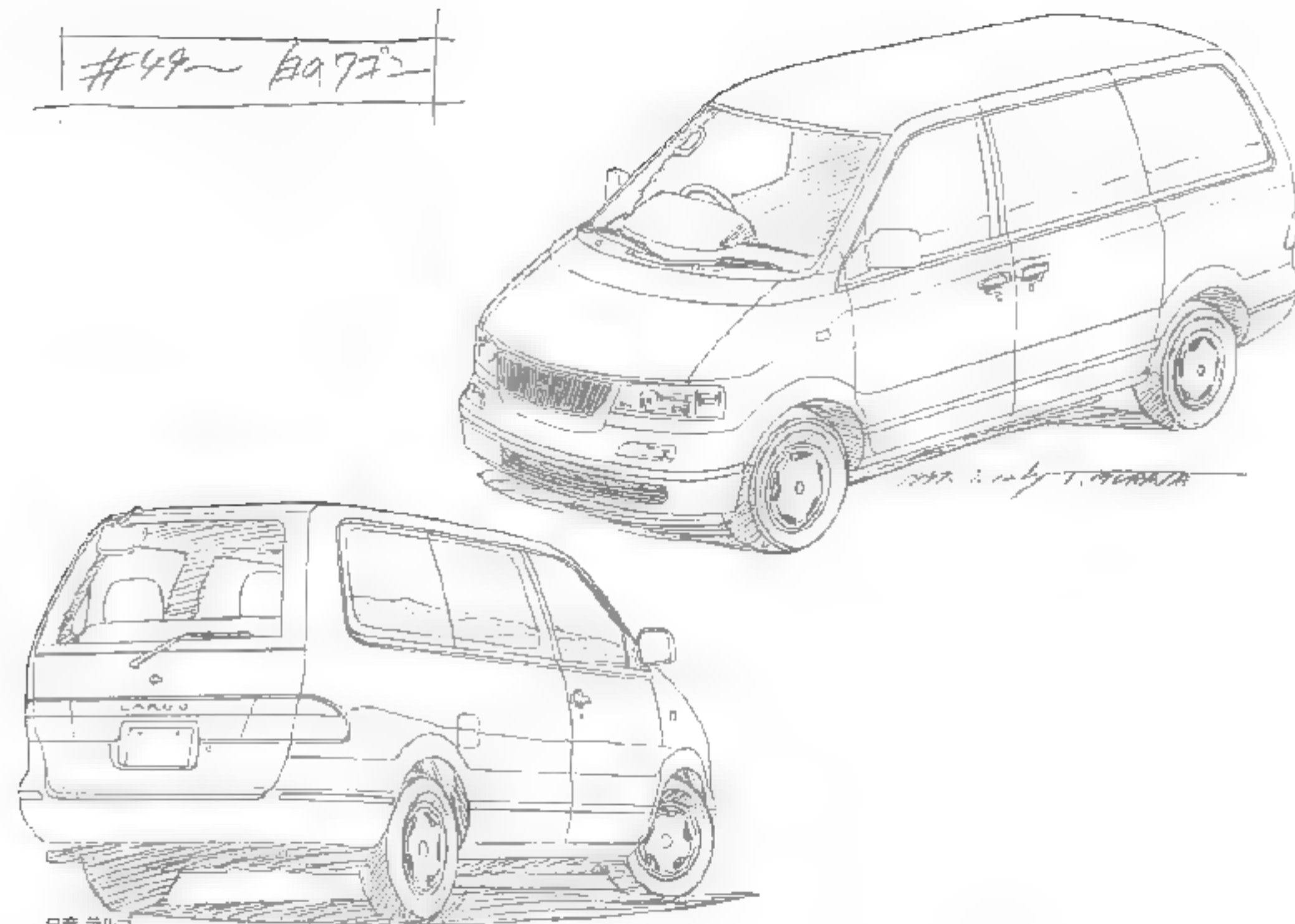
#15 ステップワゴン
2001. 2. 16 by T. MORIYA



ホンダ ステップワゴン

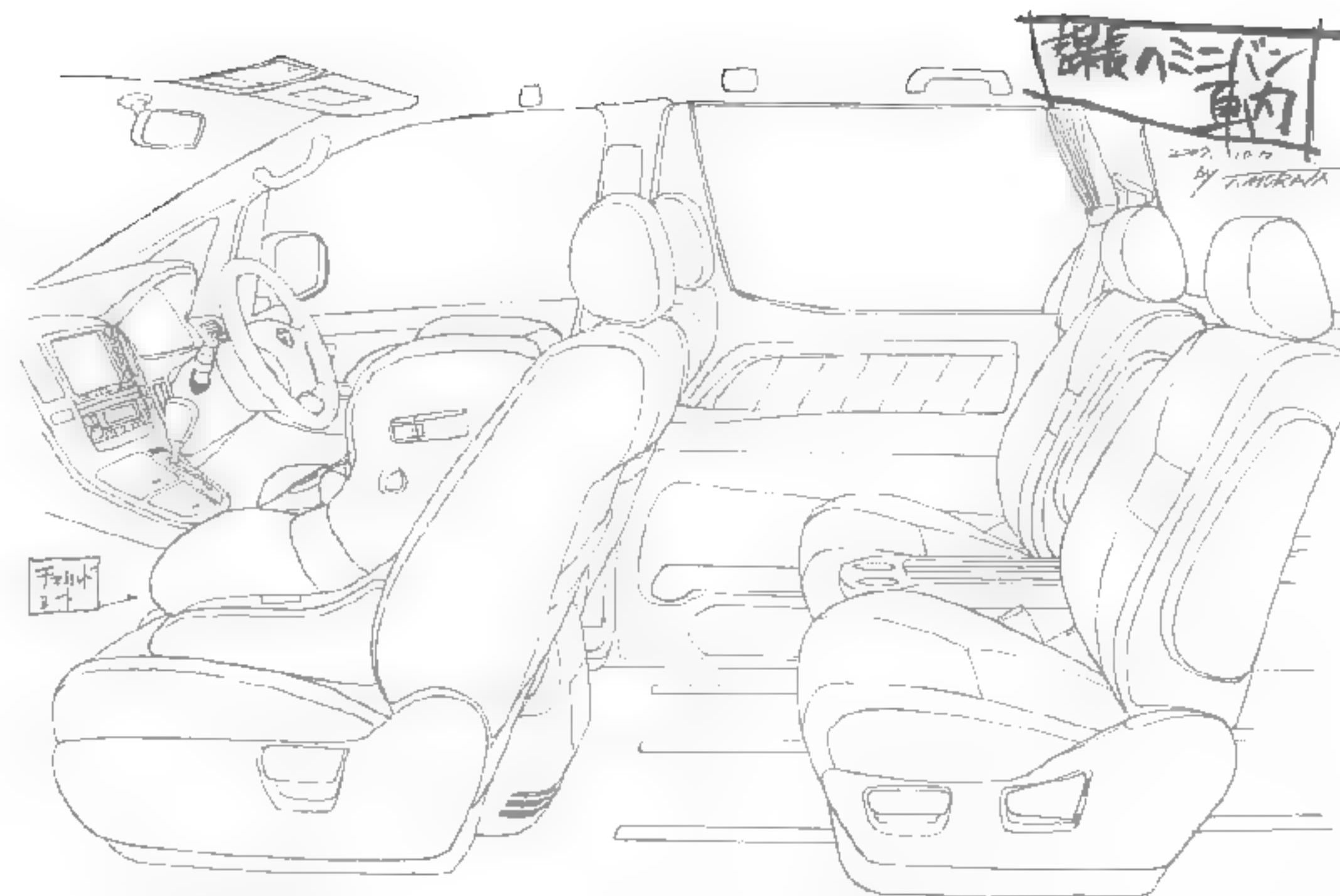


#49~ #972



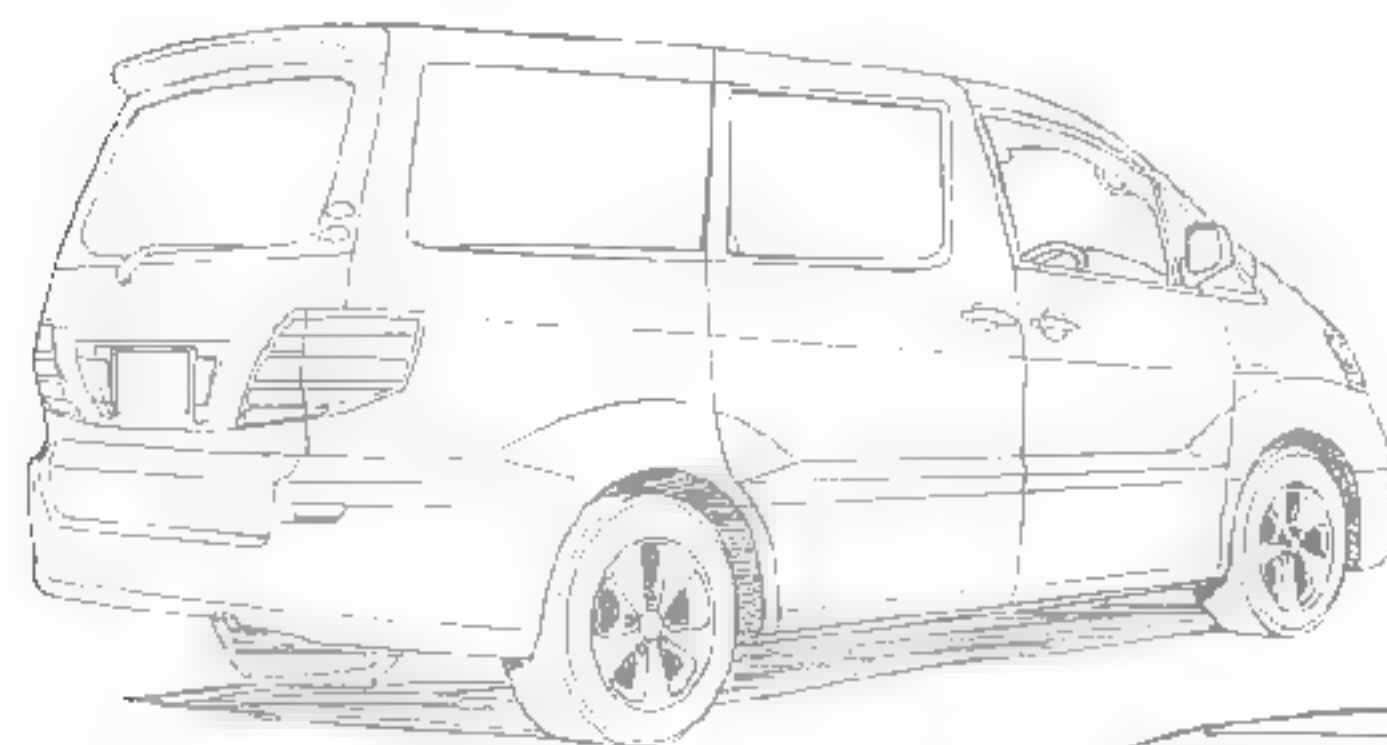
日産 ラルゴ

54



トヨタ アルファード [内装]

55

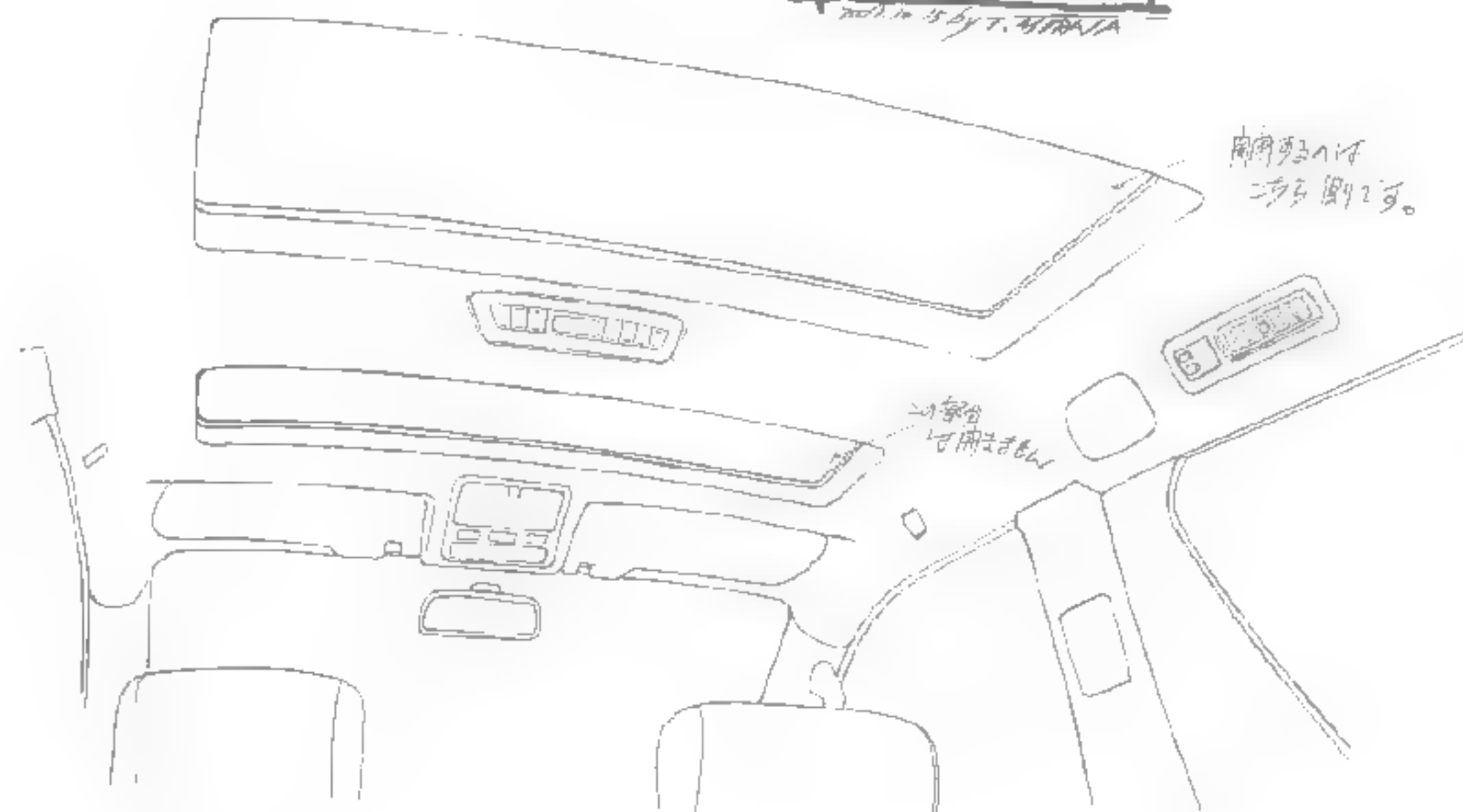


課長のミニバン
2007.10.10 by T. YAMADA



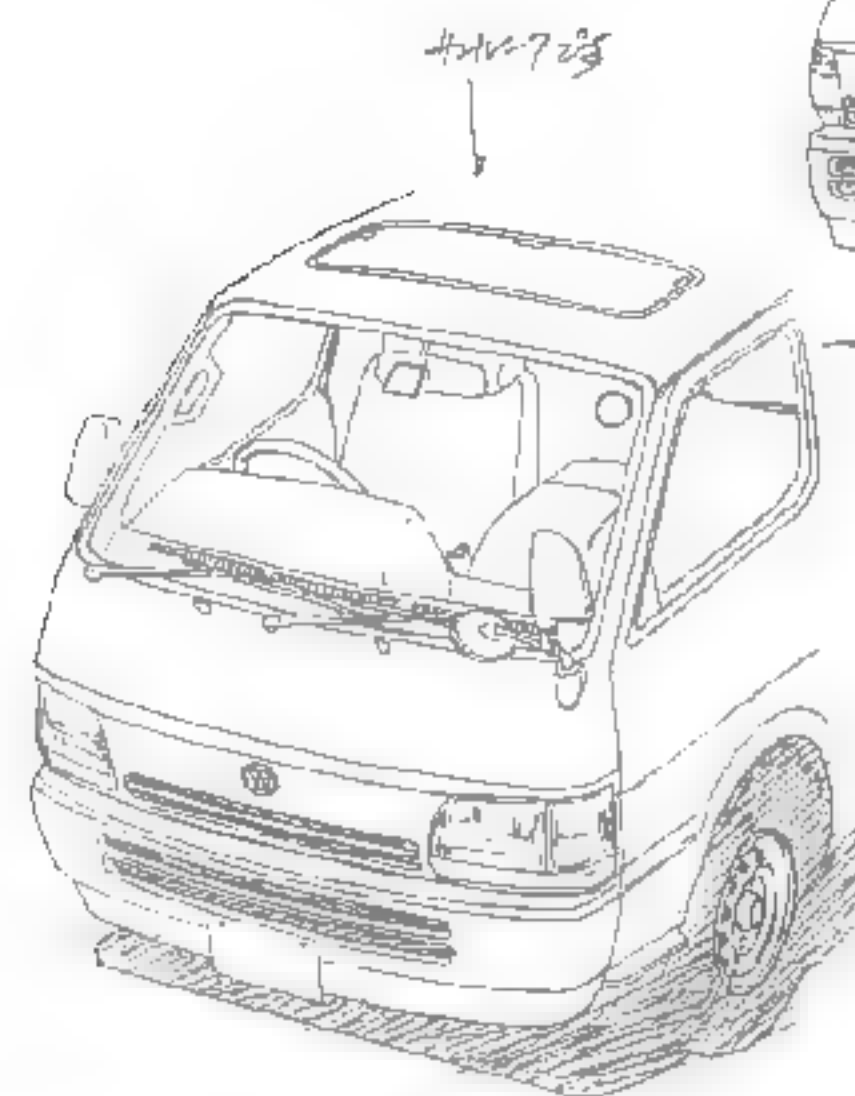
トヨタ アルファード

課長のミニバン
サンルーフ
2007.10.15 by T. YAMADA

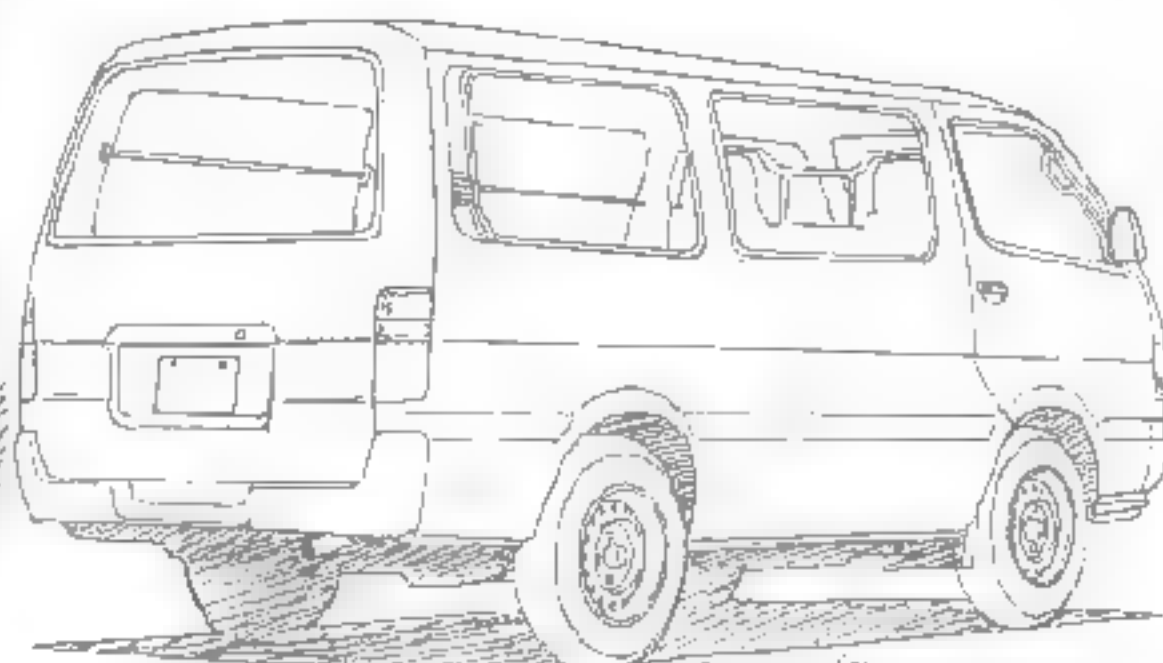
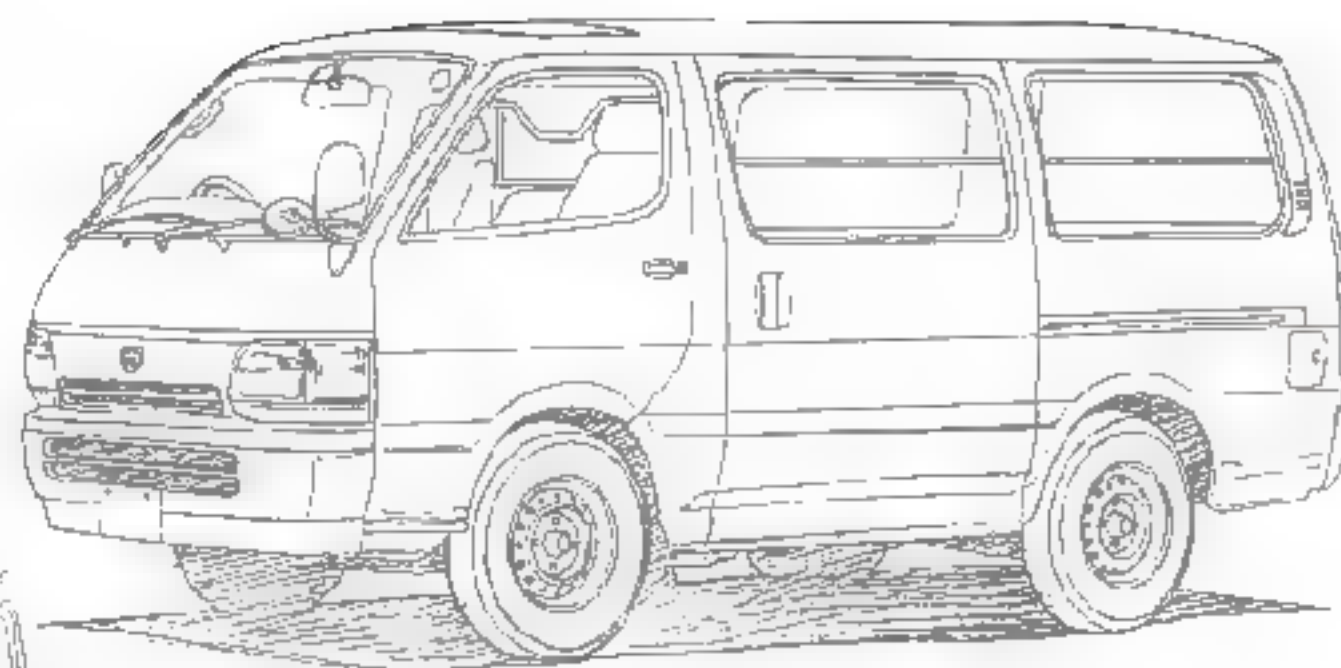


トヨタ アルファード [サンルーフ]

#10 多難グーテンバシ



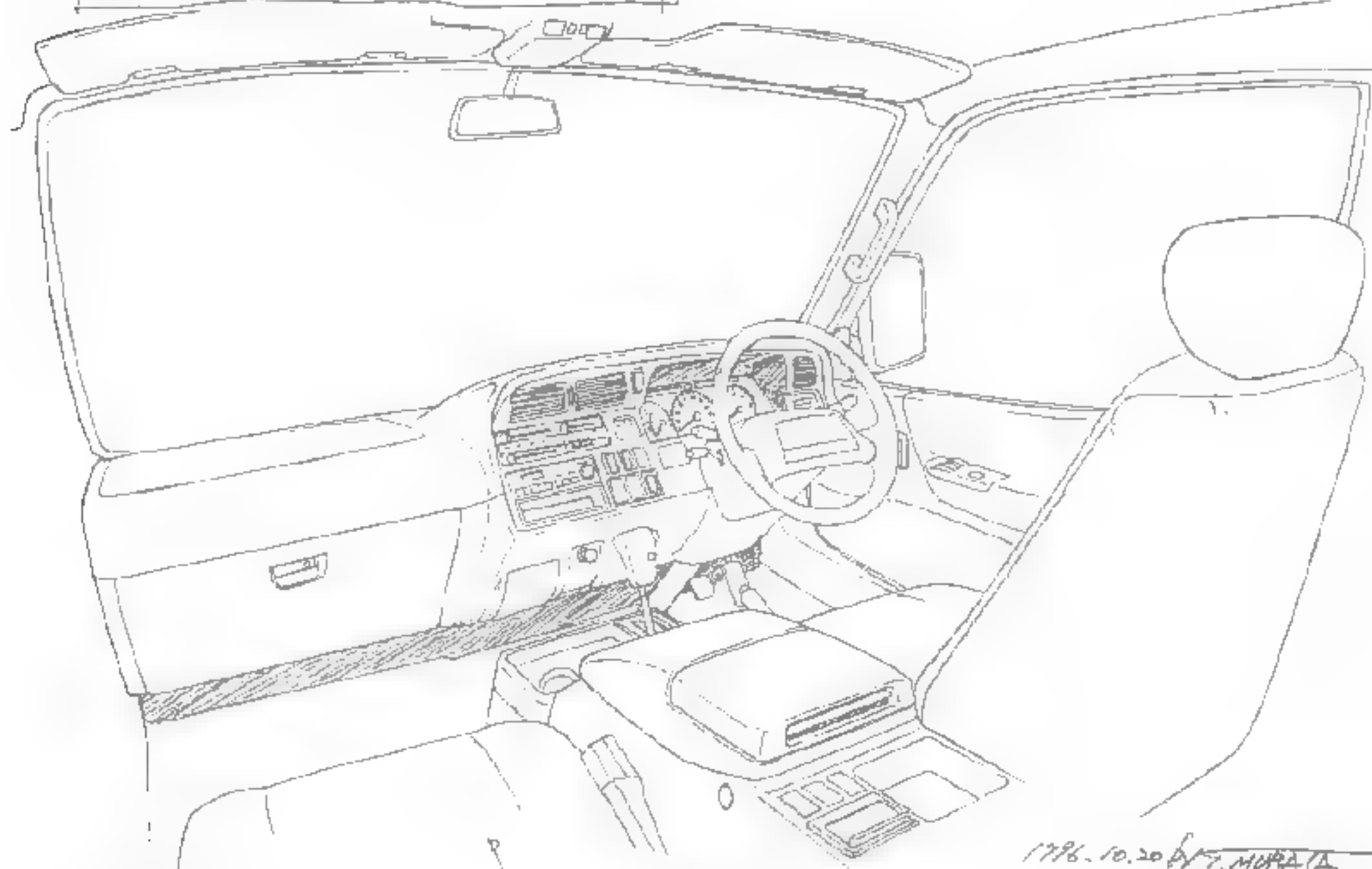
トヨタハイエース



1996.10.20 by T. MURATA

56

#10 多難グーテンバシコクピット



トヨタハイエース [コクピット]

インフラスタートを略して利用

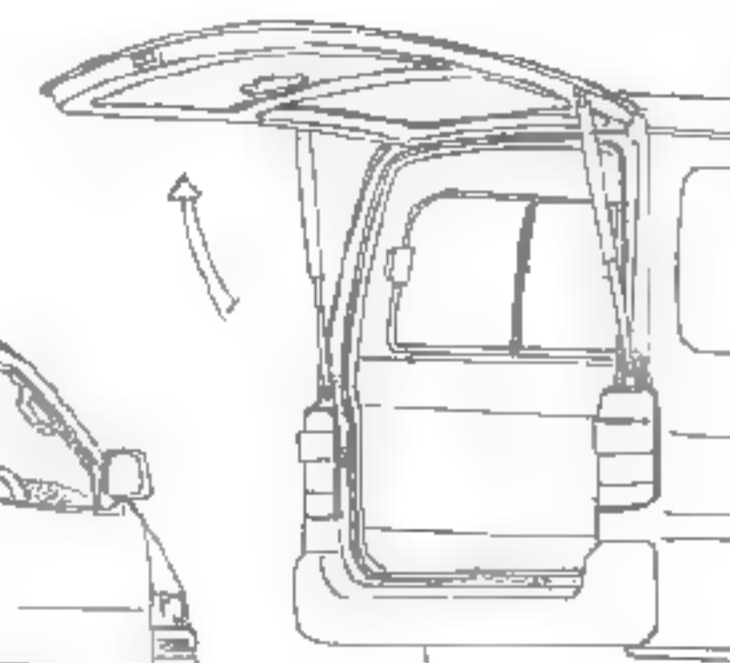
1996.10.20 by T. MURATA

#16 タコ焼き屋のバス

2001.5.28 by T. MURATA



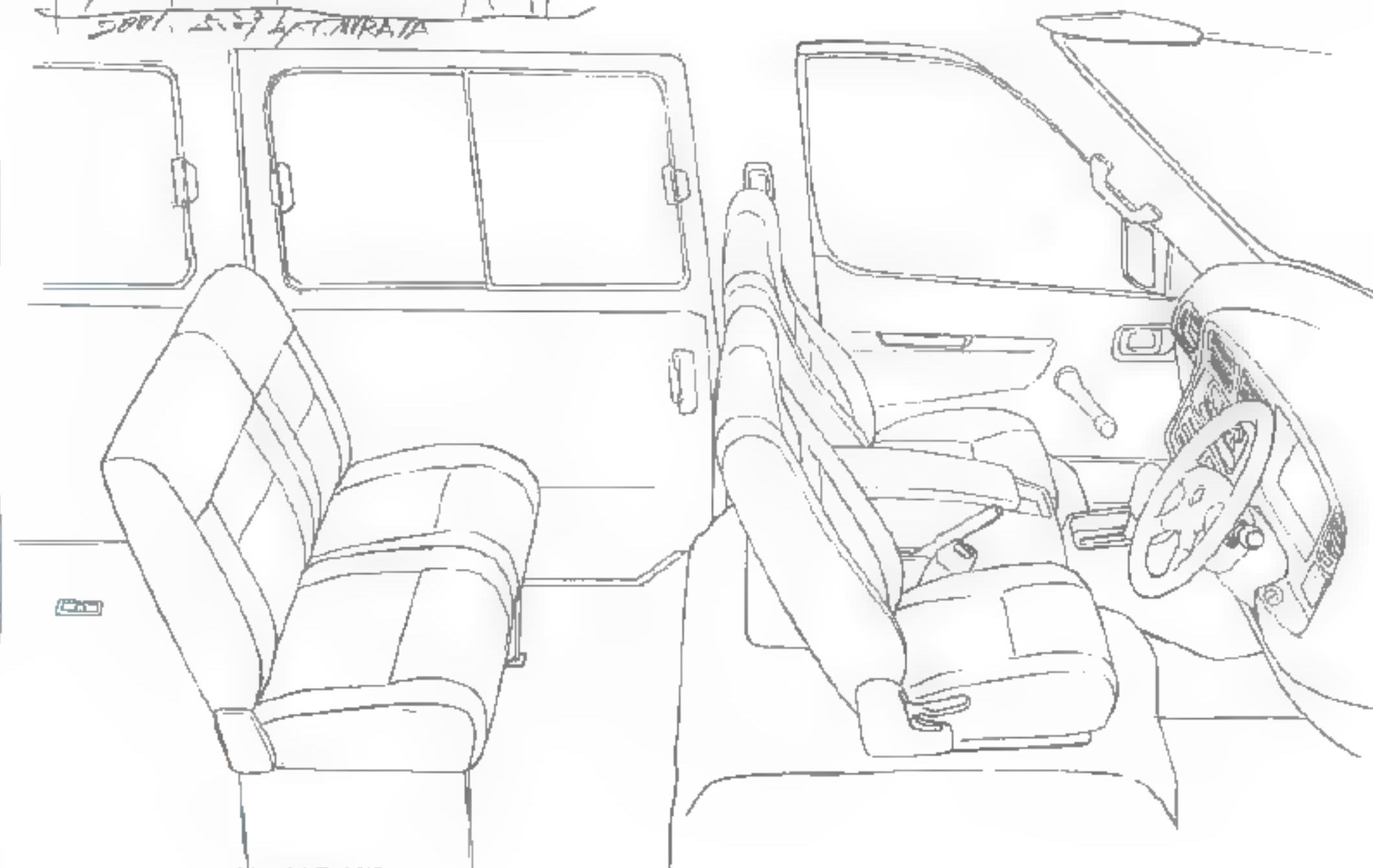
トヨタハイエース



57

タコ焼き屋のバス

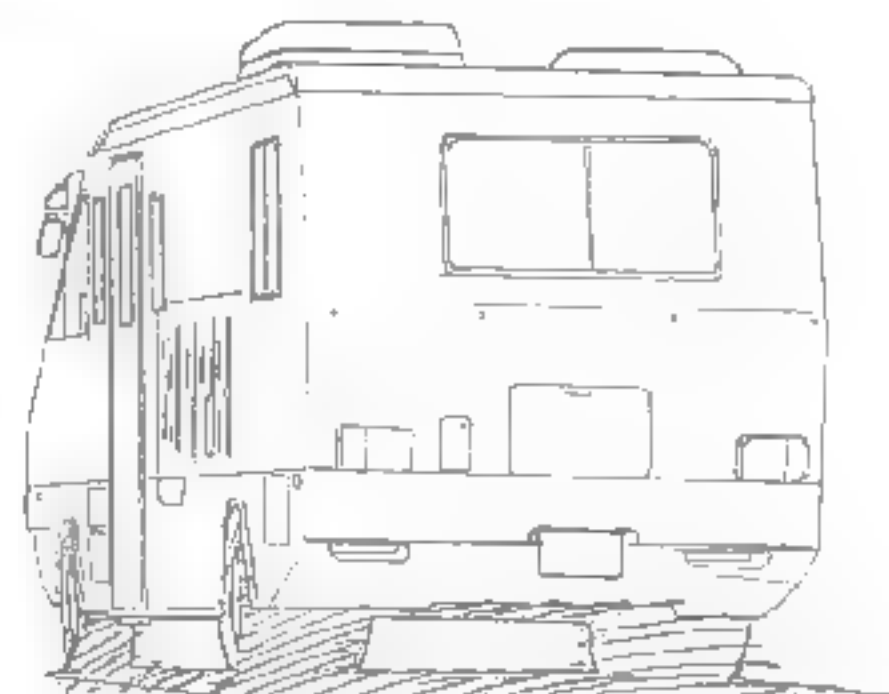
2001.5.28 by T. MURATA



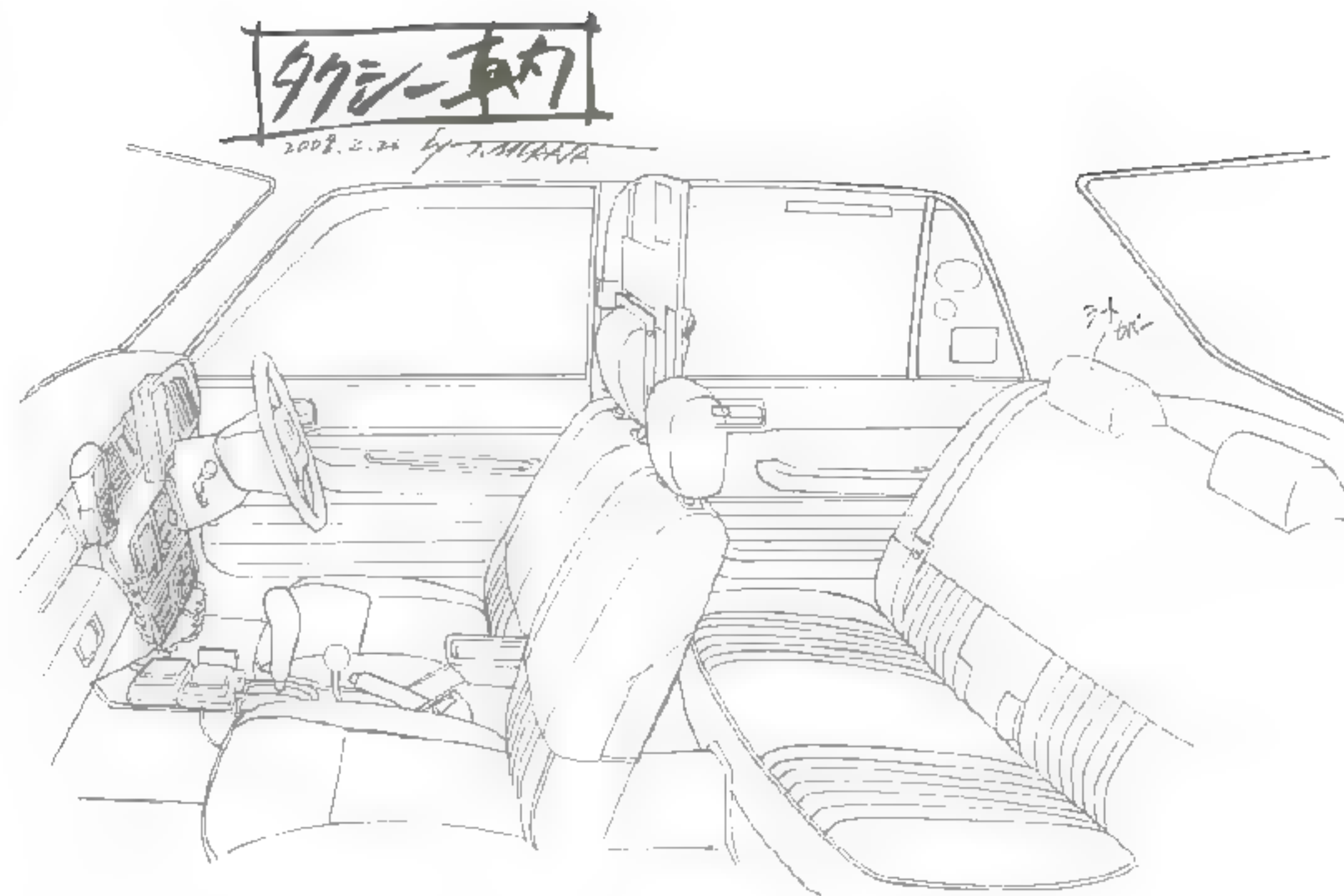
トヨタハイエース [タコ焼き屋・内装]



ZAPPER 9系2500cc
1987.2.18 by T. MURAKAMI



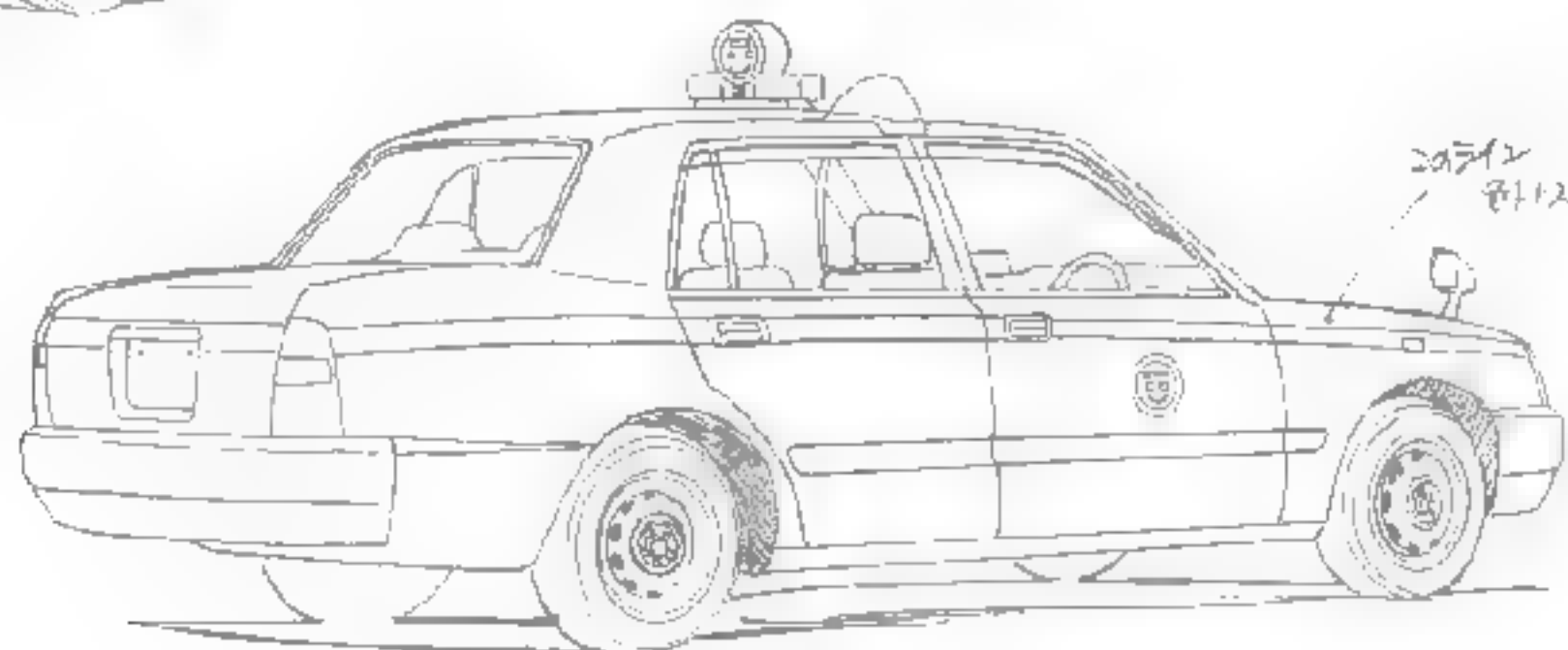
ナショナルRV トロピカル



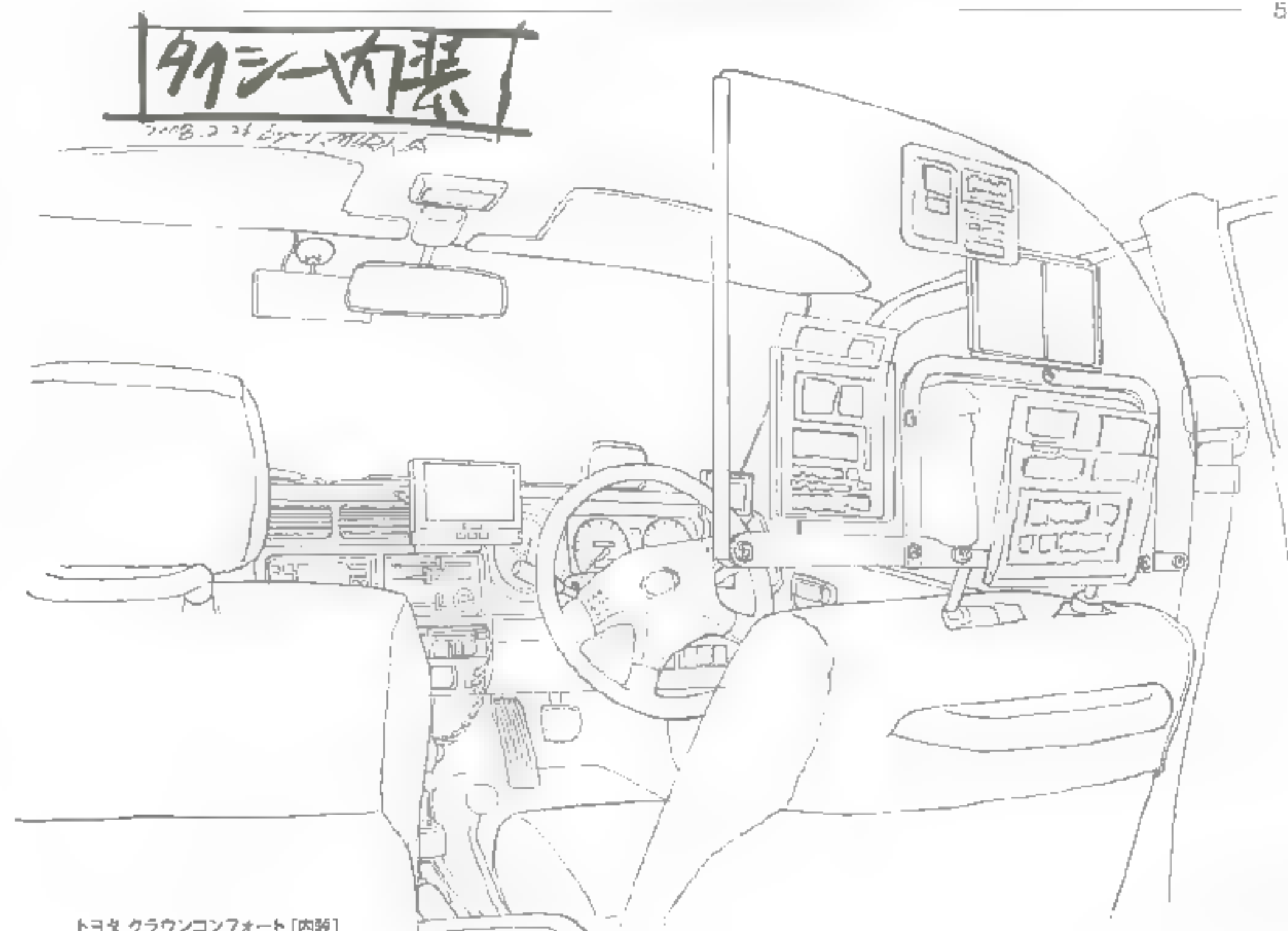
タクシー
2008.2.26 by T. MURAKAMI



タクシー
2008.2.26 by T. MURAKAMI



トヨタ クラウンコンフォート

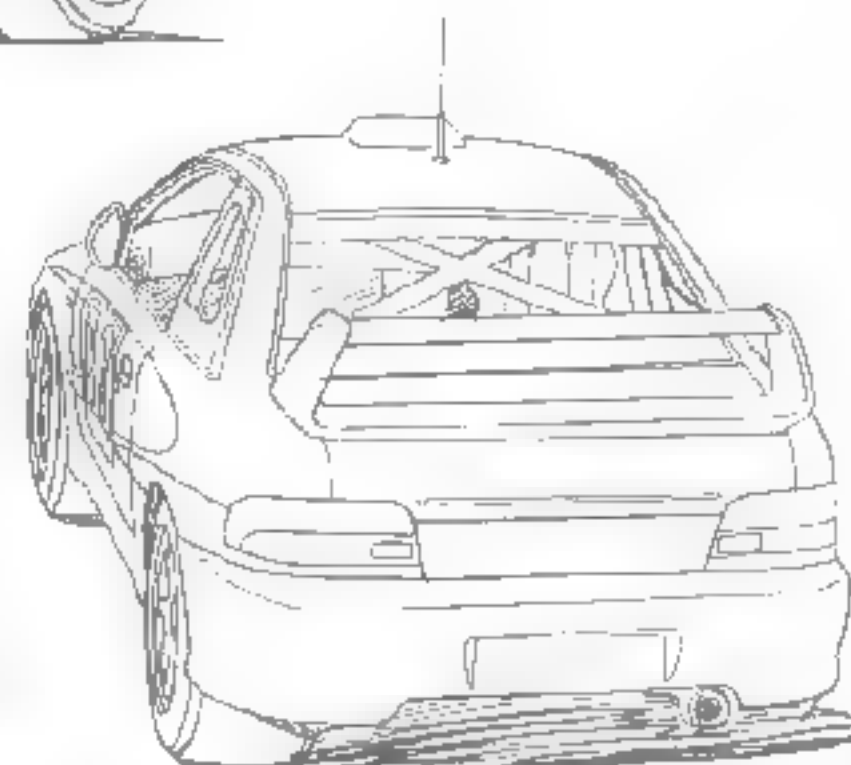
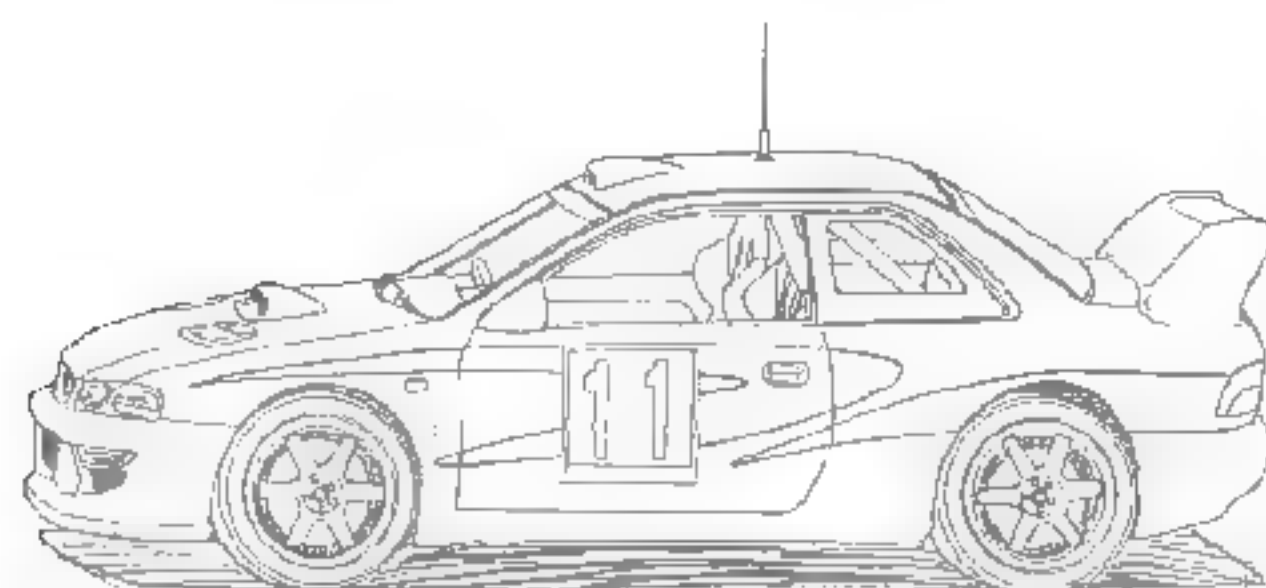


タクシー
2008.2.26 by T. MURAKAMI

トヨタ クラウンコンフォート [内装]

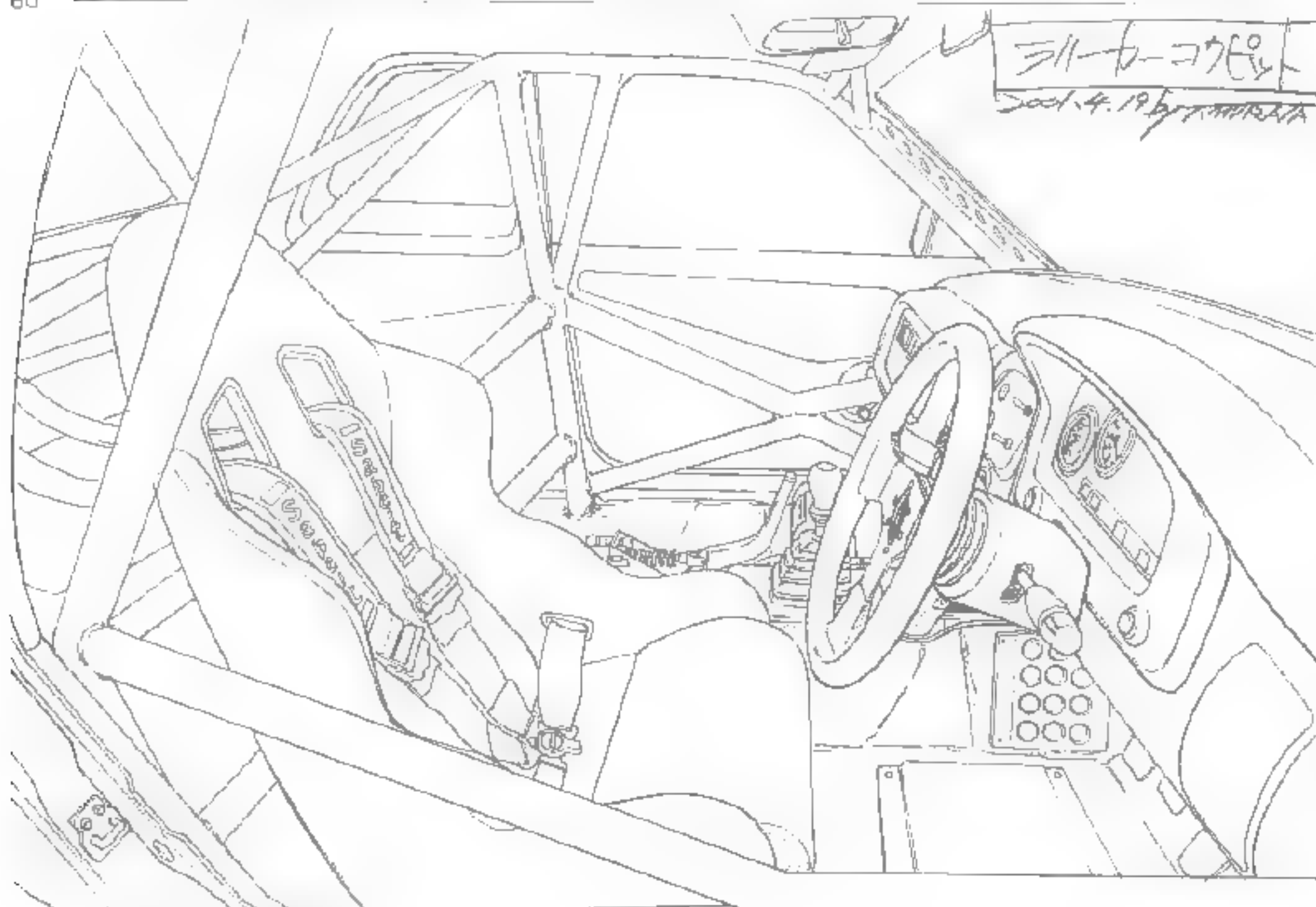


#10 ライフ
2001.9.19 by T. MATSUDA



スバル インプレッサWRX

60



ライフ-コクピット
2001.4.19 by T. MATSUDA

スバル インプレッサWRX [コクピット]

チャイルドシート
2001.10.10 by T. MATSUDA



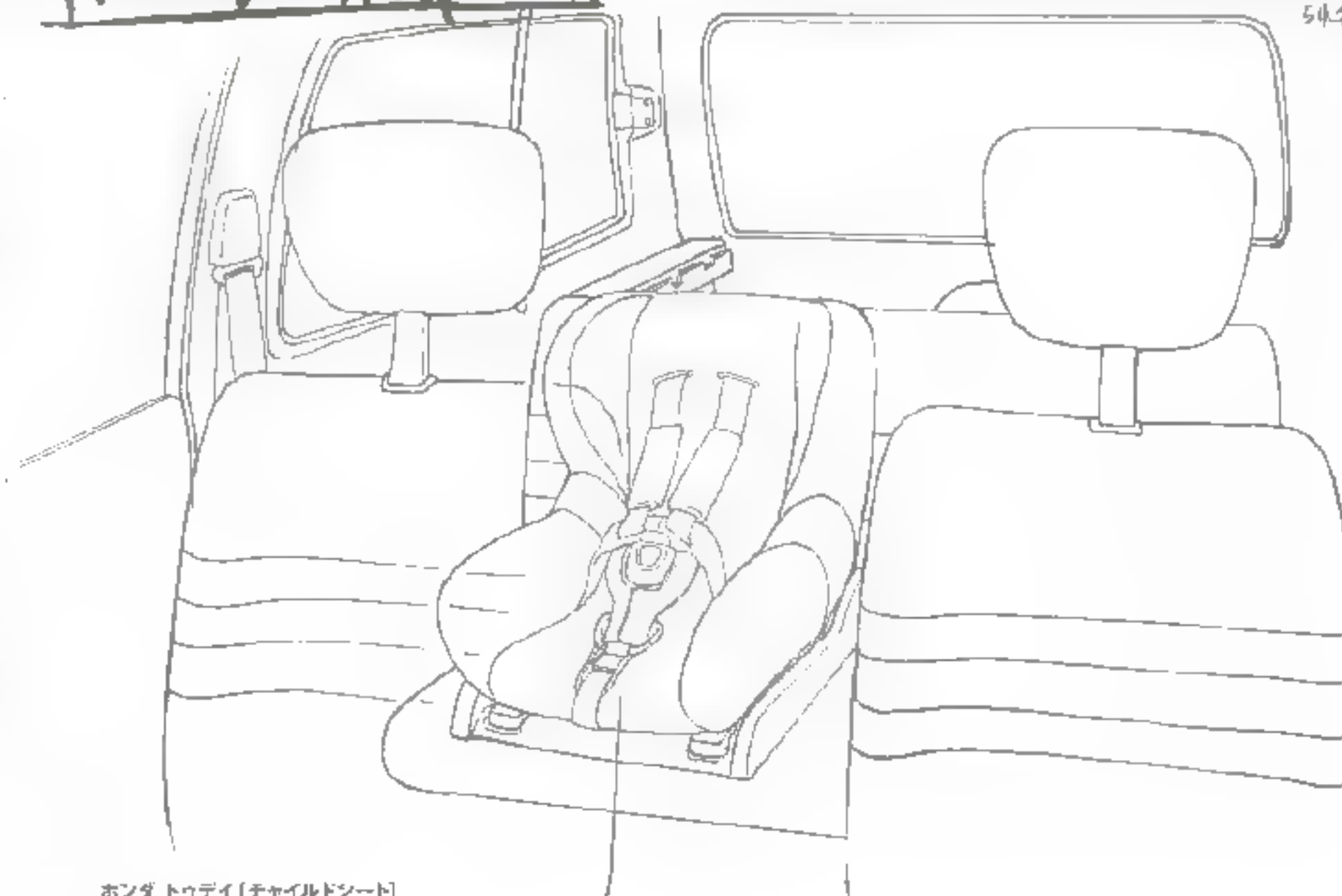
チャイルドシート

61

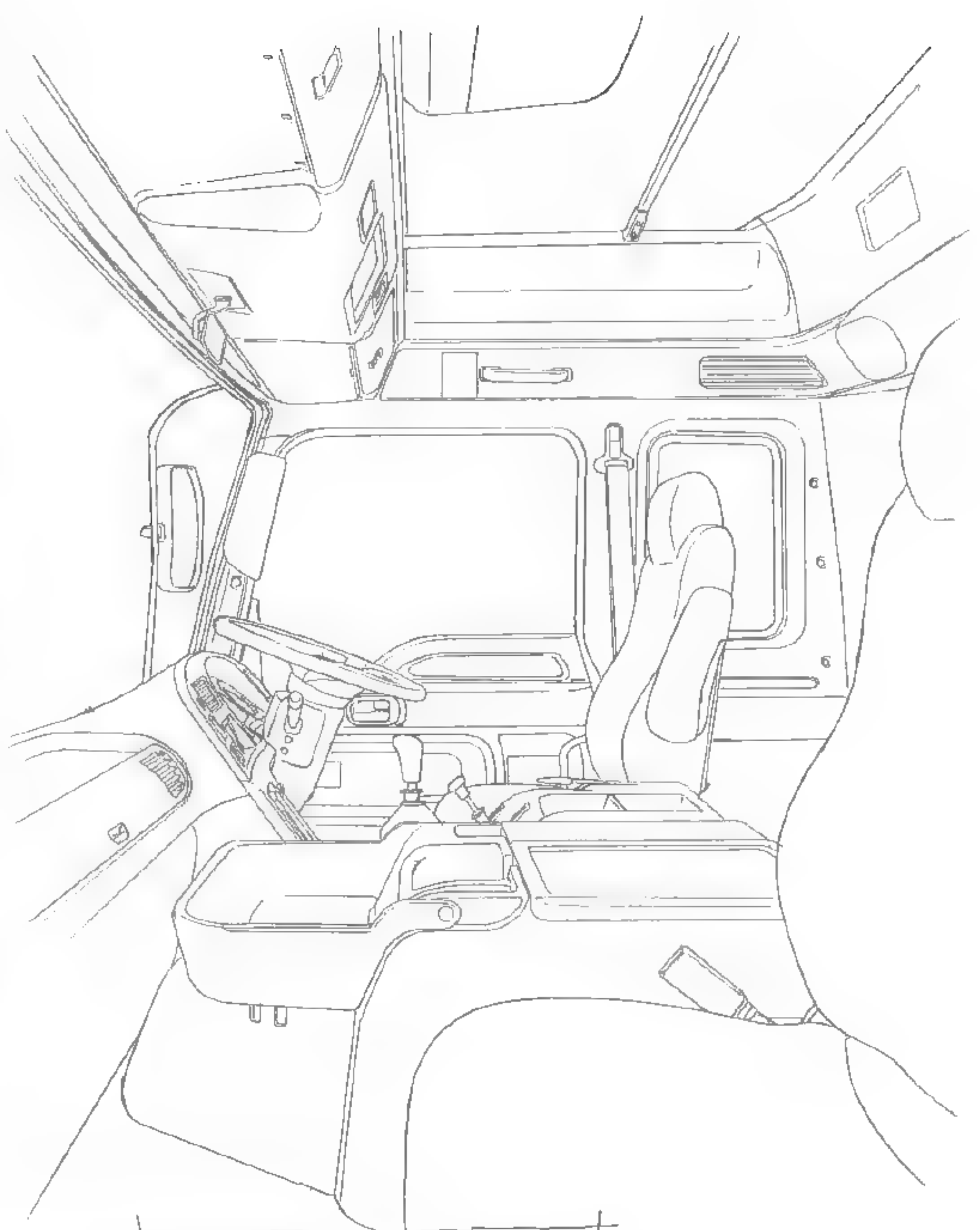
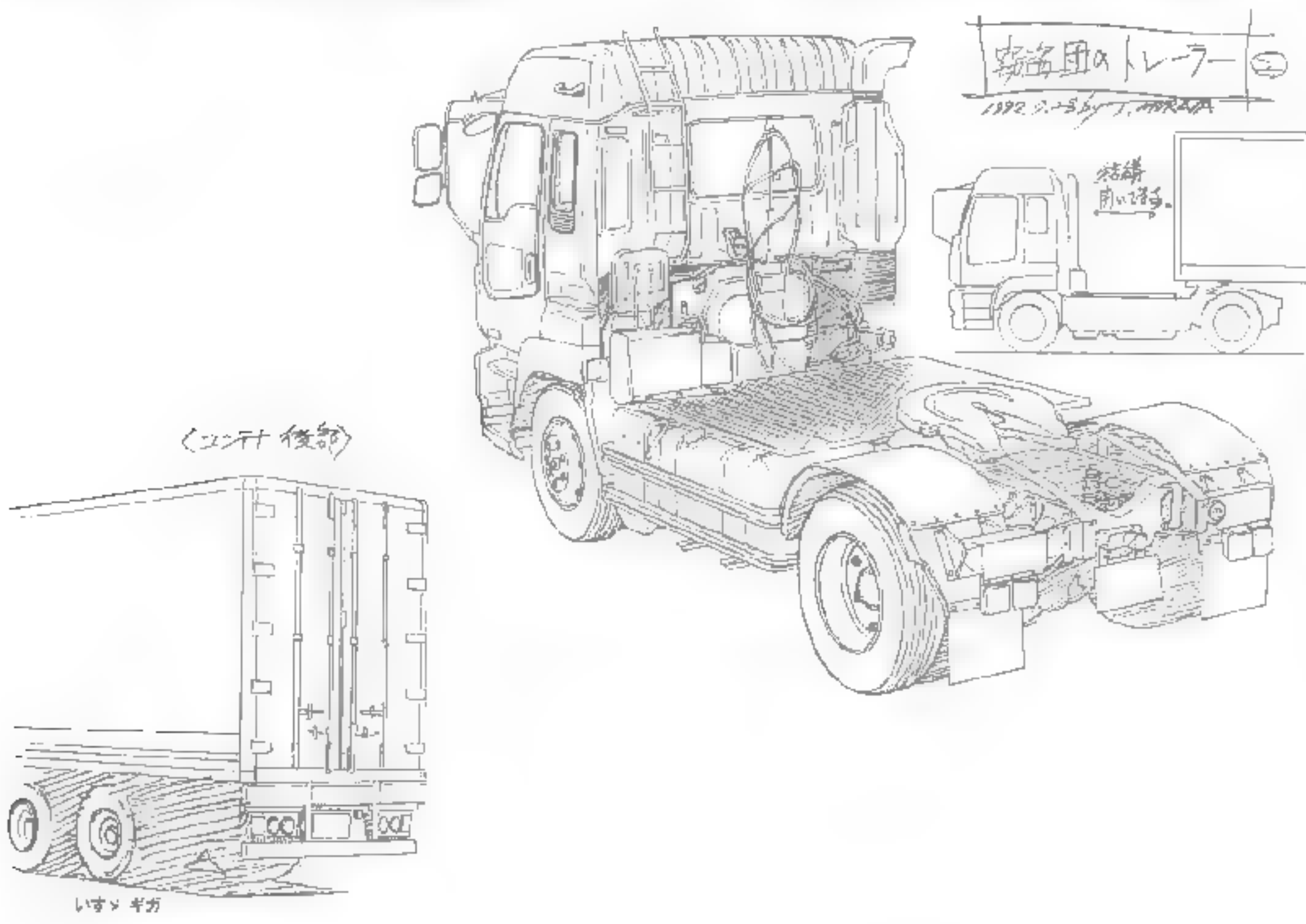
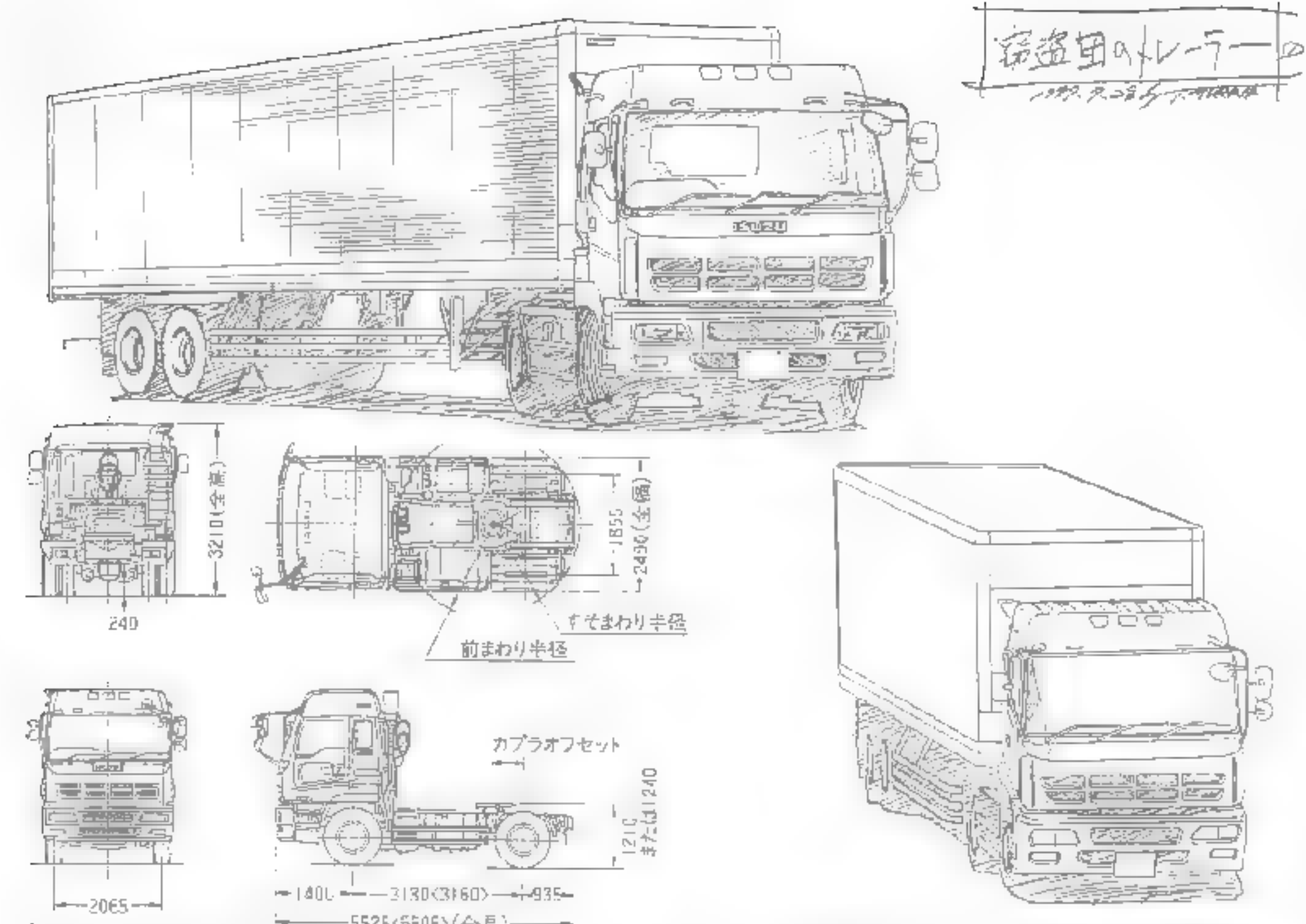
トヨタのチャイルドシート
2002.10.10 by T. MATSUDA

2002.10.10
by T. MATSUDA

※トヨタの4人乗りなので後部座席にはチャイルドシートが4つまで設置できます。

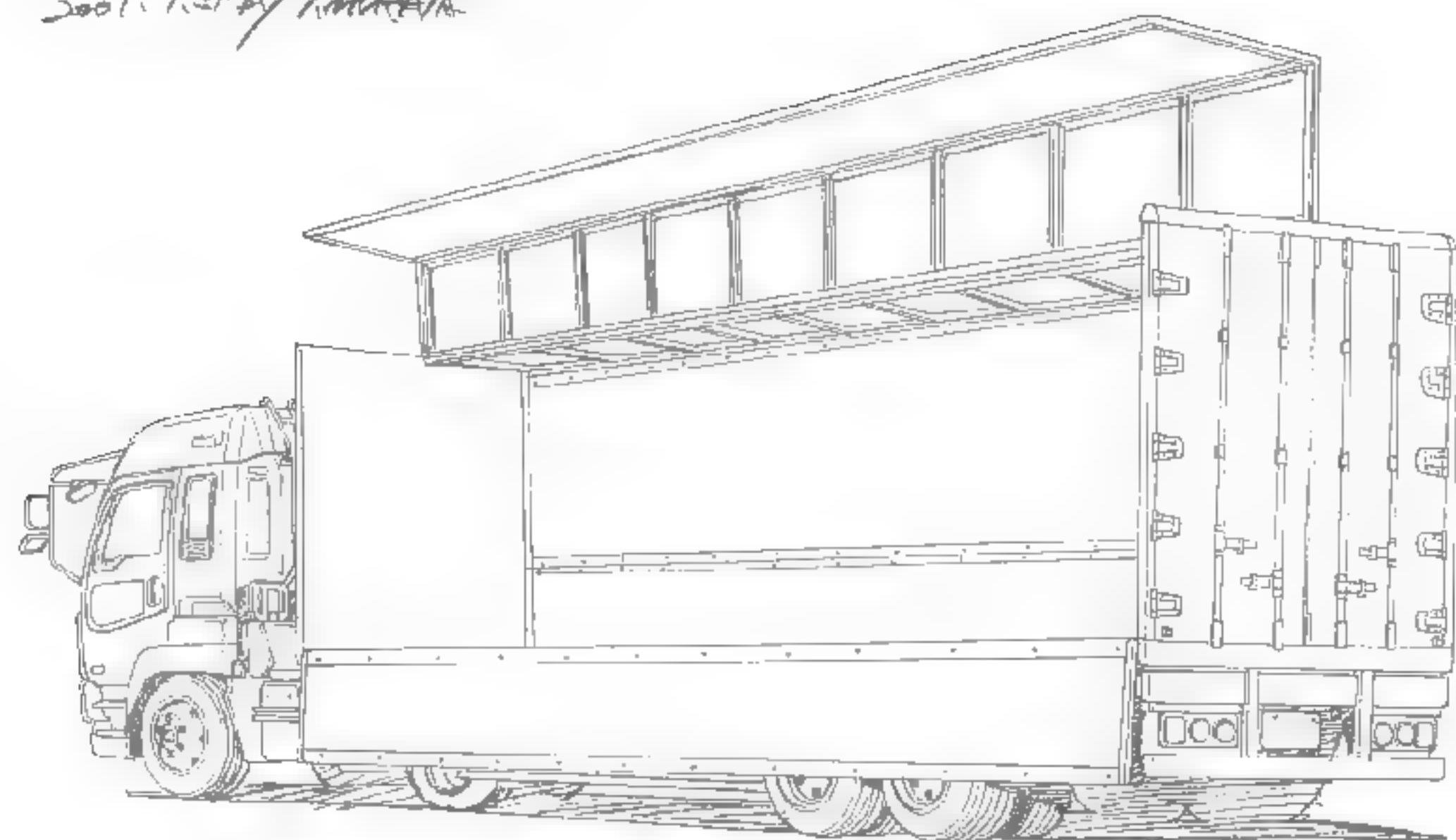


ホンダ トウデイ [チャイルドシート]

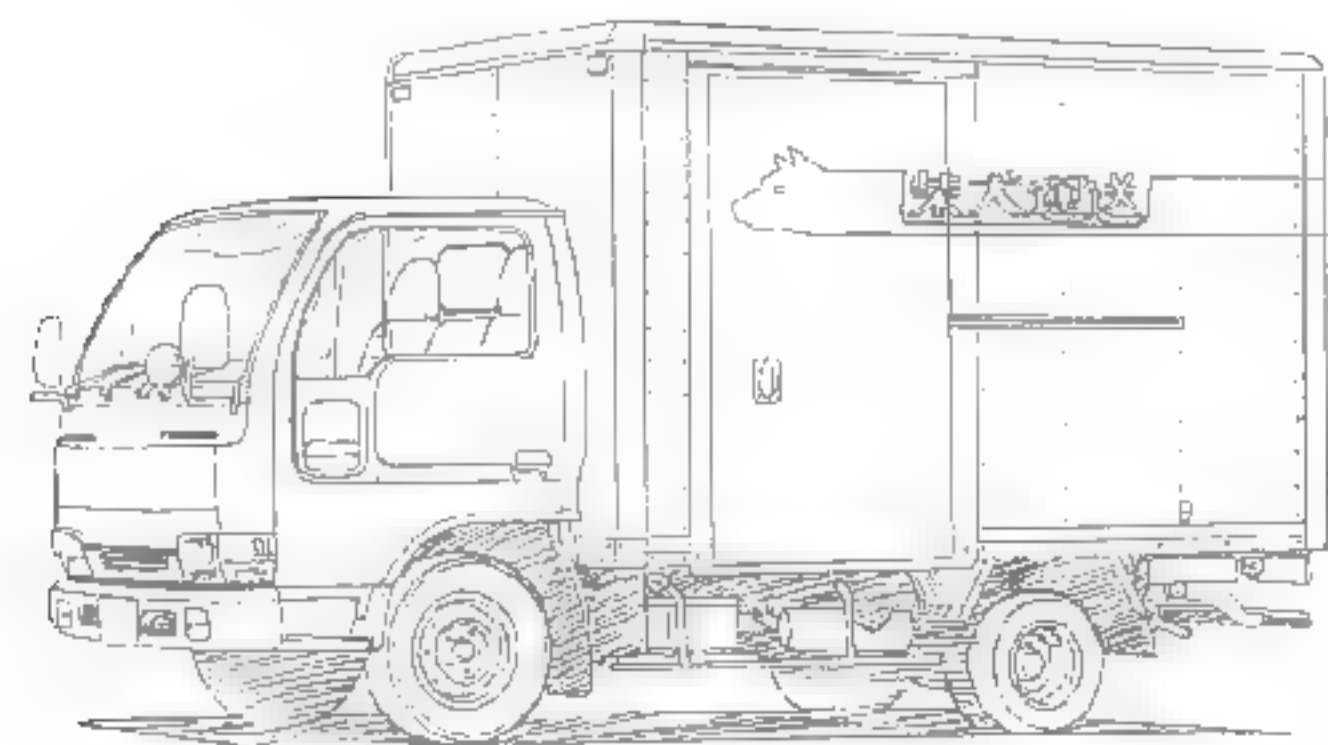


新登場のAトレー-コクピット
1992. 8. 8 by T. MURATA
いすゞギガ [コクピット]

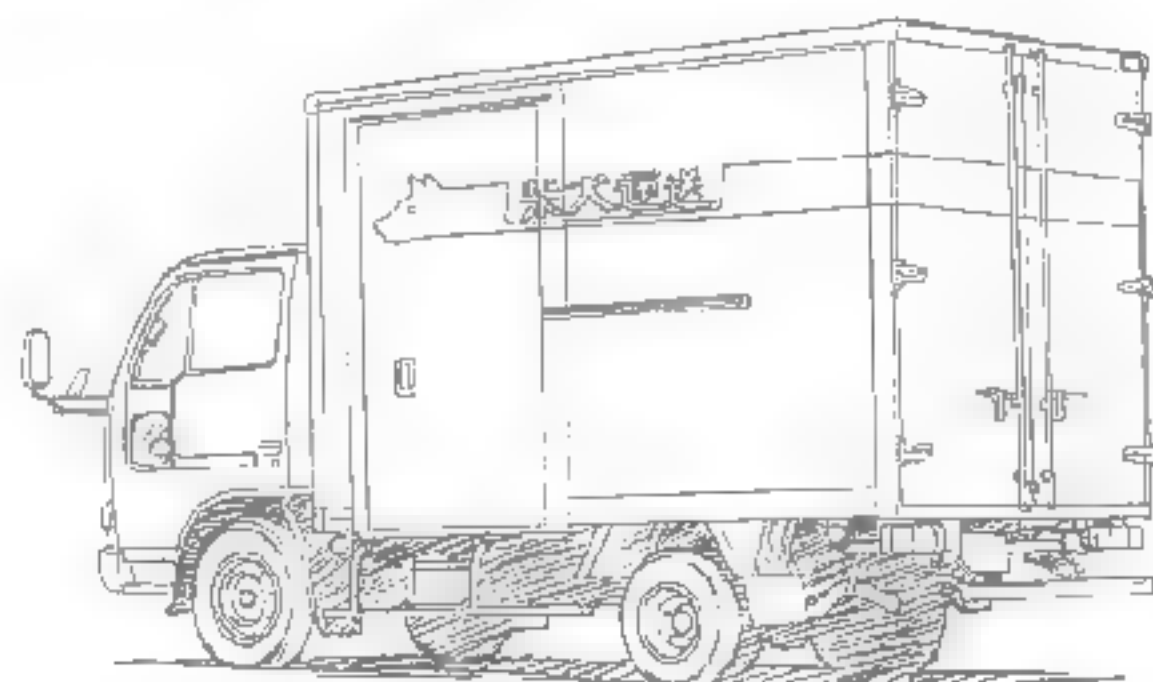
箱車田912-3-8
2001.1.20 by T.MORITA



いすゞ 箱車

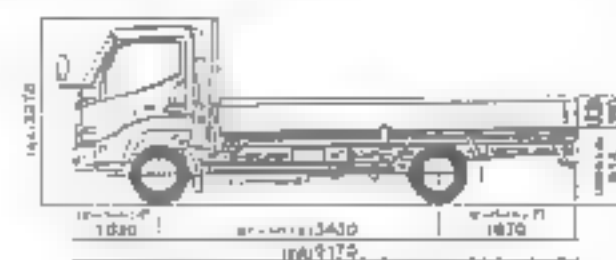
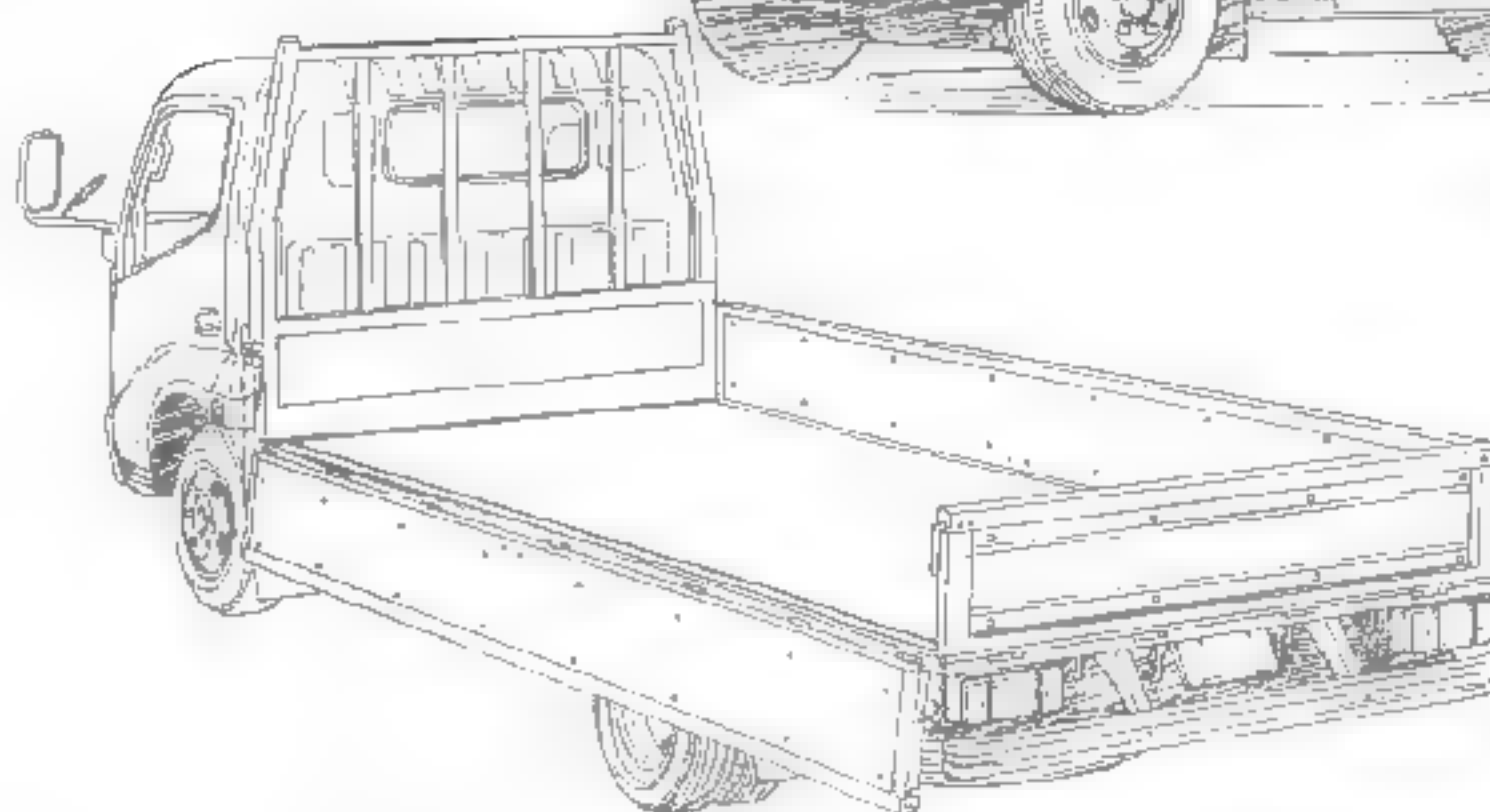
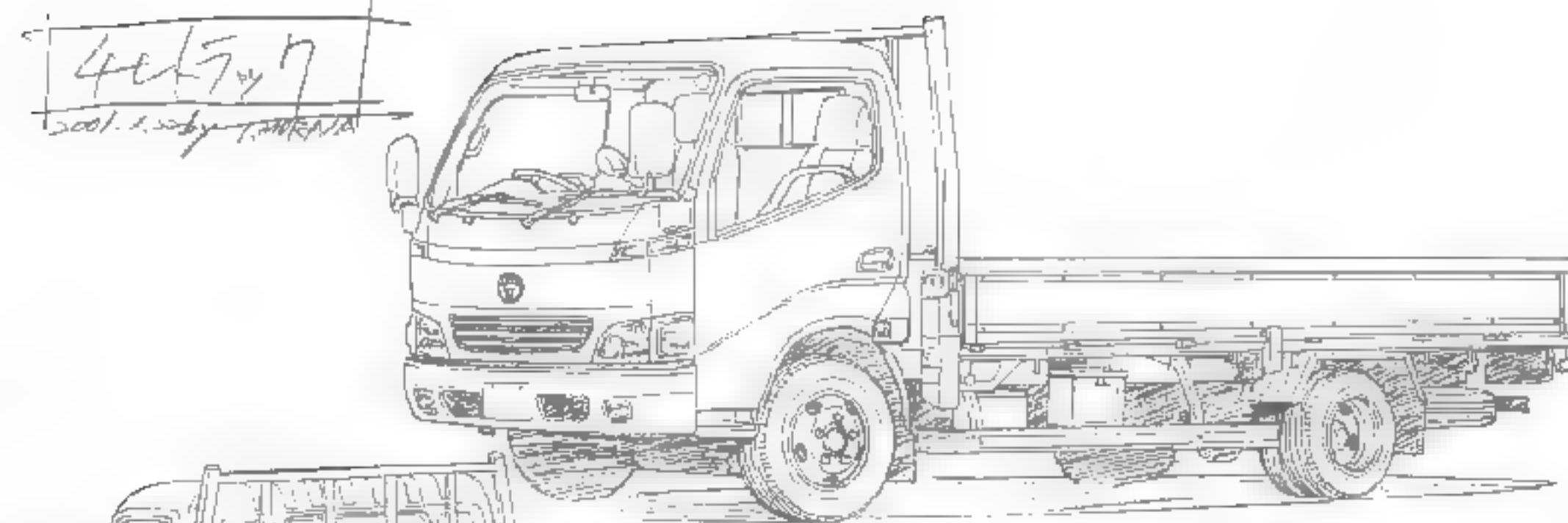


柴犬運送915-7
1998.3/20 by T.MORITA

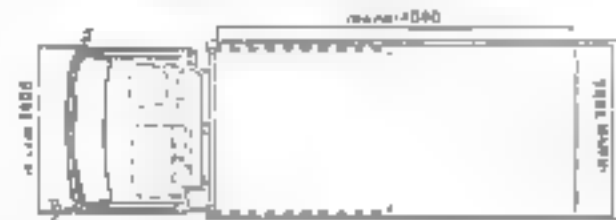
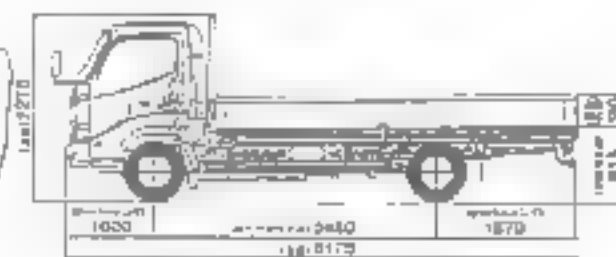
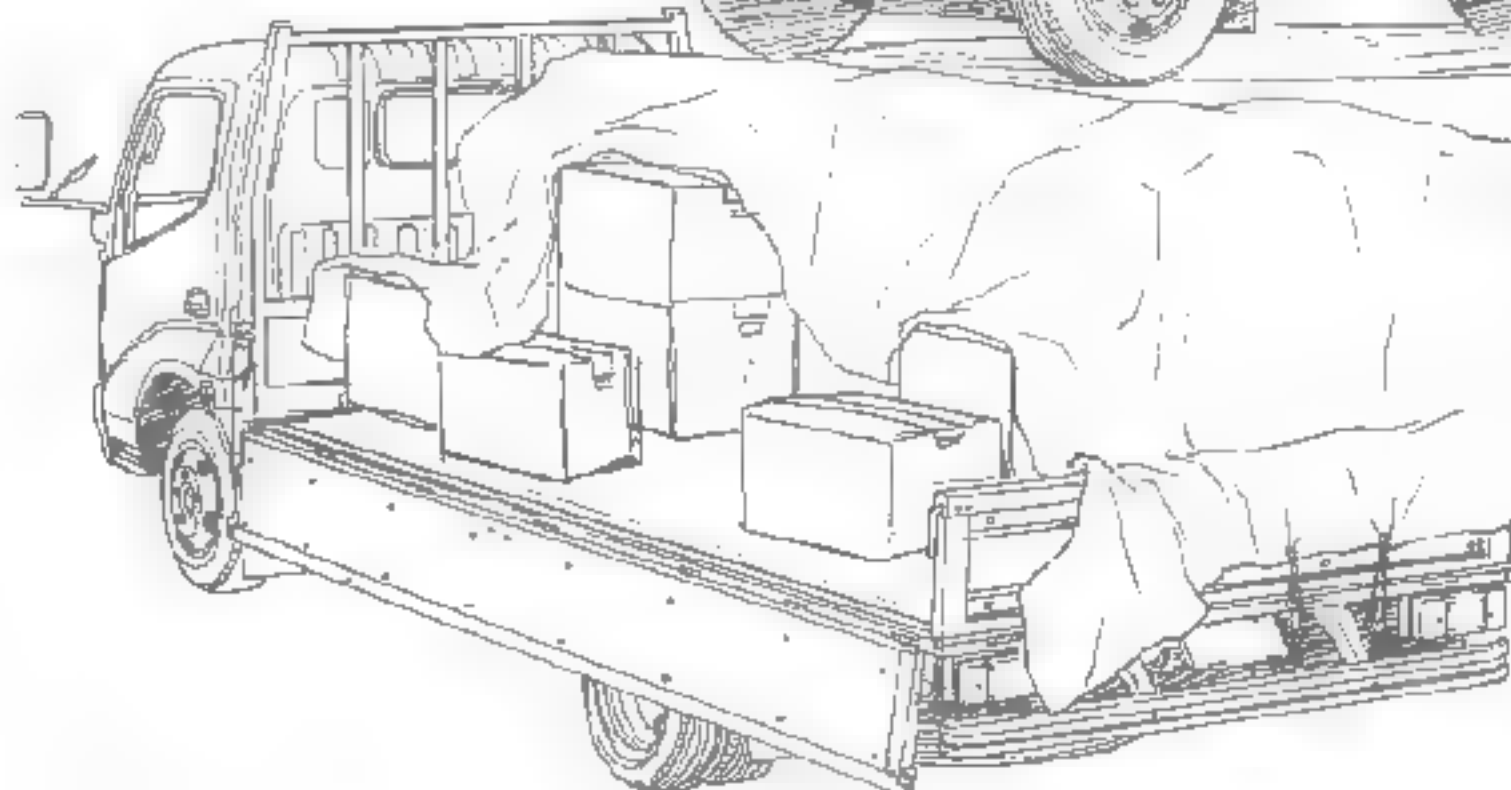


トヨタ アトラス

405-7
2001.1.20 by T.MORITA

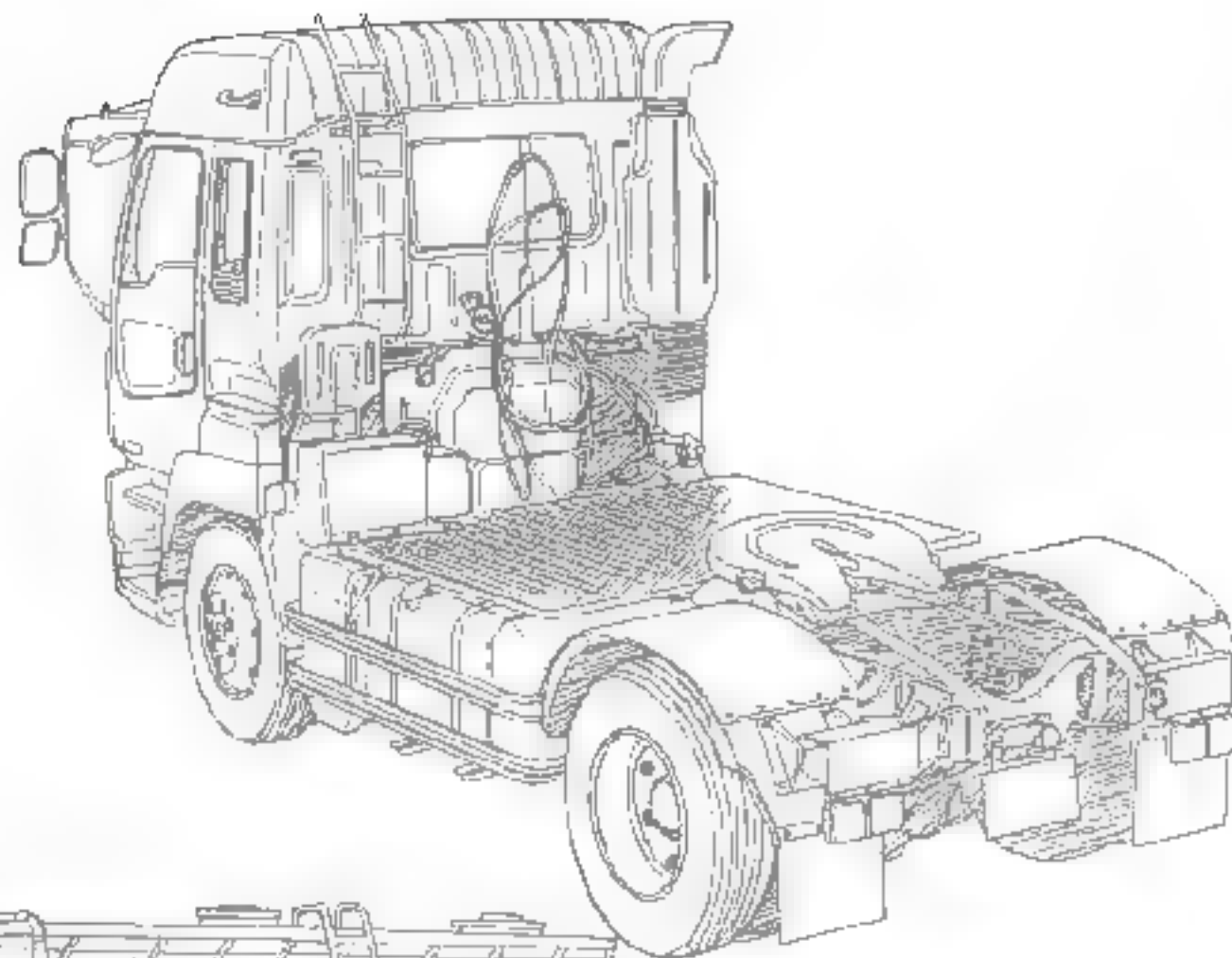


#2 405-7
2001.1.20 by T.MORITA

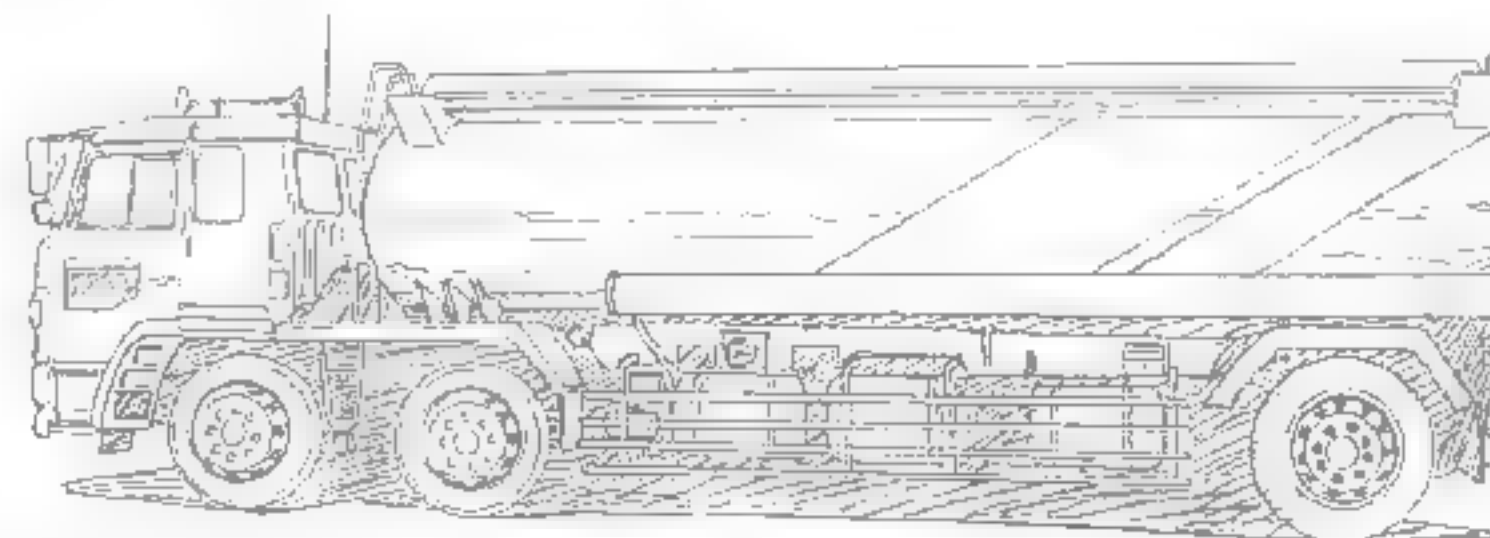
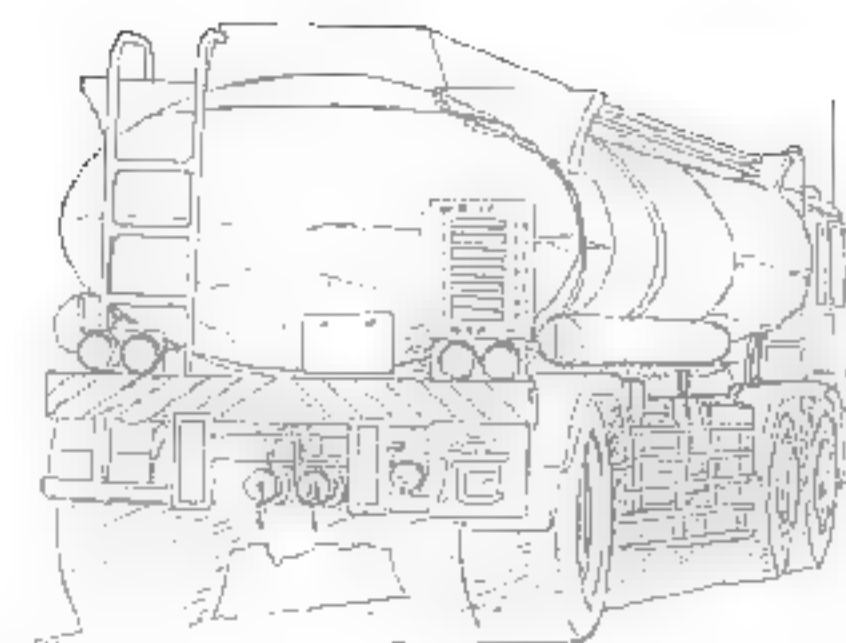


トヨタ ダイナ

バートル
2007.10.10 by T. MURATA



建捕井4 タンクローリー

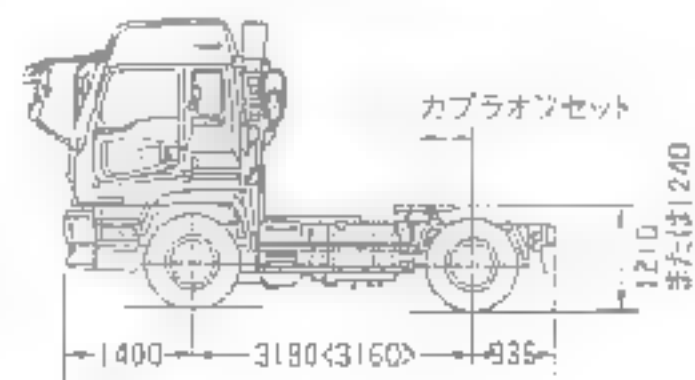
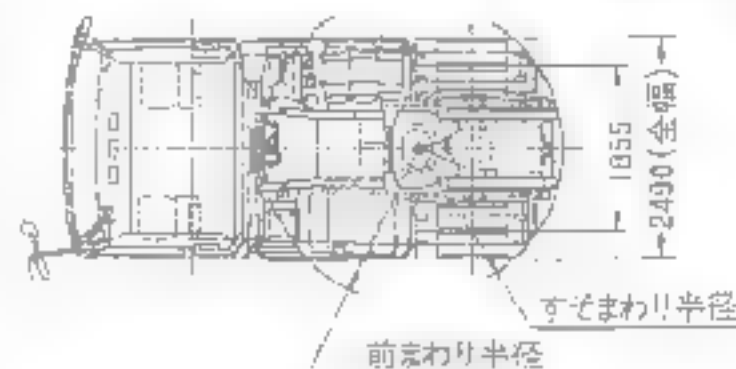
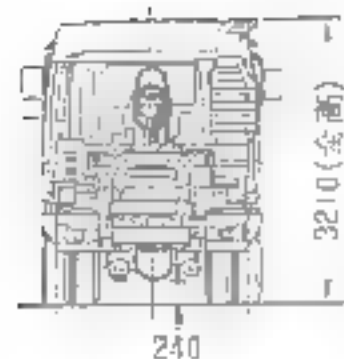
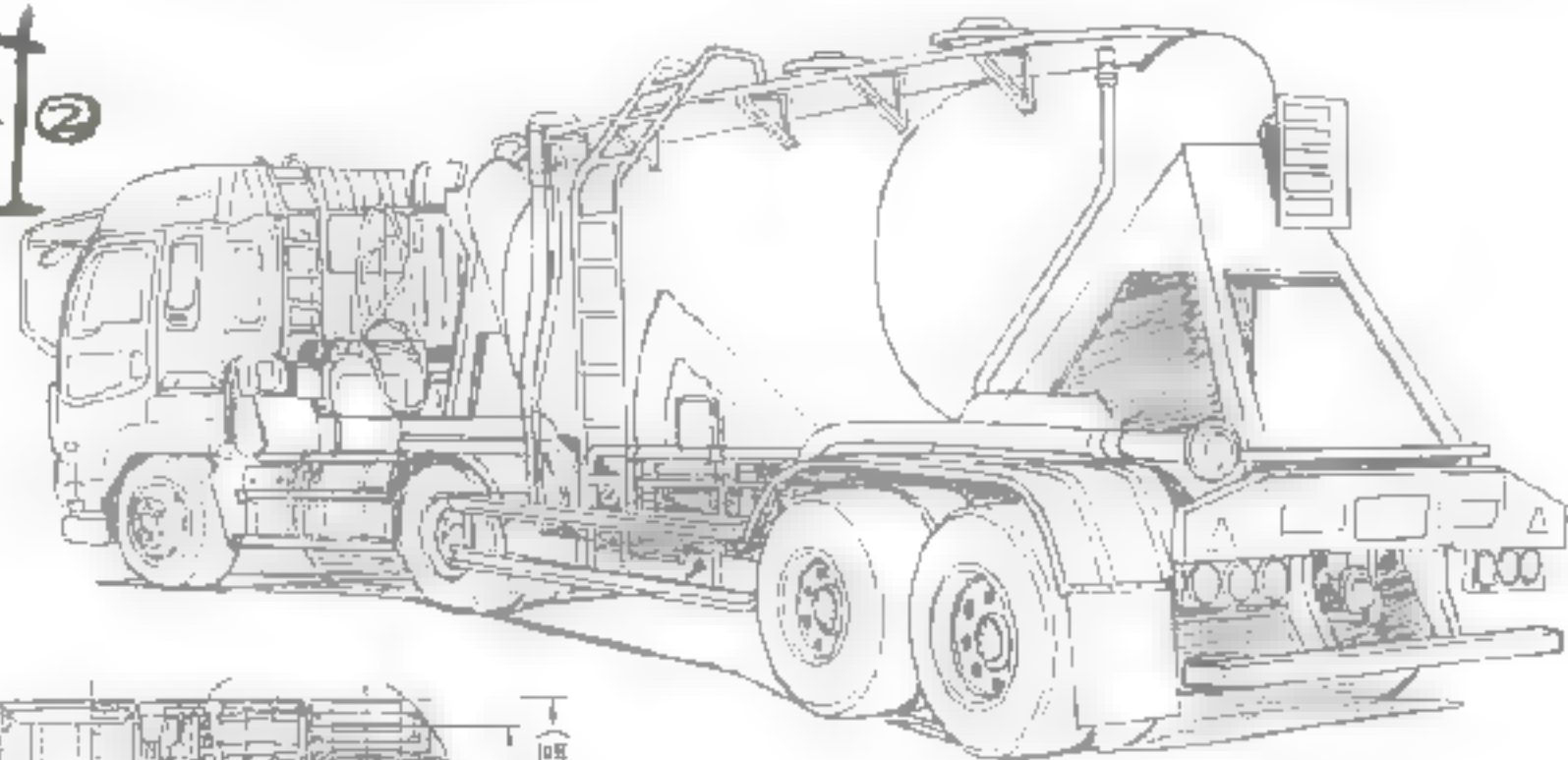


日野 スーパードルフィン [タンクローリー]

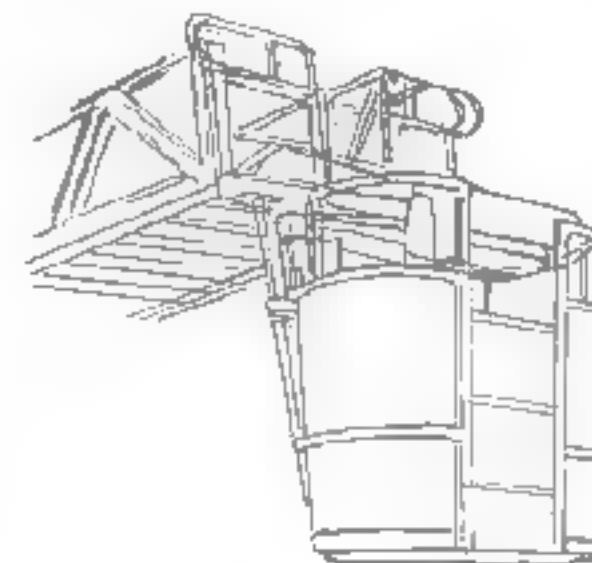
1995.5 by T. MURATA

86

バートル②
2007.10.10 by T. MURATA

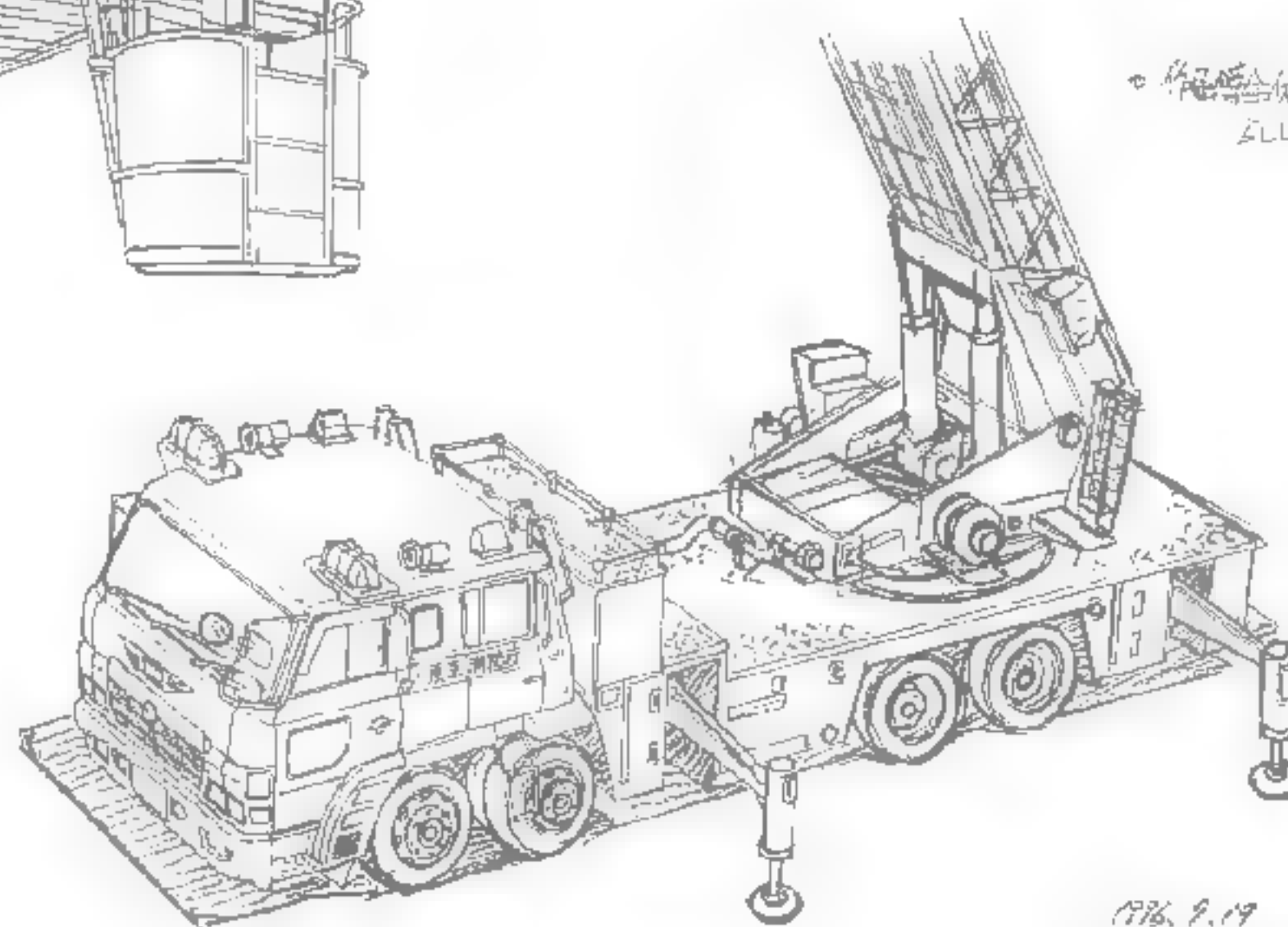


87



#6 けしこ車体

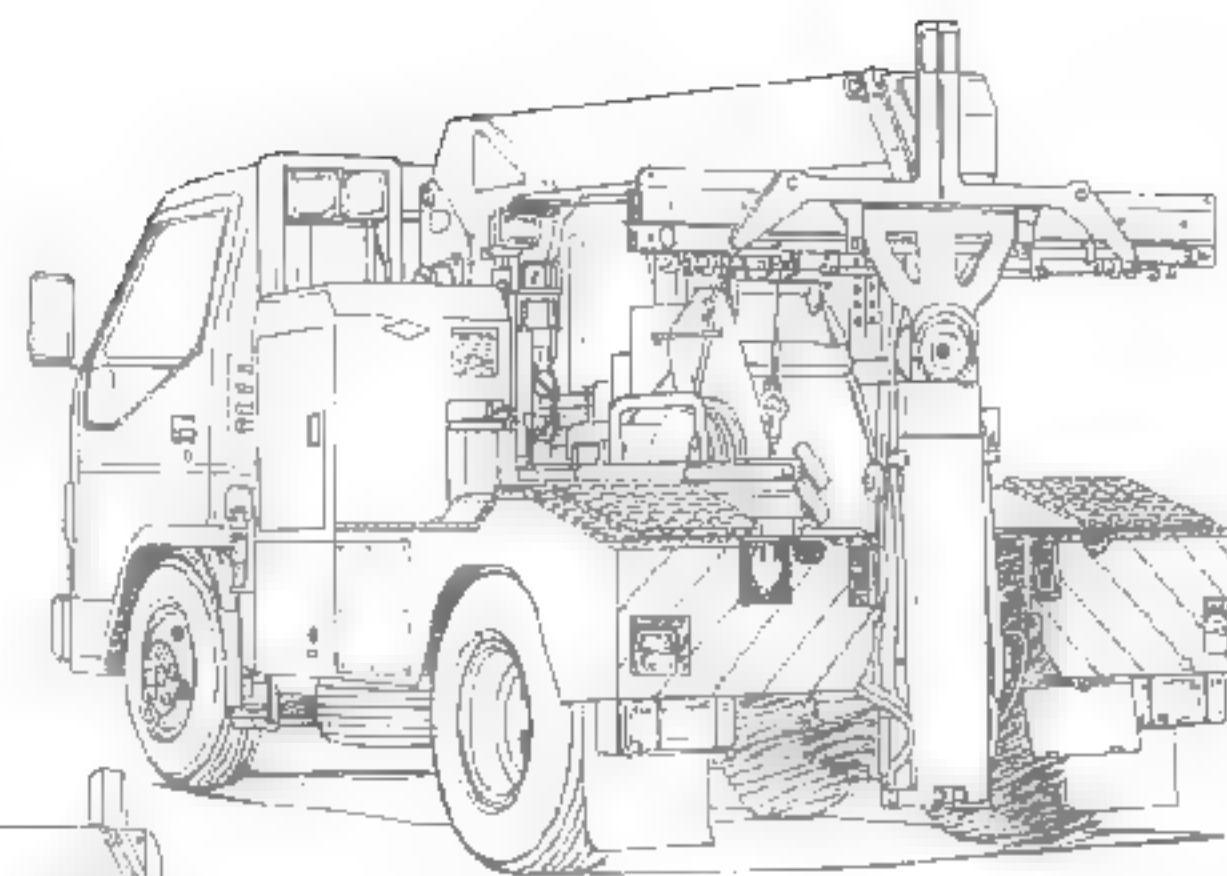
※ 後部吊钩は必ず意識して
ふしやうに動かす



1996.9.19
by T. MURATA

日野 スーパードルフィン [けしこ車]

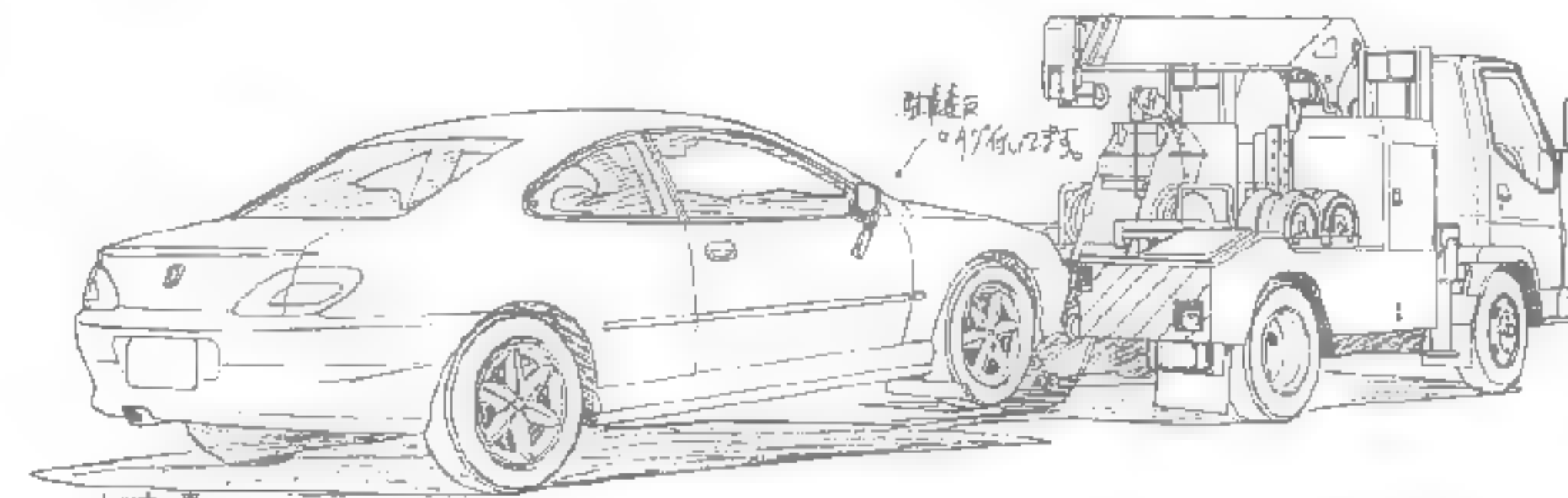
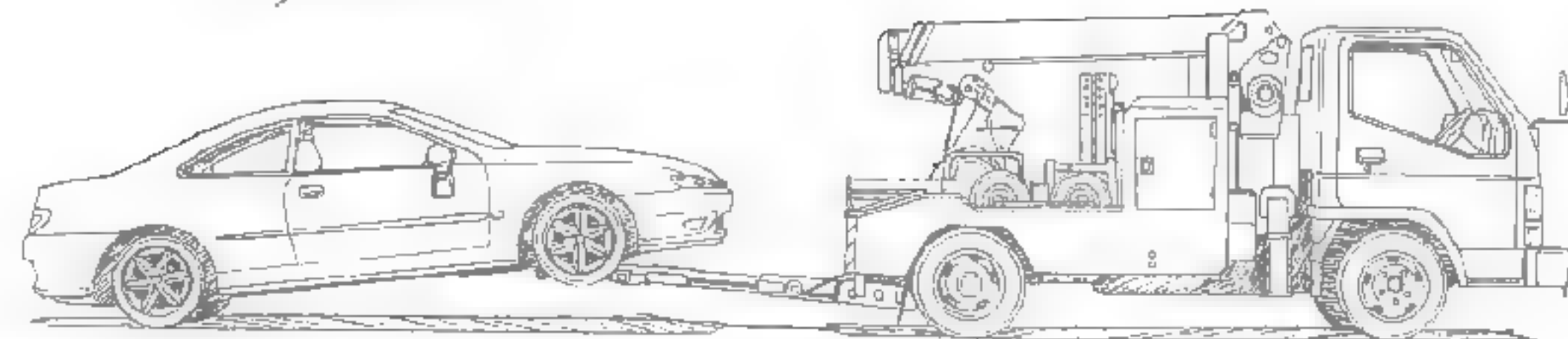
#1 レッカー車① 2001.1.6 by T. MURATA



・このレッカー車は、
牽引時に別紙に示す
ようにフォークを収めた状態で
牽引可能。

88

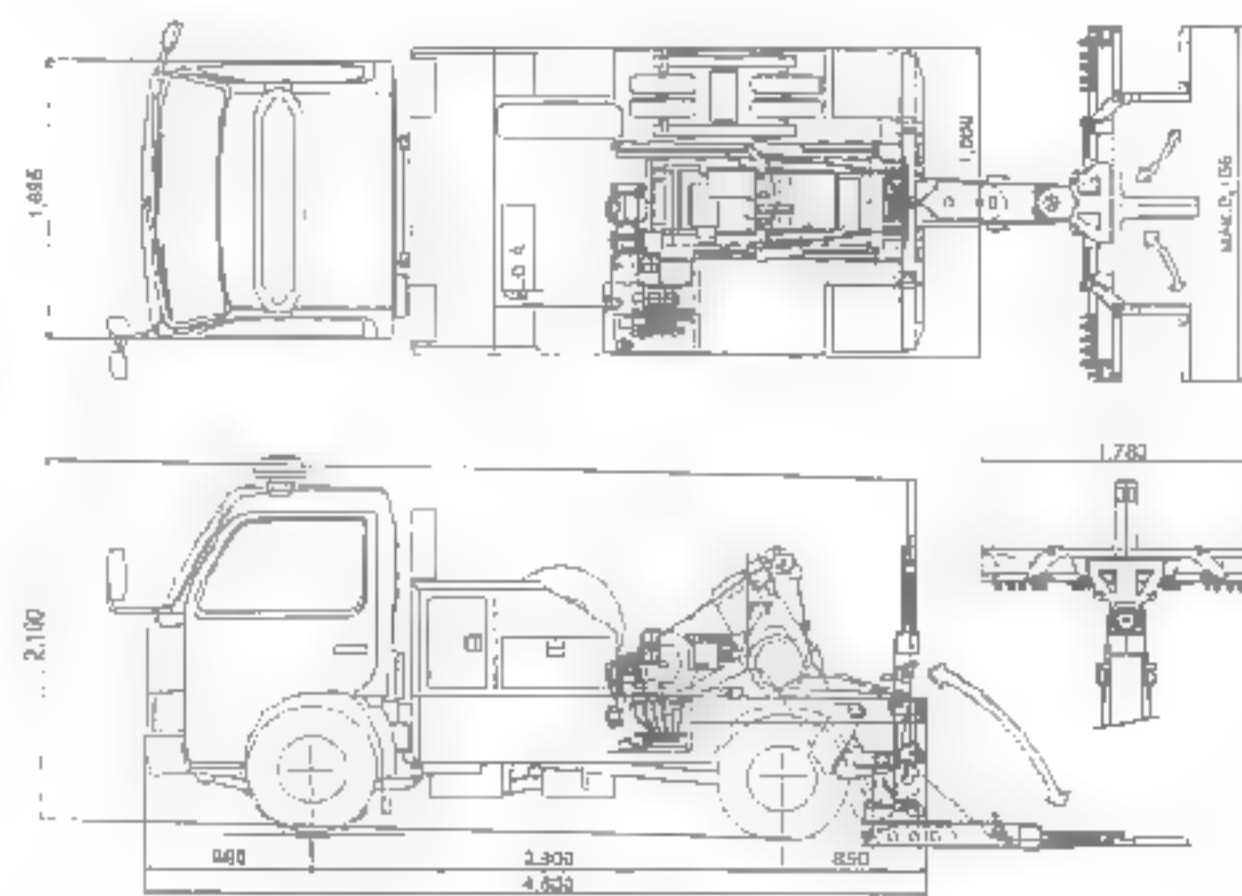
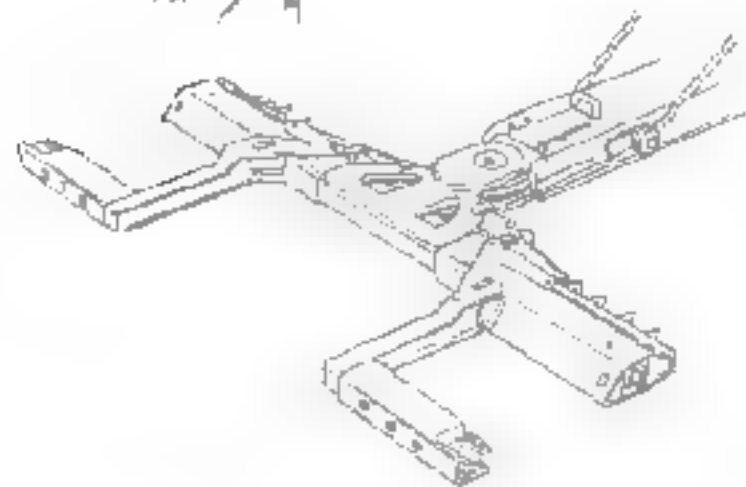
#1 レッカー車② 2001.1.15 by T. MURATA



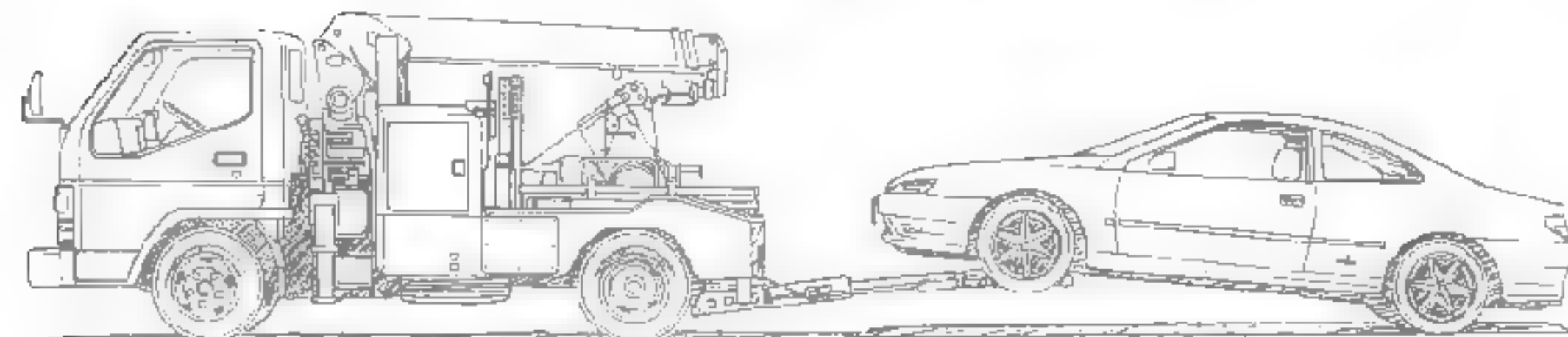
レッカー車

#1 レッカー車③ 2001.1.6 by T. MURATA

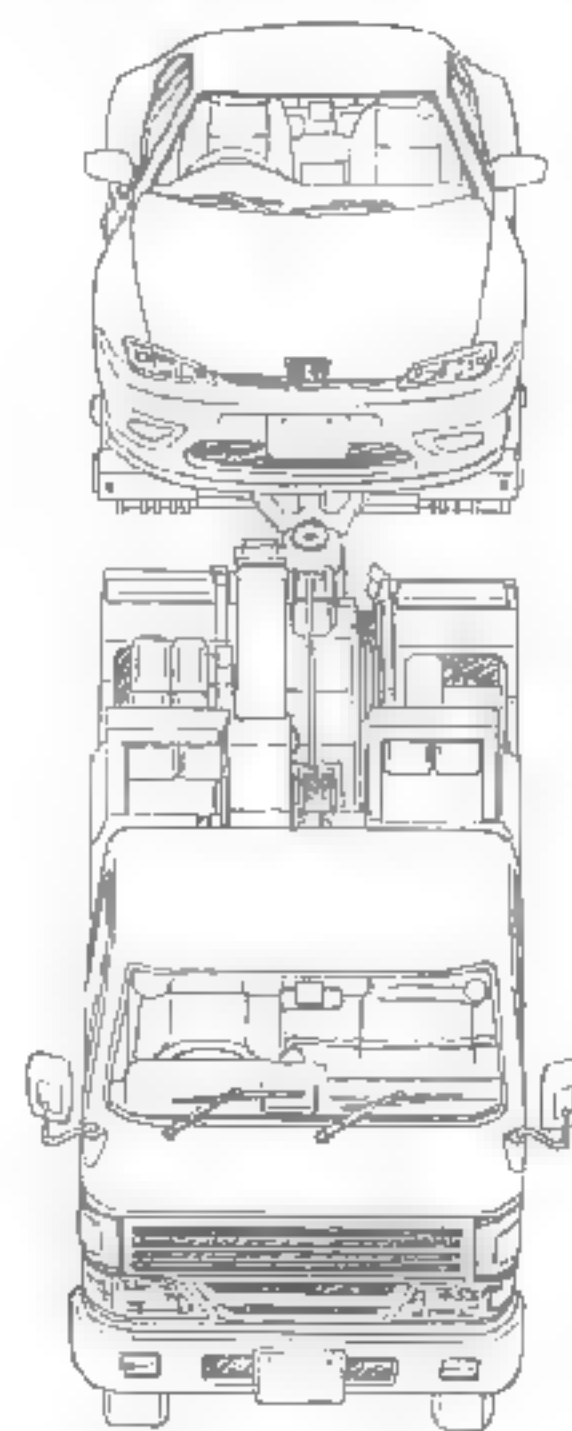
フォーク部



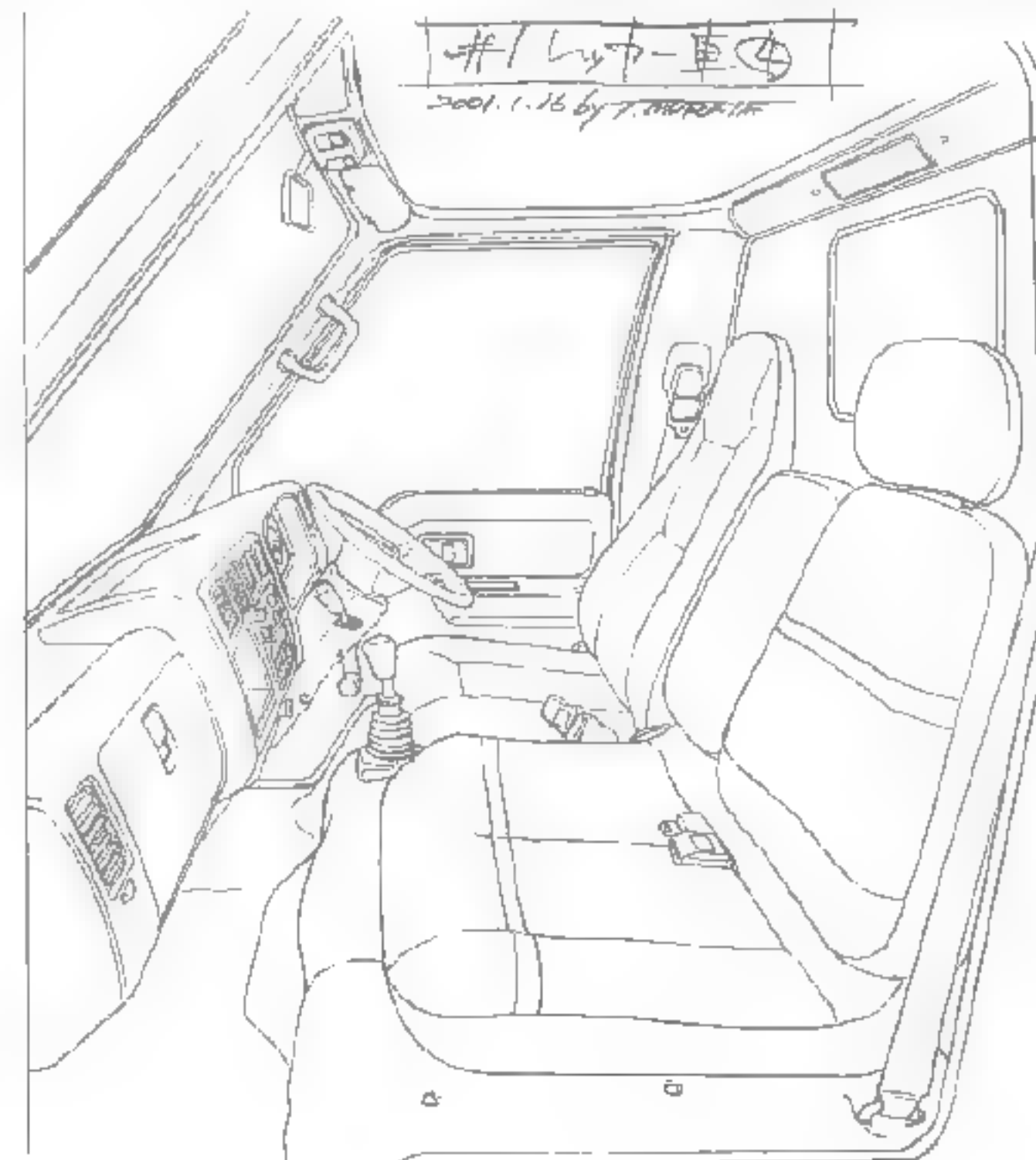
(mm)



レッカー車



レッカー車【参考、コクピット】

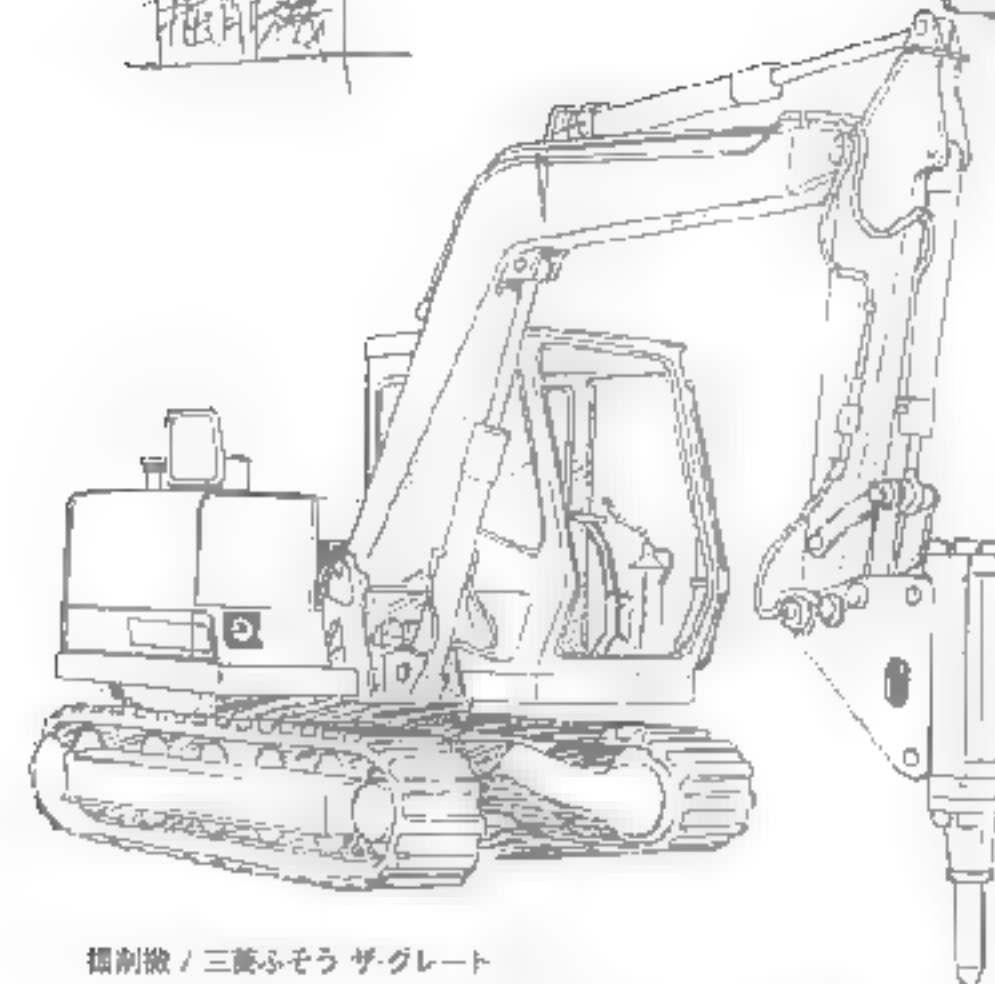


#1 レッカー車④ 2001.1.15 by T. MURATA

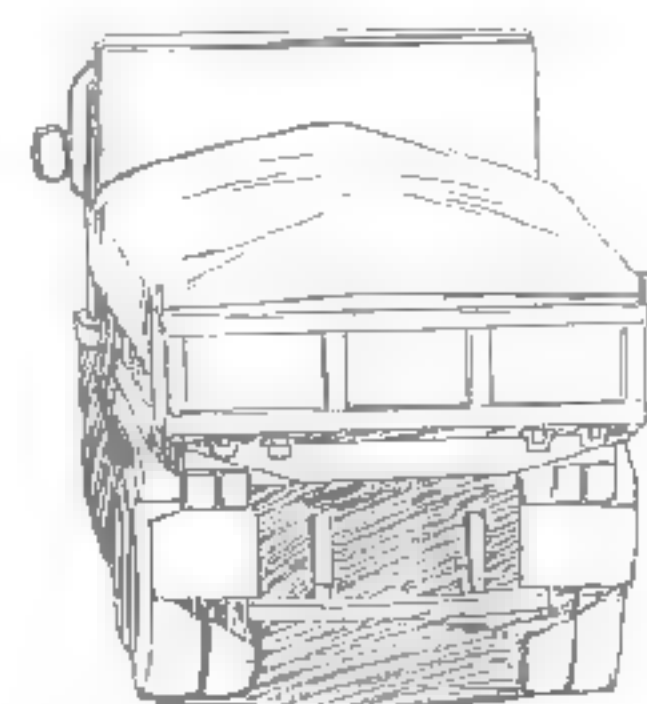
89

507

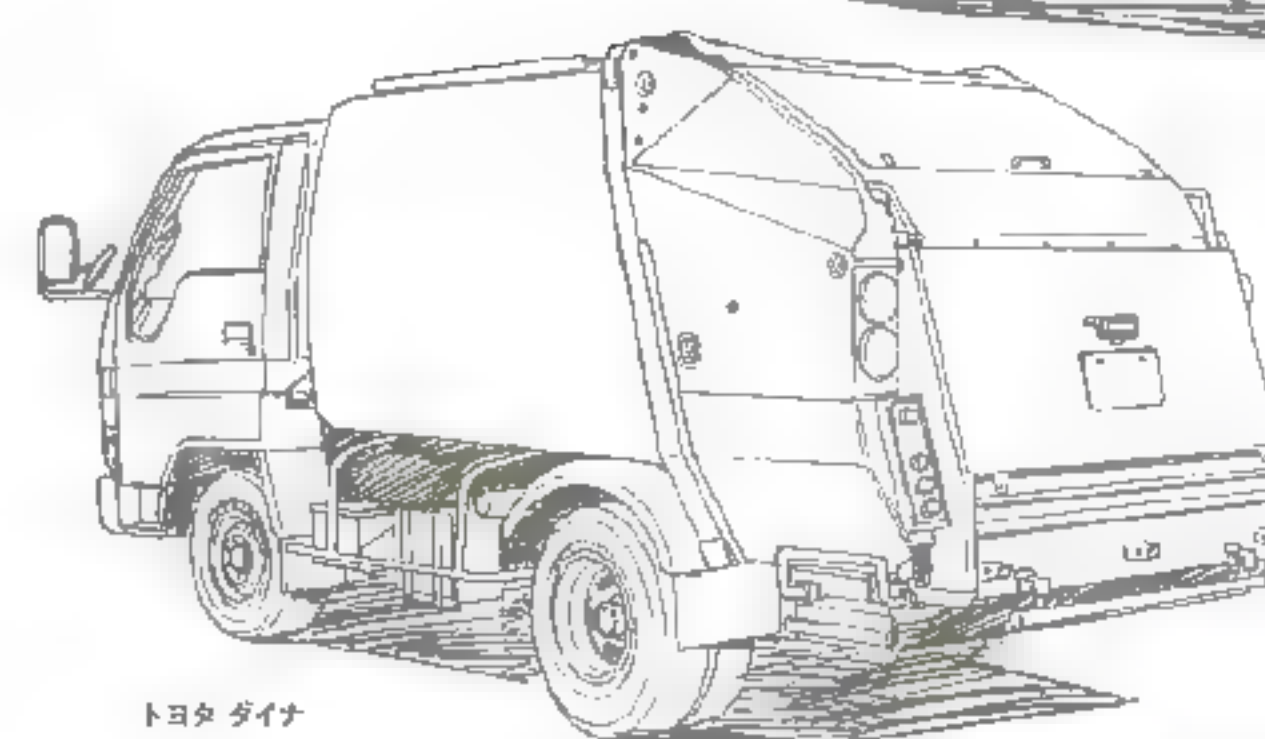
掘削機



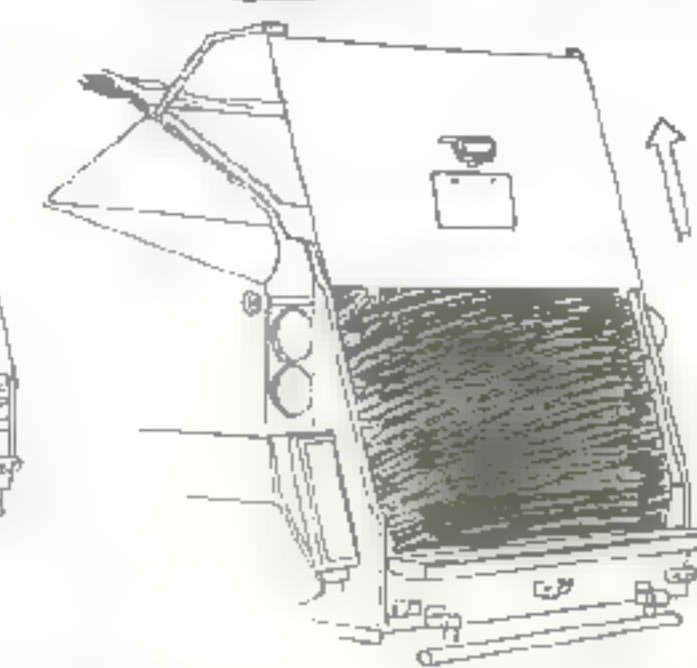
掘削機 / 三菱ふそう ザグレート



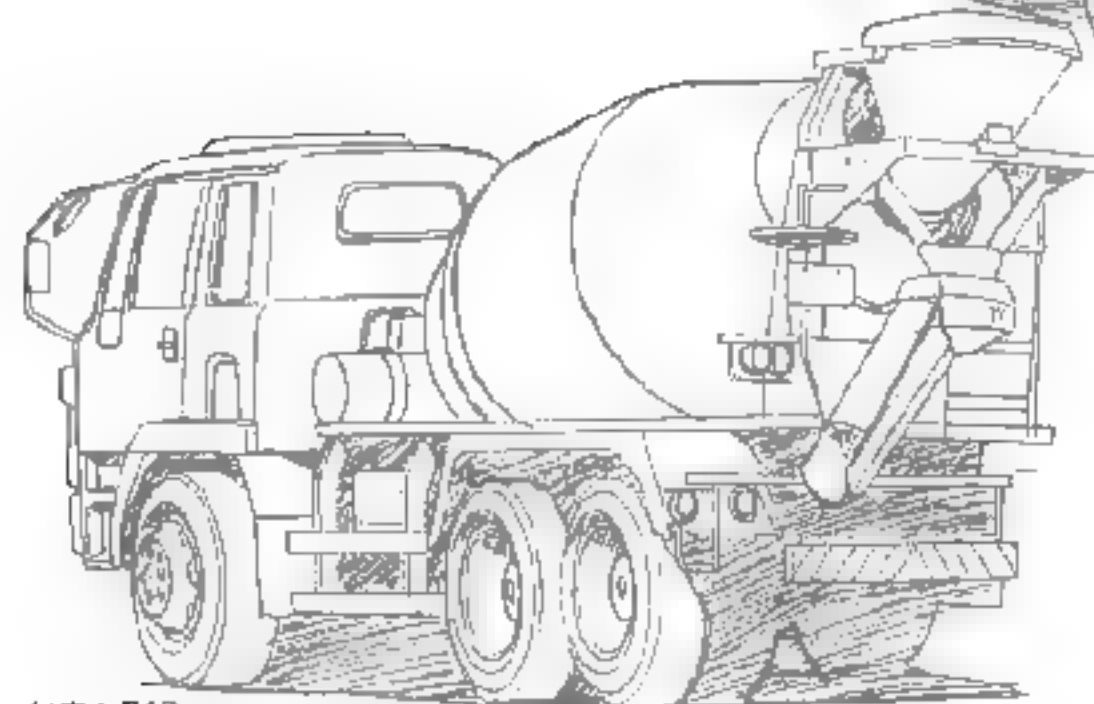
収集車
2001.3.16 by T. MURATA



トヨタ ダイナ

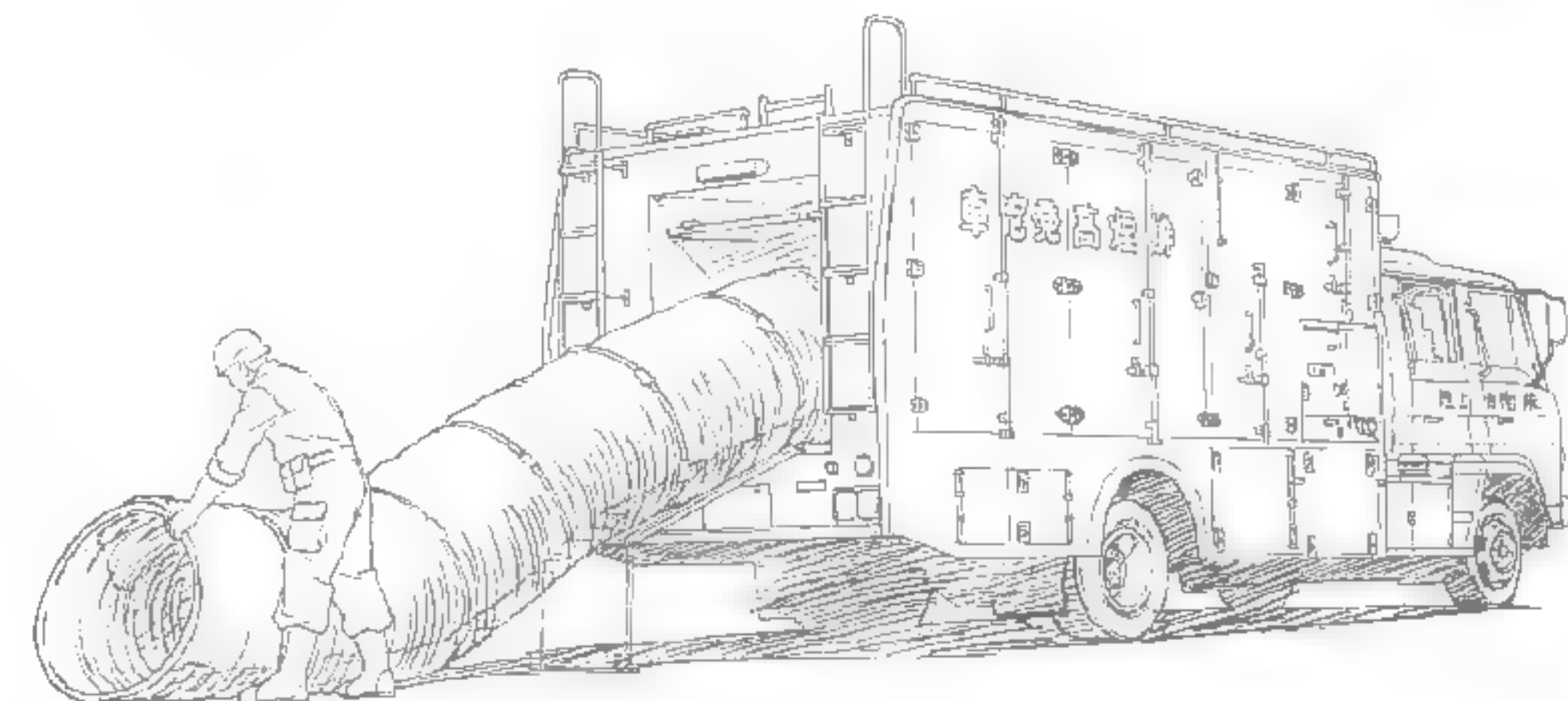


ミキサー車
1999.2.20 by T. MURATA



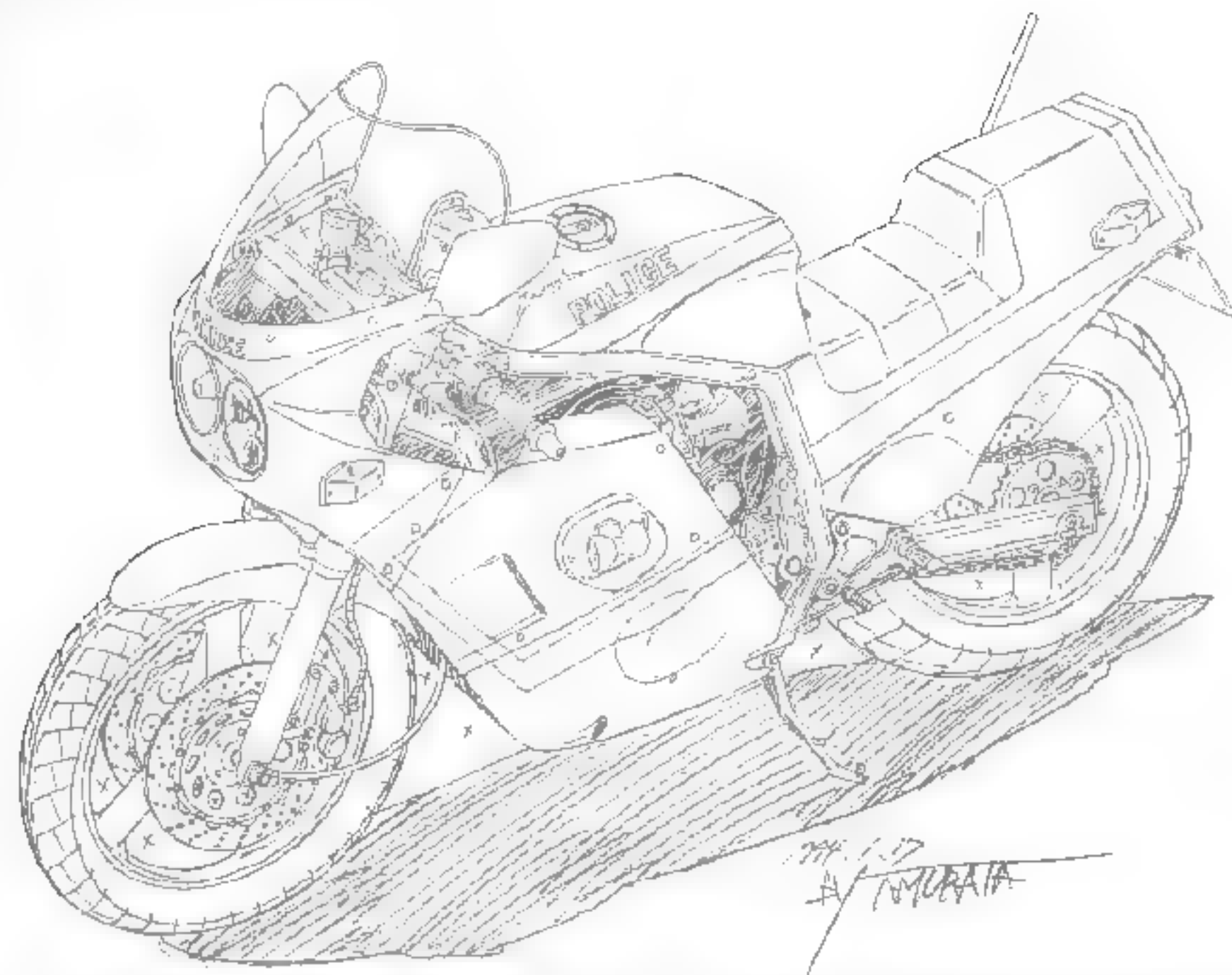
いすゞ B10

送風車
1998.3/10 by T. MURATA



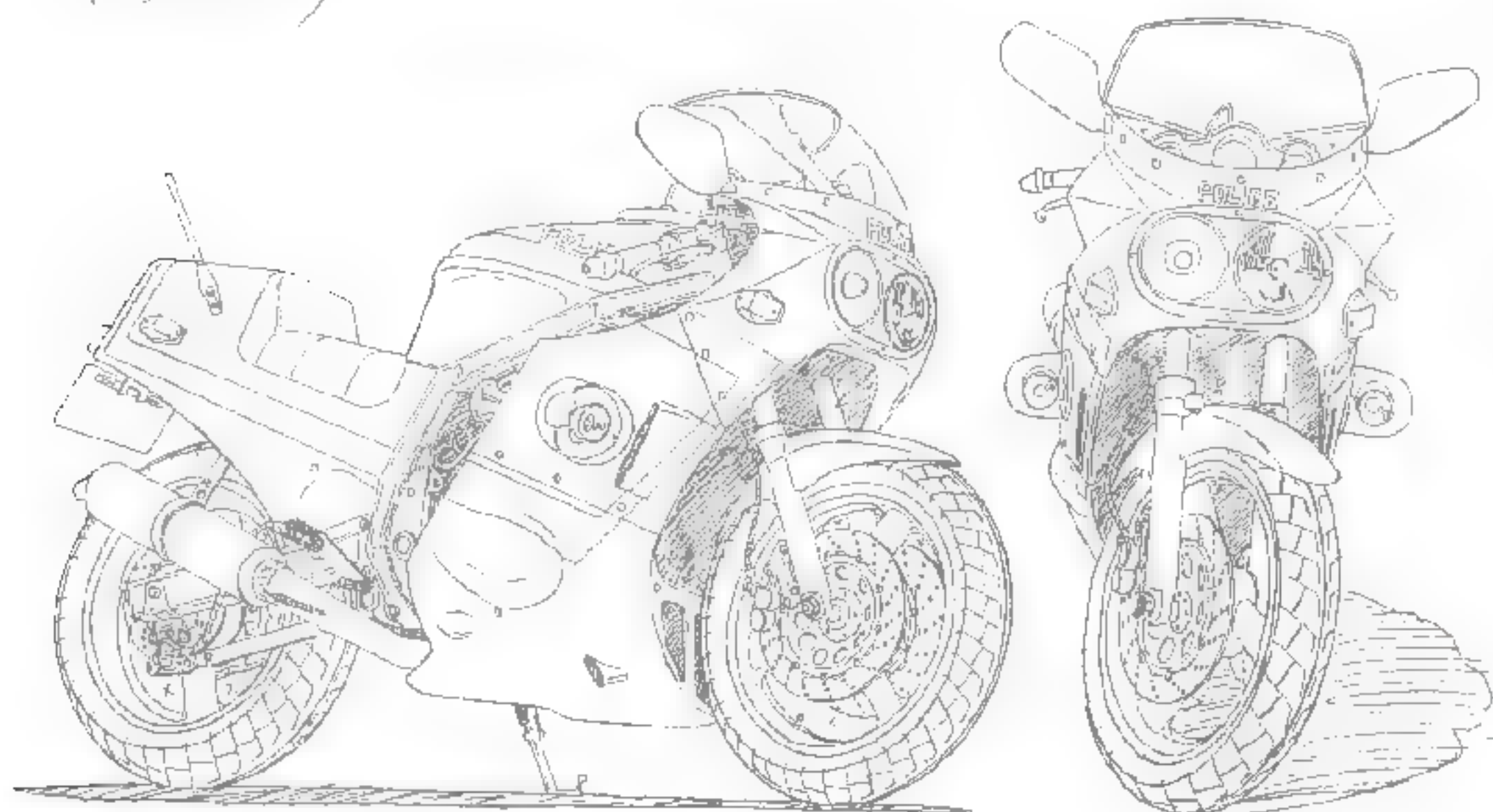
送風車

・中嶋の自バイ (GSX-R750) ①



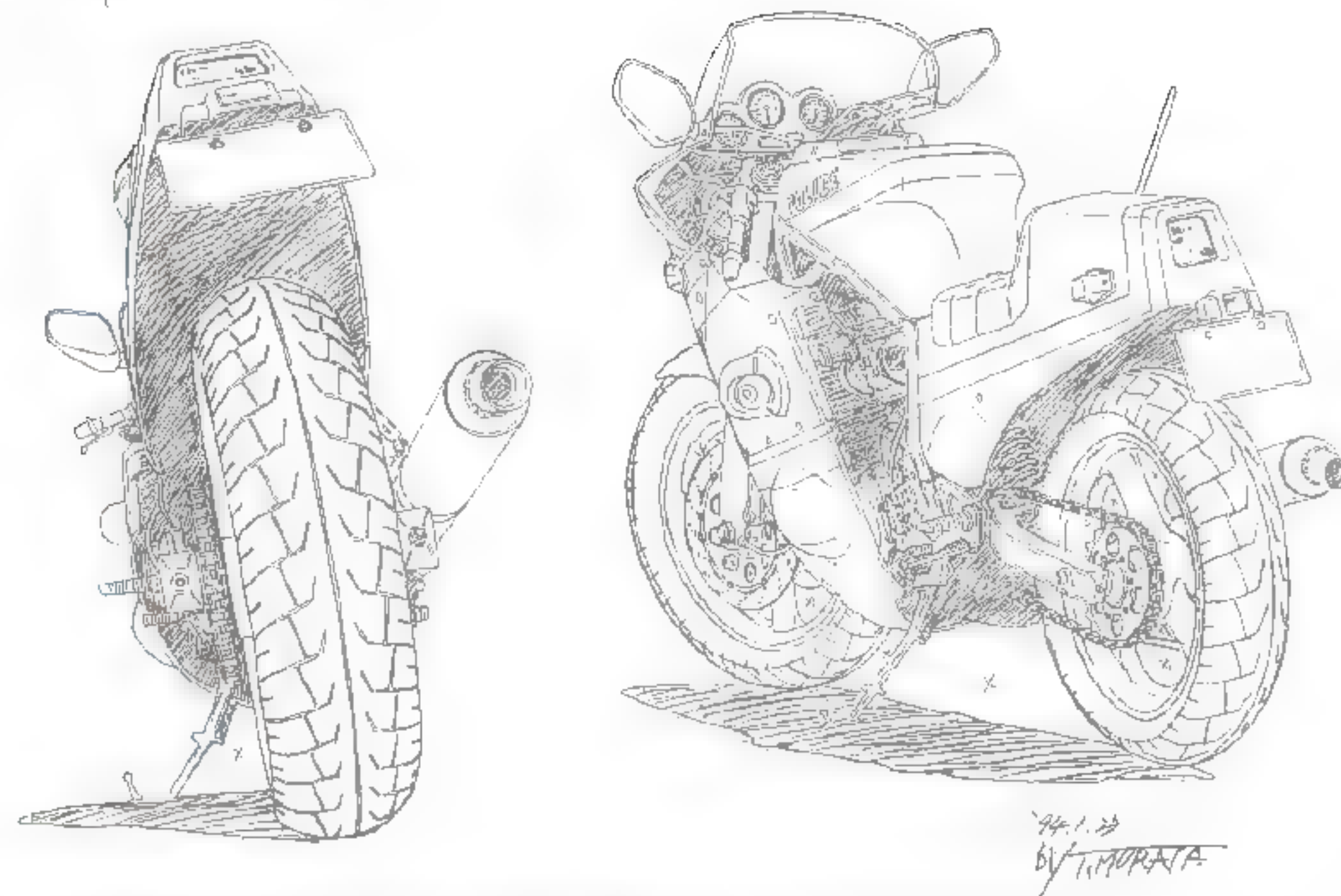
72

・中嶋の自バイ ②



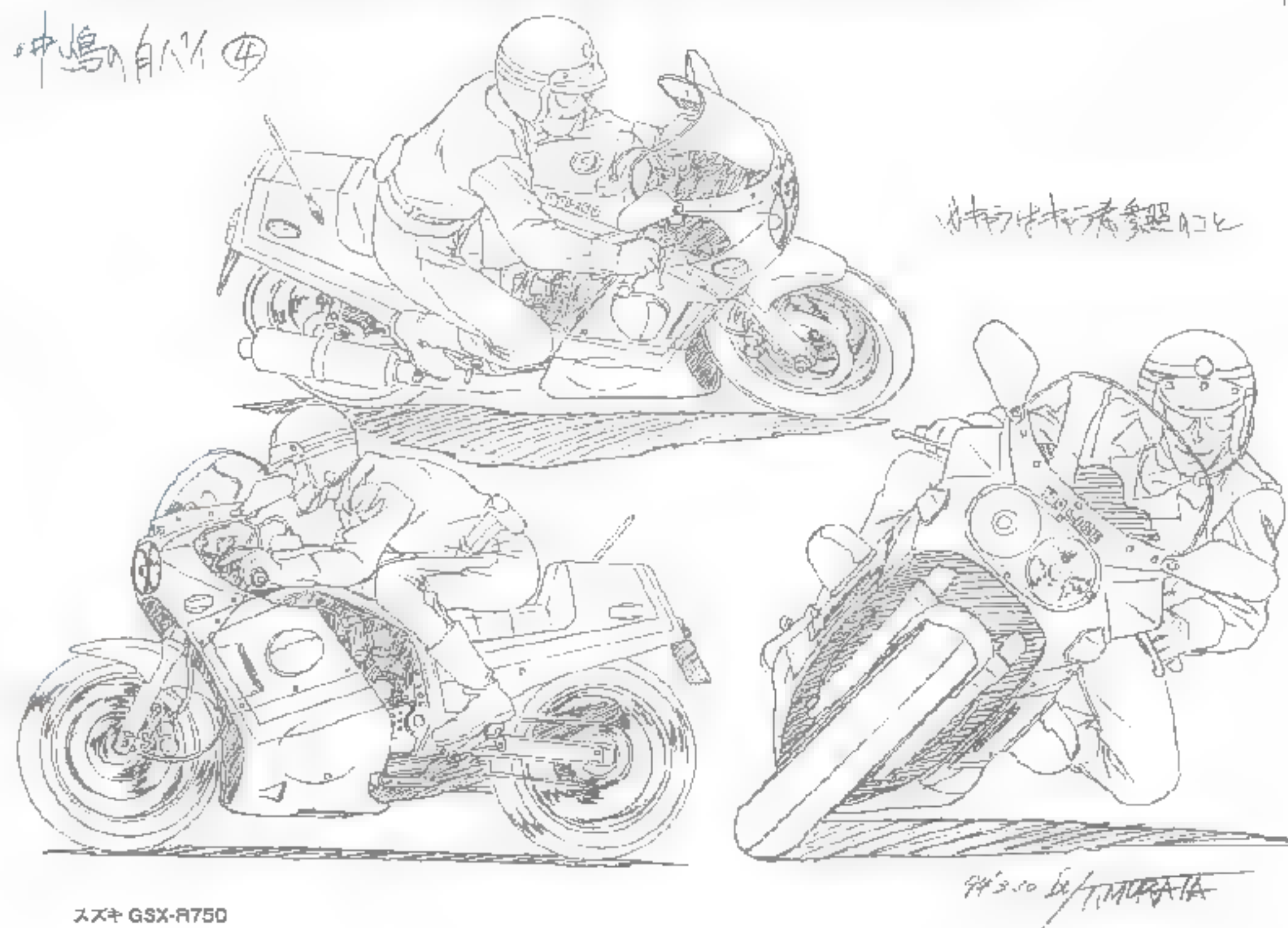
スズキ GSX-R750

・中嶋の自バイ ③



73

・中嶋の自バイ ④



スズキ GSX-R750

中島自バイエビット
 中島自地に自文字
 他自地に自文字

無線機
 無線機

無線機
 無線機

無線機
 無線機

無線機
 無線機

無線機
 無線機

無線機
 無線機

スズキ GSX-R750 (コクピット)

ゼロサム

無線機

ハット

無線機

無線機

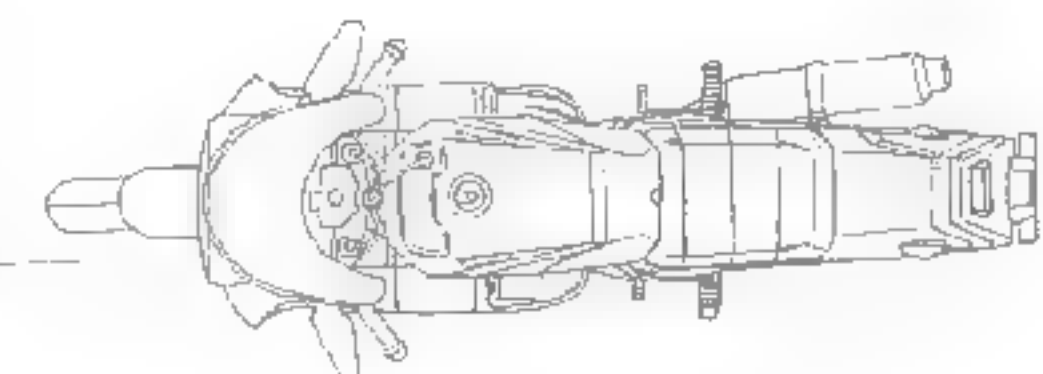
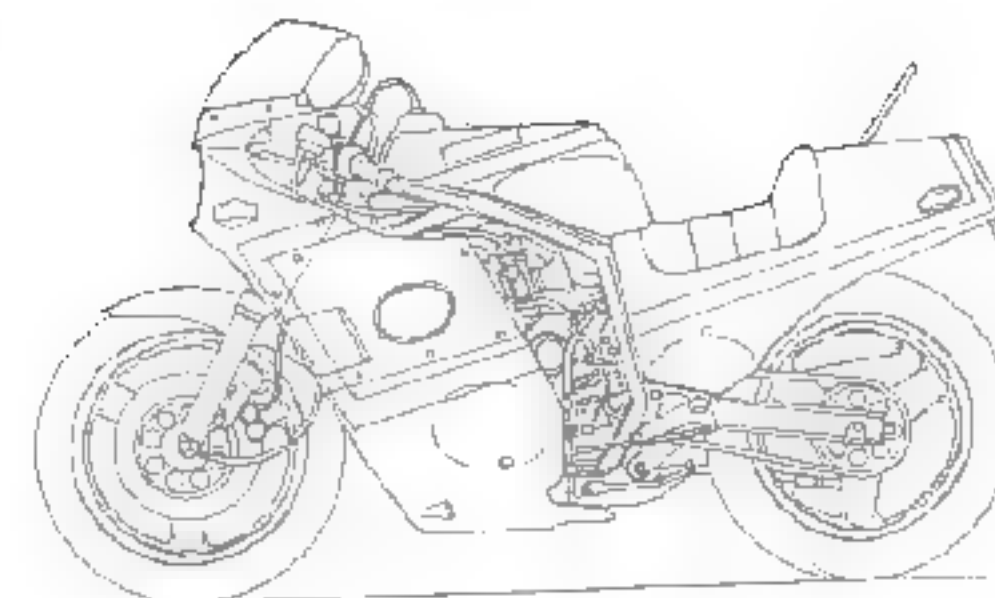
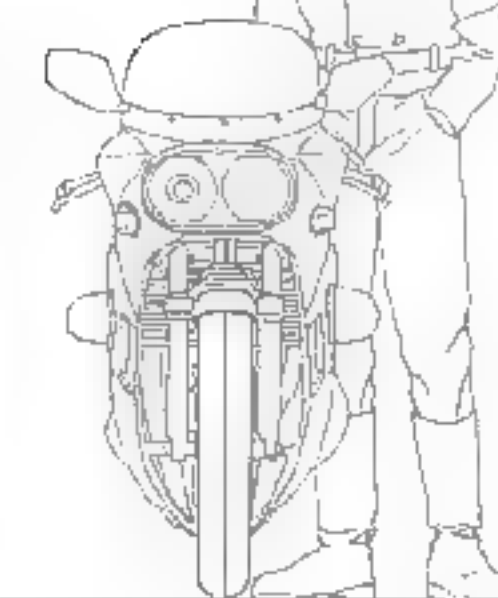
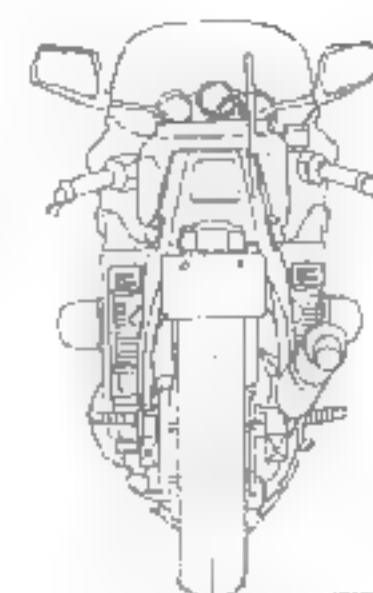
無線機

無線機

無線機

94.3.14

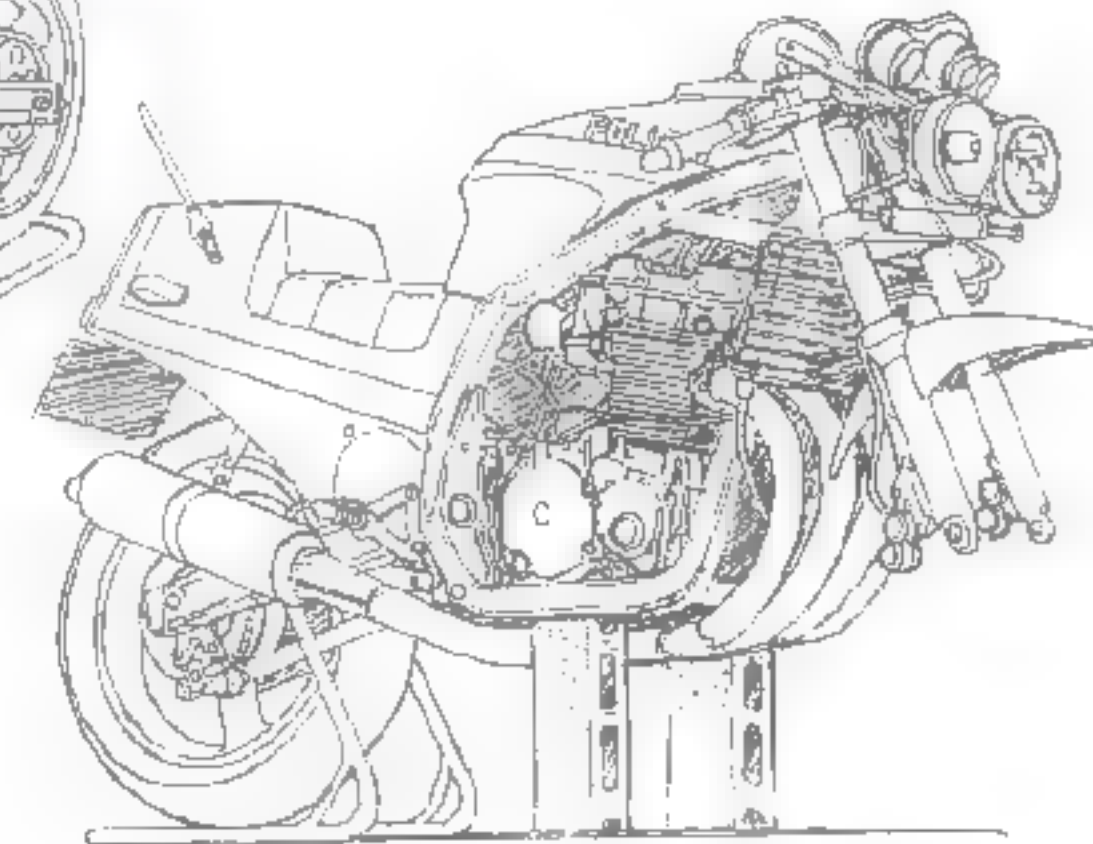
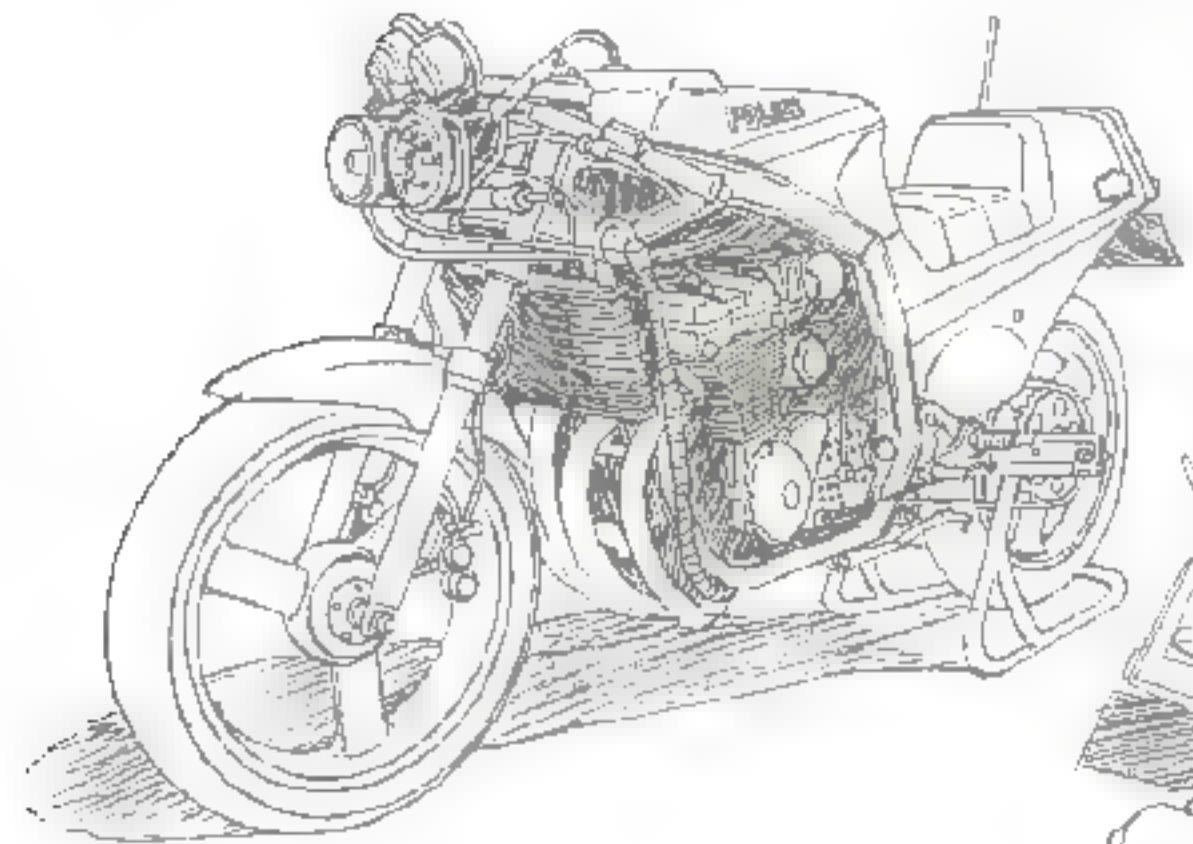
T. MURATA



スズキ GSX-R750 (四面図)

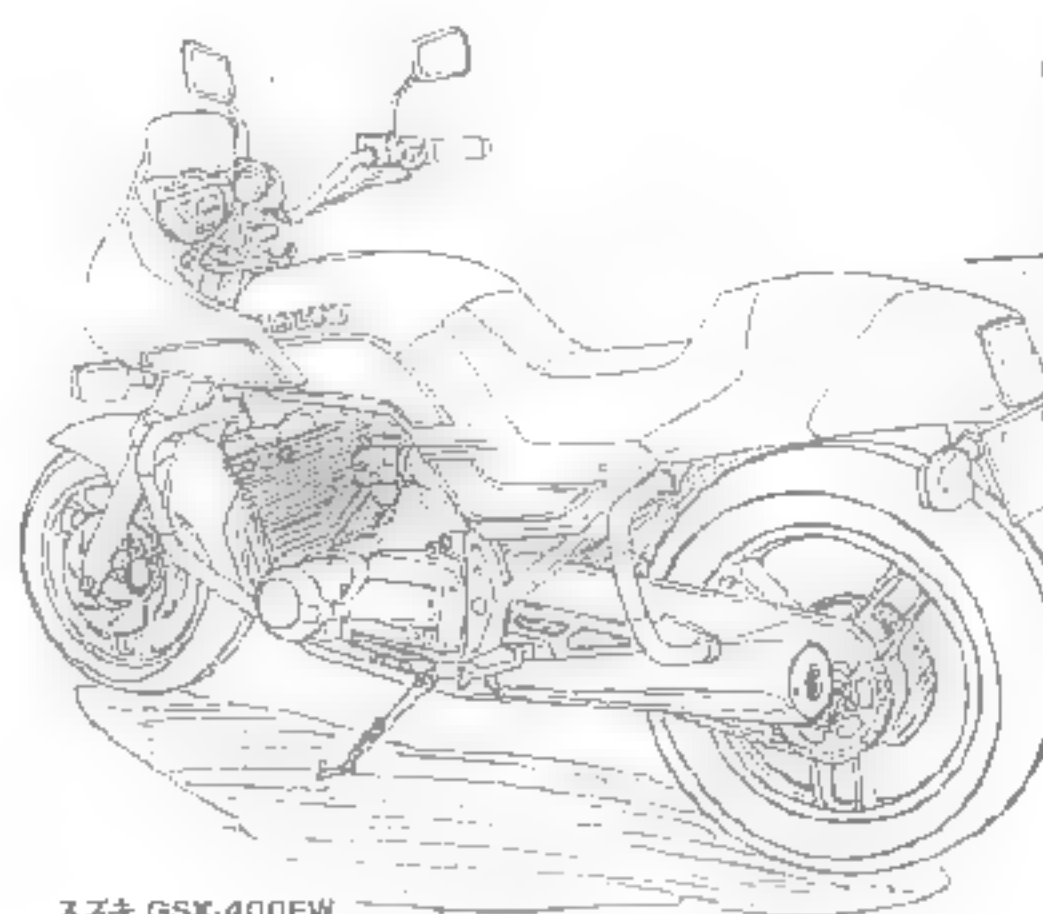
逮捕 井ノ 敬吾 井ノ

井ノ 修理中 中島自バイ

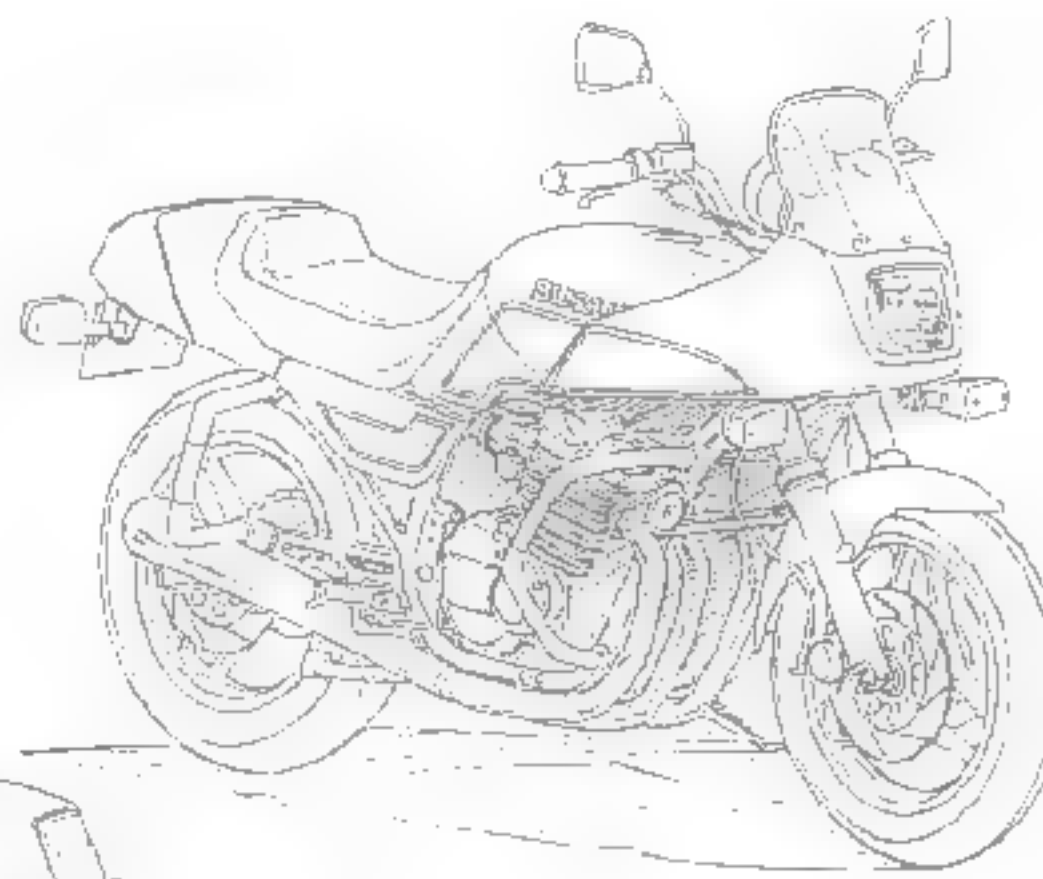


1996.10.29 by T. MURATA

スズキ GSX-R750 (修理中)

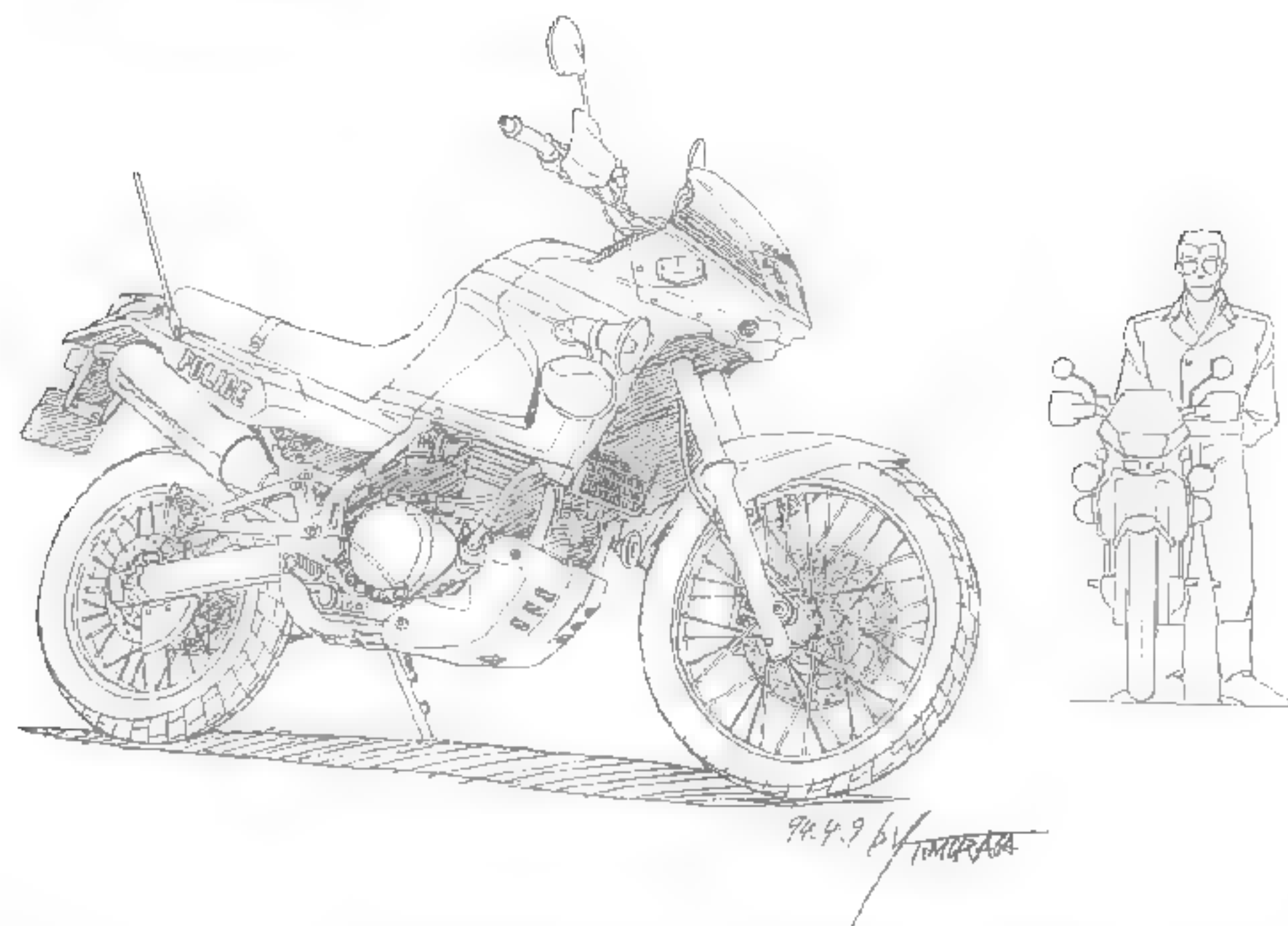


スズキ GSX-R400FW

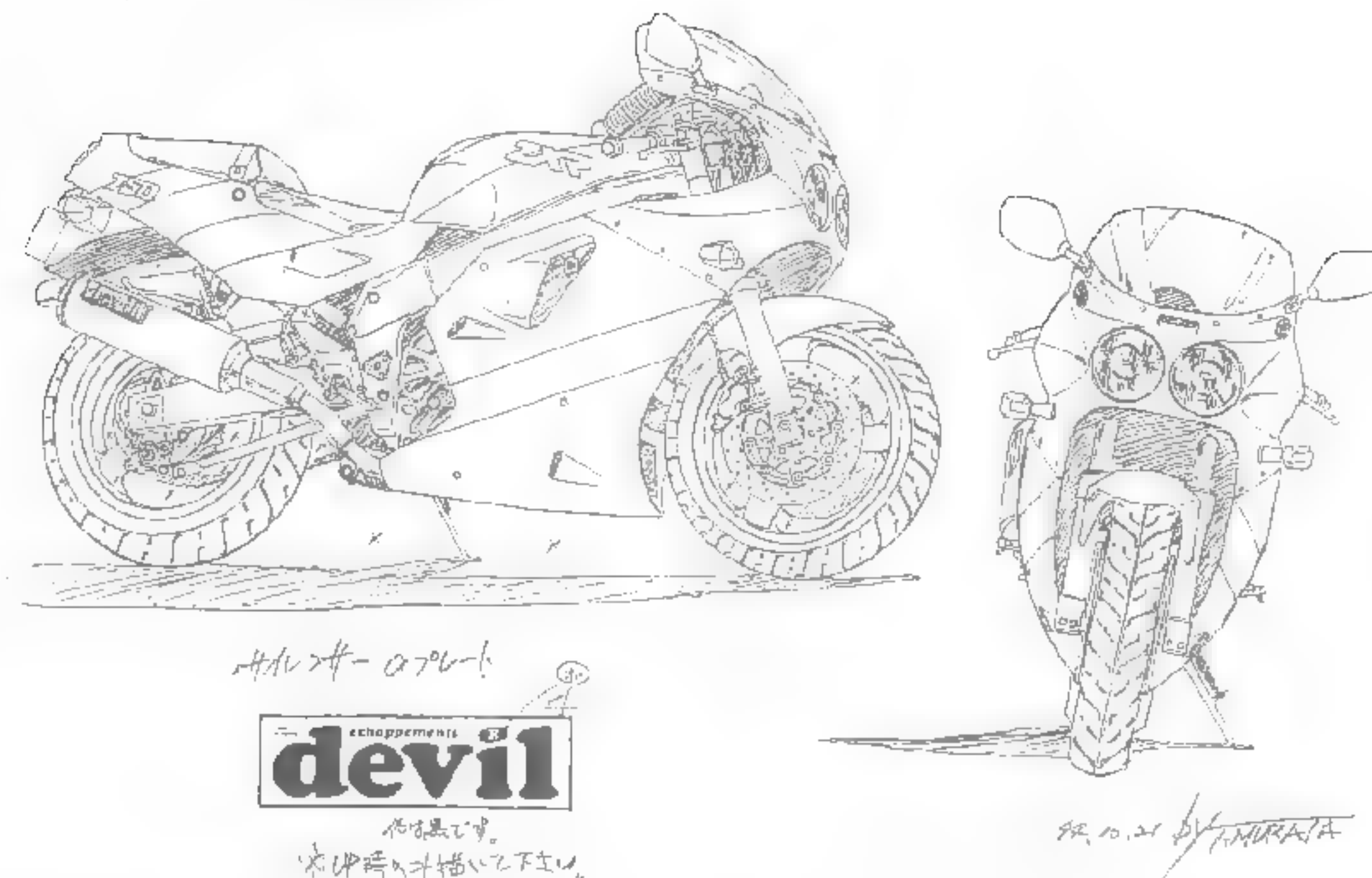


1995.5 by T. MURATA

#2 KLE改自研

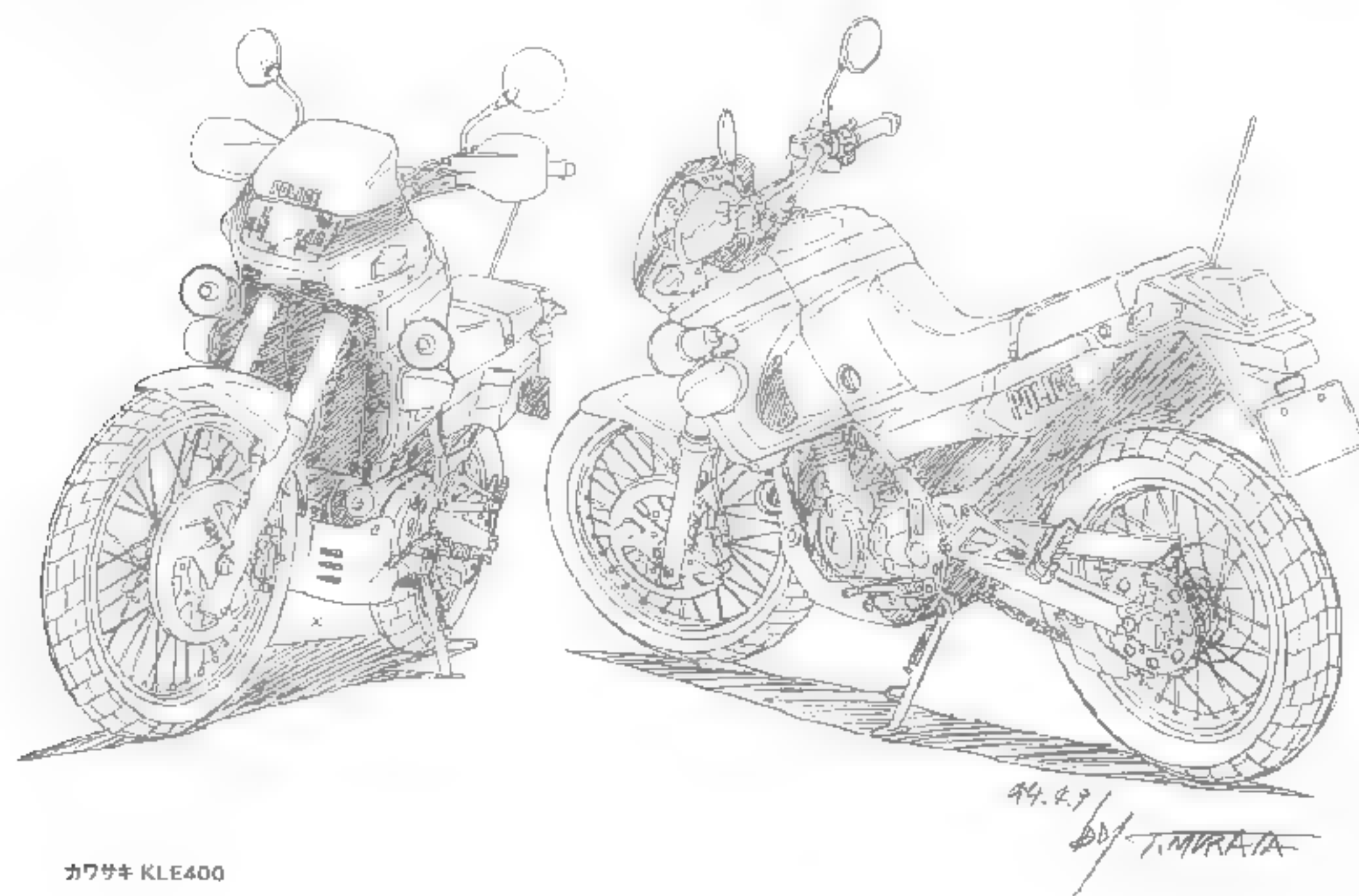


#3 中嶋 ZXR750



76

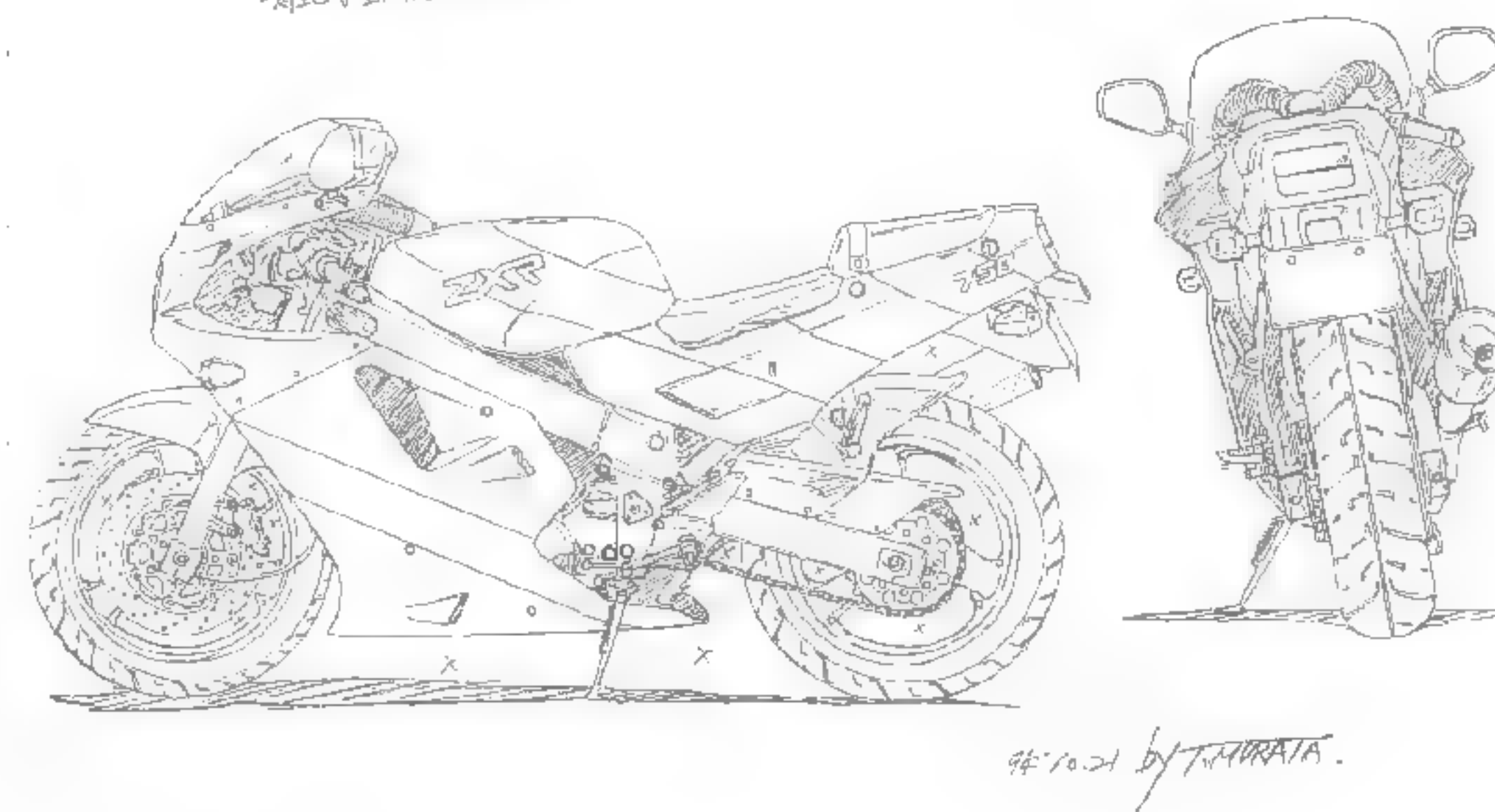
#2 KLE改自研



カワサキ KLE400

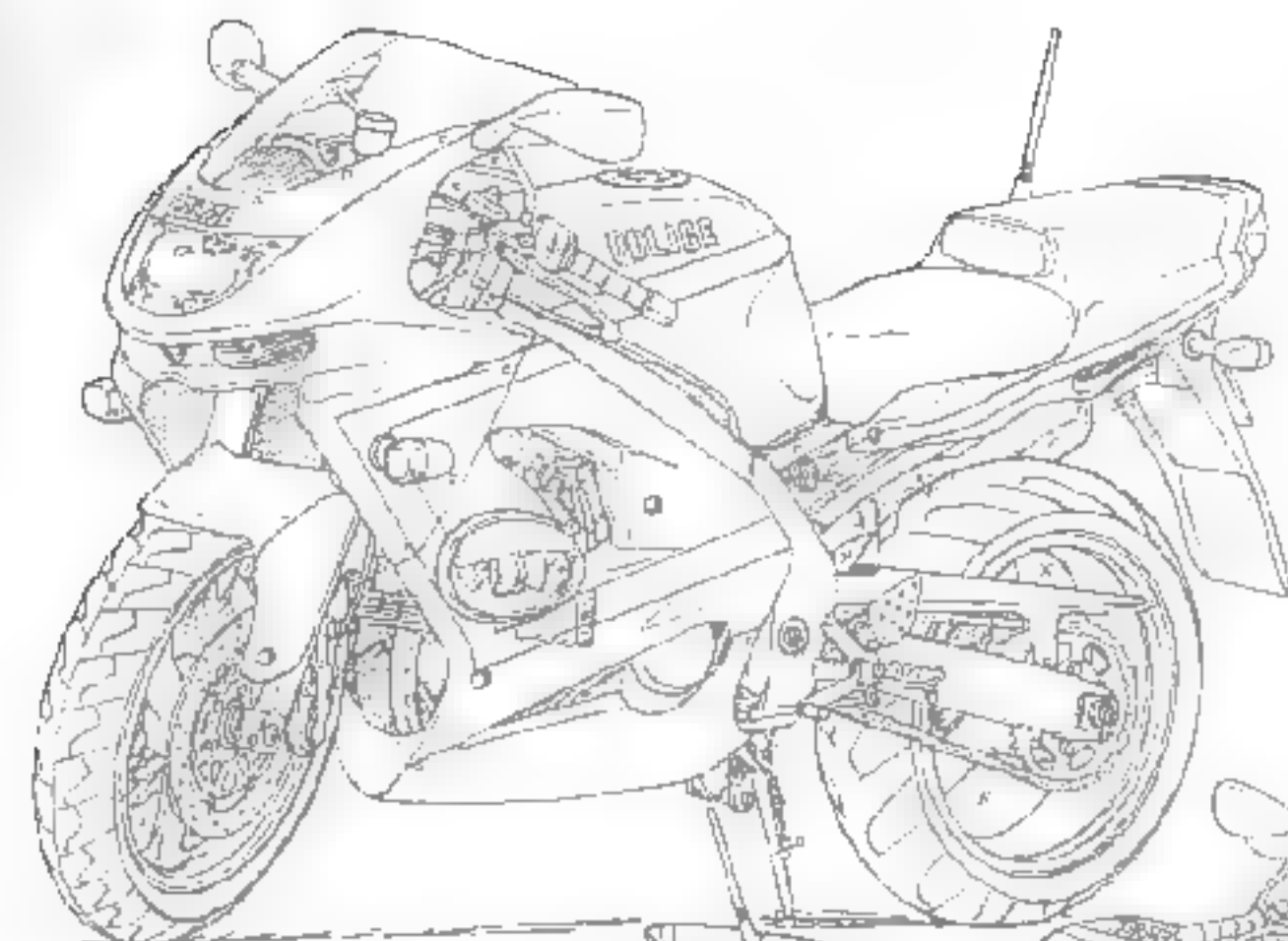
#3 中嶋 ZXR750 ②

対此件自化同じです。

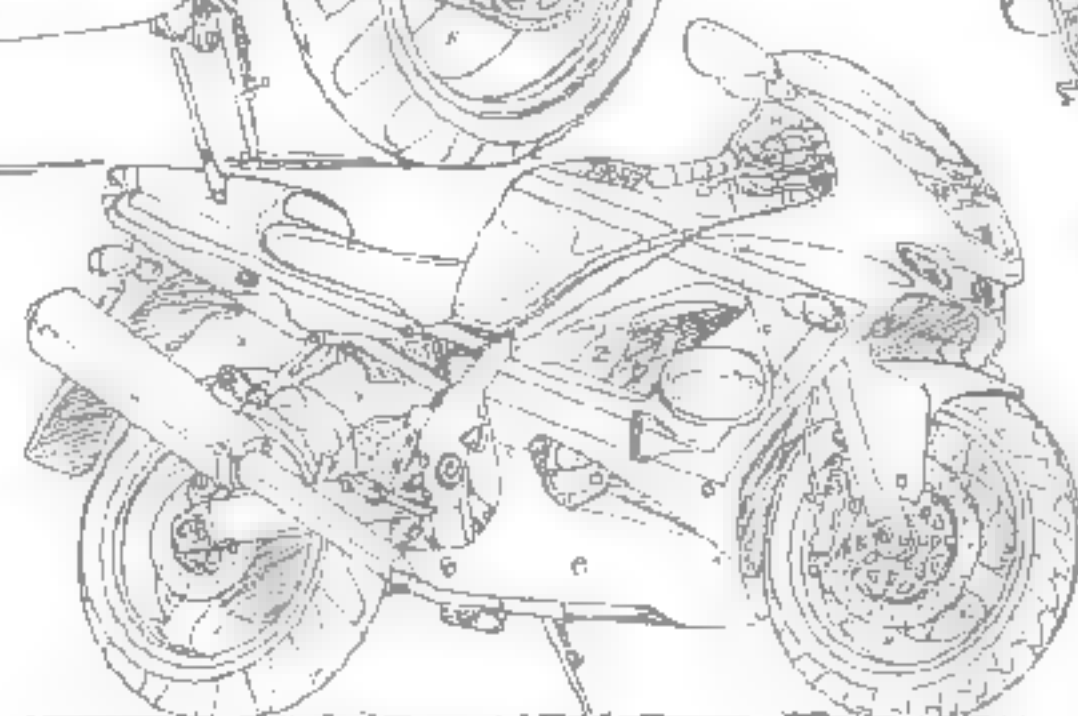
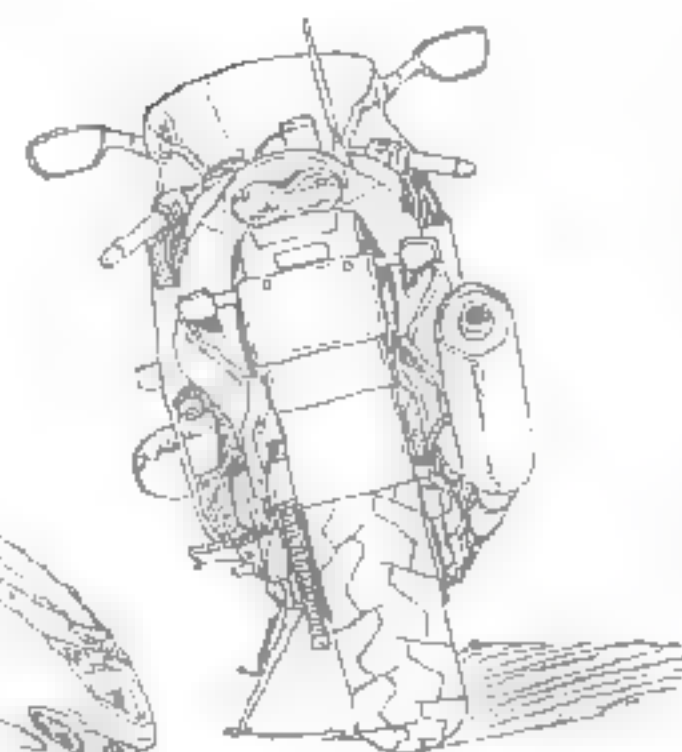


カワサキ ZXR750

77

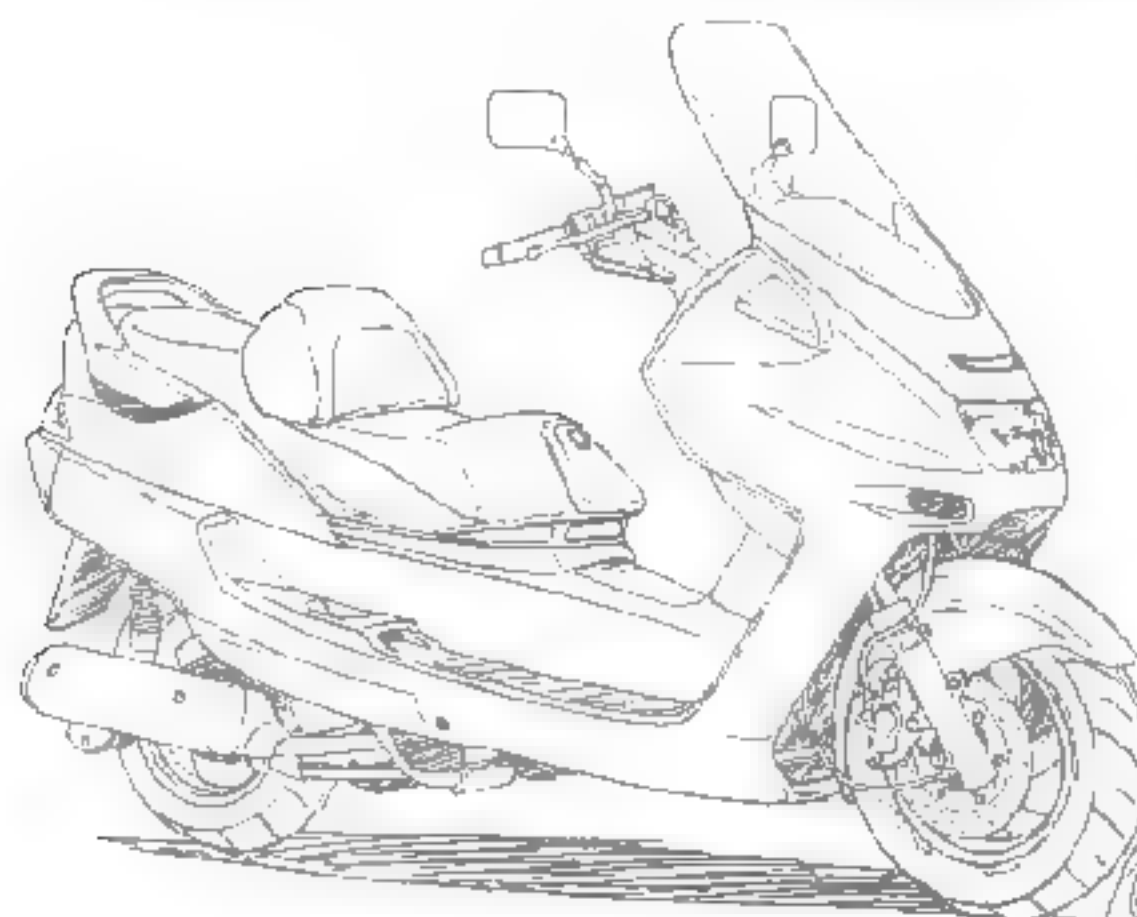


中嶋の白バイ
1998.3.16 by T. MARATA
• KAWASAKI ZX-9R 改

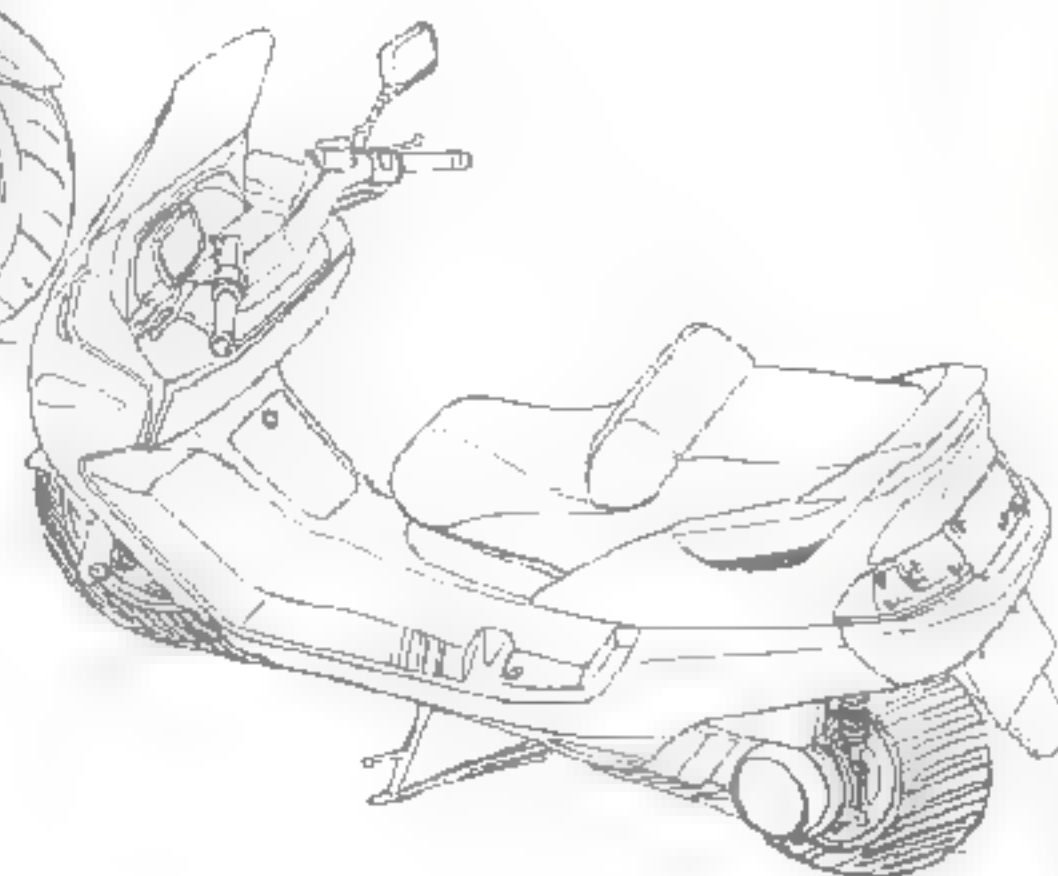


ニメ全
バリエーションあり。

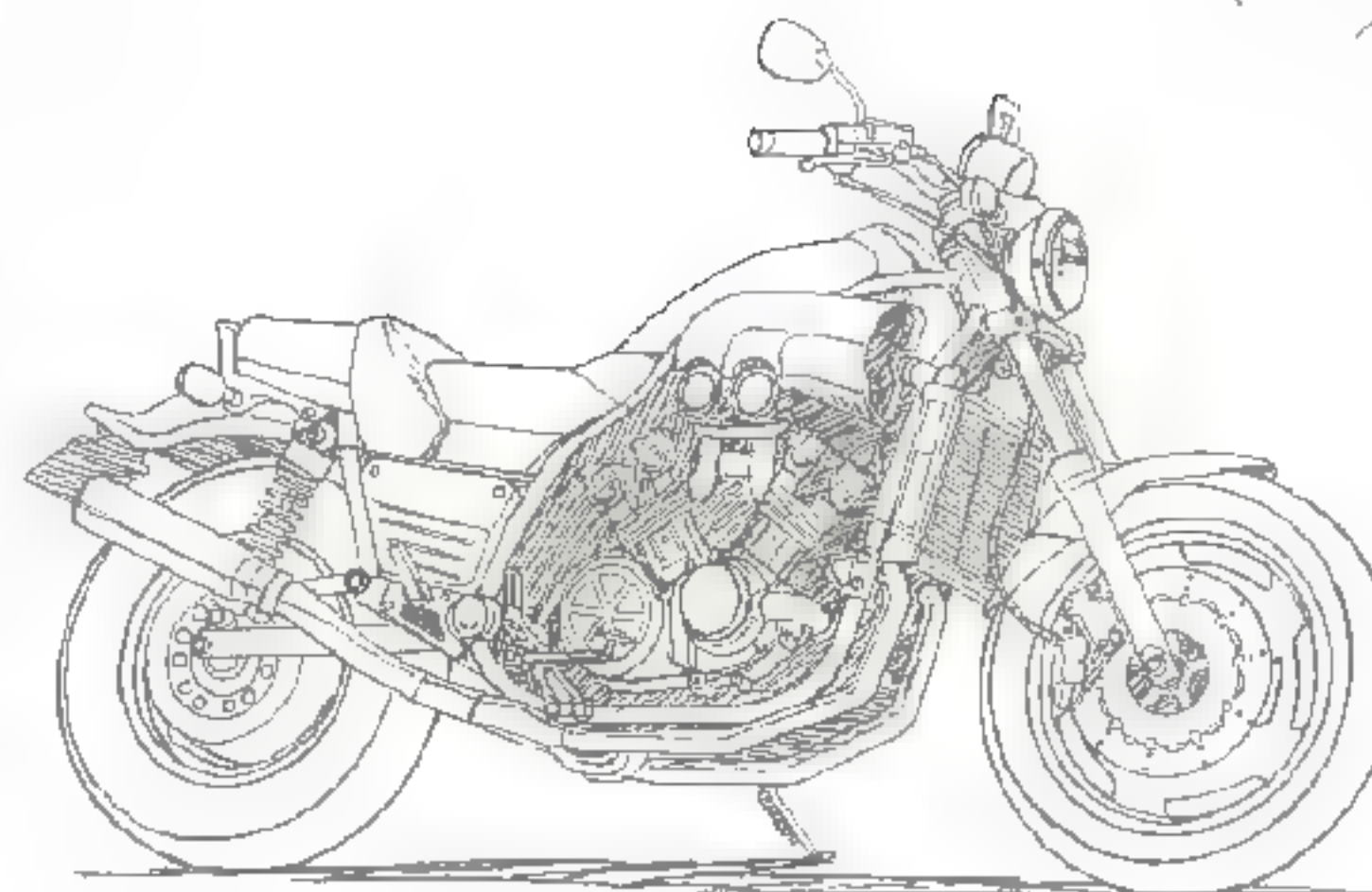
カワサキ ZX-9R



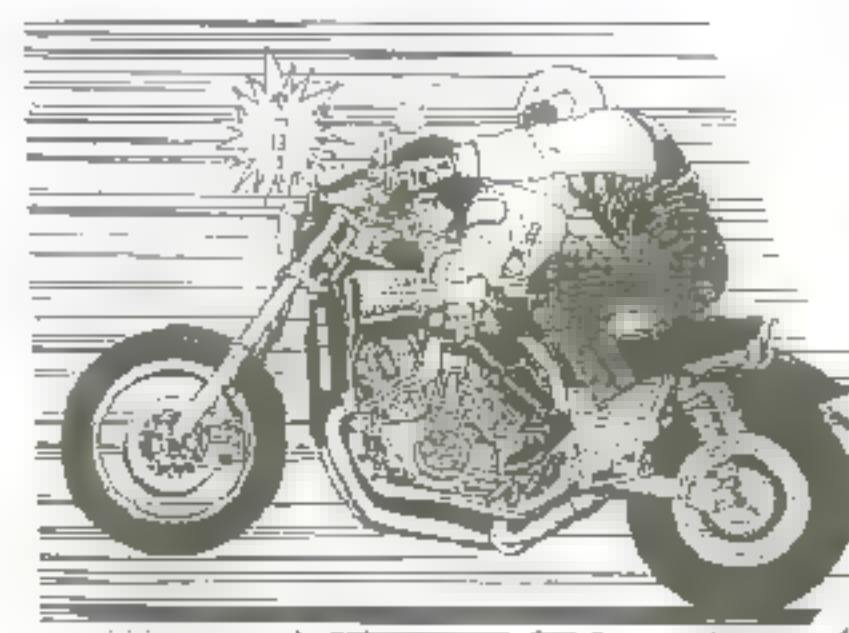
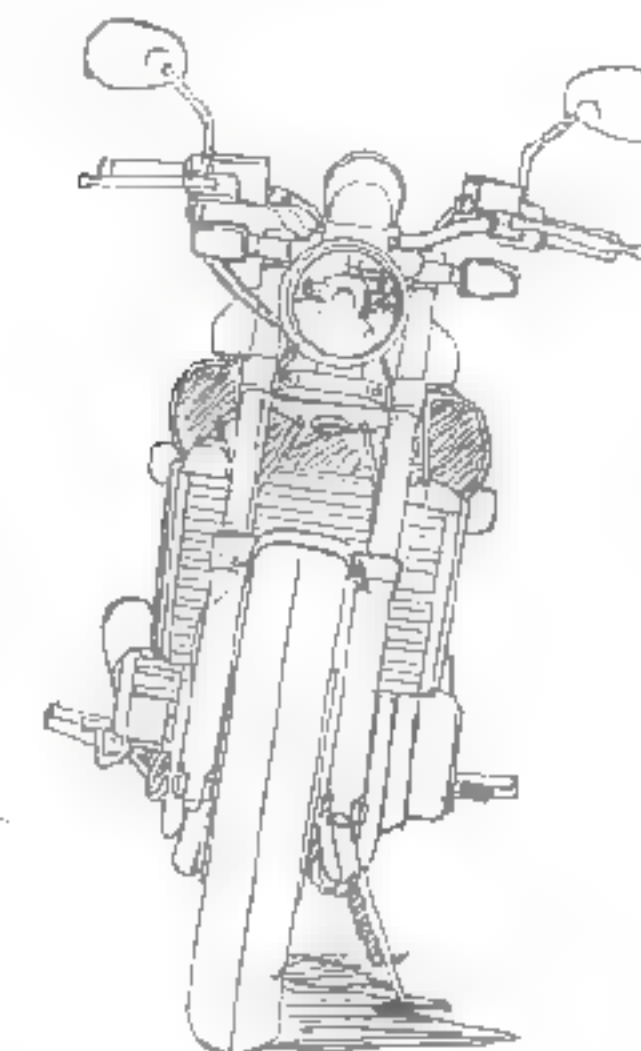
ヤマハ マジェスティ250
1998.4.29 by T. MARATA



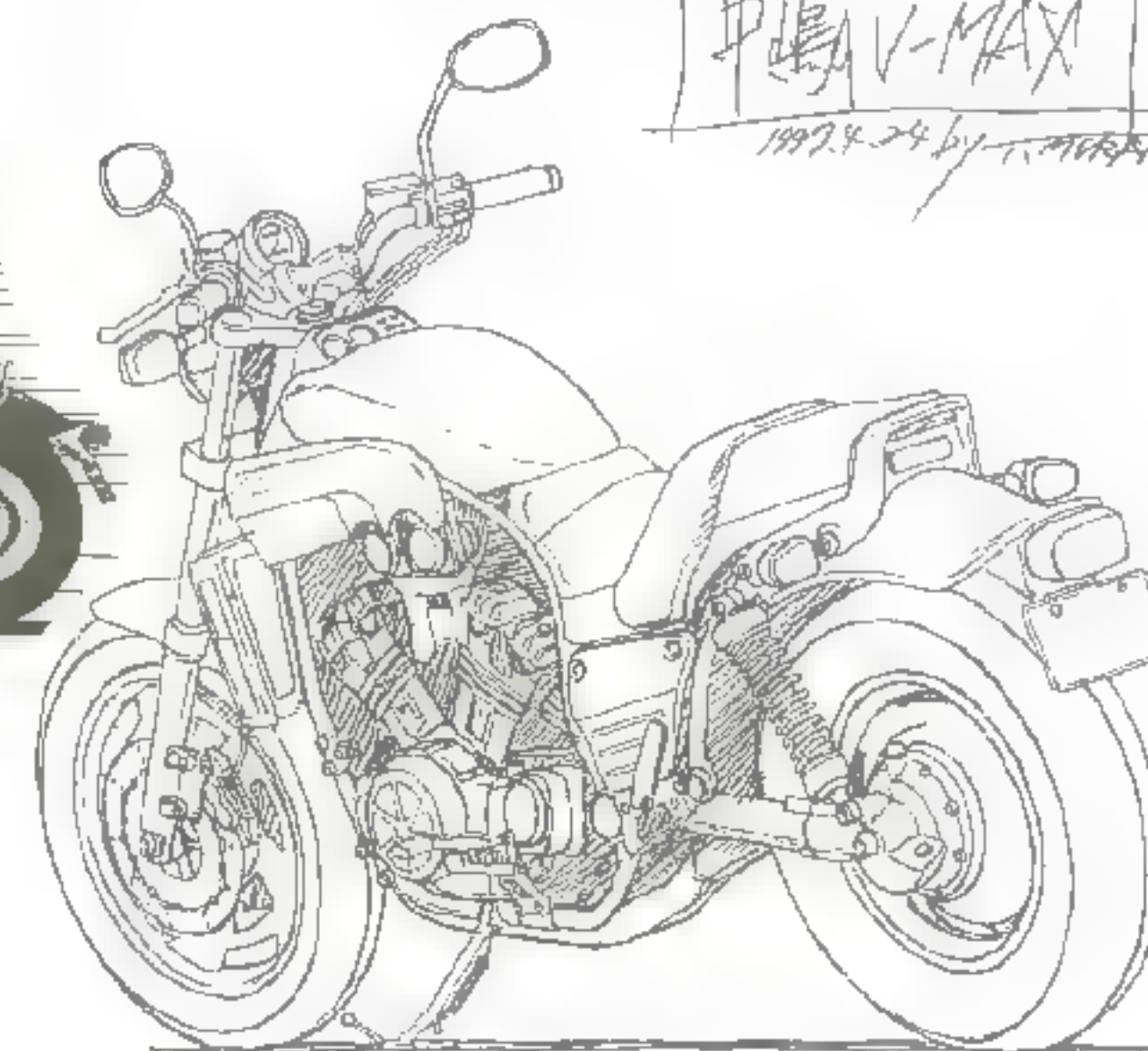
ヤマハ マジェスティ250



中嶋のV-MAX ①
1997.4.24 by T. MARATA

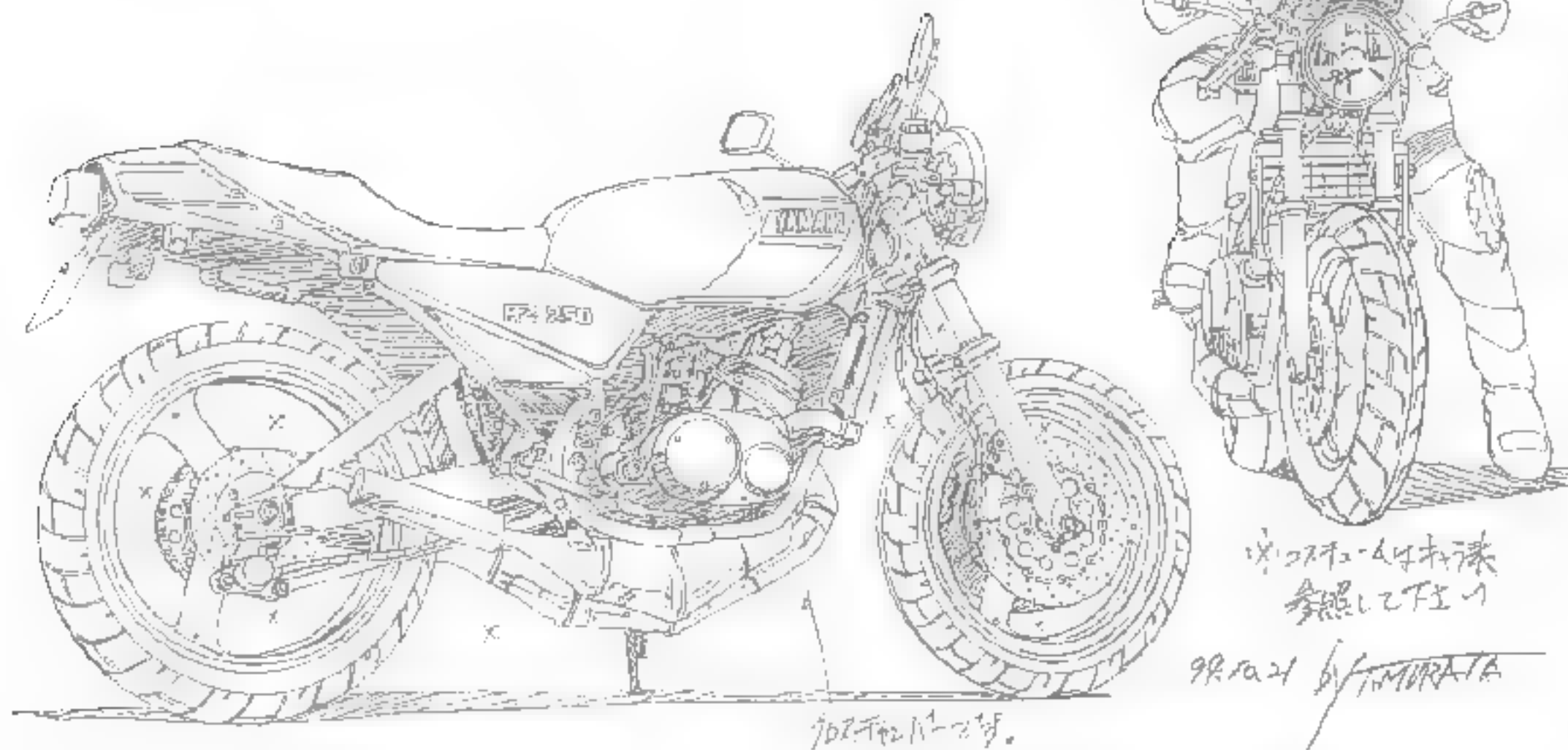


中嶋のV-MAX ②
1997.4.24 by T. MARATA



ヤマハ V-MAX

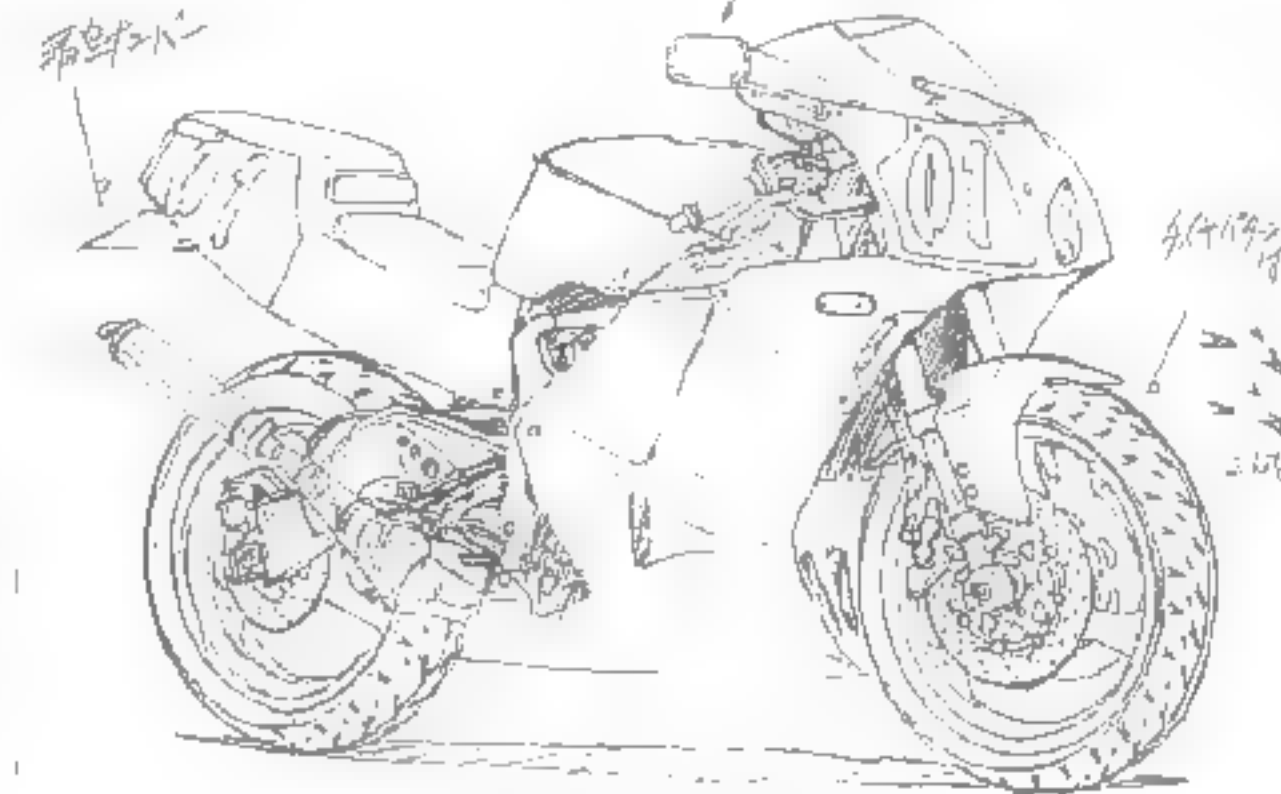
＃3 夏美の RZ250 ①



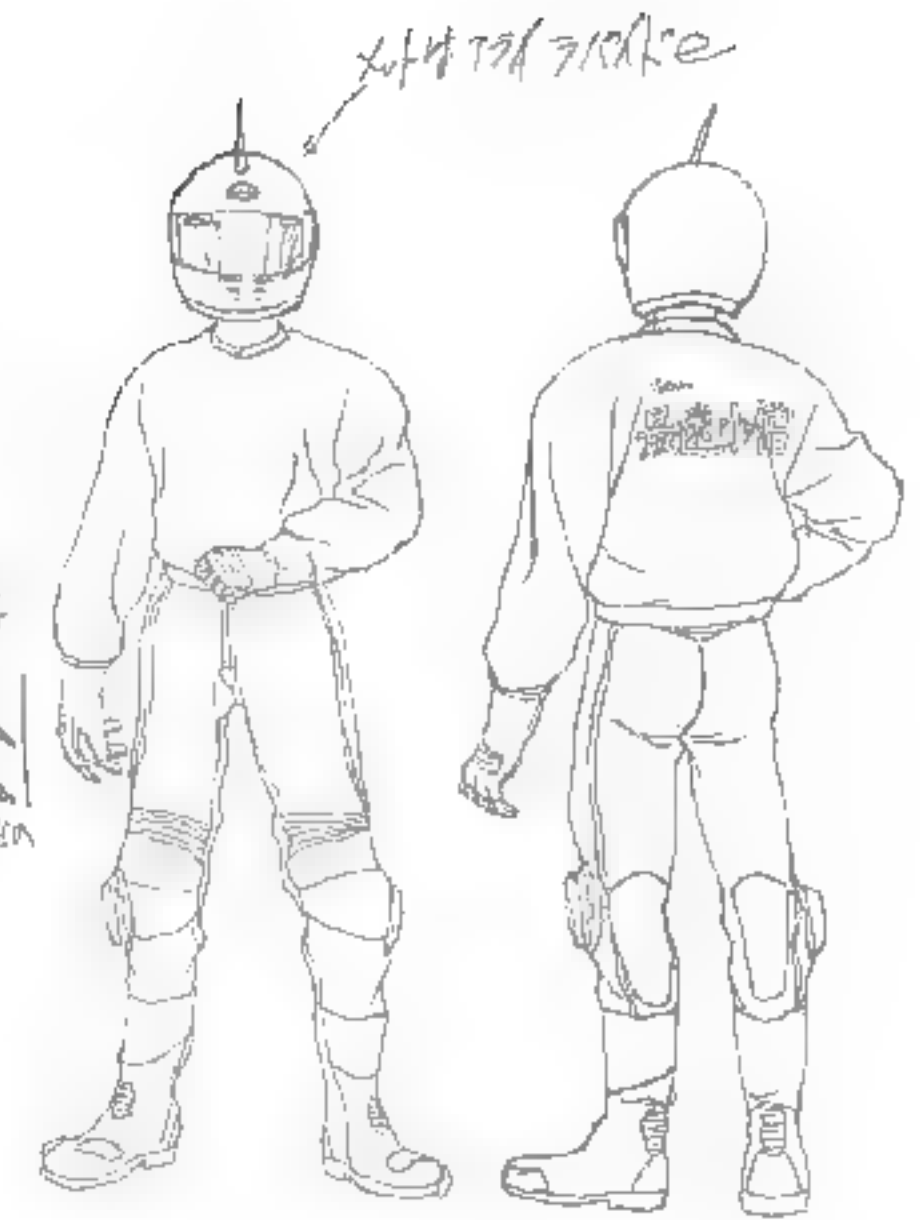
＃3 峠の唄 ①

・基本はこんな感じですが、細い部分のラインは、
デフォルメしてあげてもかまいません
(図を同じく)

・ベースは TZR250RS/R



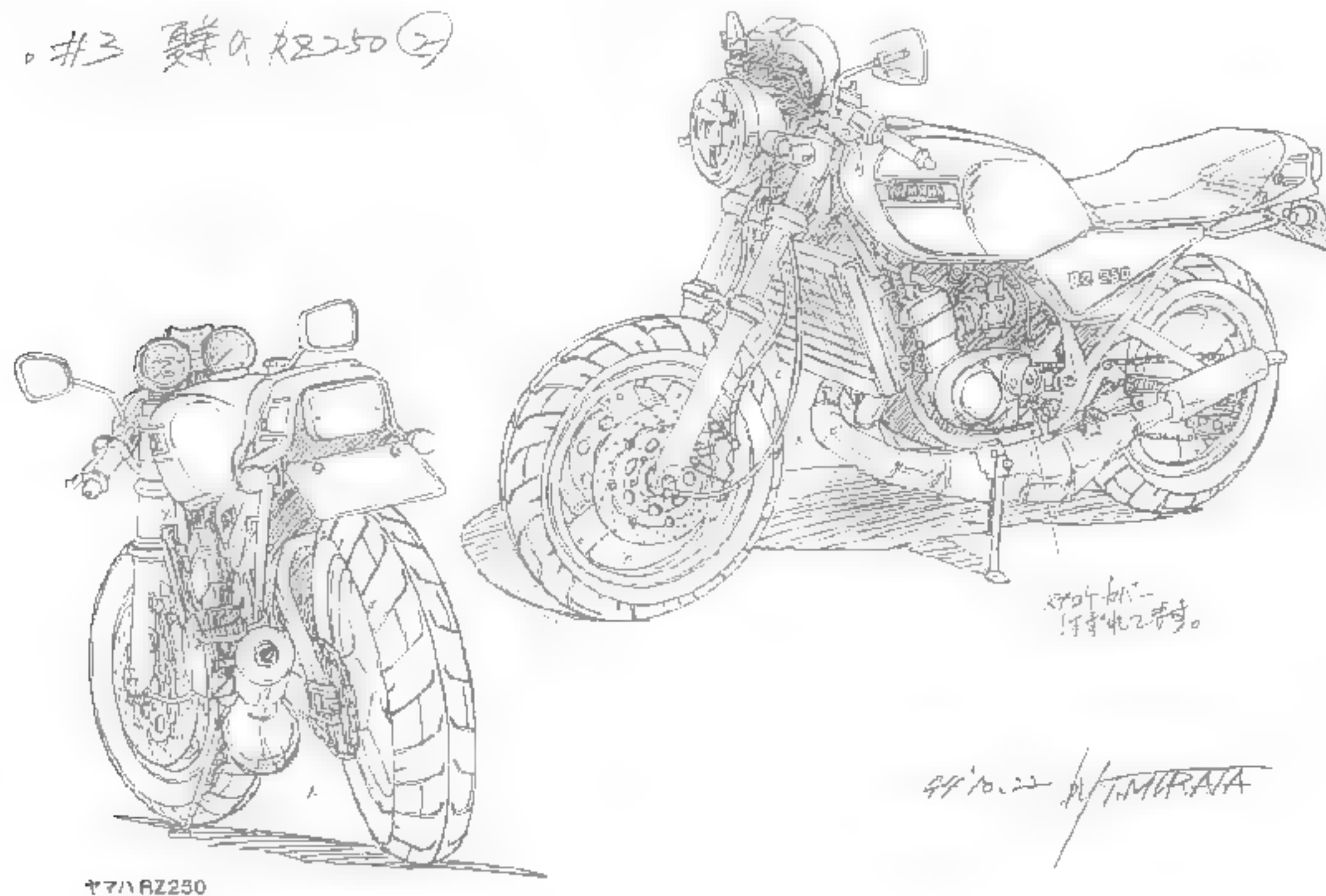
・このバイクは、
デフォルメしてあげてもかまいません
ヤマハ TZR250R



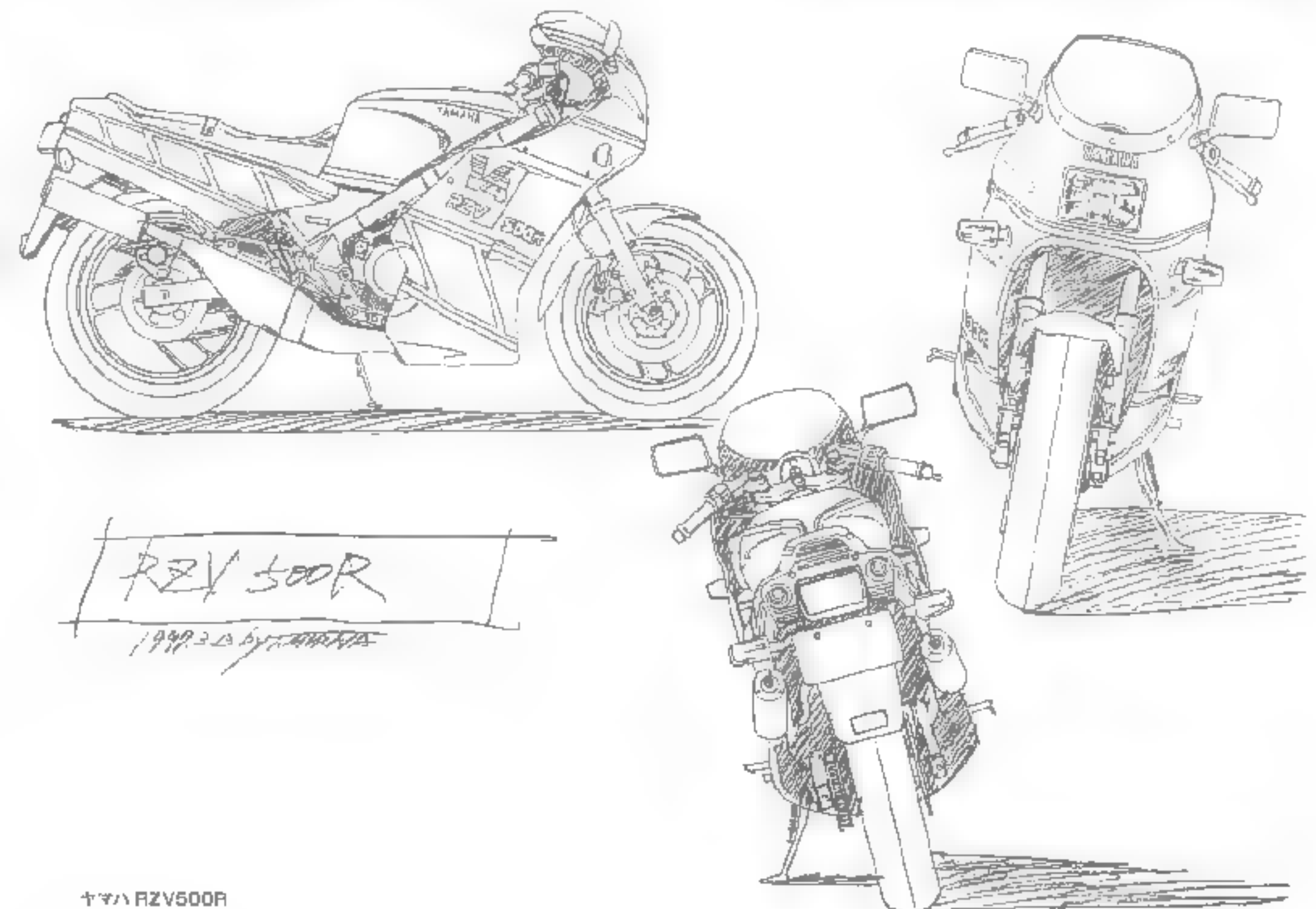
80

81

＃3 夏美の RZ250 ②



ヤマハ RZ250

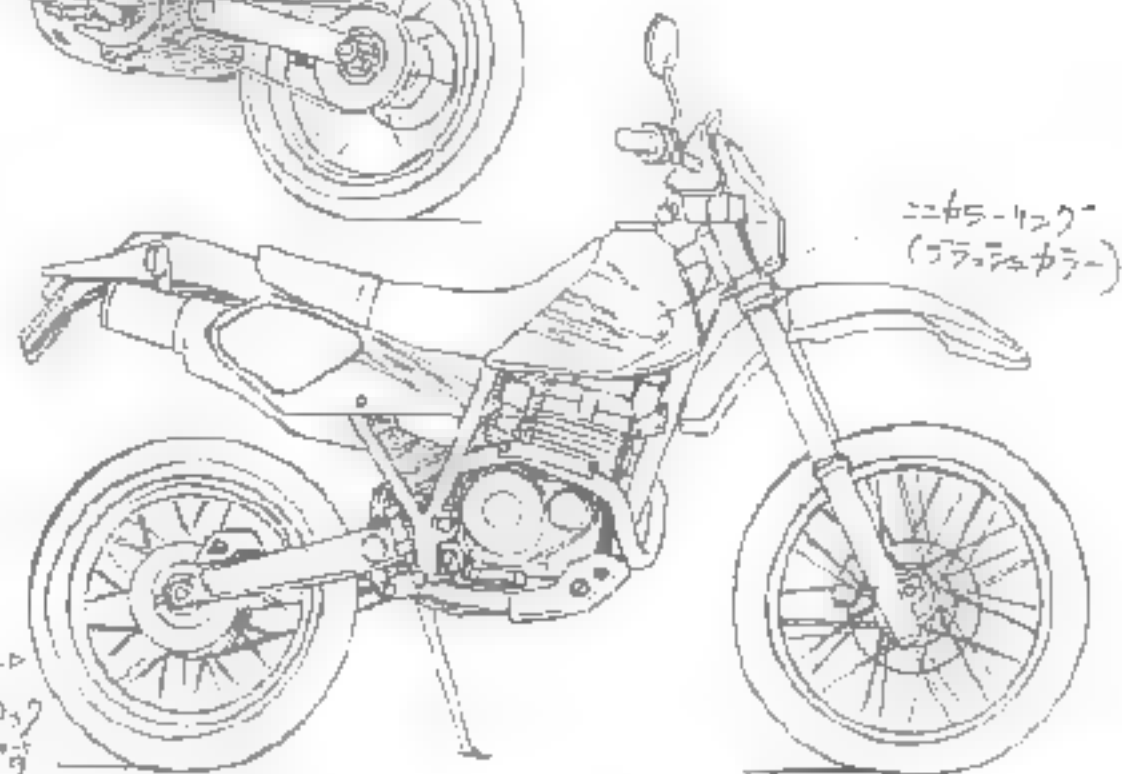


ヤマハ RZV500R

#7 踏切横断野郎



ヤマハ TT250R

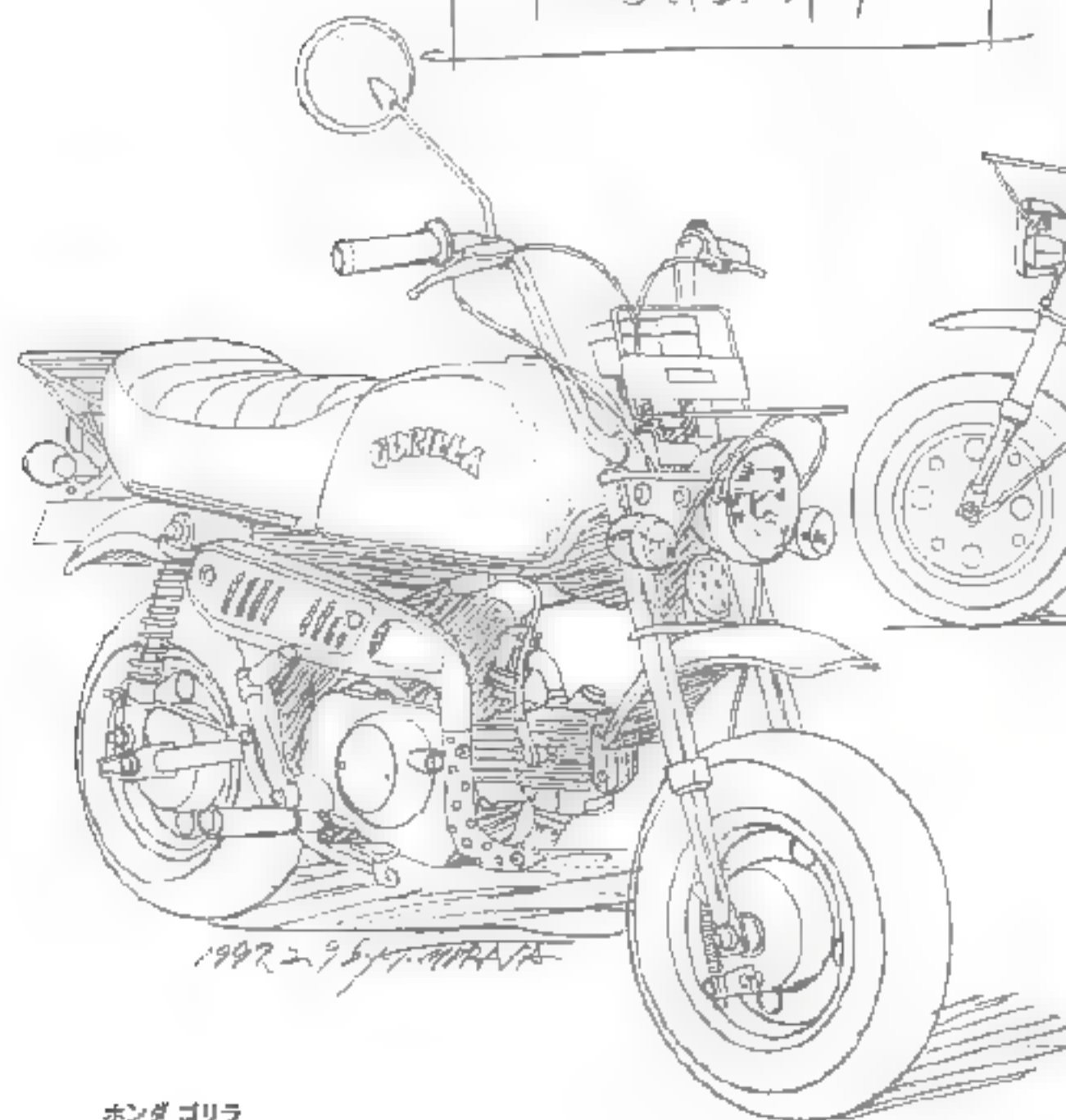


ニカス-リンク
(ガラスファイバー)

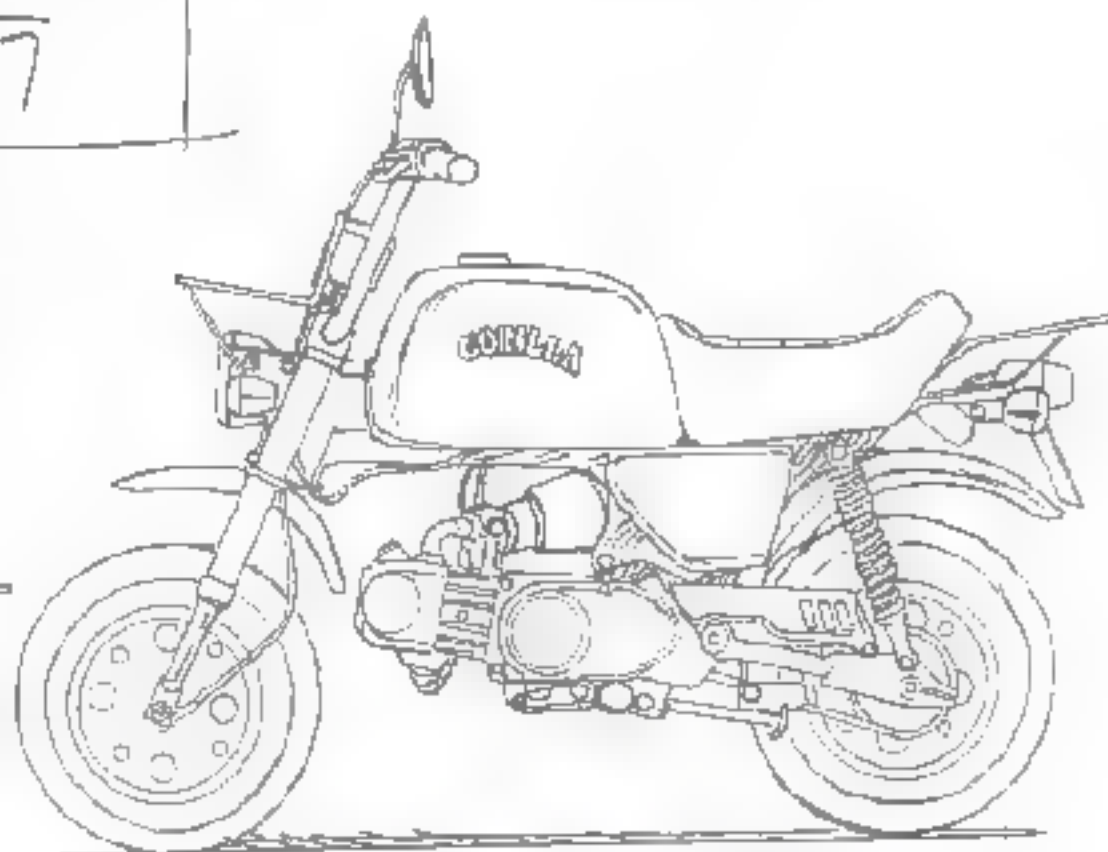
1996.10.6 T.MURATA

→
カブの70cc
125cc
250cc
→
カブの70cc
125cc
250cc
→
カブの70cc
125cc
250cc

中山島ゴリラ



ホンダ ゴリラ

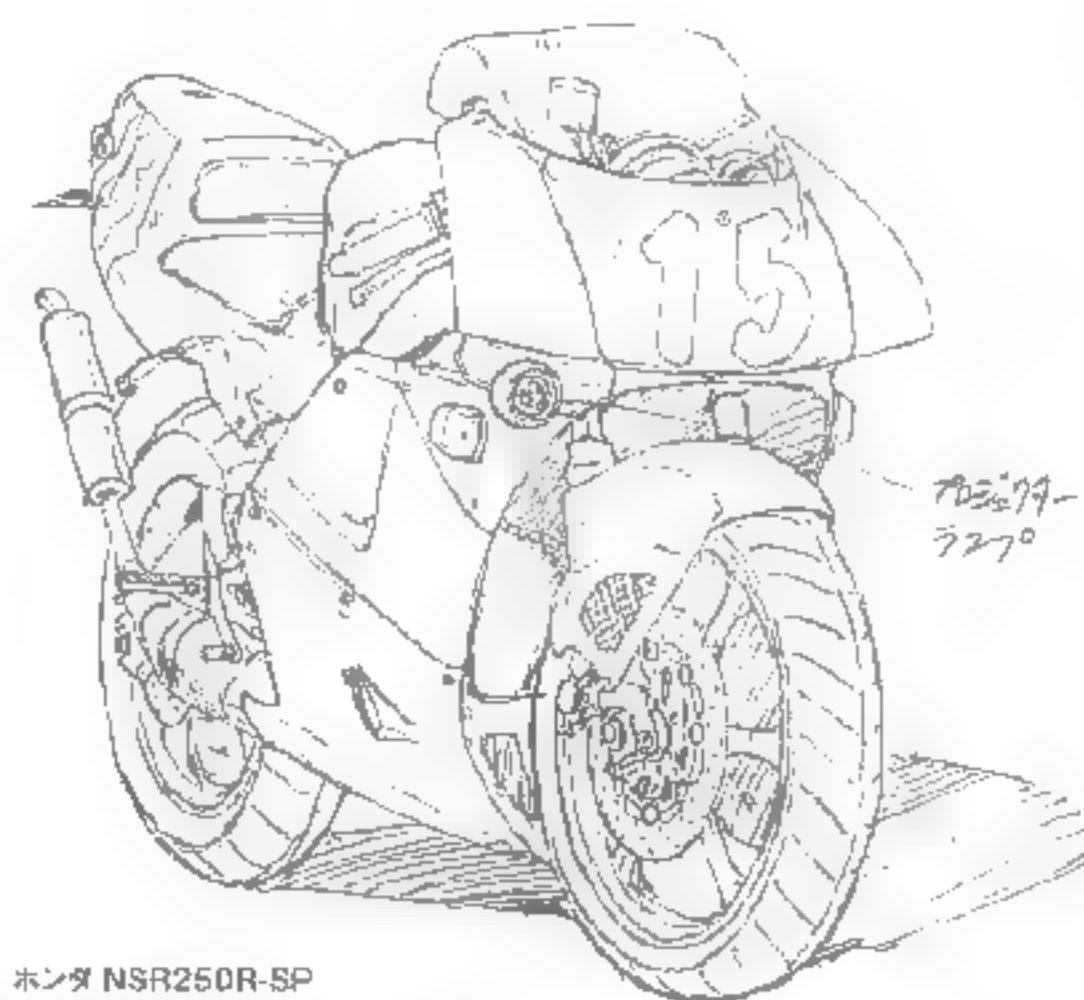


「さあ、
出よう」
「さあ、
出よう」

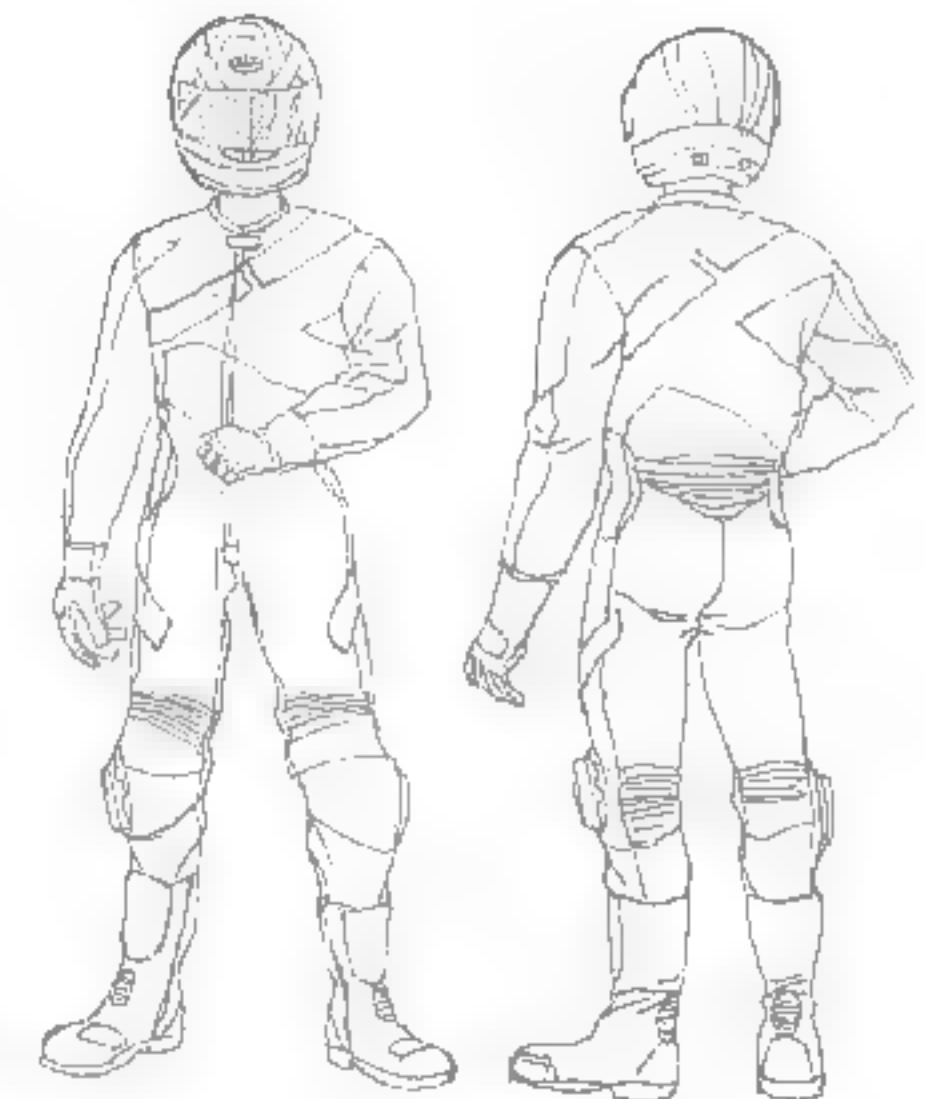
#3 峠小僧

カブの70cc、125cc、250cc
→
カブの70cc、125cc、250cc
→
カブの70cc、125cc、250cc

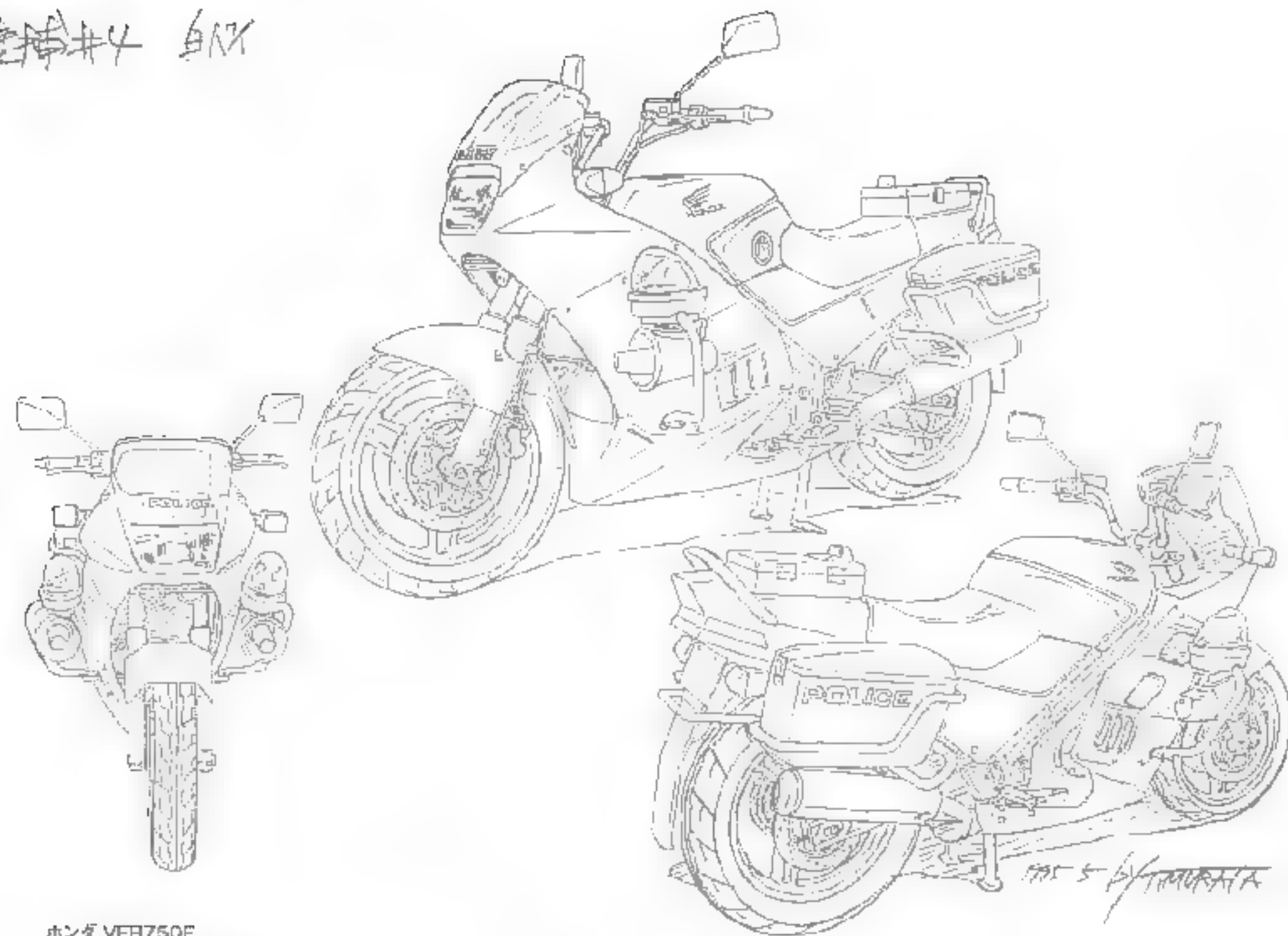
→
カブの70cc、125cc、250cc
→
カブの70cc、125cc、250cc
→
カブの70cc、125cc、250cc



ホンダ NSR250R-SP



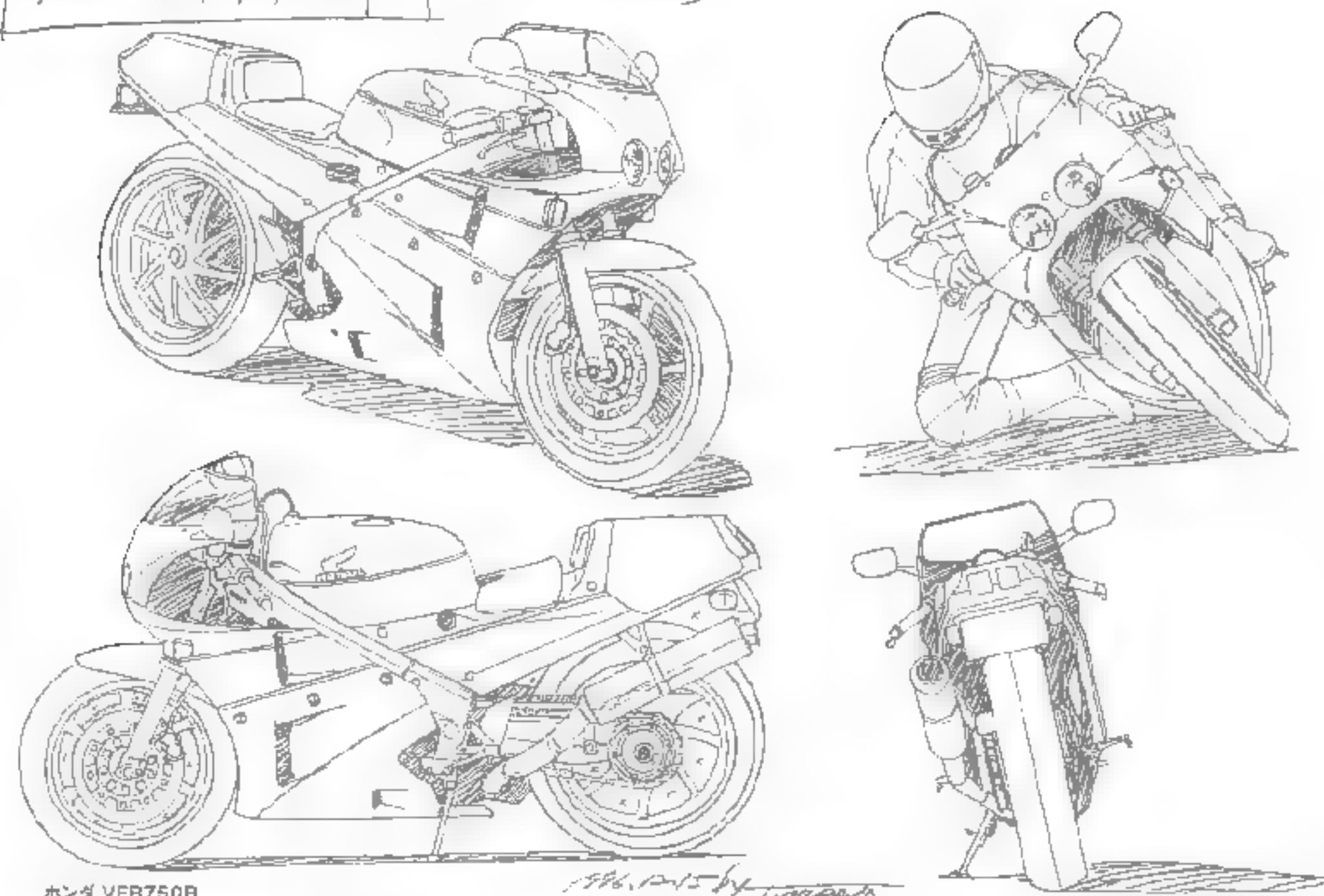
建機#4 白K



ホンダ VFR750F

84

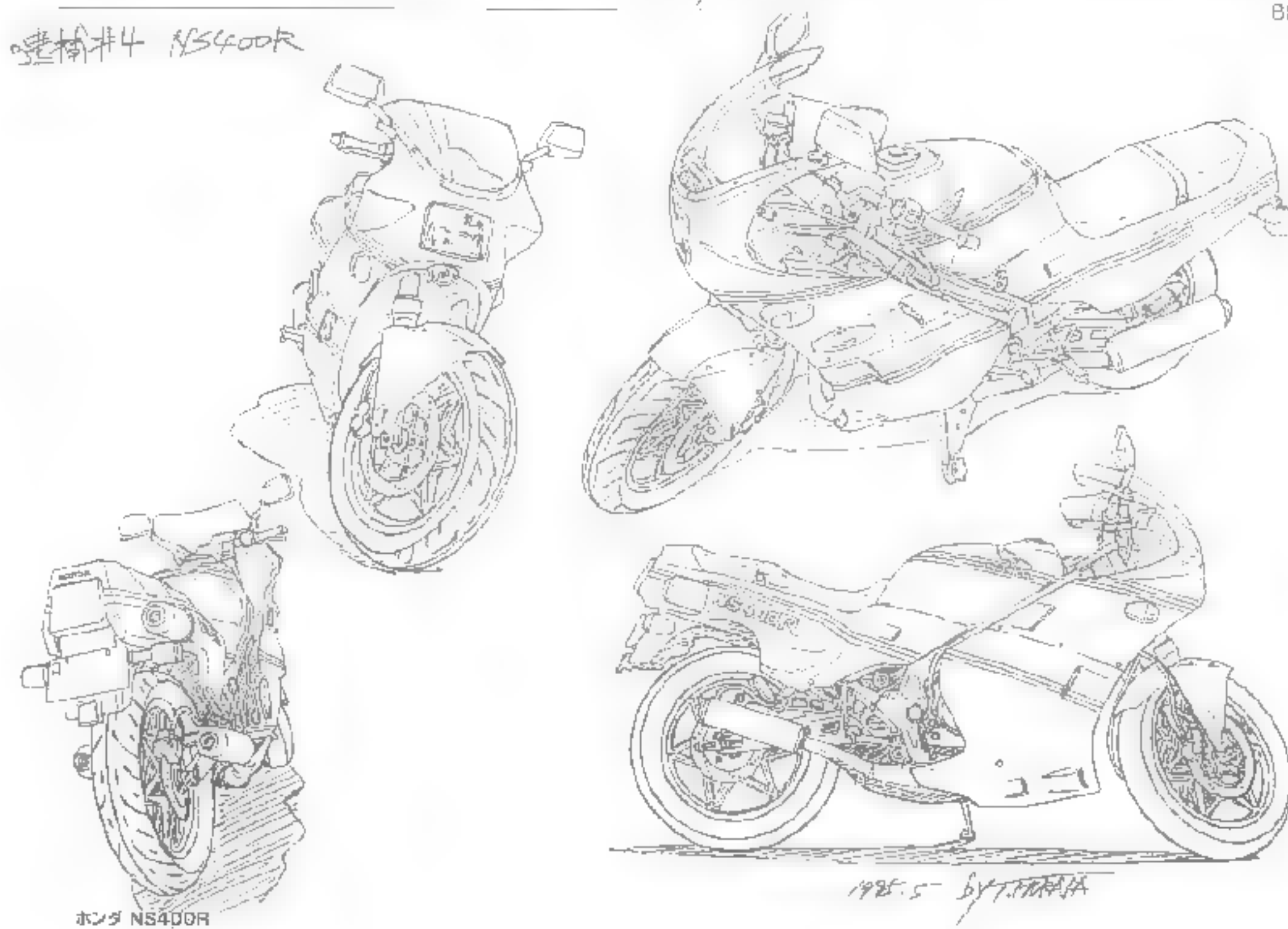
#15 若くは白K | VFR750R (RC30)



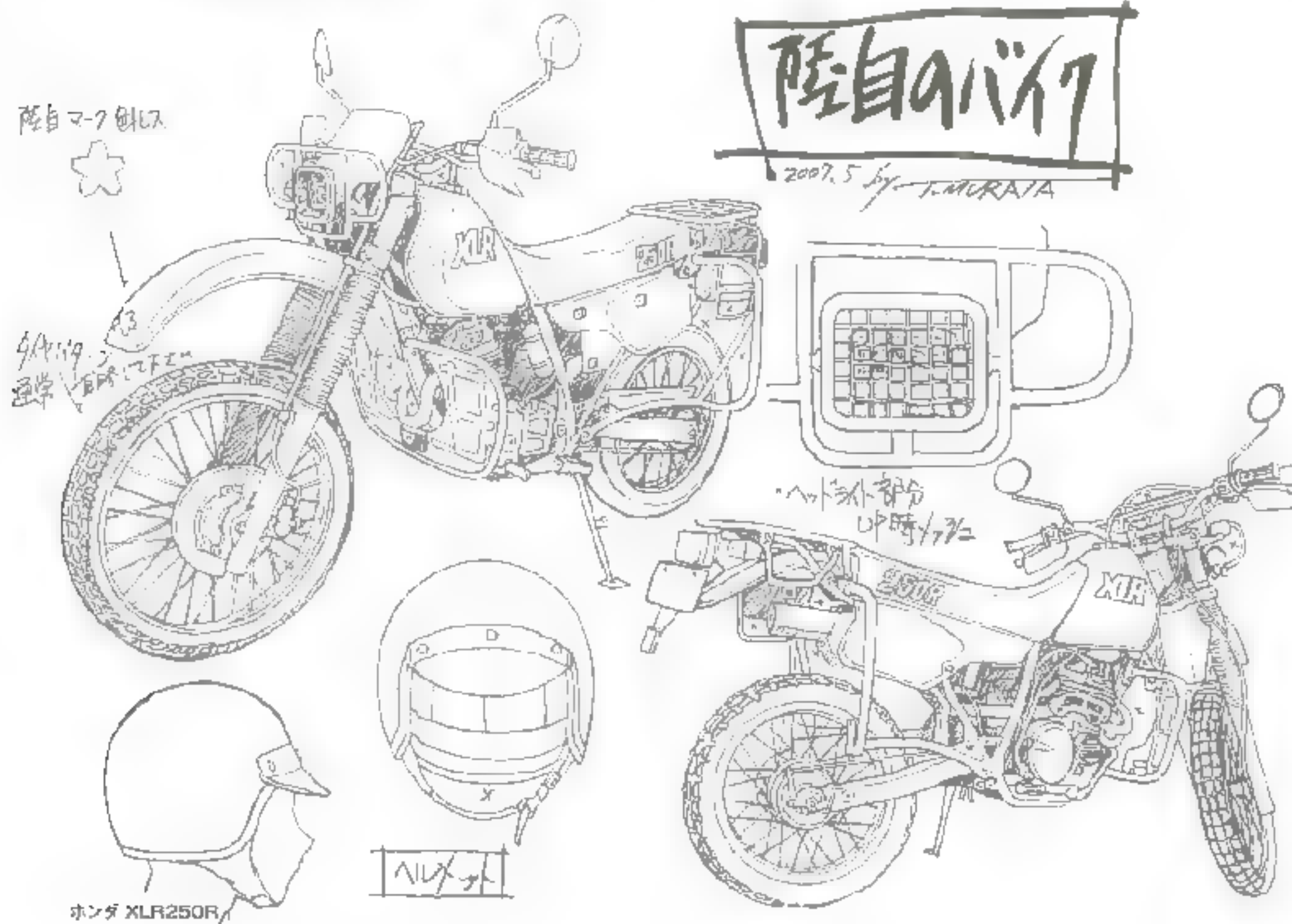
ホンダ VFR750R

85

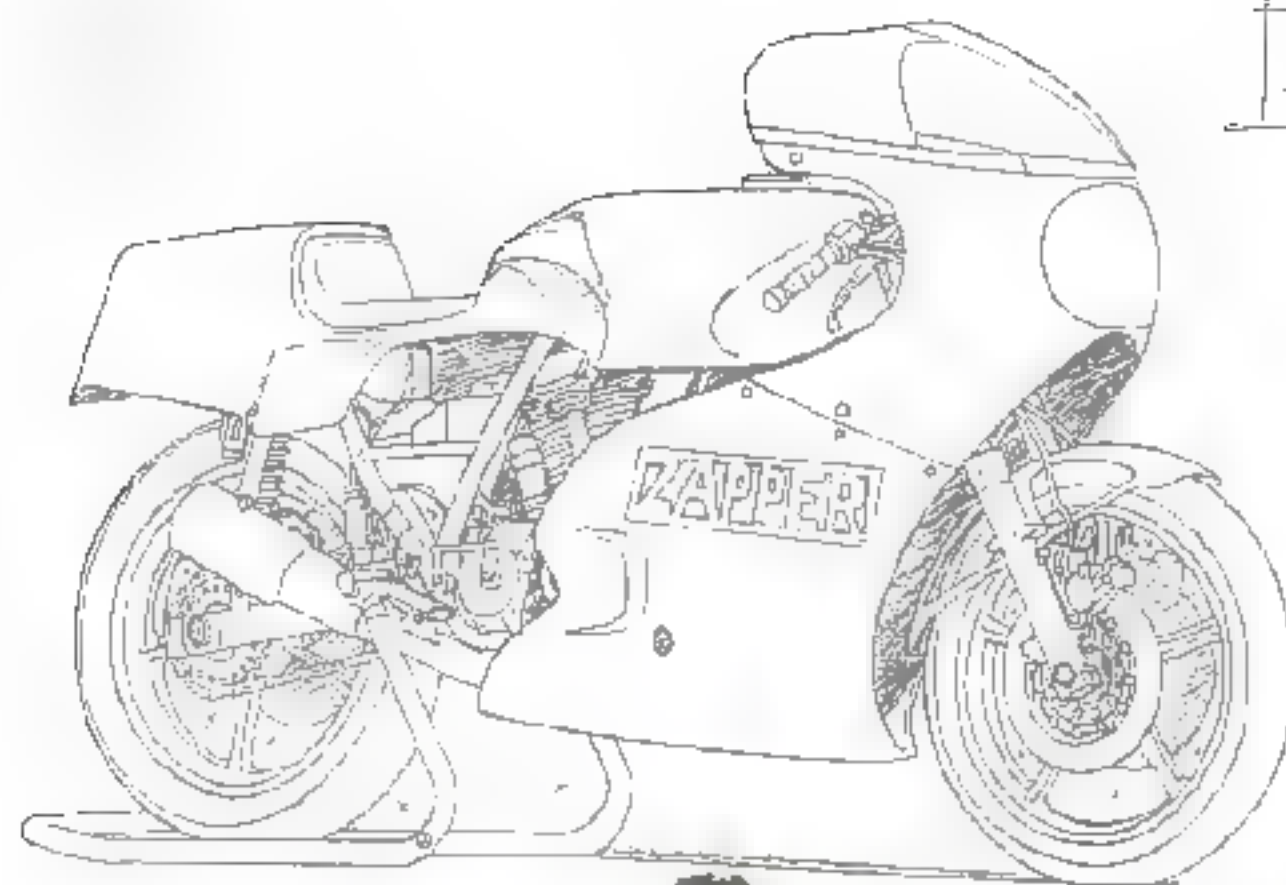
建機#4 NS400R



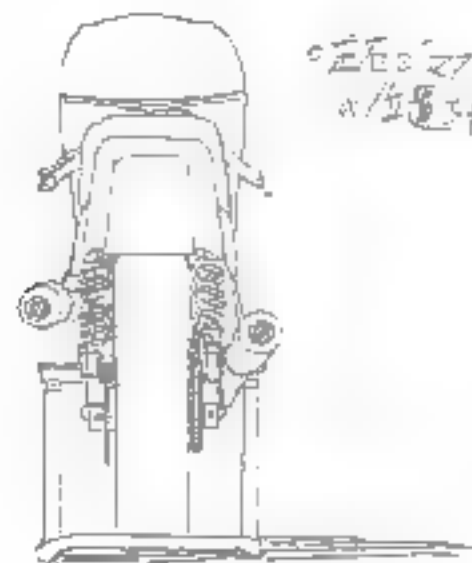
ホンダ NS400R



ホンダ XLR250R



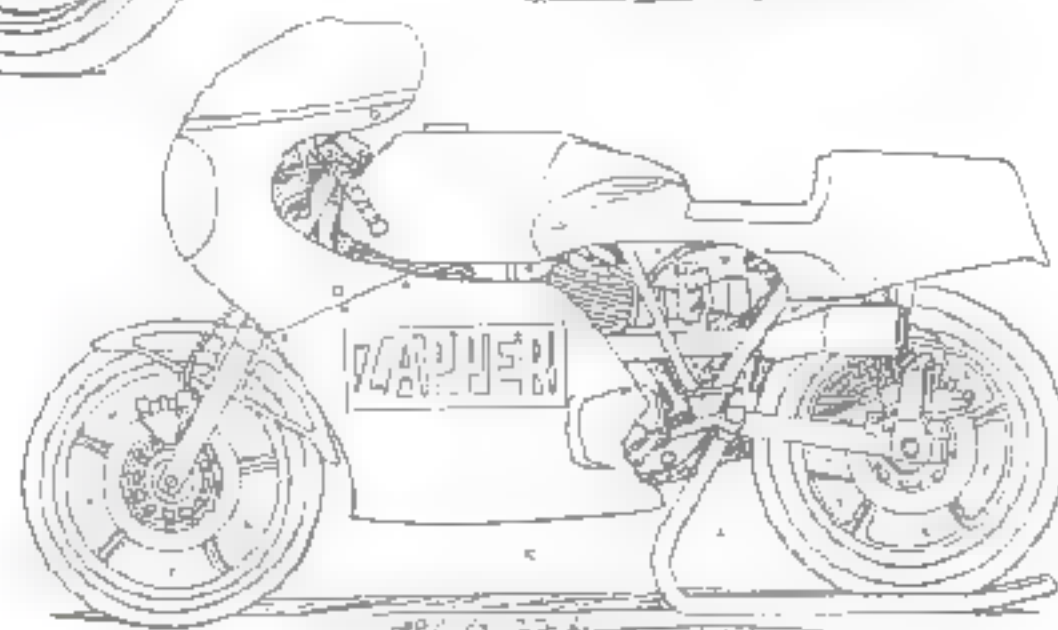
#19 トパーザ



○正座の姿勢
が/正確に決まる。



198.12.15 by T. MORATA



198.12.15 by T. MORATA

ドゥカティ

86

第

話

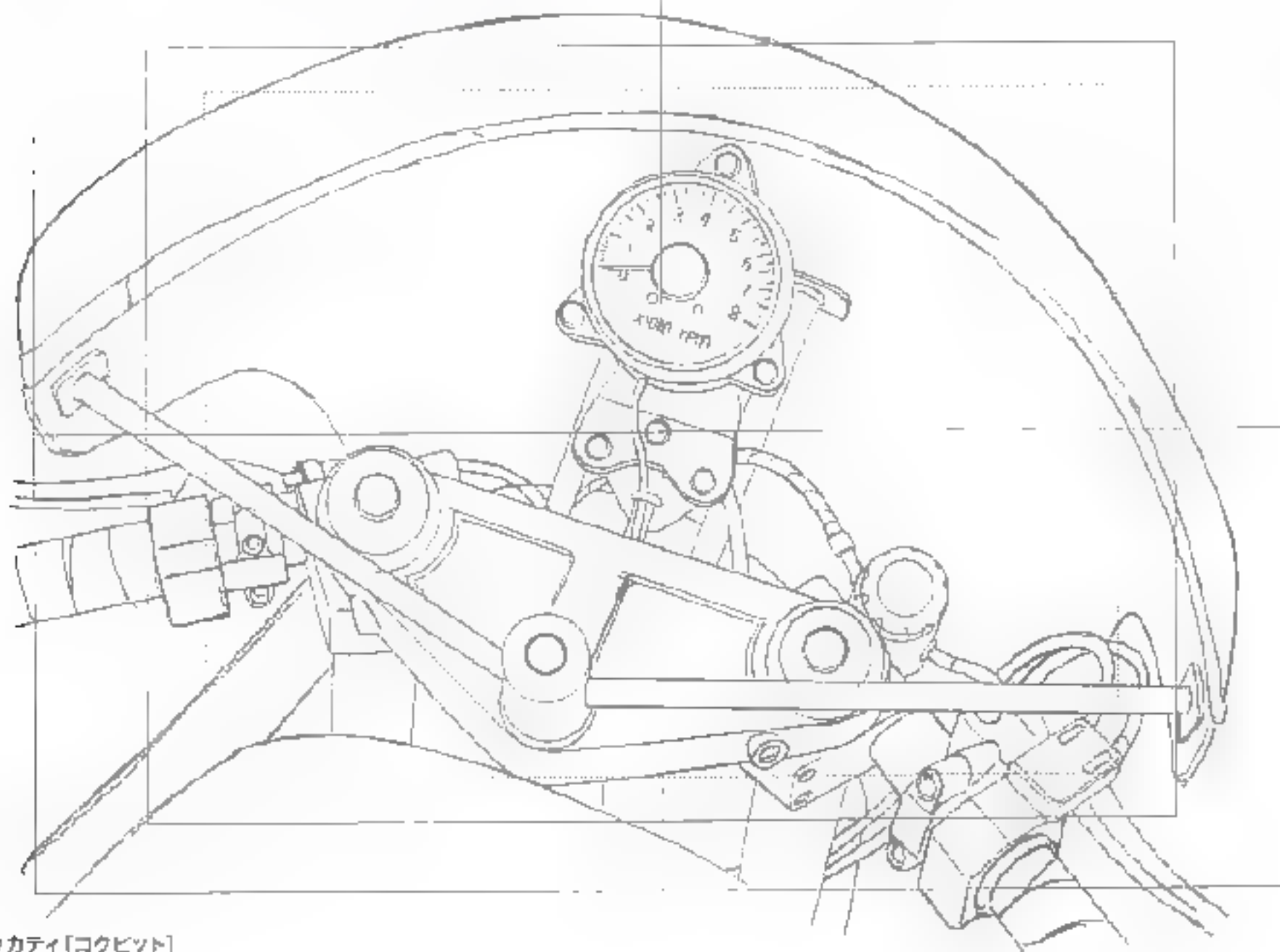
#19 トパーザ

S.

C.

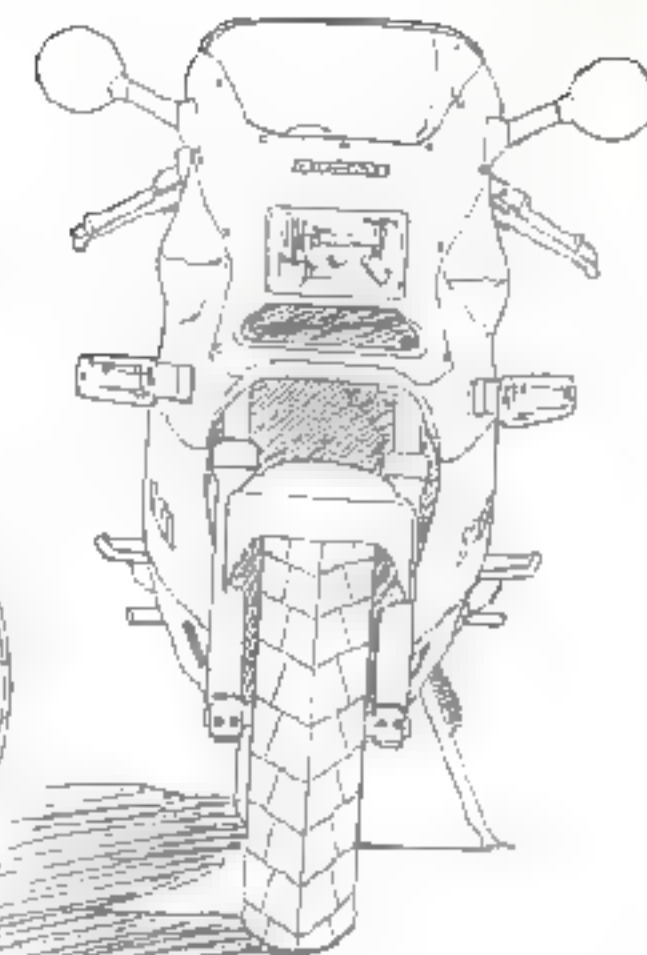
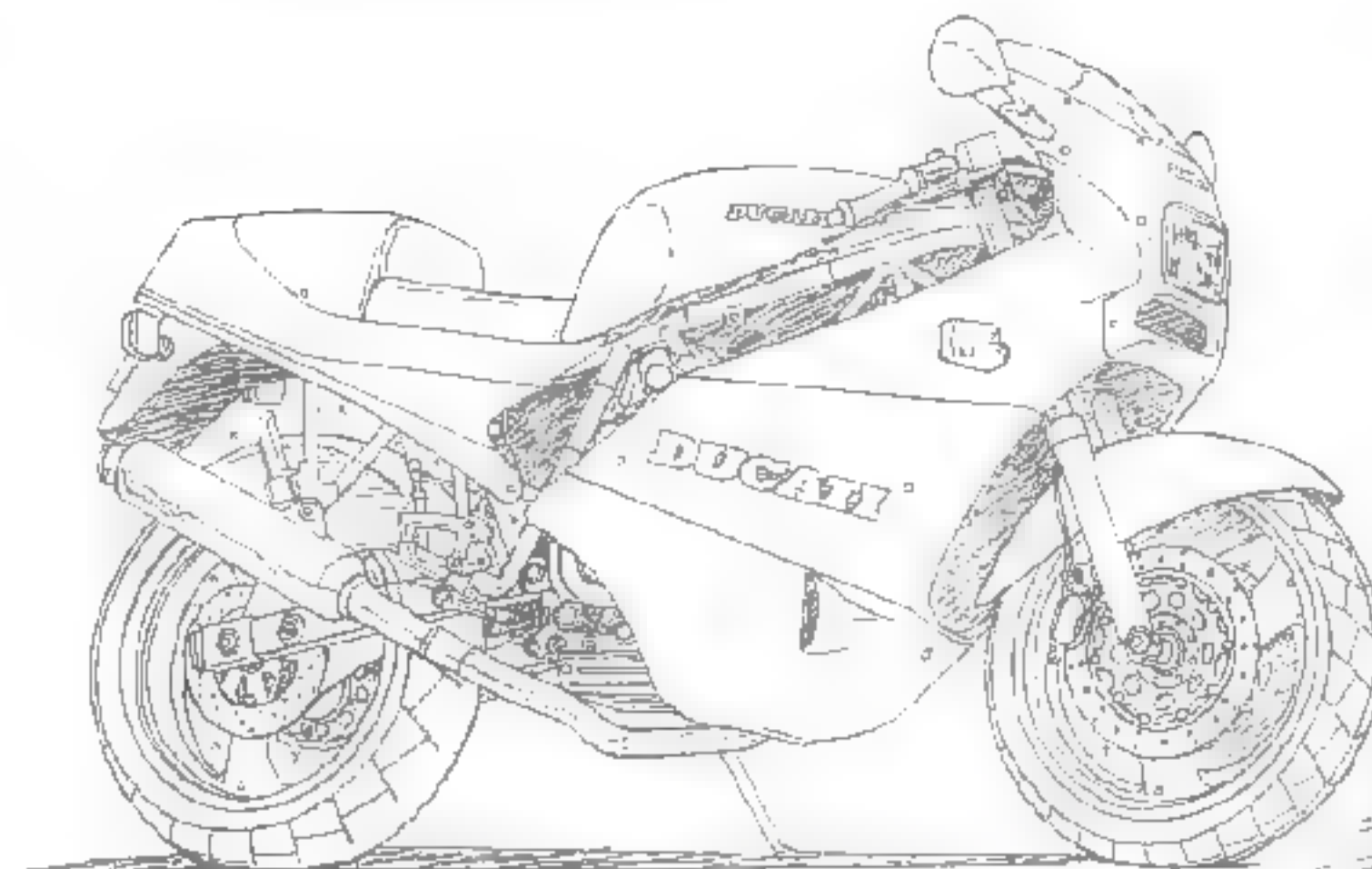
スタジオ デイーン

TIME (-)



ドゥカティ [コクピット]

ドゥカティ 900SS

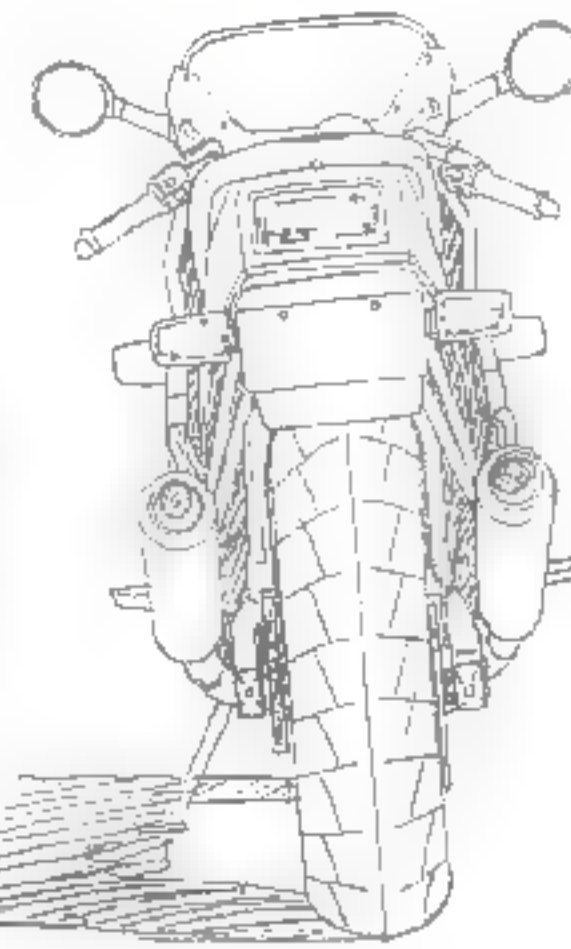
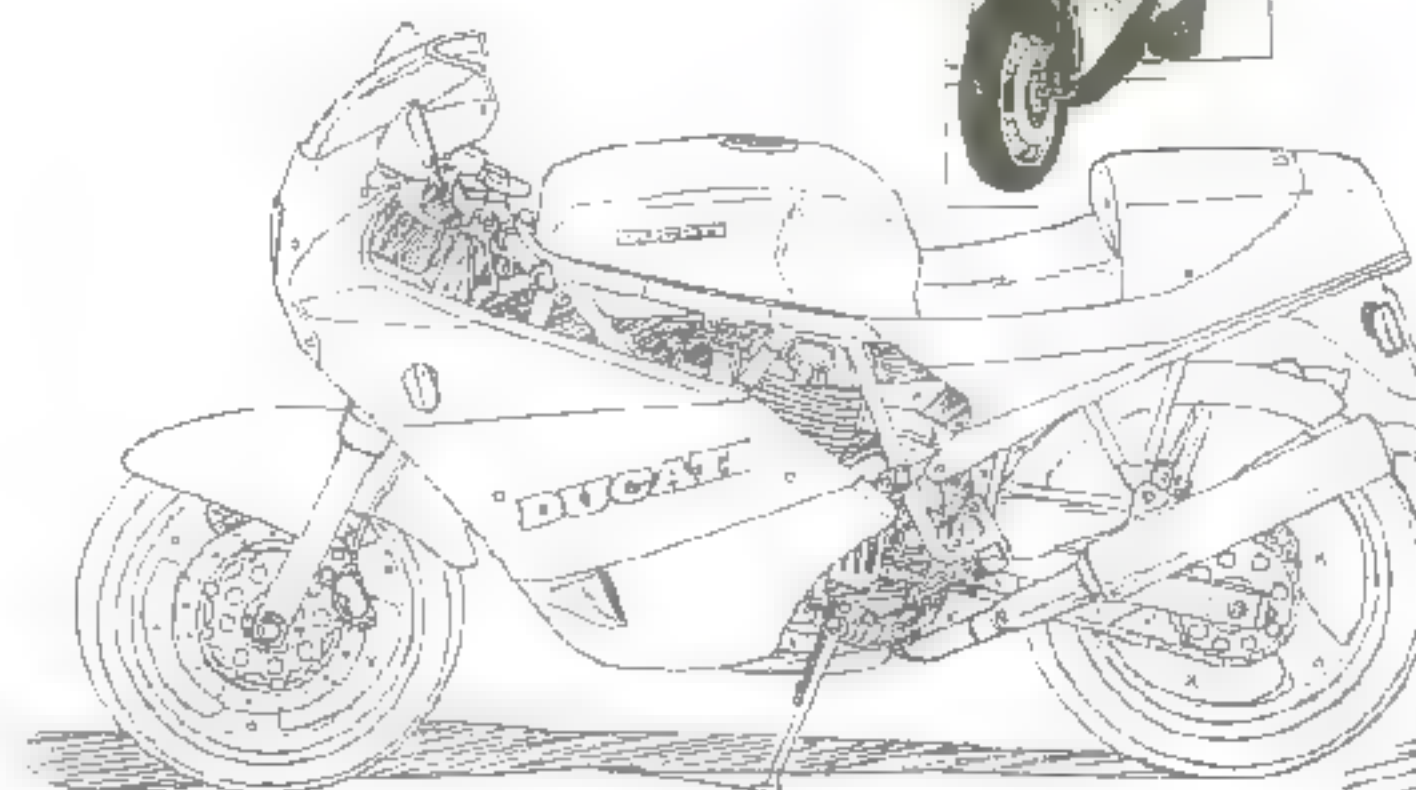


198.12.15 by T. MORATA

87

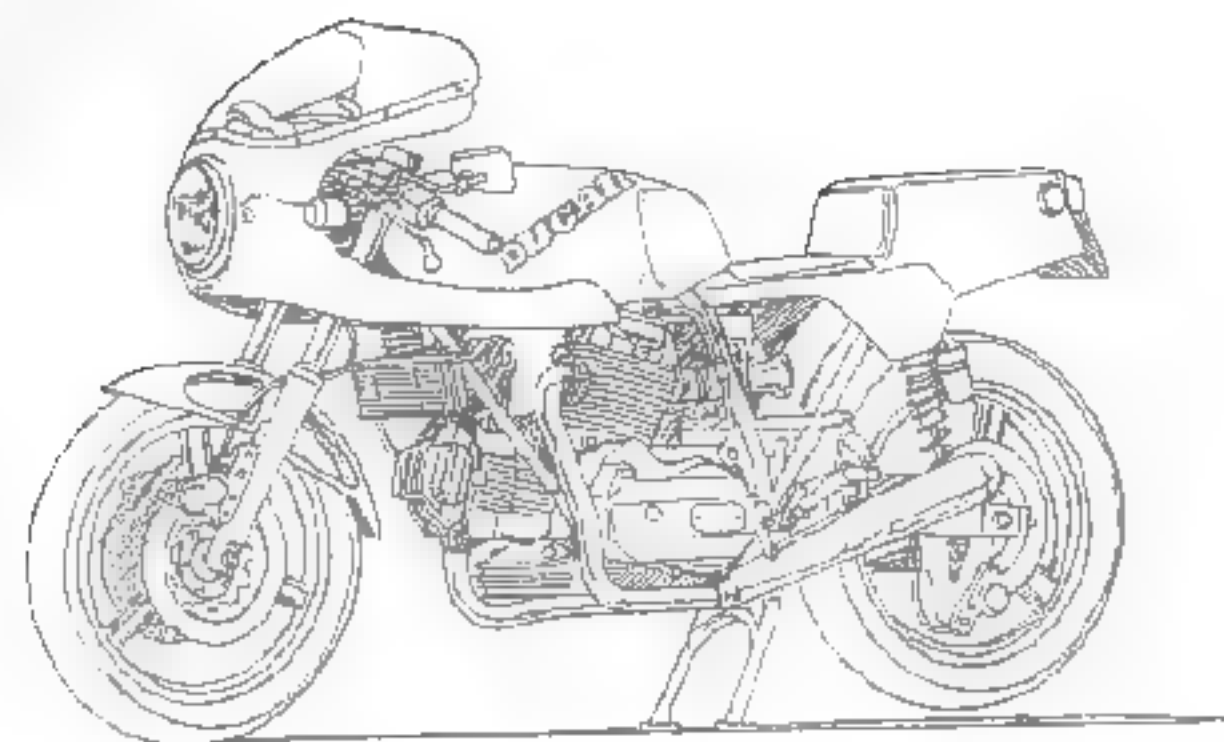
ドゥカティ ②

(対比図)

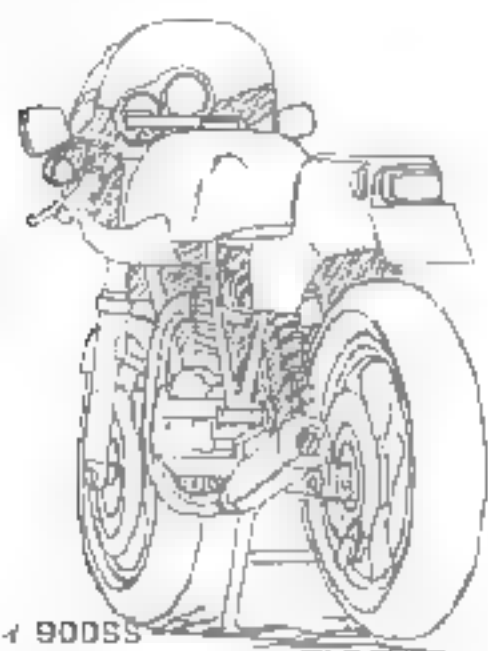


198.12.15 by T. MORATA

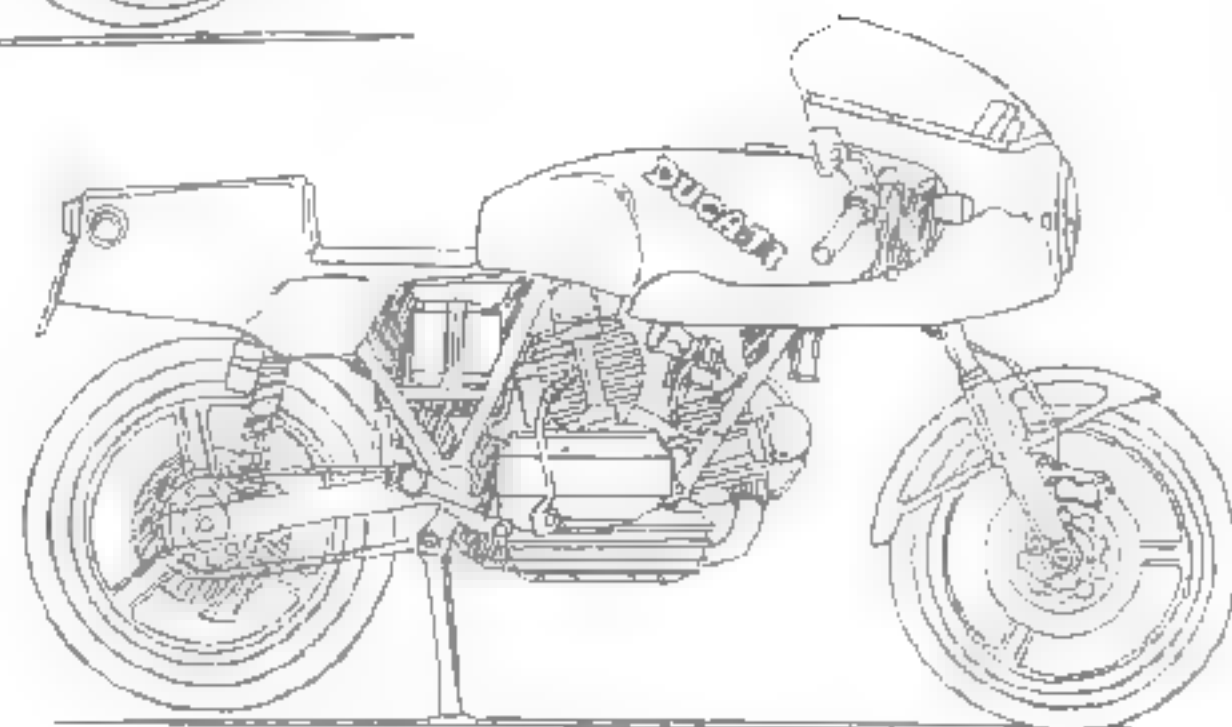
ドゥカティ 900SS



本田 XCB
1992.2.3 by T. MURAKAMI

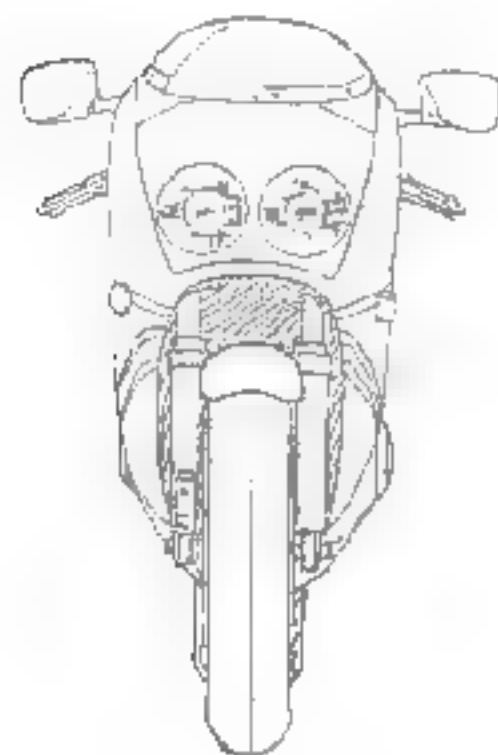


ドゥカティ 900SS

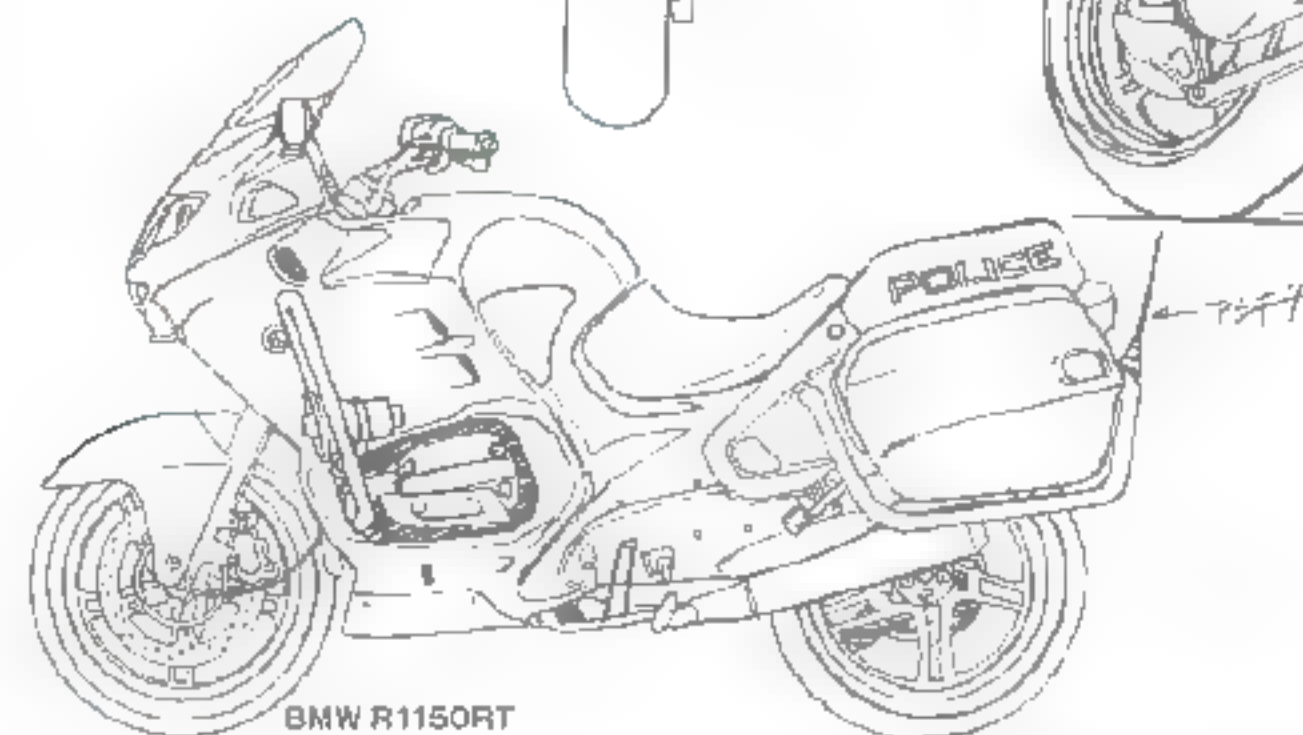
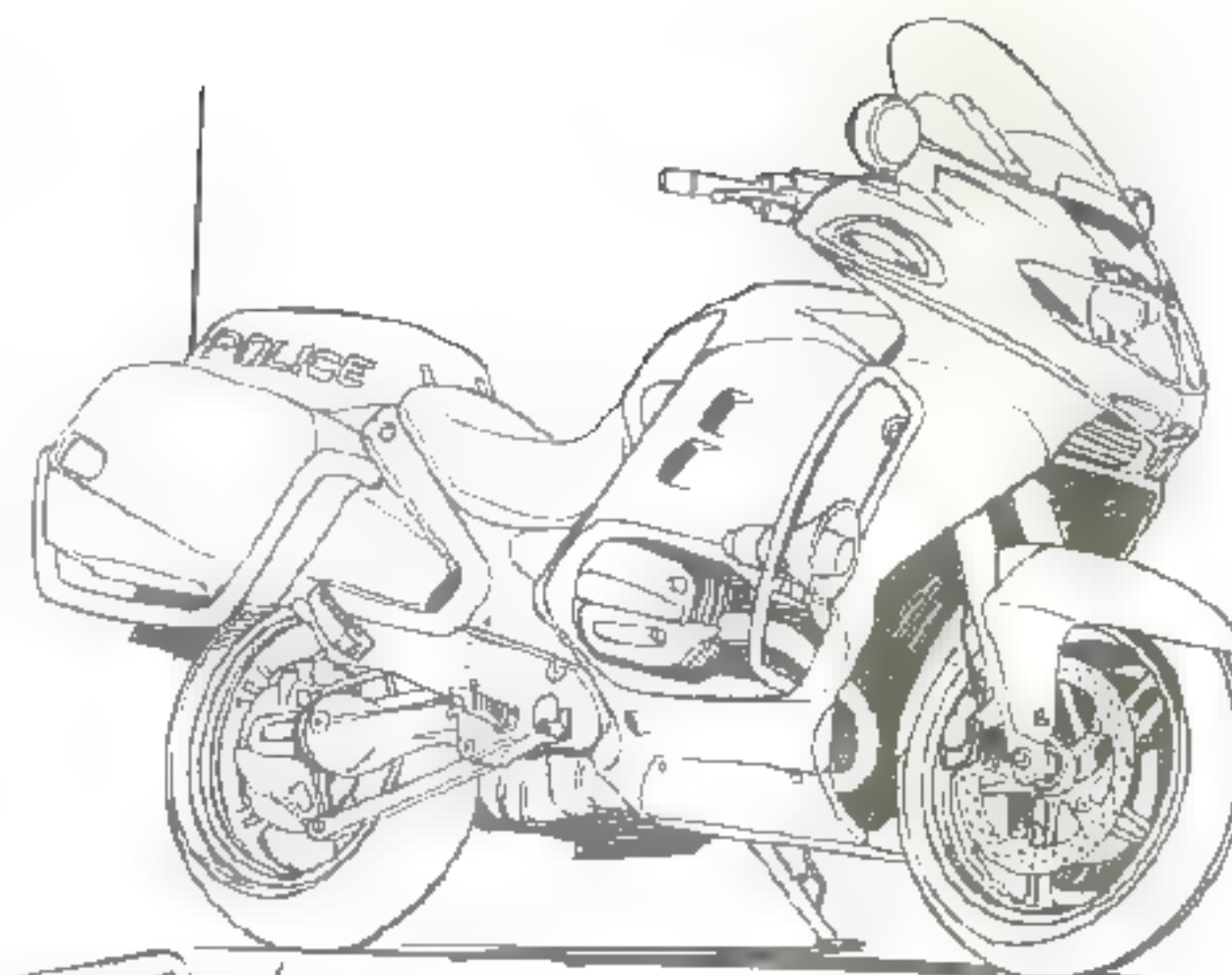
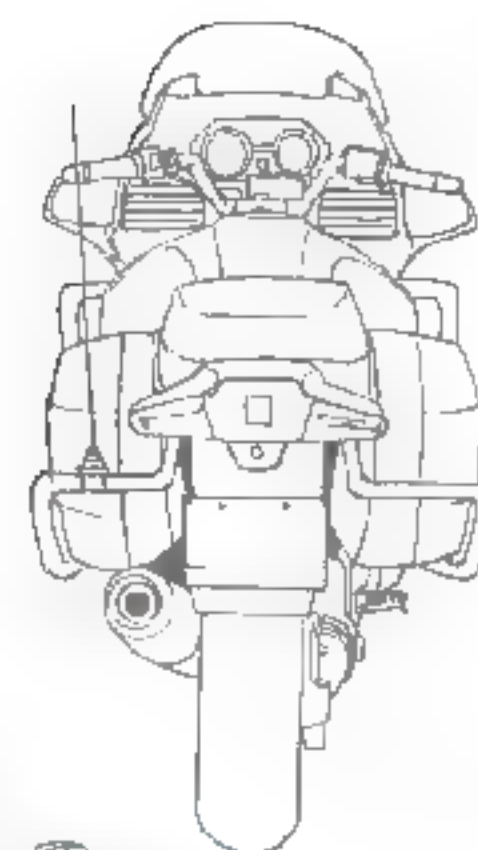
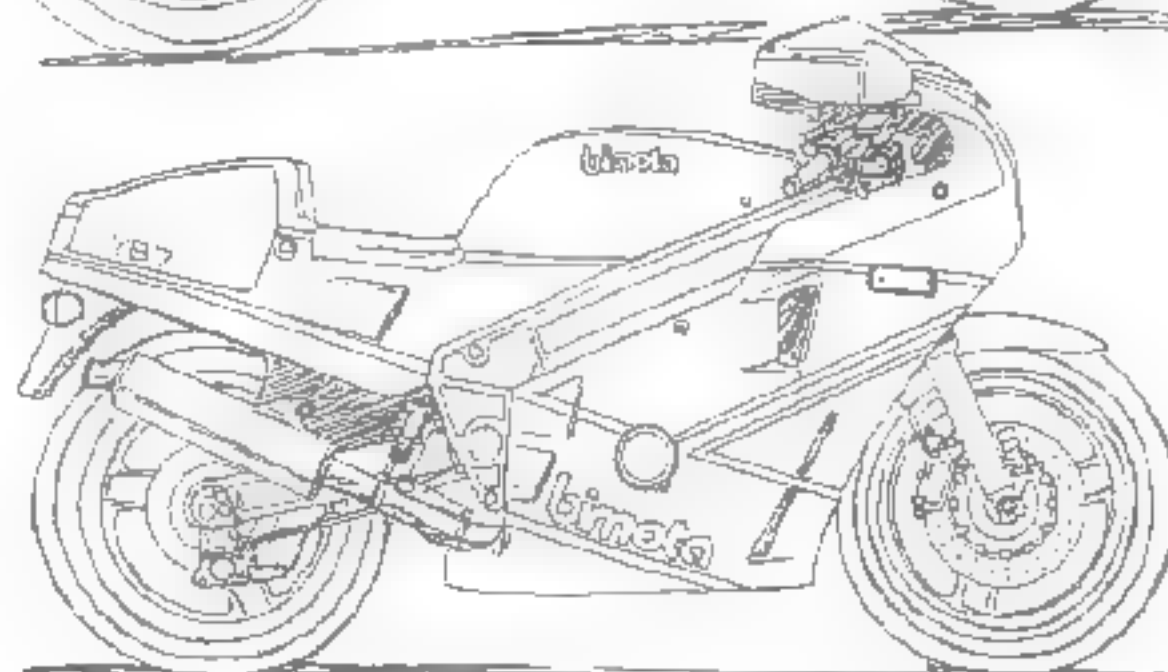
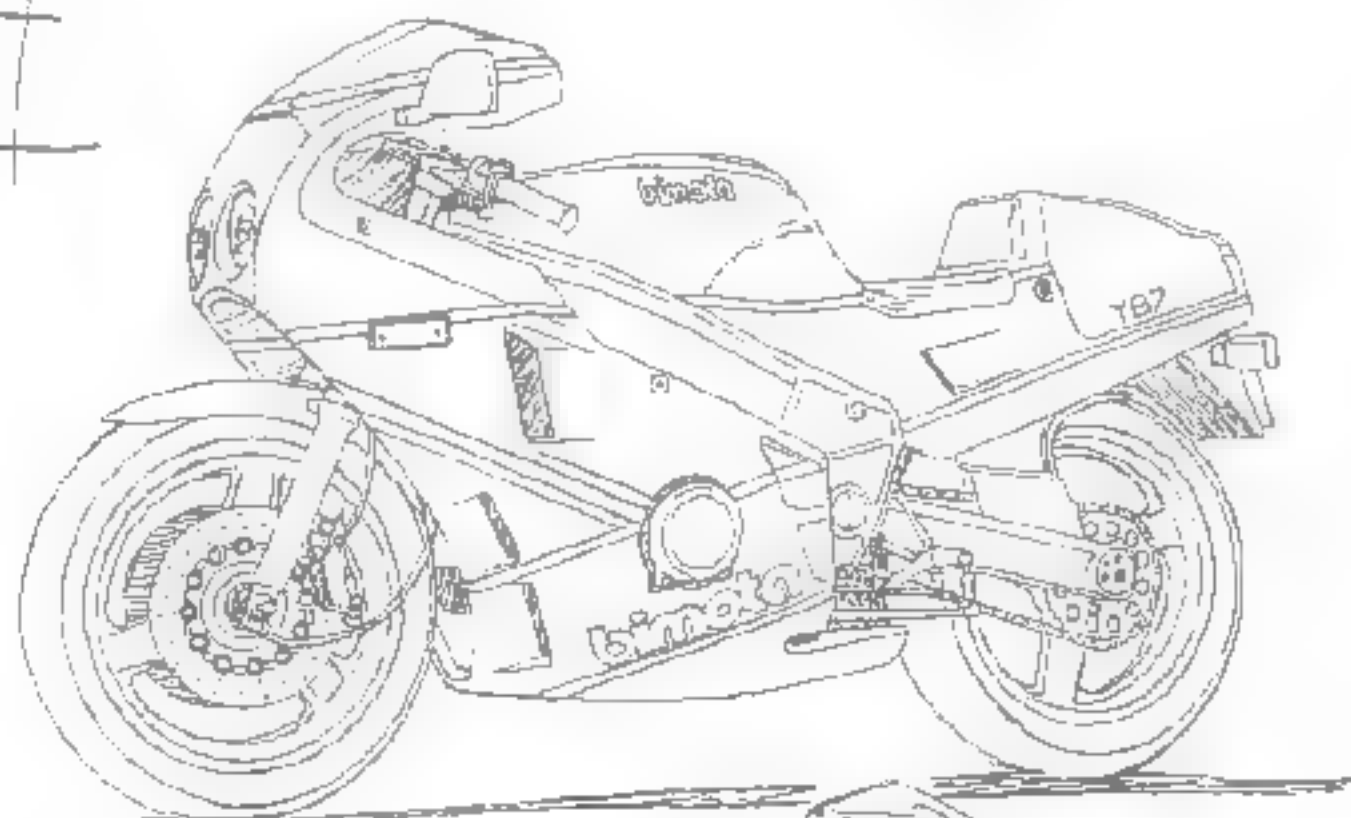


本田 XCB
1992.3.15 by T. MURAKAMI

1992.3.15 by T. MURAKAMI
1992.3.15 by T. MURAKAMI

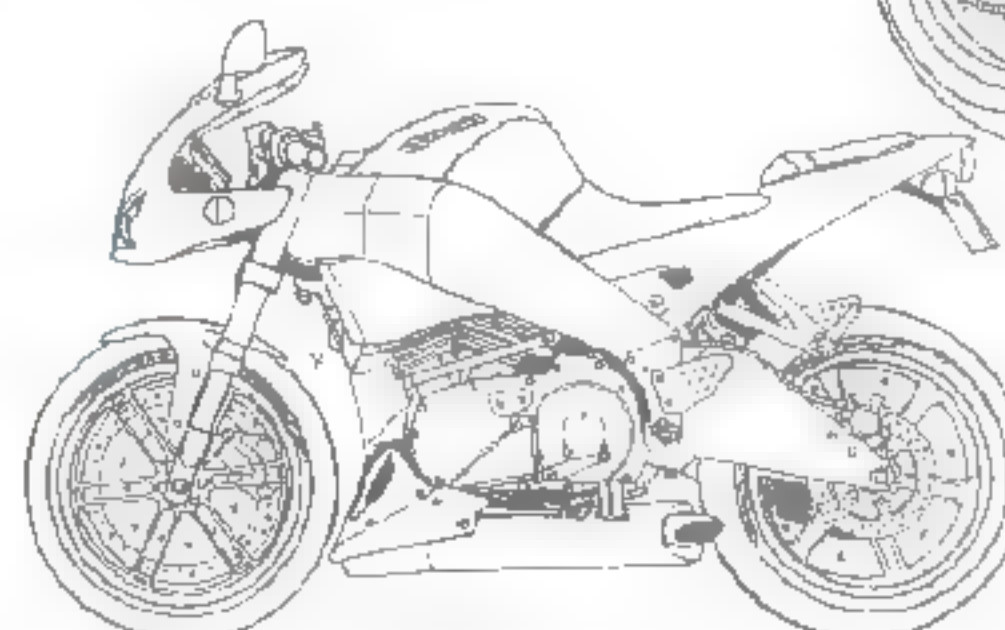
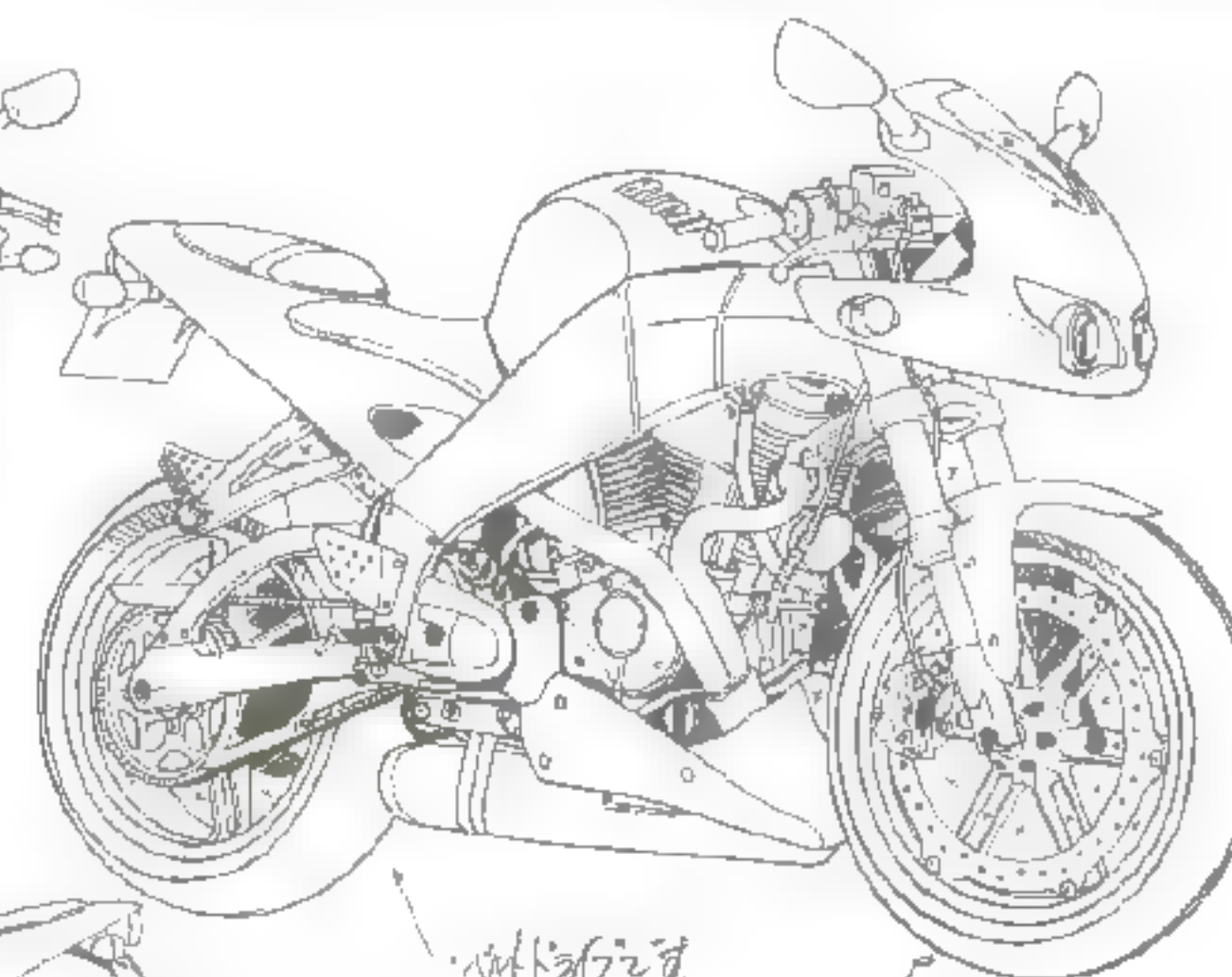
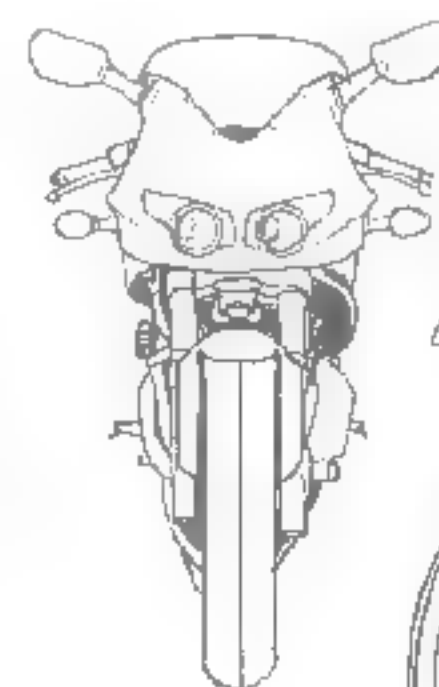
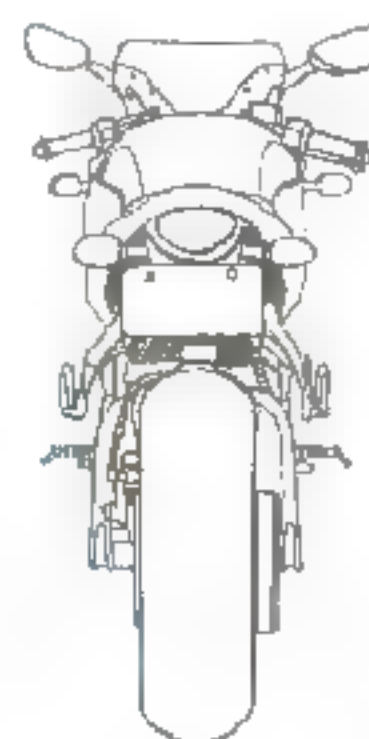


ビモータ YB7



BMW R1150RT

本田 XCB
2002.1 by T. MURAKAMI
BMW R1150RT

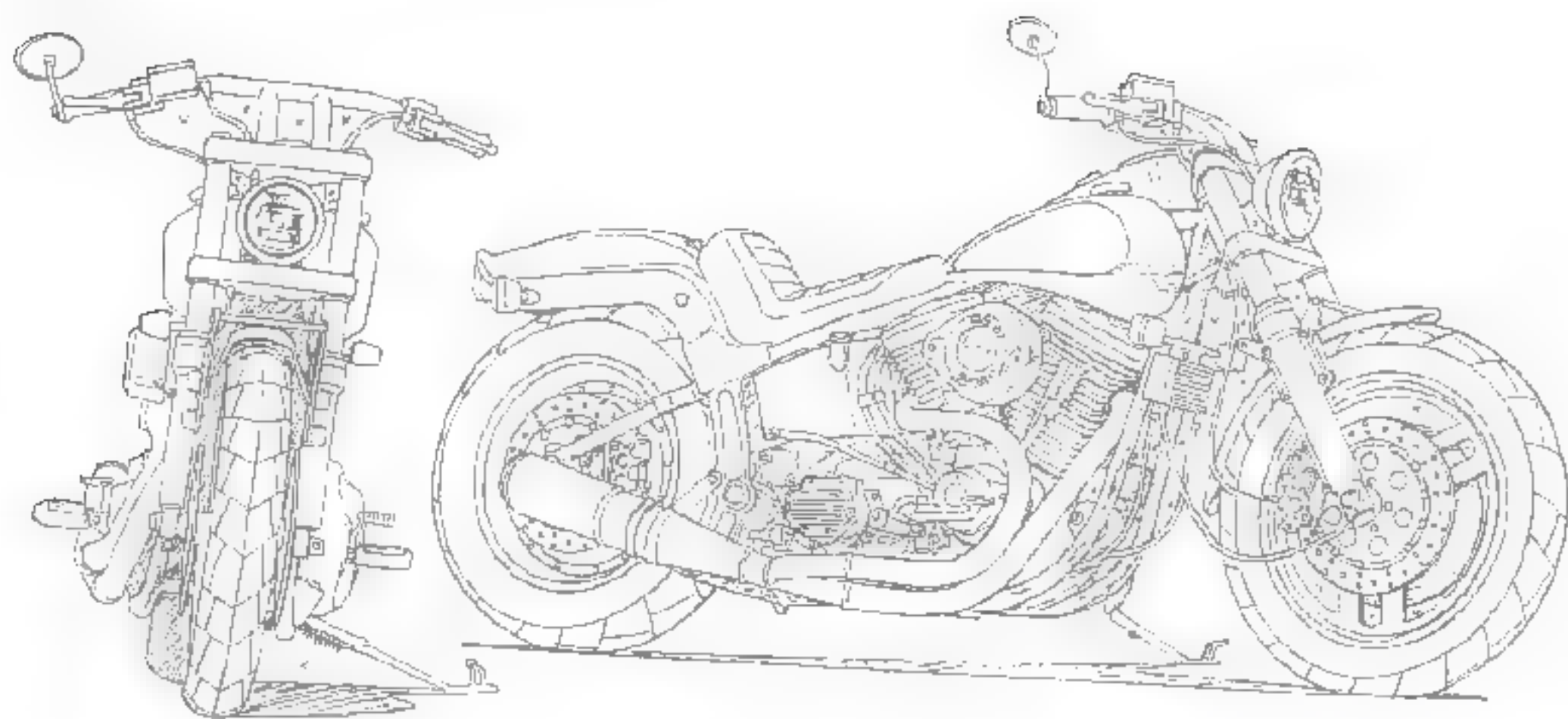


ビューエル ファイアーボルトXB9R

本田 XCB
2002.1 by T. MURAKAMI
BMW R1150RT

中島 XCB
2002.1 by T. MURAKAMI
BMW R1150RT

ストライク男のハーレー・デビルソン

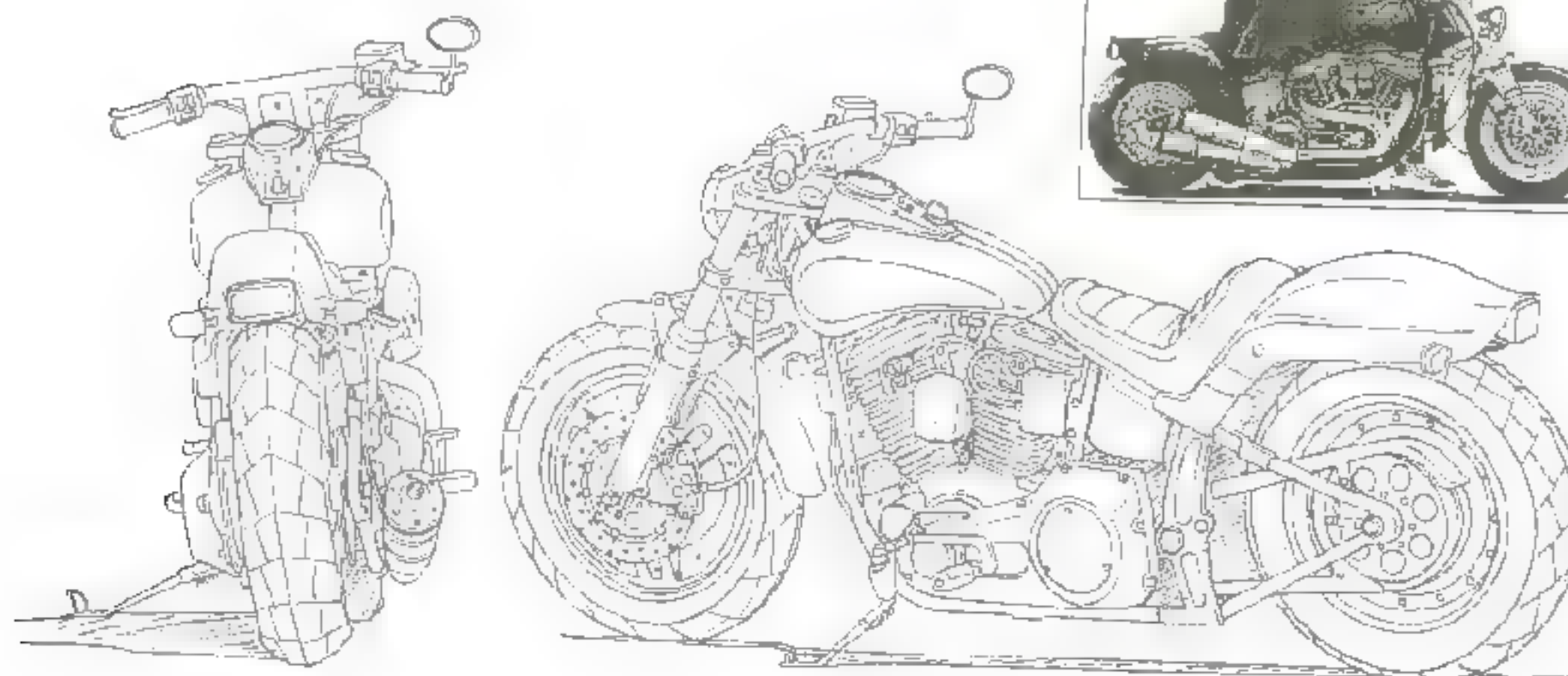


1996.9.29 by T. MURATA

90

ストライク男のハーレー・デビルソン

(対比参照)
デビルソンとデビルソン

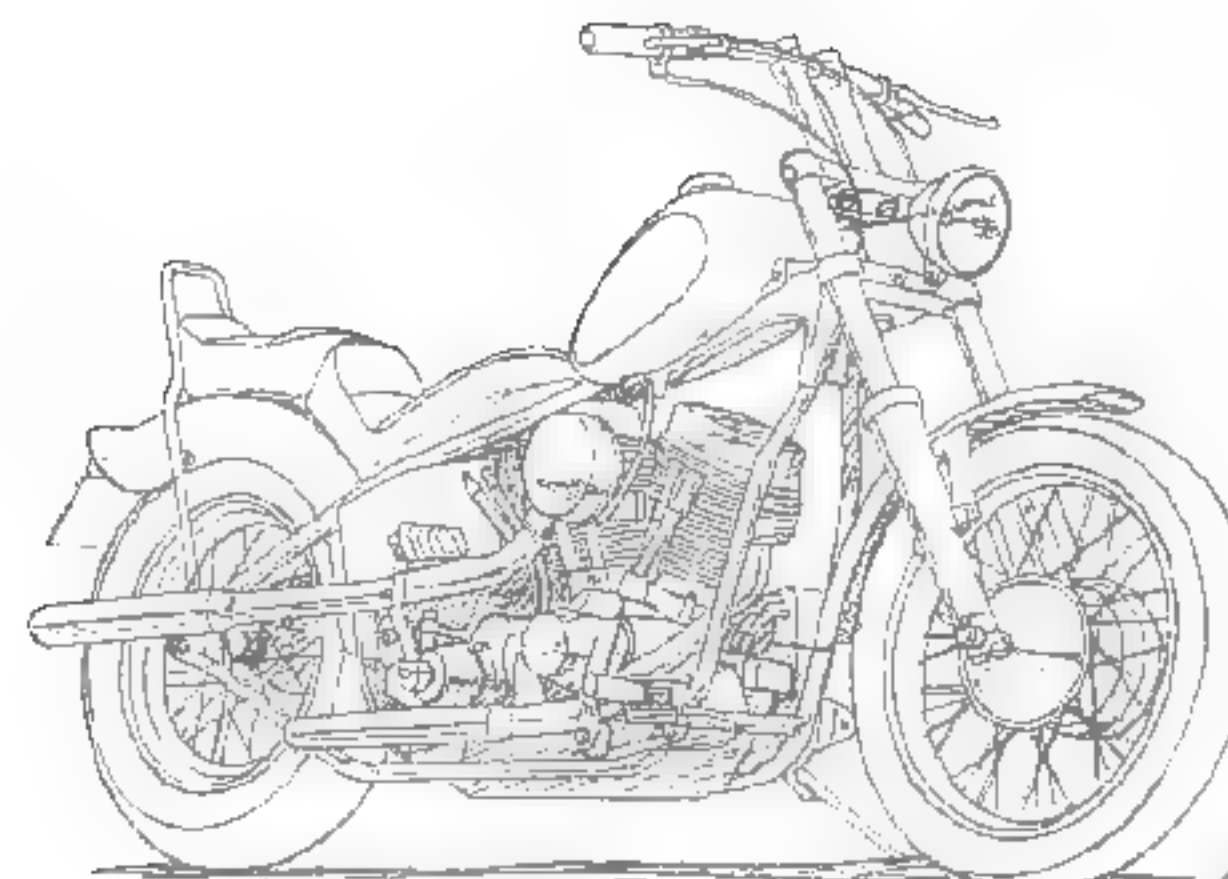


1996.9.29 by T. MURATA

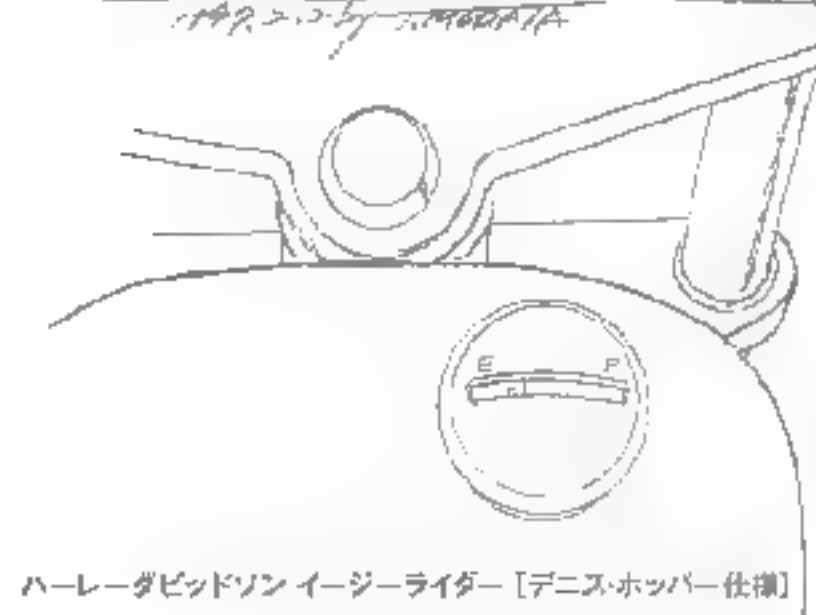
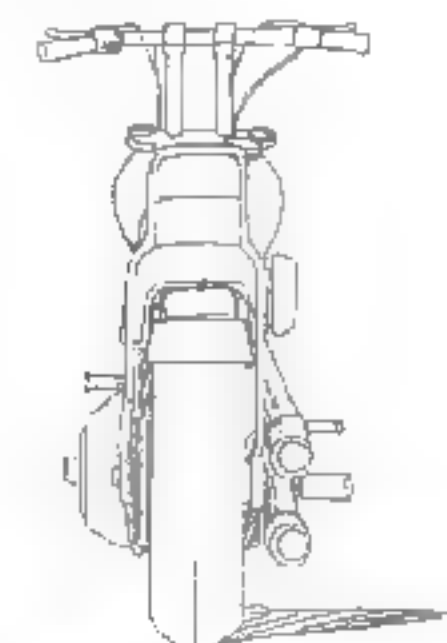
ハーレー・デビルソン FLSTFファットボーイカスタム

ボクサーのハーレー

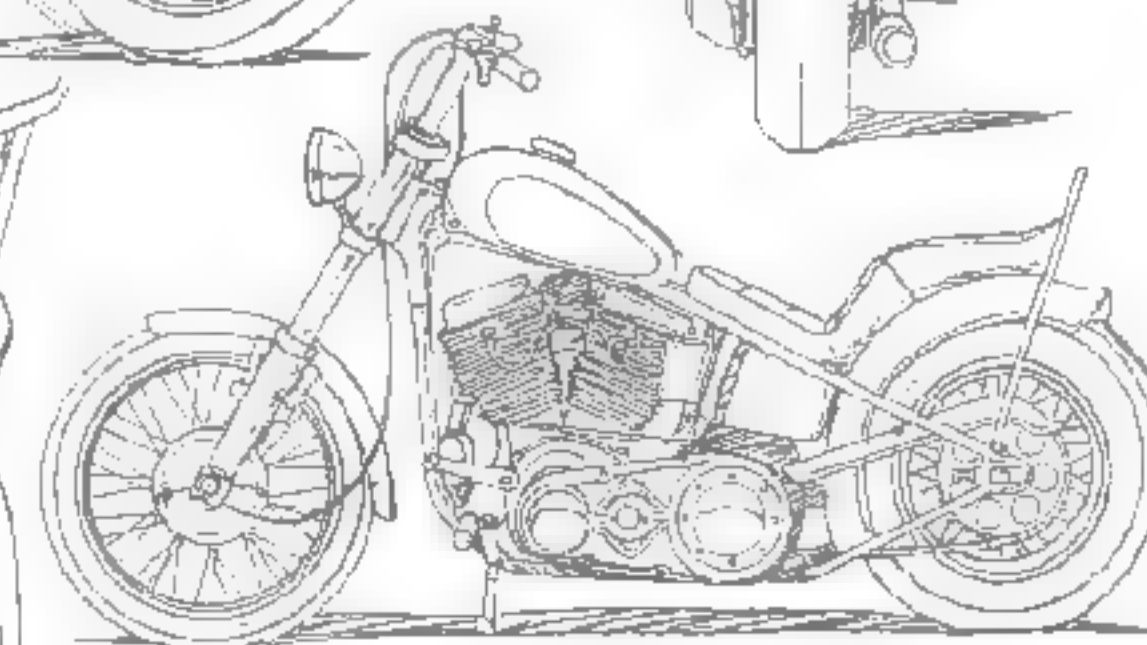
イージーライダー (デニス・ホッバー仕様)
※インキは無し。



1996.9.29 by T. MURATA



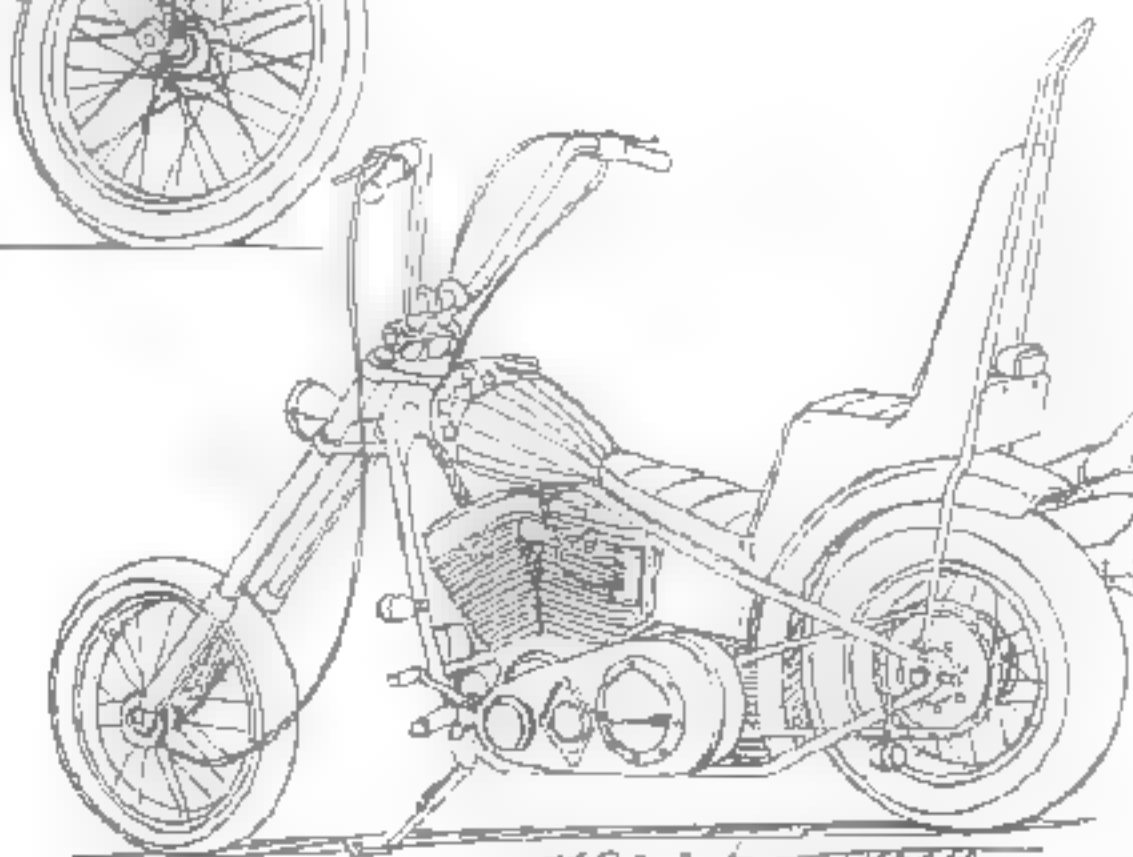
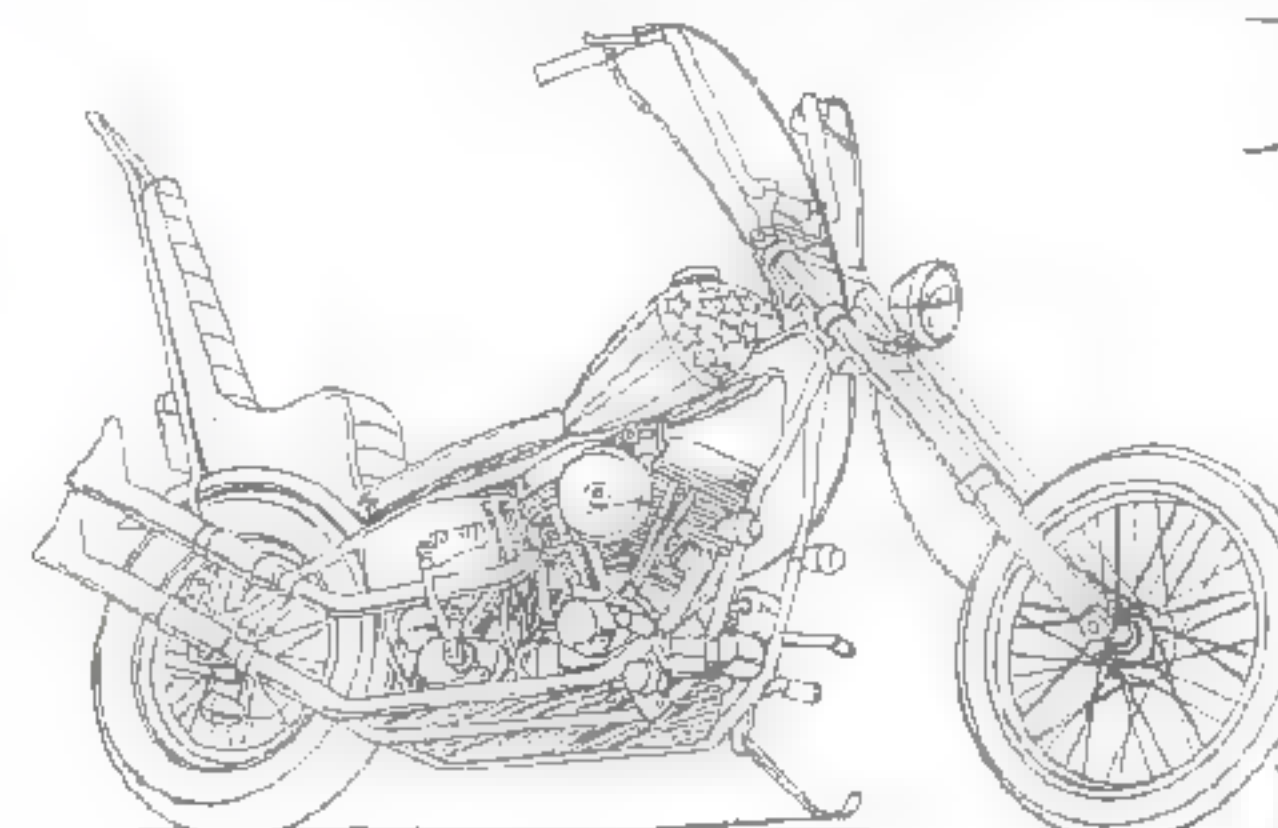
ハーレー・デビルソン イージーライダー [デニス・ホッバー仕様]



91

デニスのハーレー

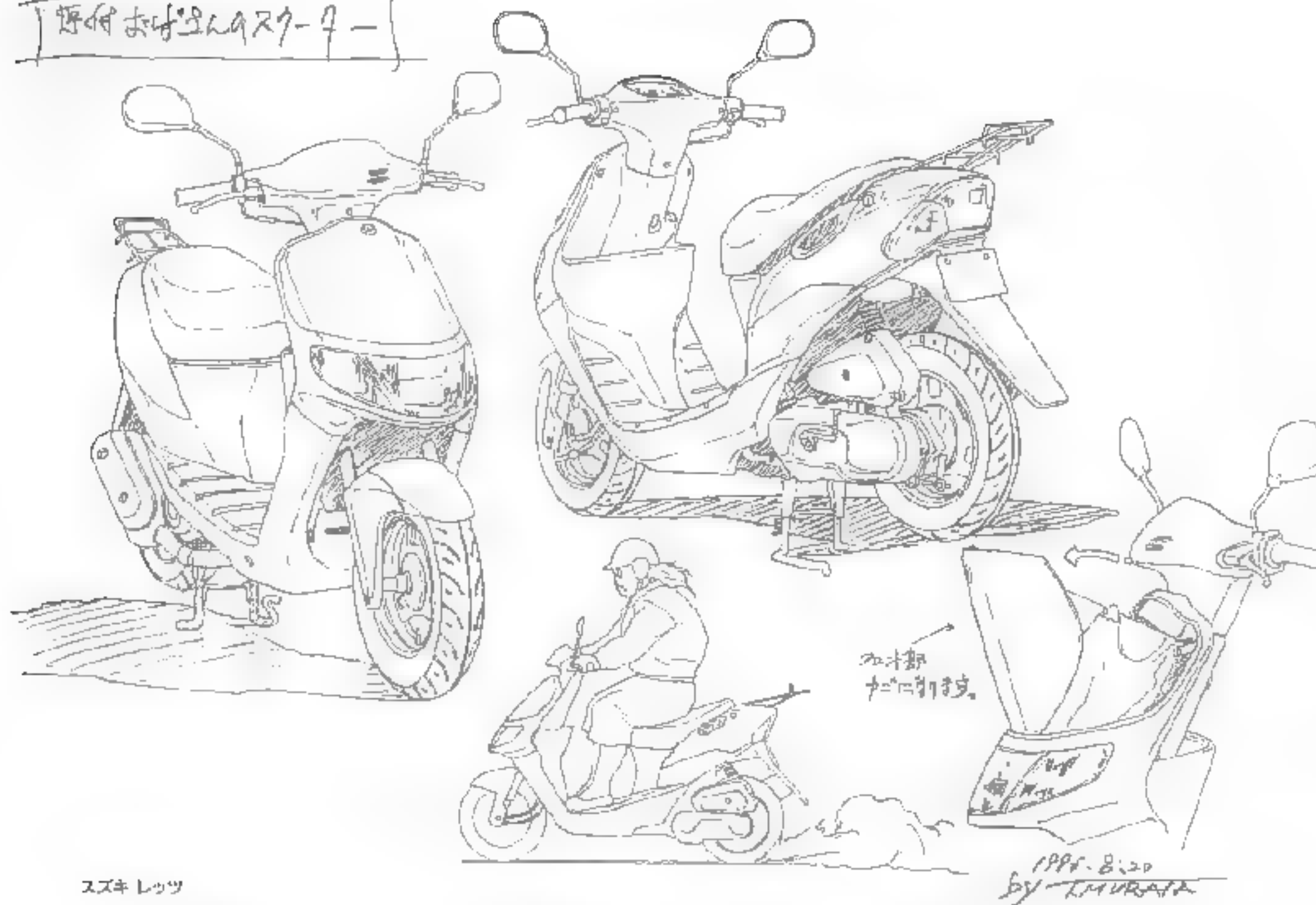
・イージーライダー (1979-1982年仕様)
・デビルソン (1979-1982年仕様)



1996.9.29 by T. MURATA

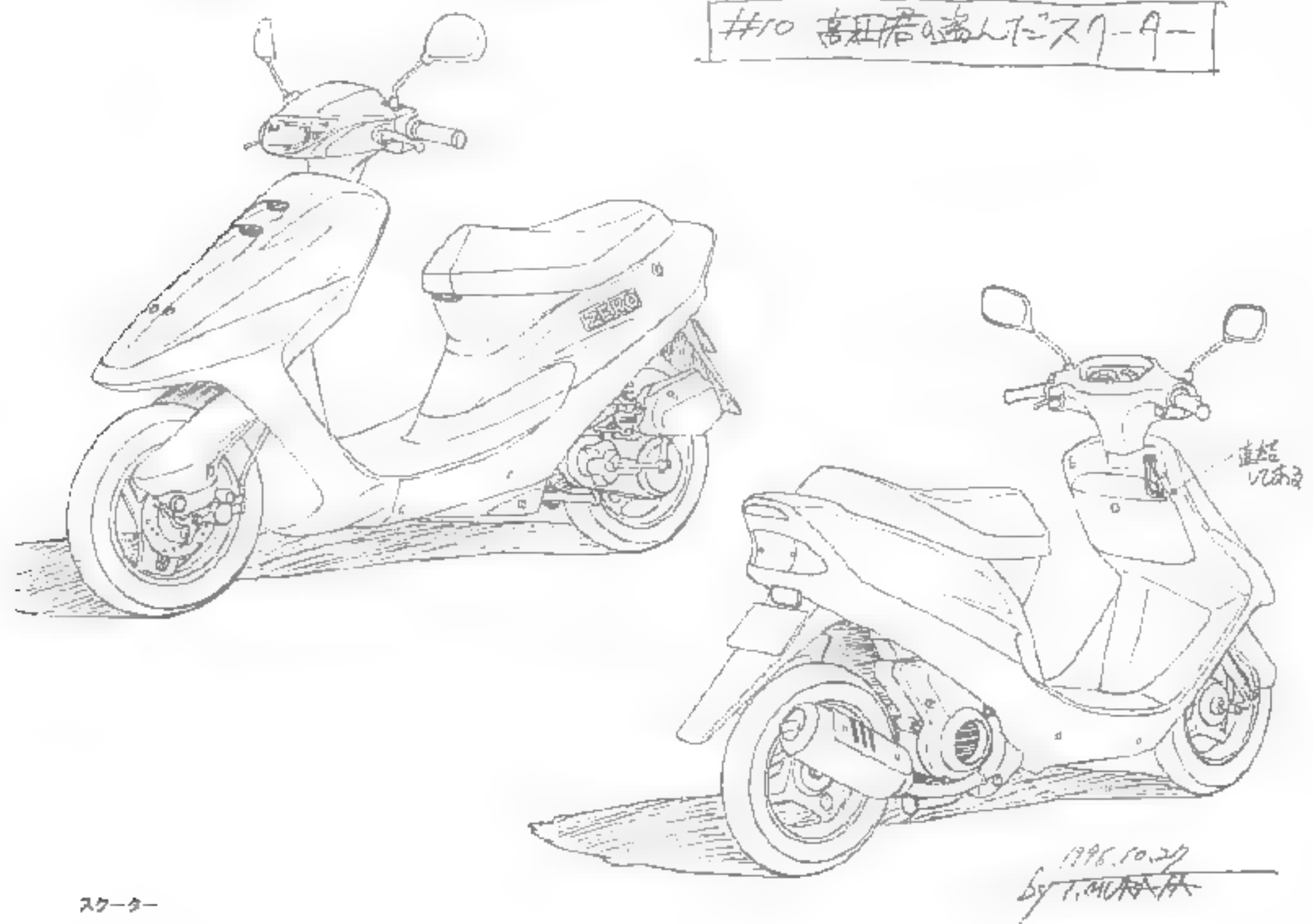
ハーレー・デビルソン イージーライダー [ピーター・フォンダ仕様]

新時代スクーター



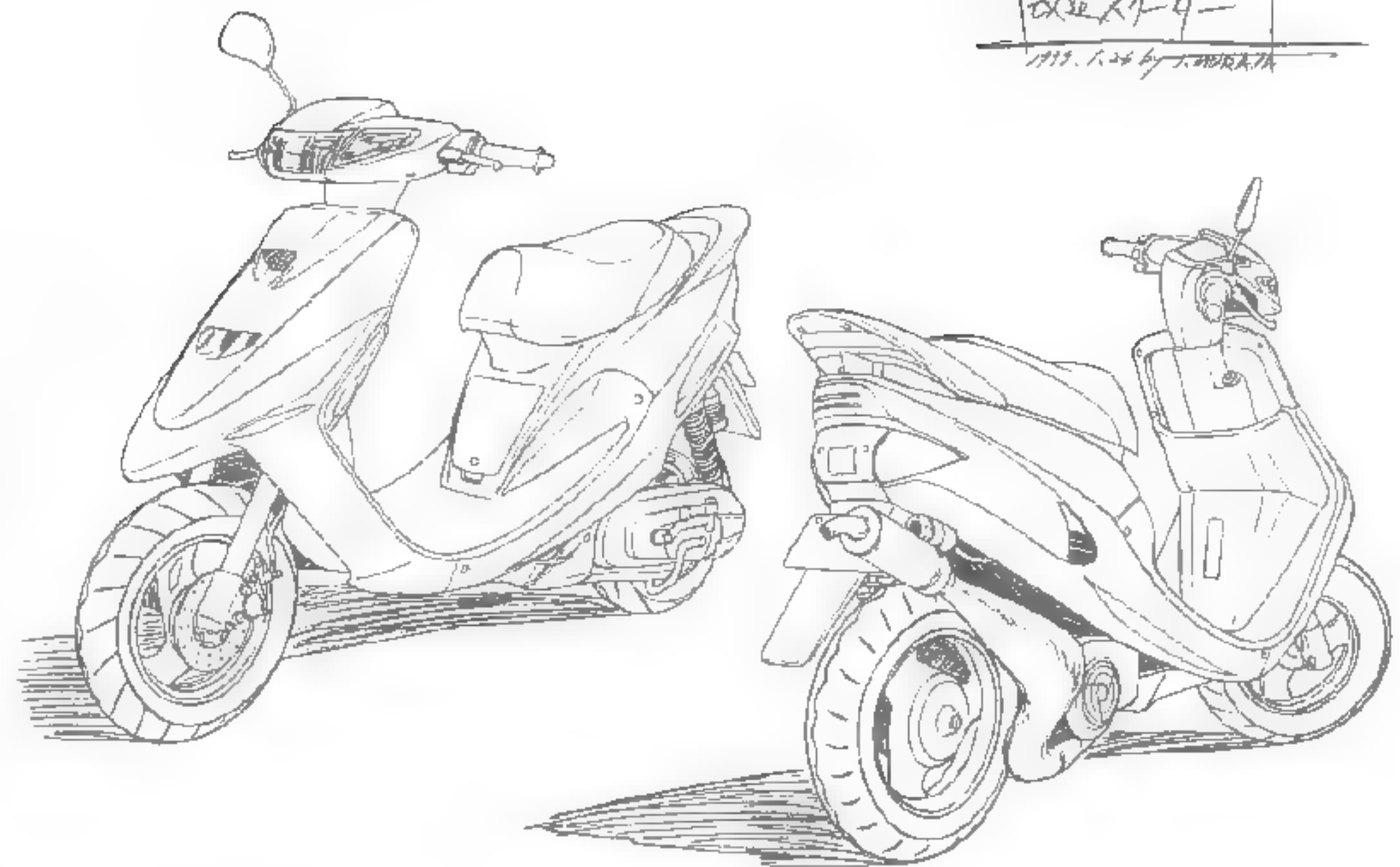
スズキ レッツ

#10 新時代スクーター



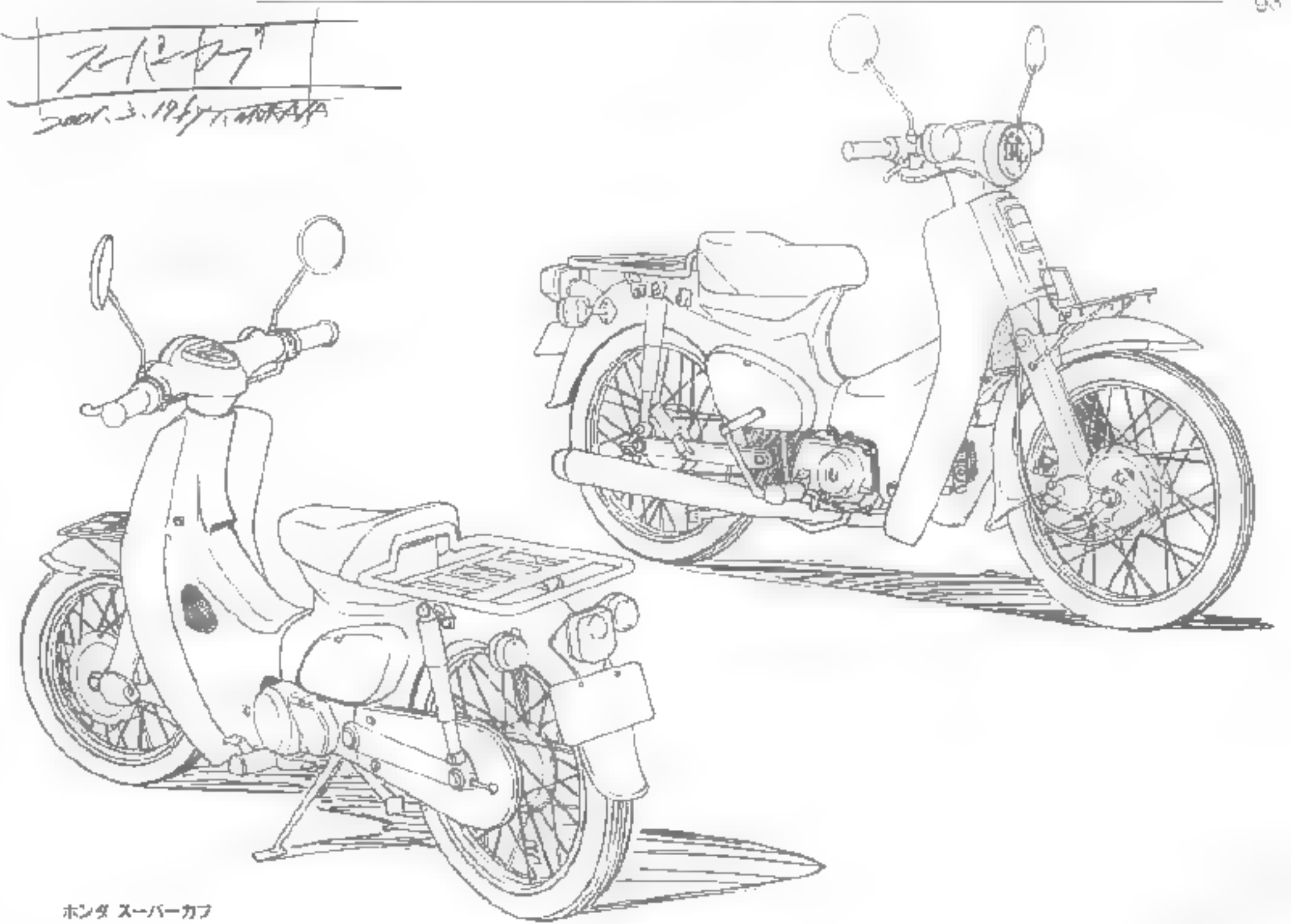
スクーター

改造スクーター
1999.1.26 by T. MURAKA



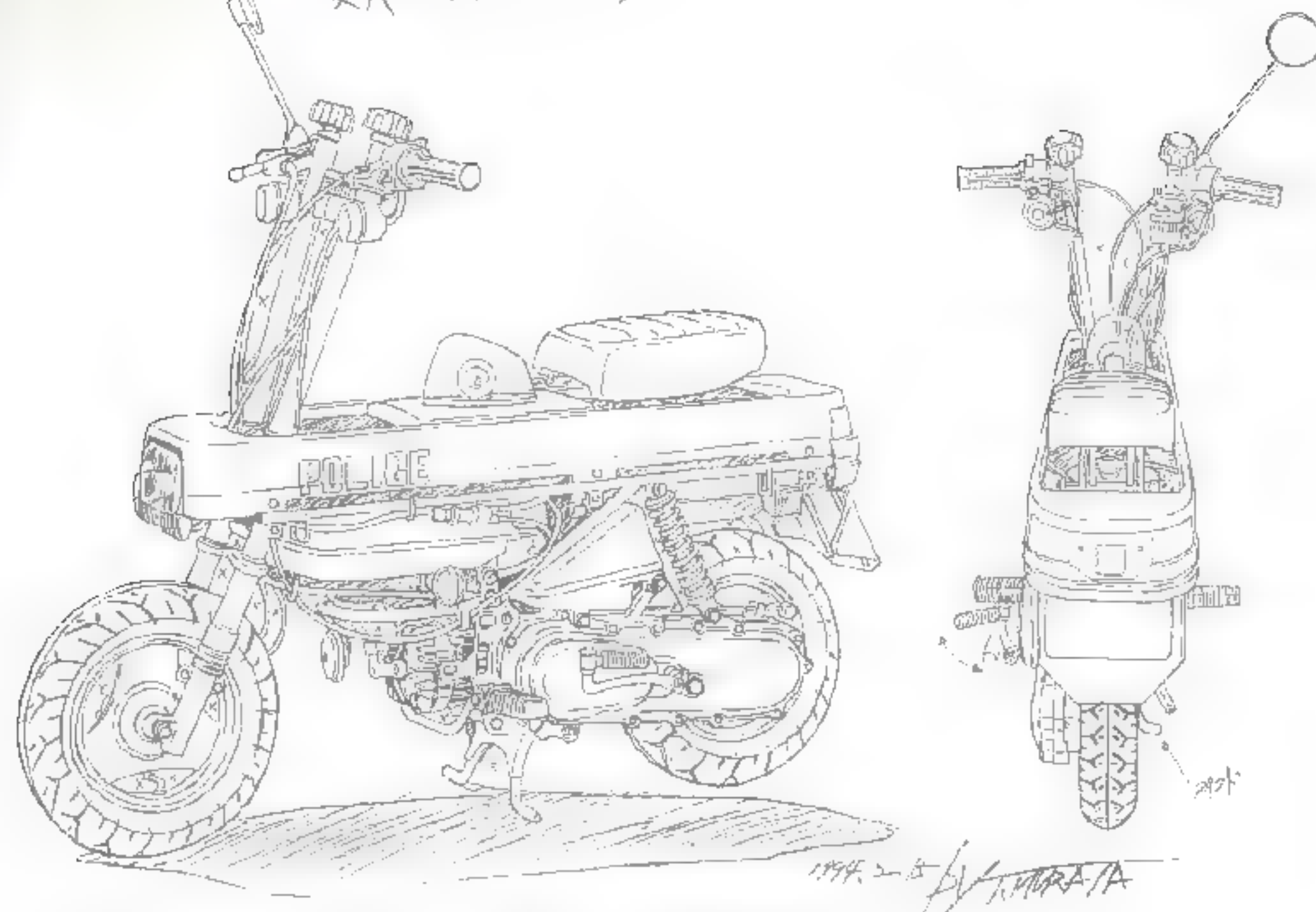
ヤマハ ジョグ

スクーター
2001.3.19 by T. MURAKA



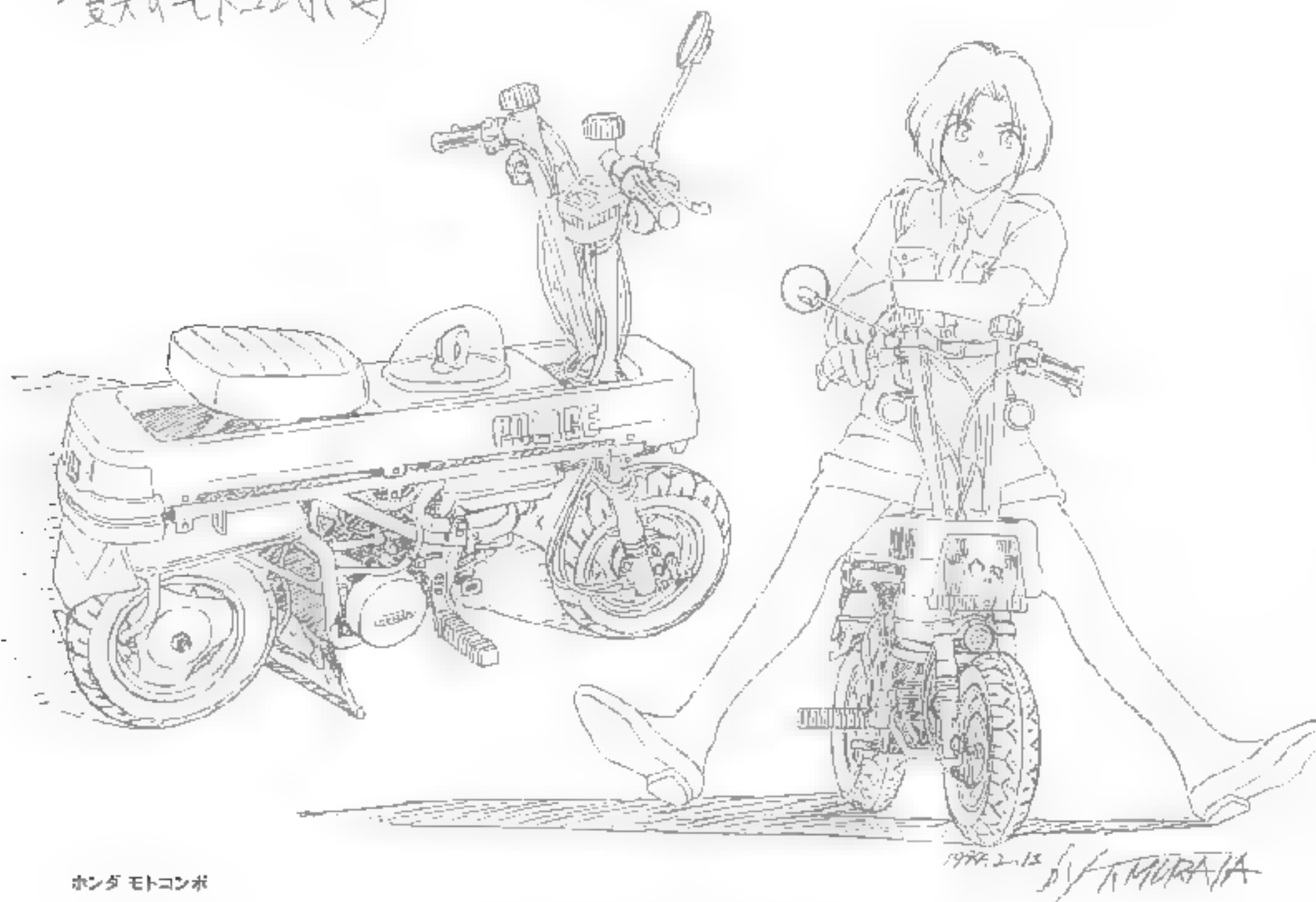
ホンダ スーパーカブ

夏実のモトコンボ



94

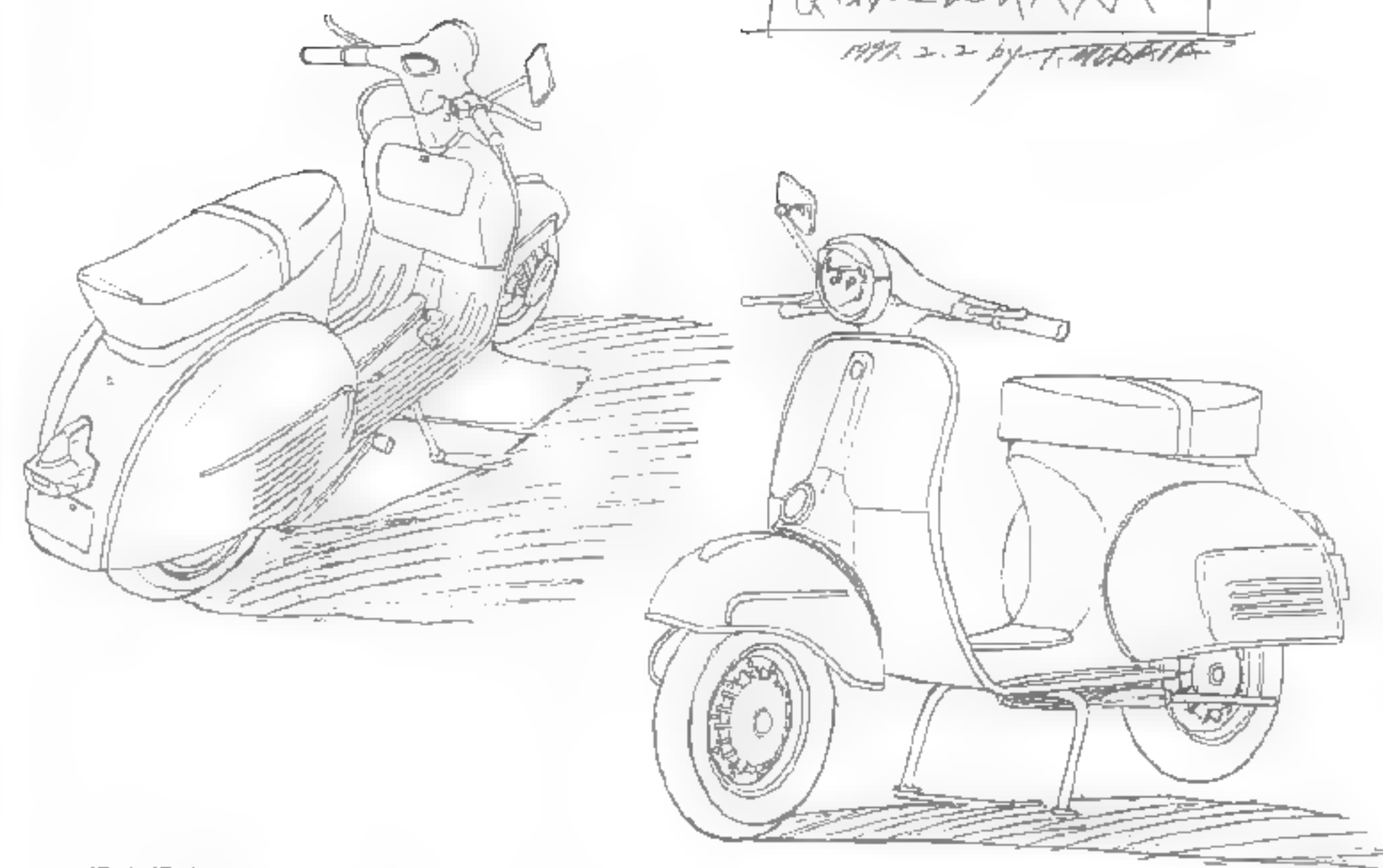
夏実のモトコンボ



ホンダ モトコンボ

太銀エスパー

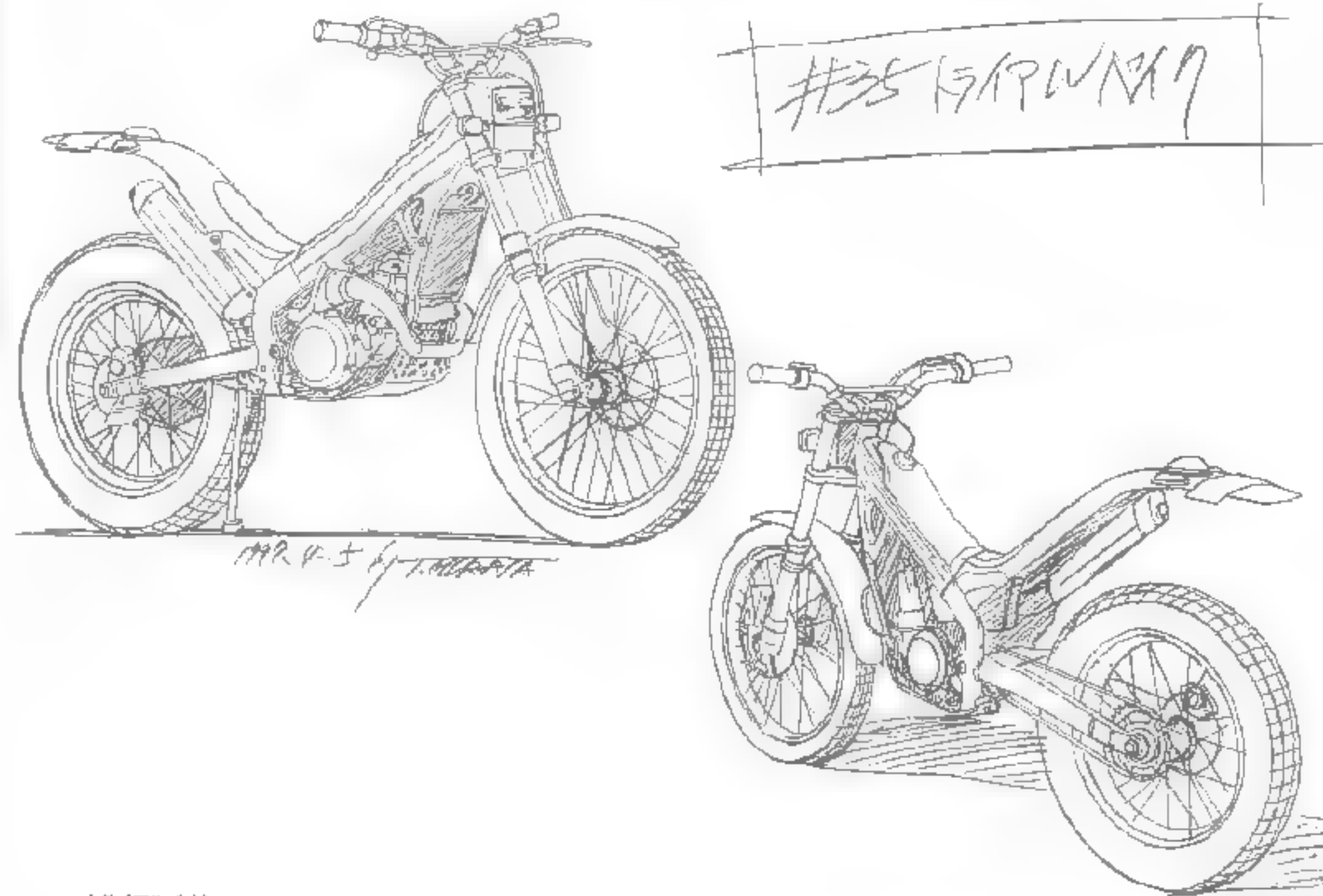
1994.2.2 by T. MURATA



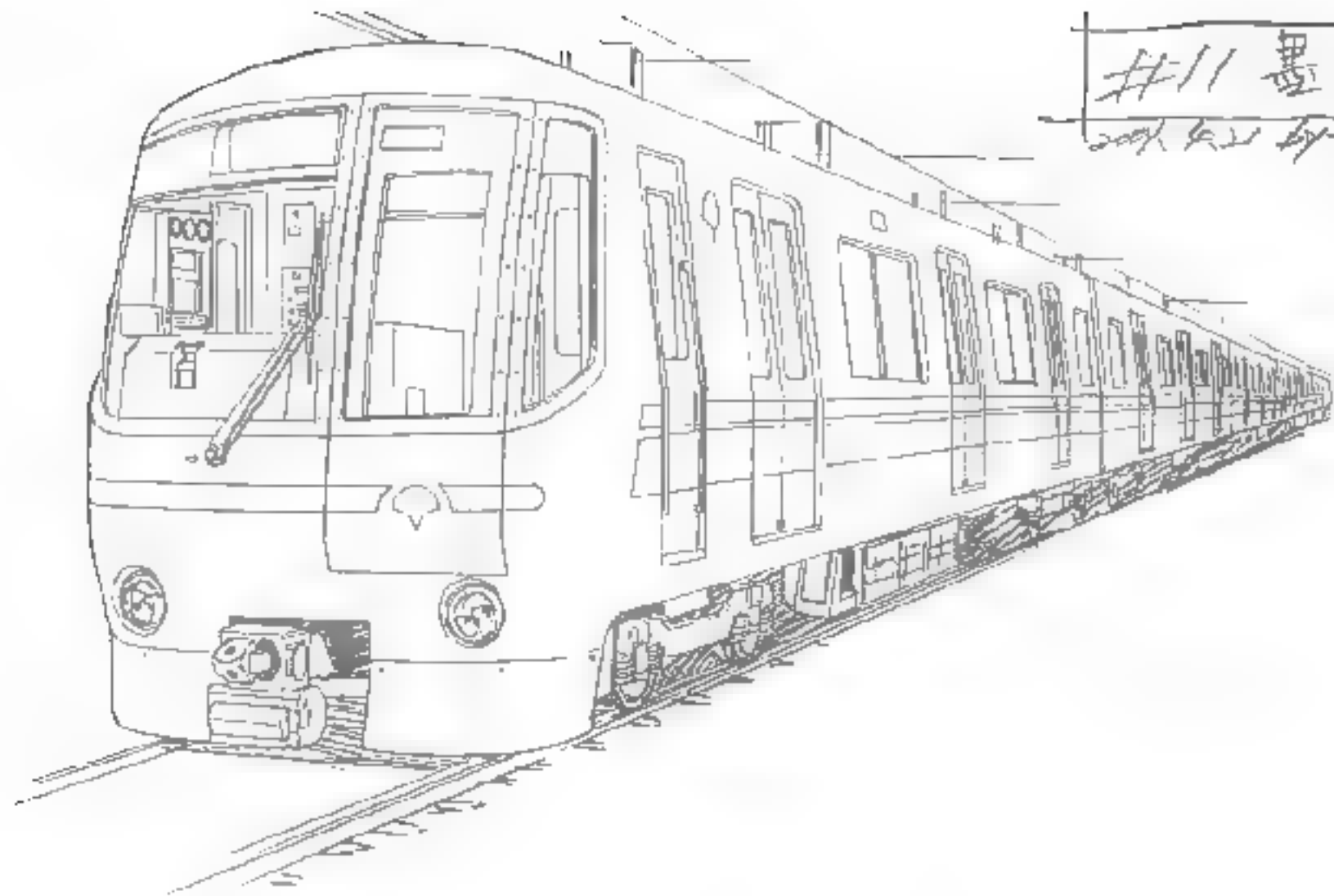
ベスパベスパ

95

#35 トライアルバイク



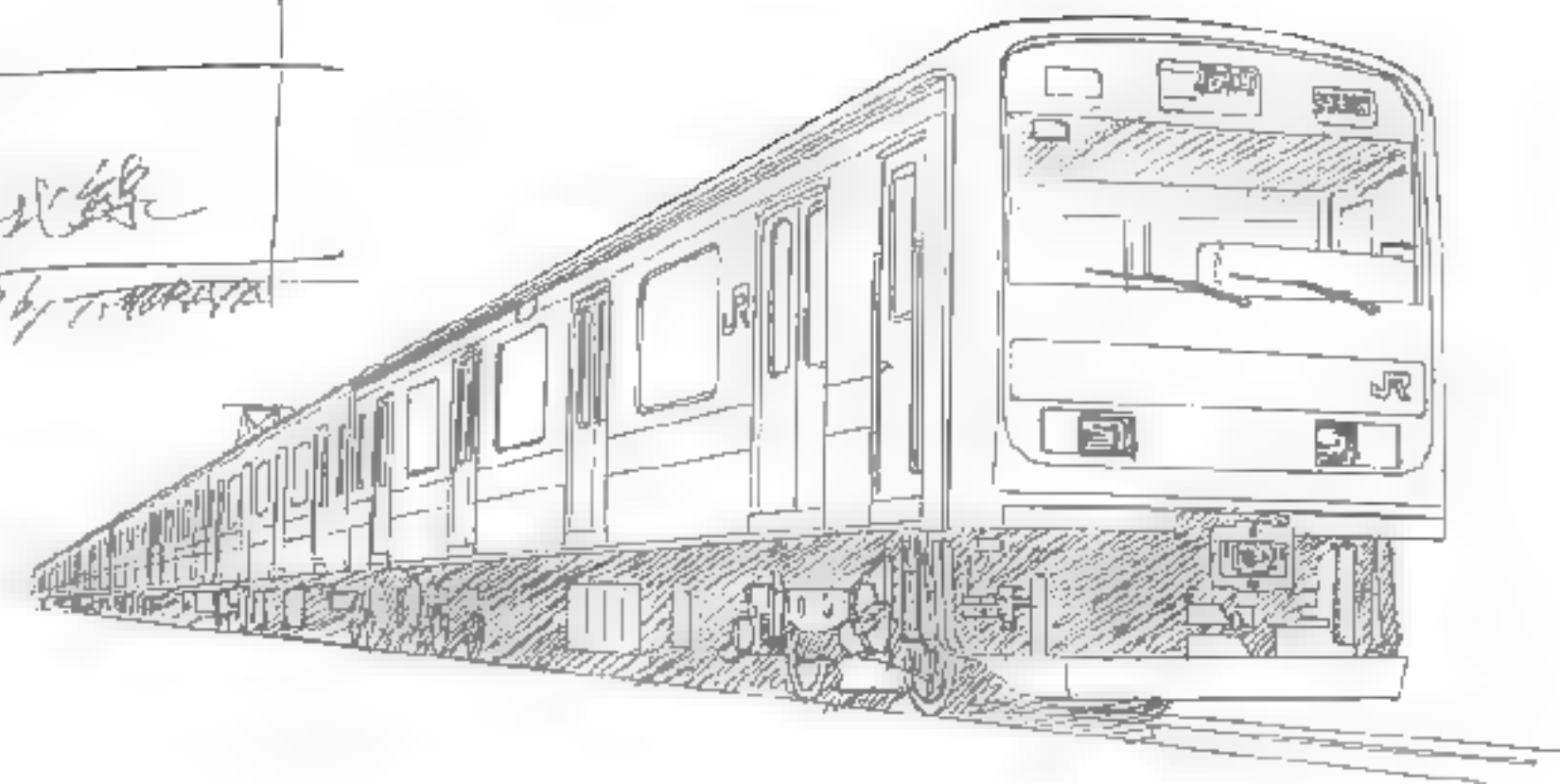
トライアルバイク



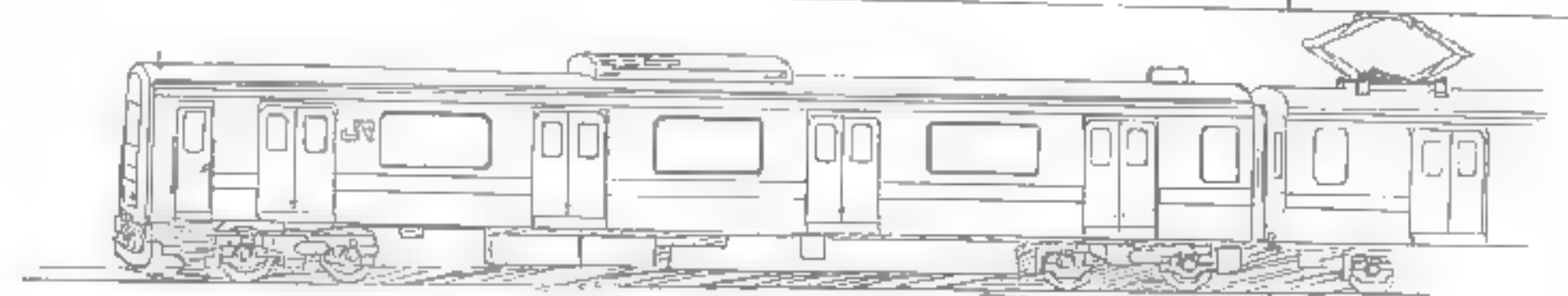
#11 京東線
2004.5.21 by T. MORIYA



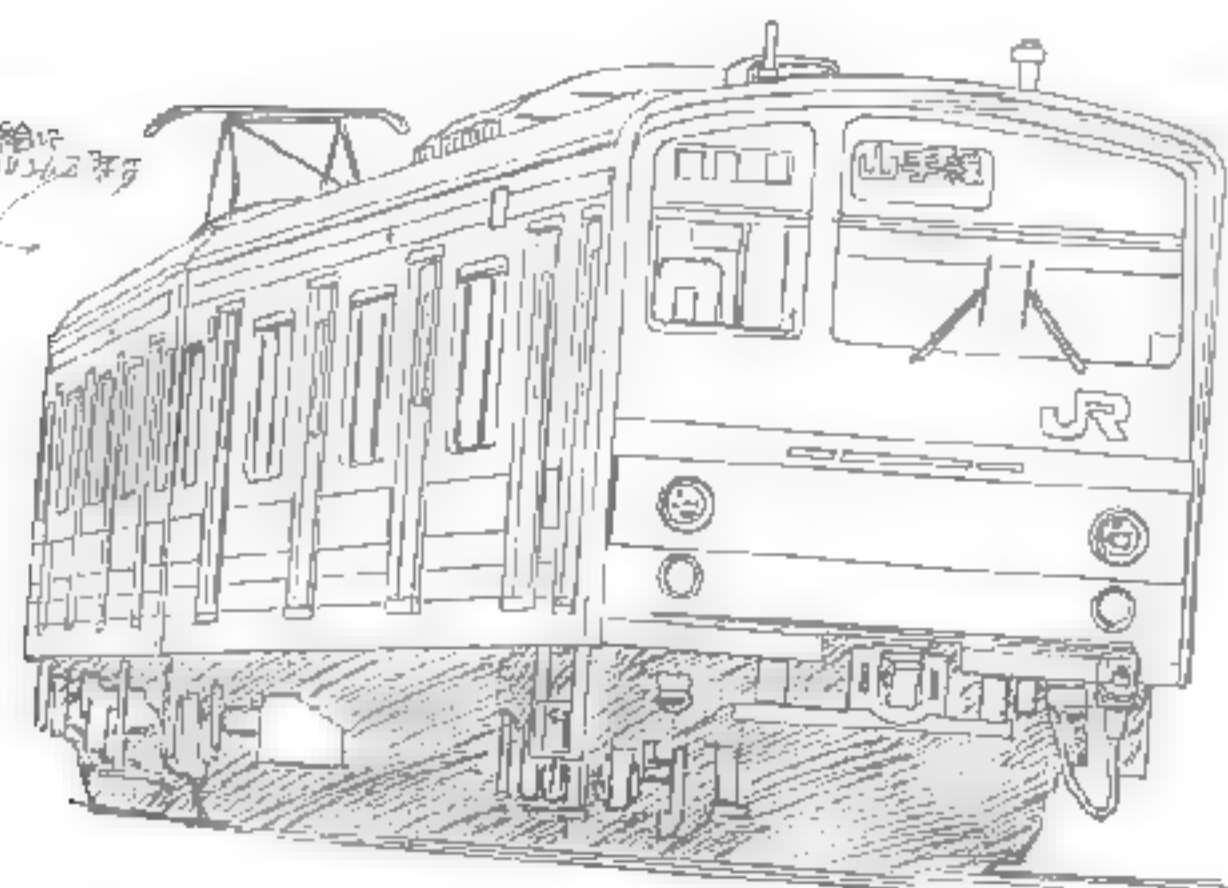
京東交通局 12-000形



#37
東横東北線
1999.4.17 by T. MORIYA

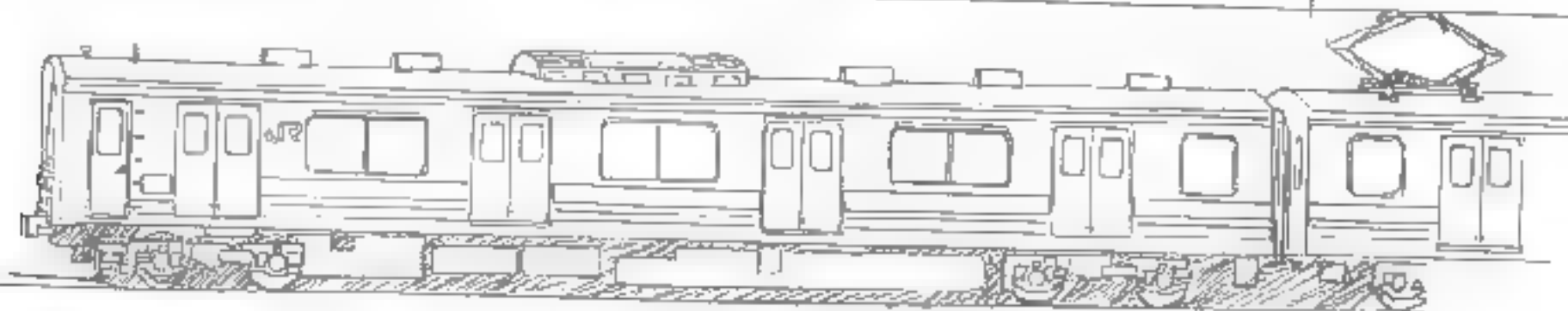


JR東日本 209系

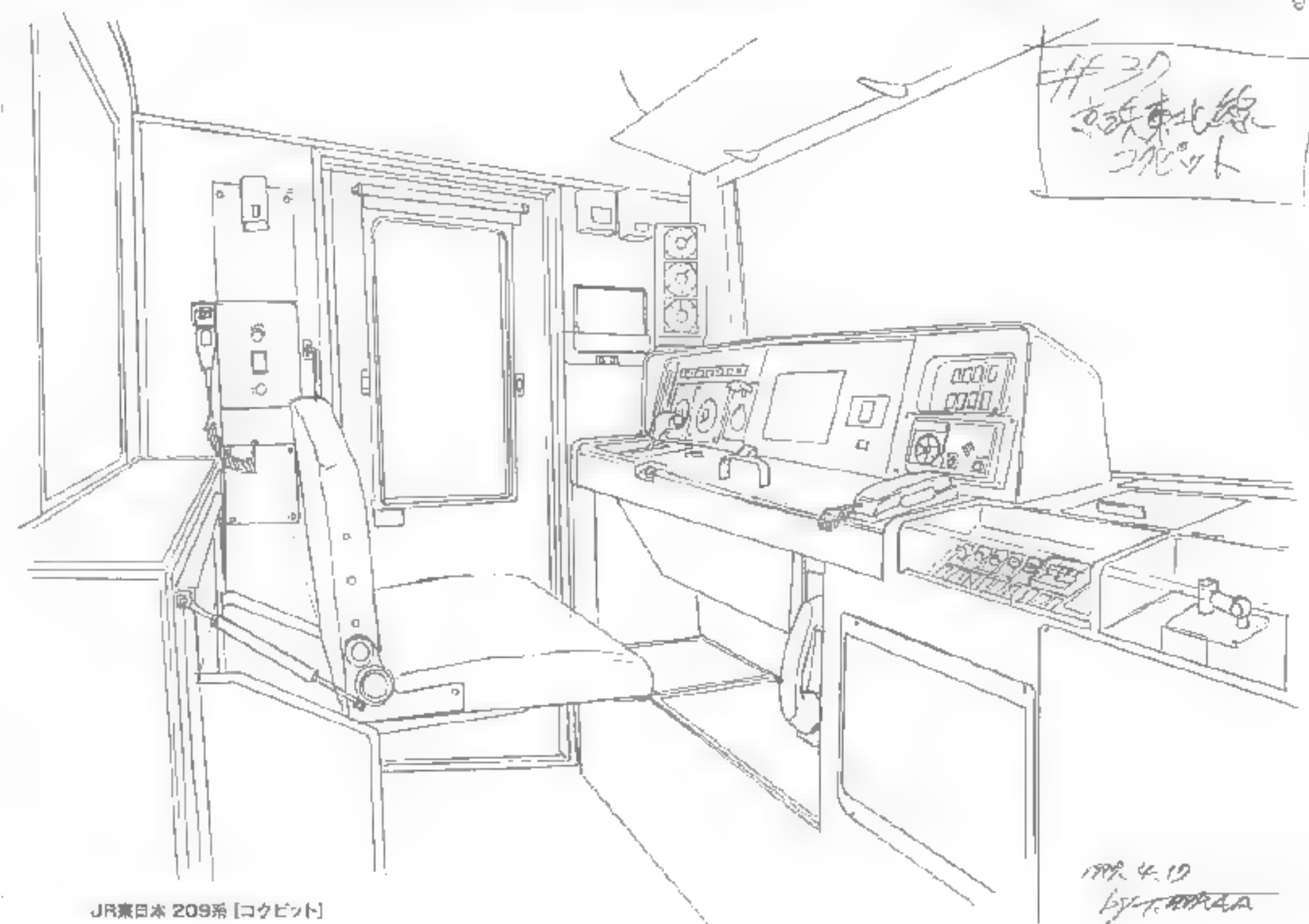


この車は
コクピットに
乗ることも
できる

#37 山手線
1999.4.17 by T. MORIYA



JR東日本 205系

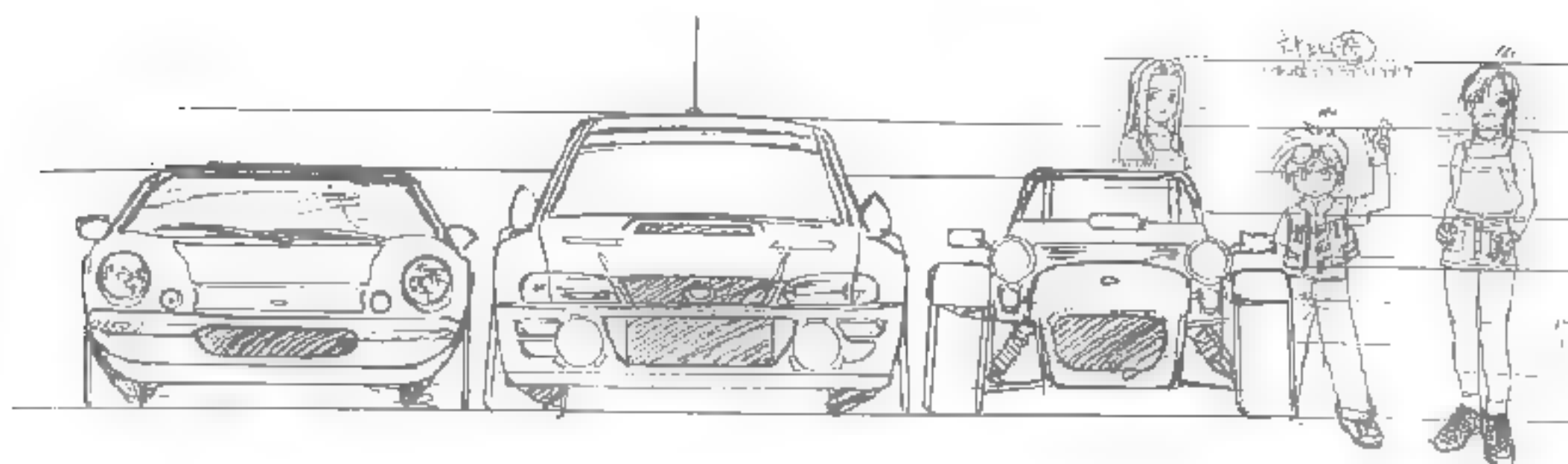


#37
東横東北線
コクピット

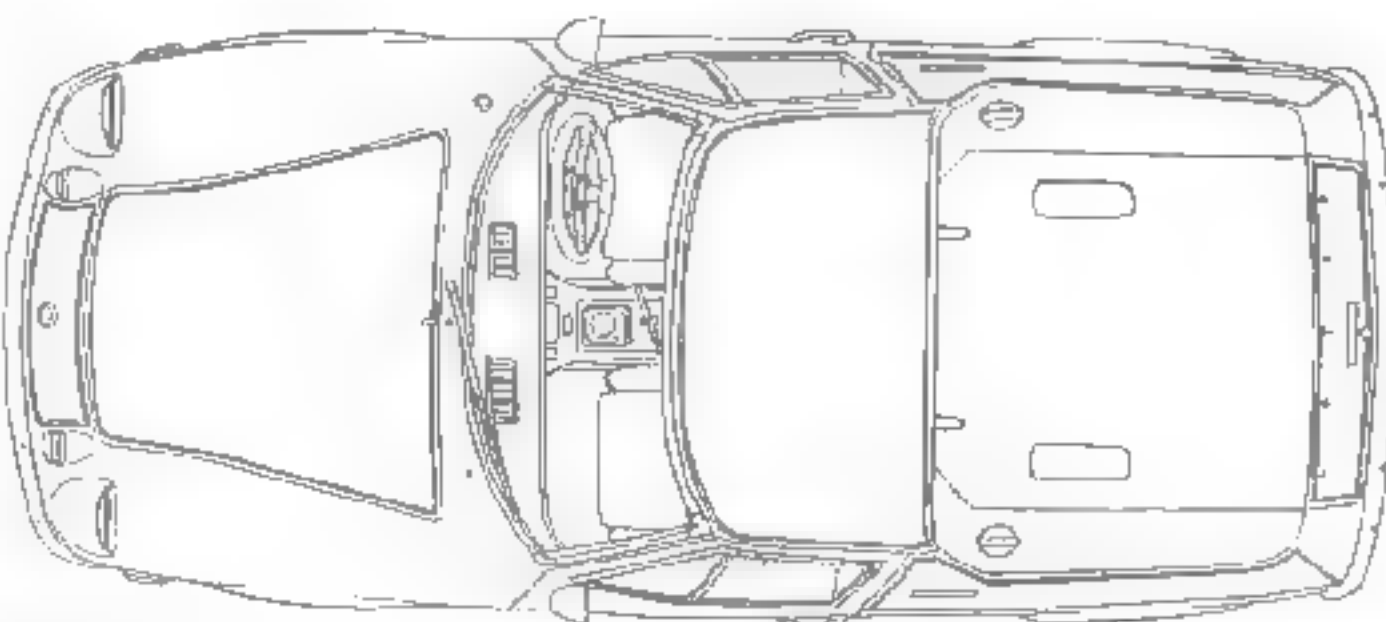
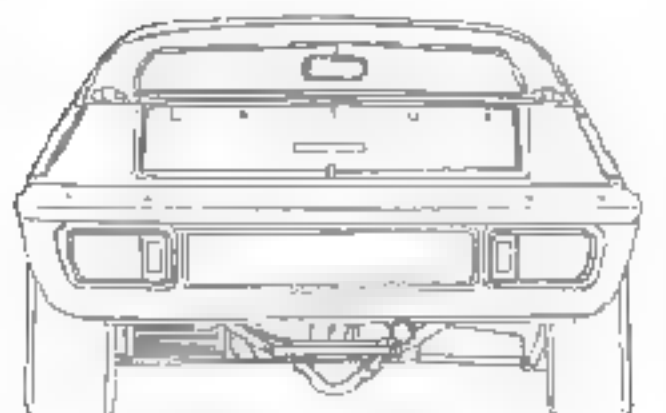
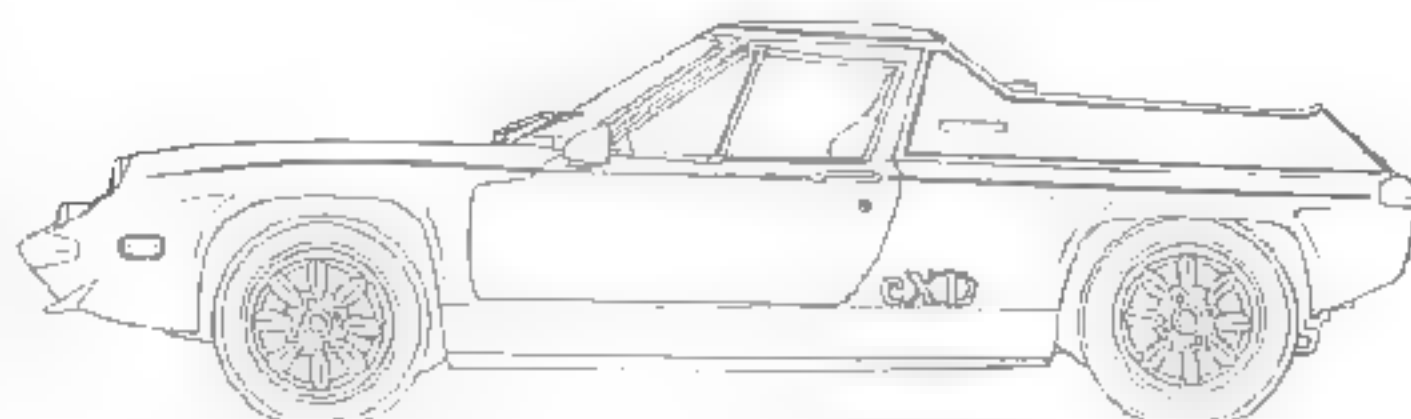
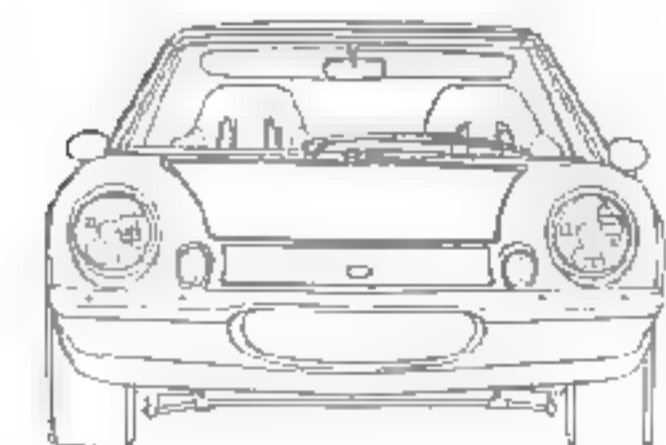
JR東日本 209系 [コクピット]

1999.4.17
by T. MORIYA

3人との対比 (参考)

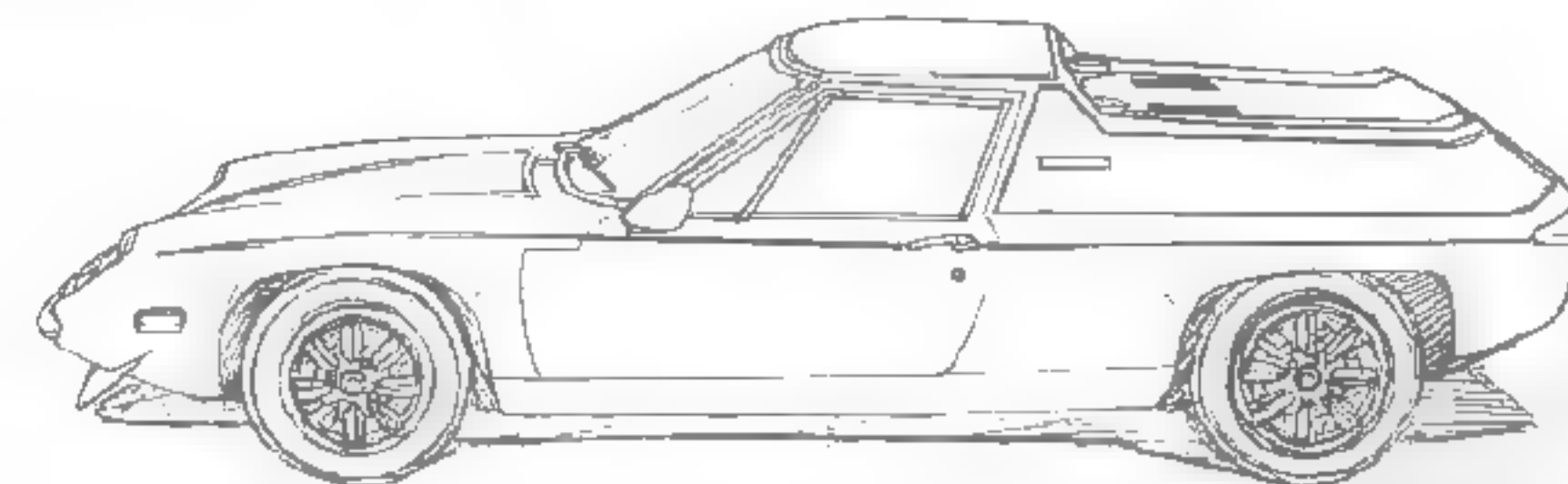
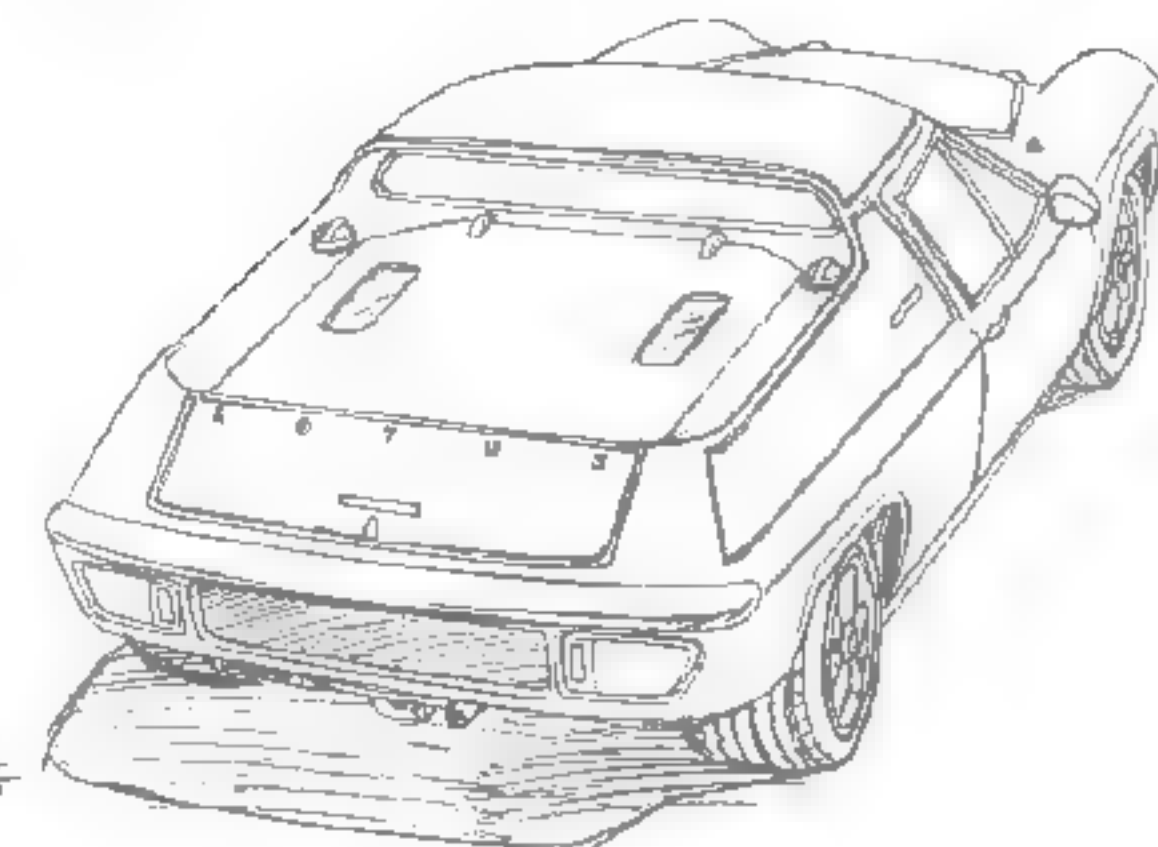
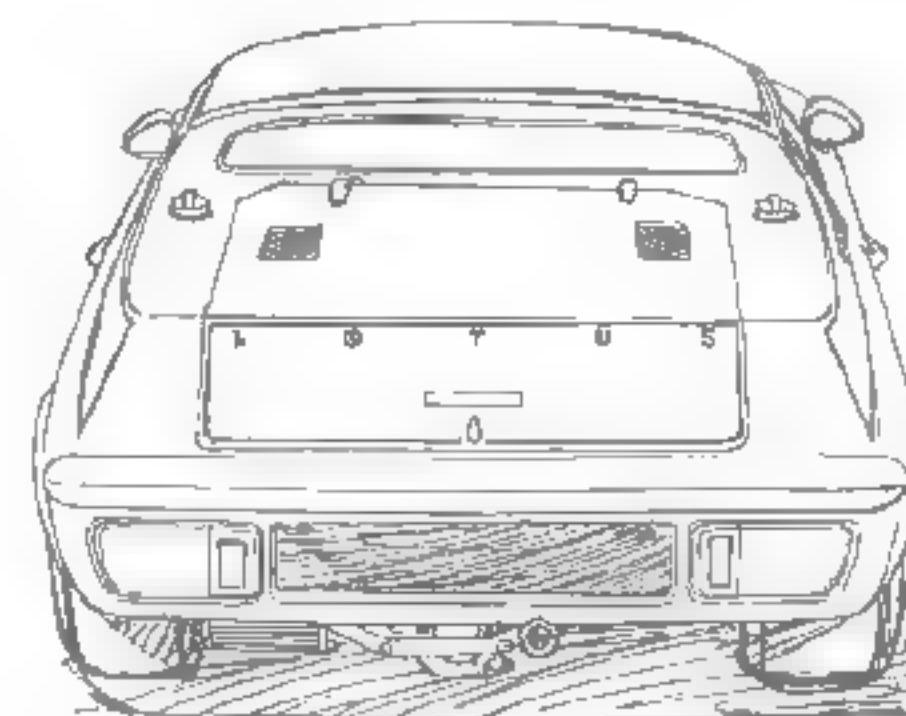
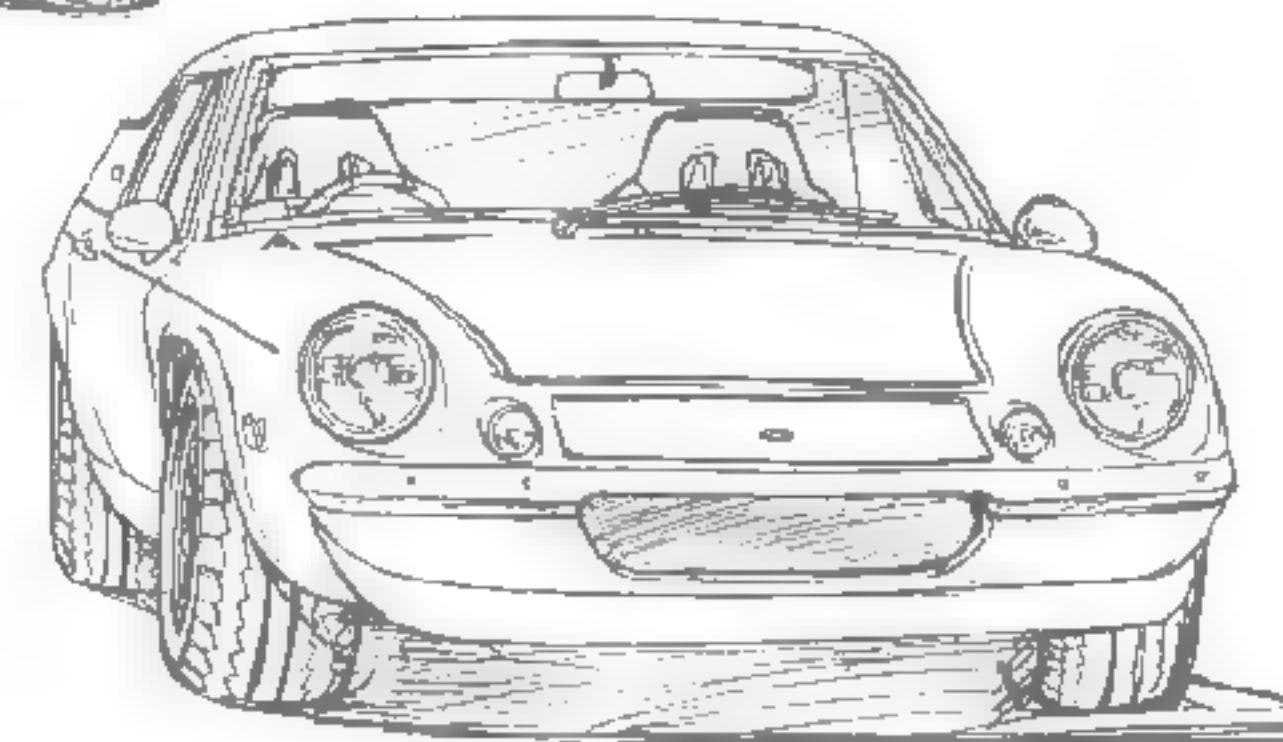


3人と車の対比参考



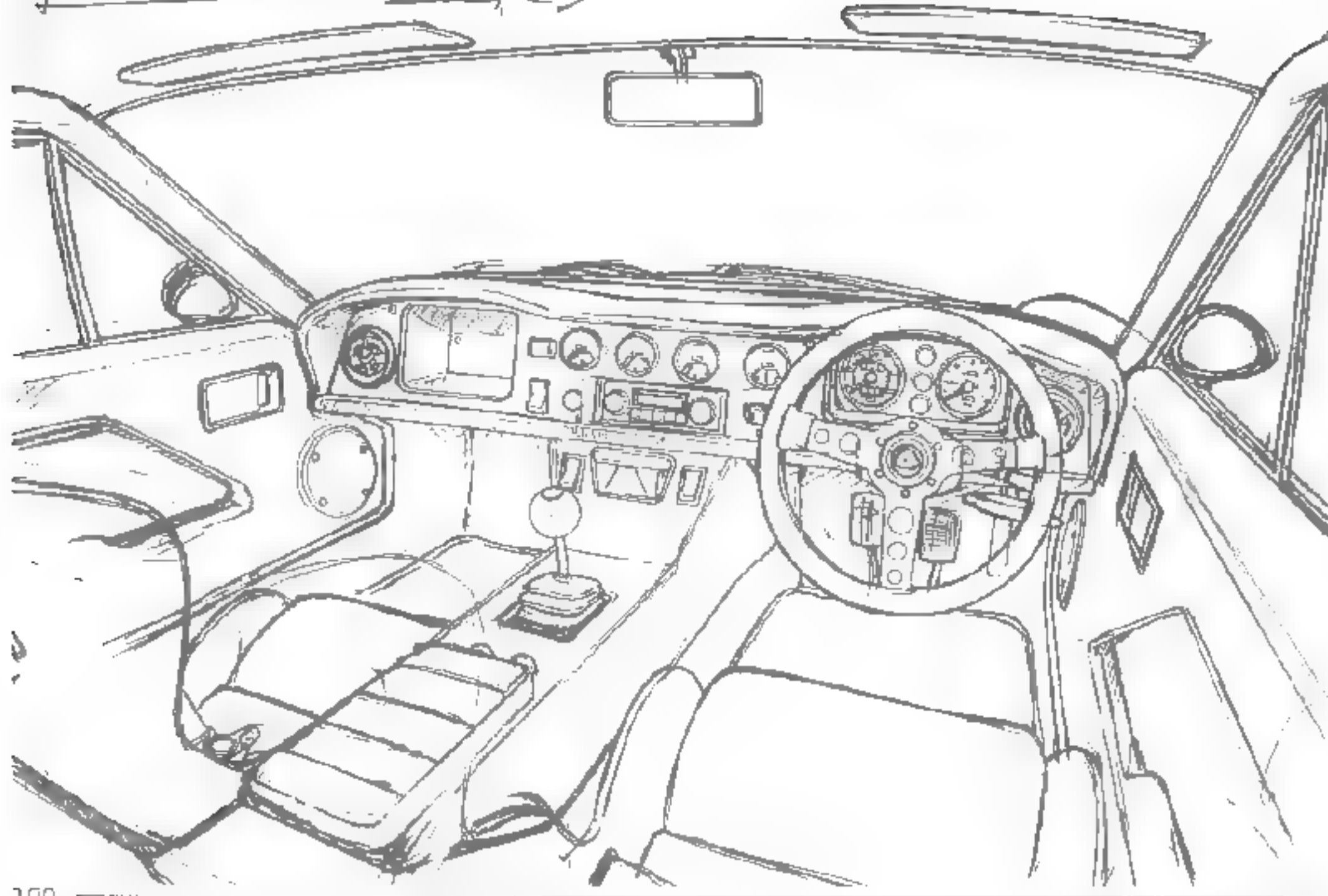
ロータス ヨーロッパ SP
2000.10.2 by K. MORIYA

ロータス ヨーロッパ (四视图)

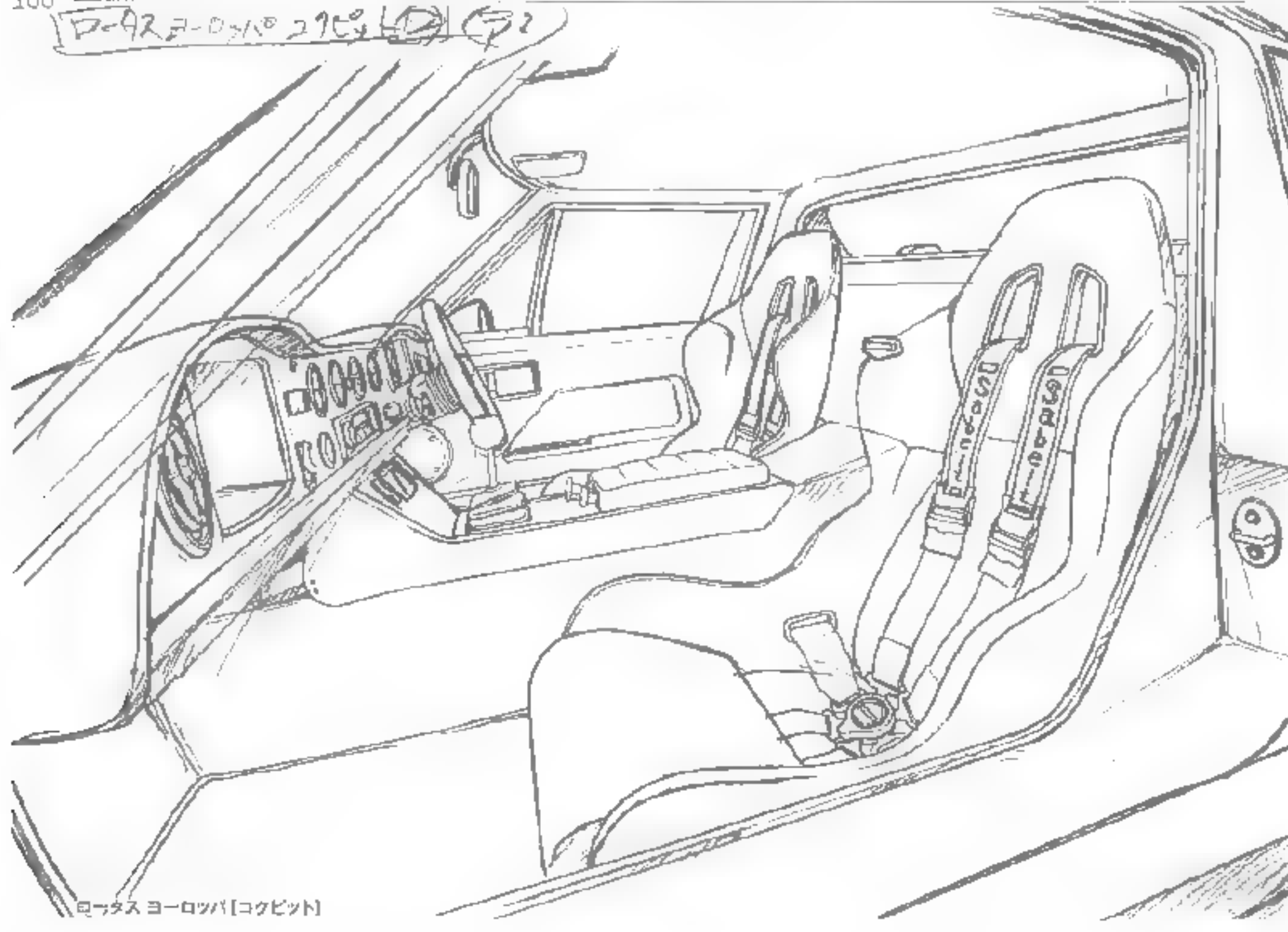


ロータス ヨーロッパ

トヨタ・ランドクルーザー (3)

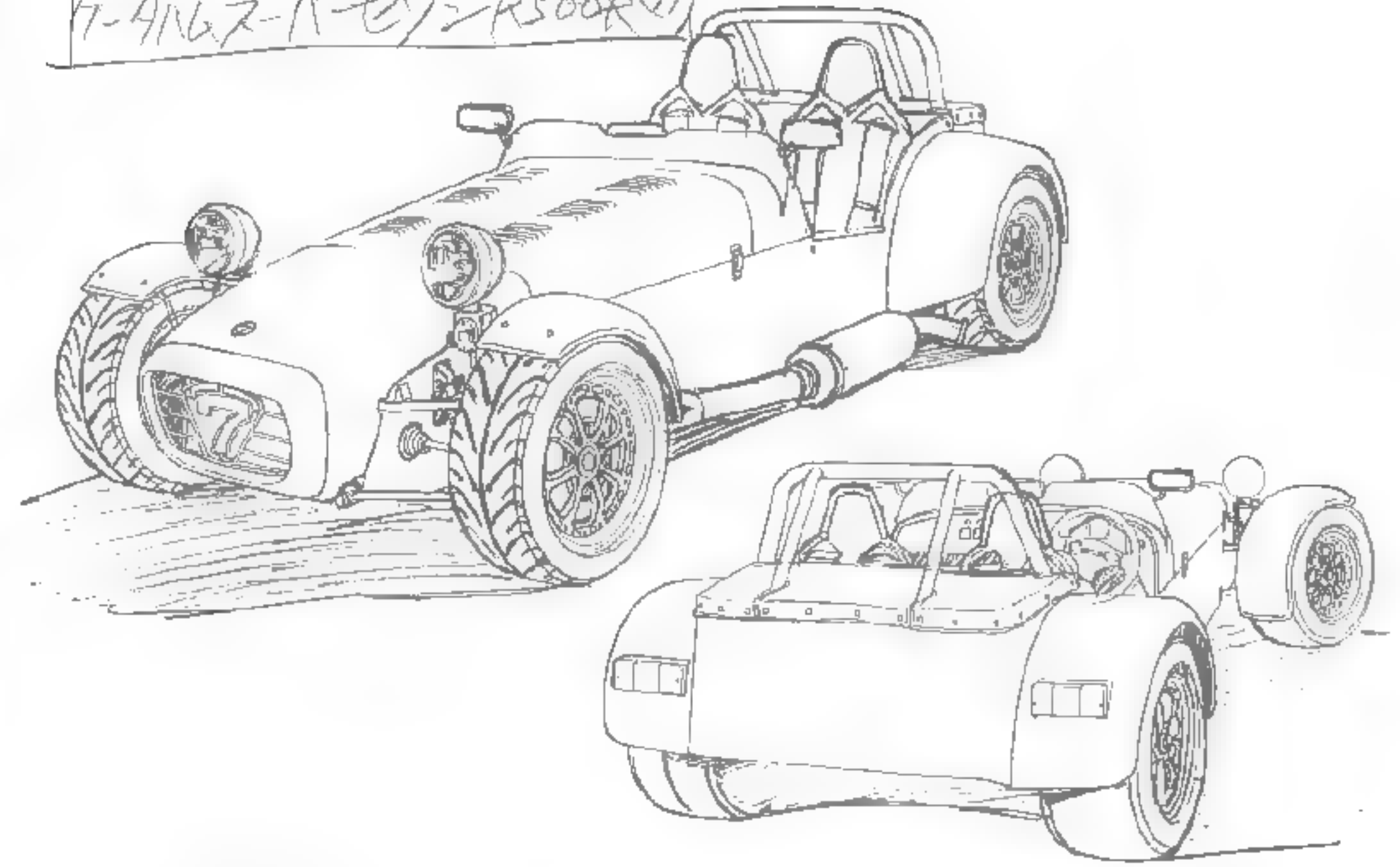


トヨタ・ランドクルーザー (3)



トヨタ・ランドクルーザー (コックピット)

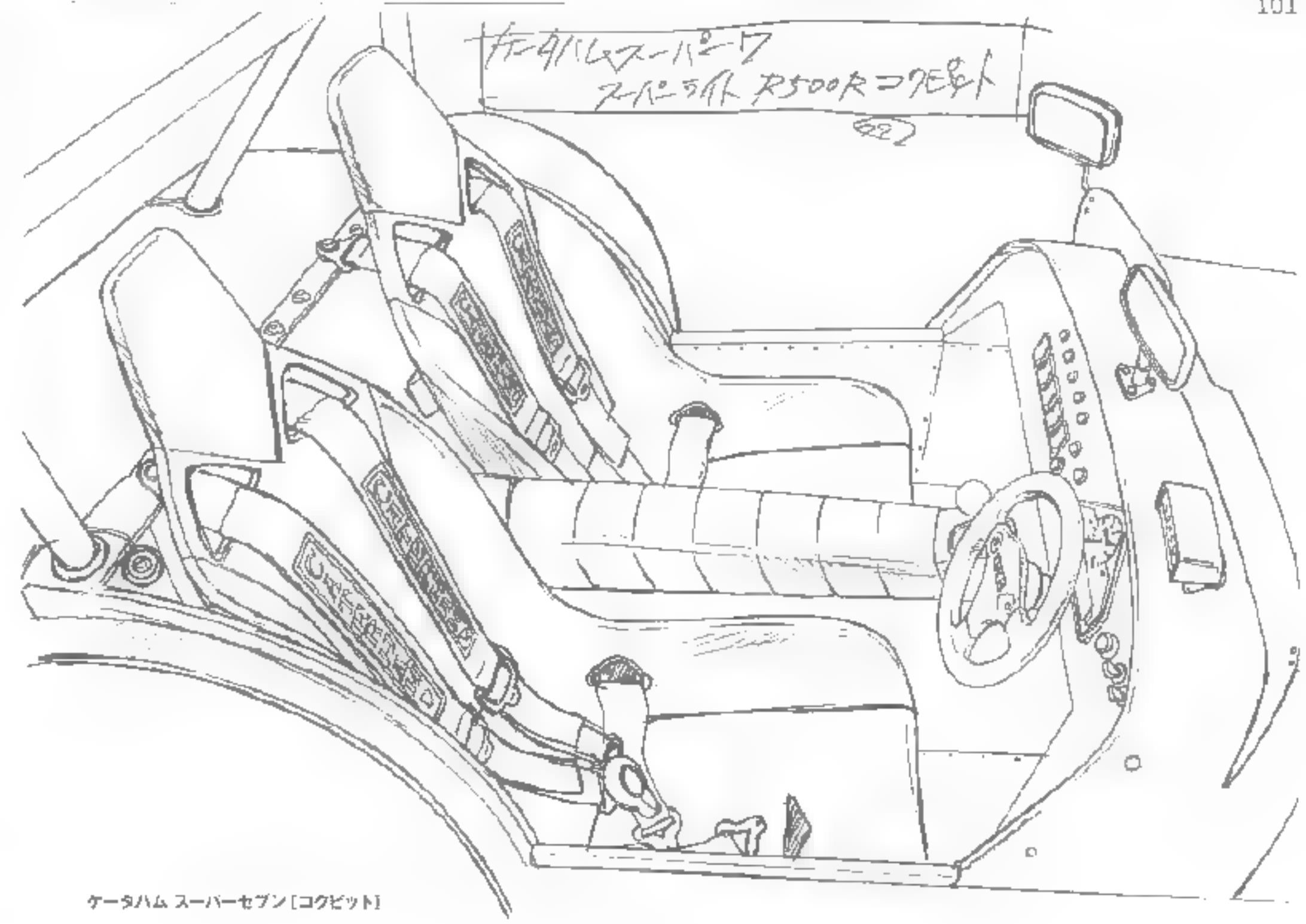
トヨタ・ランドクルーザー R500R (3)



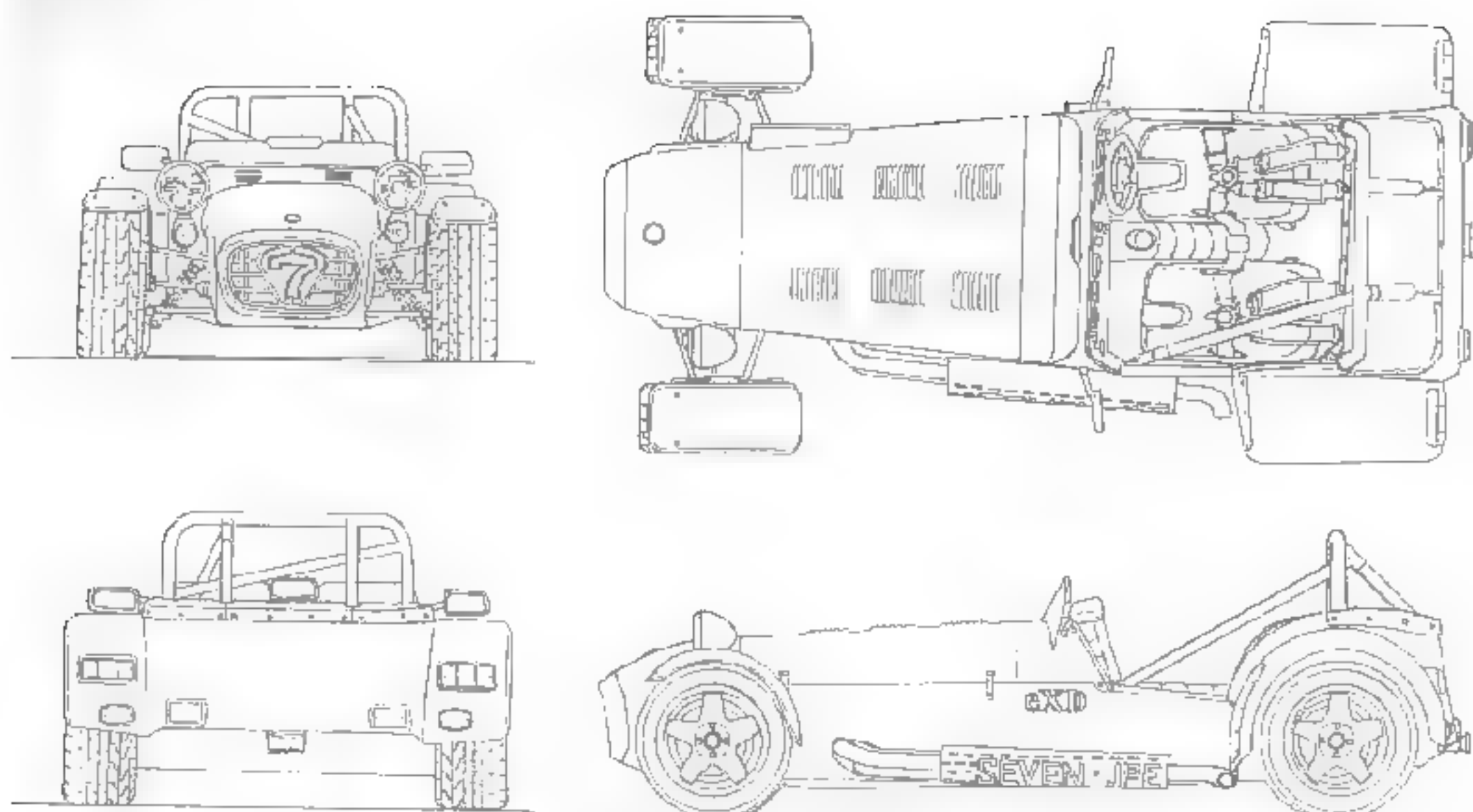
トヨタ・ランドクルーザー

101

トヨタ・ランドクルーザー R500R (3)

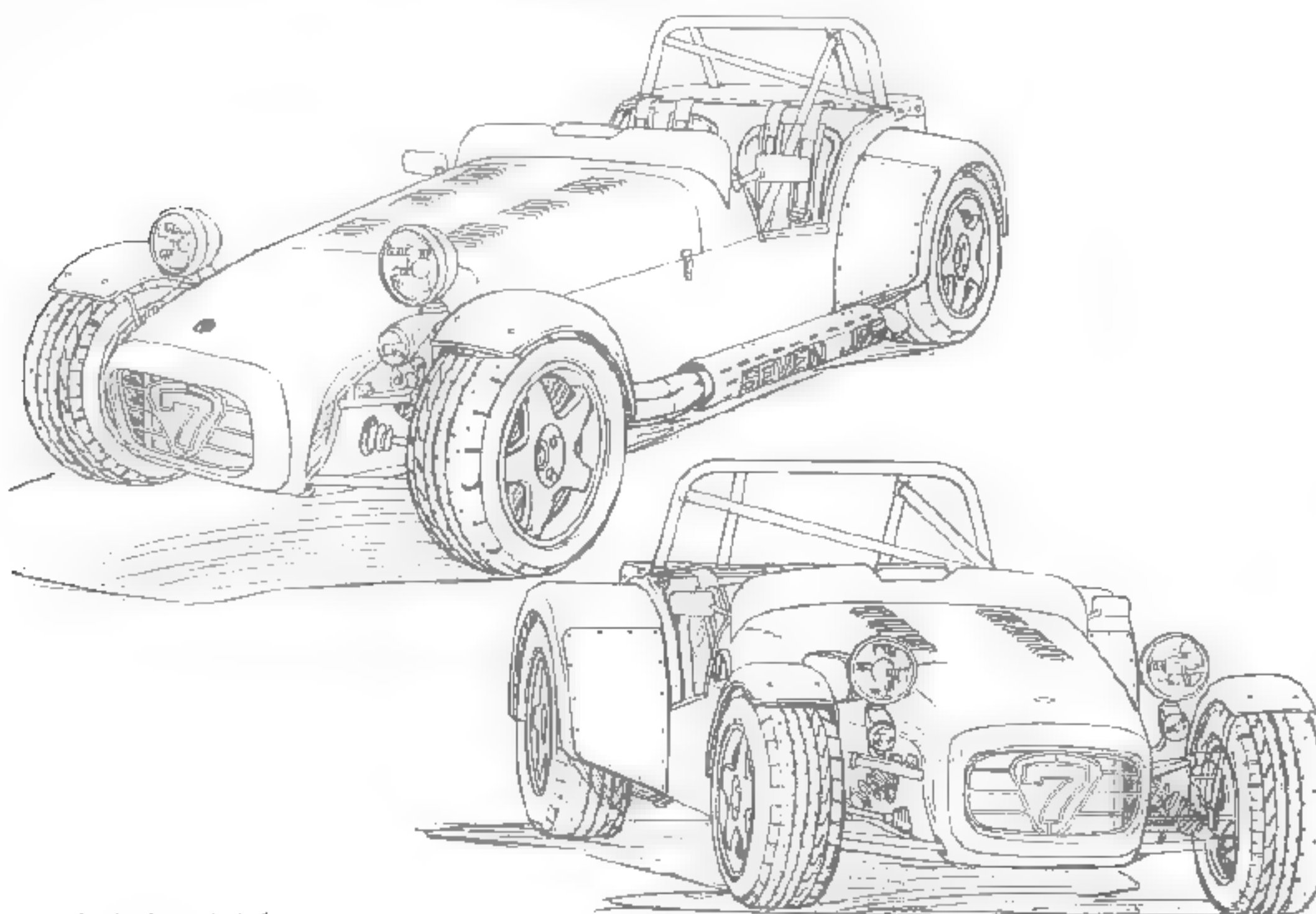


トヨタ・ランドクルーザー (コックピット)

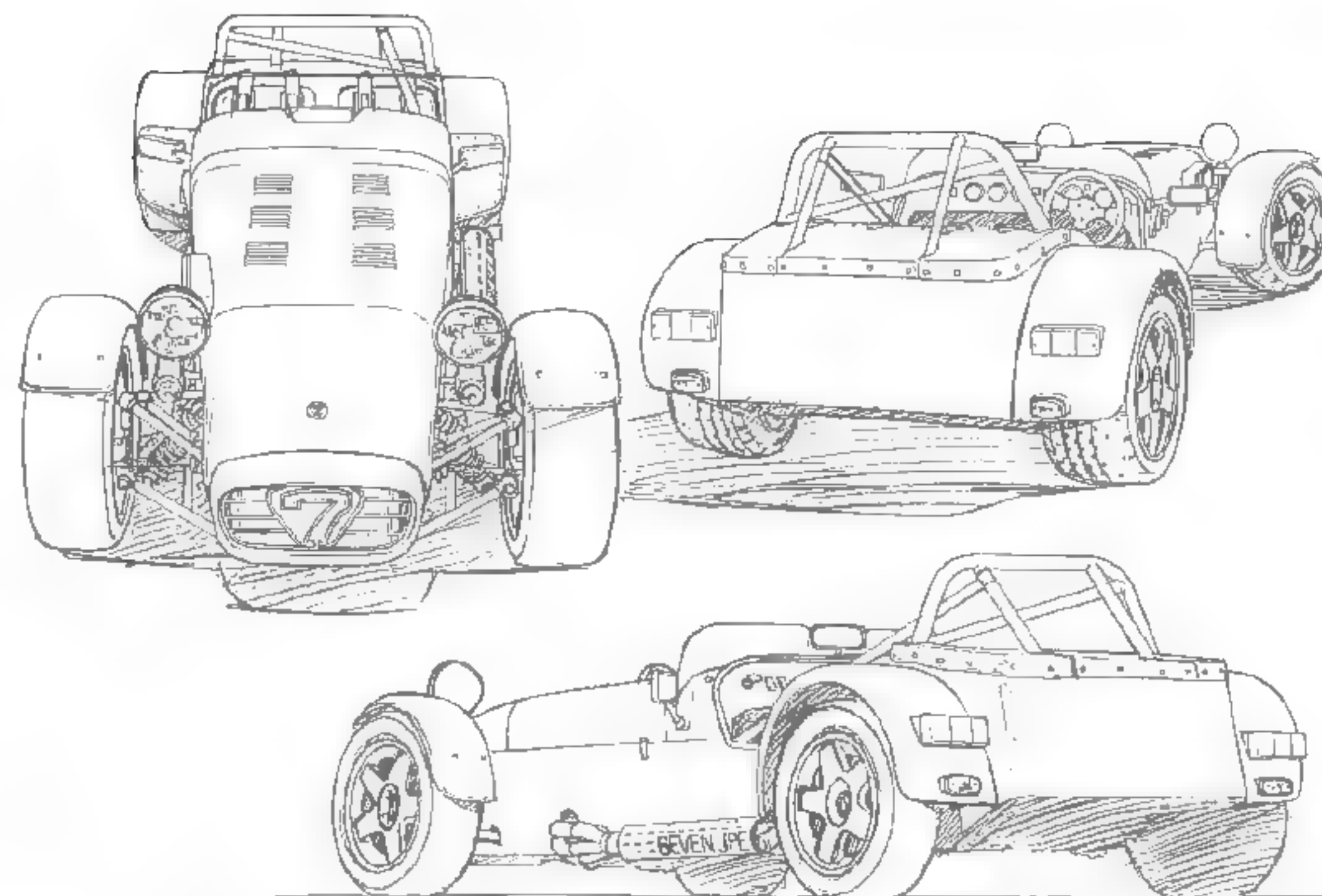


14-タムス-10-7 JPE 4面図
2000.10.5 by T. ARAI
ケータム スーパーセブン [四面図]

102

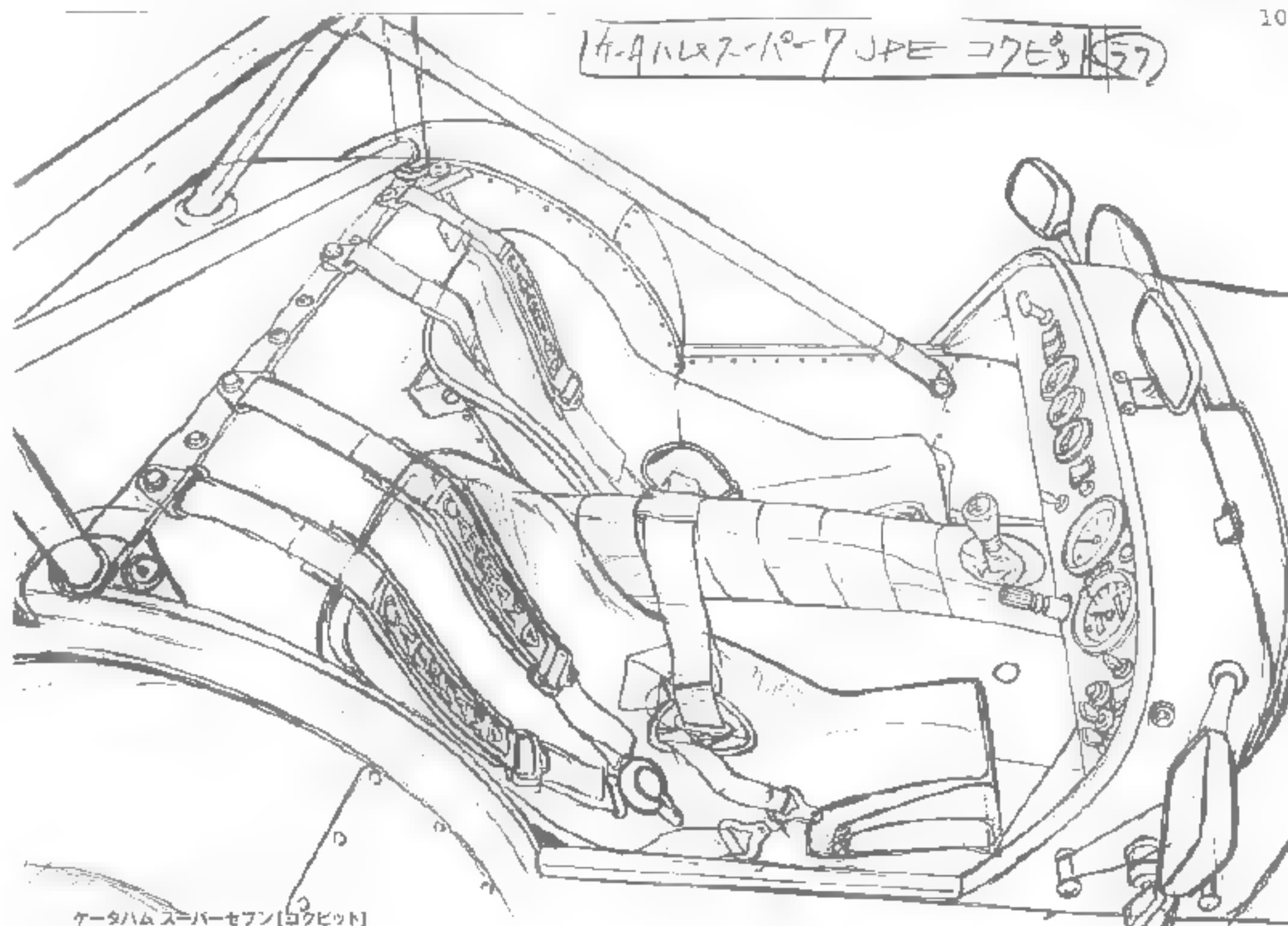


ケータム スーパーセブン

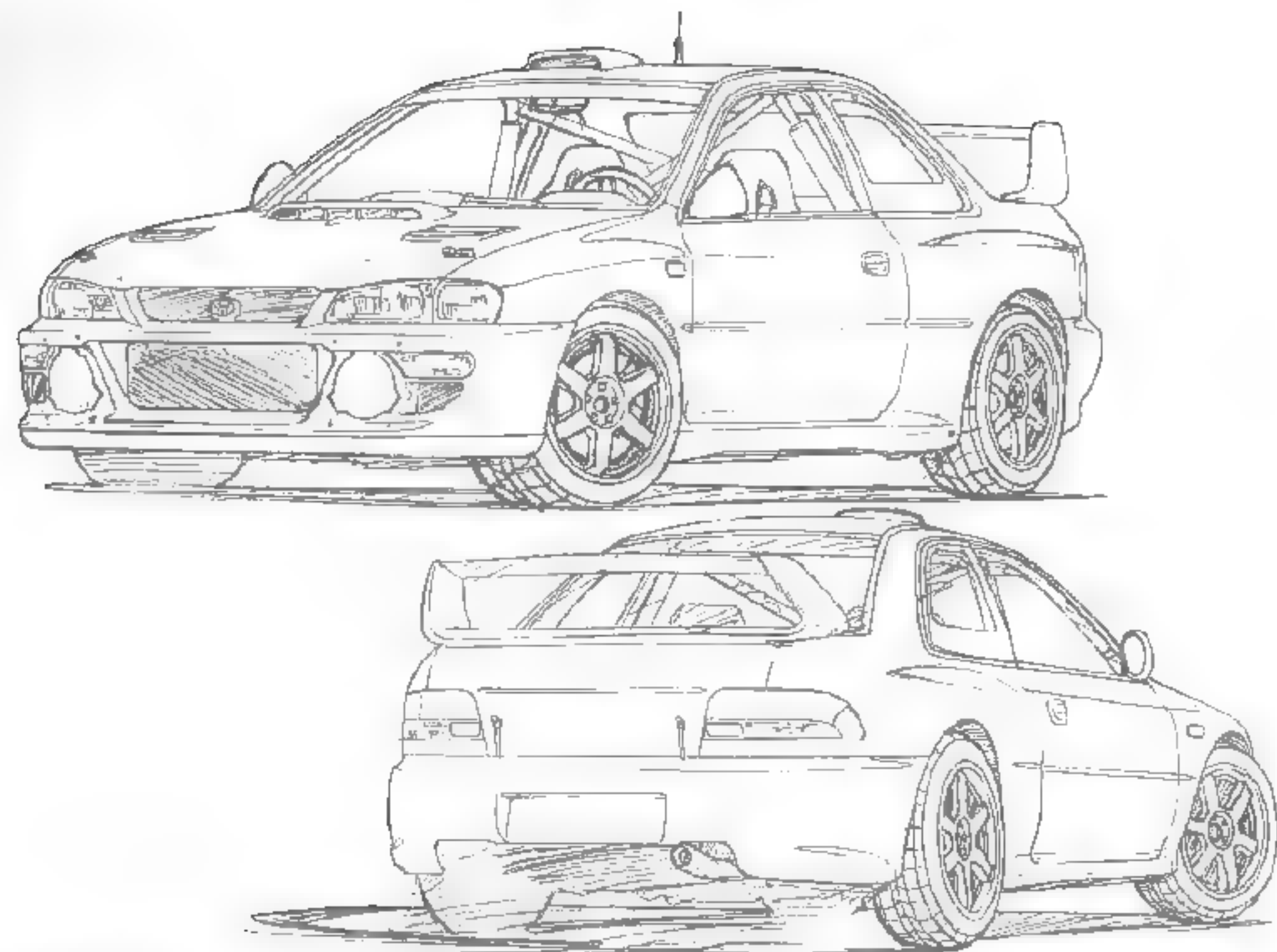


ケータム スーパーセブン

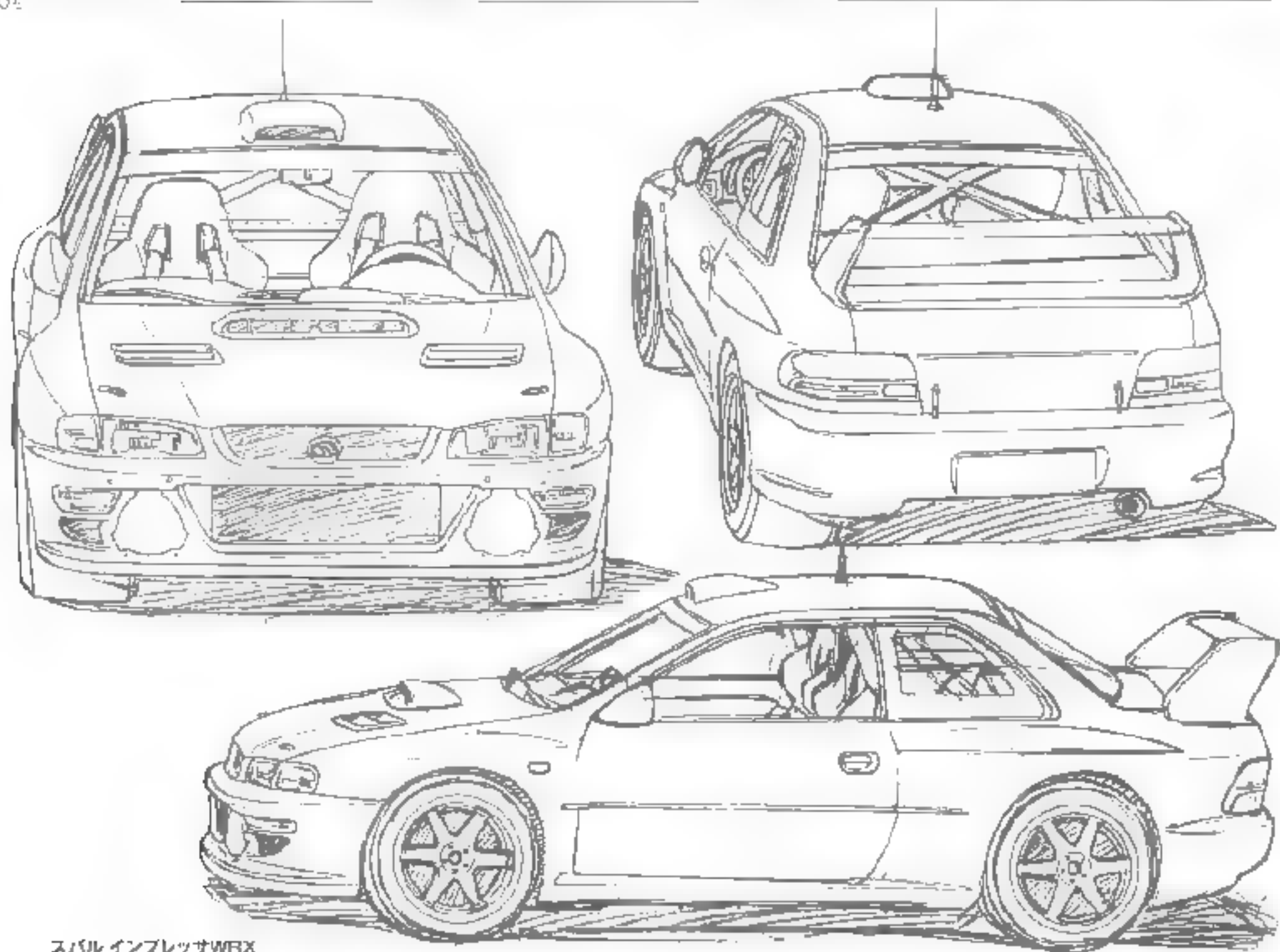
103



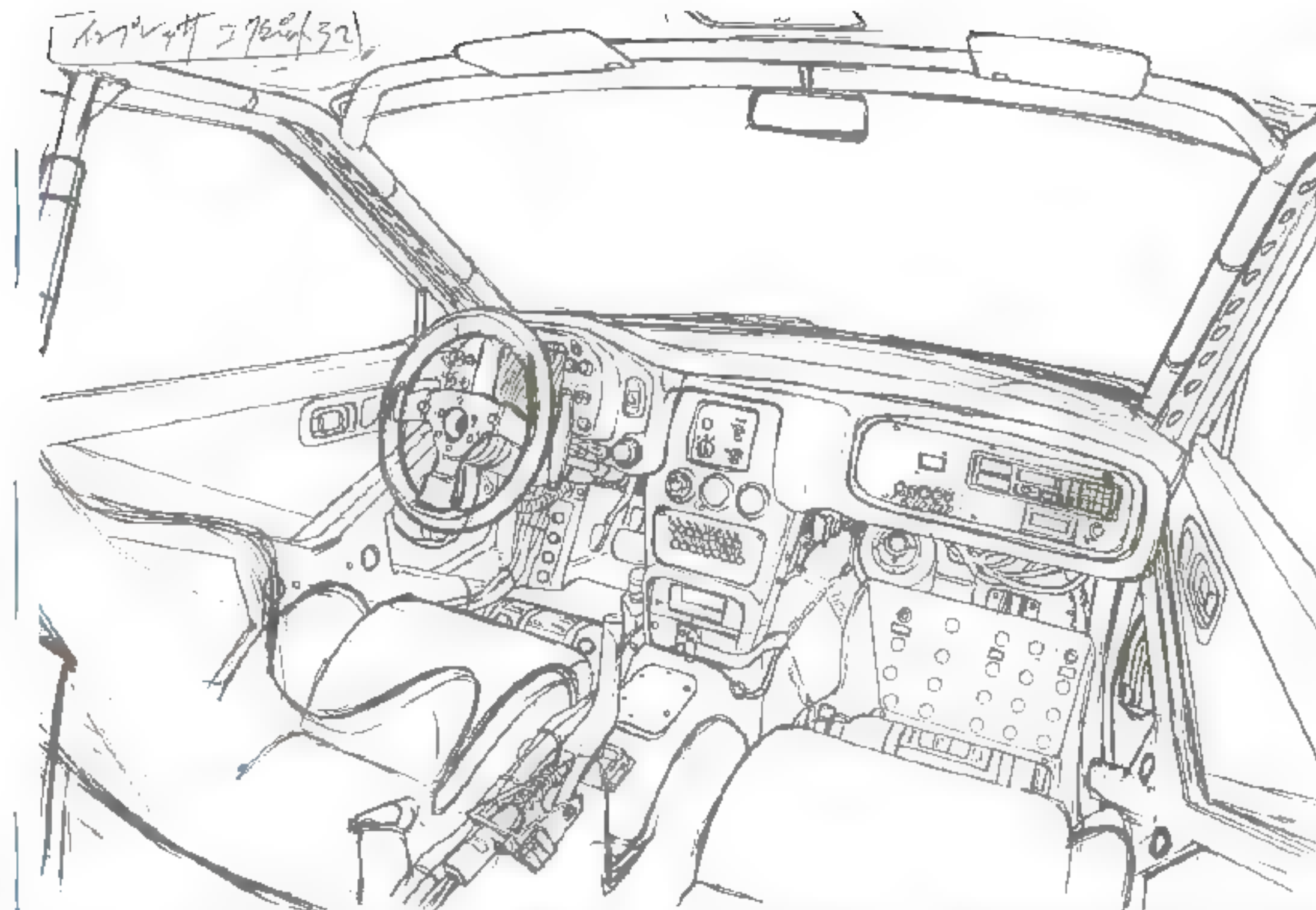
ケータム スーパーセブン [コクピット]



104

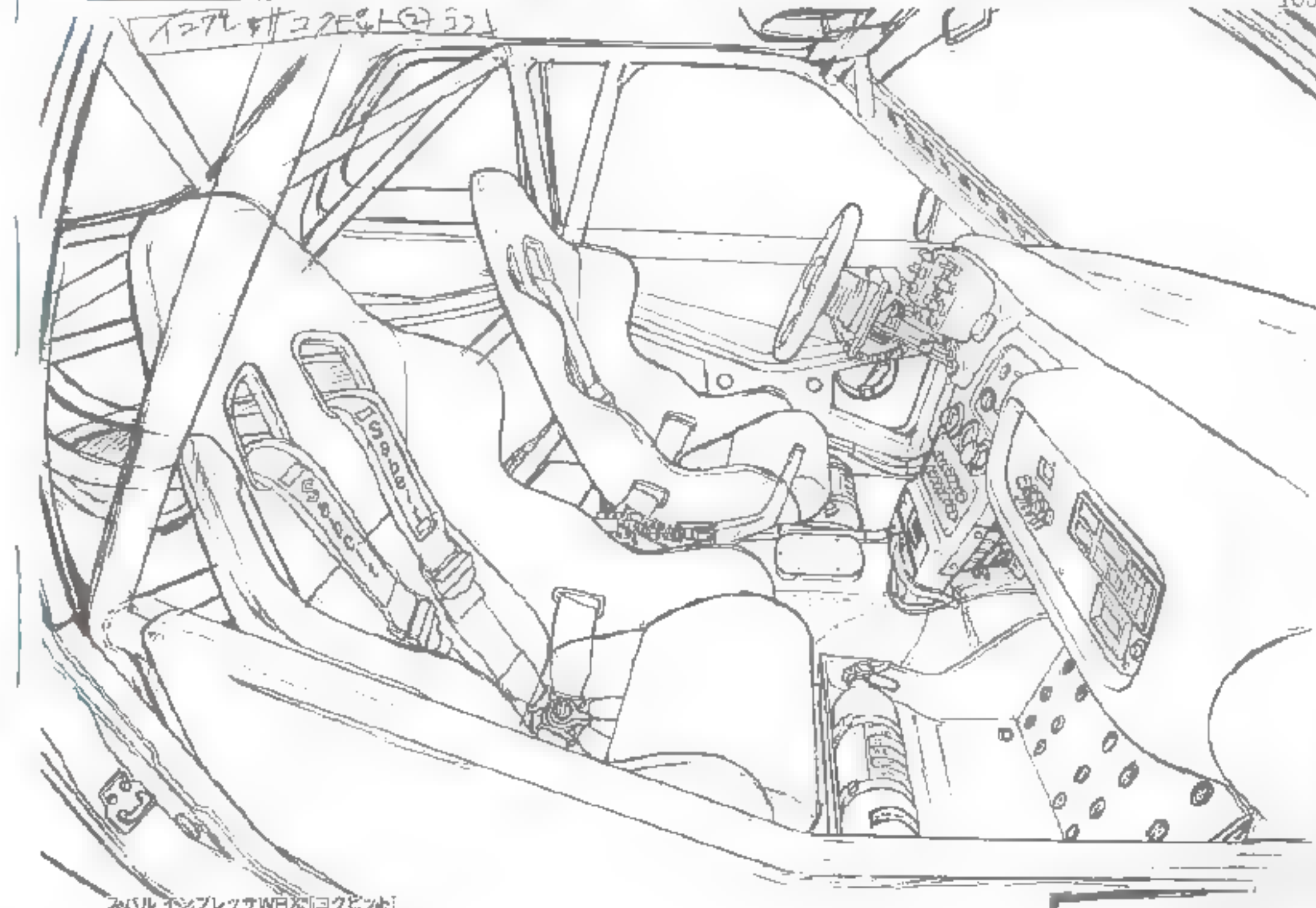


スバル インプレッサWRX



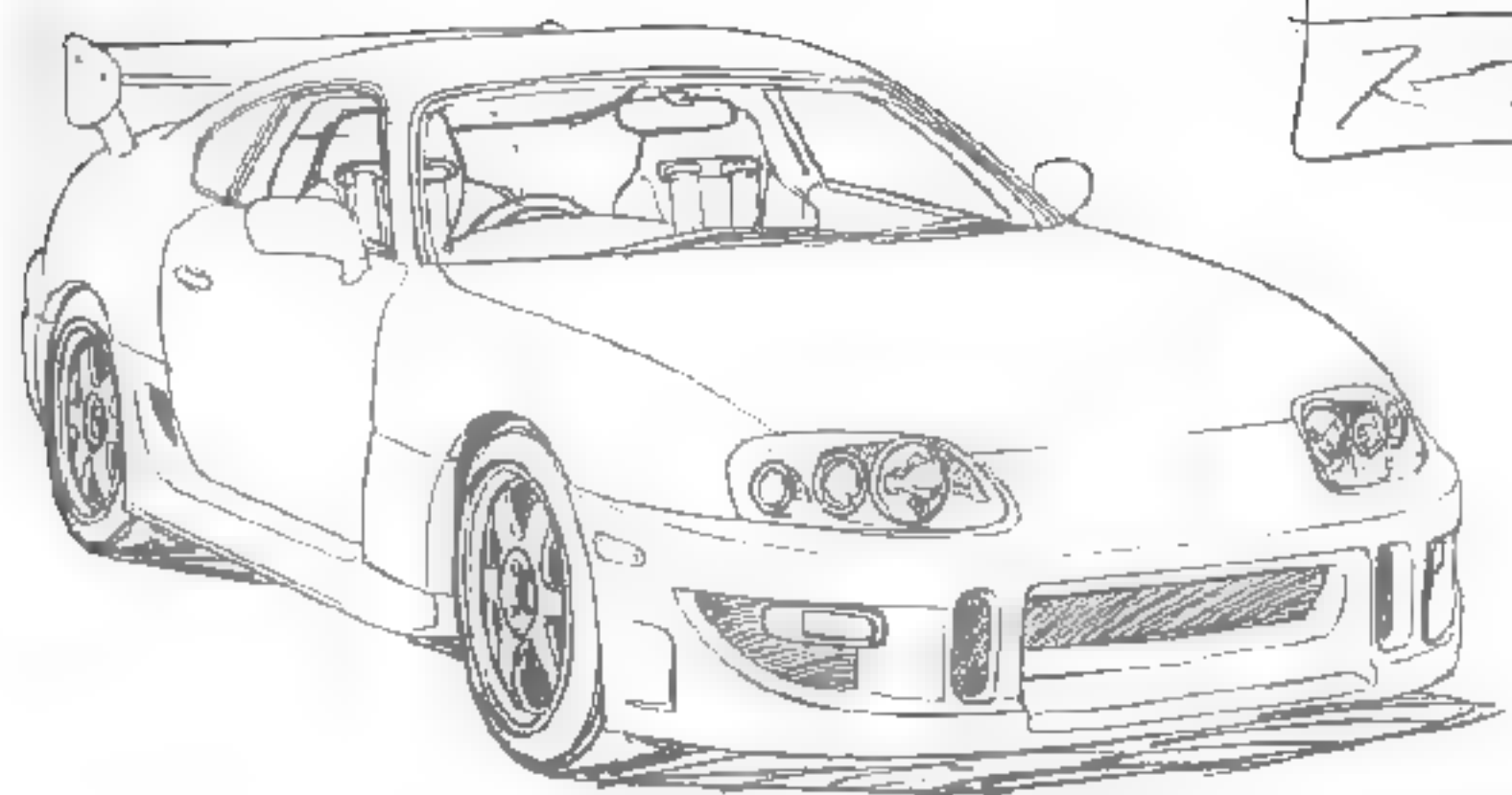
インプレッサWRX(32)

105



インプレッサWRX(32)

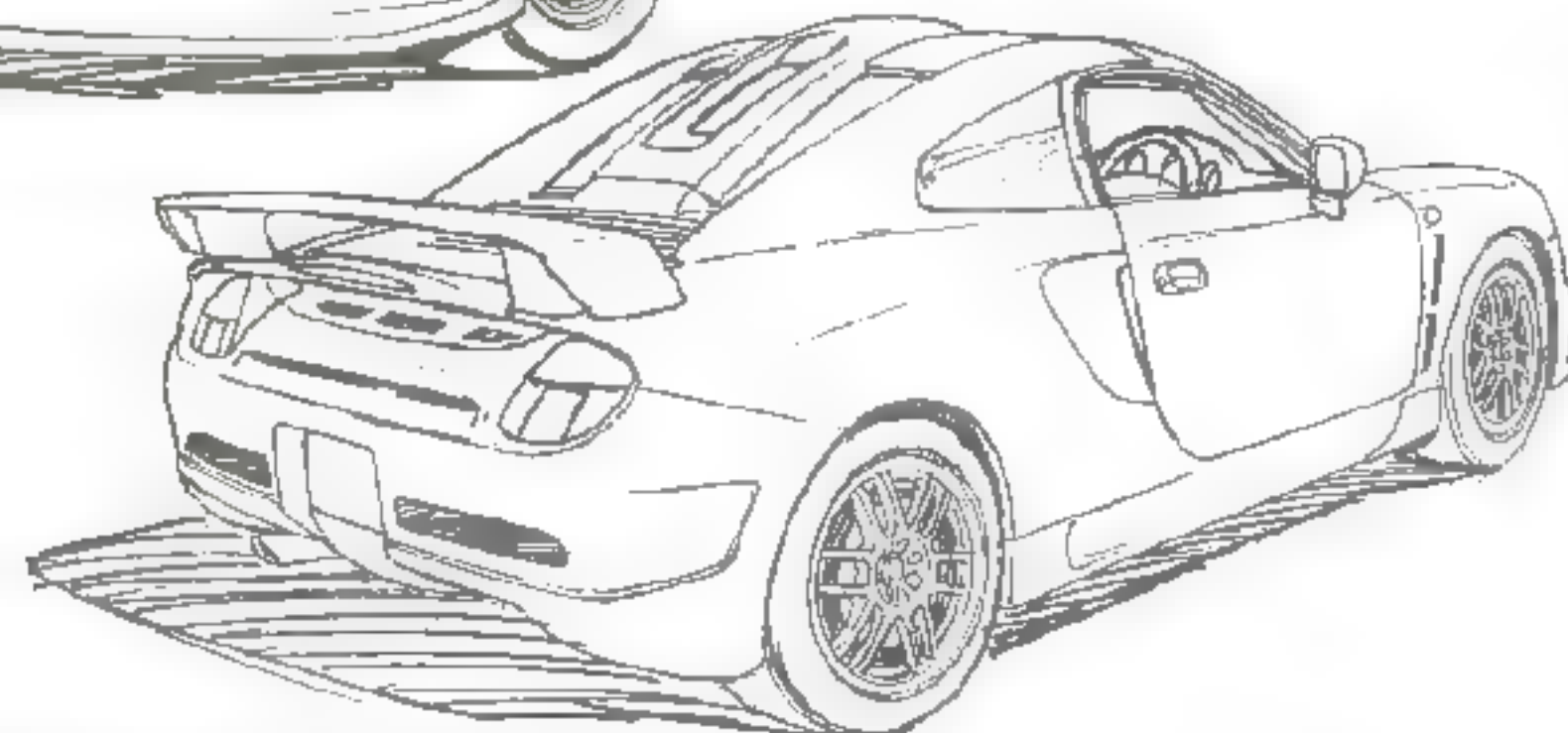
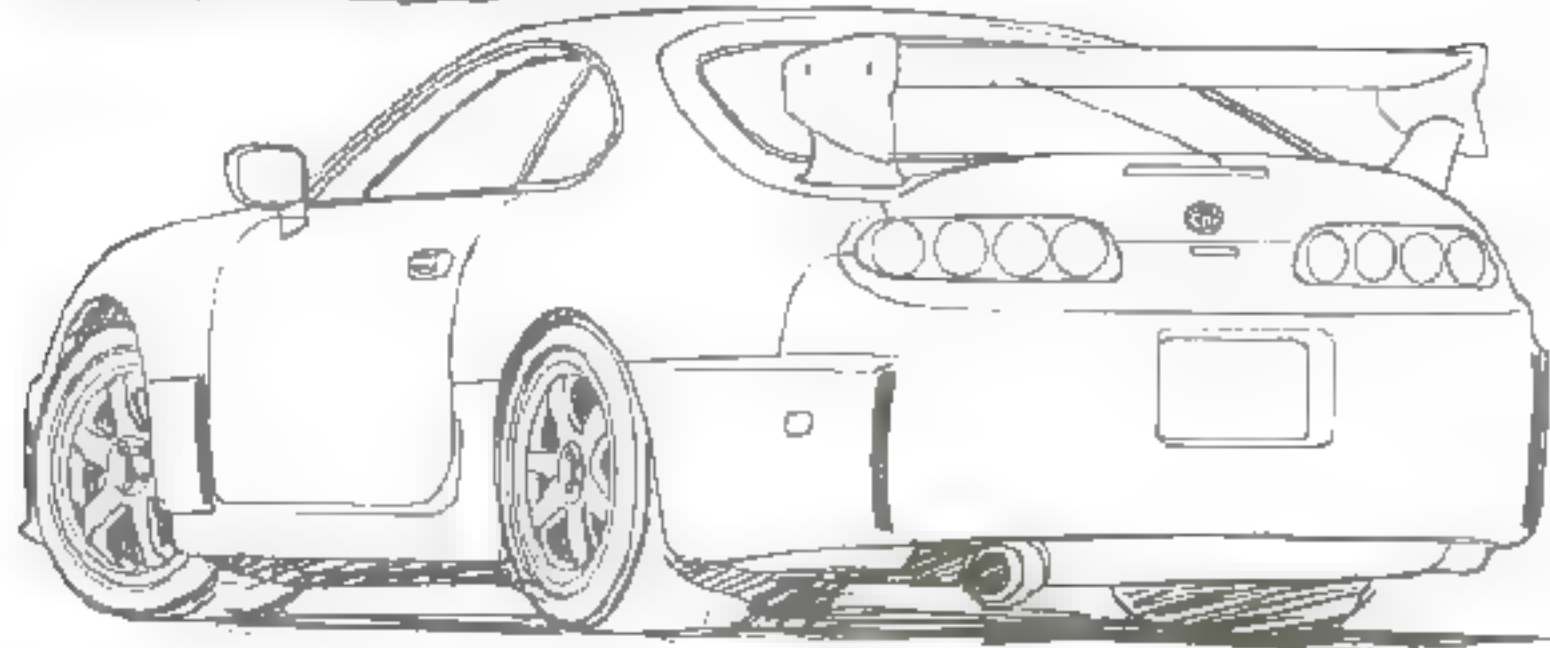
スバル インプレッサWRX(32)



Z-190

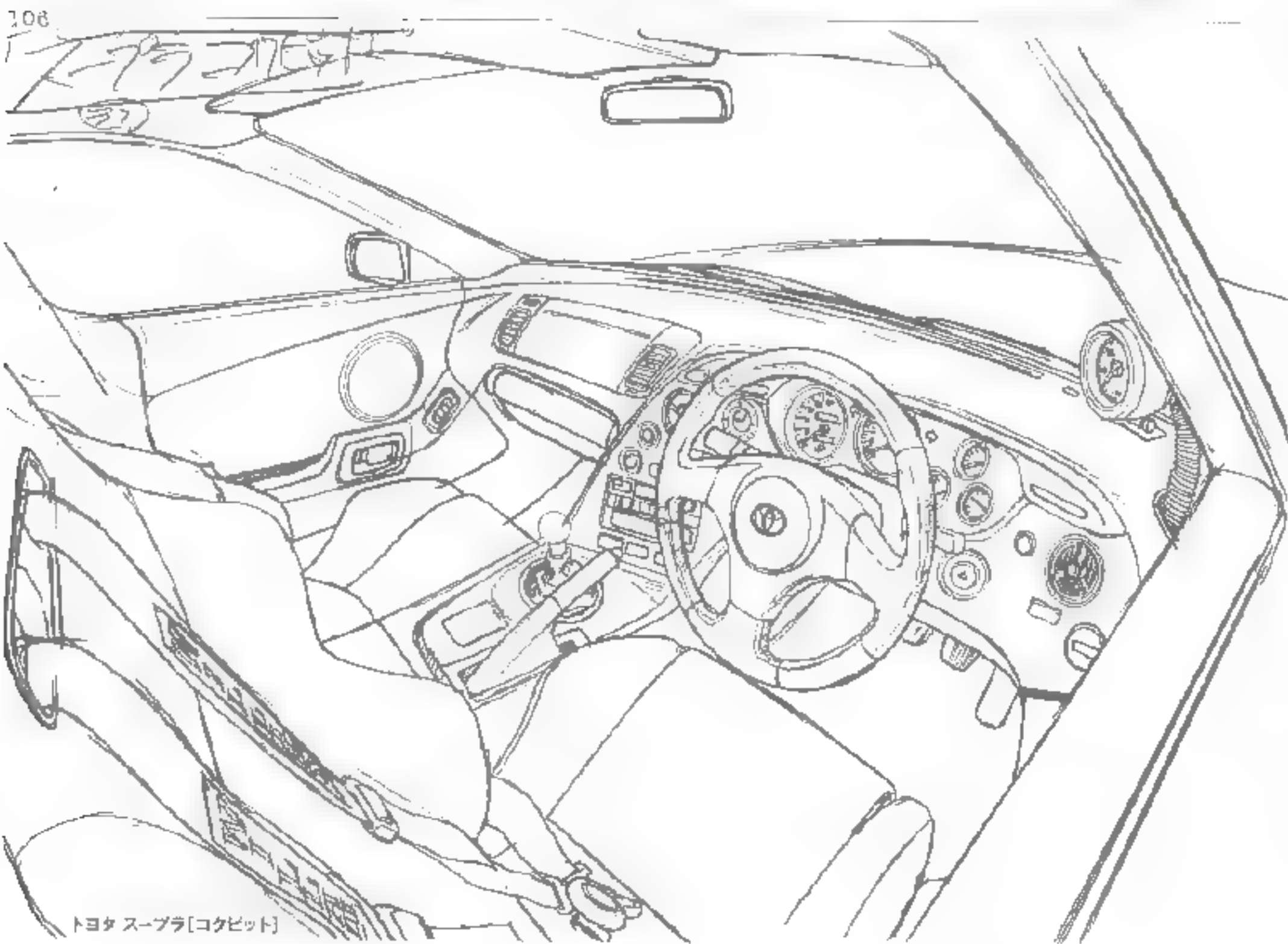


MR-S

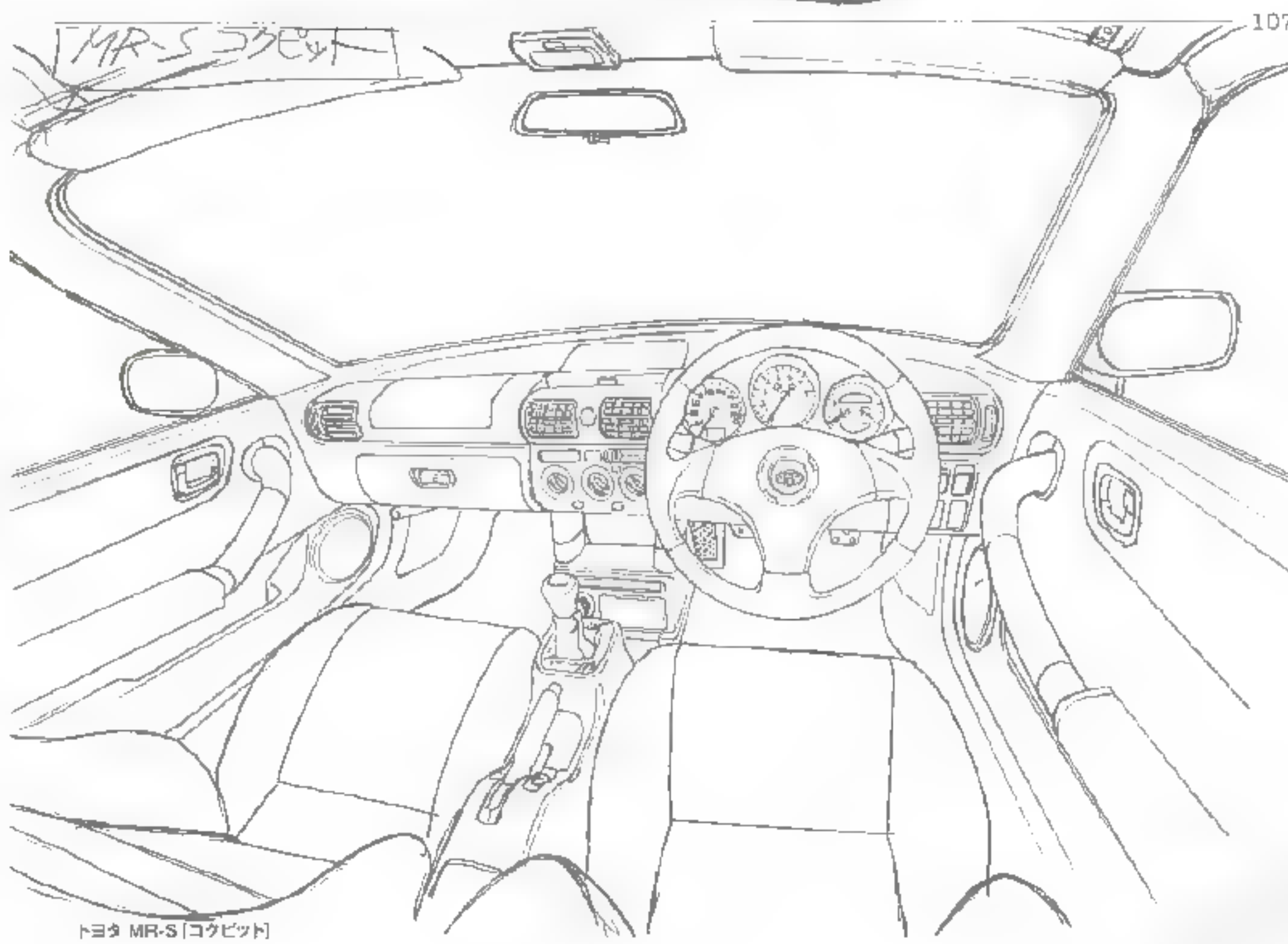


トヨタ スーパ

トヨタ MR-S



Z-190

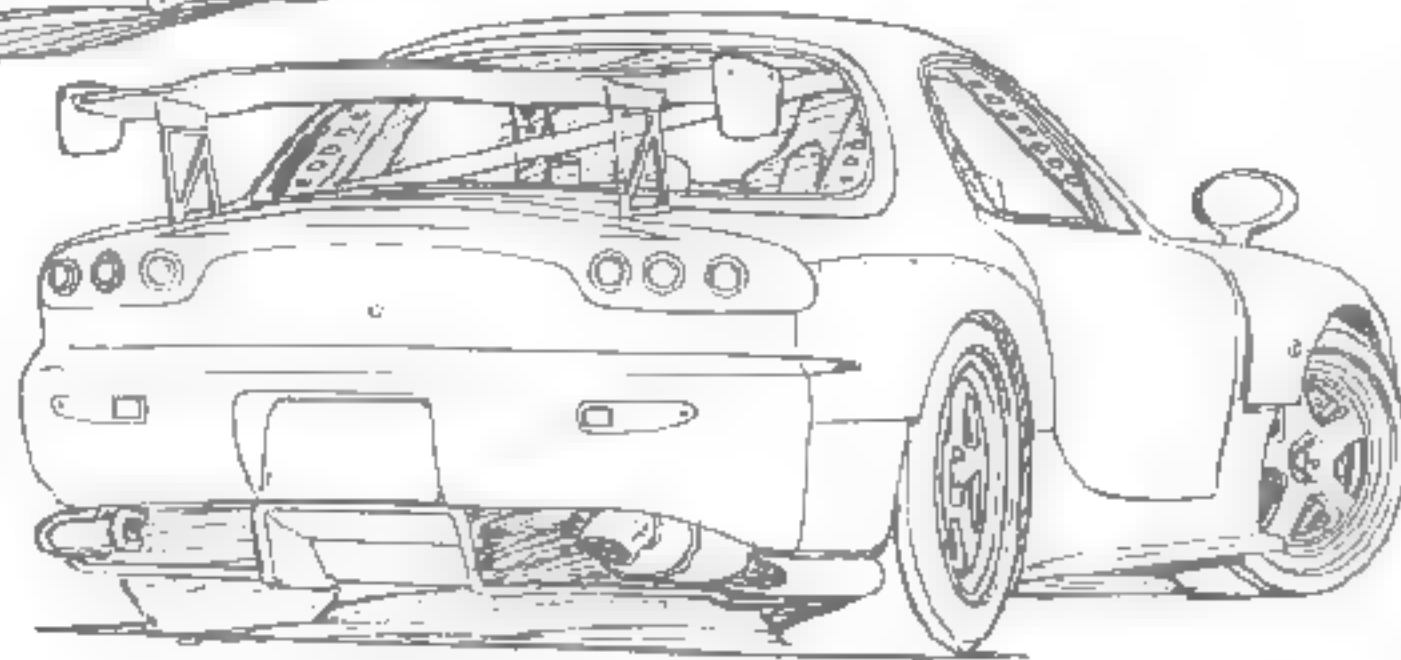
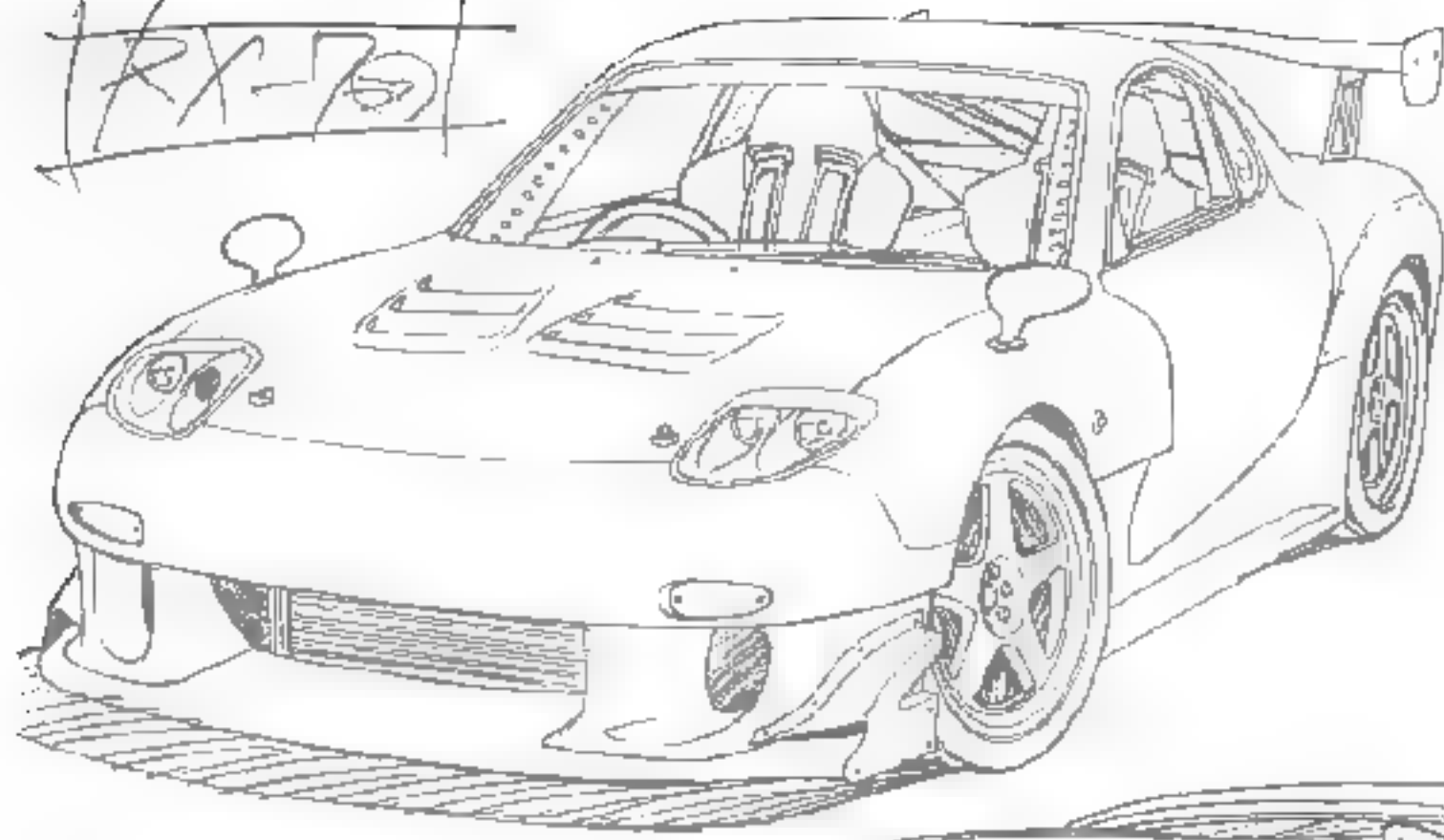


MR-S

トヨタ スーパ [コクピット]

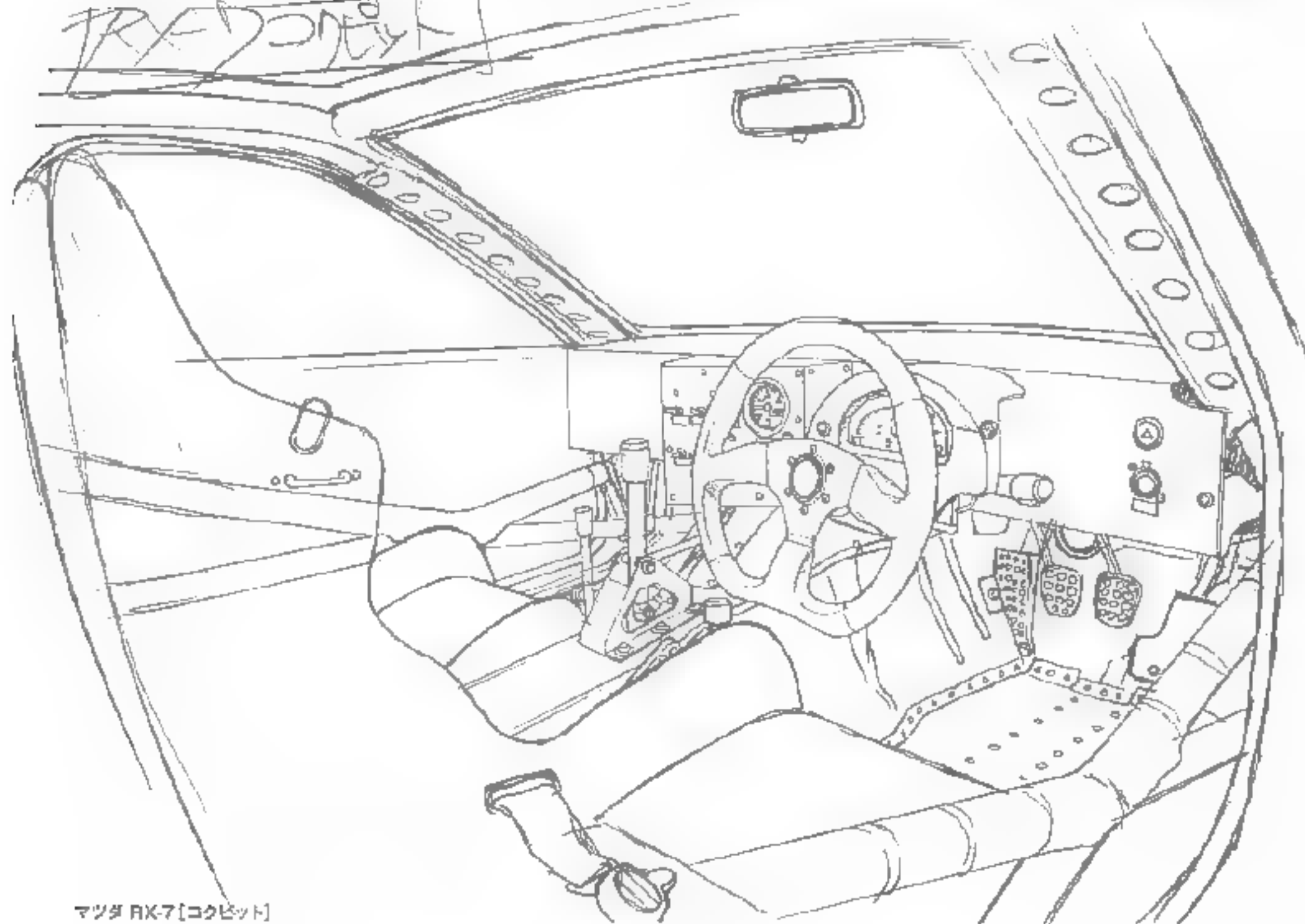
トヨタ MR-S [コクピット]

RX-7



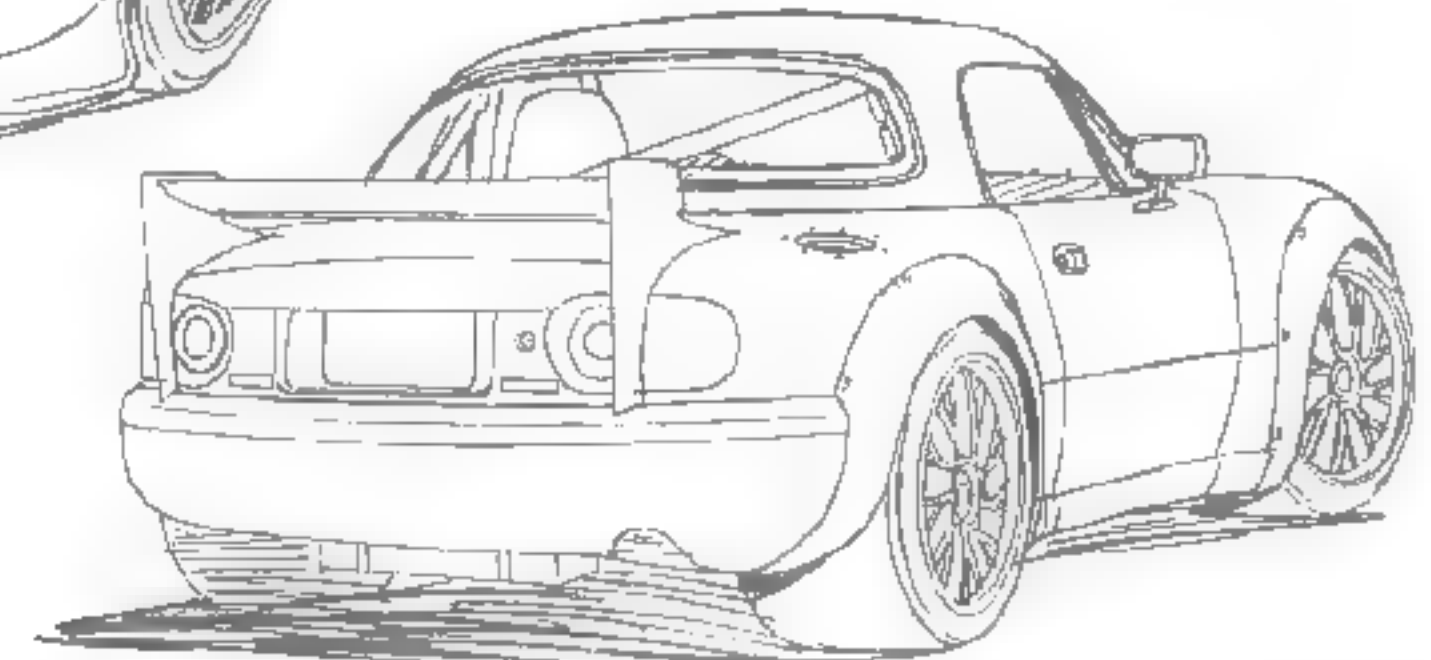
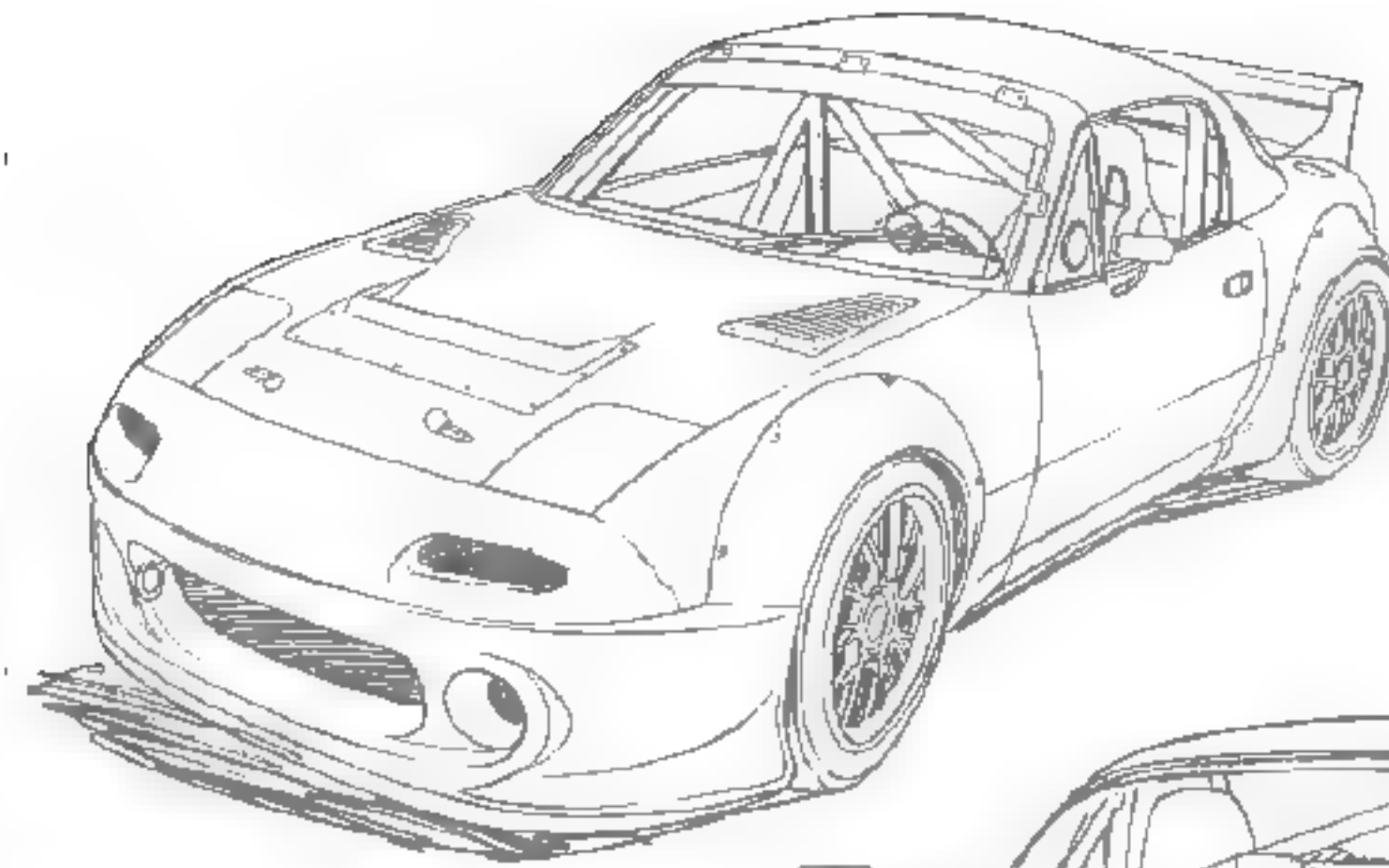
マツダ RX-7

RX-7 コクピット



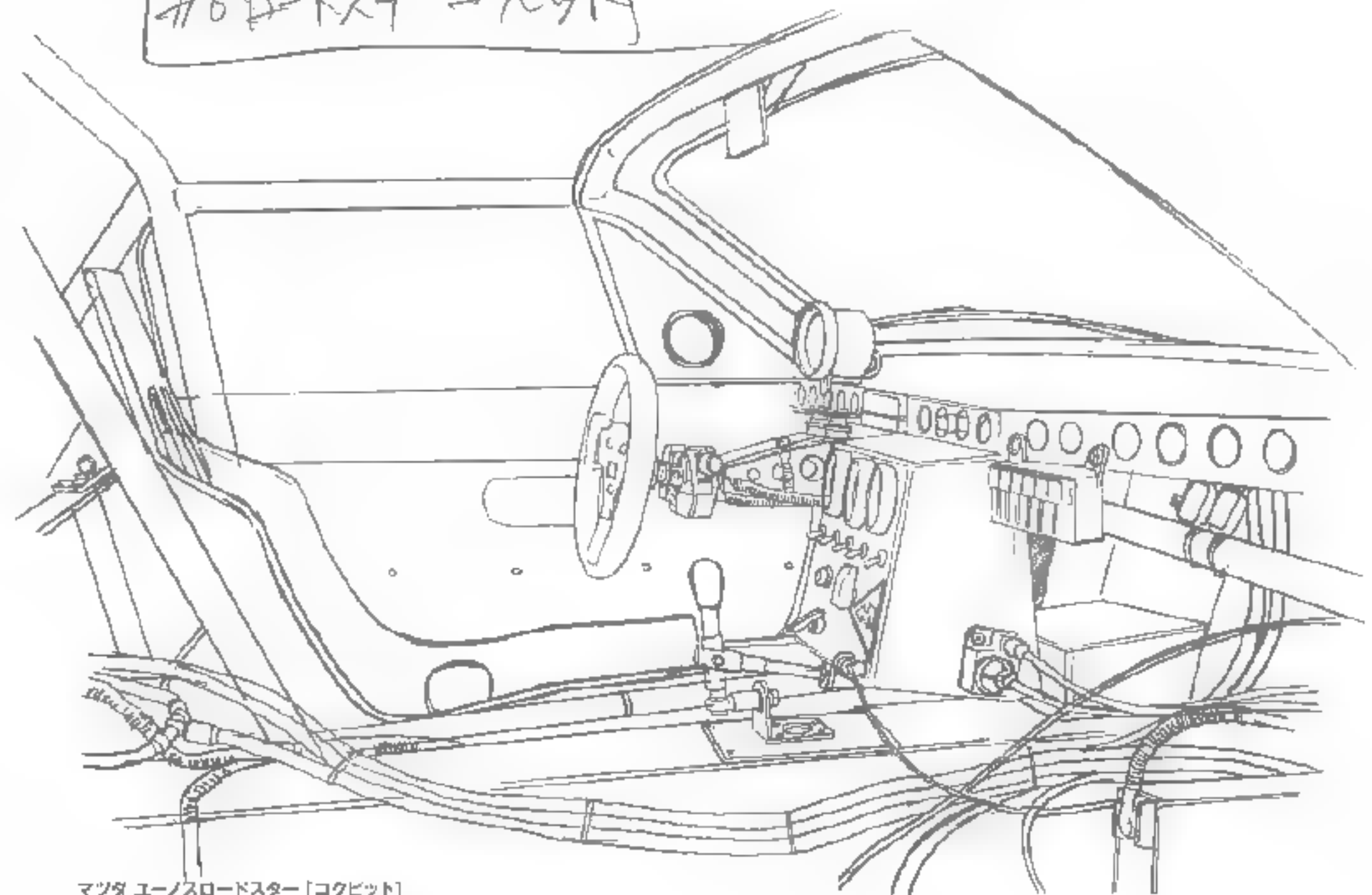
マツダ RX-7 [コクピット]

#6 D-127

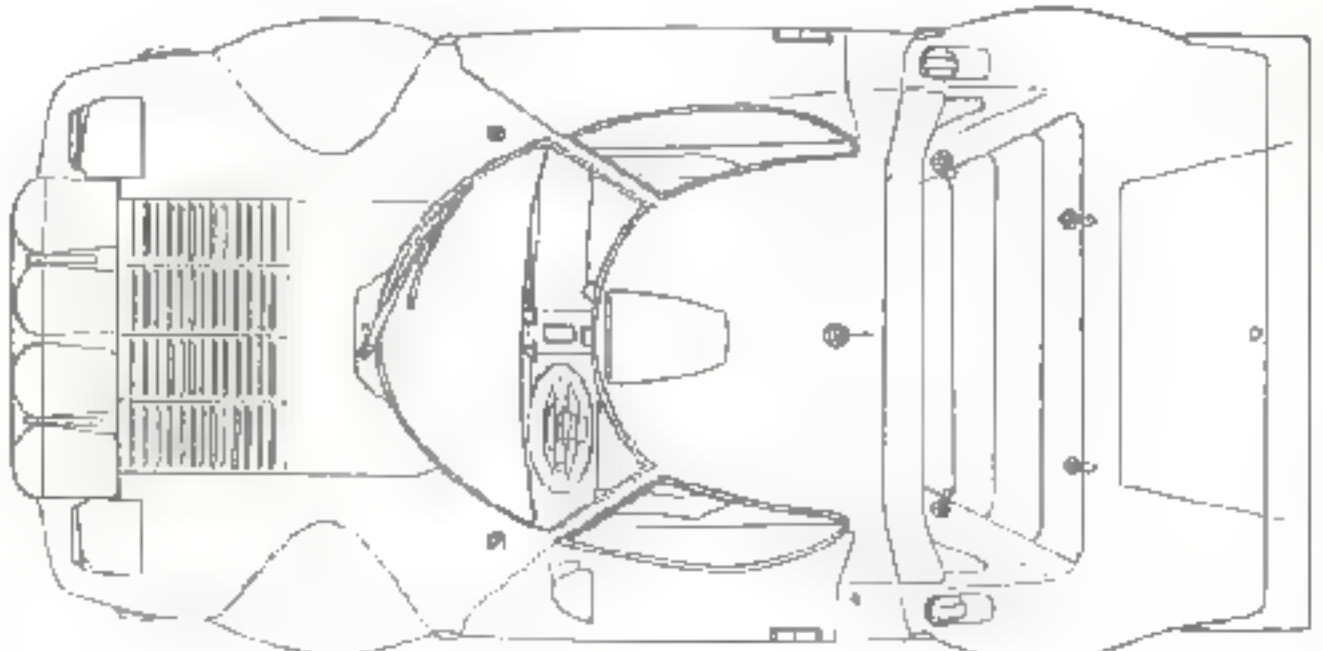
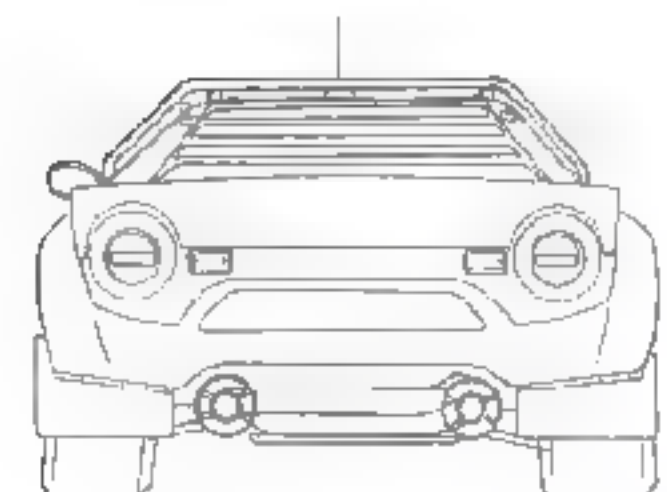
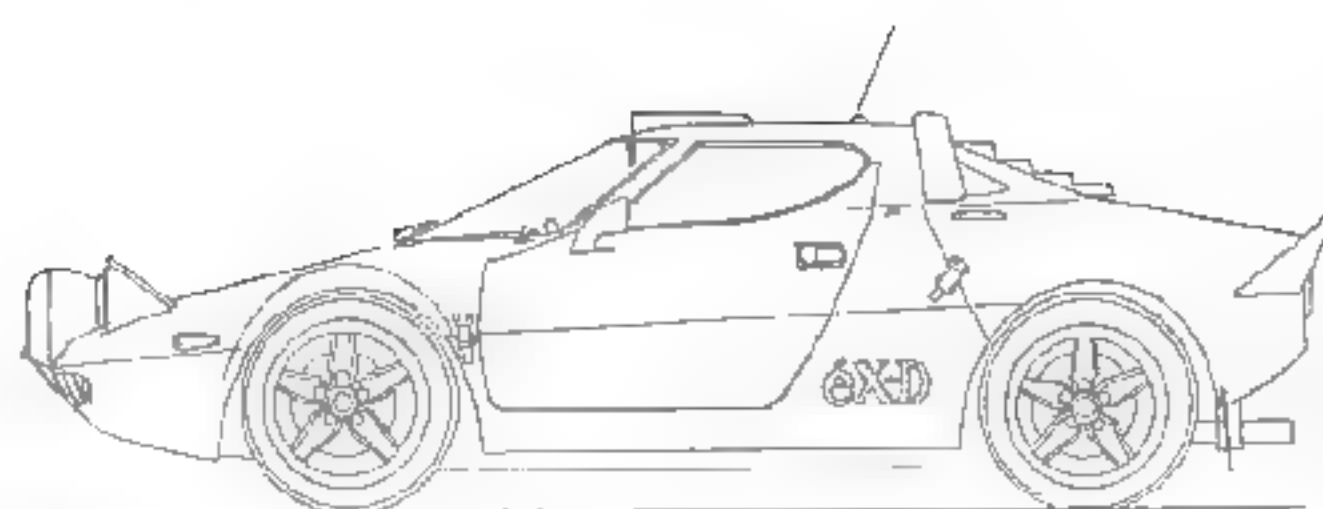
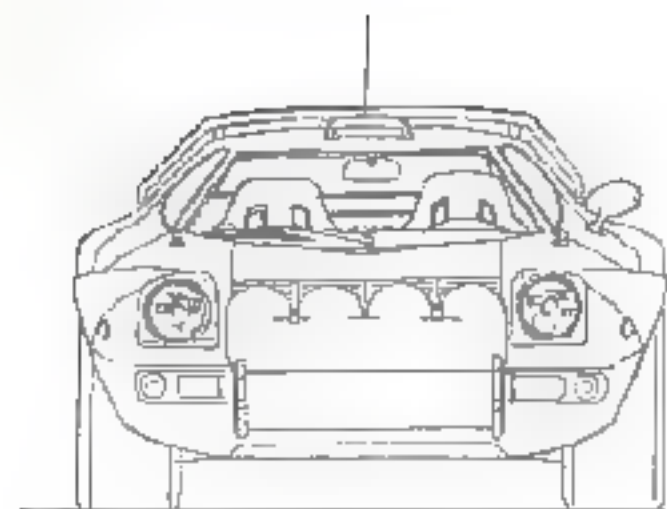


マツダ ユーノスロードスター

#6 D-129-2708T



マツダ ユーノスロードスター [コクピット]

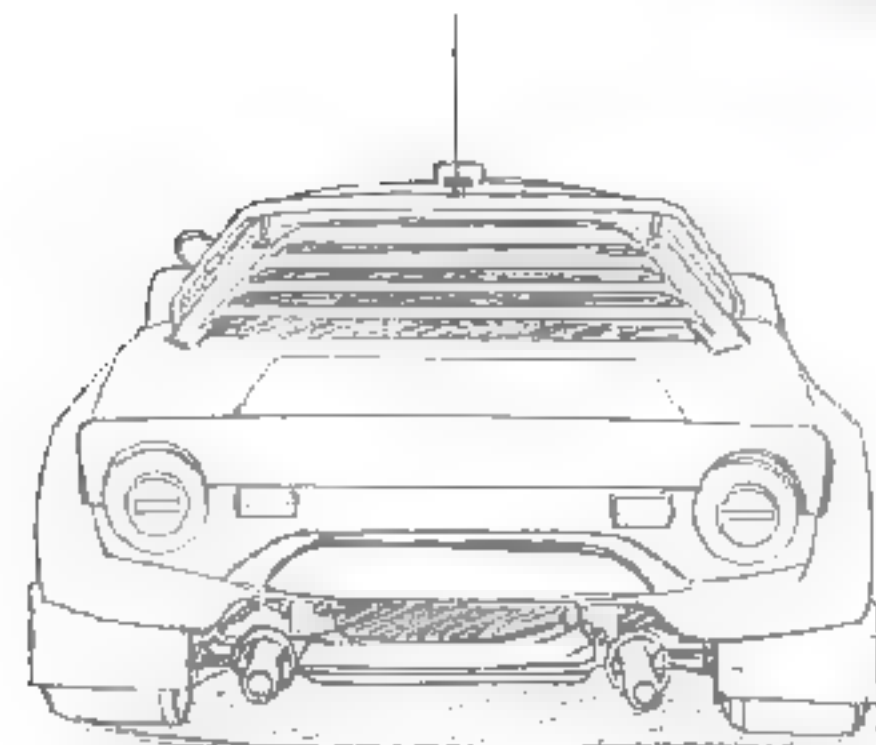
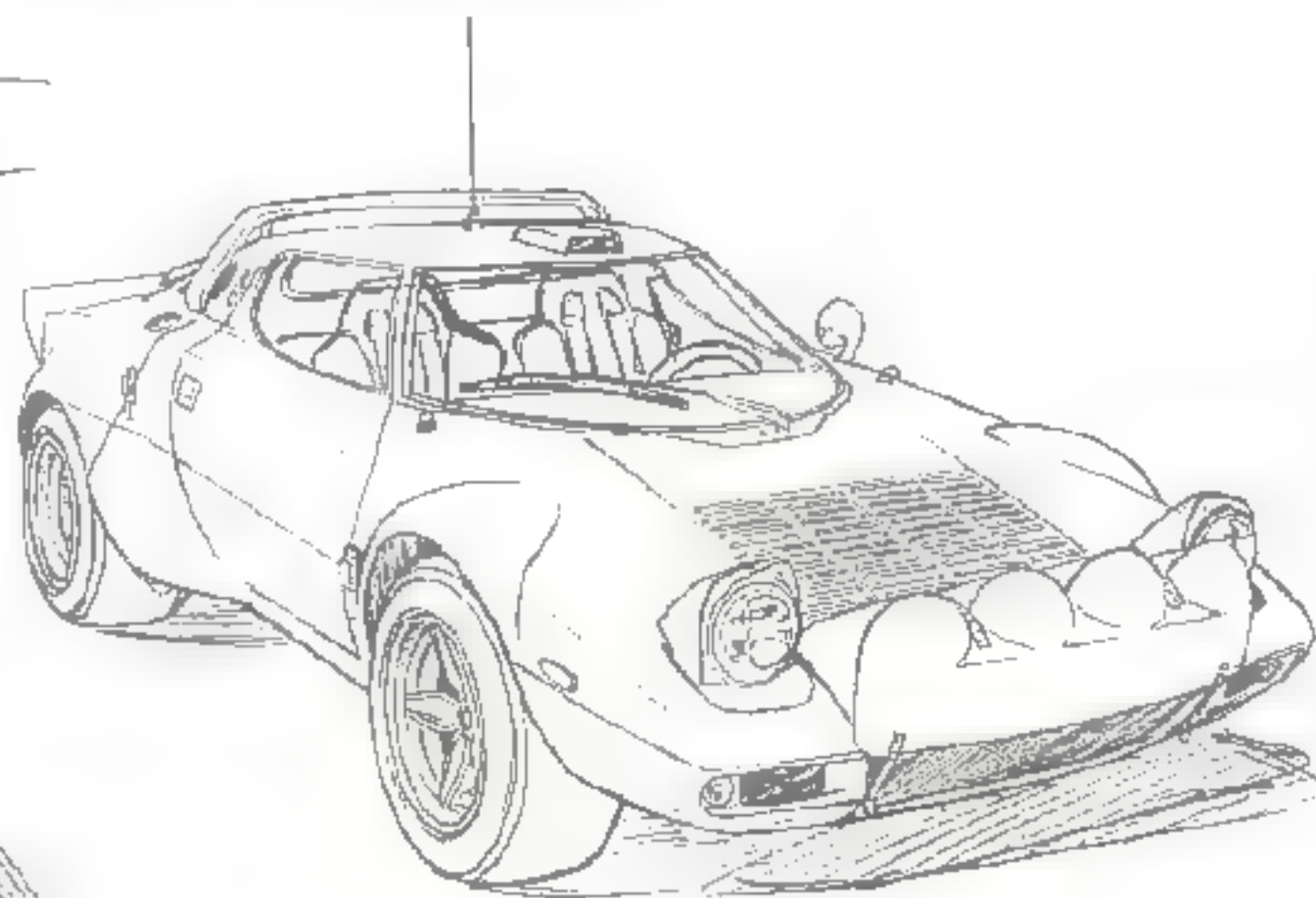


ランチアストラトス 4面図
2000 cc. 116 km/h 1000 rpm
ランチアストラトス [四面図]

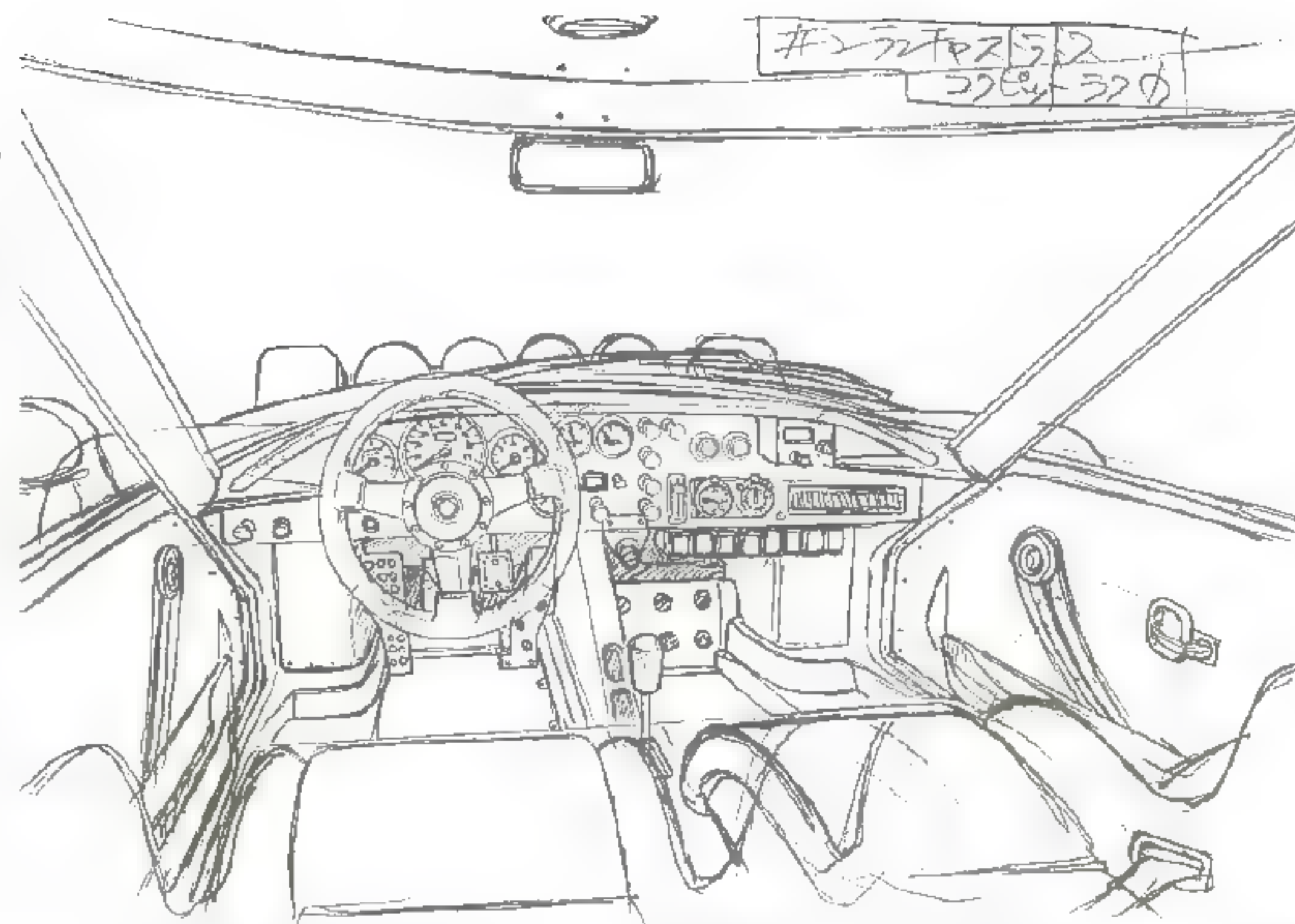
110

#2 ランチアストラトス 77

オリジナルのVRC/450cc
コルセッタ



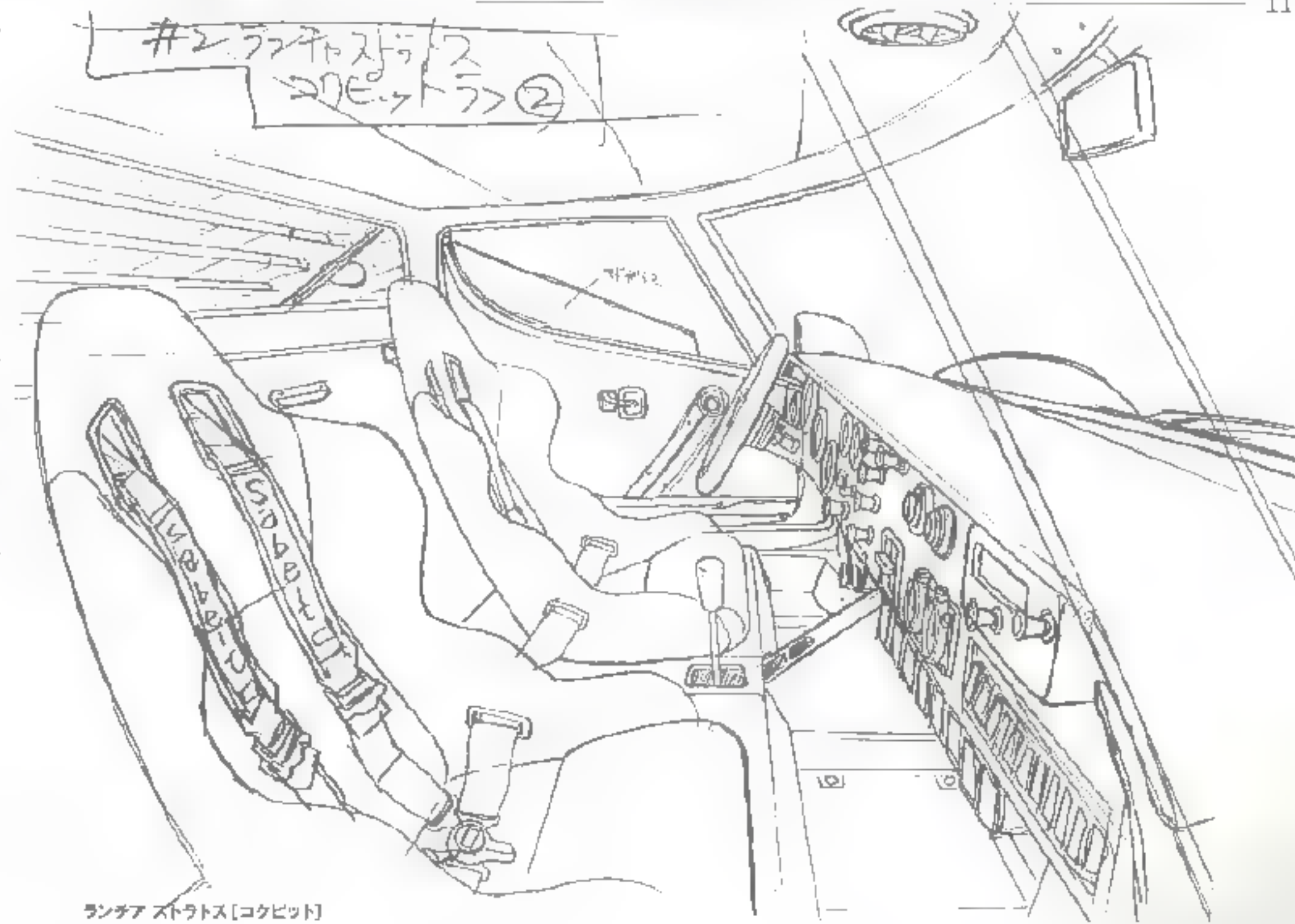
ランチアストラトス



#2 ランチアストラトス
コクピット 3/20

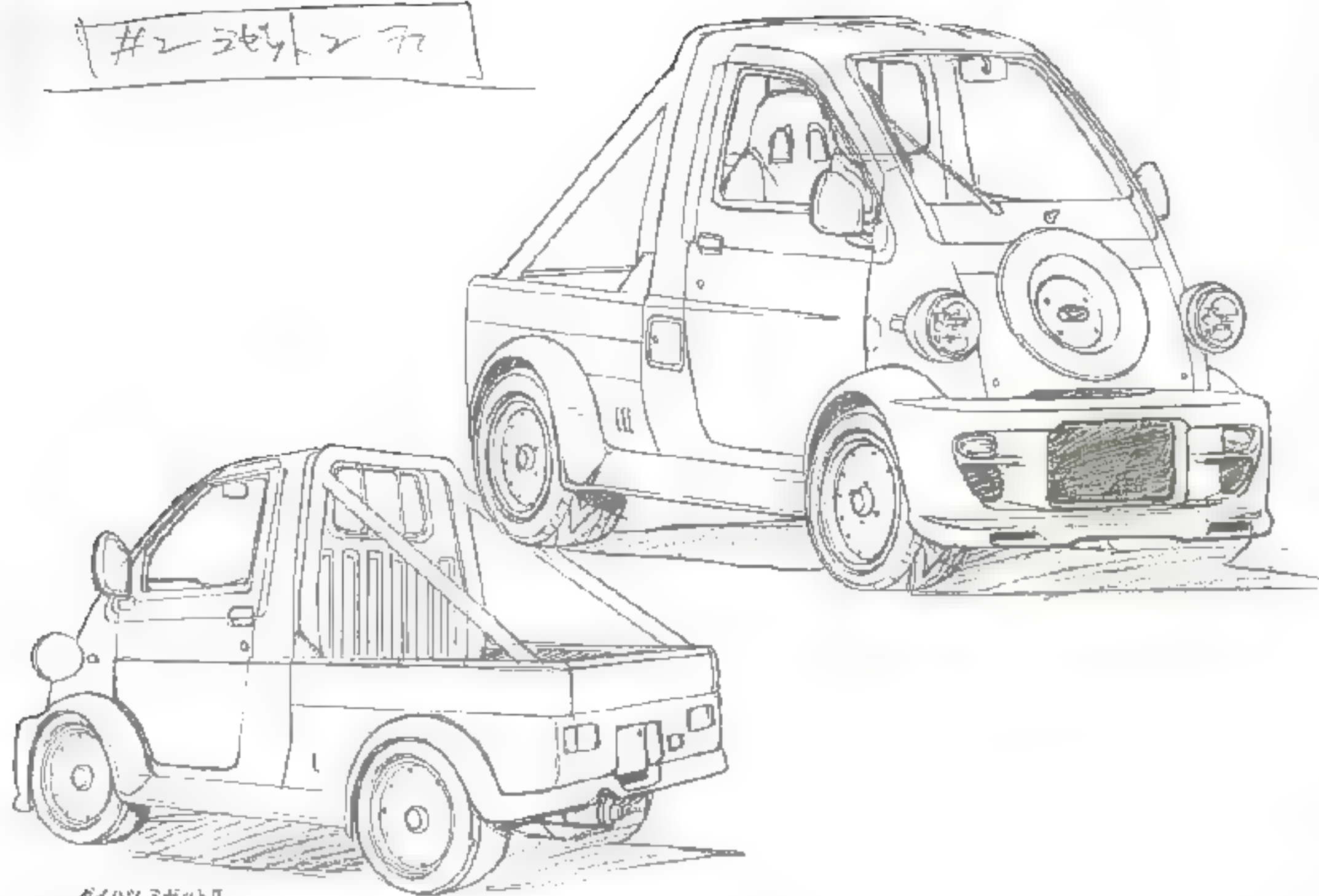
111

#2 ランチアストラトス
コクピット ②



ランチアストラトス [コクピット]

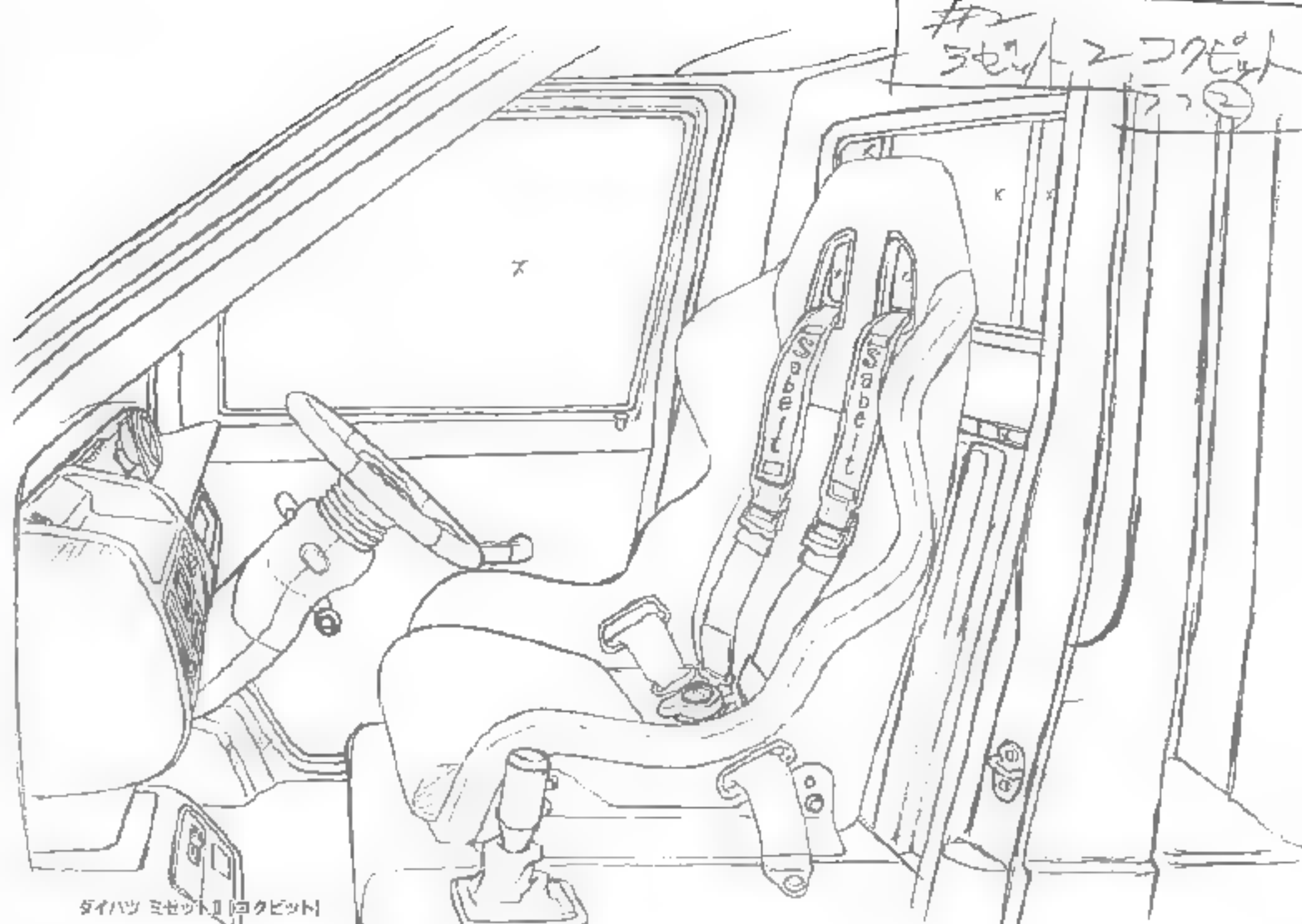
#2 ミゼットII



ダイハツ ミゼットII

113

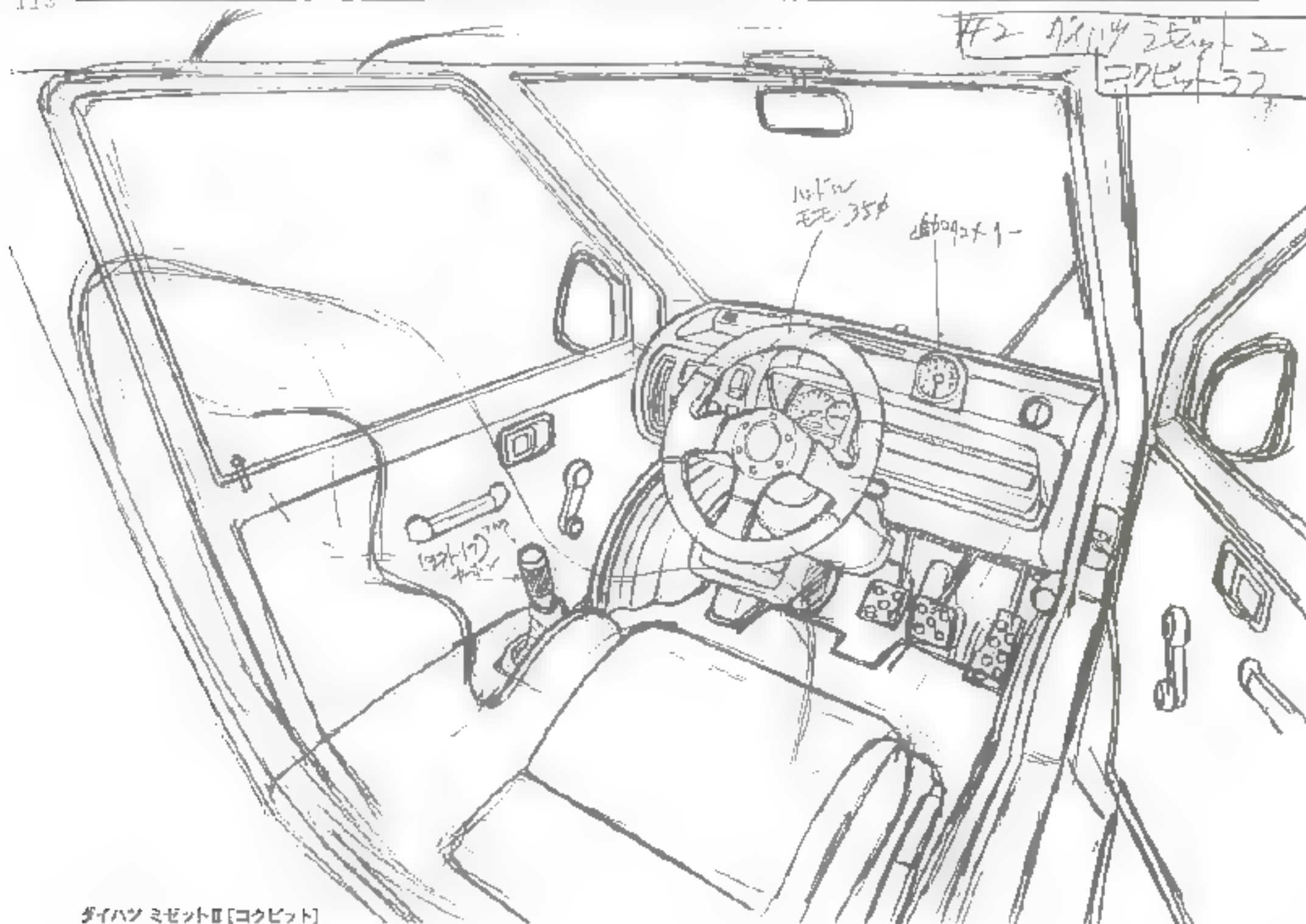
#2 ミゼットII
コクピット



ダイハツ ミゼットII [コクピット]

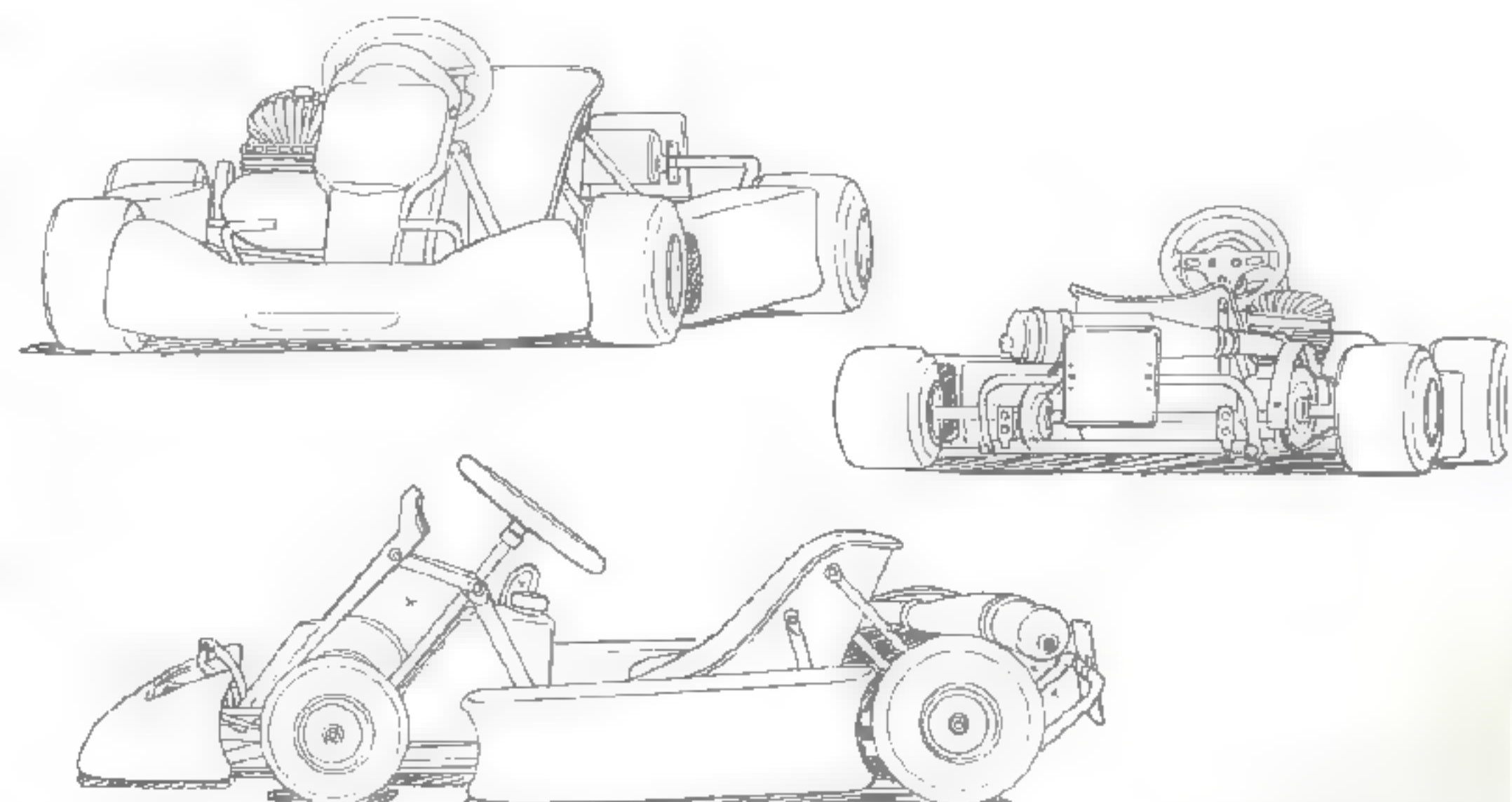
114

#2 ミゼットII
コクピット



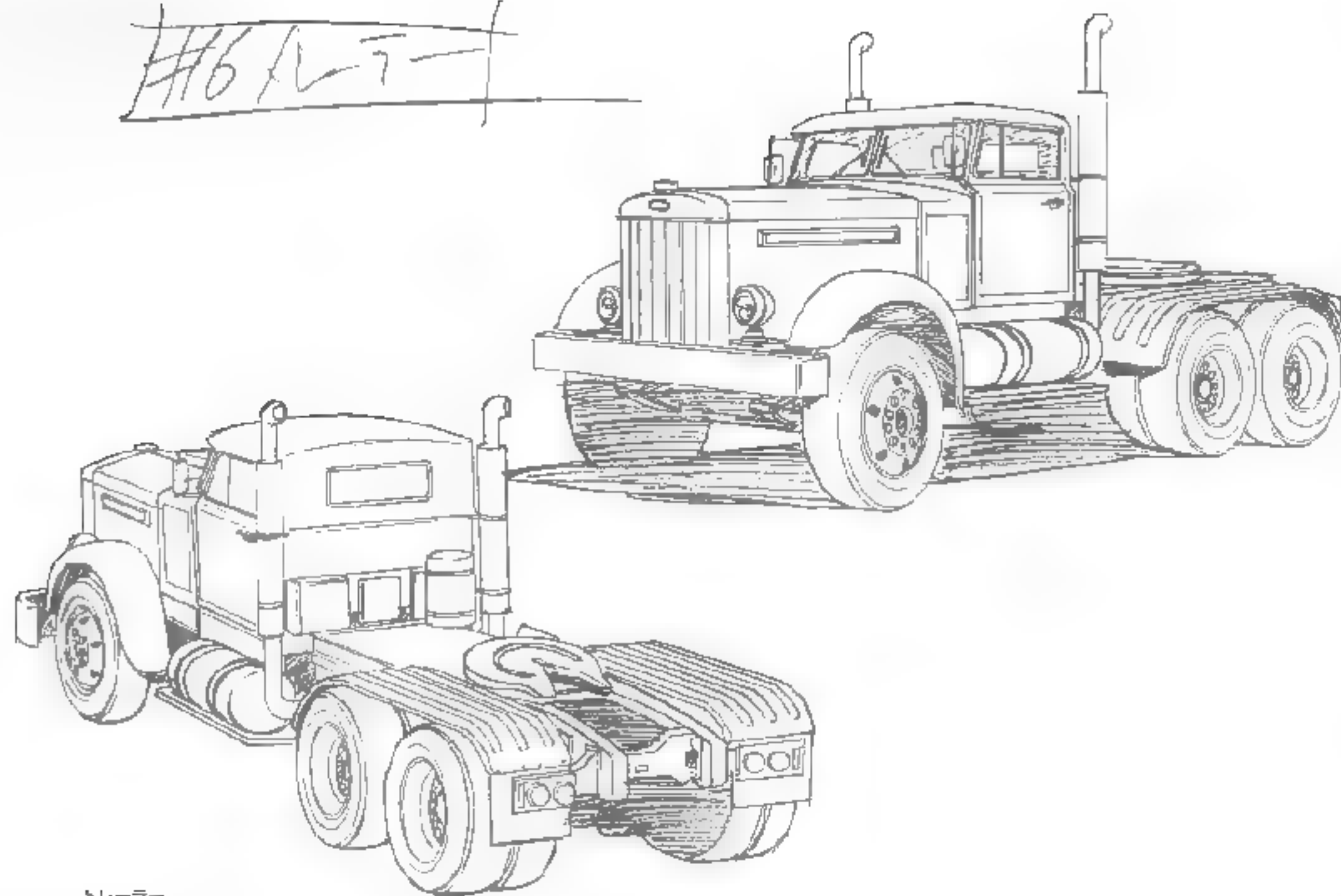
ダイハツ ミゼットII [コクピット]

レーシングカート
200cc 522 1/2 RARRA



レーシングカート

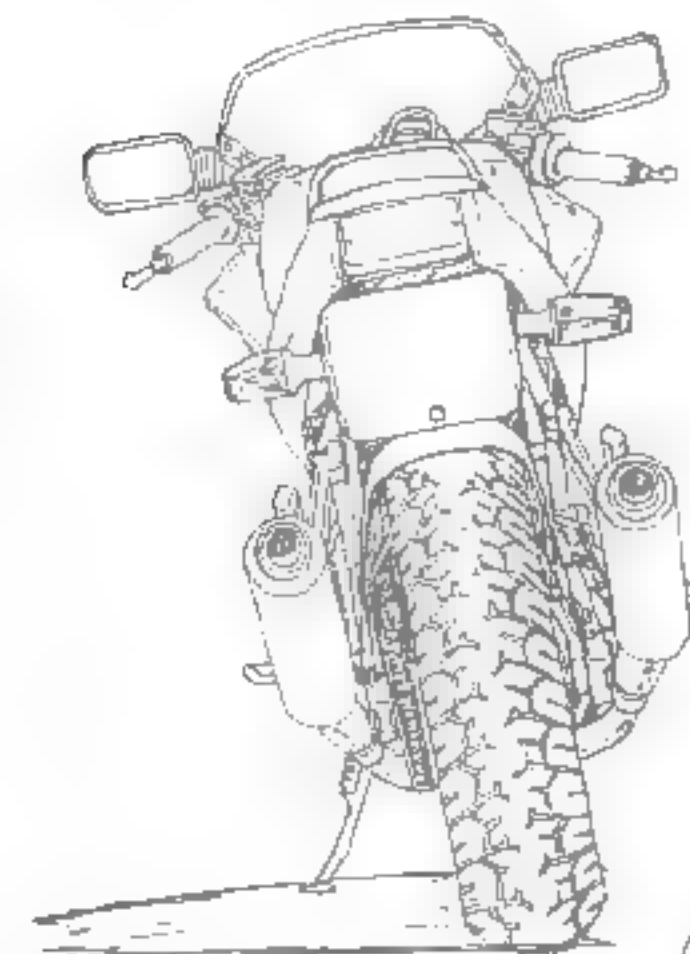
#6 R-7



トレーラー

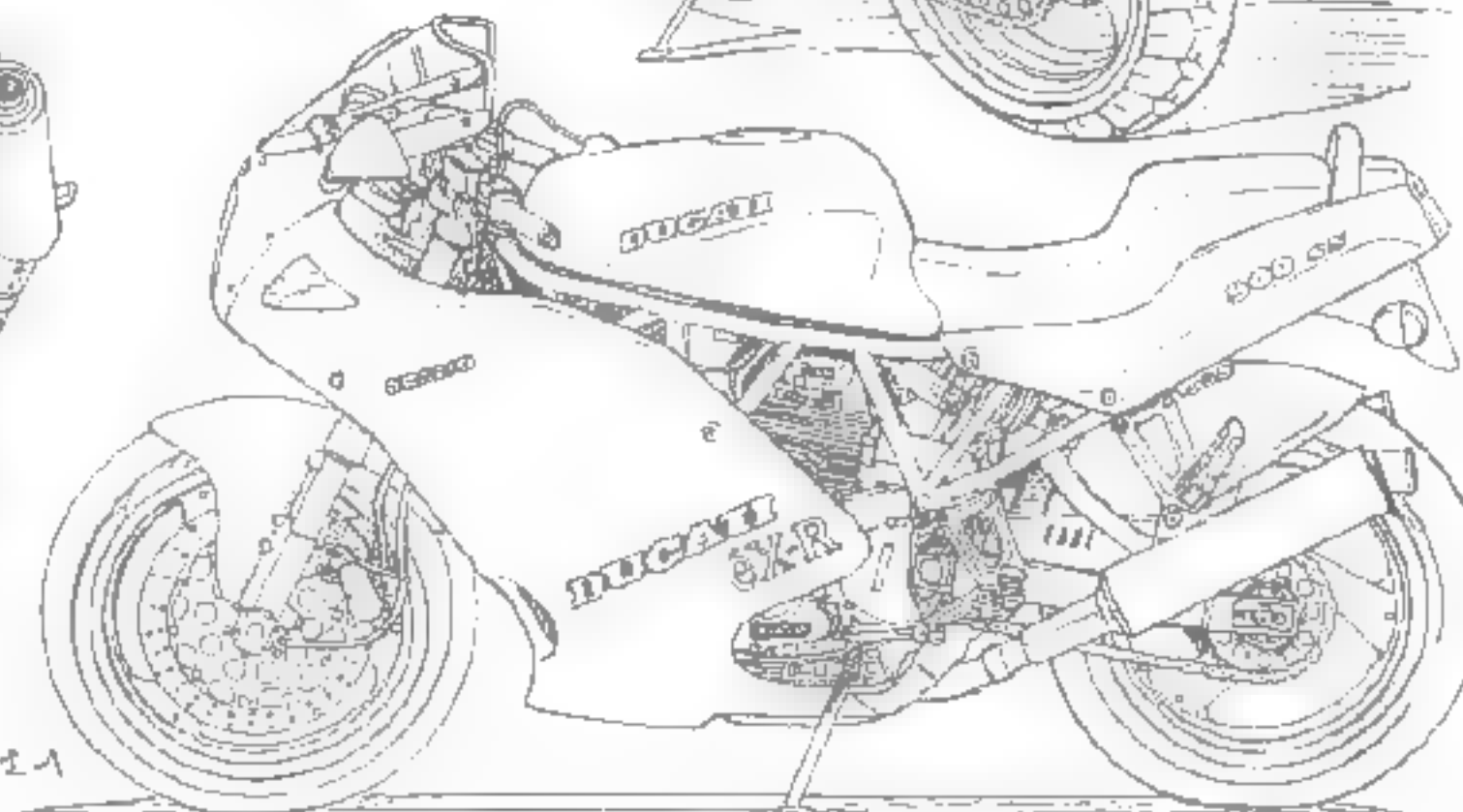
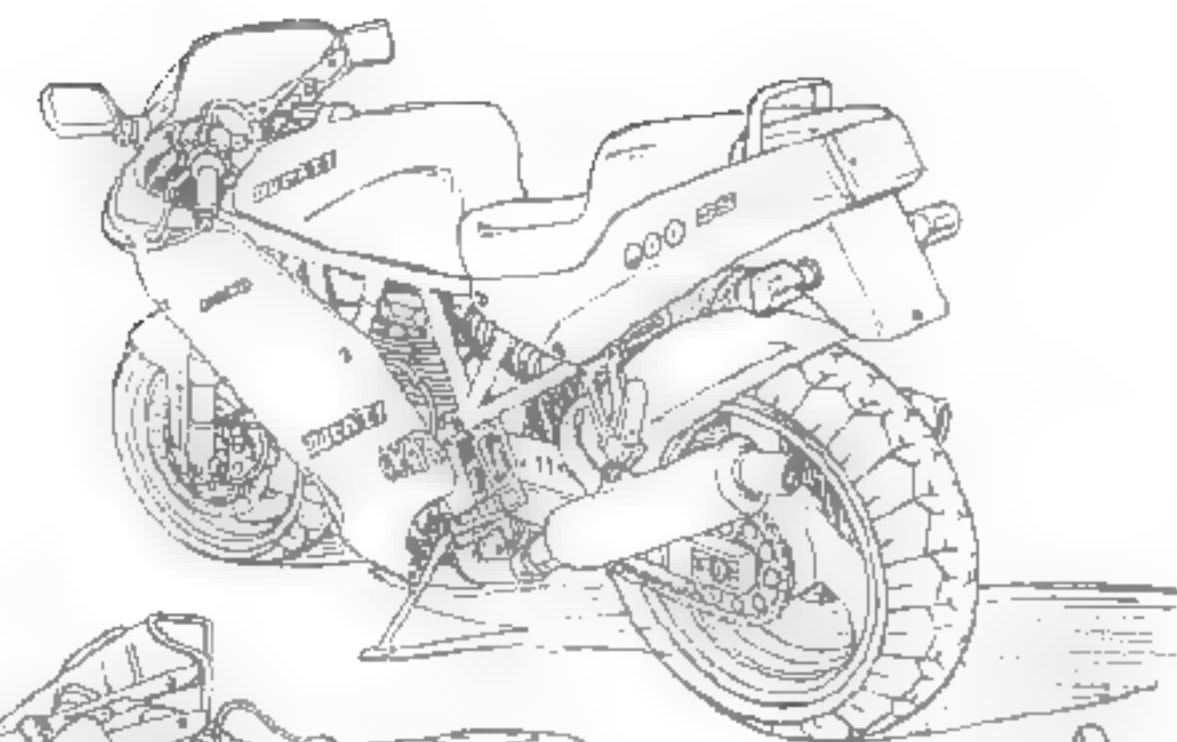
ドゥカティ 900SS ②

2001.1.18 BY T. MURATA



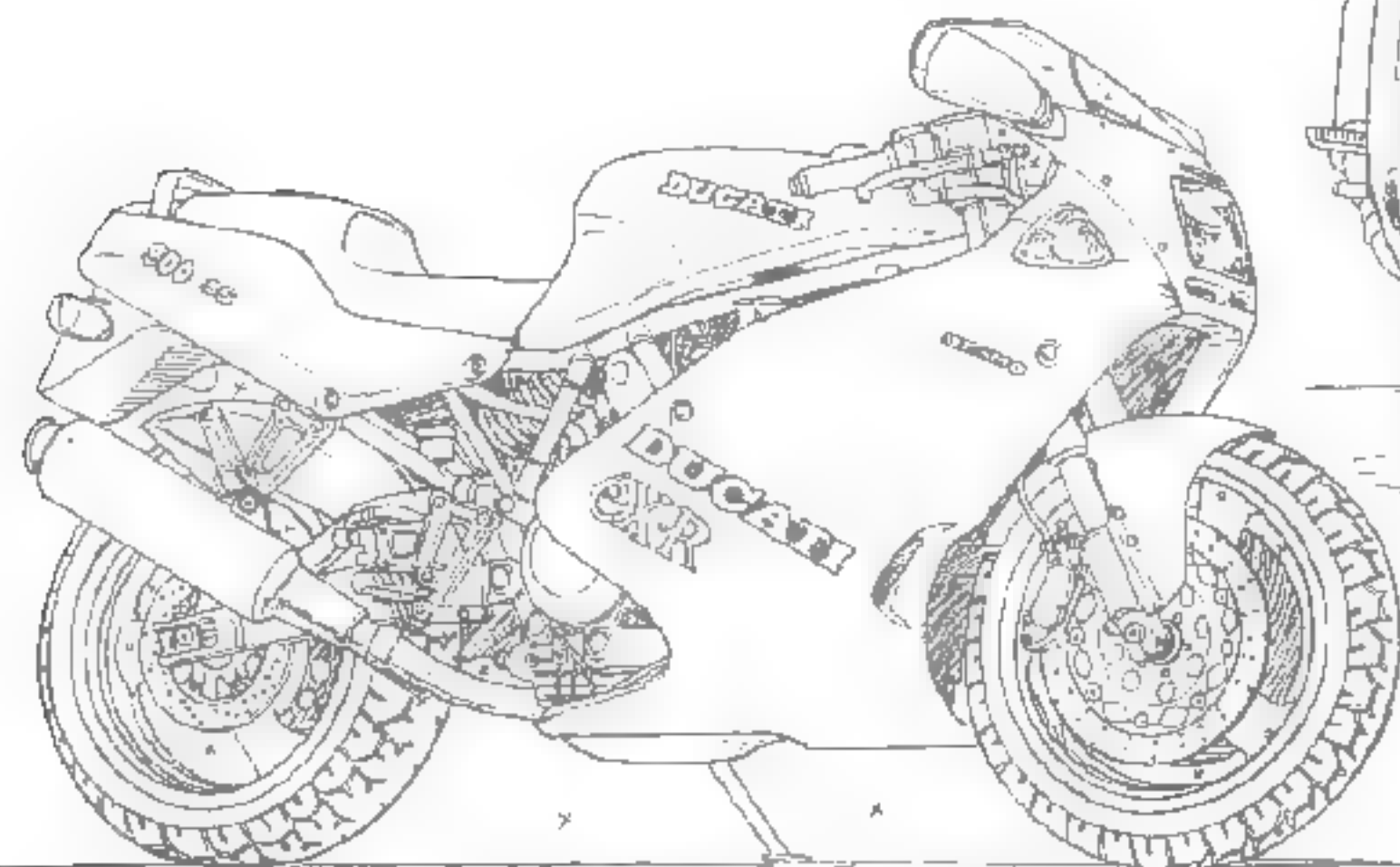
スイングアーム
アップ時以外
高調化してスエー

ドゥカティ 900SS



ドゥカティ 900SS ①

2001.1.18 BY T. MURATA



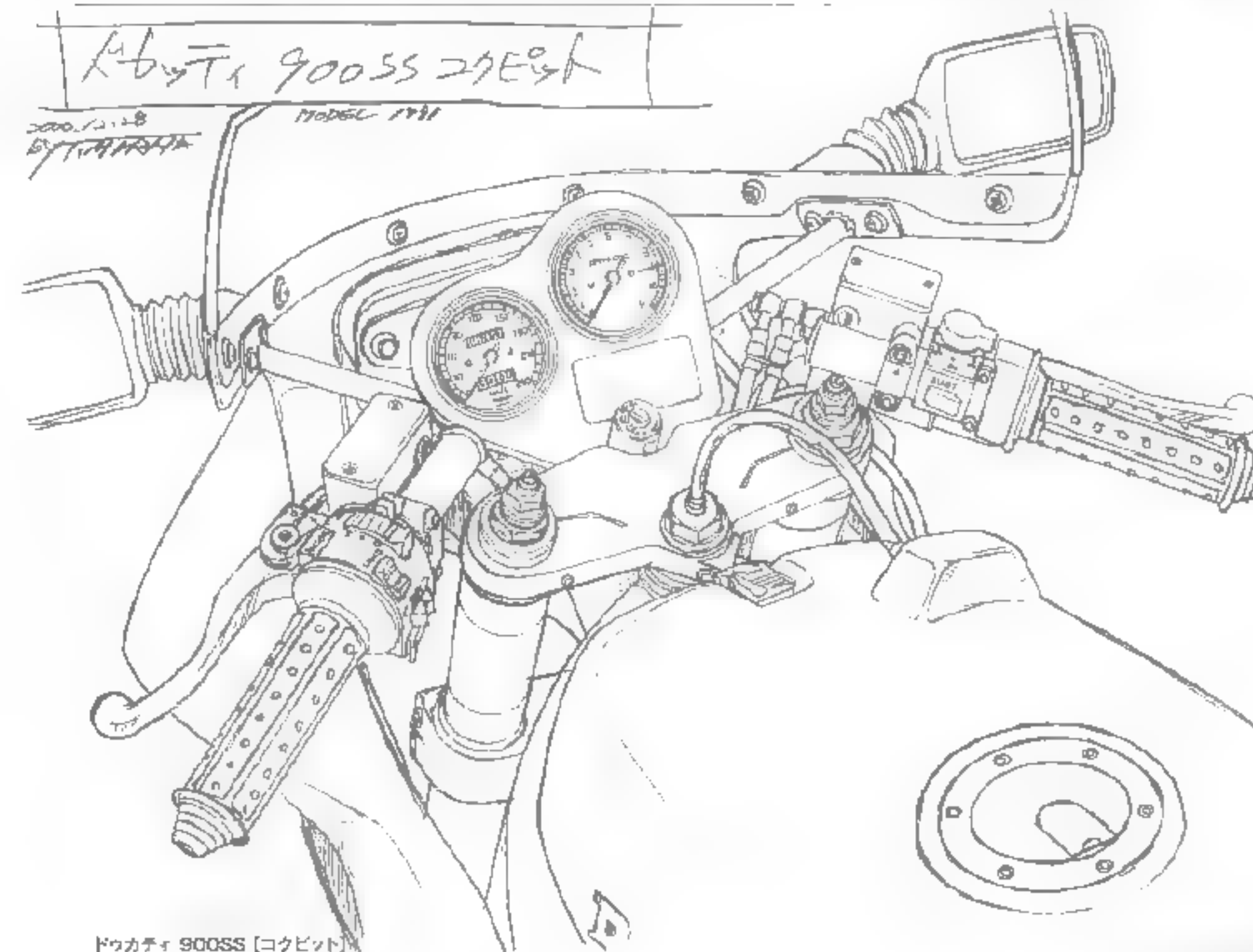
ドゥカティ 900SS



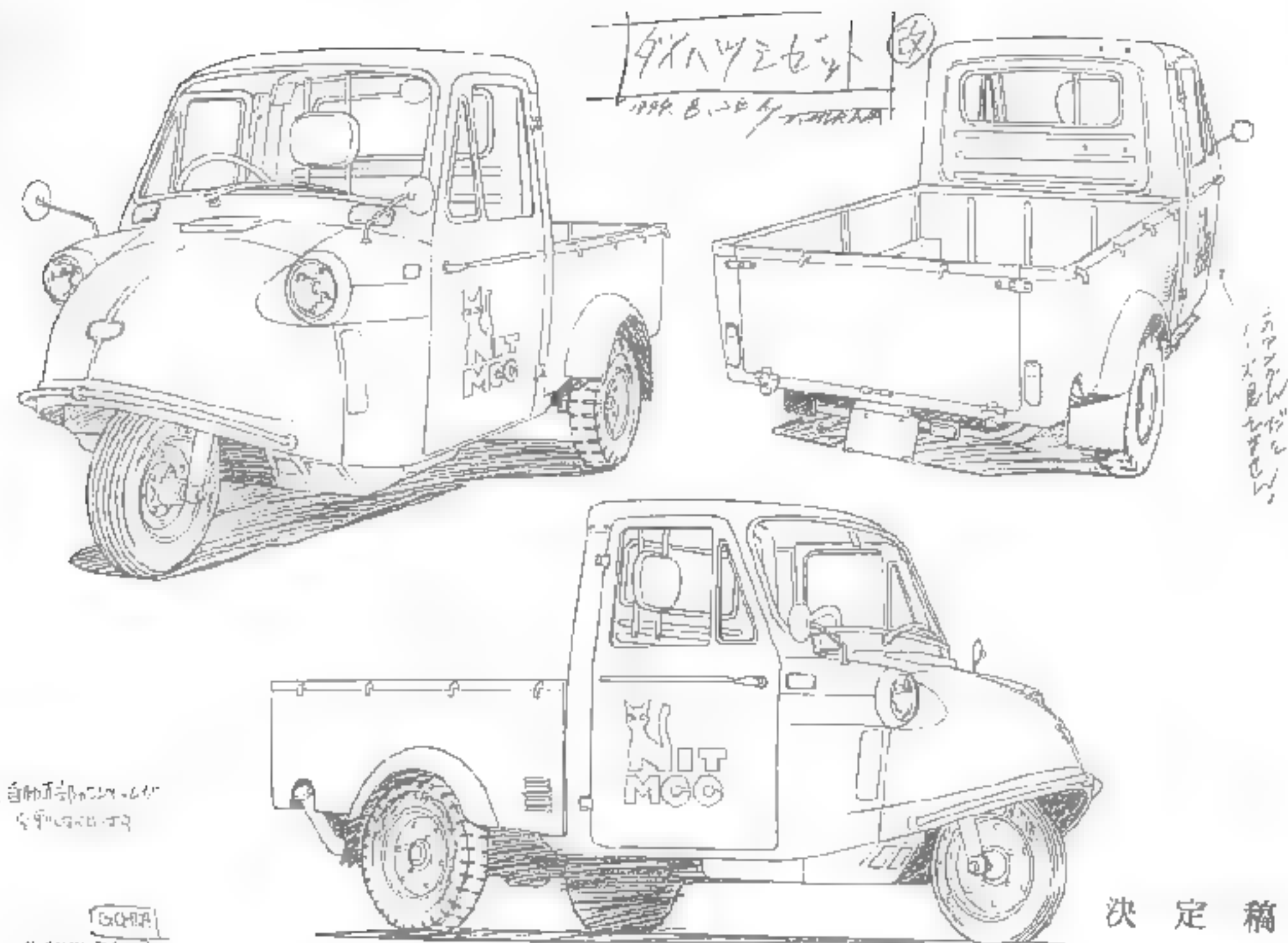
ドゥカティ 900SS コクピット

2001.1.18
BY T. MURATA

MODEL 1991



ドゥカティ 900SS [コクピット]



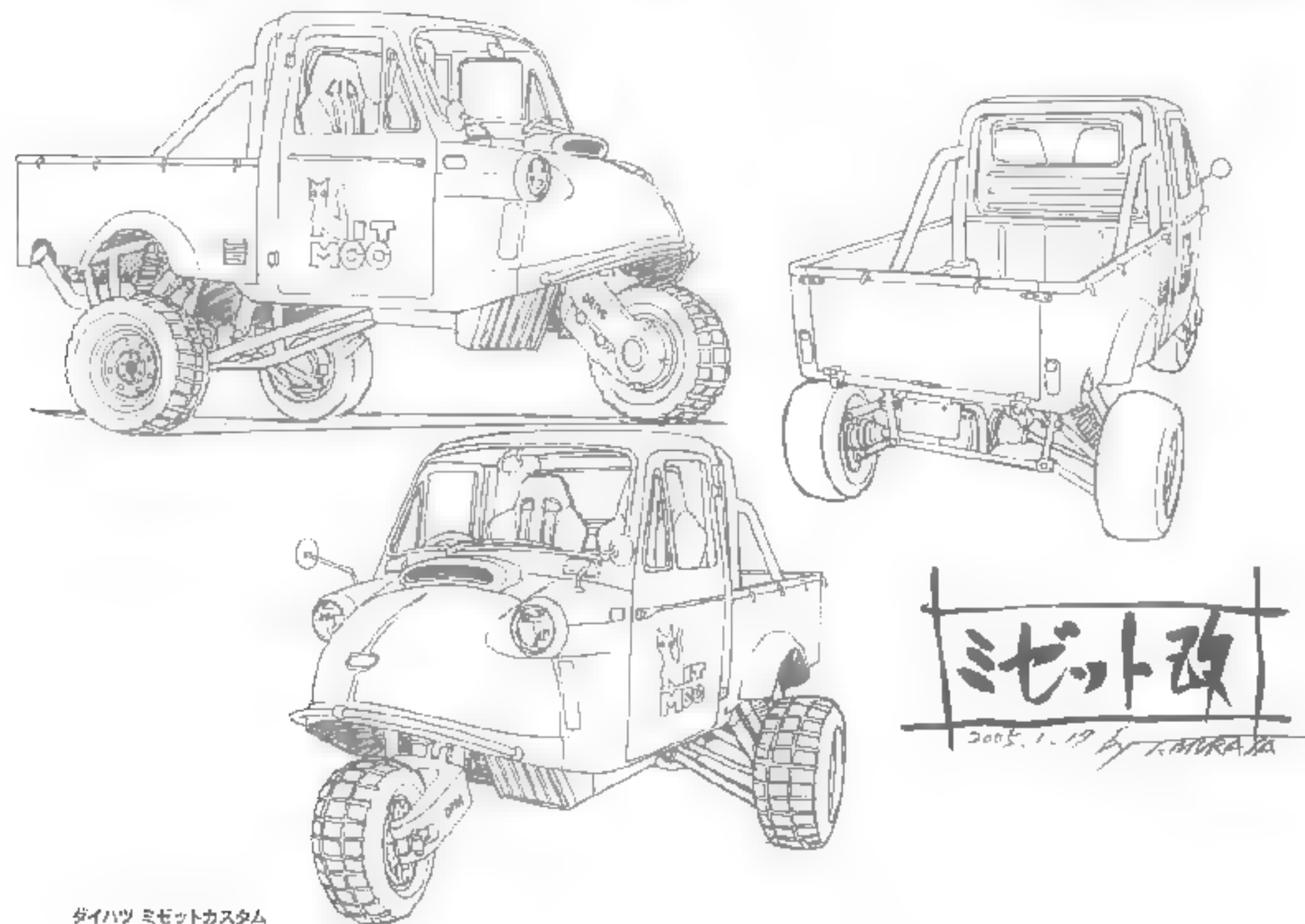
※、自動車のコンパイル
が完了しました

ダイハツ ミゼット

決定稿



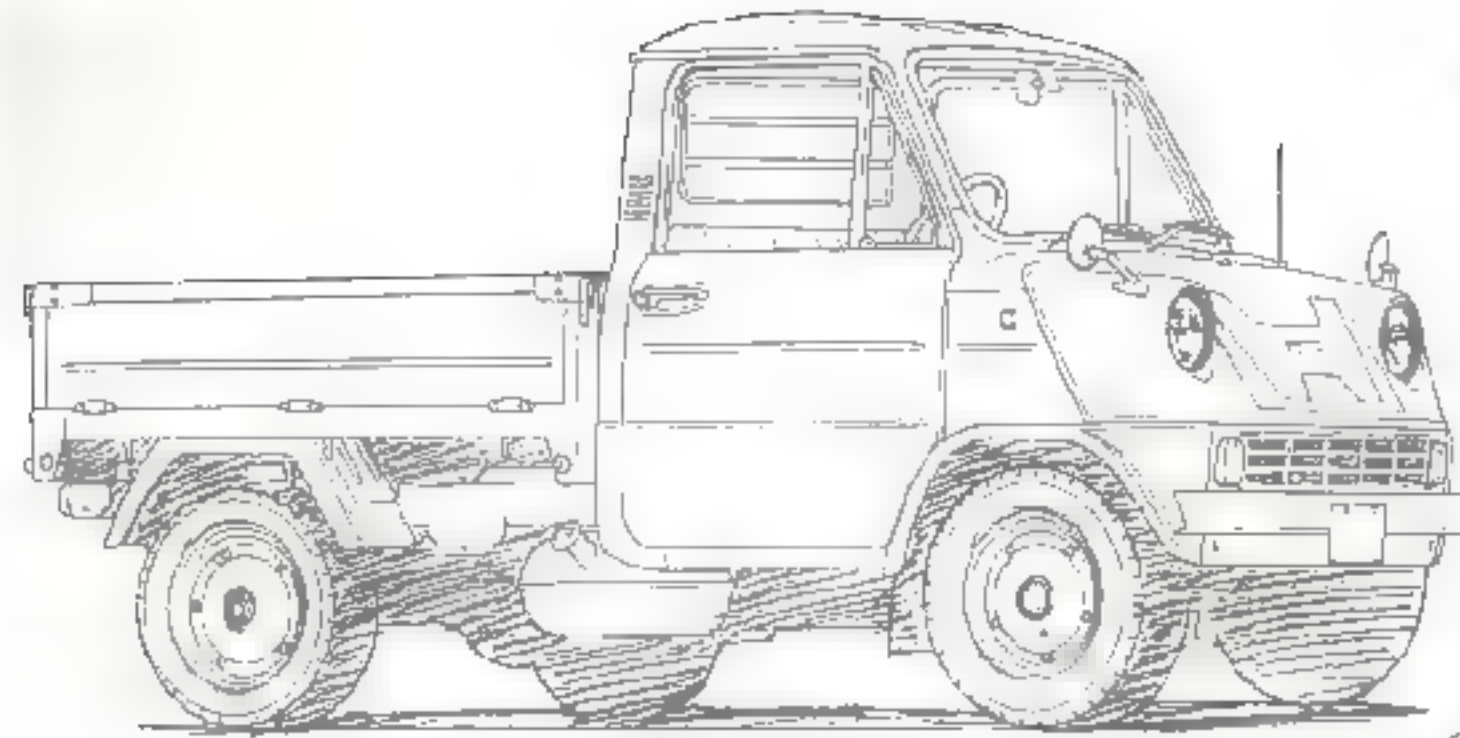
ダイハツ ミゼットカスタム [コクピット]



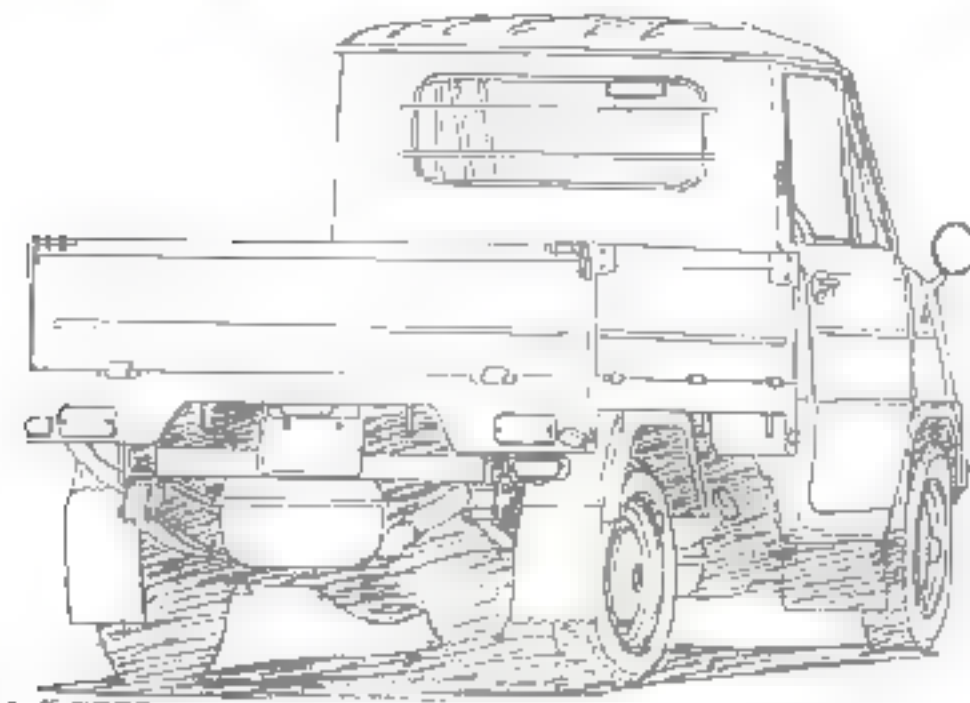
ダイハツ ミゼットカスタム



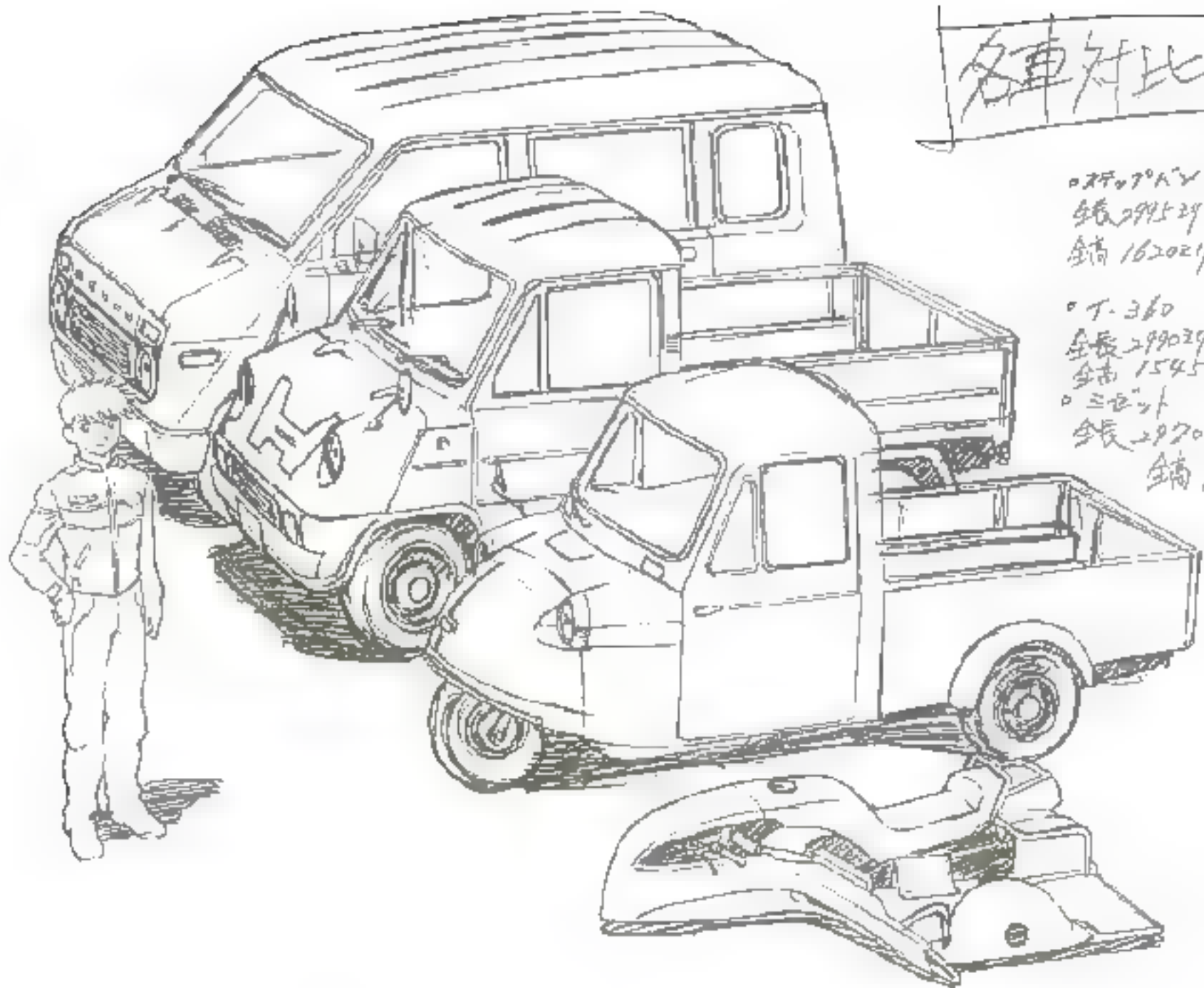
ダイハツ ミゼットカスタム [内装]



ホンダ T360
1968.12.3 by T. MURAKAMI



ホンダ T360



各車対比

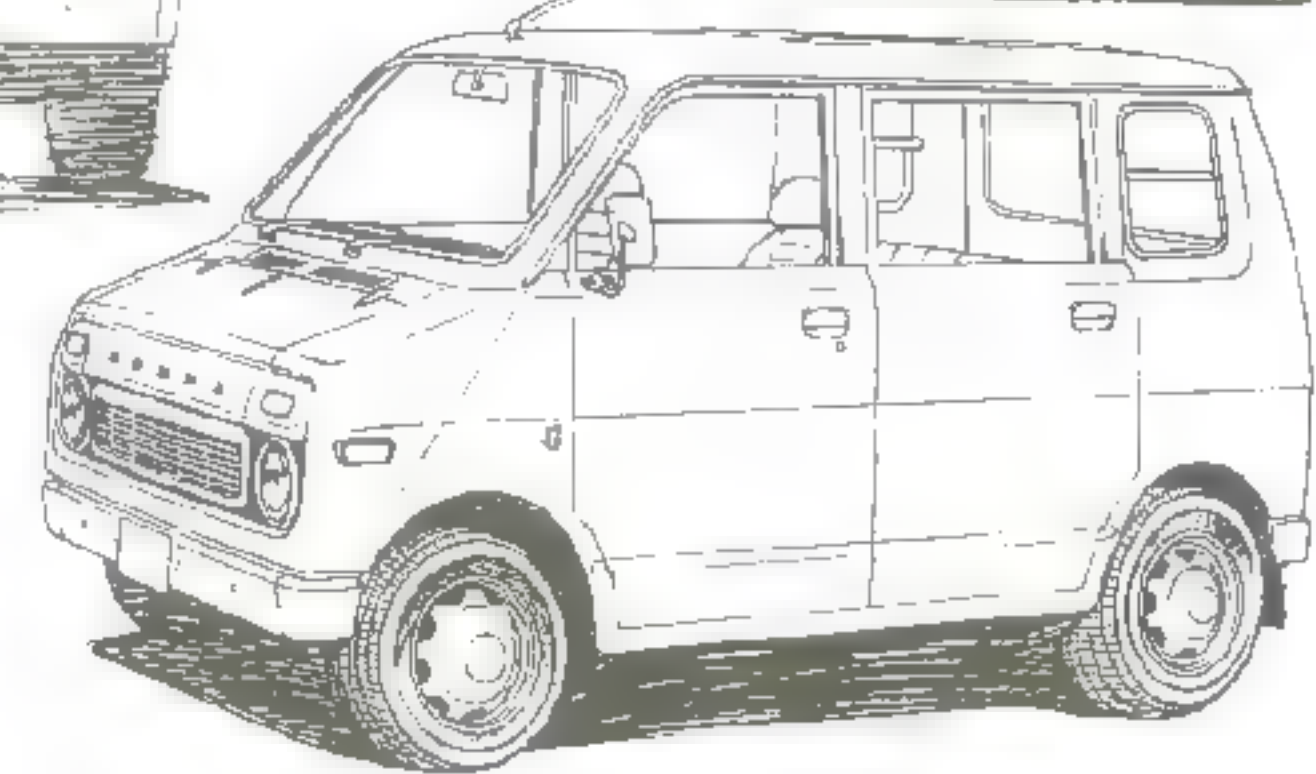
○2407cc
全長2995mm 全幅1295mm
全高1620mm
○T-360
全長2990mm 全幅1295mm
全高1545mm
○ミニバン
全長2970mm 全幅1295mm
全高1455mm

各車対比

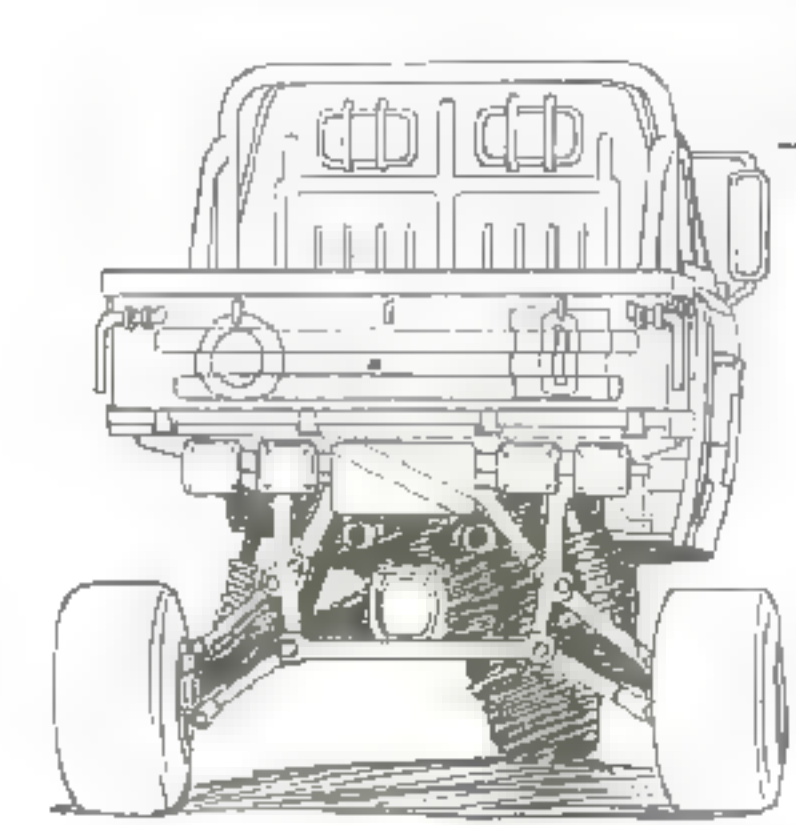
決定稿



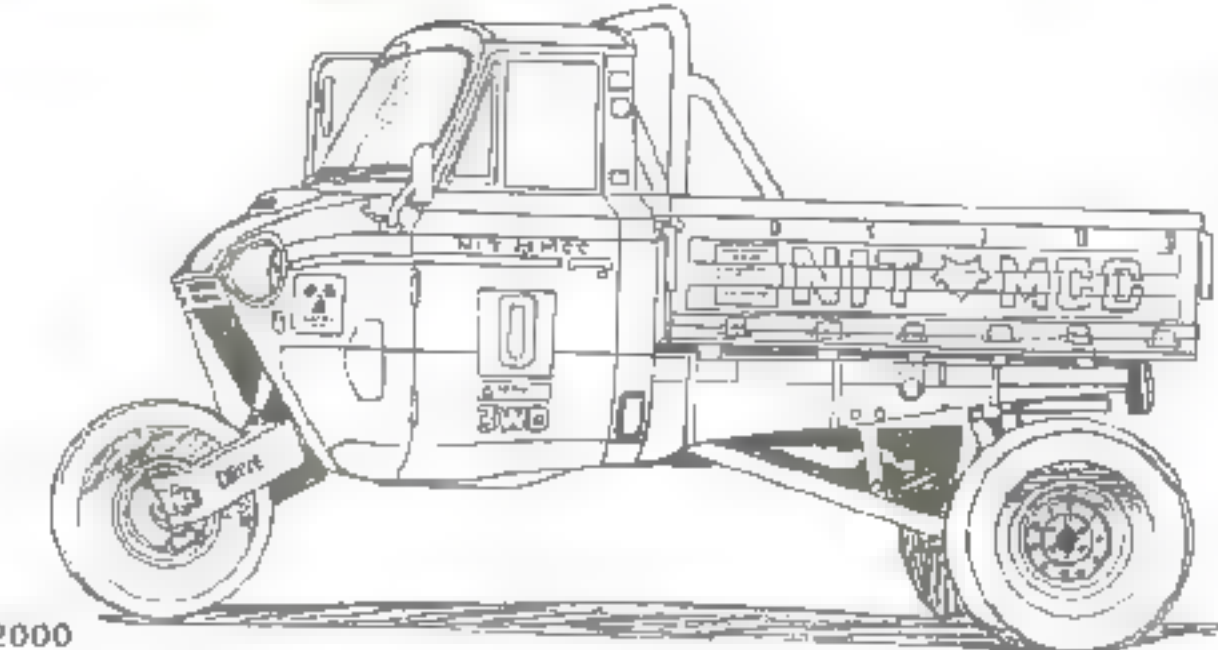
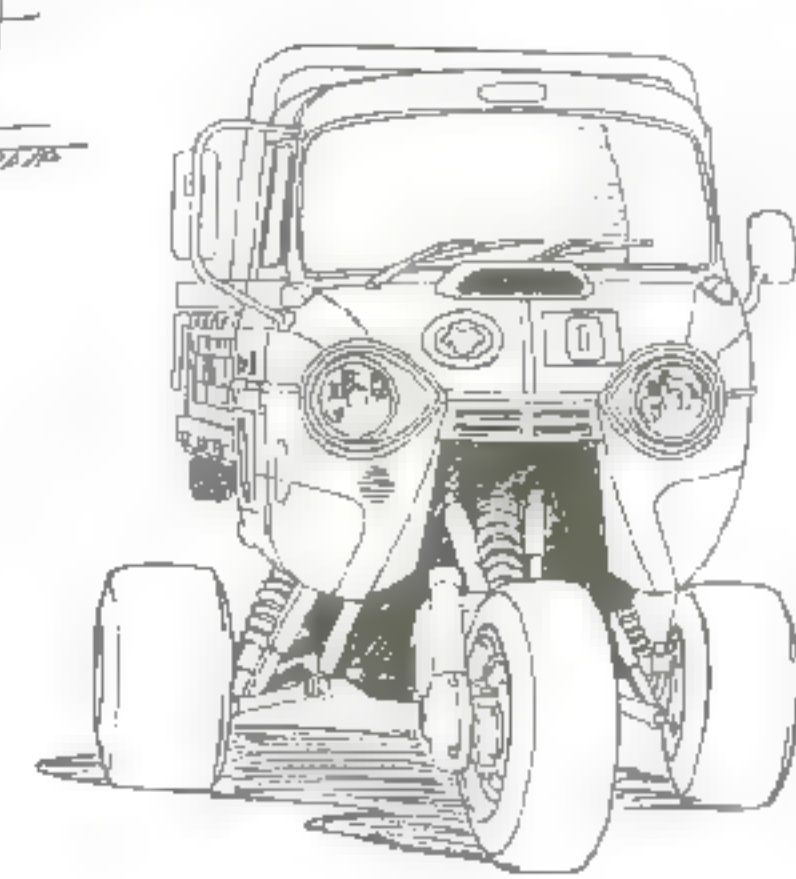
ホンダライフ
ステップバン
1989.6.12 by T. MURAKAMI



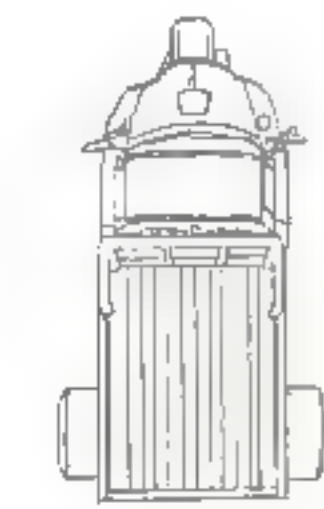
ホンダ ライフステップバン

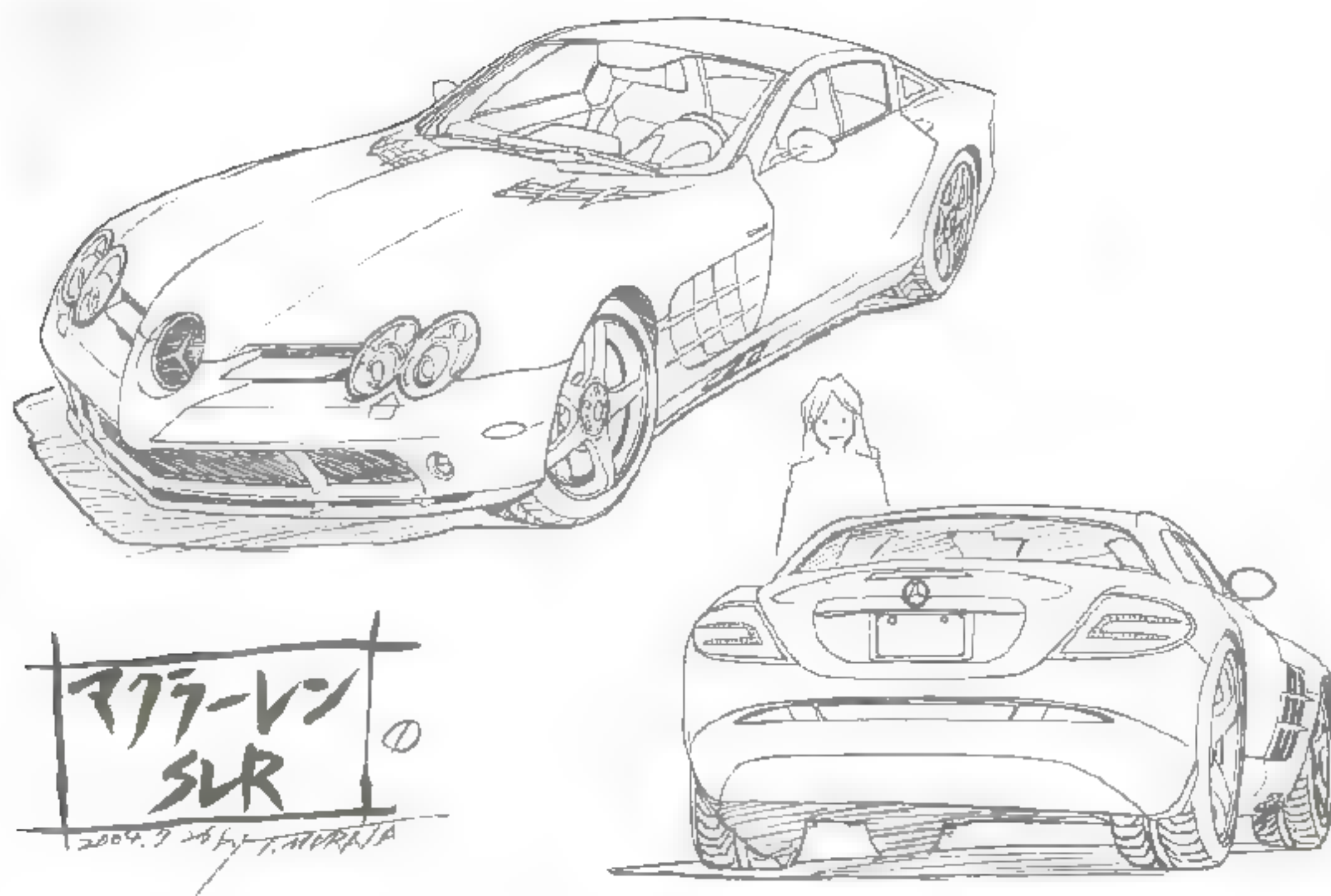


マツダ
1989.2.10 by T. MURAKAMI

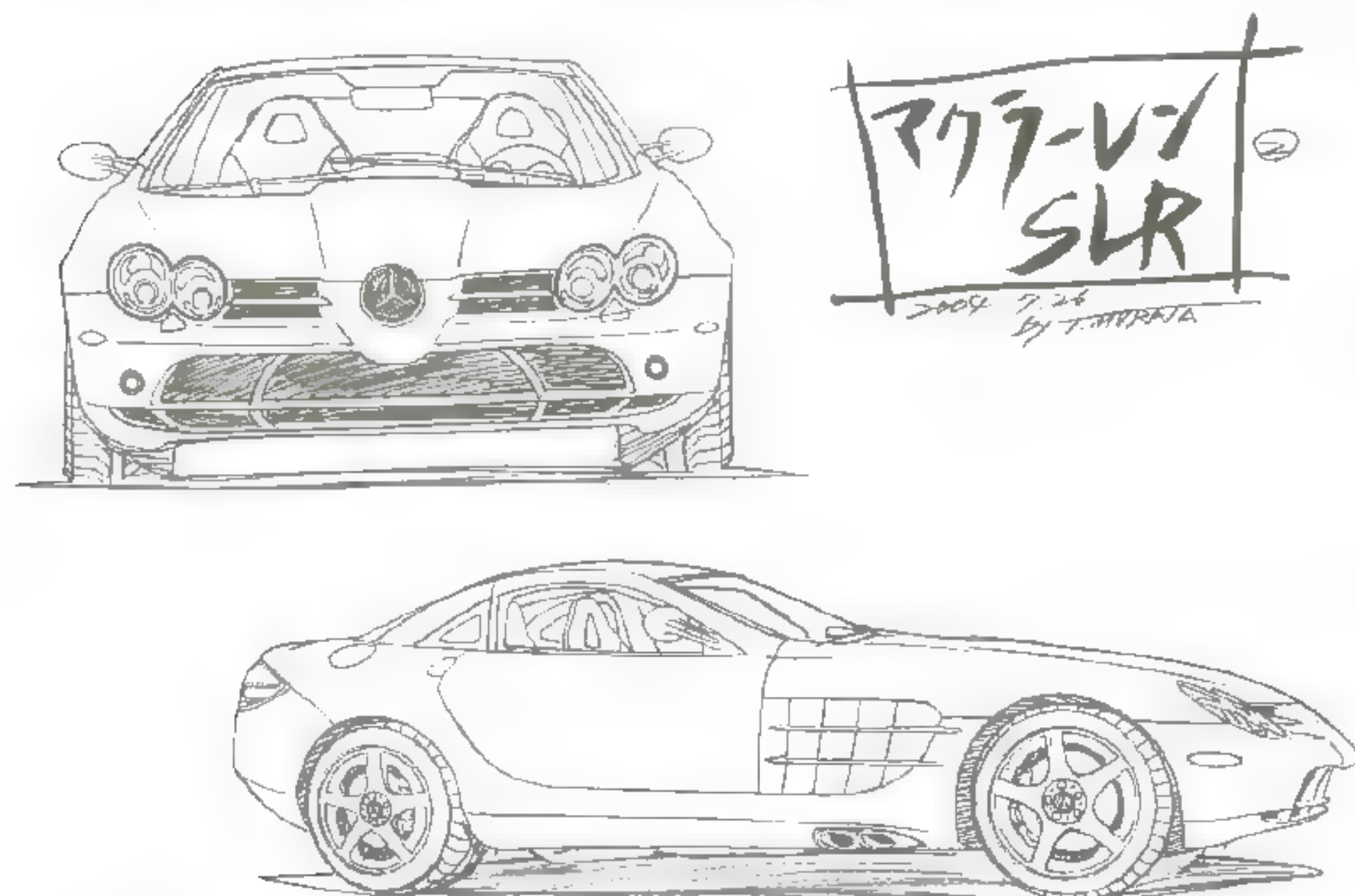


マツダ T2000

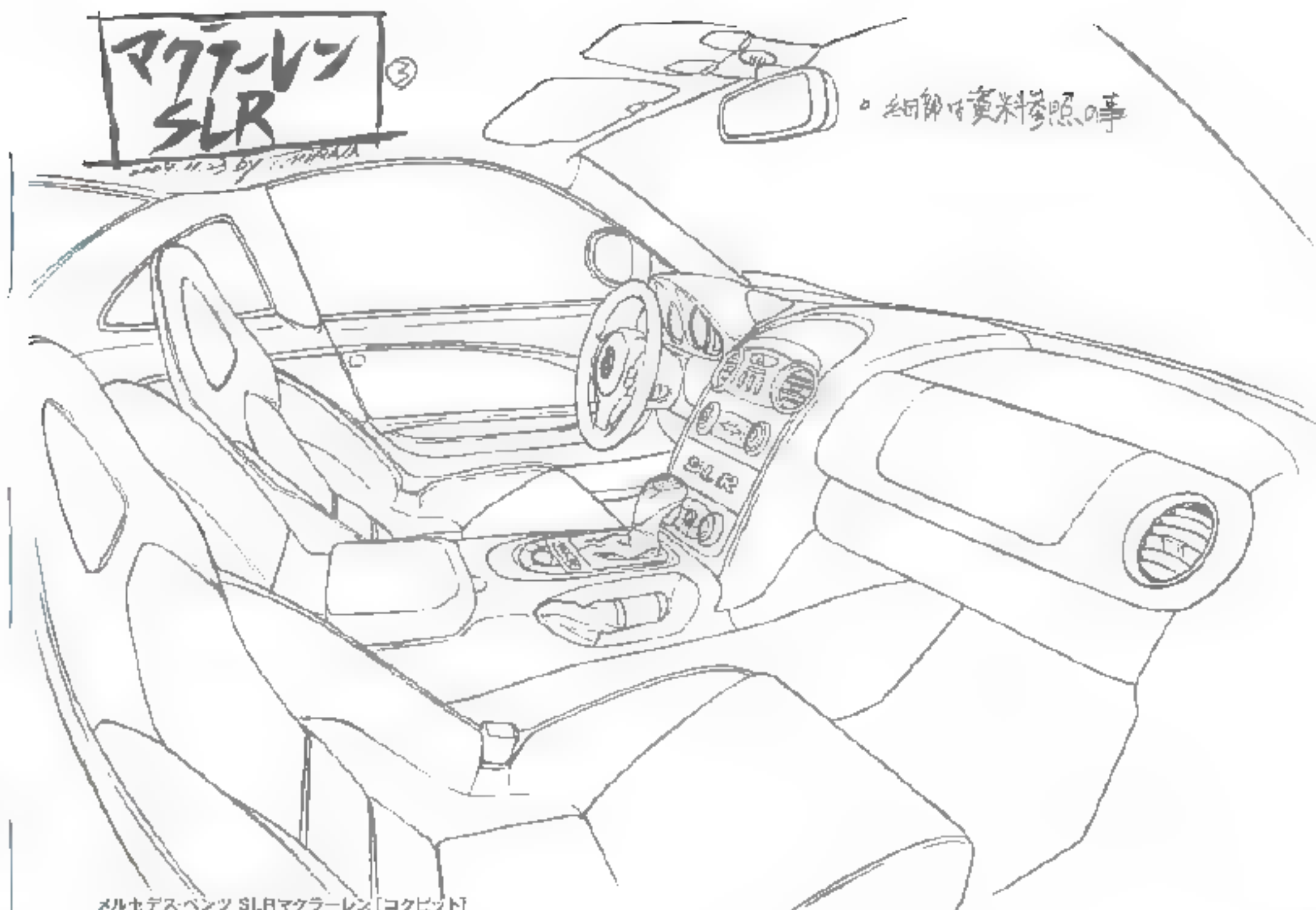




120

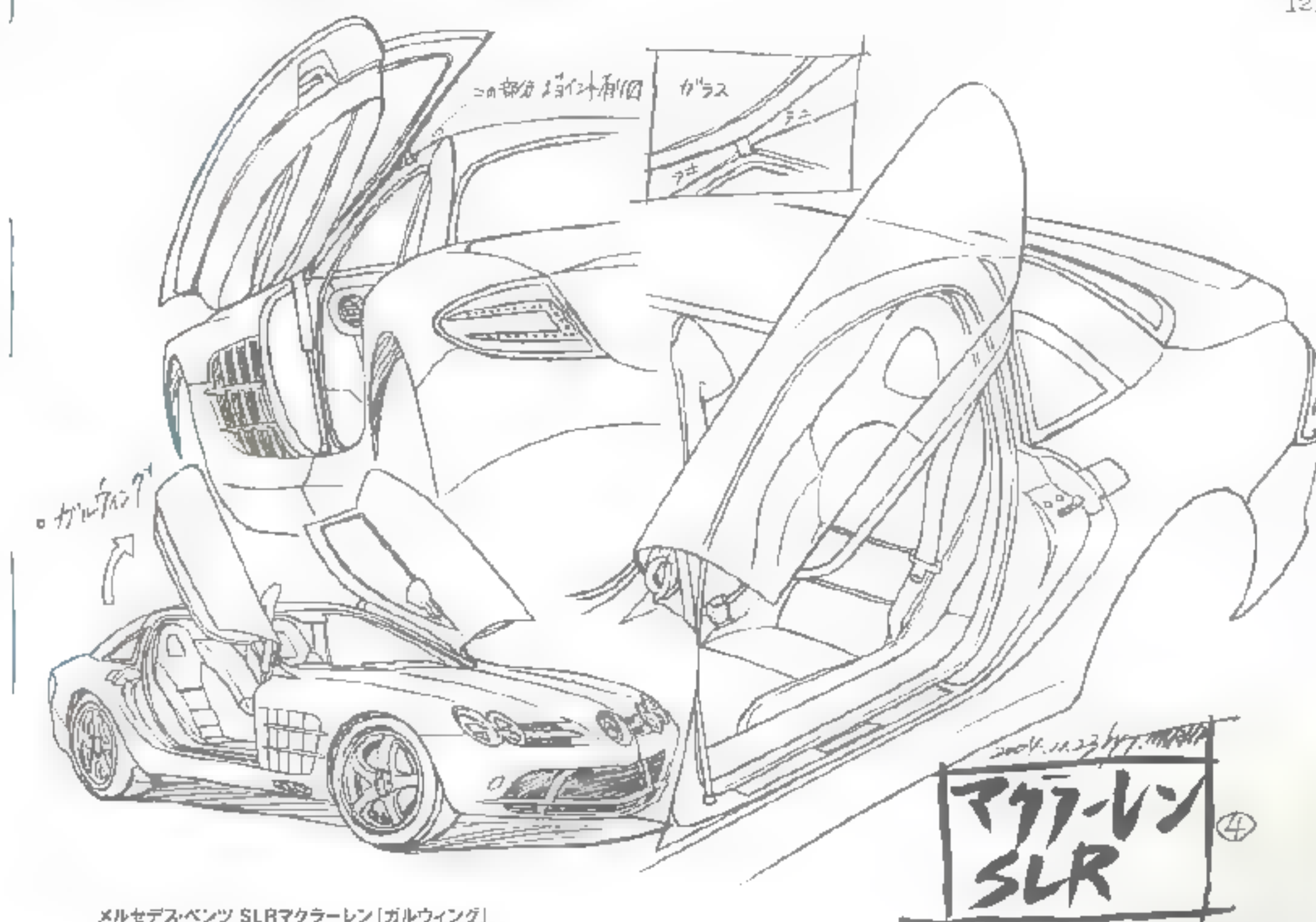


メルセデス・ベンツ SLRマクラーレン

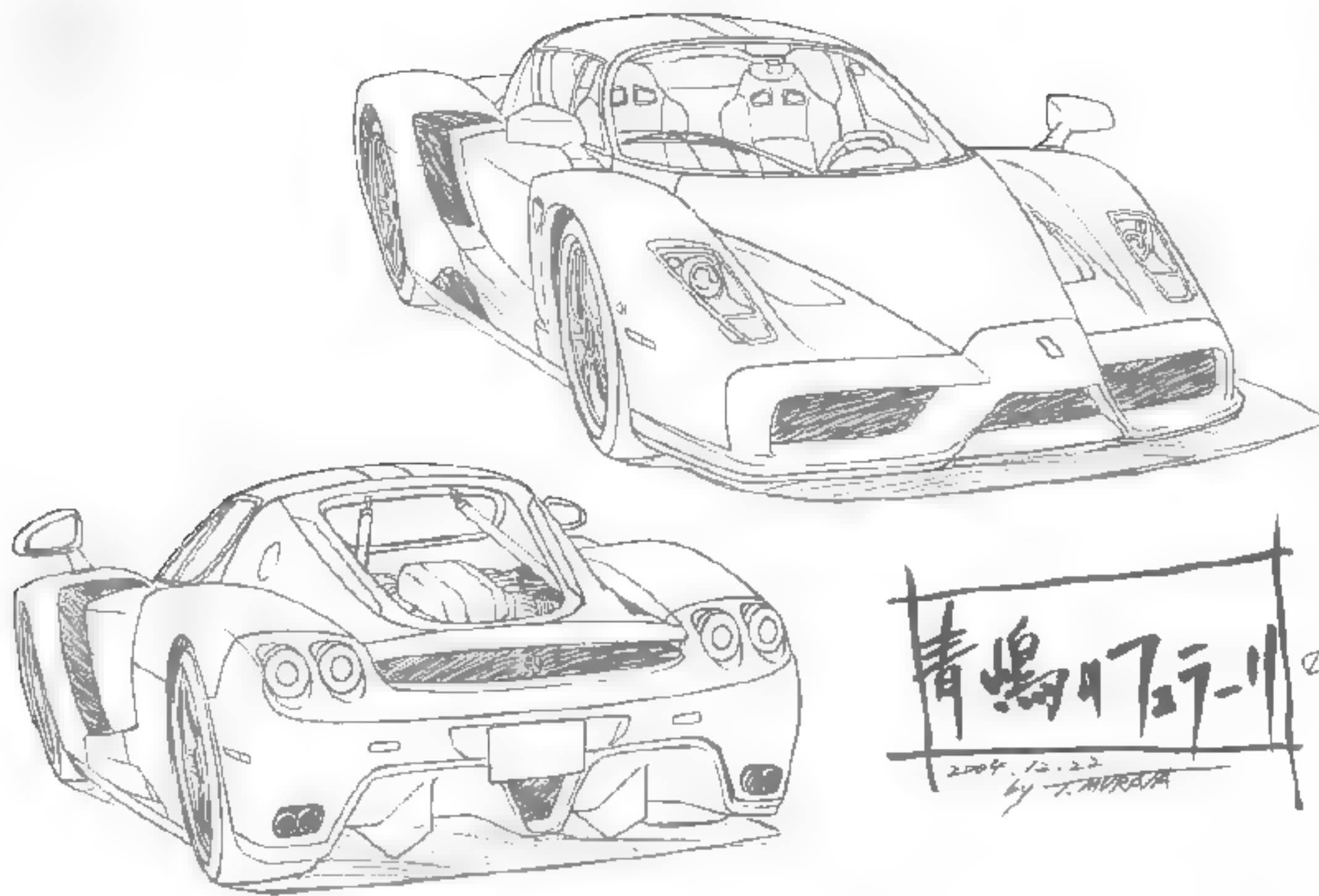


メルセデス・ベンツ SLRマクラーレン [コックピット]

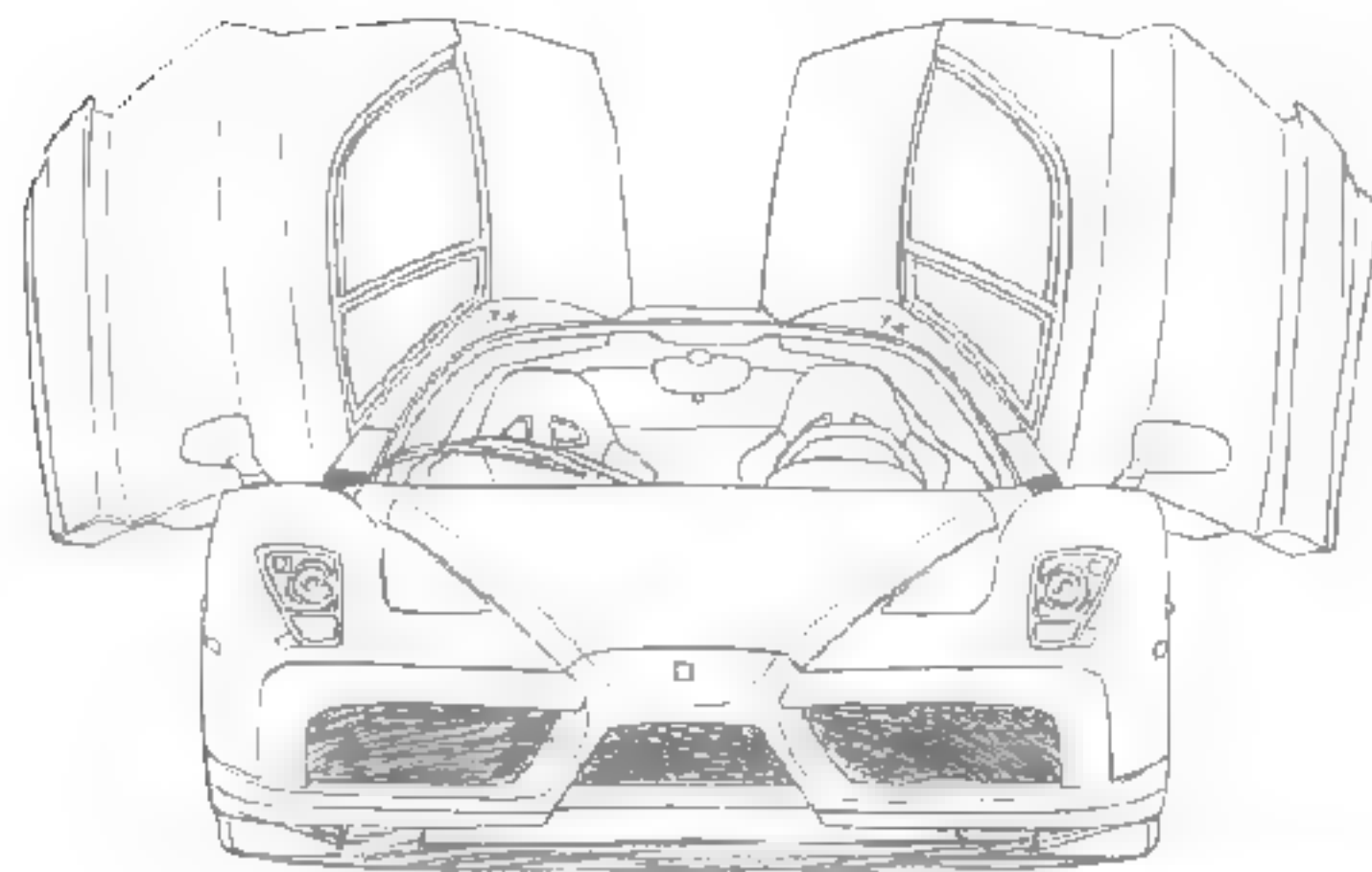
121



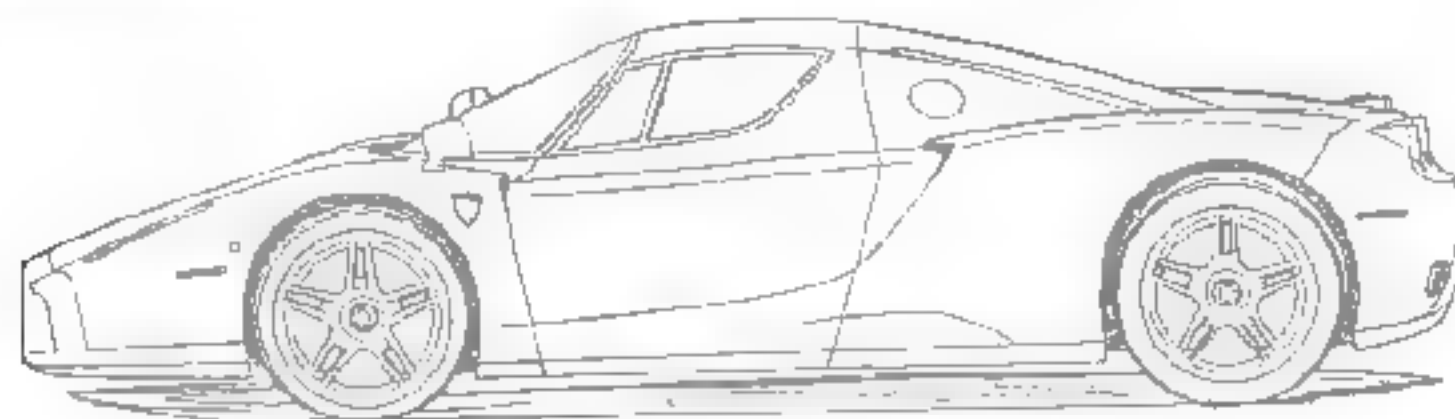
メルセデス・ベンツ SLRマクラーレン [ガウルウィング]



122

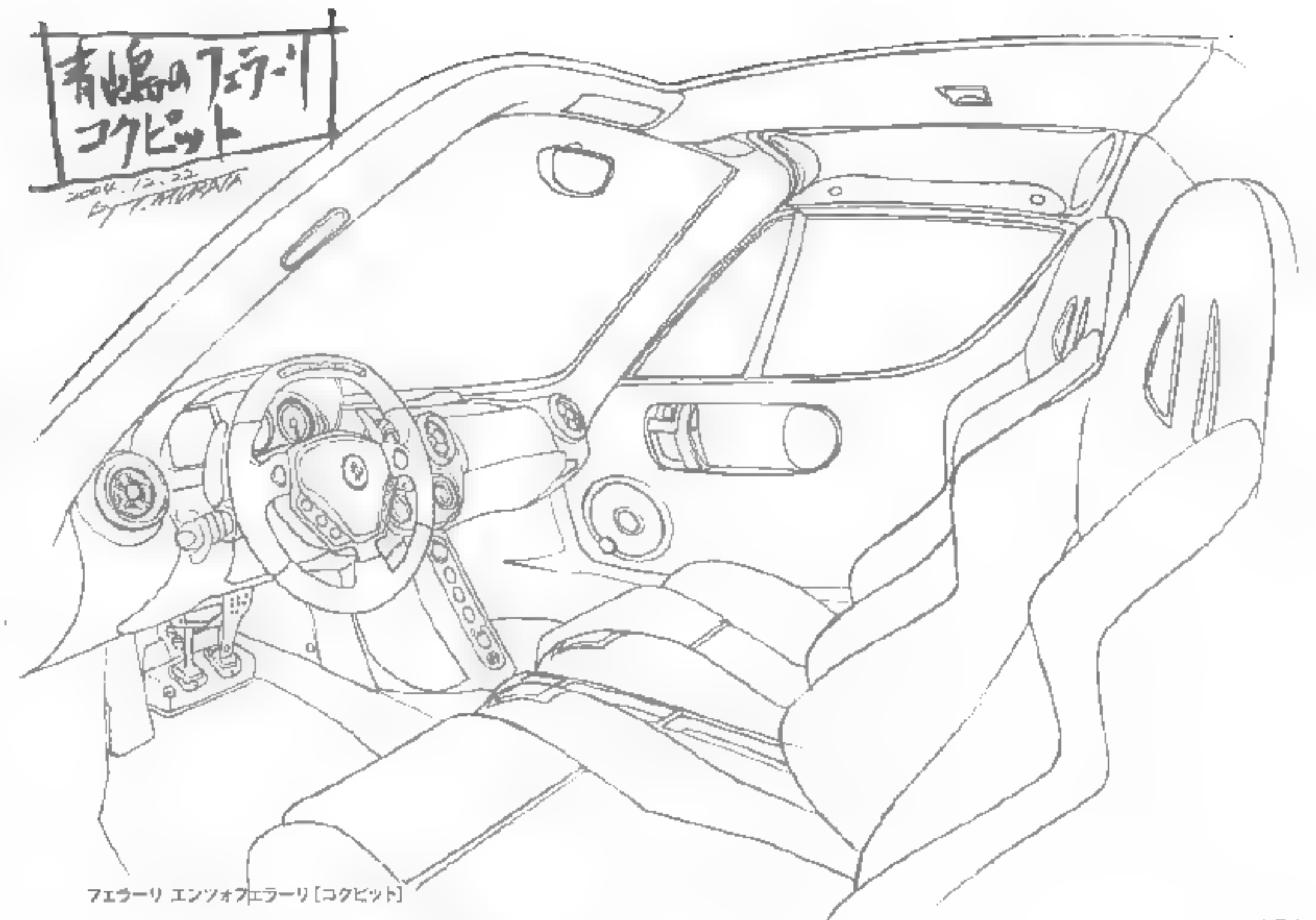


フェラーリ エンツォフェラーリ



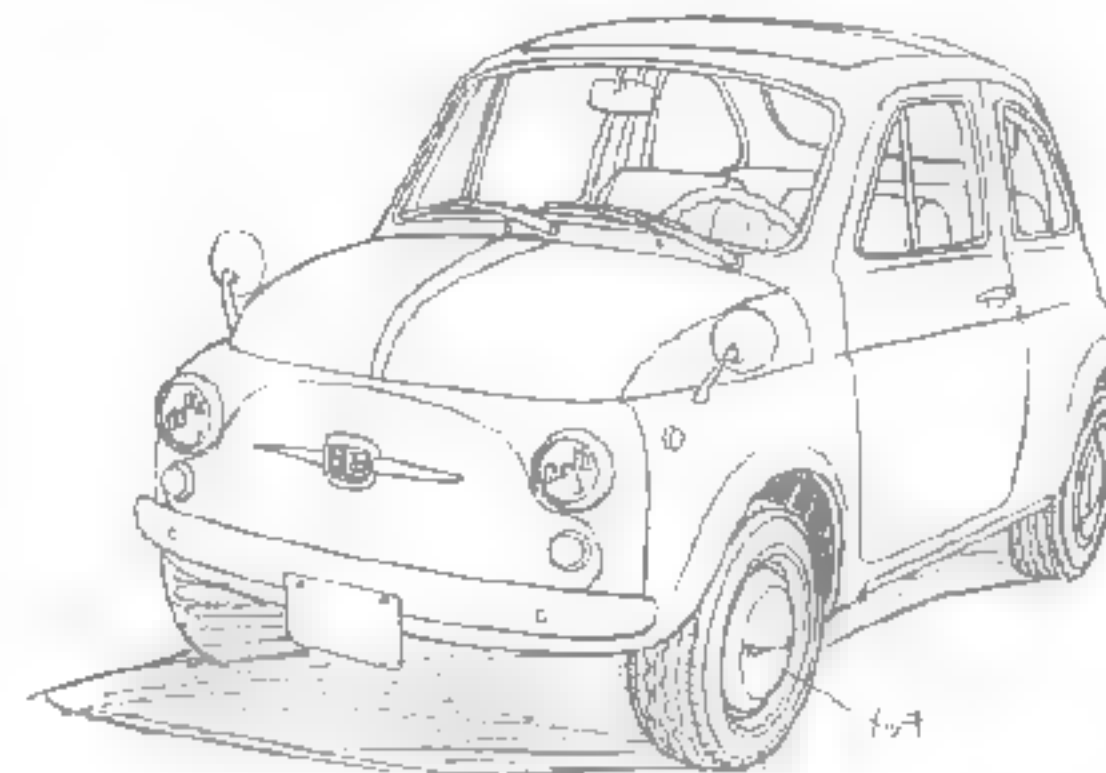
青島のフェラーリ
2004.12.22
by T. MURATA

② 青島のフェラーリ
2004.12.22
by T. MURATA

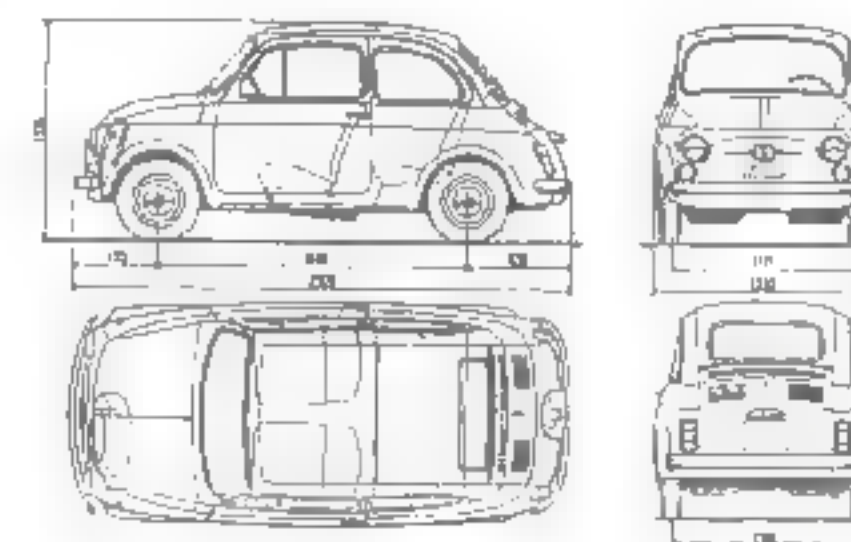
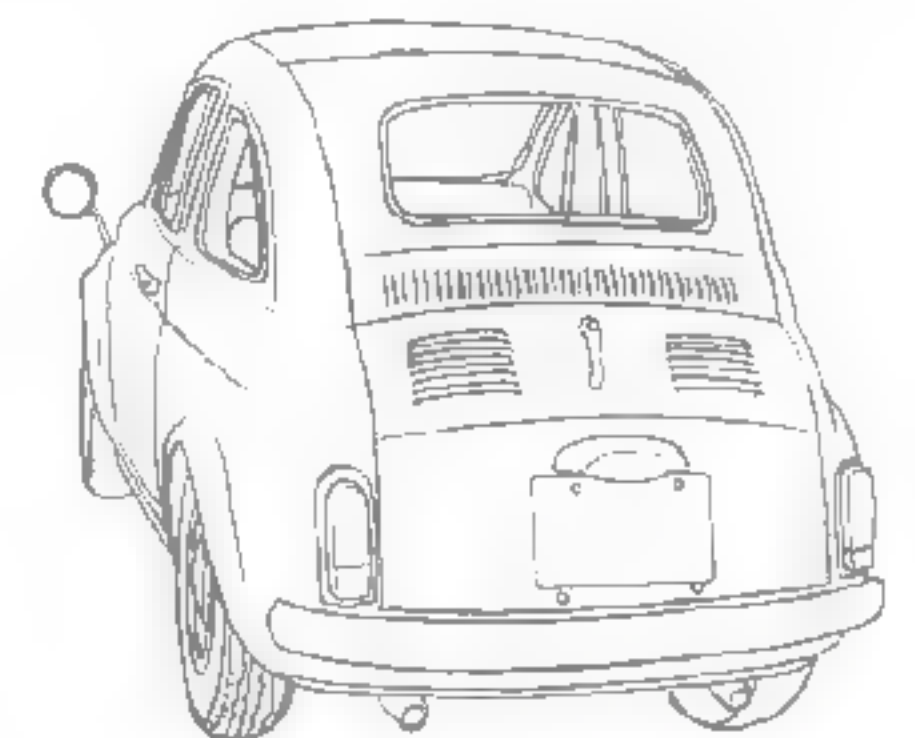


フェラーリ エンツォフェラーリ [コクピット]

123

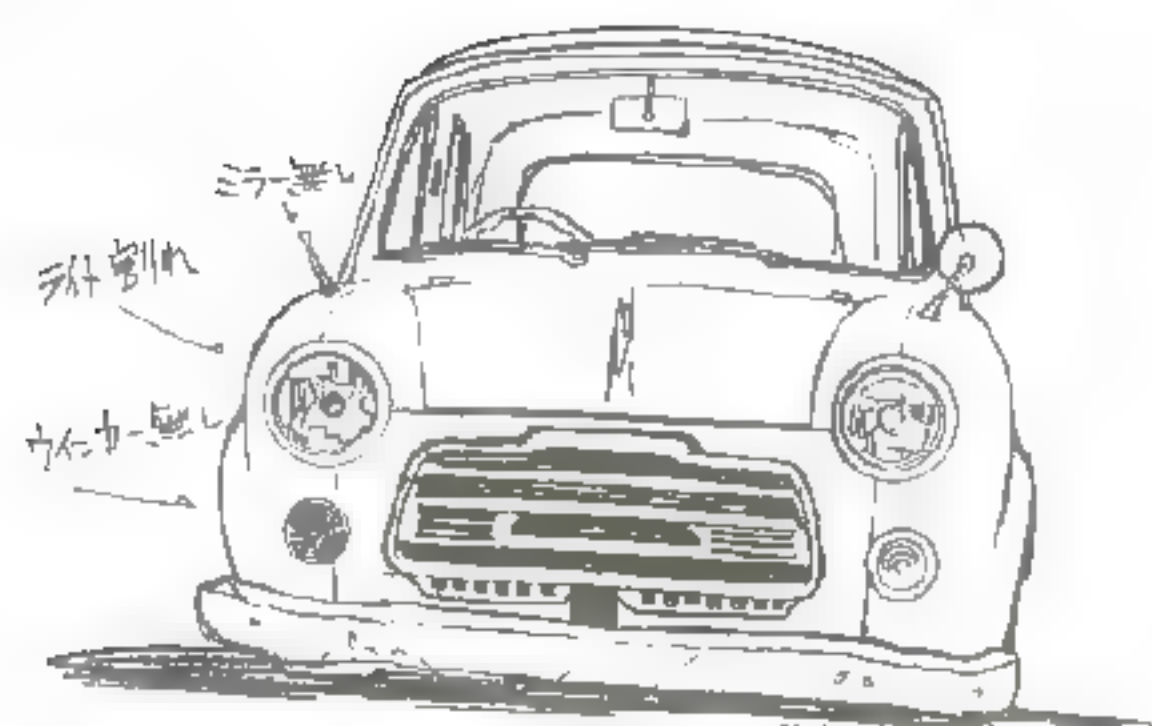


フロント
ヘッドライト

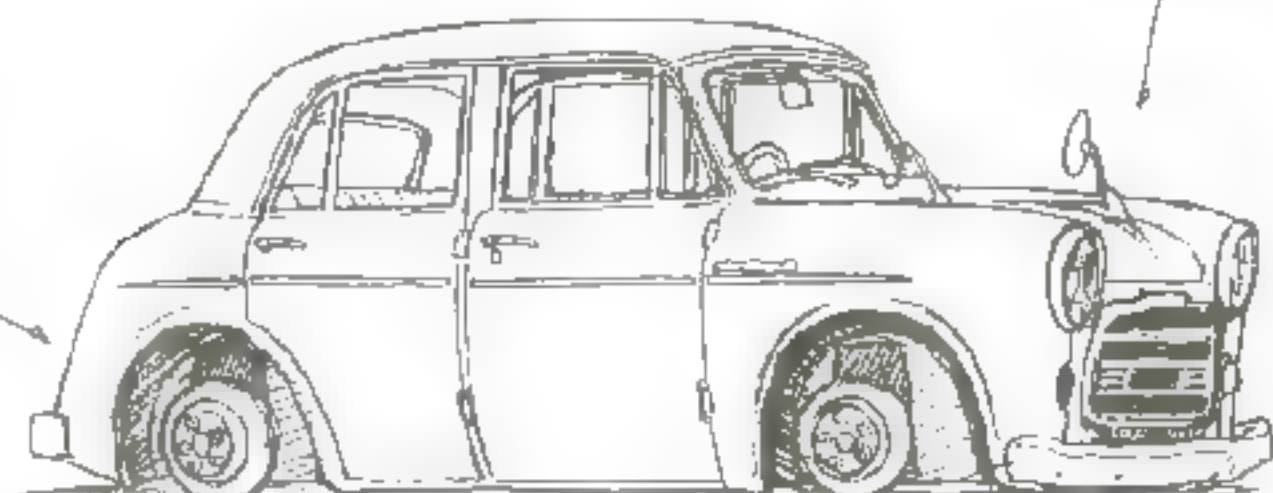


フィアット 500

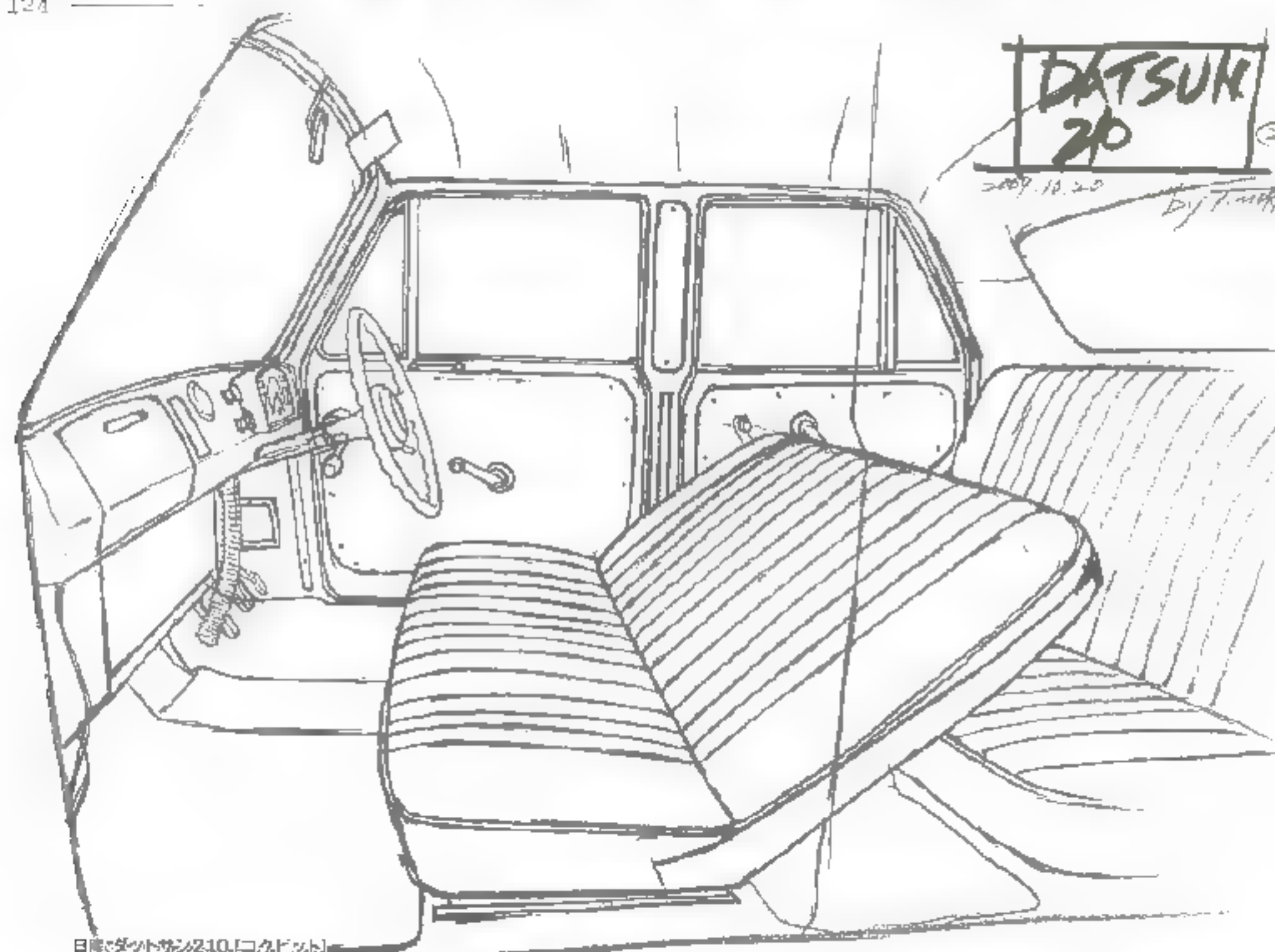
FIAT 500
2005.3.17
by T. MURATA
GOMDA



DATSUN
210 ①
2004.10.20 by T. MURAKAMI

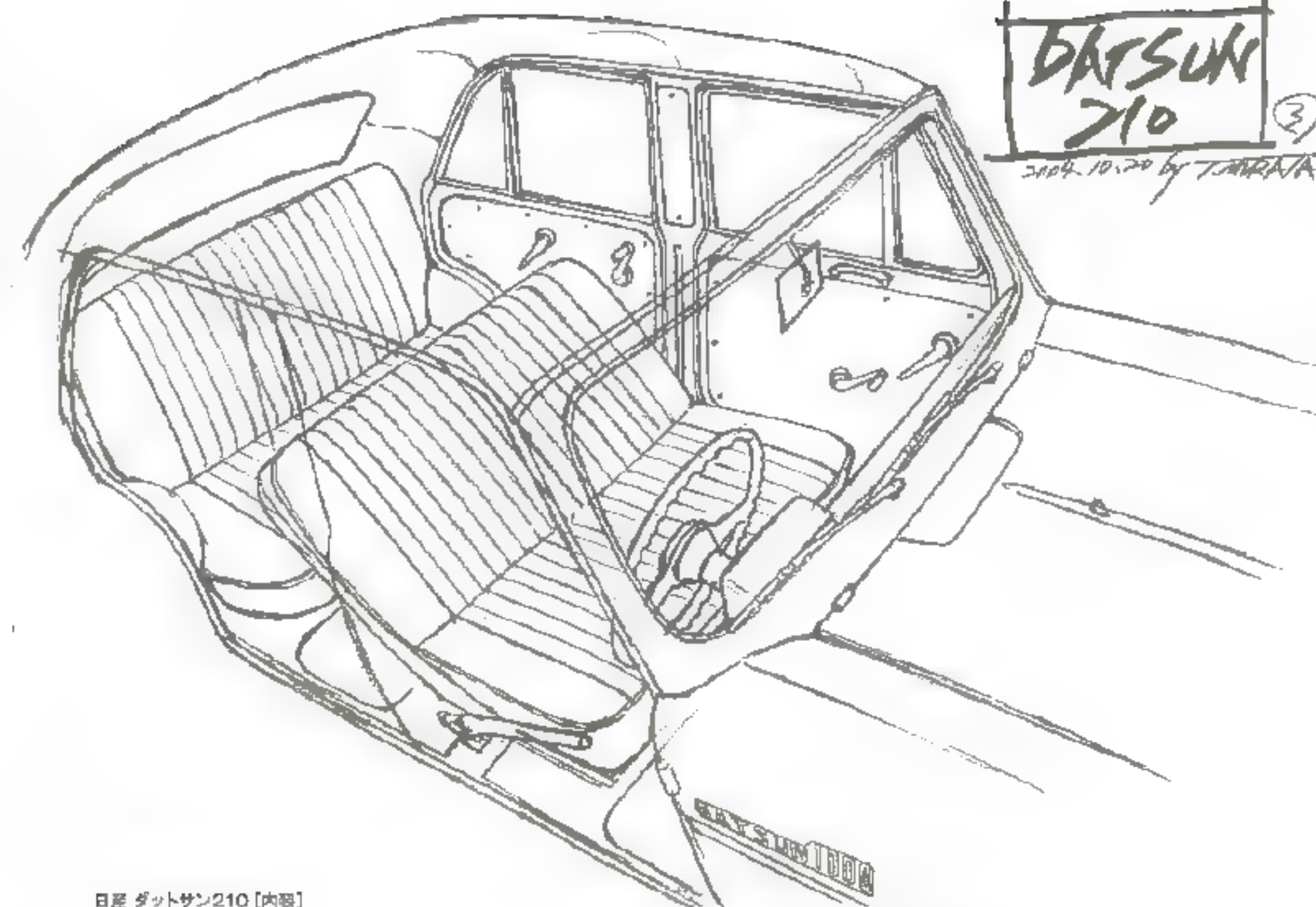


日産 ダットサン210



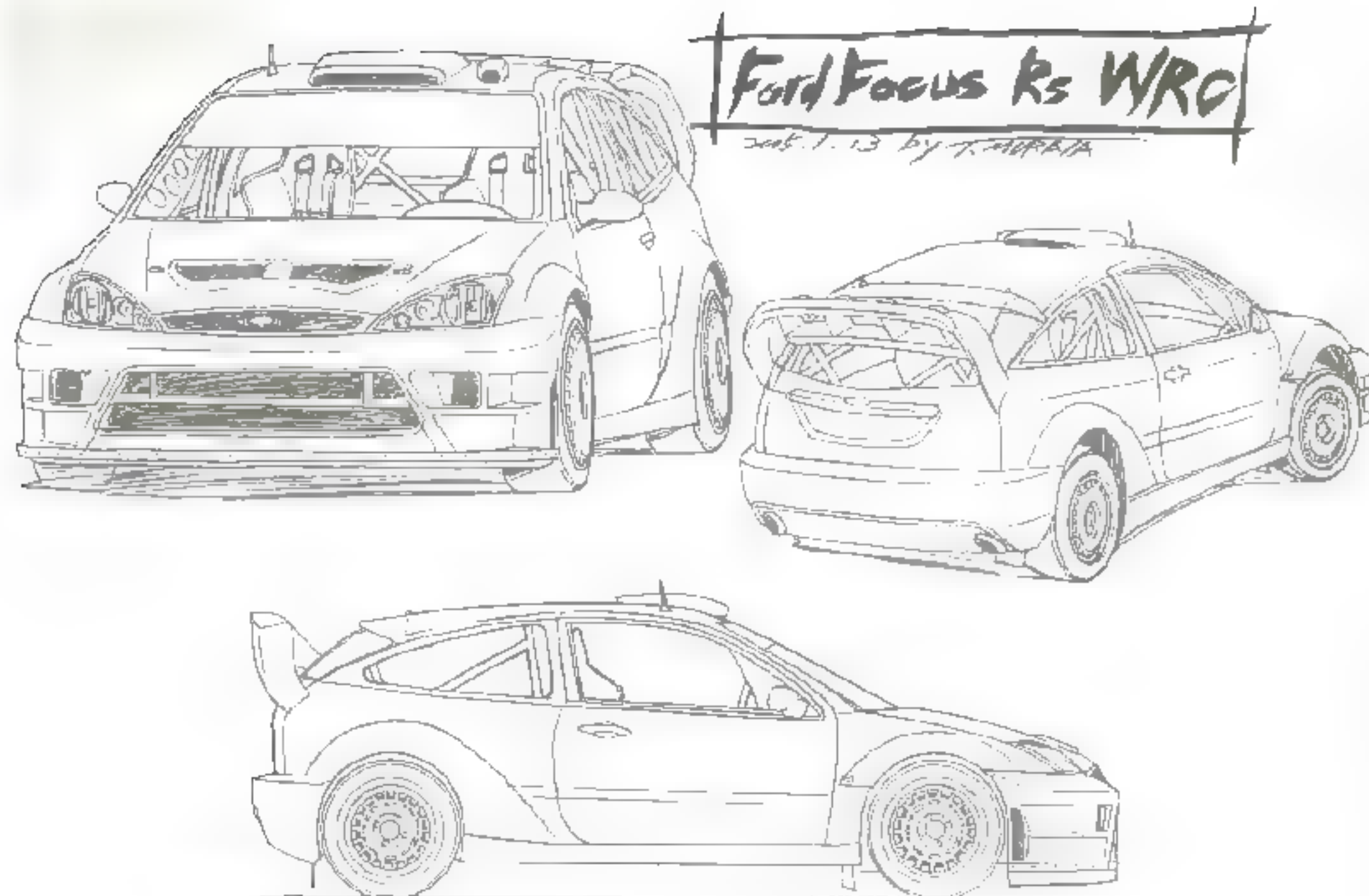
DATSUN
210 ②
2004.10.20 by T. MURAKAMI

日産 ダットサン210 [コクピット]

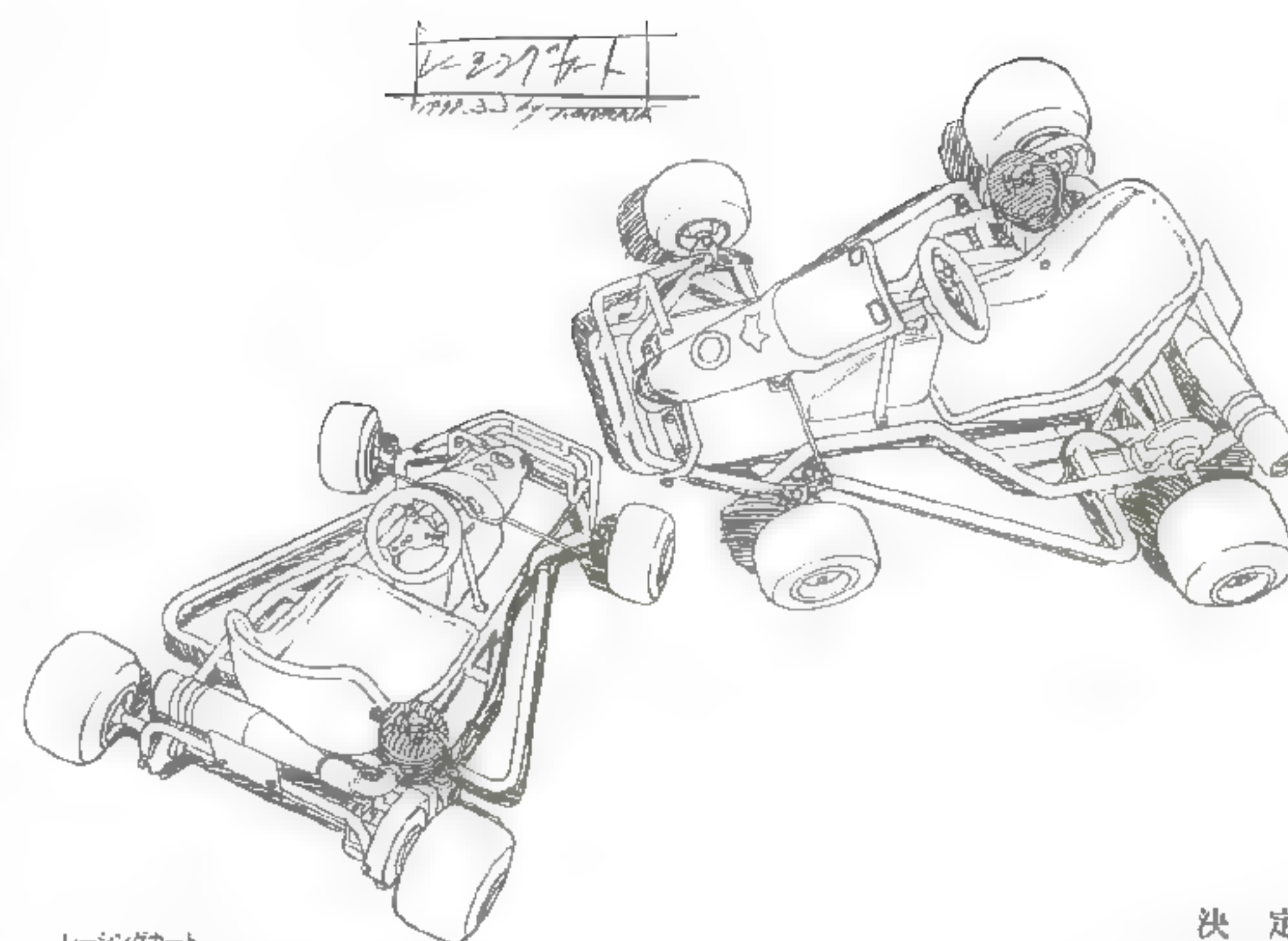


DATSUN
210 ③
2004.10.20 by T. MURAKAMI

日産 ダットサン210 [内装]

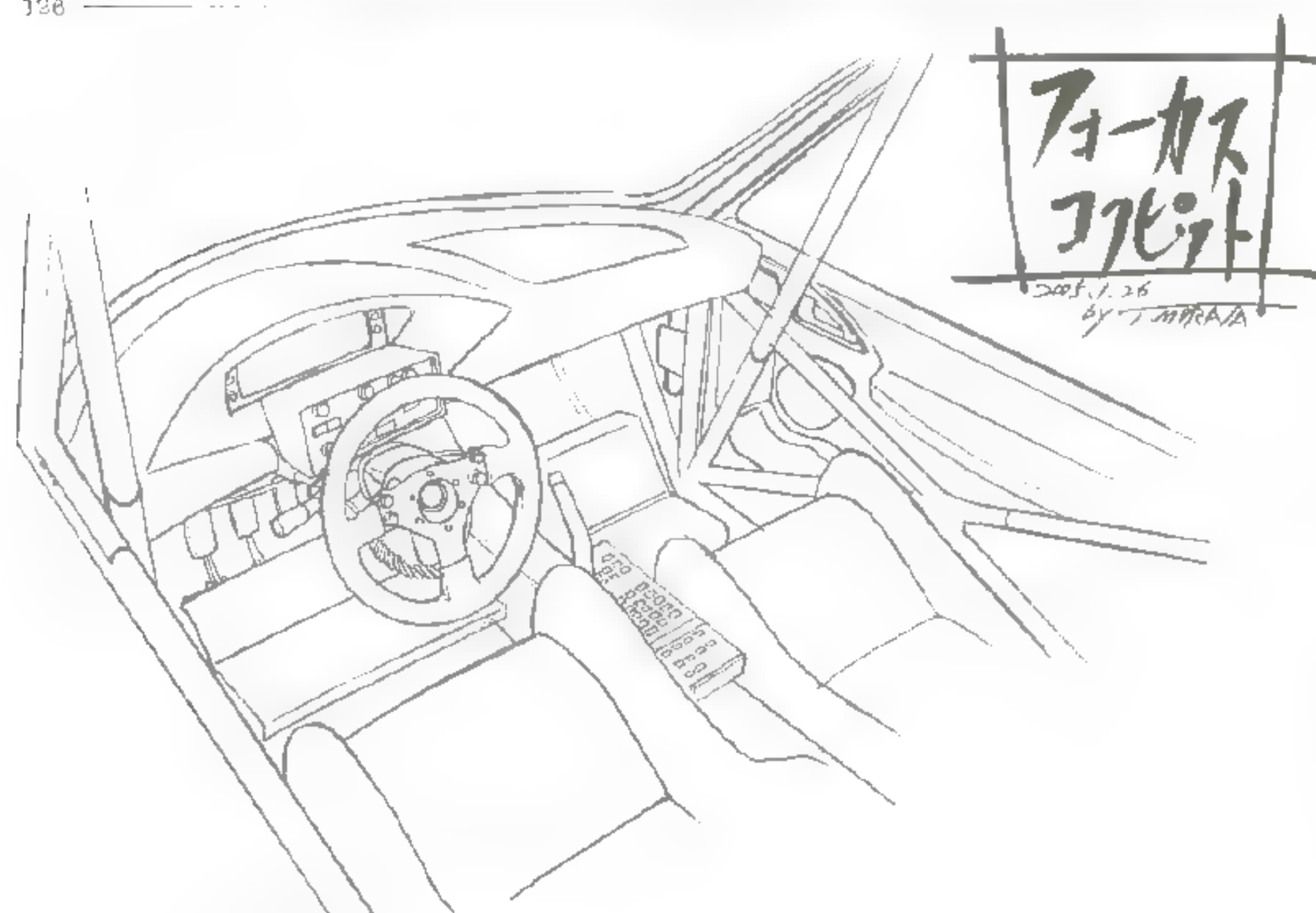


フォード フォーカスRSWRC

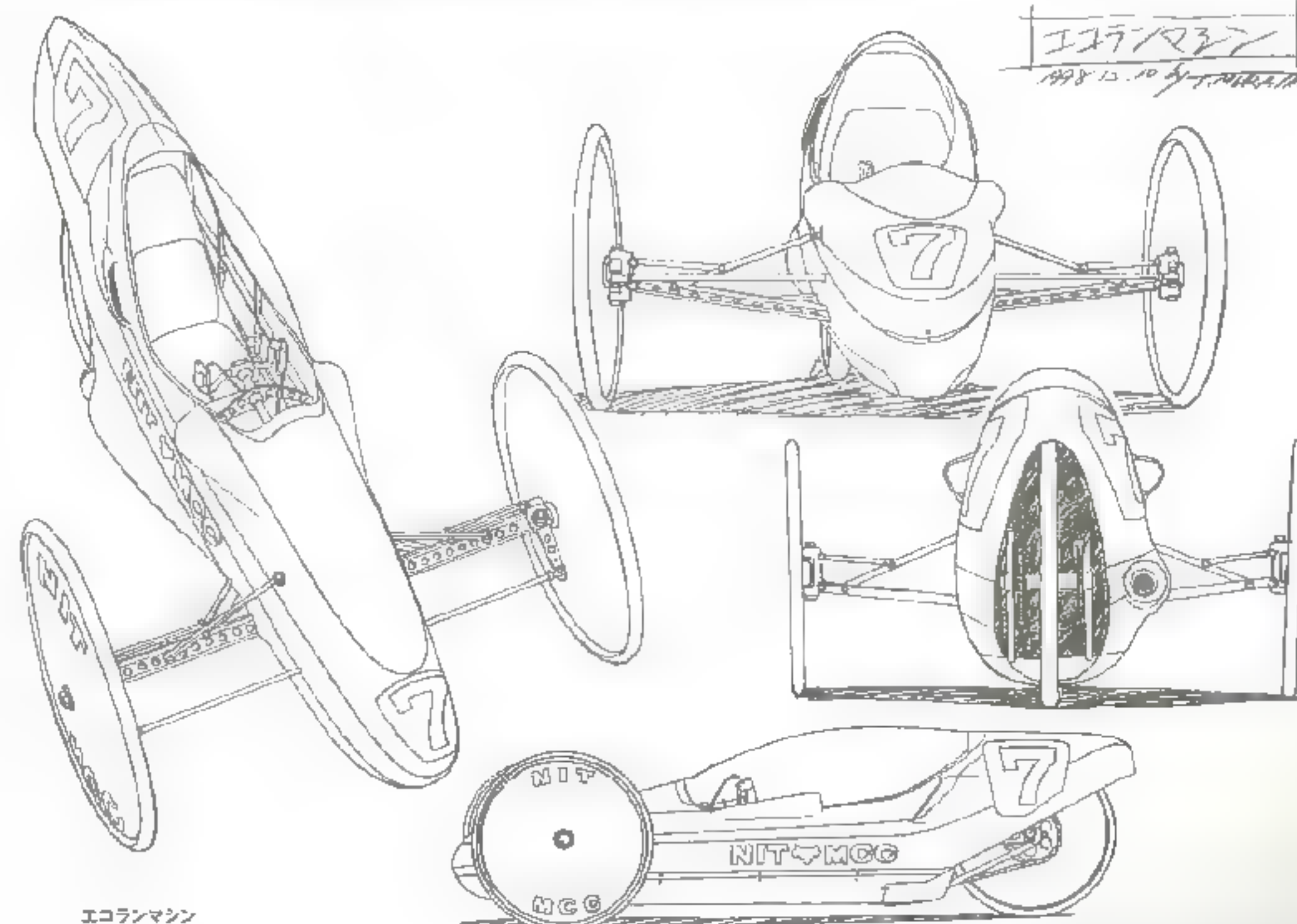


レーシングカート

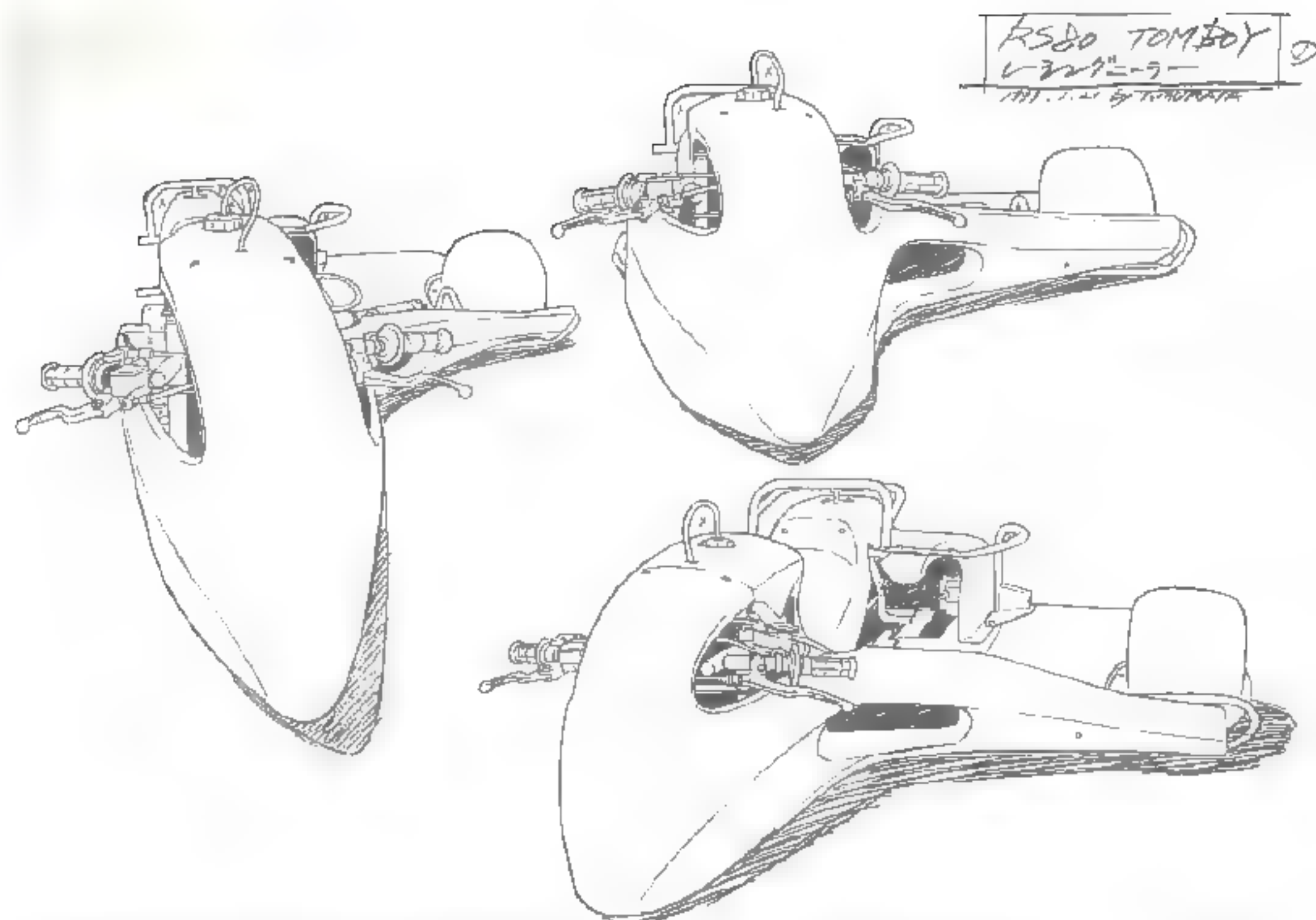
決定稿



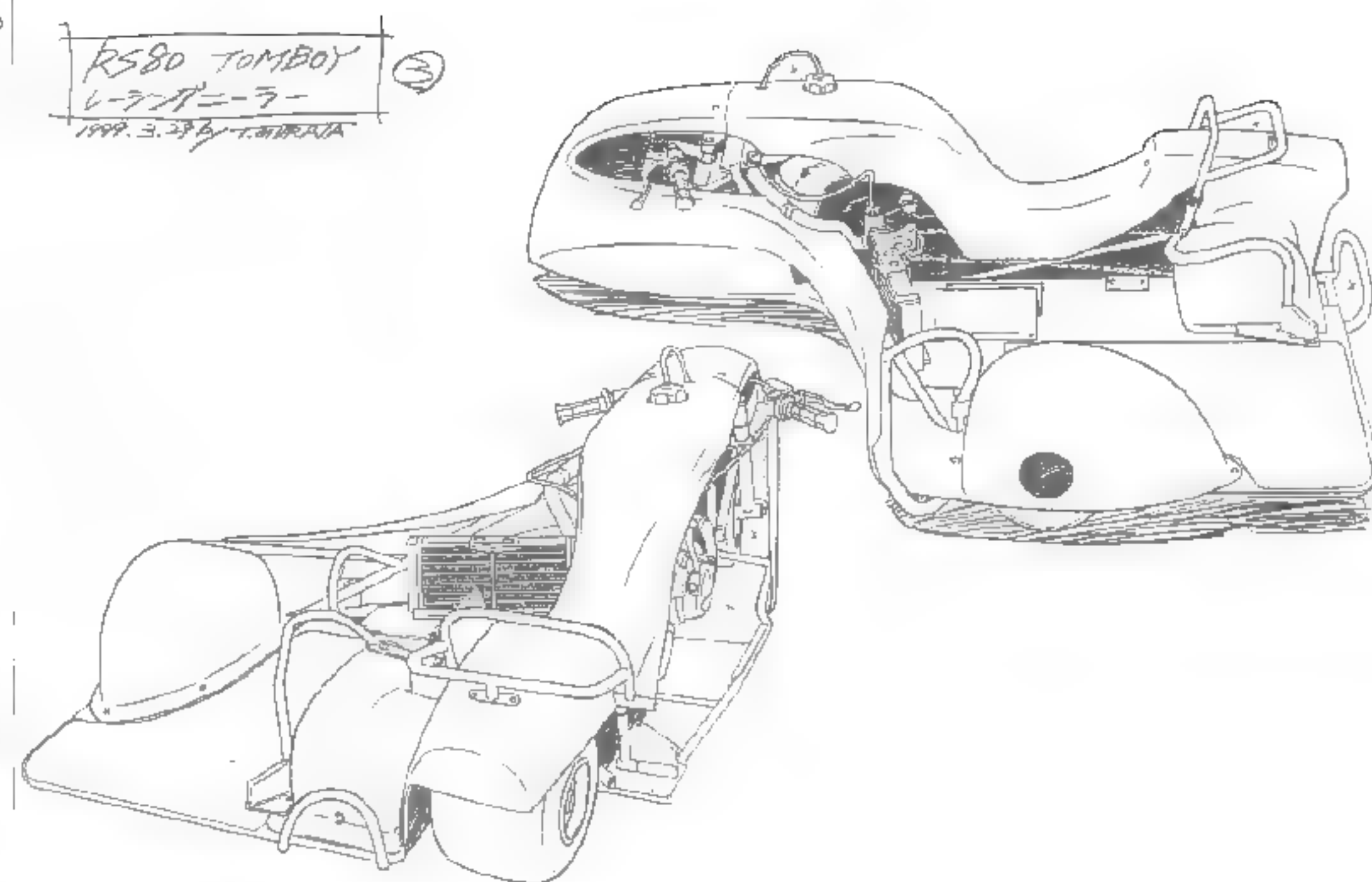
フォード フォーカスRSWRC [コックピット]



F1マシン

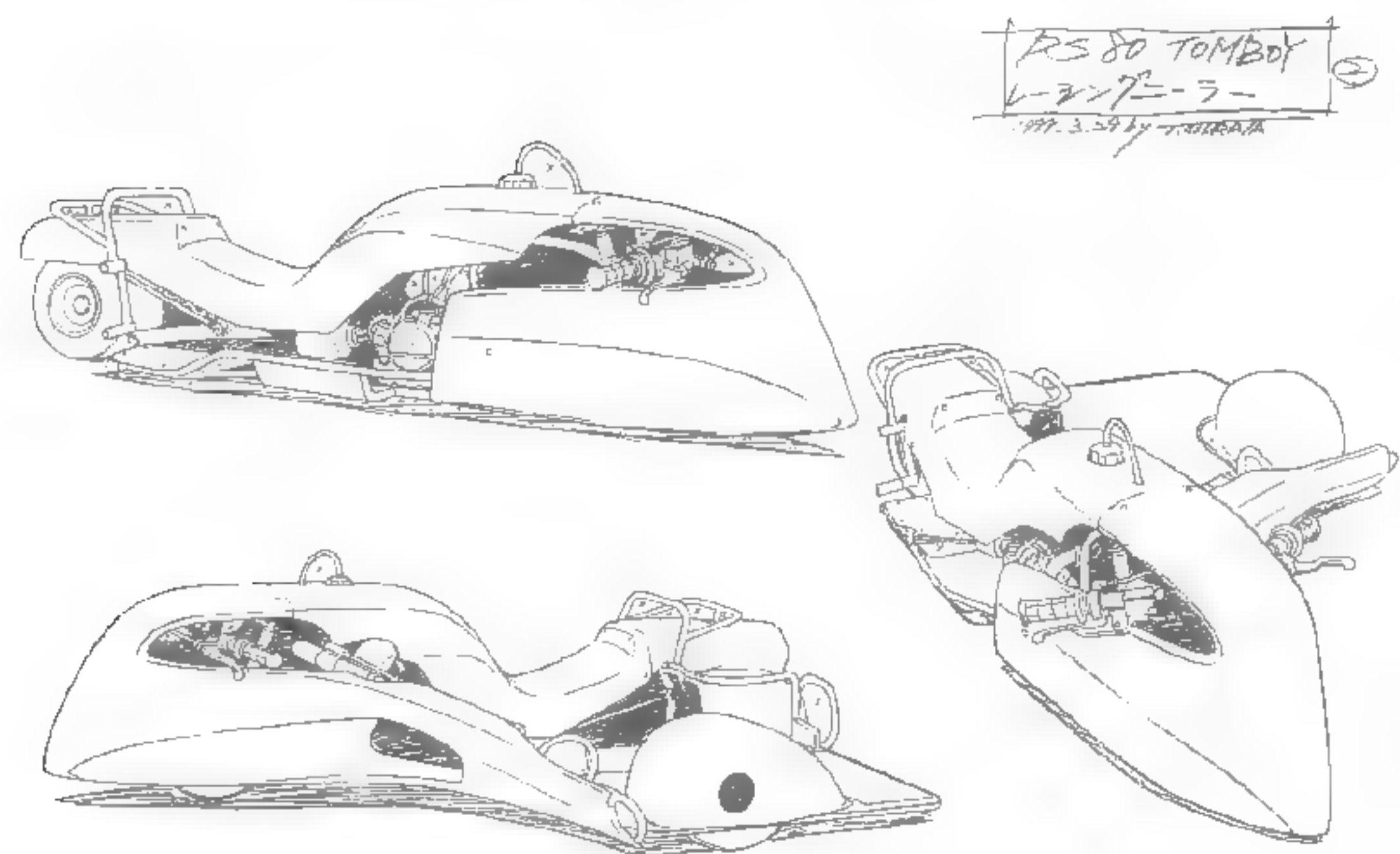


128

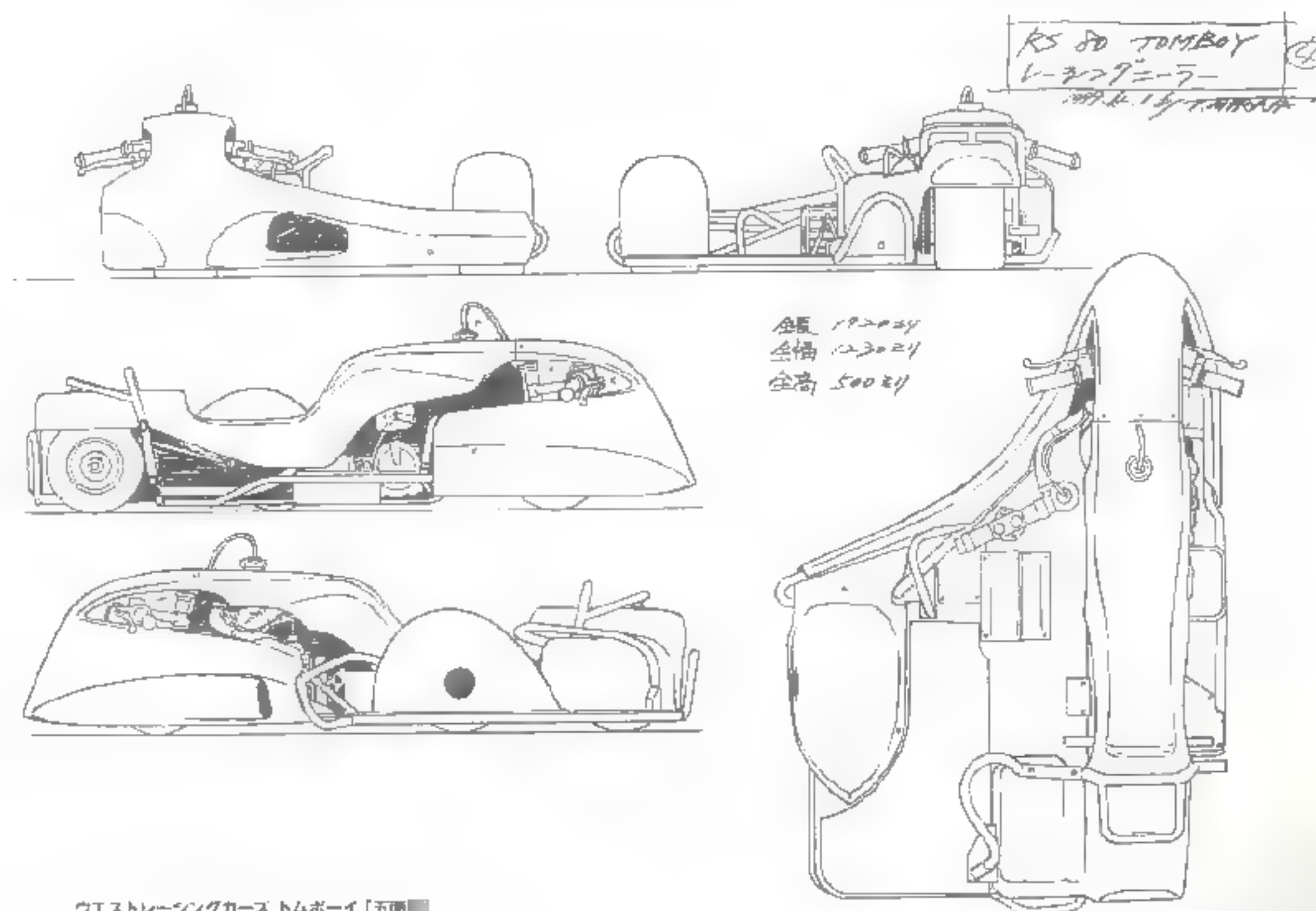


ウエストレーシングカーズ トムボーイ

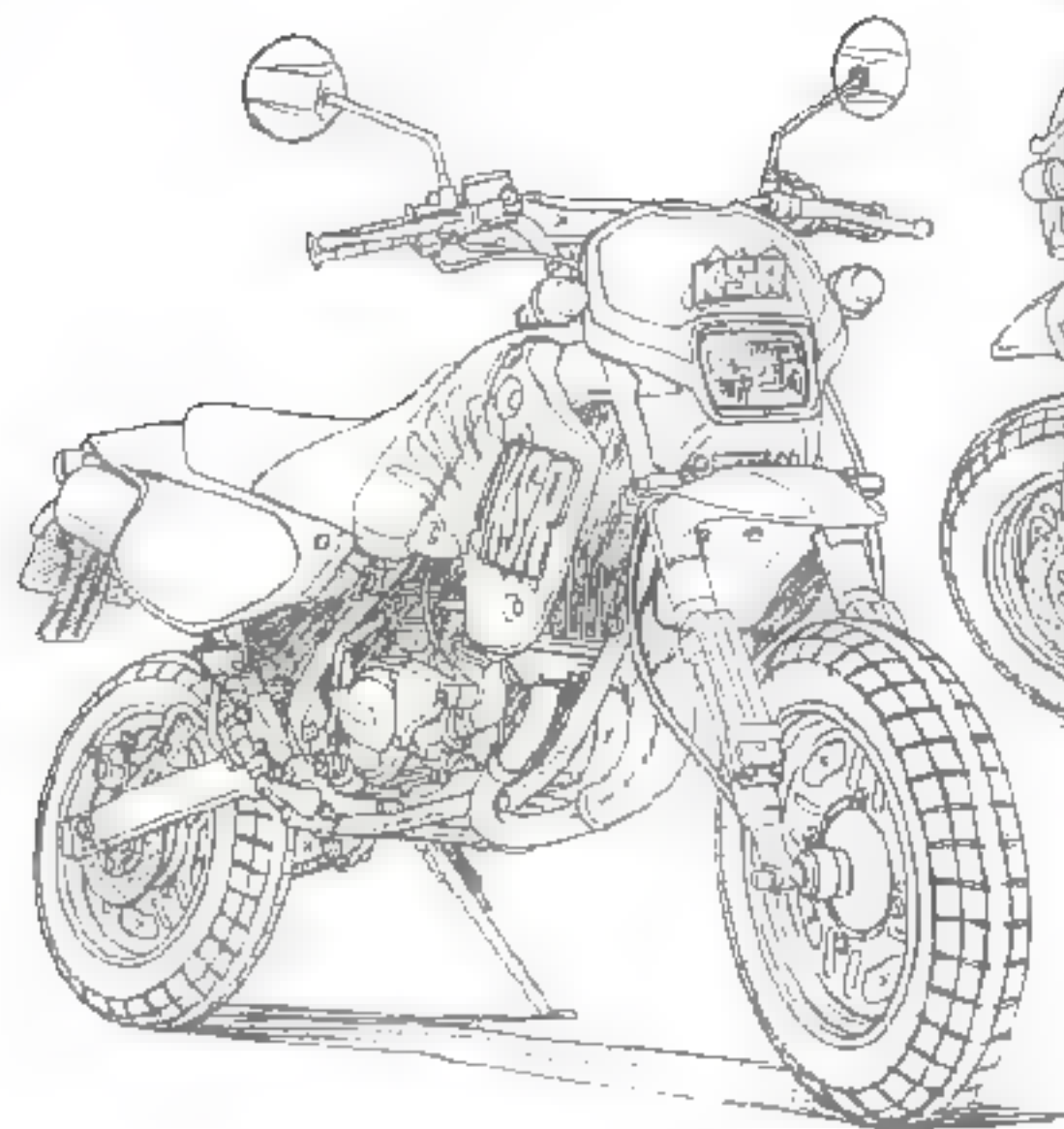
129



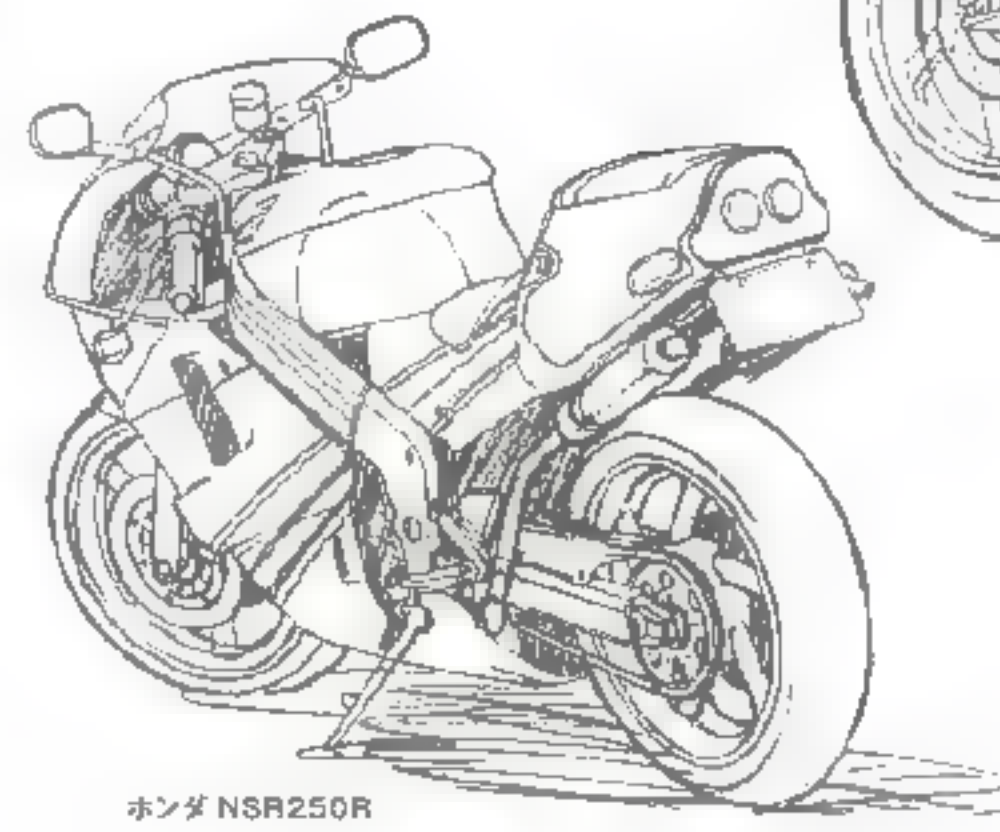
ウエストレーシングカーズ トムボーイ



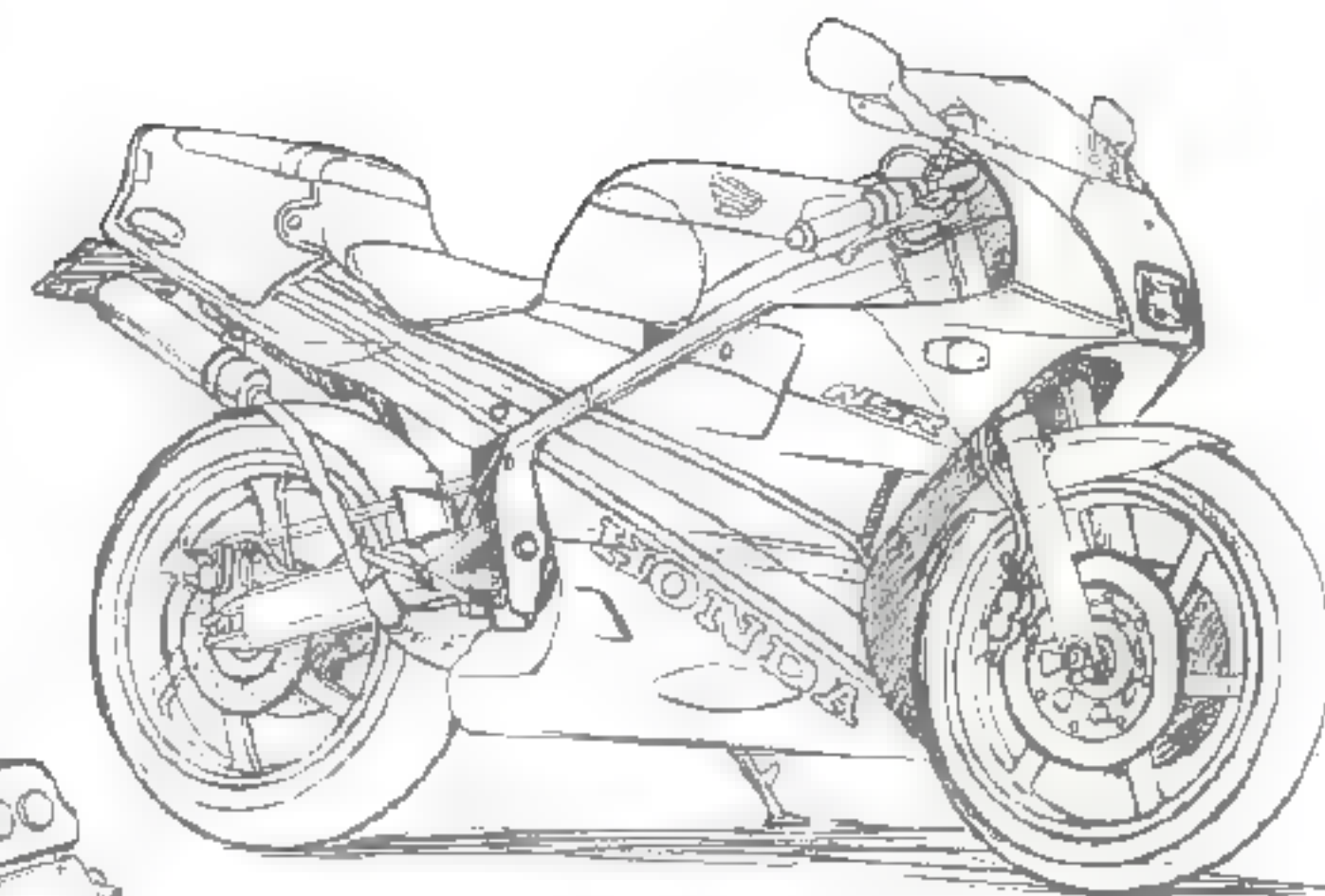
ウエストレーシングカーズ トムボーイ [五面]



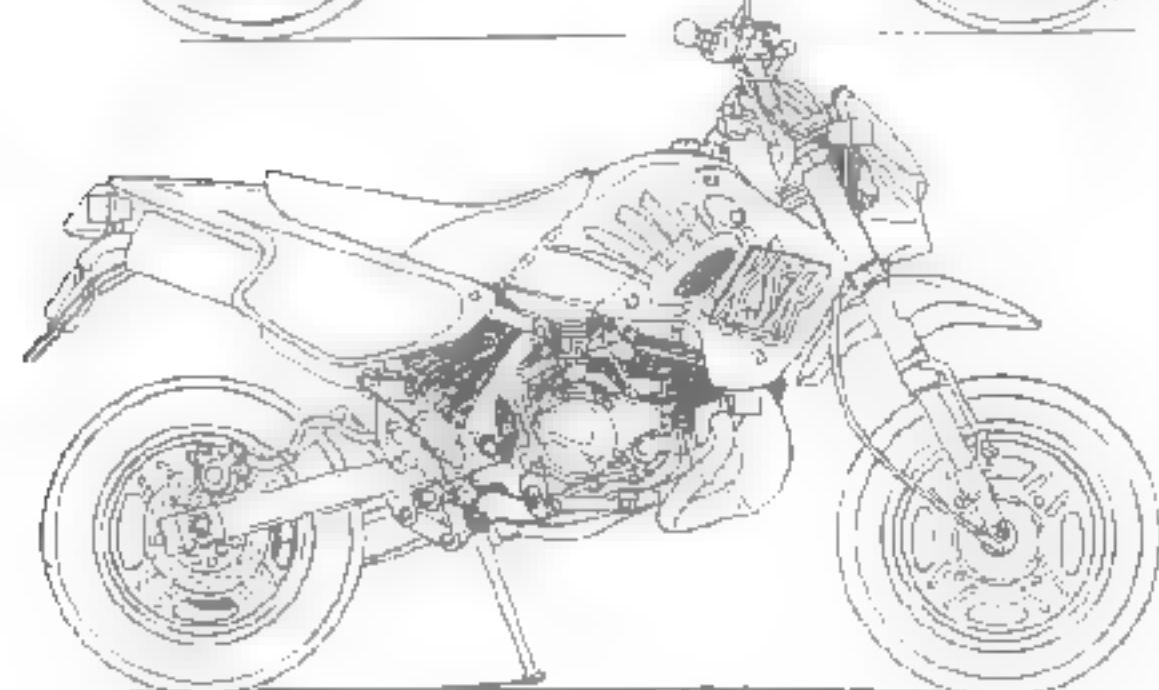
恵々KSR ①
1998. 4. 20 by T. MURATA



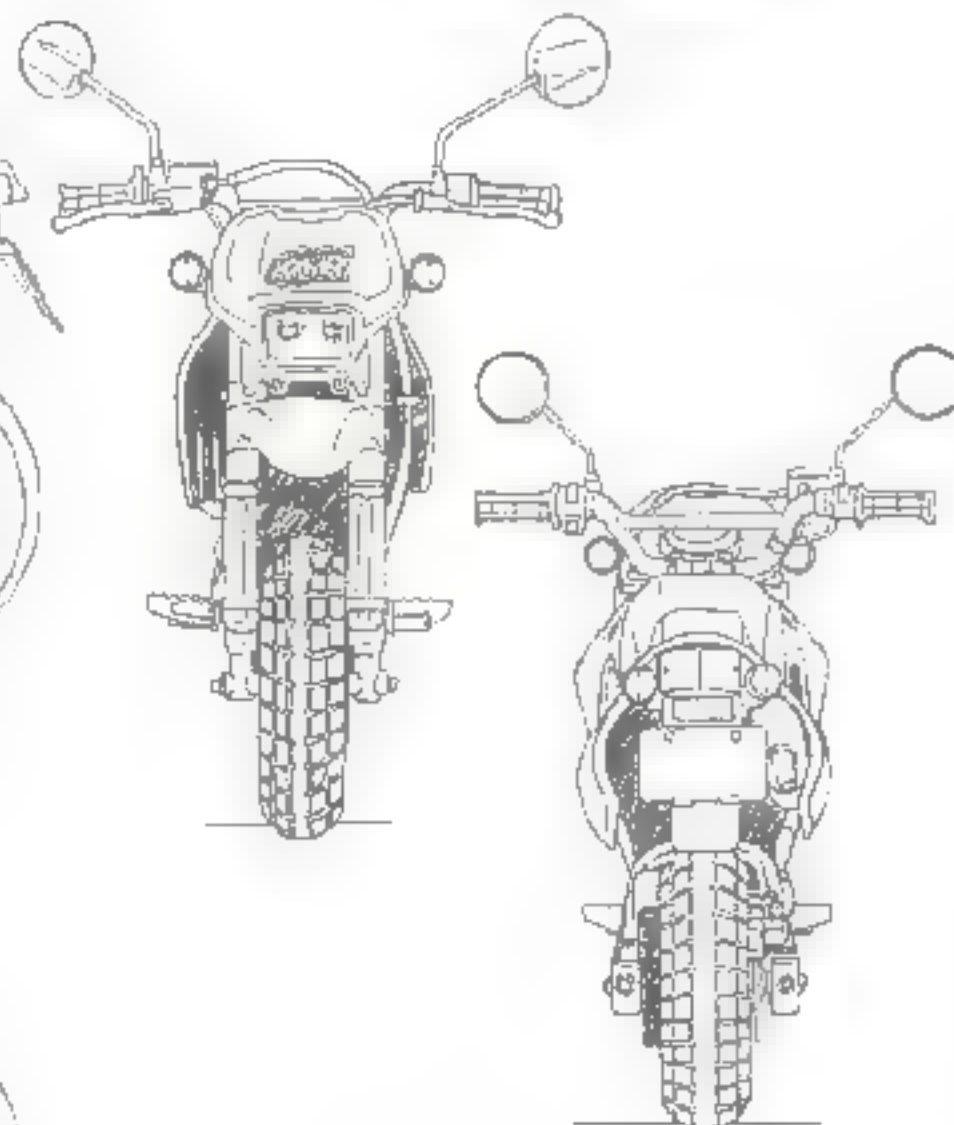
ホンダ NSR250R



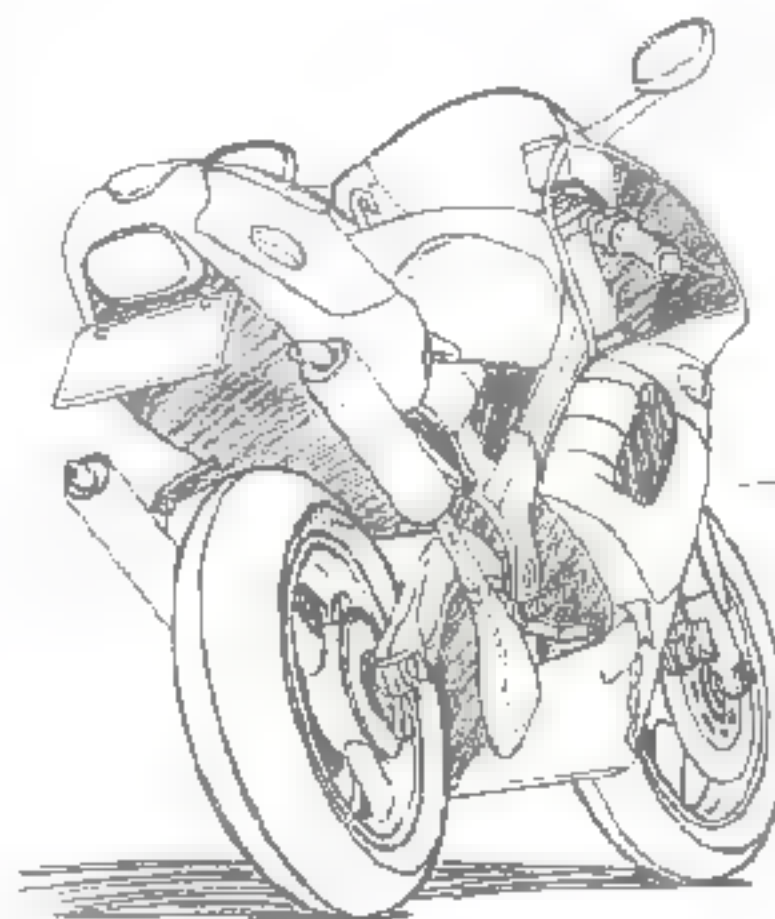
恵々KSR ② ③



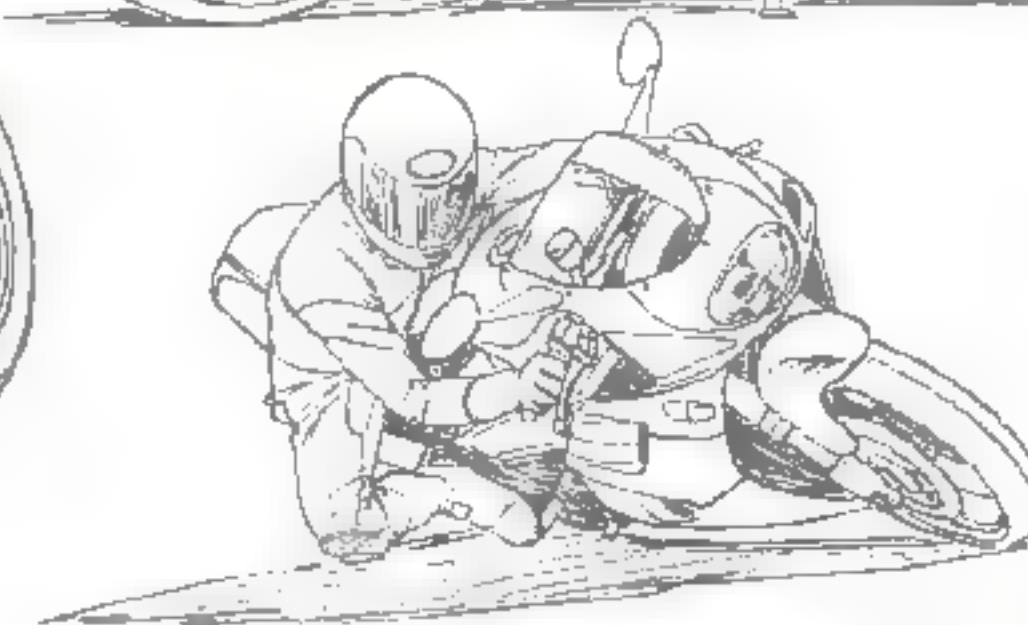
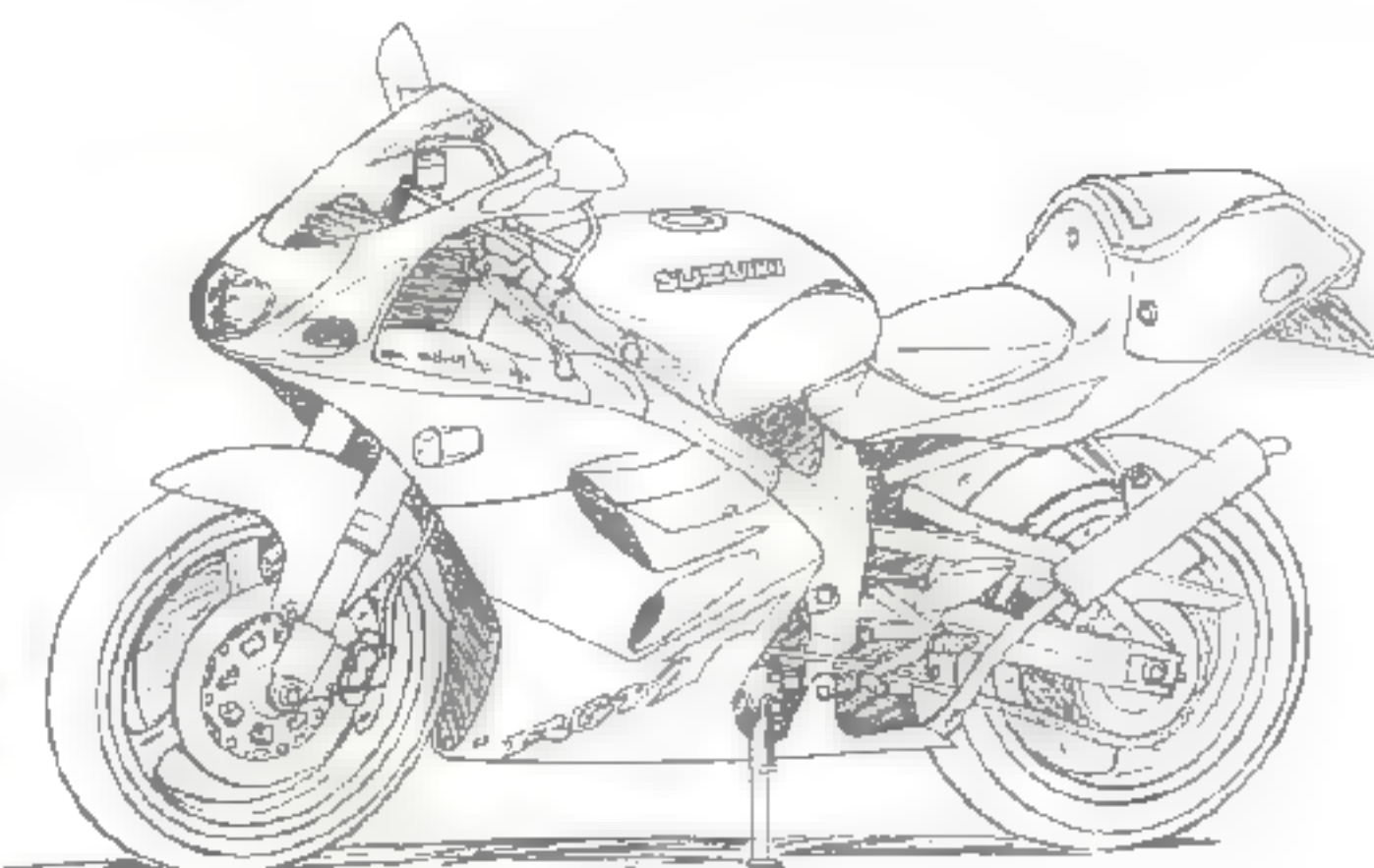
カワサキ KSR-II

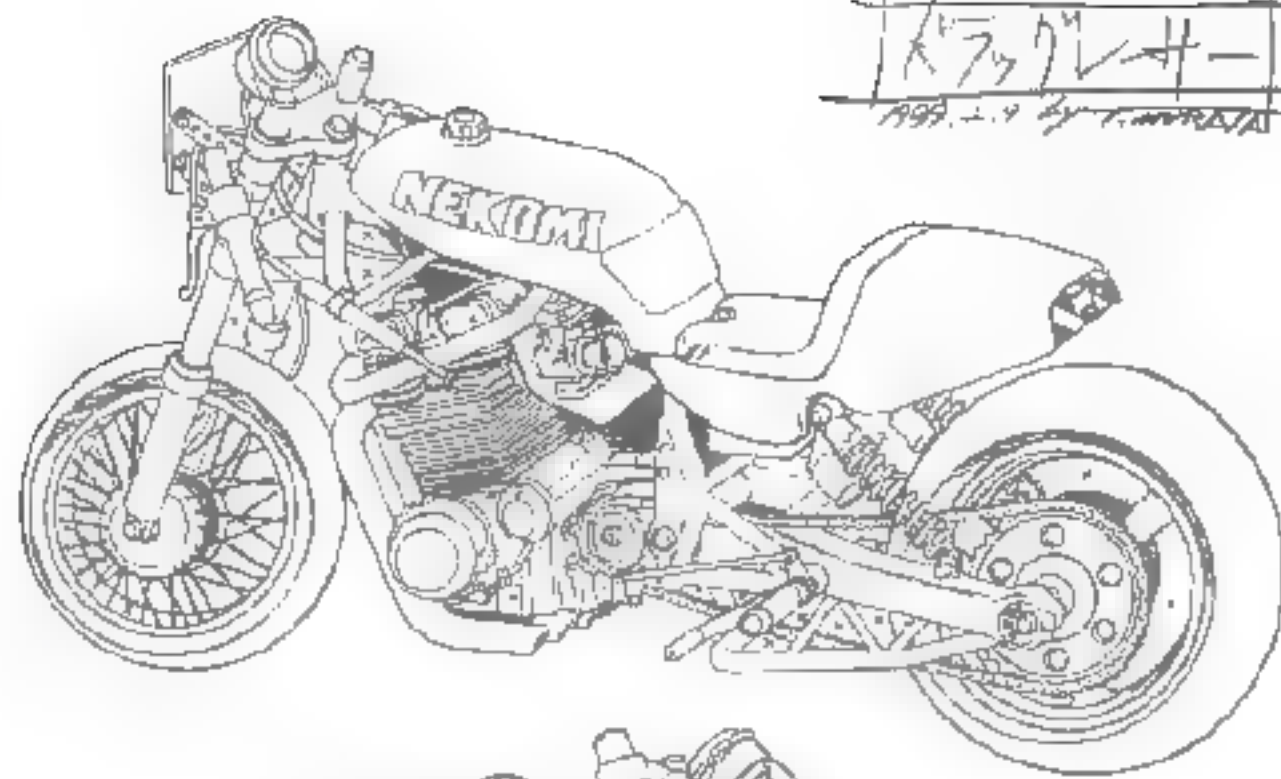
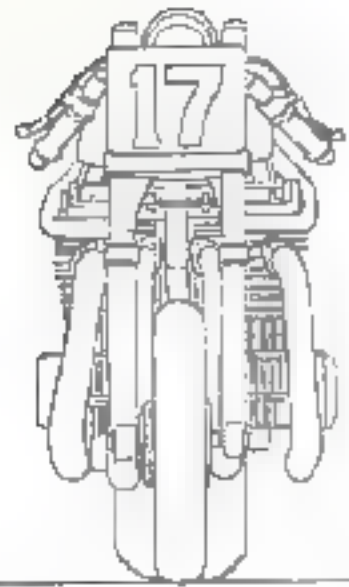


恵々KSR ④
1998. 12. 1 by T. MURATA

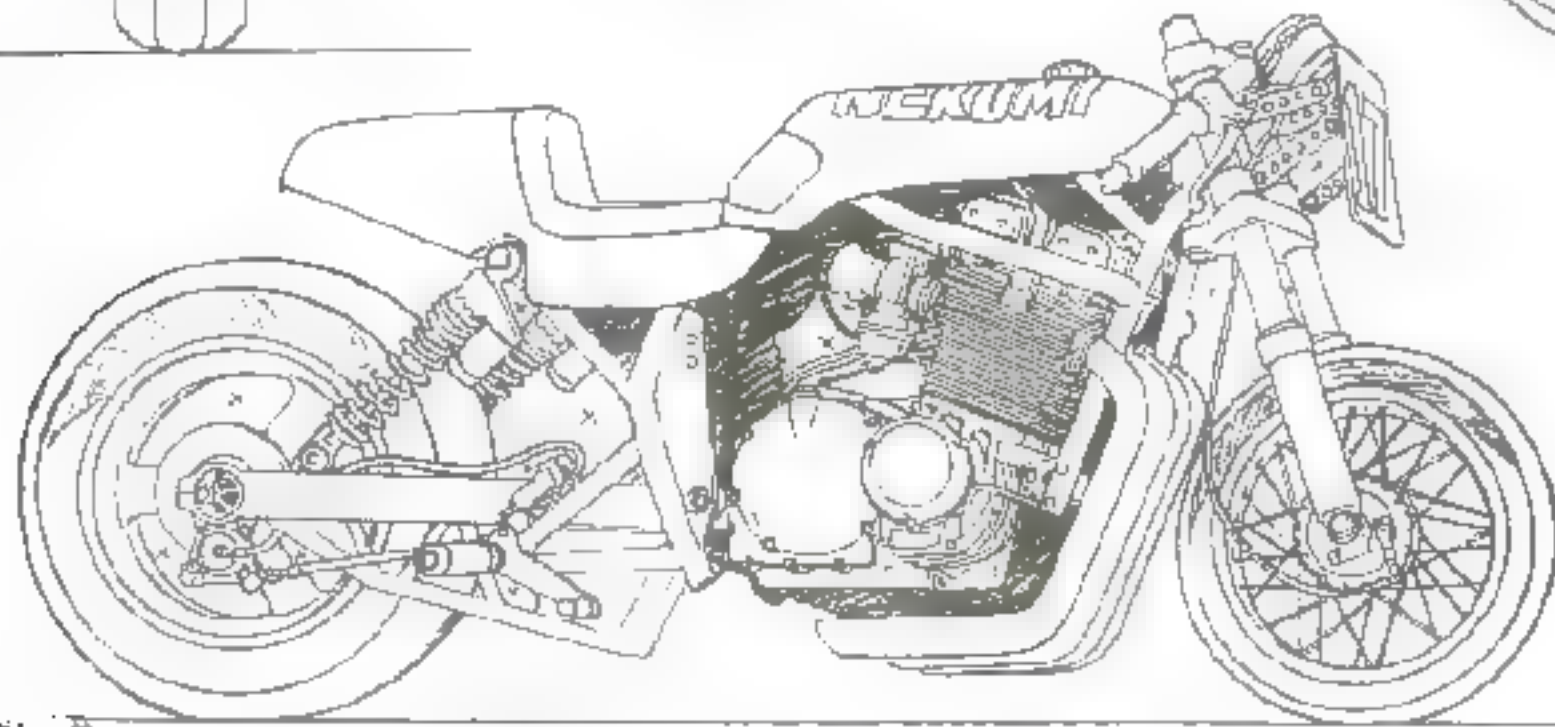


スズキ RGV250 Ⅰ

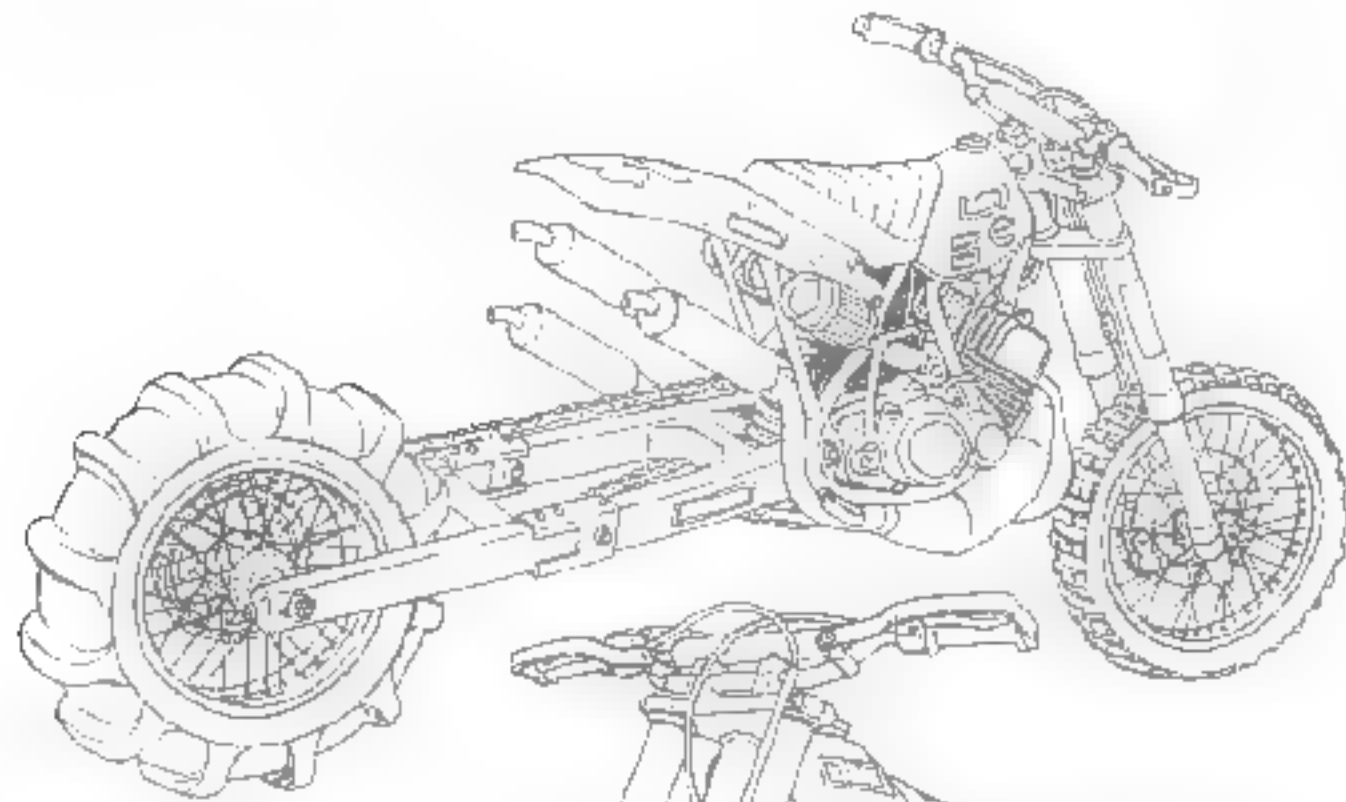




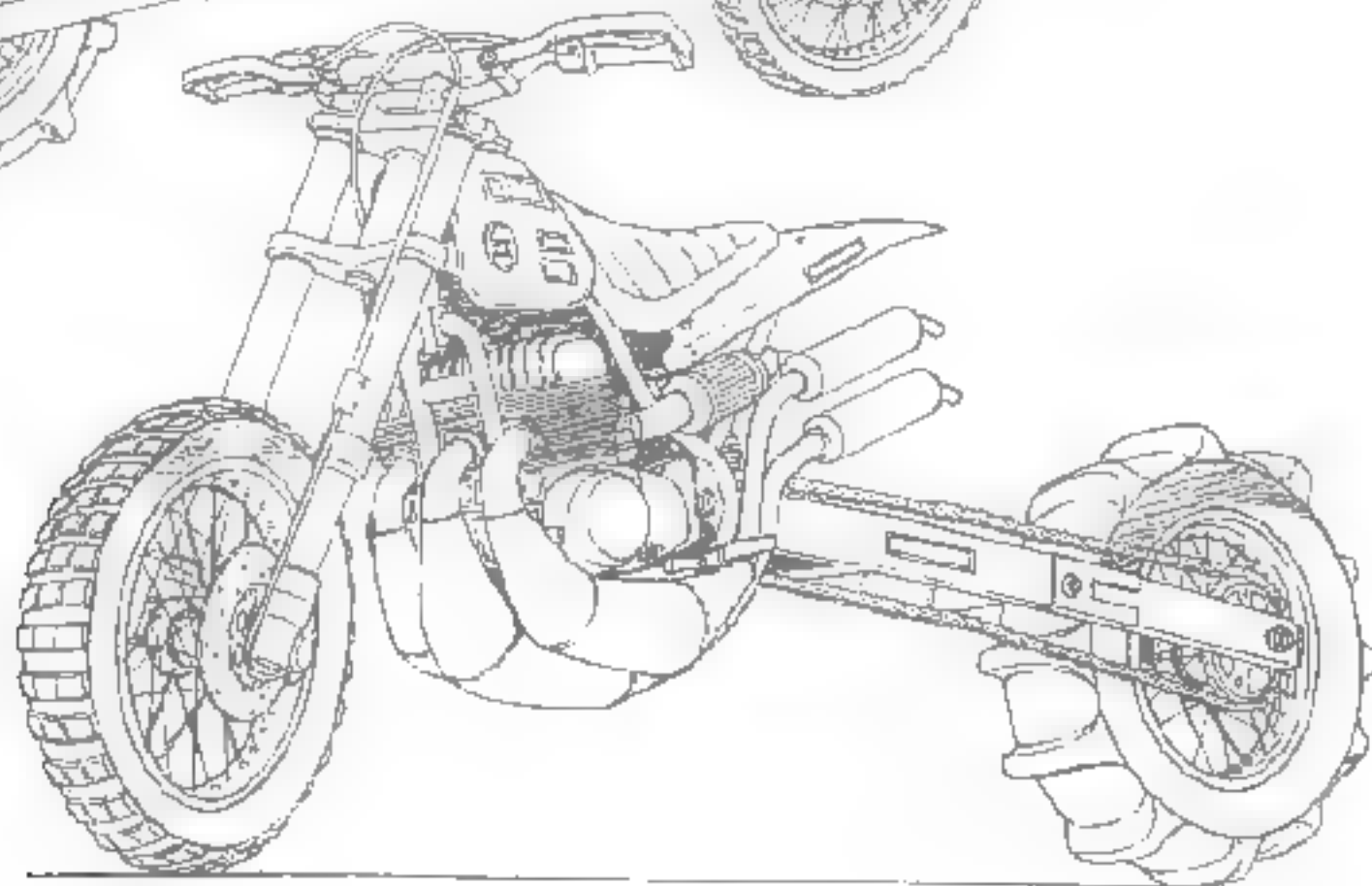
ドラッグレーサー
1999.1.4 by T. MURAKAMI



ドラッグレーサー



ヒルクライムマシン
1999.3.10 by T. MURAKAMI



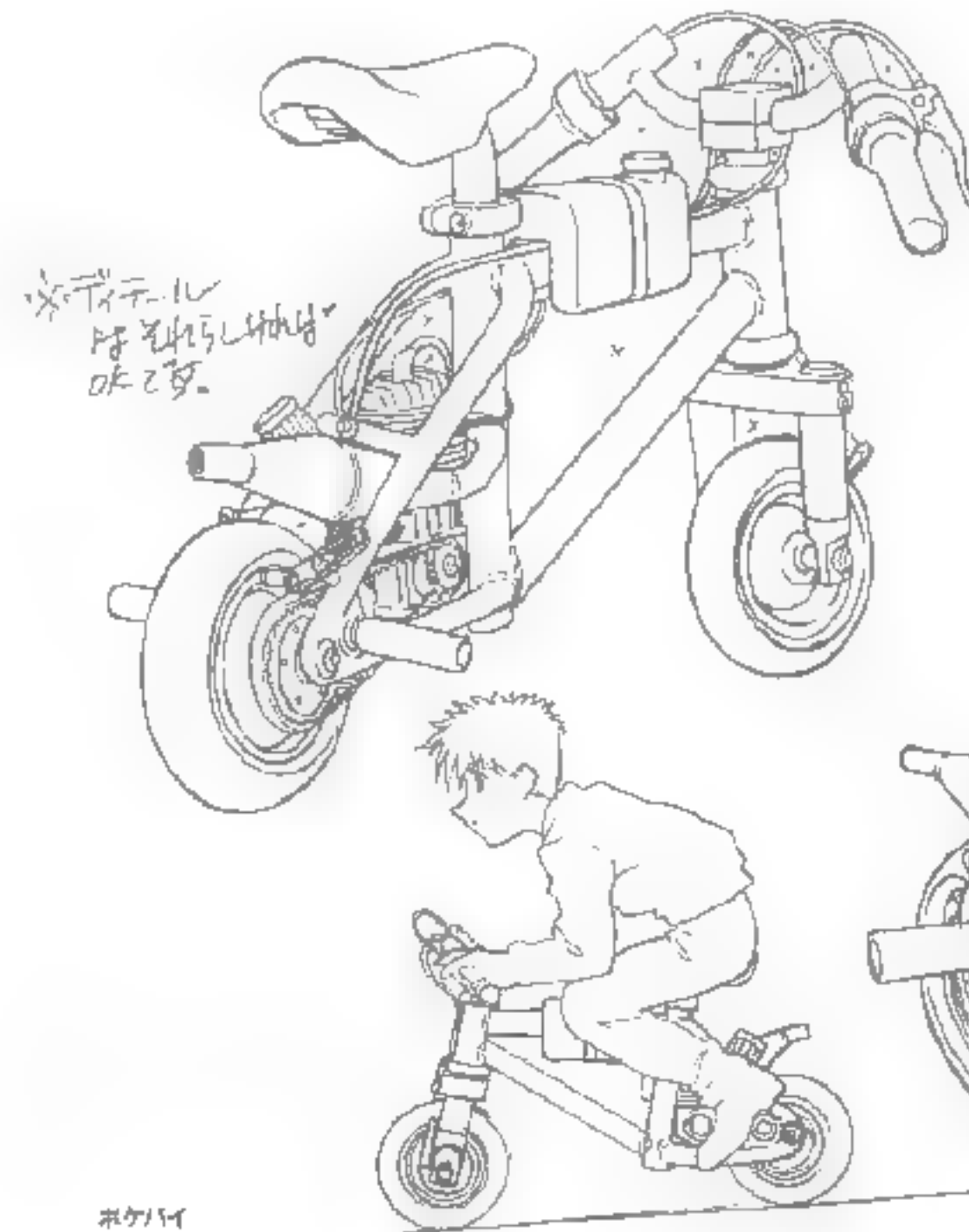
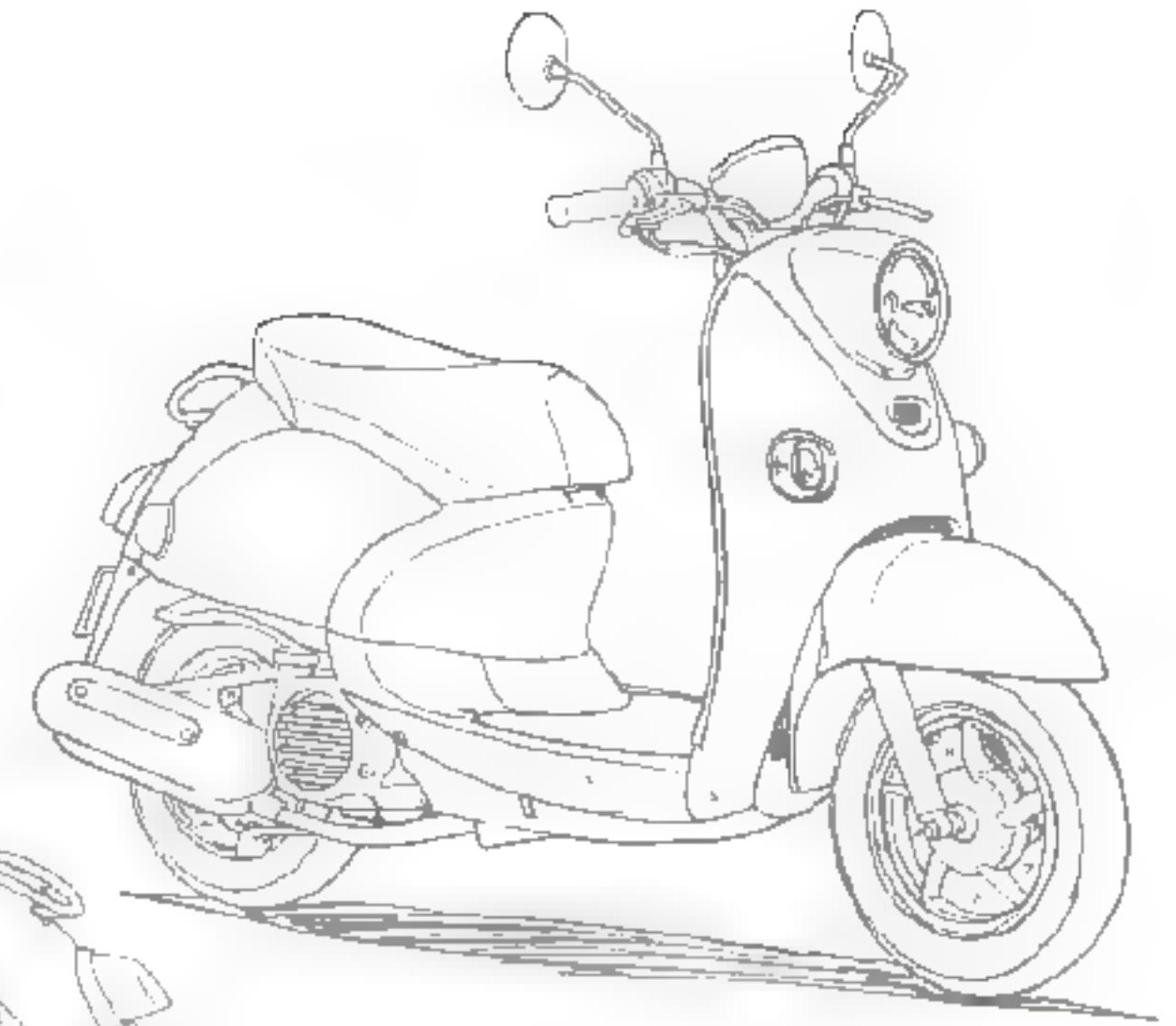
ヒルクライムマシン

野子の下町-4-
2004.2.21 by T. MURAKAMI
(GUMBA)



*タビ
2枚くらいで

ヤマハビーノ

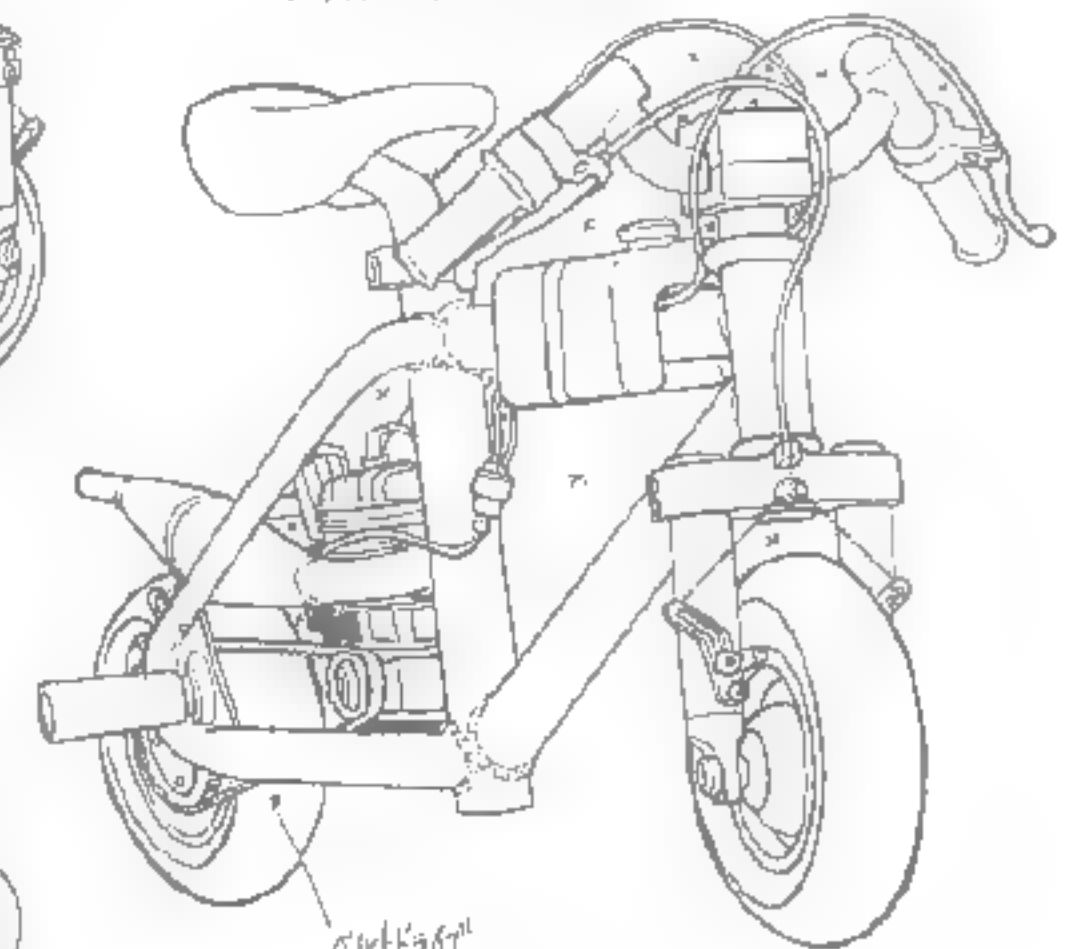


*ディテール
は忘れられがち
OKです。

ホケバ

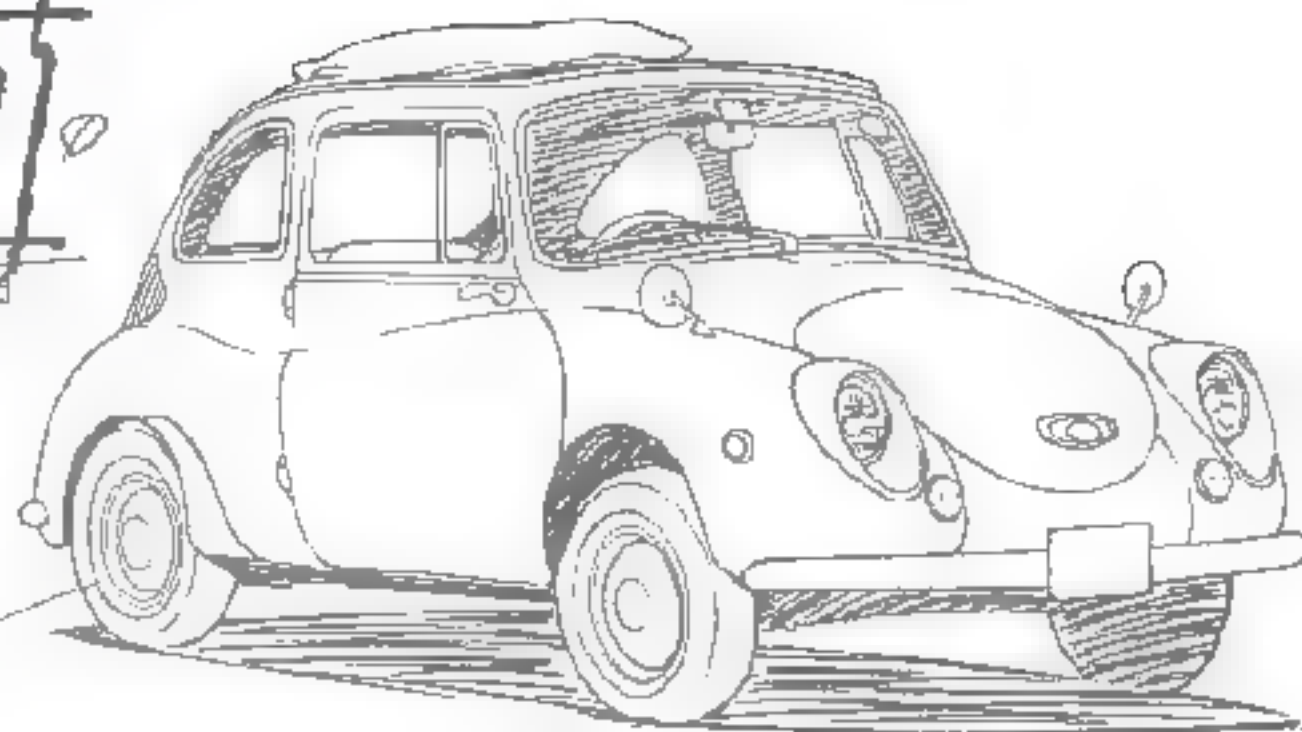
ホケバ
2004.7.31
by T. MURAKAMI

・子供用自転車エンジン 載せたい強引に作った。

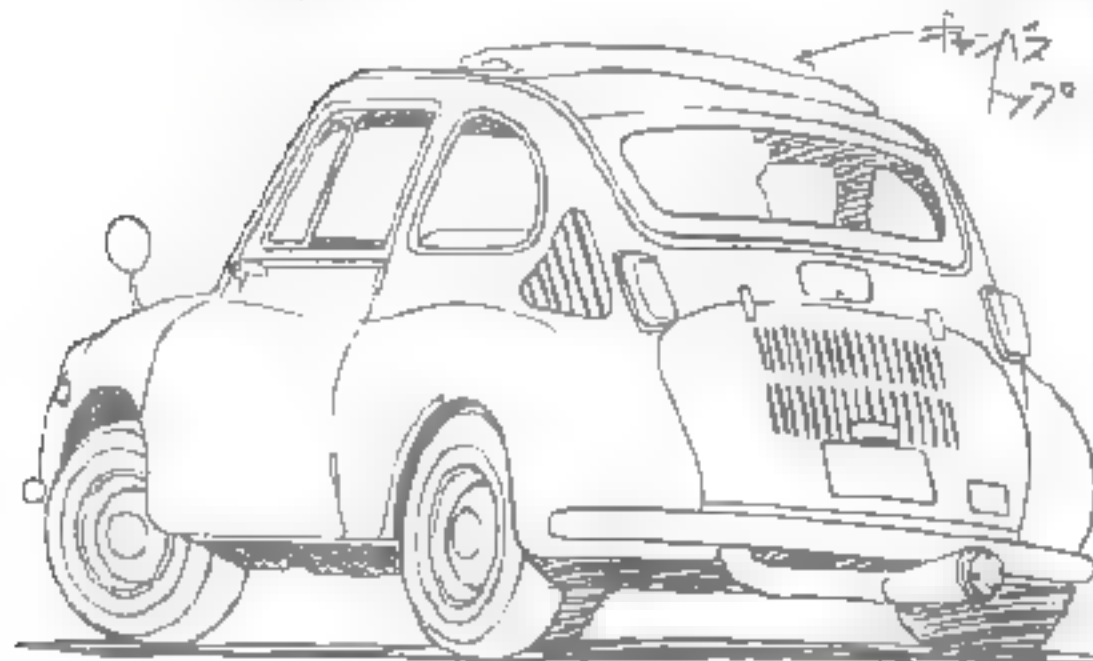


ベルトドライブ

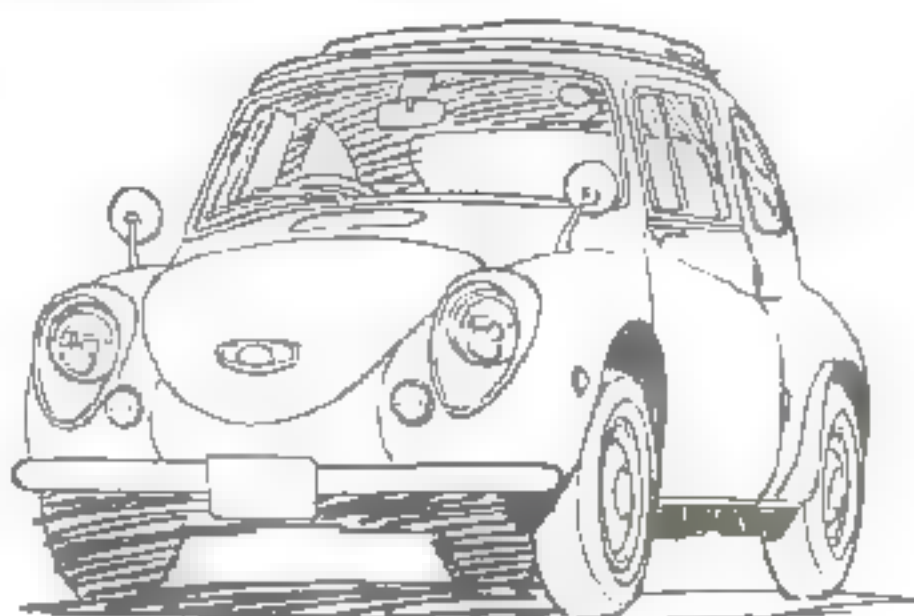
スバル360
2002.7 by T. MURAKAMI



フロント
リボン

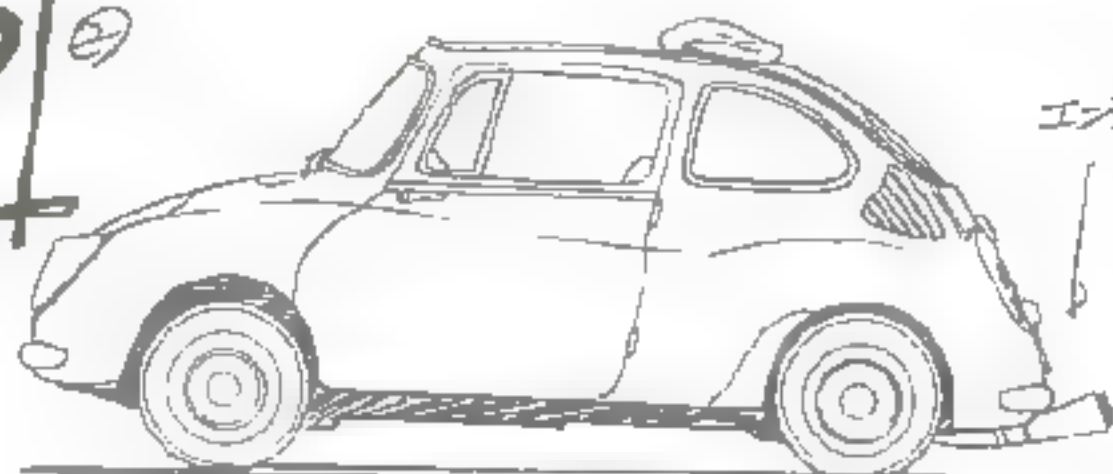


リア
ランプ



134

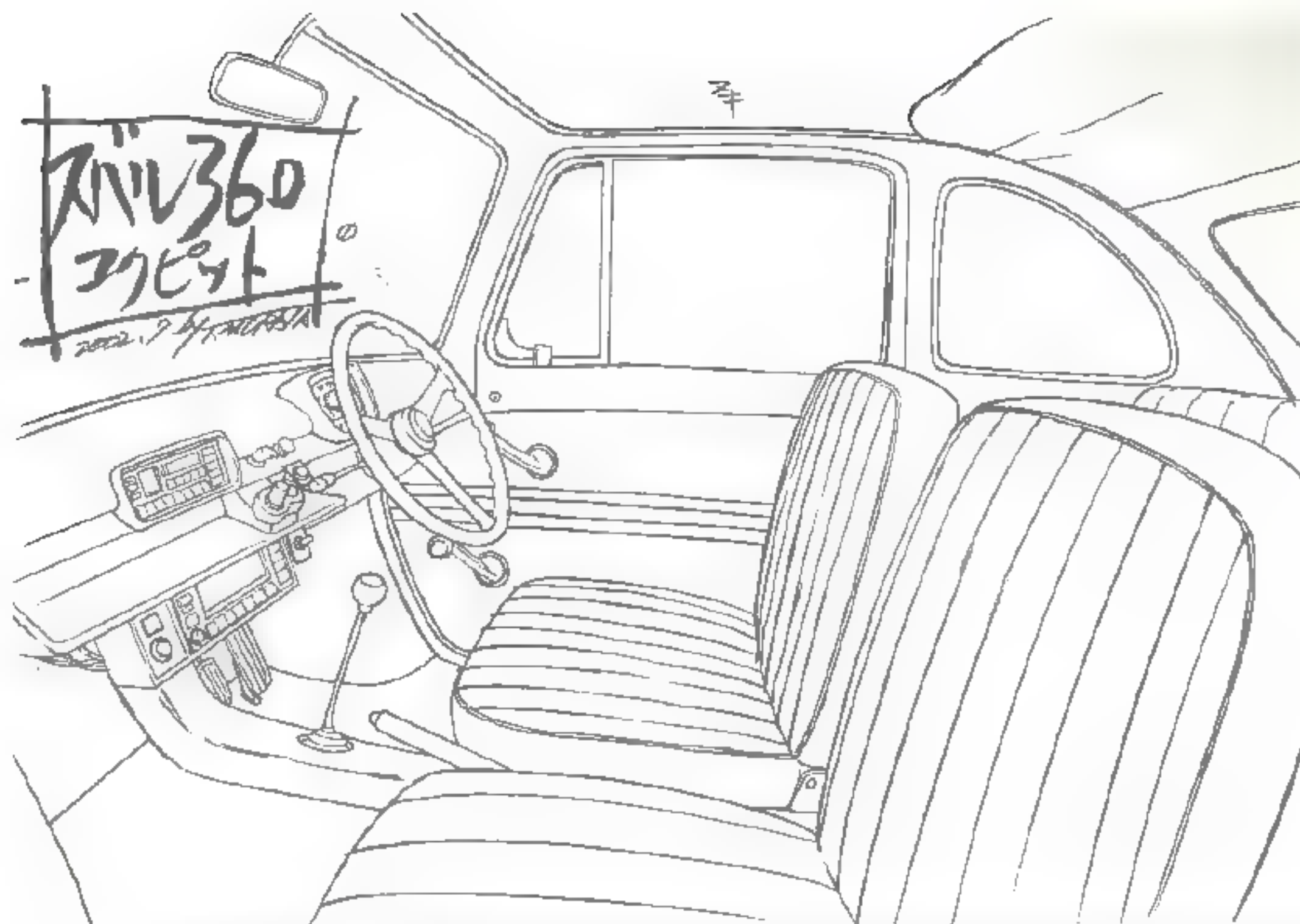
スバル360
2002.7 by T. MURAKAMI



エンジンルーム
1/4から見た様子

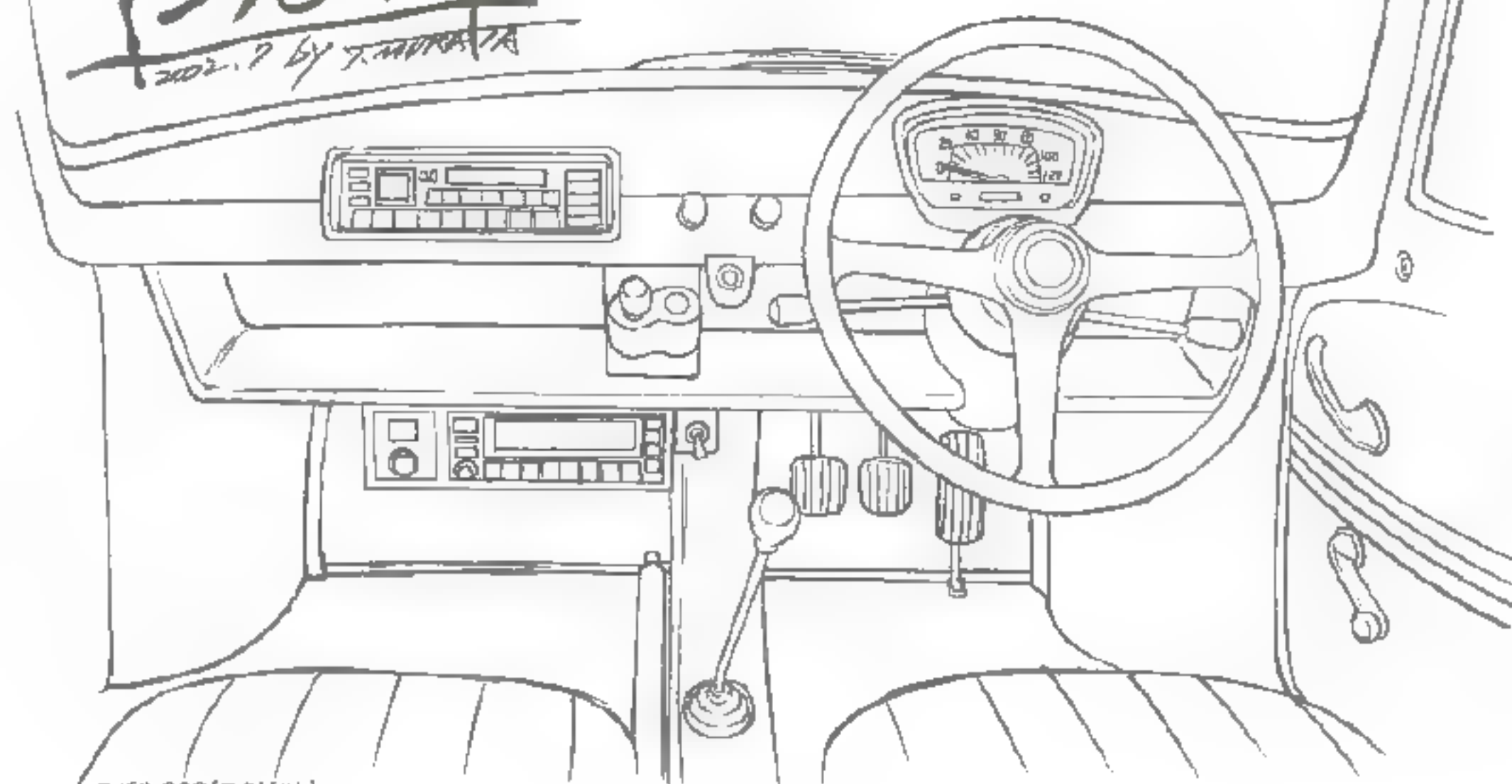


スバル360



135

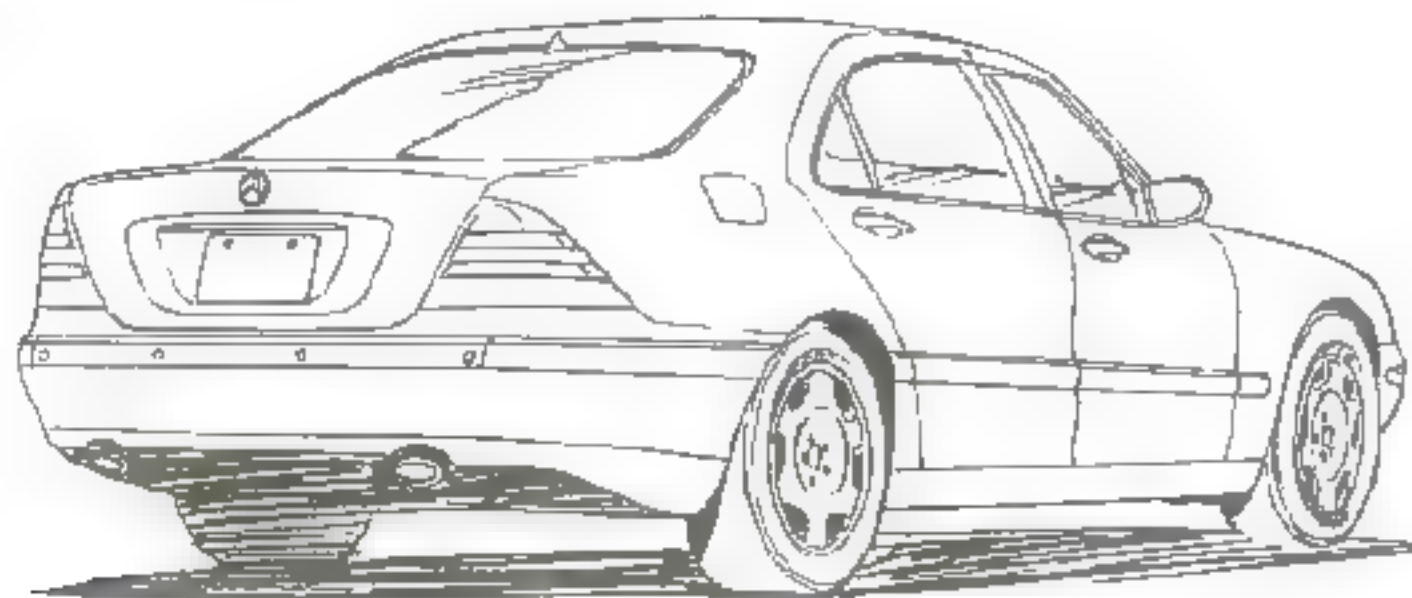
スバル360
コクピット
2002.7 by T. MURAKAMI



スバル360 [コクピット]

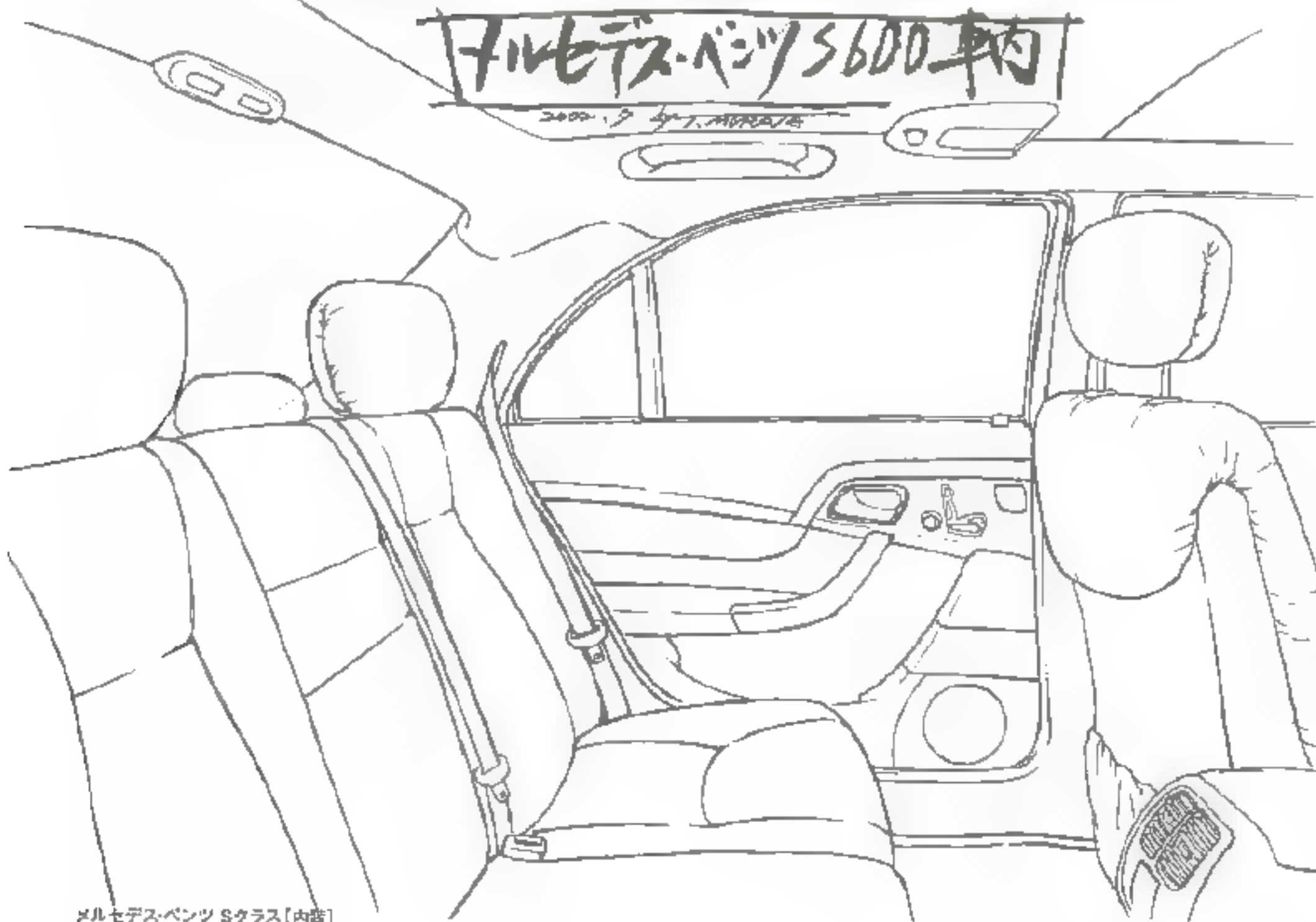


メルセデス・ベンツ
S600
2002.3 by T. MORIYA



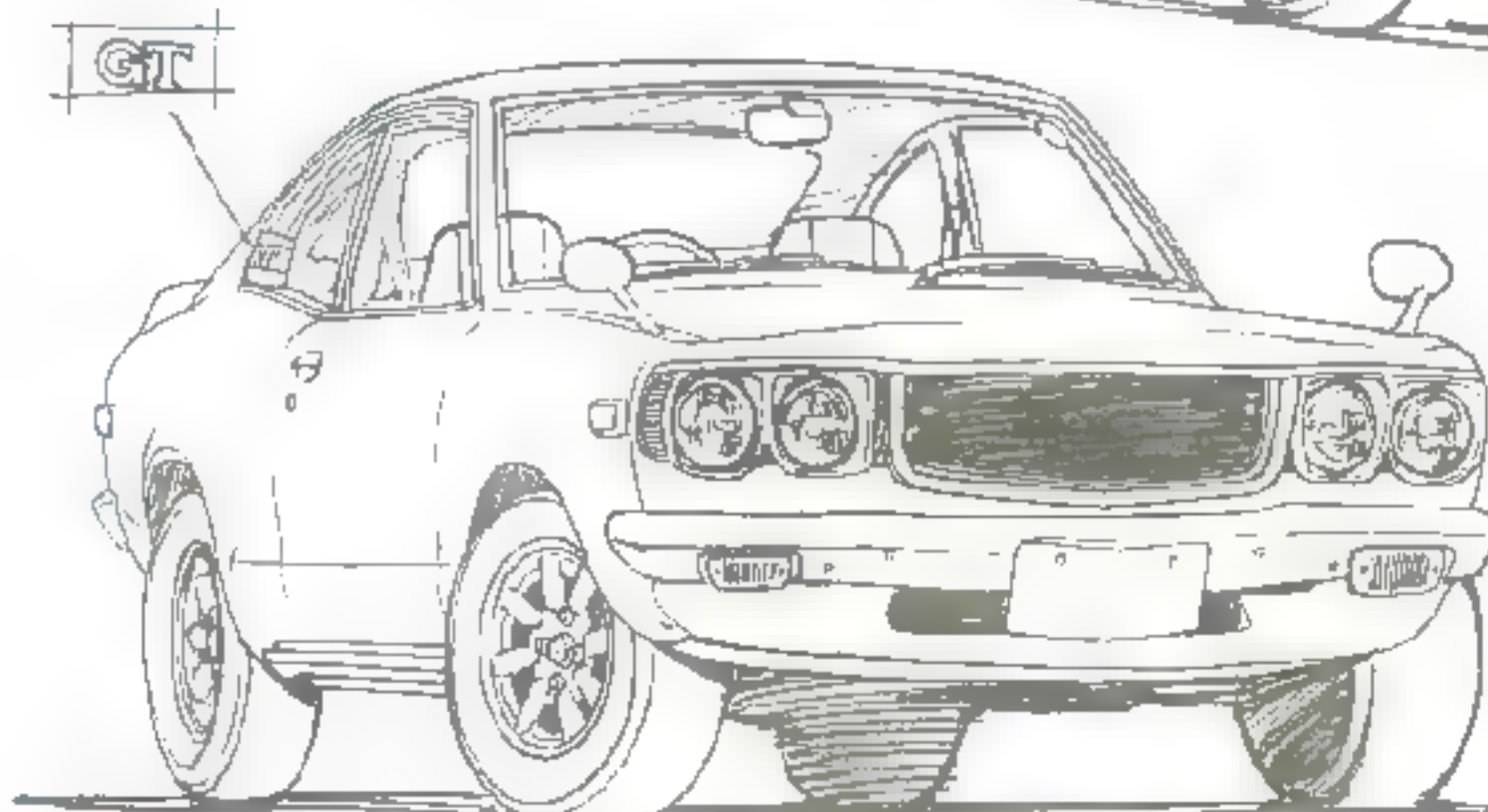
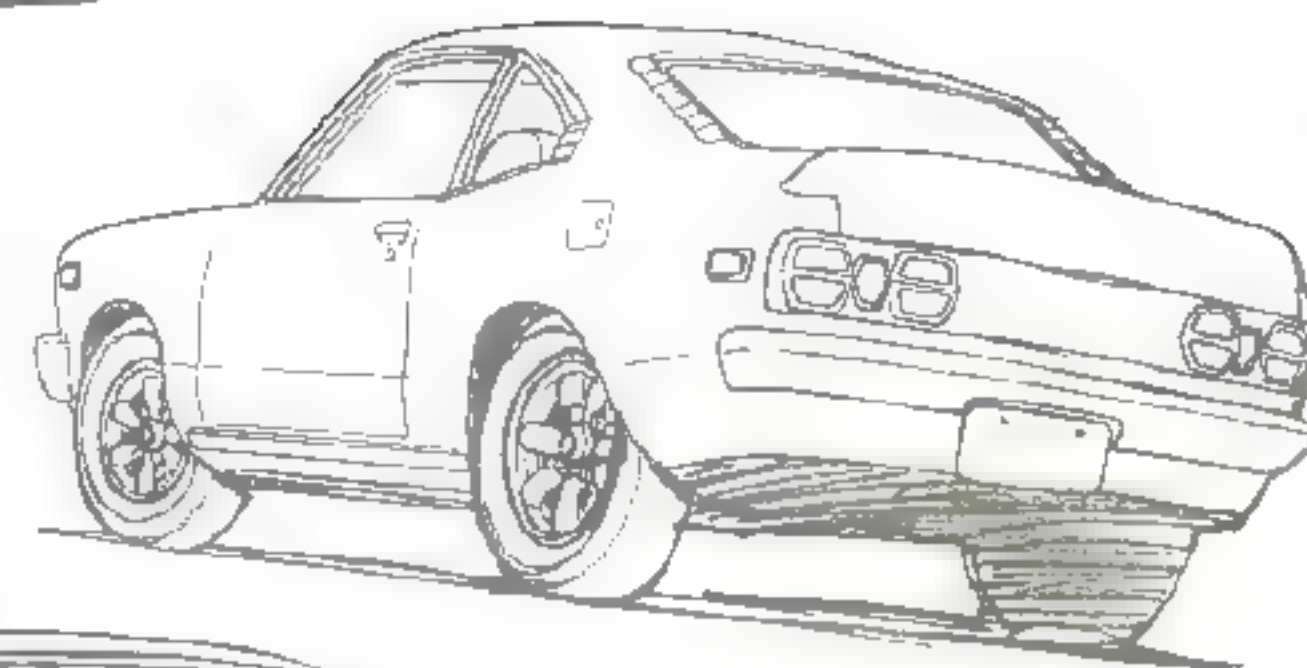
メルセデス・ベンツ Sクラス

メルセデス・ベンツ S600 車内
2002.3 by T. MORIYA



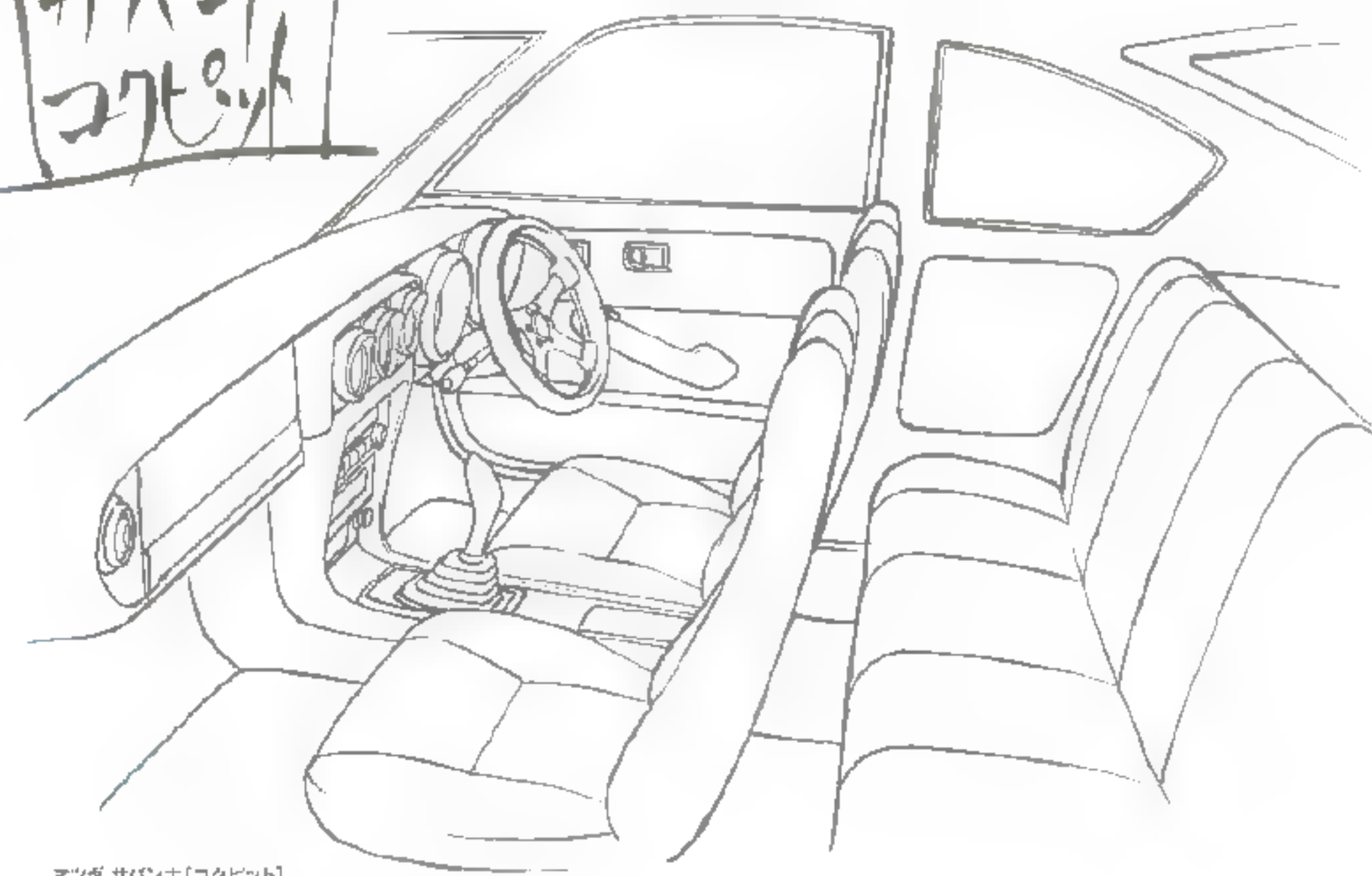
メルセデス・ベンツ Sクラス [内装]

マツダ GT
2003.6 by T. MORIYA

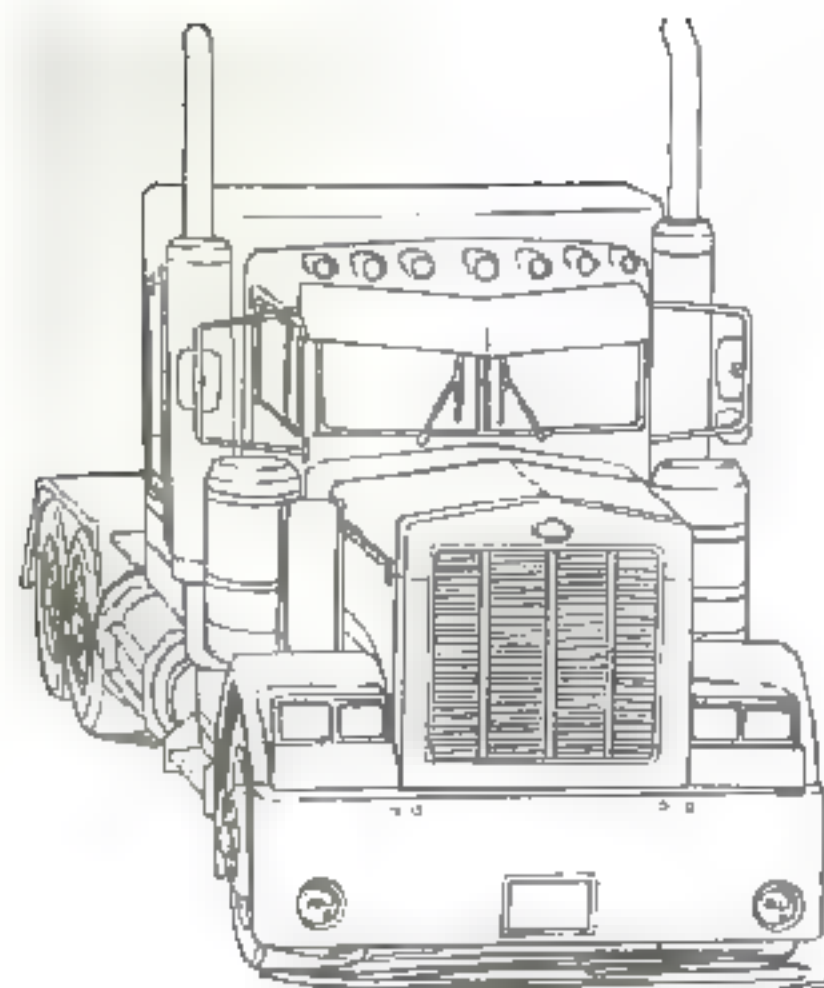


マツダ サバンナ

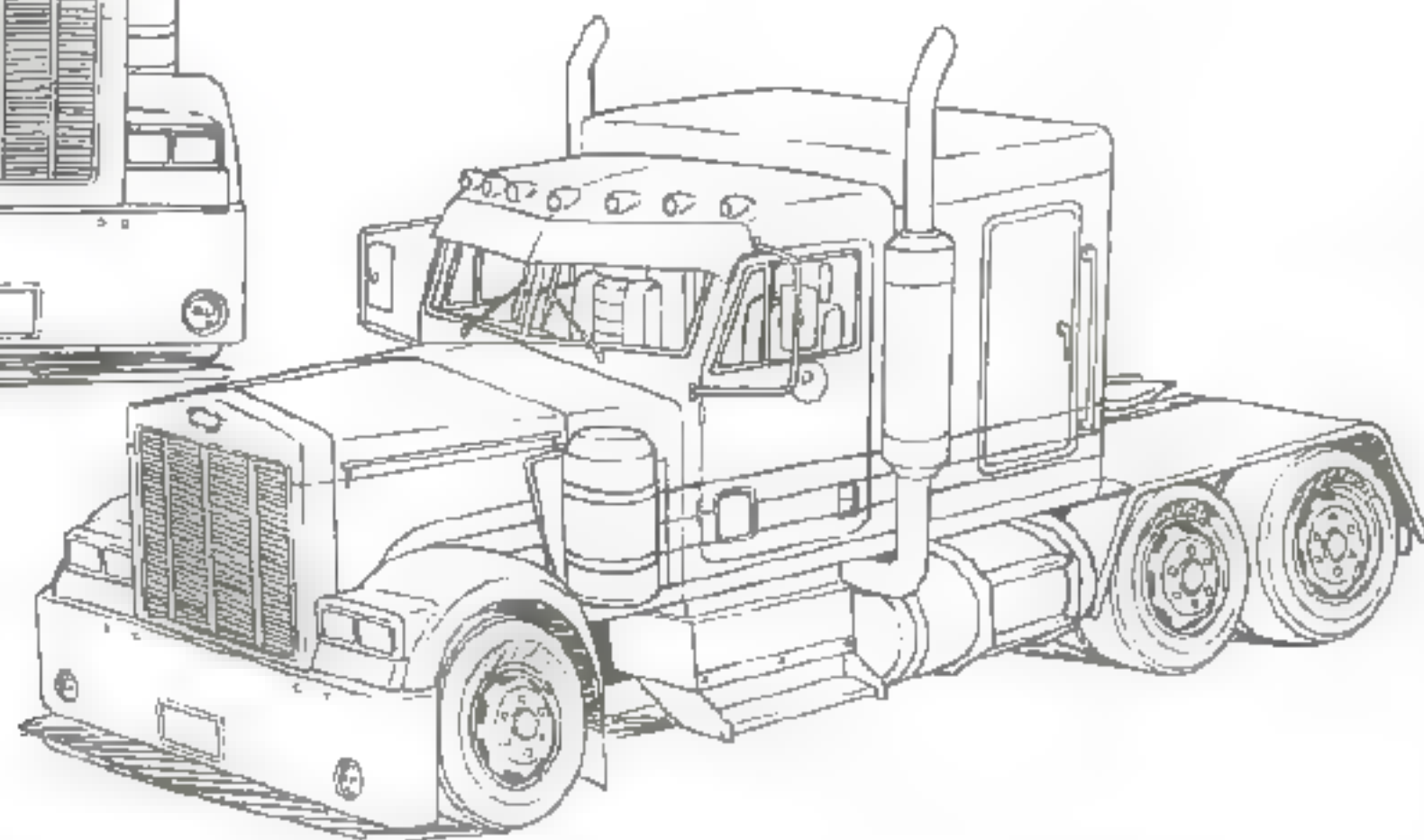
マツダ
コクピット



マツダ サバンナ [コクピット]

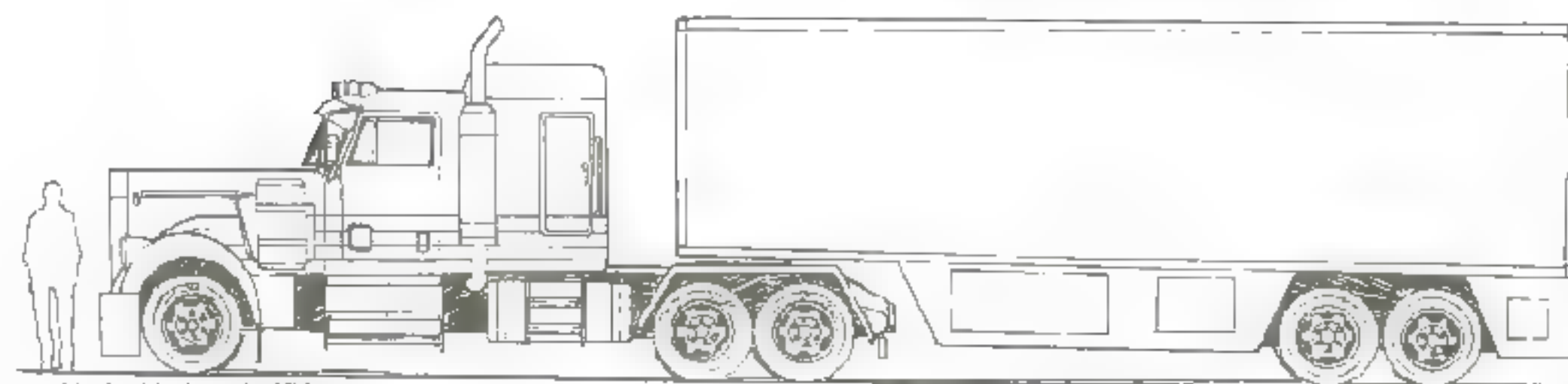
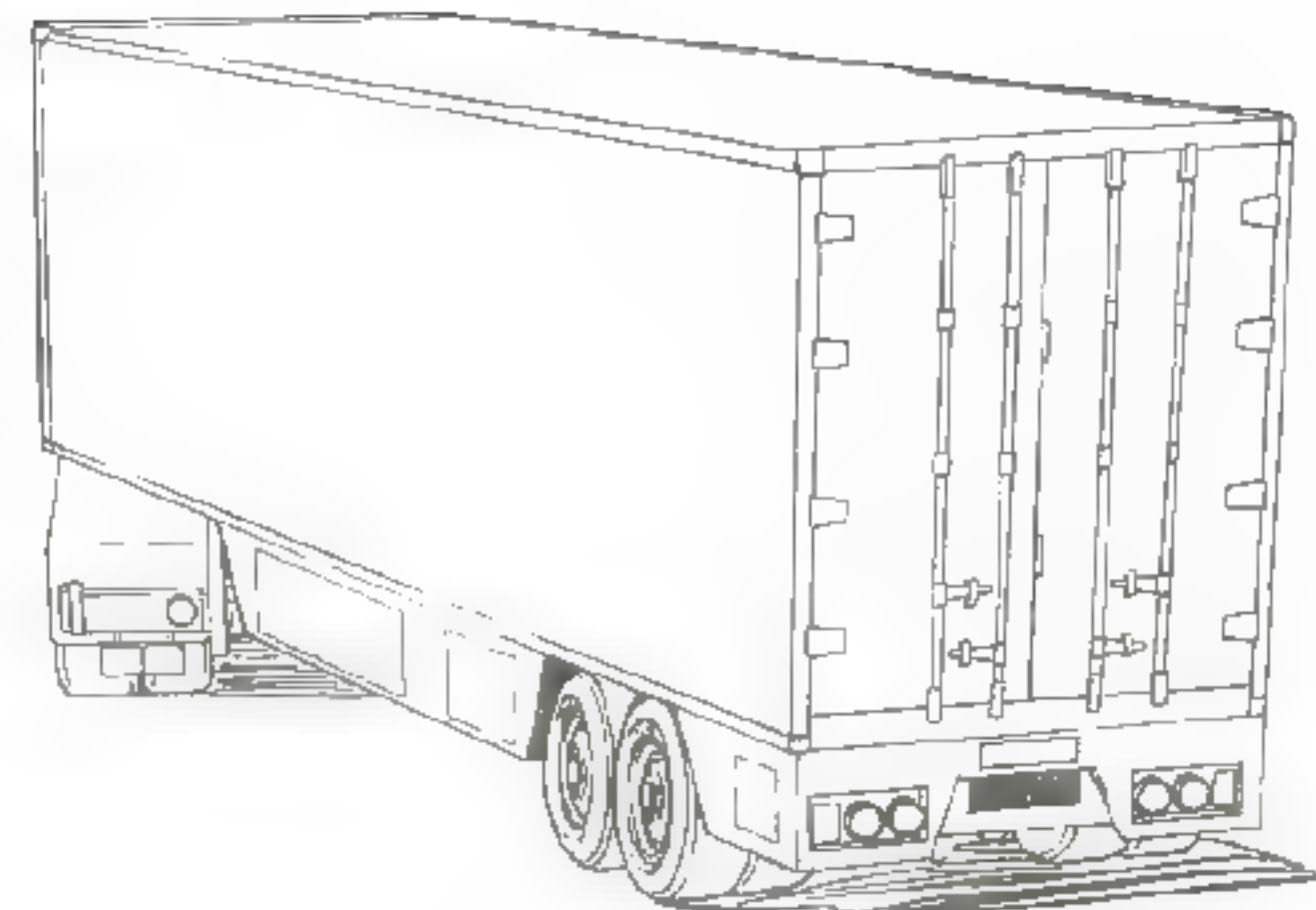


トレ-7-1
2002.8 by T.MURAKAMI



138

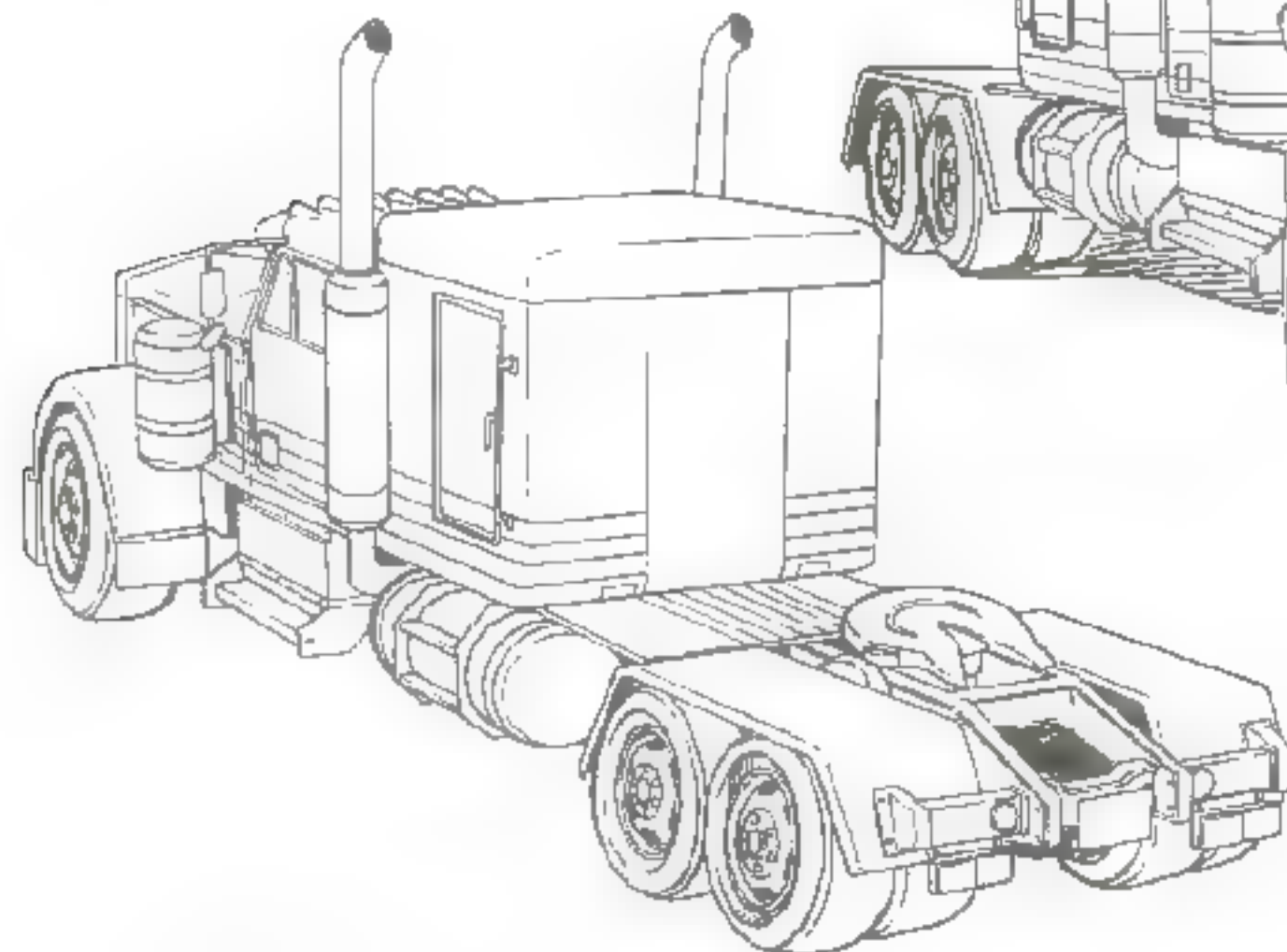
トレ-7-2
2002.9 by T.MURAKAMI



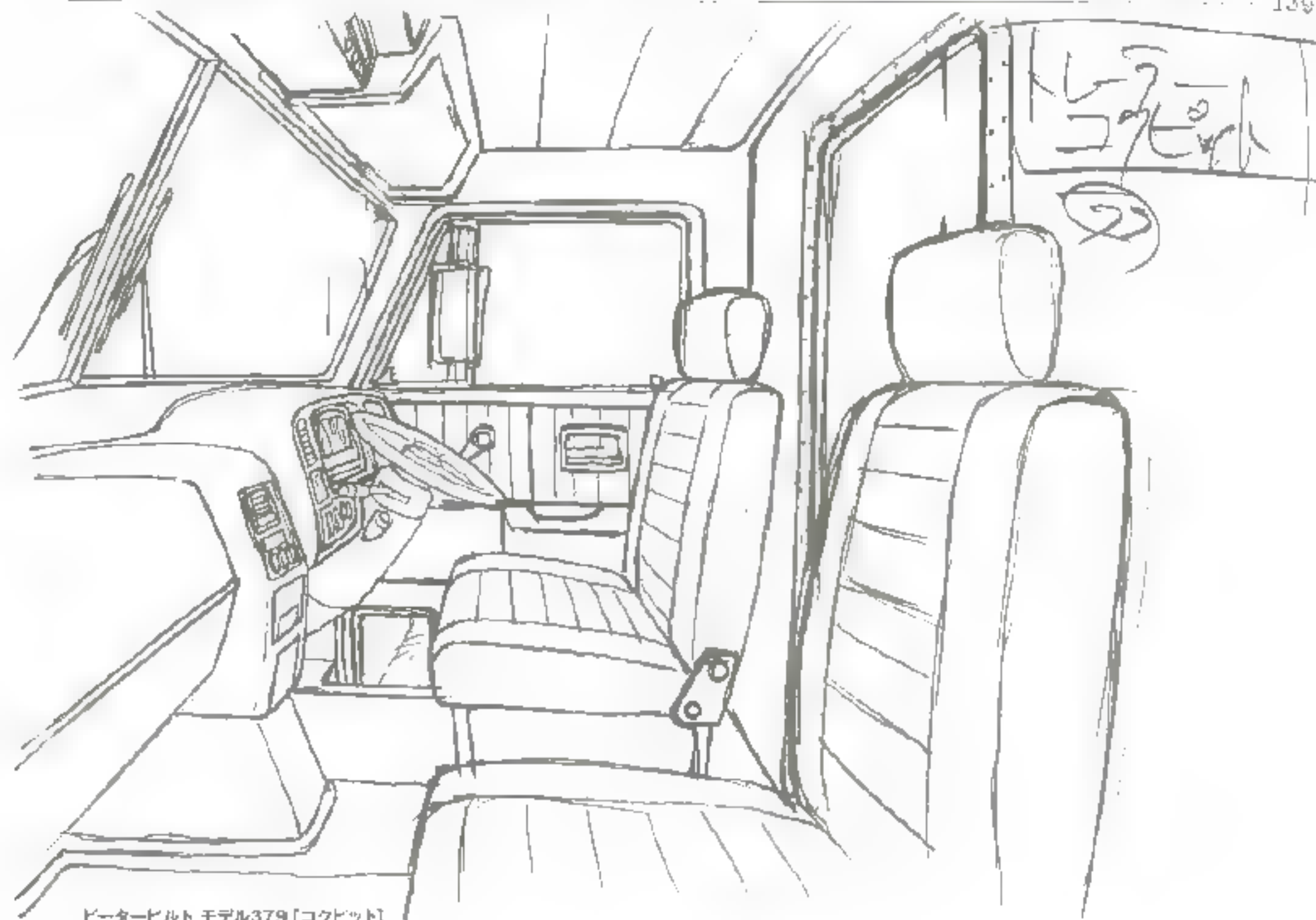
ピータービルト モデル379

139

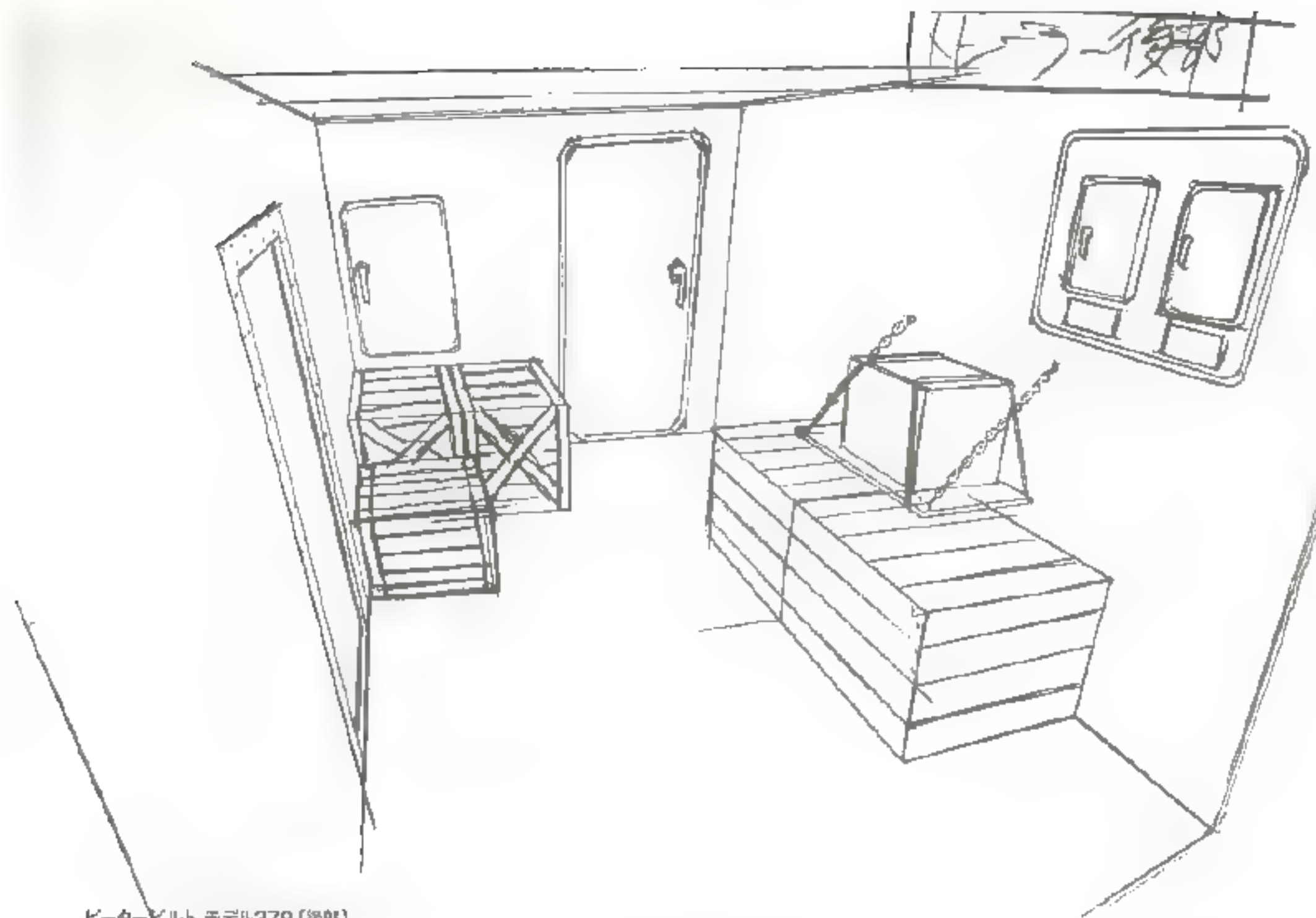
トレ-7-3
2002.9 by T.MURAKAMI



ピータービルト モデル379



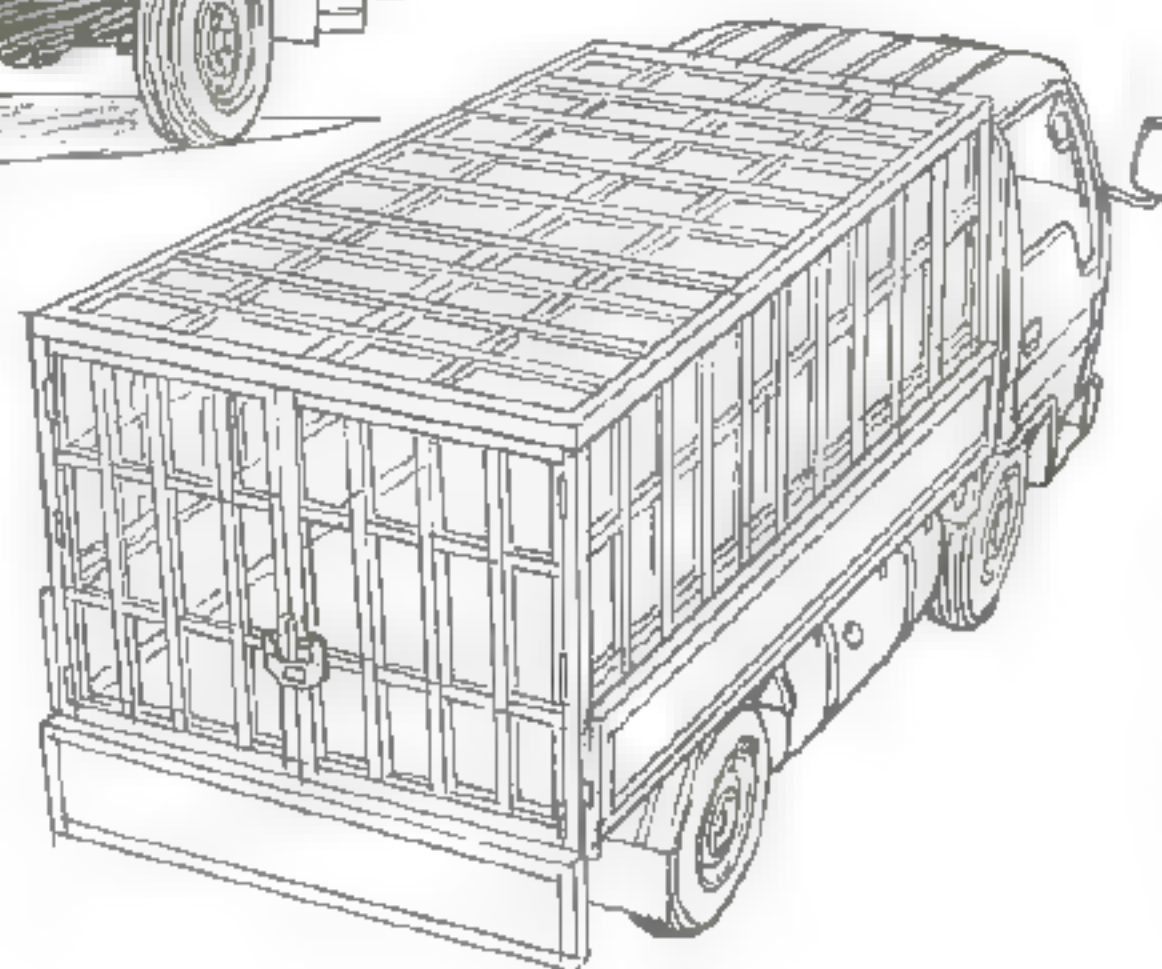
ピータービルト モデル379 [コクピット]



Peterbilt Model 379 (interior)



家畜運搬トラック
2003.3 by T. MURAKI



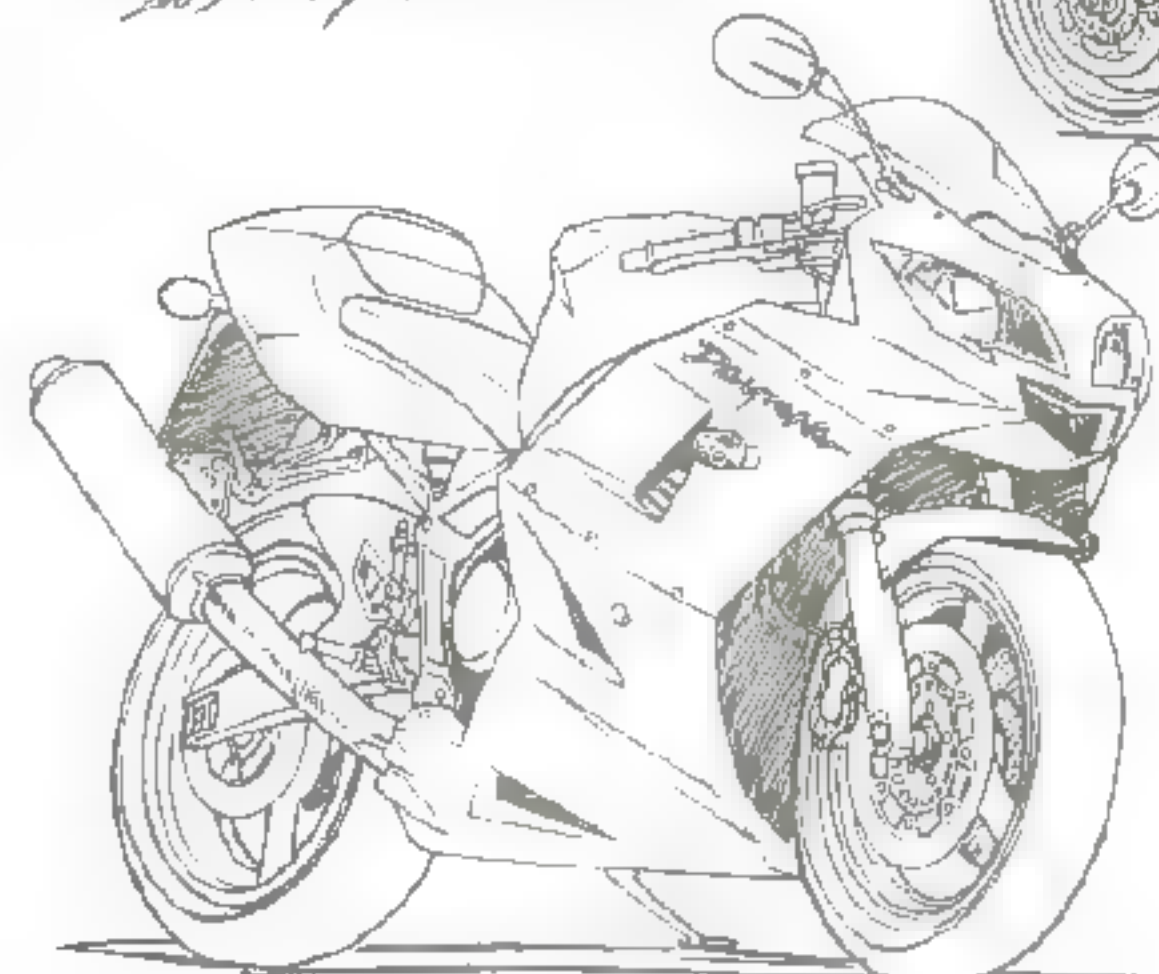
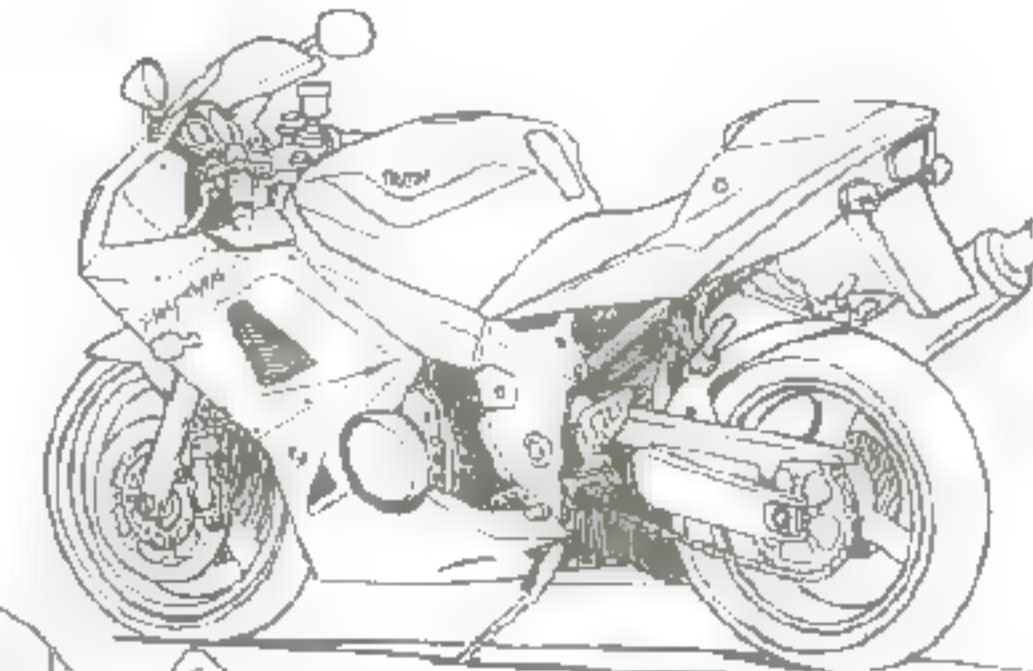
トヨタ ダイナ



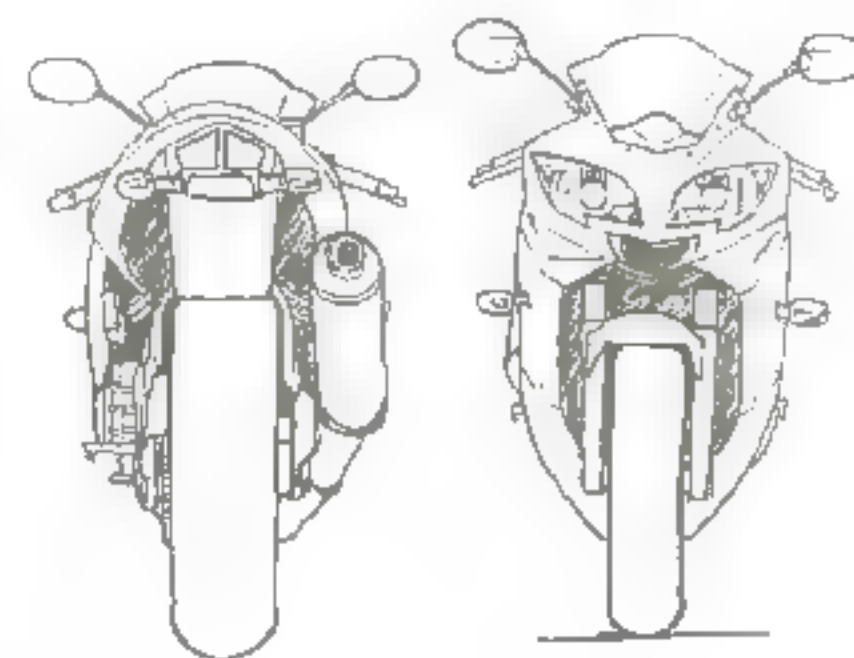
日産 ウイングロード

救急車
2003.5 by T. MURAKI

TRIUMPH
DAYTONA
600
2003.6 by T. MURAKI



トライアンフ デイトナ600



MURATA TOSHIHARU ANIMATION WORKS REFERENCE FOR DRAWING AUTOMOBILES

掲載車輛 索引

四輪車

- ◆いすゞ
B10……70
キバ……62,63,64,66
- ◆スズキ
Ksj……16
アルトワークス……51
- ◆スバル
360 ……134,135
R-2……15
インプレッサ WRX……60,104,105
- ◆ダイハツ
ミゼット……116
ミゼットII ……112,113
ミゼットカスタム……116,117
- ◆トヨタ
MR-S……107
アルフォード……54,55
ウィッツ……22,23
カムリ ……19
クラウン ……33
クラウンコンフォート……58,59
スープラ ……116
スポーツ 800……20,21
ツアラー……28
ダイナ ……65,71,140
ハイエース……56,57
マークII ……24
- ◆ホンダ
S-MX……52
T360……118
シビック TYPE-R ……28,29
ステップワゴン……53
トゥデイ……4,5,6,7,8,61
ブレリット……27
コイフステップバン……118
レジェンド……13,18
- ◆マツダ
RX-7……25,108
T2000……119
キャロル ……26
サバンナ ……137
ユーノスロードスター……109
ランティス……27
- ◆三菱
ギャラン……9,10
ミニカ ……14
- ◆三菱ふそう
M・グレート……70
- ◆日産
アトラス ……64
ウイングロード ……141
スカイライン ……90
スカイライン GT-R ……12
ダットサン 210……124,125
フェアレディ Z ……30,31
ラルゴ……66
- ◆日野
スーパーモデルフィン……67
- ◆BMW
M シリーズ……48,49
- ◆MG
MGF ……33
- ◆TVR
サーブラウ ……32
- ◆アルファロメオ
165……40
- ◆キャデラック
エルドラド……41
セビル……43
- ◆ケータハム
スーパーセブン……101,102,103
- ◆ウエストレーシングカース
トムホーイ……128,129
- ◆シネッタ
G4……32

- ◆シボレー
トレイルブレイザー……60
- ◆ナショナル RV
トロピカル……58
- ◆ピータービルト
モデル 379……138,139,140
- ◆フィアット
500 ……123
- ◆フェラーリ
512TR……36
550 マラネロ……37
エンツォフェラーリ ……122,123
デュノ 246GT……37
- ◆フォード
クランビクトリア……18
フォーカス RSWRC……126
マスタング……41
- ◆ボルシェ
911 ……10,11,49
- ◆マーキュリー
エイト……42,43
- ◆マセラティ
ギブリ……40
- ◆メルセデス・ベンツ
C クラス……45
E クラス……46
SLK クラス……47
SLR マクラーレン……120,121
S クラス ……45,136
- ◆ランチア
ストラトス……39,110,111
デルタ ……38,39
- ◆ロータス
エラン ……34
エリーゼ ……35
ヨーロッパ……34,98,99,100
- ◆ローバー
ミニ ERA ターボ……31

- ◆車種不明
エコランマシン……127
トレーラー……114
レーシングカート……113,127
レッカー車 ……68,69
損刑機……70
送風車……71

二輪車

- ◆雪ワザキ
KLE400……76
KSR-II ……130
ZX-9R ……78
ZX-R750……77
- ◆スズキ
レッツ……92
GSX-400FW ……75
GSX-R750……72,73,74,75
RGV250 F ……131
- ◆ホンダ
NS400R ……85
NSR250 ……87
NSR250R ……131
NSR250R-SP ……83
VFR750F ……84
VFR750R ……85
XLR250R ……84
ゴリラ……82
スーパーカブ……93
モトコンボ ……94
- ◆ヤマハ
RZ250……80
RZV500R ……81
TT250R……82
TZR250R……81
V-MAX……79
ジョグ……93
ビーノ……133

- マジスティ 250……78
- ◆BMW
R1150RT……89
- ◆ドゥカティ
900SS……87,88,114,115
(車種不明) ……86
- ◆トライアンフ
デイトナ 600……141
- ◆ハーレーダビッドソン
FLSTF ファットボーイカスタム ……90
イーグルライダー……91
- ◆ビモータ
Y87……88
- ◆ビューエル
ファイアーボルト XB9R ……89
- ◆ベスパ
ベスパレ ……95
- ◆車種不明
スクーター……92
ドラッグレーサー ……132
トライアルバイク……95
ビルクライムマシン……132
ボグハイ……133

電車

- ◆JR 東日本
205 系 ……96
209 系 ……97
- ◆東京都交通局
12-000 形 ……96

その他

- チャイルドシート……67
中嶋剣のヘルメット ……■

対談

村田峻治 藤島康介

MURATA TOSHIHARU VS. FUJISHIMA KOSUKE

A TALK BETWEEN A COMICS ARTIST AND A MECHANIC DESIGNER

藤島作品と言えば
車とバイク

—— 村田さんが、藤島さんの作品でメカデザインを担当されたのは『逮捕しちゃうぞ』が最初ですが、

村田 自分が車輛をデザインしたのは、OVAの『逮捕しちゃうぞ』が最初です。藤島さんの作品だと、その前にOVAの『ああっ女神さまっ』がありますが、その作品では誰かが一人でメカニックデザインを担当していたというわけではなかったんです。単一のBMWのサイドカーは貝本義行さんが描いて、ドラックレースの族では齊藤裕さんが描いたと聞いています。自分が『女神さま』に参加するのは、後に作られる劇場版からとなります。

—— 村田さんが『逮捕しちゃうぞ』の原作マンガを閲覧になった時の印象はどうでしたか。

村田 「ここまで描く人がいるんだ!」ということに驚きました。アニメにはできませんでしたが、『逮捕しちゃうぞ』の原作に東京から北海道まで行くキャノンボールの話があったんです。マニアックなネタまでやっていて感心してたんですね。

『逮捕しちゃうぞ』についてはアニメ化は決まっていたけど、車のデザインが難航していた時期があったんです。自分は当時『銀首任道長タイラー』の作画で平田（智浩）さんと一緒に仕事してたんですけど、平田さんの奥様で『逮捕しちゃうぞ』のキャラクターデザインをやっていた中嶋（敦子）さんから電話が来たんですよ。それで平田さんが「カミさんが『逮捕しちゃうぞ』のメカデザインを探してるらしい」と言うので、すぐに「オレオレ!」みたいな感じに手を挙げました（笑）。

—— それで『逮捕しちゃうぞ』には、メカデザインとして参加されることになったんですね。

藤島 助かりました。参加してもらえてよかったです。

村田 後戦はメカデザインではありませんけど、『逮捕しちゃうぞ』では車庫に限らずプロップのデザインまで自分が作っていましたね。携帯電話なんかは、持ち受け画面も考えないといけないので、結構大変でした（笑）。

藤島 OVAの『逮捕しちゃうぞ』の時から、村田さんは全く機密に設定を描いてくれていて、驚きました。アニメで車とバイクを描くのは特に難しいですよ。

村田 藤島さんの作品と言えば、車とバイクが重要なプロップですからね。だから『逮捕しちゃうぞ』でも「女神さま」でもアップにも耐えうる作画をしないと、それは極端な作品じゃないだろうと思いました。設定として簡略化したものを描いてしまうと、アップのカットでも簡略化されたまま描かれちゃうんですよ。

—— 村田さん自身は車輛をデザインするということについて、どのように思われたのでしょうか。

村田 子供の時から車やバイクを描いていたので、車輛も銃も飛行機もみんな好きでしたから、実在する機械のデザインなら何が来てもOKといった感じでした。

意外とそういうプロップに強いデザイナーっていないんですよ。ガンダムなどの架空のロボットを描くのが好きな人はいても、実車を描くのが好きな人はあまりいないんですよ。

藤島 ガンダムを描ければ、車も描けそうだけどなあ。人型じゃないからかな? 関節が複雑に動く分だけ、ロボットのほうが難しそうですけど。

村田 そう思うんですけどね。

『逮捕しちゃうぞ』のディテールへのこだわり

—— 車輛のデフォルメやメリハリの付けかたも、マンガとアニメで違うものですか。

藤島 どうだろう? マンガだと知らない部分は塗り潰しちゃうえいいんですけど、アニメの設定で塗り潰しちゃうと、本編の作画でも塗り潰してしまうから、ちゃんと描かないといけないわけですよ。

村田 『逮捕しちゃうぞ』のOVAが撮まった頃は、のちにプロデューサーになるスタジオディーンの野口（和紀）君が制作担当で、彼に「フレームの溶接痕まで描くんですか?」みたいなことを言われました（笑）。

藤島 『逮捕しちゃうぞ』のOVAは、古橋（一浩）監督が最初はそんなに車のことに詳しくなかったんですけど、勉強して知識を詰め込んでくれたんです。3巻の時かな? 中嶋のZXR750のサイレンサーをdevilにしたので、わざわざ回り込んでロゴを映したりとかして、現場でも肉付けをしてみたいですね。

—— ホイールのデザインはどうしてをんですか。

藤島 ちゃんと実車をベースにしています。ただ、POD（編注：ボルト穴の中心線を結んだ円の直径）が合ってるかは分からないですね、ひょっとしたら合っていないかもしれないです。

村田 アニメのデザインでは、原作に出てくる車だったら原作に合わせています。それから、基本的には実車に無いホイールは隠させてないです。『逮捕しちゃうぞ』の劇場版ではトゥデイのホイールを替えているんですが、メカ作監の水村（良男）さんが設定には描いていないホイールのロゴまで再現してくれていて、ずいぶん助けられましたね。『エクストライバー』ではインプレッサだったかな? カーボンの柄まで作画していて「どこまでやってくれるんだ」と思いました。

藤島 アップでそれを描くのは大変いよね。

—— 当時は勿論手描きですね。

藤島 やっぱり手描きがいいですよ。CGでやると硬く感じるしね。

村田 自分もそう思います。模型でも本物の図面どおり縮小してもそれっぽく見えなくて、アレンジが必要なんですよ。それと同じでCGでやってもアレンジを加えないと、本物のように見えてくれないんです。

藤島 あと車とかバイクって、グニャクニャとたわみながら走っているのが実在しているんですよ。

村田 そこも画として表現したほうがいいですよ。

藤島 人間のキャラクターを手で描いているので、合わせるならやっぱり手描きがいいですね。車やバイクのCGモデルで、作画に匹敵するものを作ろうとすると凄く大変で、一度聞いてみたら何百万円単位の金額がかかるって言われたんですよ。

—— 作画の際に模型等の立体物を参考にすることはありますか。

藤島 ありますけど、見て頭に入れてから描くので、同じじゃないですね。写真を見て描くこともあるけど、写真は画角で全然違う車になるので、できれば本物を見たいですね。

村田 見られるんだったら実際に見に行きますね。OVAの『ハートカクテル（アゲイン）』に参加した時に、モトグッチの珍しいバイクが出てきたんですよ。写真だと分からないから、オーナーにお願いで実車を見せてもらって作画しました。

実車を見られない場合は、藤島さんも常連だったリンドバーグという車とバイク専門の本屋によく通ってました。そこは元々、バイク屋が経営していた本屋で、今は代官山葛屋書店の一部になっています。ネットもなかった時代だったし、洋書もいっぱいあって、重宝しました。メカデザインをやっている後輩の子に教えたなら「こんな店があったんですよ！ 知ってたら苦労しなかったのに！」と言われました。

—— 『逮捕しちゃうぞ』では、お二人が会って打ち合わせするシーンがあったのですか。

藤島 会ったのは何度かですね。

村田 基本的に電話でやりとりをしていました。自分が最初に設定画について話をしたのは、古橋監督より藤島さんのほうが先だったんです。「トゥデイとGSX-R750 はこんな感じでどうですか」と言って、先に見てもらいました。

藤島 他には設定を描く上で、私が実車を持っている場合もありましたね。

村田 そうそう、実際に見させていただきました。

生っぽくするための嘘を

—— 村田さんが車やバイクを描く上で、特に気をつけている点はどこですか。

村田 カスタムしてあるものは、ありもののパーツで描くようにしています。例えばブレーキはブレンボならブレンボのパーツ、ニッシンならニッシンのパーツと。全部ありもののパーツで構成しましたね。

藤島 ありものじゃないと偽で困るんですよ。「この角度だとどう見えるんだ？」って時に、ありものから起こさないと分からないし。元々マンガの時からありものを参考にして描いていて、完全に無いものを描くほうが難しいんです。

—— 藤島さんが力を入れるポイントはどこなんですか。

藤島 かっこよく見える感じですね。トゥデイだと幅広く見えたほうがカッコいいのでタイヤを外に出したりしています。そこは車次第でスポーティなら広め、旧車なら狭めと少しいじりますね。

村田 自分も藤島さんと同じでタイヤの太さはいじります。「逮捕しちゃうぞ」や『女神さま』だとタイヤの模様、トレッドパターンまで描いてました。

藤島 タイヤの細も決めてやっていました。適当にやっちゃうとバラバラになってしまう。「逮捕しちゃうぞ」

は連載を約5年やっていて、トゥデイも連載の後半には、アシスタントに頼むことが多かったんですが、最終的には全く見ないで描けましたね。今でもわりと描ける気がする。アニメでトゥデイを動かす上で一番大変だったのは『警視庁』の文字だと思うんだよね。文字を動かすのは難しいですよ。回数も多いし、曲がっていると気になるし、(笑)。

村田 そうなんですよ。しかも凄く濡れた特殊なフロントじゃないですか。自分が参加した『機動警察パトレイバー【劇場版】』でも『警視庁』の文字だけ直す動画検査の人がいましたからね、今ならデジタルで貼り付けできますけど。

藤島 あれもずっと描いていると慣れちゃうんですけどね。大変と言えば、レーシングスーツも大変ですね。慣れるとはぼ見ないで描けるようになるんですけど、少し経ってまた描こうとすると忘れてるんですよ。そのうちモデルチェンジしたら覚え直しになるし。最近ではレーシングスーツもどんどん難しくなってるんですよ。

村田 ヘルメットなんかも、えげつないデザインですよ。

藤島 パーツ数が凄いですよ。昔のは簡単でよかった(笑)。この間もモーターサイクルショーに行って色々試着してみたんですけど、付けてみて「なるほどね」って思うと描きにくくなっちゃうんです。

—— 劇中のヘルメットやスーツも村田さんがデザインされるんですか。

村田 劇場の『女神さま』の時は自分がヘルメットをデザインして、レーシングスーツはキャラデザの松ちゃん（松原秀典）がやりましたね。

藤島 あの頃はレーシングスーツもまだシンプルだったけど、今だったらメカデザインのほうに回ってさそうなのがする。車もどんどん難しくなってるじゃないですか。「逮捕しちゃうぞ」の頃はシンプルだったけど、今はキャラクターライン（編注：車のボディラインを構成する線）がいっぱい入っていて、描くのがすげえ大変。キャラクターラインをZ型にしたりとかしてるし。

—— 角度によってこのラインが見えるとか。車ってそこも魅力ですよ。

藤島 魅力ではあるし、難しいところですよ。例えば、見せたいところが回り込んだ部分で、その構図だと見えないはずだったとしても、描いてしまうよね。

村田 そうそうそう。その図は興味のある人じゃないと勘所が分からないんですよ。ドアのラインも、見えなくても見えてもいいアングルの場合、描かないほうがよかったりする事もあるんです。さっき藤島さんが「CGは硬い」と言っていたのは、そういうことです。嘘をつくのが難しいんで、生っぽくならないんですよ。そういった部分でも、興味とかセンスが必要になってくる。勿論、CGでもやればできるはずですが。ハリウッドの映画では、CGでそれをやっているわけだし。

藤島 日本の場合は予算の問題もあるけど。

村田 車をちゃんと動かすだけで、かなり費用がかかるでしょうし。ハリウッド映画では、もうCGの車と実際の車の区別がつかないですからね。

藤島 そこがゴールかと言うと、そうでもない気がするんですけどね。ハリウッド映画といえば『ターミネーター2』でバイクが4ストなのに2スト調音になっ

てるんですよ。あれだけの大作でも音は気にしてないんですかねえ。

村田 「ブラックレイン」でも、オフロードバイクは2ストのはずなのに、音は4ストになってたりしてましたね。

—— 「逮捕しちゃうぞ」は車やバイクのデザインもそうですけど、音にもこだわってましたよね。

藤島 そうですね。全部きちんと録ってもらいました。「最低限なんとかかエンジン形式と気筒数だけは合わせてください」とお願いしてたんですけど、可能な限り同じ車やバイクから音を録ってきてくれたんです。

村田 音響監督さん次第なんですよ。「逮捕しちゃうぞ」は、こだわっていたと思います。そういう実車のリアリティとの兼ね合いの話で言うと、演出さんから「トゥデイをウィリーさせてほしい」って言われたことがあったんです(笑)。

藤島 不可能だね(笑)。

村田 「トゥデイは後輪駆動じゃないからウィリーはしないんですよ」っていうところから説明しなきゃいけない。

—— アニメだから、画的な演出としてほしいってことなんでしょうね。

藤島 さすがに駆動方式を無視してウィリーさせるのは違うかな。

村田 そうそう、そういうところは分かってほしいんです。

藤島 車好きからすると、そこの違和感はオートマチックの挙動じゃないのに連射してるぐらいおかしい感じがするんですよ。

—— 演出との兼ね合いは難しいですね。「逮捕しちゃうぞ」『女神さま』は車輪関係について、藤島さんのリクエストはかなり反映されていたんですね。

藤島 ですね。過分にやってもらって本当にありがたかったです。

村田 藤島さんのオーダーは、車やバイクが分かっている人のオーダーだったので理にかなったものでした。**藤島** 今、観返しても凄くと思います。今はもう車を描ける人がほとんどいないですね。

村田 本当にはいないんですよ。CGが主流になっちゃったから描く機会が余計に減ってしまったんです。「弱虫ペダル」でも自転車やCGじゃないですか、マンガでも車やバイクをメインで描くって、限られてますからね。

藤島 講談社はまだ多いほうですけどね、しげの秀一さんとか。描みちはるさんとか。ご本人も車やバイクが好きな方じゃないですか。

—— 若手のマンガ家さんだと、そもそも車とか乗り物に関心が薄くて、モチーフにもならないマンガもありませんね。

村田 世代というのもあるのでしょうか。

藤島 でも、最近では若い人もオートバイに乗るようになってきているからね。

村田 一時期に比べると、最近をよく見ますね。

藤島 レースに行くとか若い人が多いです。女子も多い。女の子がオートバイに乗ることについて、とやかく言わない時代になってきたのかなと思います。

—— 藤島さんのマンガからの影響が？

藤島 だったらいいですね。みんなも気軽にバイクをやってみたらいいと思うし、アニメやマンガが力になってたらいいんですけど。

好きな車、好きなバイク

—— 藤島さんは好きな車やバイクの系統はあるんですか。

藤島 どれでも好きなので、実は特別に好きな系統ってないんですよ。

村田 自分もヨーロッパ車でもアメ車でもなんでも好きですね。

藤島 ところでアメ車ってどうですか。楽しいですか。

村田 今は持っていないんですけど、やっぱり面白かったですよ。ぼかばかしいところがいいんです。カマロとかに乗ってた時は、ハイパワーなエンジンに載せ替えてたんですけど、油断するとホイールスピンしちゃうんですよ(笑)。

藤島 本当に何も考えてないですよ。車自体が何も考えていない、とにかくでかいエンジンを詰めばいいと思ってる(笑)。

村田 パワーがほしいから排気量を倍にすればいいや。みたいな考えですよ。

藤島 でも、パカな車やバイクは面白い。アメ車ってスロットルを踏んだ時に前がガバッと上がるのが面白いんですよ。あれは他の国の車にはないですからね。

村田 ないですね。ヨーロッパ車にはないデザインですね。

藤島 そういうごたわりは。マンガの『ライディングビーン』が凄くよくできてるんですよ。

村田 田健一さんはアメ車大好きですからね。

藤島 マンガだと「ライディングビーン」と、新谷かおるさんの「クレオパトラD.C.」のアメ車が凄くいい。コルベットの大好きなんで、いつか買いたいんですけど、情なくて買えないんです。

村田 意外と壊れないですよ。

藤島 確かに単純な作りだしね。でもコルベットって、うちのガレージに入るのかなあ。

村田 コルベットの幅は幅1.9メートルぐらいなので、そんなに大きくないですよ。

—— バイクだとお二人が好きなのは？

藤島 エボックメイキングで言ったら初代カタナだと思う。未だにあれを超えたデザインのバイクって見たことない。あのインパクトはありえないほどのものだった。

村田 自分はカワサキの空冷のZですか。Z1も好きなんですけど、あれが一番楽しかったですね。デザインも完成され尽くしてる気がします。

藤島 かっこいいですよ。あれ。隙がないですもんね。

村田 乗ってみた感じだとハヤブサも楽しかったですよ。油断すると凄くスピードが出ちゃうんです。

藤島 確かにね。今、僕はインディアン(モトサイクル)でバイクの勉強をさせてもらって暑ようなかたちなんですけど、インディアンは、とにかく重いのて曲がる時にちゃんとコーナーの手前で「こうやって曲がるぞ」って準備しておかないとえらい目に遭う。でも、それがちゃんとできると素直に走るんですよ。ブレーキのリリースが早いと、フロントはアワアワになっちゃうし、どこでリリースするかもう一歩命考えないといけないんだけど、面白いんです。

—— デザイン面でお気に入りの車はありますか。

村田 デザインだと旧車のほうがいなくなってしまったですね。新しいのも悪くはないんですけど。

対談
村田峻治
×
藤島康介

藤島 フェラーリ 308がいいかな。フェラーリの中で最もカッコいいフェラーリだと思います。

村田 自分もそう思います。一番好きなフェラーリですね。という感じで、なんか自分と藤島さんって趣味が合うんですよ（笑）。308は、本当に完成されつくしてますよね。

藤島 シュッと突っててカッコいいんですよ。最近のフェラーリ、どんどん幅広くなってゴツゴツしてきて、308ってシンプルに見えるんだけど、もの凄く複雑なラインになっていて見どころが多いんです。

村田 その辺では（フェラーリ）289GTOが一番好きなんです。

藤島 あれは買えないですね。（編注：生産台数272台で価格は2億円以上）

村田 289GTOと比べると308は、まだ頑張れば買えそうな値段ですね。

藤島 まだ308は、全然買える値段ですね。好きだけど買えない車も圖で描く分にはタダなんですけどね。

村田 車好きのマンガ家は、本物は買えないけど描いて楽しもうみたいな感じに圖で描いてストレス発散してるところはありますよね。

—— フィクションに出てくる車やバイクで印象深いものはありますか。

藤島 フィクションだと、どうしても変わった車になるんだけど、やっぱり「バック・トゥ・ザ・フューチャー」かなあ。よりによってデロリアンを持ってきてしまうところとか。

村田 映画しか知らない人は驚くんですけど、デロリアンって本当にある車なんです。撮影用に色々つく付けてますけど、元の車が実在するんです。圖中に「デロリアンをタイムマシンにしちゃったの？」というセリフもありますね。

藤島 デロリアンはわき出しのステンレス製という凄いな車なんです。

村田 塗装されていないけど錆びないんですよ。自分は映画からアメ車好きになったので「バニング in60」や、スティーブ・マックイーンの「ブリット」に出てくるマスタングとか。スーパーカーブームの圖にそういう映画を見て好きになって、友達はみんなカウntaxや（フェラーリ 512）BBと言ってるけど、自分はヘソ曲がりなので「マスタングが最高」とか言っていました（笑）。あと「マッドマックス」に出てくるKZ1000かな。あれで空冷Zが好きになった人って、結構多いみたいですからね。他には「トップガン」のニンジャとかも好きですね。

藤島 ああ。俺はニンジャ、持ってないんだよね。

村田 ニンジャは750Rと900Rを持ってましたね。

藤島 氷冷のGPZなら持ってます。

村田 GPZはいいバイクですよ、アメリカ人ってハーレーとか乗って直線をとってこ行くのが好きな人と、ロサンゼルス郊外で峠へ行くのが好きな人と二極化しているんですよ。だから「日本の車やバイクが最高」って言うてる人も結構いるんですよ。『ワイルド・スピード』の1作圖もRX-7とかスーブラとか日本車がフィーチャーされていて、スポーツコンバクトって名前が日本車が人気があったりするんです。

『逮捕しちゃうぞ』のトゥデイとGSX-R750

—— キャラクターと車、キャラクターとバイクの組

み合わせで照り入れのあるものはありますか。

藤島 それで言うとなッデイと夏実と美幸の二人かな。

村田 そうですね。

藤島 あれもトゥデイが好きで選んだわけではなくて、資料で買える圖自動車プラモデルが当時トゥデイしかなかったんですよ（笑）。2ドアなんでミニバトには向いてないんですけどね。マンガがほしいかと（笑）。でも、そのままやっても面白くないなと思って、ターボを付けたりとしました。

—— 今だったら別の車にしますか。

藤島 違う何かを考えるとと思いますね。どれにするかなあ。

村田 今は突った軽ってないから難しいですよ。アルトとか見ても、アルトワークスが元気だった頃のアルトは、どこ行っちゃったみたいな感じがありますね（笑）。

藤島 あれはギリギリまで攻めた車でしたよね。

村田 当時はコンバクトで突ったの多かったですからね。マーチのスーパーターボとか。

藤島 トゥデイも元々は普通の車だったんで、そういう意味では選べるんだと思うけど、今はあんまりカッコいいのがないんだよね。トゥデイは、くさび形のデザインがカッコよかった。

村田 デザイン的には完成してますからね。

藤島 フロントの傾斜がすさまじいじゃないですか。居住性を気にしてないところがよかったです。解放感はあるんですけどね。

村田 フロントウィンドウが狭くでかいんですよ。

藤島 無駄にでかい。でも、速そうじゃない車を速くするのは面白いですね。

—— トゥデイ以外で印象深いものはありますか。

村田 よくできたかなと思ったのは、中嶋とGSX-R750ですか。設定を描く時に一番苦労したバイクです（笑）。

藤島 形が分りにくからね。

村田 藤島さんにも相談したじゃないですか。バイクに取り付けるシングルシートカウルのパーツを探すのに苦労してて、1点もののパーツにしちゃう案もあったんですけど、美幸や中嶋はお金持ちじゃないから、ありもののパーツを使うだろうと思ったんです。色々探したらヨシムラのボンネビルがそっくりだったので、それにしようということになりました。だから、ガソリンタンクもボンネビルのパーツなんですよ。

藤島 実際にはボンネビルのパーツって高くて、なかなか買えないので、レプリカのパーツが多いんですよ。

村田 オリジナルのボンネビルは台数少ないから、本圖に実車が見られただけでもめつけないのだったんです。GSX-R750は中嶋のキャラに合っているし、白バイに付いているスピーカーを2つあるヘッドライトの片方に仕込むのもいいアイデアだなと思いました（笑）。

藤島 たまたまね、実際にぴったりかは知らないですけど、空いているなど悪いじゃないんです。

村田 あと、演出で使ってくれるのを期待しつつ、コクピットの設定もちゃんと作ったんですよ（※P74）。どれがどのボタンで、どこにジャックがあってというのも決めたんです。例えば中嶋と美幸が喧嘩をして、喧嘩の後で、中嶋が「おーい、持てくれ」とスピーカーを使って呼びかけるような時に、スイッチを押すカットを作ってくれないかなと思ったけど、全然使ってもらえなかった（笑）。

藤島 設定があるなら、ちょっと使ってみたくなる人もいていいのに。

村田 設定の作業って期待感も含めて、事前に色々なものを用意しなきゃいけないから難しいですね。

モトコンボは戦る？ 戦らない？

—— ここからは、今回収録される設定を見ながら振り返っていきたいと思います。

藤島 マンガを描いてる最初の頃は、バトライトの構造が分からなかったんですよ。モーターショーに行ったら、バトライトのメーカーにもらったカタログに、中身の写真があって「やった！ 欲しかったものだ！」ってことがありました（笑）。

村田 自分は原作に描いてあったので、それを参考にしながら描きました（笑）。

藤島 バトライトも今は変わっちゃいましたけどね。懐かしい感じがですね。

村田 ホイールにボルクレーシングのロゴまで描いてあるのは、やりすぎといわれればやりすぎなんですけど（※P4／ホンダ トゥデイ）。

藤島 でも、アップにした時にね。

村田 そうそう。描いてもらわないと困るから。でも、こうやって見ると時代を感じますよね。ラップトップのMacもアニメのシリーズが進むにつれて、バージョンアップしていききましたからね。

藤島 こんな時代になると思ってなかったからなあ、カーナビもこんなに普及するとは思ってなかった。

村田 最近だとドライブレコーダーまで付いてますしね。

藤島 こっちのは自動車電話が付いている（笑）（※P18／ホンダ レジェンド【自動車電話】）。

村田 時代で変わりますからね。昔の携帯電話は大きかったですね。最初の「リーサル・ウェポン」とか見ると「うわ、デケえ」って思いますね（笑）。

藤島 それでも通信できるだけで凄かったからねえ。

—— 今だとトゥデイの内装も変わリそうですね。

藤島 変えるでしょうね。あとステアリング（編注：ハンドル）もノーマルのを使ってたんだよね。なぜかノーマルを頑なに守っていた。

村田 警察車種だからって考えればノーマルなんですけどね。

藤島 後半はシートをバケットにしちゃったけどね。

村田 最後はエンジンもふたつになっちゃってましたね（圖）。

藤島 おかげで後ろに何も載らなくなりました。

村田 設定で悩んだのは、トゥデイのトランクに積むモトコンボの載せ方（※P8）をどうするかなんですよね。

藤島 まあ、夏実がなんとか載せるから大丈夫ですよ。本来載らないんだけどね。

—— サイズ的には可能なんですか。

藤島 いや、載らないです（笑）。3センチぐらいトゥデイの大きさが足りない。

村田 モトコンボは、シティという車に載せるために設計されているので、トゥデイには微妙に載らないんです。一回り大きいんですよ。

藤島 だから、マンガでも大分小さく描いてたんです（笑）。

—— スタジオディーンにうかがったことがあるんで

すが、モトコンボがちゃんと置いてありました。お邪魔したのは「逮捕しちゃうぞ」のかなり後でしたけど。

藤島 うちにもありますよ。ホコリをかぶってて絶対に動かないけど。

村田 そう言えばツイッターで、この本の告知をしたらOVAのキャンペーン用に製作したトゥデイの実車を持っていた人が反応してくれたんですよ。

藤島 あのトゥデイは廃車になっちゃったらしいですね。

村田 いや、松戸に旧車を飾っているところ（編注：昭和の壮博物館）があって、そこに保存されているようですよ。

藤島 トゥデイはなぜか知らないけど、バトカーにするとカッコいいんですよ。そう言えば、最近のバトカーって、フェンダーミラーじゃなくても大丈夫になってますね。

村田 確かそうですね。

「悪いことするのは外車にしよう」

村田 「逮捕しちゃうぞ」のTVシリーズの時には、変な不文律があって「日本車が悪いことをしてメーカーから文句を言われると困るから。悪いことするのは外車にしよう」と言われていたんですよ。そうしたら銀行強盗する貧乏な奴の車がBMWだと聞かされて、ちょっとそれは待ってくれと（笑）。ただ、OVAの「東京タイフーン・ラリー」の時はランチアだったかな。

藤島 だんだん途中から、そのルールも関係なくなってきたんですけどね。

—— これがその悪いことする外車ですね。酔っ払い中年男の列車（※P45／メルセデス・ベンツ Cクラス）です。

村田 路駐してストライク男にやられちゃうのも、キヤデラックなんですよ（笑）（※P43／キヤデラックセビル）。こいつ（※P37／フェラーリ 550 マラネロ）は、最近のフェラーリとしては嬉しいじゃないです。

藤島 アメ車っぽくていいですよ。

村田 「パッドボーイズ2パッド」に、ウィル・スミスの車として出てましたね。

藤島 これもね。こんなことしちゃってねえ。相模大野さん（※P10／ボルシェ G11）。

村田 現実にはありえないですからね。

藤島 でも凄いいバトカーが、時々あるからなあ。ボルシェのバトカーとか、他にもインプレッサでしたっけ、レクサスだったかな。

村田 スカイラインGT-Rもありましたね。高速用で使ってるみたいですね。確かに凄いいスピードで走ってるフェラーリとかを追いかけようと思ったら、GT-Rとかでないと難しいですよ（笑）。

—— ガヤ扱いの車も、ある程度村田さんが設定を描いていたんですか。

村田 ガヤの車はさすがに任せていたと思います。

藤島 キャラクターがちゃんと乗る車だったら設定する？

村田 そういう感じですね。

藤島 このZ（※P30／日産 フェアレディZ）がカッコいいなあ。

村田 この形、いいですよええ。

藤島 サスペンションもいいし、ちょっと乗ってみたい、前に買うか迷ったんですけど。

対談

村田峻治

×

藤島康介

村田 日産が一番やる気出してゐる頃の車ですからね。
藤島 エラン（※ P34 /ロータス エラン）も楽しい車でありましたね。
村田 エランは「逮捕しちゃうぞ」と「女神さま」の笑顔をやってた加藤（浩）さんが持っていたんですよ。
藤島 ストラトス（※ P39 /ランチア ストラトス）も、大好きだけど、すげえ高くなったな。
村田 ストラトスは、うっかり買えない値段になっちゃいましたね。レプリカが出てますよね。
藤島 レプリカのほうが壊れなくていい（笑）。描きました、テスト（※ P36 /フェラーリ 512TR）。
村田 テスタはサイドのフィンの部分が苦手だったんですよ。
藤島 そこ描きにくいからなあ。
村田 フィンがないからテストでも、（後期型の）512TRは嫌いじゃないです（驚）。同じ世代でも348のほうがデザイン的にはいいかな。
藤島 FD（※ P25 /マツダ RX-7）は人気ですよ。でもこの車は描きにくいんだよなあ。
村田 そうなんですよ。
藤島 しげの秀一さん、よくFDを描いてたなあ。
村田 凄いですよね。コークボトルと呼ばれてるぐらいにくびれたデザインなので立体が複雑なんですよ。
藤島 断面を見ると凄く難しいデザインで、これに比べたらテストが簡単に思えるぐらいぐにやぐにやしてゐるんです。よくこれを量産してたよね。
村田 日本のメーカーじゃなさや出せなかった形ですよ。
藤島 FDは凄いい名車。しかも、これがかなり安かったんですよ。
村田 マツダは、どうやって採算をとってたんだろう。どっかの車雑誌で「これをフェラーリが出してたら、とんでもないことになるぐらいいいデザインだ」と言われていたこともありましたね。
藤島 確かにねえ。このロータリーが苦手だったんだよなあ。
村田 ロータリーは、FC（※ 2代目 RX-7）に自分が乗っていて痛い目にあったので、もういいです（驚）。
藤島 ロータリーは、好きな人と好きじゃない人が分かれるんだと思う。
村田 まわりにもファンは多いけど、好きな人は本当に好きですからね。
藤島 やっぱ、アメ車っていいなあ（※ P42 /マレーキユーリエイト）。これ（※ P44 /キャデラック エルドラド）も描くのが大変そう。特にバンパーを描くのが大変なんですよ。メッキでギラギラしてるから、いまだに形が把握できないんですよ。写真で見ても分からない車の代表格かな。
村田 ロケットテールのアメ車で、飛行機みたいなデザインにしたかったんだろうなって思います。
藤島 本当に。この時代のアメ車って頭が悪くていいですよ。デザインをおもちゃにしてる。
村田 オイルショックまでのアメ車は本当に面白いですよ。サイズの制限がないのでのびのびしています。
藤島 のびのびしすぎて、なんメートルあるんだよ。曲がれねえだろと（笑）。
村田 向こうは前向き駆車が前提ですからね。バックすることを考えてない。間隔が狭く広いからバックでも切り返ししないで出せる。やっぱこういうのは、土地が広いアメリカならではの車ですよ。ヨーロッ

パは、やっぱり土地がそんなに広くないから日本車と同じような感じになる。
藤島 外国人は本当にぶつけながら入れますからね。目撃した時に「本当にやってるよ」って思いました。
村田 そのせいでボロボロになってる車もありますよね。

4〜6話分を1日で

藤島 インプレッサは、これが一番カッコいいな（※ P60 /スバル インプレッサ WRX）。
村田 そうですね。今の世代より8ボックスだった頃のインプレッサのほうがいいですね。
藤島 これのチューニングをしたやつに乗りましたけど、死ぬほど遅かったです。このたご焼き屋のパン（※ P57）は、どういう設定でしっけ？ たご焼き器が載ってない。
村田 そう言えば、たご焼き器のオーダーはなかった。謎ですね。言われるままに描いた気がするんですけど。―― 内装やシートของデザインも本物から？
村田 カタログのとおりです。結局、設定として色々な要素を作っていると写真のように描くしなくなってくるんですよ。何故も描かないといけなくなってしまうので。
―― 設定画を描くのにはどのぐらいの時間をかけるんですか？
村田 自分でも信じられないんですけど、「逮捕しちゃうぞ」の最初のTVシリーズの時点で「EAT-MAN」のキャラクターと作監もやって、「逮捕しちゃうぞ」の設定に使えるのが目曜だけだったんですよ。大体4話〜6話分を1日で描けていました。
藤島 スピード速っ。
村田 描いてて困ったら、例の本屋のリンダバグにすっ飛んで行って、さも買いそうな顔をして、車のカタログをもらってきたりしました。
藤島 写真からトレースしてないですもんね。ちゃんとアレンジが入っている。
村田 トレスしようと思っても画角の問題で切れてしまったりするので、あとは想像で描くしかない。アルトワークスはこれ（※ P51 /スズキ アルトワークス）が一番いいですね。
藤島 速かったなこいつ、よくぶっ切られたわ。
村田 ドッカンターボですからね。
藤島 このトレーラー（※ P62 /いすゞ ギガ）が、また大変なんだよなあ。構造がよく分からなかったんで、現場に行ってある程度見たり、プラモデルを買い集めてはいるんですけど、そもそもこういうトレーラーは、日本のレースでは使わないんですよ。角が曲がれなくて、ツインリンクもてぎにも入れないんですよ。立体交差の下に凄く狭い角があって、普通のトレーラーでもギリギリ。鈴鹿のほうが全然まし。鈴鹿はF1ができるんだから。
村田 このレッカー車（※ P68）も、現場から「『ドラえもん』ぐらいに線減らせませんか？」って言われましたけど、そういう現場の声を聞いてしまうとあんまりいいデザインができなくなってしまうので、それは聞かせませんでしたね。
藤島 レッカー車を出す段階で、そうなるのは仕方がない。
村田 レッカー車がカーチェイスするシナリオにして

から文句を言うなと（笑）。こっちも4枚描いて大変な思いをしてるんだから。牽引している設定も描いて「レバーが邪魔なんで取れませんか」とも言われましたけど「あるものはあるんだからしょうがないの!」という感じですね。ちょっとしか出てこない部分は加減してますけど。
藤島 それでも充分に面倒くさいけど（笑）。しょうがないよね、レッカー車なんだから。
村田 幸って結局面倒くさいんですよ。これは（※ P72 /スズキ GSX-R750）外装部分以外がヨシムラのボンネビルなんですよ。
藤島 買うに買えない値段のバイクだね。
村田 うっかり買おうとしても買えない値段なんですよ。
藤島 そもそも値段がつかない。誰も手放さないから売ってない。
村田 幻のバイクですからね。
―― 「逮捕しちゃうぞ」のお話が聴きましたが、「女神さま」はいかがでしたか？
藤島 設定の車やバイクが多かったですよね。
村田 「女神さま」になるとそうですね。
藤島 架空のものも、機構は考えながら描いているんですよ。ただそれをアニメで描くのはすげえ大変だろうなと思いますよ。
村田 そうですね。
藤島 このビルクライムマシン（※ P132）は、実際に存在する車なんですよ。
村田 アメリカにありますね。
藤島 おお、もうこの時代にビーノ（※ P133）を描いている。「ゆるキャン△」を先取りしてますね。
村田 そんなことはないです（笑）。あつちはCGですよ。
―― 「エクストライバー」では、藤島さんはどの程度までコンセプトを出されたんですか？
藤島 内容だけかな。デザインはやってないんですけど「出すなら、この車がいいんじゃないの」と提案したりとかしましたね。
村田 この頃は、もうツーカーな感じだったので、大体お任せしてもらってました。あとA1カーについては自分はまったくタッチしてないです。A1カーは、他の方がデザイナーとして立っているんで、自分のところには、ありものの車のデザインが来る感じでしたね。
―― 「エクストライバー」のデザインは、他の藤島作品と同じラインで。なるべくリアリティをもたせるかたちでデザインされたのでしょうか？
村田 そうです。藤島さんが関わっている作品なのでそういう前提でしたね。
―― ロータス ヨーロッパ（※ P34、P98）等、車種的には同じものがありますが、その場合もデザインをやり直すのですか？
村田 このヨーロッパの場合は「逮捕しちゃうぞ」に出てきたものはシリーズ2で、「エクストライバー」はスペシャルと、形も微妙に違うので、まったくの起こし直しです。全く同じ車種で制作会社が同じならコピーして使ったりもできますけど。
―― 今回、村田さんの設定画を見直して、何か思われたことはありますか？
藤島 僕から先に言うと、村田さんの設定がなかったら、「逮捕しちゃうぞ」も「ああっ女神さまっ」も、あ

んなに車輦の描写がしっかりした作品にならなかったわけで、本当に助かりました。車好きの方でなければ、ここまでやってもらえなかったと思います。通常なら省略する部分も、隅と省略されてるんですよ。だから、フィルムが上がる前は「こんなにまんまで描いて大丈夫なんですか？ 本当にできるんですか？」と不安に思ったこともあります。むしろ。私より描き込んでくれているところもあるぐらい。
村田 自分のほうが描き込んでいたところは、確かにありましたね。
藤島 村田さんのほうが正確に車を描いていますよね。私は実車よりも丸く描いているんですけど。
村田 原作はかなり丸くなってますね。とは言え、基本的には原作を忠実に再現することを目指していたので。なるべく近いがないようにしようとしていたというのもあるんです。今回あらためて見直して、あまり簡略化しなくてよかったなと思いました。
―― 今回一冊の本にまとまった感想を。
村田 自分がやったことが、こうしてアーカイブされるのは非常に嬉しいですね。
藤島 僕もアニメファンとして設定画って好きなんです。それが本にまとまるということは、とてもエキサイティングなことですよ。

村田
 村田峻治
 藤島
 藤島康介

藤島康介（ふじし まさよし）

漫画家、イラストレーター。1964年7月7日生まれ。主なマンガ作品に「逮捕しちゃうぞ」「ああっ女神さまっ」「パラダイスレジデンス」等。マンガ作品以外にもゲーム「サクラ大戦」シリーズや「テイルズオブ」シリーズ等のキャラクター原案を手掛け、OVA「エクストライバー」ではキャラクター原案と共に企画、原案も務めた。現在は月刊アフタヌーンにて「トップウ GP」を連載中。

村田峻治

ANIMATION WORKS

車輛設定資料

2019年12月14日 第1刷発行

【監 画】 小黒祐一郎
【編集・デザイン】 村上修一郎
【編集スタッフ】 小林 治、鈴木知哲、佐野清彦、林原竜太
【編集協力】 芦田忠明、野口智弘、安原まひろ
【表紙デザイン】 坂根 護（井上組人デザイン事務所）

【協 力】 株式会社講談社
株式会社バンダイナムコアーツ
一般財団法人昭和の杜博物館

【発 行 人】 小黒祐一郎
【発 行 所】 株式会社スタイル
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-34-1
広谷塔センタービル3階
電話：03-5953-3986

【印刷・製本】 株式会社シナノバブリッシングプレス

Printed in Japan

©1994・1995 藤島康介・講談社・バンダイビジュアル・丸経
©1997 藤島康介・講談社・TBS
©1999 藤島康介・講談社・バンダイビジュアル・TBS・スタジオディーン
©1999 藤島康介・TBS・バンダイビジュアル・東映ビデオ・スタジオディーン
©藤島康介・造形レジャーで製作委員会
©KOSHIKE FUKUSHIMA / "YOU'RE UNDER ARREST" PARTNERSHIP
©藤島康介・講談社・重光文芸通譯

©2001 藤島康介・exd・BV / B・G・A

©2000「ああっ女神さまっ」映画製作委員会
©藤島康介・講談社 / 「ああっ女神さまっ」製作委員会
©藤島康介・講談社 / 「お助け女神事務所」号室

©坂根佑彦・藤村楓人・講談社 / テーム監製

©2019 村田峻治
©2019 株式会社スタイル

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の無断複製・コピー、
スクリーン、デジタル化等、並びに無断複製物の頒布は、
著作権者としての権利を侵害されています。また、本書を他方
の著作物等と混同して複製する場合は、たとえ個人や家庭内
での利用であっても一切認められておりません。